

IBM Spectrum Protect

バージョン 8.1.0

クライアント・メッセージとア
プリケーション・プログラミング
・インターフェースのリター
ン・コード

IBM

IBM Spectrum Protect

バージョン 8.1.0

クライアント・メッセージとア
プリケーション・プログラミング
・インターフェースのリター
ン・コード

IBM

— お願い —

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 391 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Spectrum Protect のバージョン 8、リリース 1、モディフィケーション 0 (製品番号 5725-W98、5725-W99、5725-X15、5725-X18、5725-X04) および新しい版で明記されていない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Spectrum Protect
Version 8.1.0
Client Messages and Application
Programming Interface Return Codes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1993, 2016.

目次

本書について	v	第 3 章 API 戻りコード	347
本書の対象読者	v	API 戻りコードのフォーマット	347
資料	v	API 戻りコード	347
第 1 章 メッセージの概要	1	付録. IBM Spectrum Protect 製品ファミリーのアクセシビリティ機能.	389
IBM Spectrum Protectサーバーおよびクライアントの メッセージ・フォーマット.	1	特記事項.	391
戻りコード・メッセージの解釈	3	用語集.	395
例 1. QUERY EVENT コマンドの場合	3		
例 2. DEFINE VOLUME コマンドの場合	4		
第 2 章 ANS 0000-9999 メッセージ	5		
ANS メッセージ・リスト	5		

本書について

IBM Spectrum Protect™ は、ネットワーク用のエンタープライズ全体のストレージ管理アプリケーションです。これは、マルチベンダーのワークステーション、パーソナル・コンピュータ、およびローカル・エリア・ネットワーク (LAN) ファイル・サーバーに対して自動ストレージ管理サービスを提供します。

本書には、IBM Spectrum Protect クライアント・コンポーネントによって出されるメッセージの説明および推奨アクションが記載されています。

- 管理クライアント
- バックアップ/アーカイブ・クライアント
- IBM Spectrum Protect for Space Management (IBM® AIX® システムおよび Linux システム用 HSM クライアント)。
- アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API)

本書の対象読者

本書の対象読者は、IBM Spectrum Protect コンポーネントを保守するシステム管理者です。本書では、読者が IBM Spectrum Protect バックアップ/アーカイブ・クライアントについての実践的知識を持っていることを前提としています。

資料

IBM Spectrum Protect 製品ファミリーには、IBM Spectrum Protect Snapshot、IBM Spectrum Protect for Space Management、IBM Spectrum Protect for Databases、および IBM のその他のいくつかのストレージ管理製品が含まれます。

IBM 製品資料を確認するには、IBM Knowledge Center を参照してください。

第 1 章 メッセージの概要

IBM Spectrum Protect サーバーおよびクライアントに発行されるメッセージ、エラー・コード、および戻りコード。

メッセージおよびコードは、サーバー・コンソール、管理可能クライアント、オペレーター端末、管理用グラフィカル・ユーザー・インターフェース、バックアップ/アーカイブ・クライアント、または階層ストレージ管理クライアント (HSM クライアント) 上に表示されます。

IBM Spectrum Protectでは、管理者がサーバー・アクティビティの追跡およびシステムのモニターを行うのを支援するために、アクティビティ・ログを提供します。アクティビティ・ログにはサーバーが生成するメッセージが含まれており、これはデータベースに保管されます。サーバーは、指定した保存期間の経過後、アクティビティ・ログからメッセージを自動的に削除します。サーバー・コンソールに送られたメッセージはすべて、アクティビティ・ログに保管されます。アクティビティ・ログに保管されるメッセージ・タイプの例としては、以下のものがあります。

- クライアントのセッションの開始または終了日時
- マイグレーションの開始時または終了時
- バックアップ・ファイルがサーバー・ストレージで有効期限切れとなる時
- バックグラウンド・プロセスから生成される出力

一部のメッセージには説明がなく、収録されていません。クライアントは、バックアップまたはリストアに関する情報を提供する統計をサーバーに送信できます。これらの統計は、通知メッセージであり、各種イベント・ロギング・レシーバーに使用可能または使用不可とすることができます。これらのメッセージは収録されていません。

IBM Spectrum Protectサーバーおよびクライアントのメッセージ・フォーマット

IBM Spectrum Protect サーバーおよびクライアントのメッセージは、以下の要素で構成されています。

- 3 文字の接頭部。メッセージには異なる接頭語が付いており、そのメッセージを出す IBM Spectrum Protect コンポーネントを特定する上で役立ちます。通常は、1 つのコンポーネントのすべてのメッセージに同じ接頭部が付きます。場合によっては、1 つのコンポーネントが 2 つまたは 3 つの異なる接頭部が付いたメッセージを出すことがあります。

例えば、バックアップ/アーカイブ・クライアントは、ANS 接頭部が付いたメッセージを出します。サーバーのログに記録されるバックアップ/アーカイブ・クライアント・イベントには ANE 接頭部が付きます。サーバー共通メッセージおよびサーバー・プラットフォーム固有のメッセージには、ANR 接頭部が付きます。

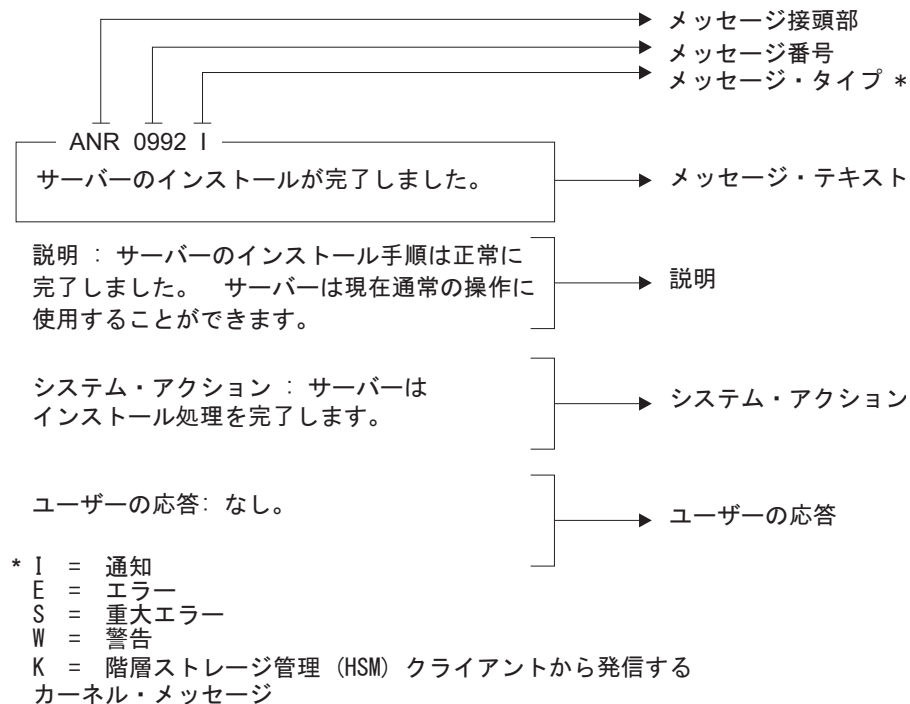
- 数値のメッセージ ID。
- 1 文字の重大度コード。以下のコードは、メッセージが生成される原因となったアクションの重大度を示しています。

コード	重大度	意味
S	重大	プロダクトまたはプロダクト機能が続行できません。ユーザー応答が必要です。
E	エラー	処理中にエラーが発生しました。処理は停止する場合があります。ユーザー応答が必要な場合があります。
W	警告	処理は続行しますが、警告の結果として、後で問題が発生する場合があります。
I	通知	処理を続行します。ユーザーの応答は不要です。

- 画面に表示され、メッセージ・ログに書き込まれる、メッセージ・テキスト。
- 説明、システム・アクション、およびユーザーの応答のテキスト。これらのテキストはメッセージ・テキストを詳しく説明するもので、製品メッセージに関する資料またはコマンド・ライン・ヘルプで参照可能です。

以下のイメージは代表的な IBM Spectrum Protect サーバー・メッセージを示したものです。

付記はメッセージの各要素を示しています。



メッセージ・テキスト中のメッセージ変数は、イタリック体で表示されます。

戻りコード・メッセージの解釈

多くの異なるコマンドが、同じ戻りコード を生成することがあります。 以下の例は、2 つの異なるコマンドが出された結果、同じ戻りコードが生成された例を示しています。したがって、コマンドの記述メッセージ を読み取る必要があります。

これらの例では 2 つの異なるコマンドが同じ戻りコードを生成していますが、それらは各コマンドに固有の記述メッセージも戻しています。 2 つのコマンドは、`q event standard dddd` および `def vol cstg05 primary` です。両方とも汎用メッセージを生成し、戻りコードは次のとおりです：

ANS5102I: 戻りコード 11。

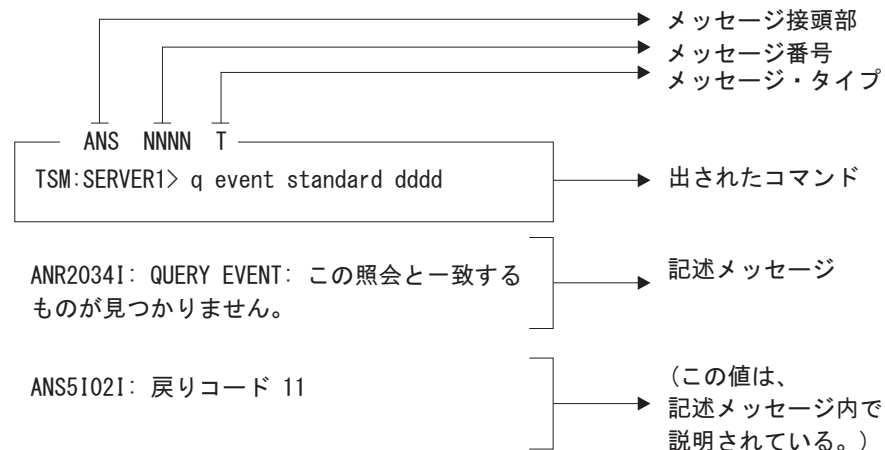
しかし、最初のコマンドは次の記述メッセージも生成しています：

ANR2034I: QUERY EVENT: この照会と一致するものが見つかりません。

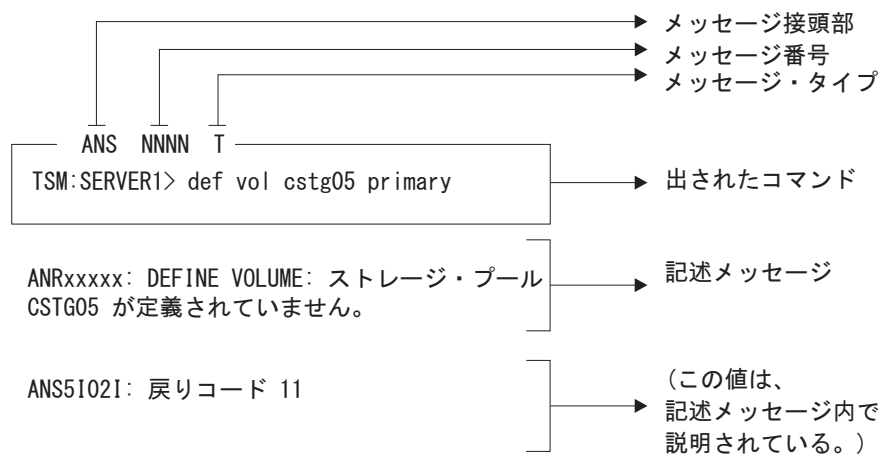
そして 2 番目のコマンドも、次に示す固有のメッセージを生成しています：

ANRxxxx: DEFINE VOLUME: ストレージ・プール
CSTG05 が定義されていません。

例 1. QUERY EVENT コマンドの場合



例 2. DEFINE VOLUME コマンドの場合



第 2 章 ANS 0000-9999 メッセージ

0000 から 9999 の範囲のメッセージ番号付き ANS メッセージが、以下の IBM Spectrum Protect クライアントにより発行されます。

- 管理可能クライアント
- アプリケーション・プログラミング・インターフェース・クライアント
- バックアップ・アーカイブ・クライアント
- IBM Spectrum Protect for Space Management (HSM) クライアント

新規メッセージと前の製品モディフィケーション・レベル以降に変更されたメッセージのリストは、製品インストール・ディレクトリーの `client_message.chg` ファイルで参照可能です。V8.1.0 以降の新規クライアント・メッセージおよび変更されたクライアント・メッセージのリストは、IBM developerWorks wiki でも参照可能です。

ANS メッセージ・リスト

IBM Spectrum Protect V8.1.0 のクライアント・メッセージが、メッセージ番号の昇順にリストされています。メッセージ ID、メッセージ・テキスト、説明、システム・アクション、およびユーザーの応答を含むメッセージ全体が文書化されています。

ANS0101E 英語メッセージ・リポジトリ *file name* をオープンできません。

説明: デフォルトの英語メッセージ・リポジトリ・ファイルをオープンすることができません。ファイルのアクセス権によりファイルを読み取ることができないか、予期した位置にファイルがありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。処理は終了します。

ユーザーの処置: DSM_DIR 内のファイルを正しくセットアップしてください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS0102W メッセージ・リポジトリ *file name* をオープンできません。代わりに米国英語リポジトリが使用されます。

説明: 現行ロケール用のデフォルト・メッセージ・リポジトリ・ファイルをオープンすることができません。ファイルのアクセス権によりファイルを読み取ることができないか、予期した位置にファイルがないか、またはオプション・ファイルに指定された言語がこのワークステーションではサポートされません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は英語メッセージ・リポジトリで処理を続行します。

ユーザーの処置: DSM_DIR 内のファイルを正しくセットアップしてください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS0103E メッセージ・リポジトリ *file name* からヘッダー・レコードを読み取ろうとしてエラーが起きました。

説明: メッセージ・リポジトリ・ファイルのヘッダー・レコードを取得できません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: ファイルがインストール時から変更されていないことを確認してください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS0105E リポジトリ *file name* からメッセージ *number* の索引を読み取ろうとしてエラーが起きました。

説明: 指定されたメッセージ番号のメッセージ・テキス

トを読み取ることができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: ファイルがインストール時から変更されていないことを確認してください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS0106E メッセージ *number* のメッセージ索引が見つかりません。

説明: このメッセージ番号のメッセージ・テキストがメッセージ・リポジトリ・ファイルに含まれていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: DSM_DIR が正しくセットアップされていて、古いコピーを指していないことを確認してください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS0107E リポジトリ *file name* からメッセージ *number* のヘッダーを読み取ろうとしてエラーが起きました。

説明: メッセージ・ファイル内のこのメッセージ番号のメッセージ・ヘッダー情報を取得できません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: ファイルがインストール時から変更されていないことを確認してください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS0108E リポジトリ *file name* からメッセージ *number* のテキストを読み取ろうとしてエラーが起きました。

説明: メッセージ・ファイル内のこのメッセージ番号のメッセージ・テキストを取得できません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: ファイルがインストール時から変更されていないことを確認してください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS0109E メッセージ構造を割り振るにはメモリーが足りません。

説明: メッセージ・テキストに必要なストレージを割り振るには、システムにメモリーが足りません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect を停止して再始動してください。その後で操作を再試行してください。操作が失敗した場合は、不要なアプリケーションをすべてクローズして、操作を再試行してください。

ANS0110E エラー・ログ・ファイル *file name* を出力用にオープンすることができません。

説明: エラー・ログ・ファイルを出力用にオープンすることができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。書き込みが許可されないように、ファイルのアクセス権が設定されている可能性があります。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect を停止して再始動してください。その後で操作を再試行してください。操作が失敗した場合は、ファイルが別のアプリケーションによりロックされておらず、またファイルのアクセス権で書き込みアクセスが許可されているようにする必要があります。

ANS0113E メッセージ・リポジトリ *file name* に無効な制御レコードがあります。

説明: メッセージ・リポジトリ・ファイルに正しくない制御情報があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: メッセージ・ファイルがインストール時から変更されていないことを確認してください。DSM_DIR を正しく設定してください。

ANS0118E スケジュール・ログ・ファイル '*file name*' を出力用にオープンすることができません。

説明: スケジュール・ログ・ファイルを出力用にオープンすることができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect を停止して再始動してください。その後で操作を再試行してください。操作が失敗した場合は、ファイルが別のアプリケ

ーションによりロックされていないことを確認してください。

ANS0119E リポジトリ *file name* からメッセージ *number* の応答ストリングを読み取ろうとしてエラーが起きました。

説明: このメッセージ番号の応答ストリング情報をメッセージ・リポジトリ・ファイルから読み取ることができません。メッセージ・リポジトリが壊れている可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: メッセージ・ファイルがインストール時から変更されていないことを確認してください。DSM_DIR を正しく設定してください。

ANS0120E メッセージ番号 *number* にこのロケールで無効なマルチバイト・シーケンスが含まれています。

説明: このロケールでは正しくないマルチバイト・シーケンスがメッセージ内で検出されました。メッセージ・リポジトリが壊れているか、現行ロケールの言語以外の言語でコード化されています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: メッセージ・リポジトリが壊れていない場合は、サポートされるロケールで操作を処理してください。

ANS0121W メッセージ・リポジトリ *file name* の **iconv** コンバーターをオープンできません。代わりに米国英語リポジトリが使用されます。

説明: 現行ロケール用のデフォルト・メッセージ・リポジトリの **iconv** コンバーターをオープンすることができません。UTF-8 から現行ロケールに変換するために使用される **iconv** コンバーターは、このワークステーションにインストールされていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は英語メッセージ・リポジトリで処理を続行します。

ユーザーの処置: 必要な **iconv** コンバーターが正しくインストールされていることを確認してください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS0201E 無効なパラメーターが見つかりました。

説明: システムは無効なパラメーターによる内部プログラム・エラーを検出しました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サービス担当員にエラー・ログの検査を依頼してください。

ANS0202E 他のノードのデータをリストアする権限がありません。

説明: クライアントには他のノードのデータをリストアする権限がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 他のノードから許可を獲得してください。

ANS0203E **objName** フィールドに先行ディレクトリ一分離文字がありません。

説明: **objName** フィールドは先頭にディレクトリー区切り記号を持っていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **objName** の値を訂正します。

ANS0204E **objName** ディレクトリー・パスにワイルドカードを使用することはできません。

説明: **objName** ディレクトリー・パスにワイルドカードを使用することはできません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **objName** の値を訂正します。

ANS0205E エラー・ログ・ファイルをオープンできません。

説明: システムはエラー・ログ・ファイルをオープンすることができません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: DSMI_LOG 値およびアクセス許可を検証します。AS/400 プラットフォームで、API オプション・ファイル中の ERRORLOGNAME に指定されている値を検査してください。

ANS0206E ログ・ファイルに書き込めません。

説明: ログ・ファイルへの書き込み時にエラーがありました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: DSMI_LOG 値およびアクセス許可を検証します。AS/400 プラットフォームで、API オプション・ファイル中の ERRORLOGNAME に指定されている値を検査してください。

ANS0207E ログ・ファイル名が指定されませんでした。

説明: システムはエラー・ログ・ファイルをオープンすることができません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: DSMI_LOG 値およびアクセス許可を検証します。AS/400 プラットフォームで、API オプション・ファイル中の ERRORLOGNAME に指定されている値を検査してください。

ANS0208E TCP/IP WINSOCKET.DLL ファイルが見つかりません。

説明: TCP/IP WINSOCKET.DLL ファイルが見つかりません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: TCP/IP インストール・システムを検査します。

ANS0209E ライブラリーのロード中にエラーが発生しました。

説明: ライブラリーのロード中にエラーが発生しました。TCP/IP DLL のロードに失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: TCP/IP インストール・システムを検査します。

ANS0210E TCP/IP のロード・ファンクションが失敗しました。

説明: 機能の探索中にエラーが発生しました。TCP/IP のロード機能が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: TCP/IP インストール・システムを検査します。

ANS0211E オブジェクト名ポインターが NULL です。

説明: オブジェクト名ポインターについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: dsmObjName 構造のアドレスを提供します。

ANS0212E データ・ブロック・ポインターが NULL です。

説明: データ・ブロック・ポインターについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: DataBlk 構造のアドレスを提供します。

ANS0213E オブジェクト属性ポインターが NULL です。

説明: オブジェクト属性ポインターについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ObjAttr 構造のアドレスを提供します。

ANS0214E サーバー・セッション情報がありません。

説明: サーバーはセッション情報で応答しませんでした。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サーバー状況を検証します。

ANS0215E サーバー・ポリシー情報がありません。

説明: サーバーはポリシー情報で応答しませんでした。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サーバー・ポリシー定義を検証します。

ANS0216E dataBlk bufferLen 値がゼロです。

説明: dataBlk bufferLen の値がゼロです。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: bufferLen に関して非ゼロ値を提供します。

ANS0217E dataBlk bufferPtr が NULL です。

説明: dataBlk bufferPtr について提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: bufferPtr のアドレスを提供します。

ANS0218E objType が無効です。

説明: objType の値が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: dsmObjName.objType の値は、以下のとおりでなければなりません。

Backup については DSM_OBJ_FILE または
DSM_OBJ_DIRECTORY。または
Archive については DSM_OBJ_FILE。

ANS0219E dsmEndTxn vote が無効です。

説明: dsmEndTxn vote が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: 指定は DSM_VOTE_COMMIT または DSM_VOTE_ABORT でなければなりません。

ANS0220E 無効なオプションが、オプション解析中に検出されました。

説明: 無効なオプションが検出されました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: dsm.opt、dsm.sys のオプションならびにオプション・ストリングを検証します。エラーについてさらに詳しくエラー・ログを検査します。AS/400 プラットフォームでは、*LIB/QOPTIBM Spectrum Protect(APIOPT) の中のオプションを検査します。

ANS0221E IBM Spectrum Protect API 内部にエラーがありました。

説明: システムは API 内部においてエラーを検出しました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: 処理をシャットダウンし、操作を再試行します。直前のすべての dsmInit 呼び出しが終結処理され、dsmTerminate 呼び出しによって終了されていることを確認します。問題が継続する場合は、システム管理者またはサービス担当員に連絡してください。

ANS0222E リポジトリ・タイプが無効です。

説明: リポジトリ・タイプが無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: dsmDeleteFS については、リポジトリは以下のいずれかでなければなりません。

- DSM_ARCHIVE_REP
 - DSM_BACKUP_REP
 - DSM_REPOS_ALL
-

ANS0223E ファイル・スペース名の先頭はディレクトリー区切り文字でなければなりません。

説明: ファイル・スペース名が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名はディレクトリー区切り文字で始まらなければなりません。

ANS0224E オブジェクト名が空ストリングか、または先行区切り文字がありません。

説明: ストリングが空のため、あるいは区切り文字が先頭にないため、オブジェクト名が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: dsmObjName の絶対パスのフォーマットを検証します。

ANS0225E オブジェクト名の低位修飾子はディレクトリー区切り文字で開始しなければなりません。

説明: オブジェクト名の低位修飾子が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: オブジェクト名の低位修飾子をディレクトリー区切り文字で始めます。

ANS0226E オブジェクト所有者が無効です。

説明: オブジェクト所有者が root ユーザーでなければならないか、あるいはオブジェクト所有者はセッション所有者と同じでなければなりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: セッション所有者およびオブジェクト所有者を検証します。

ANS0227E dsmBindMC sendType が無効です。

説明: dsmBindMC sendType が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: sendType は、以下のいずれかでなければなりません。

```
stBackup
stArchive
stBackupMountWait
stArchiveMountWait
```

ANS0228E dsmSendObj sendType が無効です。

説明: dsmSendObj sendType が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: sendType は、以下のいずれかでなければなりません。

```
stBackup
stArchive
stBackupMountWait
stArchiveMountWait
```

ANS0229E dsmDeleteObj delType が無効です。

説明: dsmDeleteObj delType が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: delType は dtBackup または dtArchive でなければなりません。

ANS0230E 照会バックアップ objState が無効です。

説明: 照会バックアップ objState が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: qryBackupData.objState は、以下のいずれかでなければなりません。

```
DSM_ACTIVE
DSM_INACTIVE
DSM_ANY_MATCH
```

ANS0231E 管理クラス名が見つかりませんでした。

説明: 管理クラス名を検出するための照会あるいは送信操作が、できません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 管理クラス名を確認します。

ANS0232E ドライブ名が英字になっていません。

説明: ドライブ名が英字になっていません。この戻りコードは Microsoft Windows のみで有効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ドライブ指定が英字であることを確認します。参照先フィールドは dsmDosFSAttrib.driveLetter です。

ANS0233E レジスター・ファイル・スペース名が NULL です。

説明: レジスター・ファイル・スペース名ポインターについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: dsmRegisterFS にファイル・スペース名を提供します。

ANS0234E 新規パスワード値が NULL またはブランクです。

説明: 新規パスワードについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: dsmChangePW に新規パスワードを提供します。

ANS0235E 旧パスワード値が **NULL** またはブランクです。

説明: 旧パスワードについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **dsmChangePW** に旧パスワードを提供します。

ANS0236E **PASSWORDACCESS=generate** の時には、**dsmInit** で所有者がセッションを確立することはできません。

説明: **PASSWORDACCESS=GENERATE** は、所有者として現行ログイン・ユーザーを使用してセッションを確立します。**PASSWORDACCESS=GENERATE** が有効であるときは、アプリケーションは **clientOwnerNameP** を **NULL** に設定する必要があります。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。アプリケーションのエラー処理の方法によって、そのアプリケーションが処理を続行できるかどうかが決まります。

ユーザーの処置: このメッセージは、IBM Spectrum Protect API を利用するアプリケーションに適用され、主にそのメッセージを発行するアプリケーションのベンダーを対象としています。アプリケーションによっては、これが構成上の問題点になることがあります。

アプリケーションの資料を調べて、そのアプリケーションが正しく構成されているかどうかを確認してください。問題が続く場合には、アプリケーションのベンダーに連絡して援助を求めてください。

ANS0237E **dsmInit** で、**PASSWORDACCESS=generate** のときにはノードは使用できません。

説明: **PASSWORDACCESS=generate** は、ノードとして現行ホスト名とセッションを確立しています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **PASSWORDACCESS=generate** を使用するときは、**clientNodeNameP** を **NULL** に設定します。

ANS0238E 呼び出しの順序が無効です。

説明: API は、機能呼び出しが特定の順序で行われることを要求します。機能呼び出しが正しい順序で行われませんでした。エラーは、以下の問題によって発生する可能性があります。

- ネットワークのエラー。
- IBM Spectrum Protect API のバグ。
- IBM Spectrum Protect サーバーのバグ。
- IBM Spectrum Protect API を使用するアプリケーション (IBM またはサード・パーティー) のバグ。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: エンド・ユーザーは、以下の方法で応答することができます。

- ネットワークにエラーがないかをチェックします。
- IBM Spectrum Protect サーバーのアクティビティ・ログ・ファイル、クライアント・サイドの **dsierror.log** ログ・ファイル、および問題があるアプリケーションに固有のログ・ファイルで手掛かりを探します。
- IBM サポート・ページで、問題に一致する APAR がないかを検索します。サポート・サイトは、IBM Spectrum Protect サポート・ポータル (http://www.ibm.com/support/entry/portal/product/tivoli/tivoli_storage_manager) です。
- API アプリケーションが (IBM ではなく) サード・パーティーによって開発されたものである場合は、そのサード・パーティーのサポート・ページで問題に一致する既知の問題がないかを検索します。

上記のどのアクションでも問題が解決しない場合は、IBM Spectrum Protect API を使用するアプリケーションのベンダーに問題を報告してください。

IBM Spectrum Protect API を使用するアプリケーションの開発者が、問題の理由を調査 (IBM Spectrum Protect API 状態遷移図の確認を含む) する必要があります。IBM Spectrum Protect API 状態遷移図は、製品資料 (IBM Spectrum Protect 製品資料 (http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ_8.1.0/tsm/welcome.html)) に記載されています。

ANS0239E **dsmSendObj** では、**objName** にワイルドカードを使用することはできません。

説明: **dsmSendObj** では、**objName** にワイルドカードを使用することはできません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: fs、hl、および ll を dsmObjName に提供します。

ANS0240E 削除/アクセス・セットするファイル・スペースが見つかりません。

説明: 削除するファイル・スペースが見つかりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名を確認します。

ANS0241E dsmSendObj、dsmDeleteObj、または dsmUpdateFS で、ファイル・スペースが登録されていません。

説明: dsmSendObj、dsmDeleteObj または dsmUpdateFS について、ファイル・スペースが登録されていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名を確認します。

ANS0242W ファイル・スペースは既に dsmRegisterFS で登録されています。

説明: ファイル・スペースは既に dsmRegisterFS で登録されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名を確認します。

ANS0243E dsmBeginGetData で、objID が NULL です。

説明: dsmBeginGetData については、objID は NULL です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 以下を確認してください。

dsmGetList が NULL ではない。

各 objID が NULL ではない。

dsmGetList numObjId がゼロではない。

ANS0244E dsmInit で、呼び出し元の API バージョンが IBM Spectrum Protect ライブラリーのバージョンと異なっています。

説明: dsmInit で、呼び出し元の API バージョンが、IBM Spectrum Protect ライブラリー・バージョンより高い値になっています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 最新の IBM Spectrum Protect API ライブラリーおよび dsmtca モジュールをインストールします。

ANS0245E 呼び出し元の構造体のバージョンが、IBM Spectrum Protect ライブラリーのバージョンと異なっています。

説明: 呼び出し側の構造体バージョンは、IBM Spectrum Protect ライブラリー・バージョンとは異なっています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: stVersion フィールドが、ヘッダー・ファイル内の値で設定されていることを確認します。アプリケーションを最新のヘッダー・ファイルで再コンパイルします。

ANS0246E dsmEndTxn を発行してから、新規トランザクション・セッションを開始してください。

説明: 以下のいずれかの理由により、このトランザクションを終了し、新規トランザクションを開始する必要があります。

宛先が変更された。

バイト限度を超過した。

オブジェクトの最大数を超過した。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: dsmEndTxn を発行し、新規トランザクション・セッションを開始します。

ANS0247E バックアップまたはアーカイブ・オブジェクトが処理から除外されています。

説明: バックアップまたはアーカイブ・オブジェクトが処理から除外されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: objName および 除外リストを検証します。

ANS0248E バックアップ・オブジェクトにコピー・グループがありません。

説明: バックアップ・オブジェクトにコピー・グループがありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サーバー・ポリシー定義を検証します。

ANS0249E アーカイブ・オブジェクトにコピー・グループがありません。

説明: アーカイブ・オブジェクトにコピー・グループがありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サーバー・ポリシー定義を検証します。

ANS0250E IBM Spectrum Protect API によって使用されたメモリーが破壊されました。

説明: IBM Spectrum Protect API によって使用されたメモリーが破壊されました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が継続する場合は、システム管理者またはサービス技術員に連絡してください。

ANS0251E sendObj アーカイブ記述が長すぎます。

説明: sendObj アーカイブ記述が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: sndArchiveData.descr スtringは DSM_MAX_DESCR_LENGTH 以下でなければなりません。

ANS0252E sendObj ObjAttr.objInfo が長すぎます。

説明: sendObj ObjAttr.objInfo が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: objInfo フィールドは DSM_MAX_OBJINFO_LENGTH 以下でなければなりません。

ANS0253E sendObj dsmObjName.hl が長すぎます。

説明: sendObj dsmObjName.hl が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: hl フィールドは DSM_MAX_HL_LENGTH 以下でなければなりません。

ANS0254E 指定されたパスワードまたは encryptionPassword スtringが長すぎます。

説明: パスワードまたは encryptionPassword に指定された値が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: パスワードまたは encryptionPassword フィールドは、DSM_MAX_VERIFIER_LENGTH よりも短くなくてはなりません。

ANS0255E sendObj dsmObjName.fs が長すぎます。

説明: sendObj dsmObjName.fs が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: fs フィールドは DSM_MAX_FS_LENGTH 以下でなければなりません。

ANS0256E sendObj dsmObjName.ll が長すぎます。

説明: sendObj dsmObjName.ll が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ll フィールドは DSM_MAX_LL_LENGTH 以下でなければなりません。

ANS0257E RegisterFS または UpdateFS で、fsAttr の fsInfo が長すぎます。

説明: RegisterFS または UpdateFS で、fsAttr の fsInfo が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: fsInfo フィールドは DSM_MAX_FSINFO_LENGTH 以下でなければなりません。

ANS0258I dsmGetNextQObj または **dsmGetData** において、さらに利用できるデータがあります。

説明: dsmGetNextQObj または dsmGetData において、さらに利用できるデータがあります。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 機能を再び呼び出します。

ANS0259E dataBlk バッファが照会応答用には小さすぎます。

説明: dataBlk バッファが照会応答用には小さすぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: dsmGetNextQObj について、dataBlk バッファが少なくとも照会応答構造体より大きいことを確認します。

ANS0260E オプションの構文解析中に無効なオプション・キーワードが検出されました。

説明: 無効なオプション・キーワードが、dsmInit 構成ファイル、オプション・ストリング、dsm.sys、あるいは dsm.opt 内に検出されました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: オプション・キーワードのスペルを訂正します。dsmInit 構成ファイルが、dsm.sys オプションのサブセットのみを持つことを確認します。エラーについてさらに詳しくエラー・ログを検査します。

ANS0261E dsmInit で指定された構成ファイルをオープンすることができません。

説明: dsmInit で指定された構成ファイルをオープンすることができません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル名を検証します。

ANS0262E 包含/除外定義ファイルが見つかりません。

説明: 包含/除外定義ファイルが見つかりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: Inclexcl オプションのファイル名を検証します。

ANS0263E dsm.sys ファイルが見つからないか、あるいは **dsm.sys** に指定された **Inclexcl** ファイルが見つかりません。

説明: dsm.sys ファイルが見つからないか、あるいは dsm.sys に指定された Inclexcl ファイルが見つかりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: dsm.sys ファイルは、環境変数 DSMI_DIR によって参照されるディレクトリー内になければなりません。dsm.sys ファイル内の Inclexcl オプションのファイル名を検証します。

ANS0264E dsmChangePW または **dsmDeleteFS** を実行できるのは **UNIX** の **root** ユーザーだけです。

説明: dsmChangePW または dsmDeleteFS を実行できるのは UNIX の root ユーザーだけです。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: このプログラムを root ユーザーとして実行します。

ANS0265E dsmSendObj の前に **dsmBindMC** を出さなければなりません。

説明: dsmSendObj の前に dsmBindMC を出さなければなりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ユーザーのプログラムを修正します。

ANS0266I dsmEndTxn 発行が異常終了したので、理由コードを検査してください。

説明: dsmEndTxn 呼び出しの後、トランザクションは DSM_VOTE_ABORT でサーバーまたはクライアントによって異常終了され、その理由が返されます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: 理由フィールドを検査し、トランザクションが異常終了された理由を説明するコードを調べます。

ANS0267E 無効なコマンド・ライン・オプション/値: '*option*'

説明: このコマンド・ラインでは *option* は無効です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: オプションおよび値のつづりが誤っていないか、現行コマンドで有効かを検査してください。

ANS0268E サーバー上の問題: 宛先が定義されていません。

説明: サーバー上の問題: 宛先が定義されていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: サービス担当員にエラー・ログの検査を依頼してください。

ANS0270S データ・バッファがオーバーフローしました。

説明: データ・バッファがオーバーフローしました。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS0271E 宛先ディレクトリーがフルになるために、これ以上のファイルをリストアまたはリトリブすることはできません。

説明: 宛先ディレクトリーがフルになるために、これ以上のファイルをリストアまたはリトリブすることはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディスク・スペースを解放するか、ファイルを別のディスクにリストアまたはリトリブします。

ANS0272I 操作が終了しました。

説明: 操作が終了しました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: 次の機能呼び出しに進みます。

ANS0273E **dsmtca** 実行/所有者許可が無効です。

説明: **dsmtca** の実行/所有者許可が無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: **dsmtca** 許可が正しく設定されるように、クライアントのインストール指示を確認するようシステム管理者に依頼してください。

ANS0274S プロセスが強制終了されました。

説明: 処理は停止しました。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS0275S **dsmtca** が操作を防止します。

説明: **dsmtca** は操作をブロックします。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS0276S 包含/除外パターンのエリアが小さすぎます。

説明: 包含/除外パターンのエリアが小さすぎます。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS0277S パターン内に右大括弧がありません。

説明: パターン内に右大括弧がありません。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決さ

れない場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS0278S トランザクションが中止されます。

説明: サーバーはエラーを検出し、トランザクションを打ち切ります。

システムの処置: トランザクションが中止されます。
理由コードは `dsmEndTxn` 呼び出しで渡されます。

ユーザーの処置: `dsmEndTxn` を
`DSM_VOTE_COMMIT` を指定して発行し、理由コードを調べます。

ANS0279I ファイルがオフラインになっていて、アプリケーションがテープのマウントを待機しないように選択されているために、ファイルがリストア操作時にスキップされました。

説明: ファイルがオフラインになっていて、アプリケーションがテープのマウントを待機しないように選択されているために、ファイルがリストア操作時にスキップされました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: アプリケーションが `mountWait` 値を正しく `dsmBeginGetData` で設定していることを検証します。

ANS0280E `dsmtca` モジュールが見つかりません。

説明: IBM Spectrum Protect は、`dsmtca` モジュールを指定されたディレクトリー内に検出することができませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: `dsmtca` モジュールが `DSMI_DIR` によって指定されたディレクトリー内にあることを確認します。

ANS0282E パスワード・ファイルが使用できません。

説明: 指定された *server-name* に関する保管パスワードが含まれるファイルが使用不能です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: `root` ユーザーは新規パスワードの設定および保管をする必要があります。

ANS0283E オブジェクト名の高位修飾子は、ディレクトリー区切り文字で開始しなければなりません。

説明: オブジェクト名の高位修飾子が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: オブジェクト名の高位修飾子はディレクトリー区切り文字で始まっていなければなりません。

ANS0284E `dsmBeginGetData` のオブジェクトの数が `DSM_MAX_GET_OBJ` 1 `DSM_MAX_PARTIAL_GET_OBJ` を超えています。

説明: `dsmBeginGetData` 呼び出しに指定されたオブジェクト数 (`numObjId`) が `DSM_MAX_GET_OBJ` 1 `DSM_MAX_PARTIAL_GET_OBJ` を超えています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: `dsmBeginGetData` を呼び出す前に、オブジェクト数を確認してください。

`DSM_MAX_GET_OBJ` 1

`DSM_MAX_PARTIAL_GET_OBJ` より多い場合は、複数の `Get call` 手順を発行してください。

ANS0285E 更新アクションは無効です。

説明: `dsmUpdateFS` または `dsmUpdateObj` 処置は無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: 処置の値を訂正してください。有効な値は `dsmapi.h` に定義されており、また資料「APIの使用」に記述されています。

ANS0286E キー・ファイルが欠落しています。

説明: Data Protection for Oracle のキー・ファイルが見つかりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: Data Protection for Oracle を注文したことを確認して、キー・ファイルをインストールしてください。

ANS0287E キー・ファイルの内容が無効です。

説明: Data Protection for Oracle のキー・ファイルの内容が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: Data Protection for Oracle を注文したことを確認して、キー・ファイルをインストールしてください。

ANS0296I 暗号鍵パスワードが同じではありません。
再度試行してください...

説明: 暗号鍵パスワードが一致しません。

システムの処置: 暗号鍵パスワードの入力を促すプロンプトが出されます。

ユーザーの処置: 正しい暗号鍵パスワードを入力してください。

ANS0297E 指定したファイルのオープン中のエラー

説明: 指定したファイルが見つからないかあるいはオープンすることができません。

システムの処置: 障害ファイルのオープンを試みます。

ユーザーの処置: ファイルが存在していることを確認してください。

ANS0298E セッションはリジェクトされました。指定されたユーザー ID が現在ロックされています。

説明: 指定されたユーザー ID は現在サーバー上でロックされています。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: ユーザー ID がロックされている理由について、システム管理者に問い合わせてください。

ANS0299E **MANAGEDSERVICES** オプションの値が **SCHEDULE** なので、スケジューラーを手動で開始することができません。

説明: **MANAGEDSERVICES SCHEDULE** がオプション・ファイルにある場合、IBM Spectrum Protect スケジューラーは、従来の方法では開始できません。

システムの処置: スケジューラーは停止しました。

ユーザーの処置: **dsmcad** を使用してスケジュールを管理する予定ではない場合、**dsmcad** を停止して、オプション・ファイルから **MANAGEDSERVICES** オプションを取り除いてください。

ANS0302I 正常に実行されました。

説明: 操作が正常に完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS0304E パスワードが短すぎます。

説明: 新規パスワードの文字数が不十分です。

システムの処置: サーバーのパスワードは更新されません。

ユーザーの処置: 別のパスワードを選択してください。パスワード要件については、IBM Spectrum Protect 管理者にお問い合わせください。

ANS0305E 前回のパスワード更新から十分な時間が経過していないため、パスワードを更新できません。

説明: 前回パスワードを更新してからまだあまり時間が経過していないため、パスワードを変更できません。

システムの処置: サーバーのパスワードは更新されません。

ユーザーの処置: 後で、パスワードの変更に再試行してください。

ANS0306E このパスワードは、以前に使用されたものです。

説明: 入力された新規パスワードは以前に使用されました。

システムの処置: サーバーのパスワードは更新されません。

ユーザーの処置: 別のパスワードを選択してください。

ANS0307E パスワードが要件を満たしていません。

説明: 入力された新規パスワードは、特殊文字や数字の数などの要件を満たしていません。

システムの処置: サーバーのパスワードは更新されません。

ユーザーの処置: 別のパスワードを選択してください。パスワード要件については、IBM Spectrum Protect 管理者にお問い合わせください。

ANS0308E *obj-name* に対して、リモート操作が開始できませんでした。状況: *status* 理由: *reason*

説明: リモート操作の開始要求が、メッセージに示されているノードおよびファイル・スペースで失敗しました。状況および失敗の理由が示されます。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS0309E *obj-name* に対して、リモート操作が開始できませんでした。状況: *status*

説明: リモート操作の開始要求が、メッセージに示されているノードおよびファイル・スペースで失敗しました。失敗の状況が示されています。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS0311E *tsmBuffHandle* が無効か、*dataPtr* の値が無効です。

説明: ハンドルまたは *dataPtr* には無効な値が API に渡されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: アプリケーションの呼び出しに問題があります。API に渡された *tsmBuffHandle* および *dataptr* の値を確認してください。

ANS0312E *tsmBuffer* にコピーされたバイト数が許可値よりも大きくなっています。

説明: 無効なバイト数が *tsmBuffer* にコピーされました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: アプリケーションの呼び出しに問題があります。*tsmBuffer* にコピーされたバイト数を確認してください。

ANS0313E アプリケーションが 1 つ以上の *tsmBuffer* を保留しているので、*dsmTerminate* を終了できません。

説明: アプリケーションはセッションを終了させようとしています、いくつかの *tsmBuffer* を保留し続けています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: アプリケーションは、*tsmReleaseBuffer* を呼び出してこのセッションのすべてのバッファを戻し、*dsmTerminate* を発行する必要があります。

ANS0314E *tsmBuffer* 配列で内部エラーが発生しました。

説明: 内部 API バッファ配列エラーが発生しました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が継続する場合は、システム管理者またはサービス技術員に連絡してください。

ANS0315E メッセージ・テキスト・ファイルをオープンできません。

説明: システムがメッセージ・テキスト・ファイル (*dscenu.txt*、または AIX の場合は *dsmclientV3.cat*) をオープンすることができません。AS/400 プラットフォームでは、このファイルは QANSAPI/QAANSENU (TXT) です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: DSMI_DIR によって指されているディレクトリ内に *dscenu.txt* ファイルがあることを検証します。AIX の場合、*dsmclientV3.cat* ファイルが */usr/lib/nls/msg/<locale>/dsmclientV3.cat* へのシンボリック・リンクを持っていることを確認してください。

ANS0316E メッセージ・テキスト・ファイルを使用できません。

説明: システムが、無効なヘッダーのためにメッセージ・テキスト・ファイル (*dscenu.txt*、または AIX の場合は *dsmclientV3.cat*) を使用することができません。AS/400 プラットフォームでは、このファイルは QANSAPI/QAANSENU (TXT) です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: メッセージ・テキスト・ファイルを再インストールします。

ANS0317E メッセージ・テキスト・ファイルを使用することができません。

説明: システムが、無効な制御レコードのためにメッセージ・テキスト・ファイル (*dscenu.txt*、または AIX の場合は *dsmclientV3.cat*) を使用することができません。AS/400 プラットフォームでは、このファイルは QANSAPI/QAANSENU (TXT) です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: メッセージ・テキスト・ファイルを再びインストールします。

ANS0318E **DATEFORMAT** に無効な値が指定されました。

説明: 無効な値が **DATEFORMAT** について指定されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

ANS0319E **TIMEFORMAT** に無効な値が指定されました。

説明: 無効な値が **TIMEFORMAT** について指定されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

ANS0320E **NUMBERFORMAT** に無効な値が指定されました。

説明: 無効な値が **NUMBERFORMAT** について指定されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

ANS0321E **dsmRCMsg** の **msg** パラメーターが **NULL** ポインターです。

説明: **dsmRCMsg** のメッセージ・パラメーターは **NULL** ポインターです。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 十分なスペースをメッセージ・パラメーターに割り当てます。

ANS0322E この戻りコードで使用可能なテキストはありません。

説明: **dsmRCMsg** の **dsmRC** パラメーターが無効な戻りコードです。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

ANS0323E 部分オブジェクト・リトリーブに対する **partialObjOffset** 値が無効です。

説明: 部分オブジェクト・リトリーブの **partialObjOffset** 値が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

ANS0324E 部分オブジェクト・リトリーブの **partialObjLength** 値が無効です。

説明: 部分オブジェクト・リトリーブに対する **partialObjLength** 値が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

ANS0325E 部分オブジェクト・リトリーブは、このサーバーではサポートされていません。

説明: ユーザーによって指定された **IBM Spectrum Protect** サーバーは、部分オブジェクト・リトリーブをサポートしません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 部分オブジェクト・リトリーブ機能をサポートする **IBM Spectrum Protect** サーバーを指定します。

ANS0326E このノードは、マウント・ポイントの最大数を超えました。

説明: テープまたは順次ディスク・マウント・ポイントのいずれかがこの操作を許可されていないか、あるいはマウント・ポイントの許容最大数が既に使用されています。操作は完了できません。 **IBM Spectrum Protect** 管理者は、ユーザーのノード定義の **MAXNUMMP** プロパティでマウント・ポイントの最大数を定義します。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: マウント・ポイントを使用中の他の操作を実行している場合、それらの操作が完了するまで待ってから失敗した操作を再試行してください。それ以外の場合は、**IBM Spectrum Protect** 管理者に連絡して支援を受けてください。

ANS0327E 重複したオブジェクトが見つかったため、操作は完了できません。

説明: 重複したオブジェクトが見つかったため、操作は完了しません。

システムの処置: 要求された操作が失敗しました。

ユーザーの処置: 別のファイル指定で操作を再試行してください。

ANS0328E 指定したオブジェクトが、マージ・テストで失敗しました。

説明: 指定したオブジェクトが、マージ・テストで失敗したため、操作を完了できません。

システムの処置: 要求された操作が失敗しました。

ユーザーの処置: マージ・テスト・パラメーターの資料を参照してください。

ANS0330E `dsmSetAccess access Type` が無効です。

説明: `dsmSetAccess accessType` が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: `accessType` は、以下のいずれかでなければなりません。

`atBackup`
`atArchive`

ANS0331E このファイル名/ファイル・スペースに対して以前にバックアップしているファイルがありません。

説明: ユーザーはファイルへのアクセスを設定しようとしたが、指定のファイル名、ドライブ、またはファイル・システムのファイルが前もってバックアップされていませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいドライブまたはファイル・システムが指定されていること、そしてファイルがユーザーによるアクセスの設定のためにバックアップされていることを確認してください。

ANS0332E このファイル名/ファイル・スペースに関して以前にアーカイブしてあるファイルはありません。

説明: 前にアーカイブされた、指定されたファイル名、ドライブまたはファイル・システムのファイルがないと

きに、ファイルへのアクセスをセットしようとした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいドライブまたはファイル・システムが指定されていること、そしてファイルがユーザーによるアクセスの設定のためにアーカイブされていることを確認してください。

ANS0333E リモート・ムーバー・タイプが不明です。

説明: 指定されたリモート・ムーバー・タイプが不明です。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS0334E 要求されたノードおよびファイル・スペースに関する操作は既に進行中です。

説明: データ・ムーバーを使用して、メッセージに示されているノードおよびファイル・スペースに関する操作を実行する要求がなされました。しかし、このノードおよびファイル・スペースに関する操作は既に進行中であり、新規操作は実行できません。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 後に操作を再試行します。

ANS0335E システム・リソースが使用中です。

説明: 必要とされたリソースは、別のコマンドまたは処理により使用中です。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 後に操作を再試行します。

ANS0336E サーバー・プラグイン通信エラー

説明: サーバー・プラグイン・モジュールと NAS filer の間の通信が失敗しました。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS0337E サーバー・プラグインがサポートされていない NAS filer オペレーティング・システムを検出しました。

説明: プラグイン・モジュールが、NAS ファイラーでサポートされていないオペレーティング・システムある

いはオペレーティング・システム・レベルが稼働していることを検出しました。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS0338E 無効な操作がノードに対して試みられました。

説明: この操作は無効です。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS0339E 指定されたターゲット・ストレージ・プールは定義されていません。

説明: ストレージ・プールが定義されていない。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS0340E ターゲット・ストレージ・プールに、示されているノード・タイプに対応する正しいデータ・フォーマットがありません。

説明: なし

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS0341E 示されているノードに対して、関連するデータ・ムーバーが定義されていません。

説明: なし

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS0342E サーバーから受信した CRC がクライアントの計算した CRC に一致しません。

説明: サーバーは、バッファの CRC を送信しました。クライアントは、同じバッファの CRC を計算しました。その両者が一致しませんでした。この不一致は、通信障害を示します。

システムの処置: 一部の事例では、クライアントがサーバーに障害を示し、操作を再試行できる場合もあります。

ユーザーの処置: 追加情報がないかトレース・ログをチェックし、操作を再試行します。問題が続く場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS0343E 無効な操作がグループ・リーダーまたはグループ・メンバーに対して試みられました。

説明: 無効な操作が論理グループに対して試みられました。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: 有効な操作を再試行します。

ANS0344E ゼロ・バイトの **sizeEstimate** でデータを送信することはできません。

説明: オブジェクトに関するデータをサイズ見積もり = 0 で送信することはできません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サイズ見積もりを **dsmSendObj** で 0 より大に設定してください。

ANS0345E リモート・ディスクが定義されていません。

説明: 定義されていないリモート・ディスクに対して何らかの操作の実行を試みました。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: 適切なリモート・ディスクを定義してください。

ANS0346E 予測される宛先と入力宛先とが一致していません。

説明: 入力宛先が予測される宛先と一致していません。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: 適切な宛先を使用して、操作を再試行してください。

ANS0347E データ・ムーバーが利用できません。

説明: データ・ムーバーが利用できません。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: 適切なデータ・ムーバーで操作を再試行してください。

ANS0348E コピー続行オプションが **NO** に設定されているために操作に失敗しました。

説明: コピー続行オプションが **NO** に設定されているため、操作が失敗しました。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: この異常終了コードは、コピー続行オプションが **NO** に設定されていることが原因でバックアップやアーカイブといった保管操作に失敗したことを示しています。システム管理者はサーバー側でこの問題を解決する必要があります。

ANS0349E 保管操作中に問題が発生したためトランザクションに失敗しました。

説明: 保管操作中に問題が発生したため、トランザクションが失敗しました。このエラーが発生しやすいのは、次のストレージ・プールに別のコピー・ストレージ・プール・リストが入っている場合なので、弊社ではトランザクションの途中でこのプールに切り替えています。

システムの処置: トランザクションが異常終了しました。

ユーザーの処置: 別個のトランザクションでオブジェクトを再送してください。

ANS0350E 現在のクライアント構成は、このノードの **DATAWRITEPATH** または **DATAREADPATH** サーバー・オプションの値に適合していません。

説明: **DATAWRITEPATH** および **DATAREADPATH** サーバー・オプションの値は、クライアントのデータ送信先およびデータ読み取り元を指定します。指定されたノード名の値は、クライアント構成に対応させてください。このエラー・メッセージを受け取るのは、例えば **DATAWRITEPATH** に **LAN** 値が含まれているときにクライアントが **LAN** フリー・プロトコルを使用する構成になっている場合、またはその逆の場合です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント、サーバー、およびストレージ・エージェントのログを検査して、クライアントが **LAN** フリーでデータを送信できなかった理由を調べてください。クライアント構成とサーバー・オプションに互換性があることを確認してください。

ANS0351E ノードまたはユーザーは、この操作を行う正しい権限を持っていません。

説明: ノードまたはユーザーは、この操作を行う正しい権限を持っていません。

システムの処置: トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 指定されたオブジェクトの権限を調べてください。

ANS0352E 操作は、サーバー・ライセンス値のために許可されていません。

説明: ノードまたはユーザーは、ライセンス値を超えるか、またはライセンス交付を受けていないかのいずれかの操作を実行しようとしています。

システムの処置: セッションが拒否されるか、トランザクションが取り消され、現行の操作は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS0353E **useTsmBuffers** を使用する場合、**dsmSendObj** および **dsmGetObj** への呼び出しのときには、**dataBlk** を **NULL** にする必要があります。

説明: **useTsmBuffers** を使用する場合は、**dataBlk** の値を **NULL** にする必要があります。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: アプリケーションの呼び出しに問題があります。アプリケーションの提供者にお問い合わせください。

ANS0354E **useTsmBuffers** を使用する場合は、暗号化が許可されていません。

説明: **useTsmBuffers** は暗号化をサポートしていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **useTsmBuffers** を使用せずに操作を再試行するか、この操作の暗号化を使用不可に設定してください。

ANS0355E このオブジェクトは圧縮されているので、**useTsmBuffers** を使用してリストアまたはリトリブできません。

説明: **useTsmBuffers** は圧縮をサポートしていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **useTsmBuffers** を使用せずに操作を再試行してください。

ANS0356E このオブジェクトは暗号化されているので、**useTsmBuffers** を使用してリストアまたはリトリブできません。

説明: **useTsmBuffers** は暗号化をサポートしていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **useTsmBuffers** を使用せずに操作を再試行してください。

ANS0357E **useTsmBuffers** を使用する場合は、部分オブジェクト・リストアによるリストアまたはリトリブが許可されていません。

説明: **useTsmBuffers** は、部分オブジェクト・リストアをサポートしていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 呼び出しアプリケーションが部分オブジェクト・リストアまたは **useTsmBuffers** のいずれかを使用していることを確認してください。

ANS0358E 暗号鍵が見つかりませんでした。
-encryptkey=prompt を使用している場合は、**encryptionPasswordP** フィールドに値があり、**bEncryptKeyEnabled** に **True** が設定されていることを確認してください。

説明: パスワード・ファイルに暗号鍵が見つからなかったか、アプリケーションによってキーが提供されませんでした。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **-encryptkey=prompt** を使用している場合は、**encryptionPasswordP** に値があり、**bEncryptKeyEnabled** に **True** が設定されていることを確認してください。

ANS0359E 競合する暗号鍵のオプションが指定されています。

説明: **ENABLEENCRYPTKEY** オプションを使用している場合は、**IBM Spectrum Protect API dsmlInitExIn_t** および **tsmInitExIn_t** 構造のパラメーター **bEncryptKeyEnabled** を **bTrue** に設定することはできません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: オプション・ファイルから **ENABLEENCRYPTKEY** オプションを除去するか、**IBM Spectrum Protect API** を使用して、プログラム内のパラメーター **bEncryptKeyEnabled** に **bFalse** を設定してください。

ANS0360E **MANAGEDSERVICES** オプションの値が **NONE** であるため、クライアント・アクセプターを開始できません。

説明: オプション・ファイルに **MANAGEDSERVICES NONE** が設定されている場合は、クライアント・アクセプターは開始されません。クライアント・アクセプターは **Web** クライアントまたは **IBM Spectrum Protect** のスケジュールを管理するように設計されています。**NONE** を指定すると、クライアント・アクセプターはサービスを管理しません。

システムの処置: クライアント・アクセプターは処理を停止します。

ユーザーの処置: オプション・ファイルで **MANAGEDSERVICES** オプションに **WEBCLIENT** または **SCHEDULER** を指定してから、クライアント・アクセプターを再始動してください。

ANS0361I **DIAG:**

説明: メッセージ・テキストが、診断のために提供されますが、これは **IBM** サポートの問題判別用の情報を提供することになります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS0362E このコマンドを処理するのに十分な **Windows** システム・リソースがありません。

説明: この問題は、共有ディレクトリーのバックアップ中に発生する可能性があります。最も考えられる理由は、共有ディレクトリーをホストしているコンピューター上の「**IRPStackSize**」設定が小さすぎることです。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: 共有ディレクトリーをホストしているコンピューター上の **Windows** イベント・ビューアーで、イベント ID 2011 がないかを確認します。このイベントは、構成パラメーター **IRPStackSize** が小さすぎることを示します。**IRPStackSize** は、**Windows** レジストリー・キー **HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥services¥LanmanServer¥Parameters** にあるタイプ **DWORD** の設定です。**IRPStackSize** の値が 20 未満の場合、あるいは **IRPStackSize** が指定さ

れていない場合は、値を 20 に設定してシステムを再始動し、操作を再試行してください。デフォルトの IRPStackSize 値は 15 です。重要: Windows レジストリを変更する前や、IRPStackSize 値を 20 に変更しても問題が解決されない場合は、Windows システム管理者に相談してください。

ANS0400E ライセンス・ファイルをオープンできません。

説明: ライセンス・ファイルが見つからないか、あるいは許可の関係でオープンできなかったか、またはファイルが壊されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を確認してください。ライセンス・ファイルが正しい場所にあるかどうか確認してください。

ANS0401E ライセンス・ファイルで読み取り障害。

説明: ライセンス・ファイルが見つからないか、あるいは許可されていないためオープンできなかったか、またはそのファイルが壊されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を確認してください。ライセンス・ファイルが正しい場所にあるかどうか確認してください。

ANS0402E ライセンス・ファイルで書き込み障害。

説明: ライセンス・ファイルが見つからないか、あるいは許可の関係でオープンできなかったか、またはファイルが壊されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を確認してください。ライセンス・ファイルが正しい場所にあるかどうか調べてください。

ANS0403E ライセンス・ファイル中のデータが正しいフォーマットになっていません。

説明: このライセンス・ファイルは無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ユーザーは新規ライセンスを入手する必要があります。

ANS0404E ライセンス・ファイル中のチェックサムがライセンス登録ストリングと一致しません。

説明: 登録のストリングが無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ユーザーは新規ライセンスを入手する必要があります。

ANS0405E この試行は有効期限切れです。ライセンスを購入してください。

説明: 登録のストリングが無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ユーザーは新規ライセンスを入手する必要があります。

ANS0420W 警告！非活動システム状態のオブジェクトのリストアは推奨されていません。
続行しますか。

説明: 非活動システム状態のオブジェクトにより、システムが不安定になる可能性があります。以下のような問題例があります。

- システム状態をバックアップした時刻以後にインストールされたアプリケーションが、非活動システム状態のリストア後に正常に動作しなくなります。
- 非活動システム状態のバックアップを行った後にインストールされた重大なオペレーティング・システム更新が使用できなくなるか、正常に動作しなくなります。

非活動システム状態のオブジェクトのリストアは、その必要性が確実でない限り推奨されていません。

システムの処置: Yes で応答すると、クライアントはオブジェクトをリストアします。No で応答すると、クライアントはこの操作を取り消します。

ユーザーの処置: プロンプトに応答してください。不確実な場合は No で応答し、システム管理者またはオペレーティング・システムのベンダーに相談してから次の操作を行ってください。

ANS0421W ノード・パスワードと指定された ユーザー ID パスワードが同期化できません。

説明: これの前のエラー・メッセージに説明されている理由により、ノード・パスワードが更新できませんでした。

システムの処置: サーバー上でノード・パスワードが更新されません。次にクライアントを実行するときに、再びパスワードを求めるプロンプトが出されます。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを参照してください。

ANS0422W 選択したジャーナルのロケーションはネットワーク・ドライブであり、ジャーナル・サービスからアクセスできない可能性があります。ローカル・ドライブ上のロケーションを選択してください。

説明: ジャーナル・データベースを格納するロケーションとしてネットワーク・デバイスを使用することは推奨されていません。ネットワーク・デバイスにジャーナル・データベースを置くと、ジャーナル・サービスが実行されない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ジャーナル・データベースを格納する場所として、ローカル・ドライブを選択してください。

ANS0423E ディレクトリー '*filepath-namefile-name*' を作成できません。パスが存在しません。

説明: IBM Spectrum Protect が自動システム回復 (ASR) に必要なディレクトリーを作成しようとした時に、オペレーティング・システムが「パスが見つからない」状況を返しました。1 つの原因として、マルチディスク・システムが単一ディスク・システムにリストアされていることが考えられます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 同一ハードウェアにリストアしていることを確認し、再試行してください。

ANS0649E ボリューム *volume-name* のディスク・プロバイダーは、**snap of a snap** 機能をサポートしません。

説明: **snap of a snap** 機能は、SVC システムと Storwize システムでのみ使用できます。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: データ保護構成ファイルで USESNAPOFASNAPTOMOUNT オプションを No にリセットし、MOUNTRW=Yes を設定して読み取り/書き込みバックアップをマウントします。

ANS0990W オプション・ファイル '*file-name*' が見つかりません。デフォルトのオプション値が使用されます。

説明: この警告が出される一般的な理由は次のとおりです。

- デフォルト・オプション・ファイルが存在しない
- IBM Spectrum Protect クライアントを開始するときに -OPTFILE オプションを指定しなかった
- 環境変数 DSM_CONFIG が設定されていない

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、すべてのクライアント・オプションにデフォルトが設定されていると見なし、デフォルト・サーバー名と、*dsm.sys* ファイルにある関連オプションを使用して処理を続行します。

ユーザーの処置: デフォルトのシステム・アクションを受け入れることが可能である場合は、インストール・ディレクトリーに空の *dsm.opt* ファイルを作成して、このメッセージを除去することができます。

クライアント・ユーザー・オプション・ファイル (*dsm.opt*) がある場合は、そのファイルをインストール・ディレクトリーに入れるか、あるいは DSM_CONFIG 環境変数をそのオプション・ファイルの完全修飾パスおよびファイル名に設定してください。

IBM Spectrum Protect を構成する情報を、ご使用のオペレーティング・システム固有の IBM Spectrum Protect クライアント・マニュアルで確認してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して支援を受けてください。

ANS0991I IBM Spectrum Protect スケジューラーは、サーバー要求をポート *port number* で **listen** しています

説明: このメッセージは、クライアントがサーバー要求を **listen** しているポート番号を示します。メッセージのポート番号が、デフォルト値または **TCPCLIENTPORT** オプションで指定した値と異なる場合は、ポートが別のプロセスで使用されていたことによります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常、これ以上の処置は不要です。特定のポート番号を使用する必要がある場合は、その番号が使用可能になるようにシステムまたはアプリケーションを構成する必要があります。IBM Spectrum Protect クライアントを再始動して、望みのポートが使用されることを確認してください。

ANS0992E 宛先ファイル・スペースまたはドライブ名が使用できません。詳しくは **dsmererror.log** を参照してください。

説明: システムは、到達できない宛先にリストアまたはリトリブしようとしてしました。指定したファイル・スペース名またはドライブ名が無効か、存在しないか、あるいは解決できないローカル共用名を指定しています。

システムの処置: このファイル・スペースの一部となっているオブジェクトは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドを再試行し、処理されなかったオブジェクトに別の宛先を指定してください。

ANS0993E ソース仕様「source」のフォーマットが無効です。

説明: ファイル・システムは中括弧で囲む必要があり、ワイルドカードは下位レベル以外には使用できません。

システムの処置: コマンド処理は終了します。

ユーザーの処置: 仕様を訂正して、コマンドを再試行してください。

ANS0994E 仮想ファイル・スペース名またはグループ名の指定のストリング「string」は無効です。

説明: 入力した仮想ファイル・スペース名またはグループ名の指定には、ワイルドカード文字が含まれていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しい仮想ファイル・スペース名とグループ名を入力して、再試行してください。pick オプションを使用してグループのリストを表示し、そこからグループを 1 つ選択することができます。

ANS0995E ボリューム「volume-name」がロックできませんでした。

説明: ボリュームをロックするためのシステム呼び出しが失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 他のアプリケーションがボリュームにアクセスしていないことを確認してください。イメージのリストア時には、IBM Spectrum Protect にボリュームの排他使用ができる必要があります。

ANS1000E サポートされない通信方式が指定されました。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ご使用のオペレーティング・システムの IBM Spectrum Protect クライアントによってサポートされる通信インターフェースを指定してください。IBM Spectrum Protect クライアント通信の構成については、ご使用のオペレーティング・システムの IBM Spectrum Protect クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS1001E バックアップしようとしているボリュームが、システム・ボリュームではありませんでした。スキップしました。

説明: ユーザーはシステム・ボリュームのみをバックアップすることを指定しました。このボリュームは、システム・ボリュームではないためバックアップされませんでした。

システムの処置: ボリュームは、バックアップされませんでした。

ユーザーの処置: このボリュームをバックアップするには、すべてのオプションを使うか、イメージ・バックアップ・コマンドを使ってください。

ANS1002I MOS イメージを作成しています。しばらくかかります。

説明: ミニ・オペレーティング・システム・イメージを作成しています。作成するにはしばらくかかります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1004W ノードのテープ・マウントの最大許容数を超えました。「filespace-name」についての操作は、後で再試行されます。

説明: ノードのテープ・マウントの最大許容数を超えました。操作は、後で再試行されます。

システムの処置: 操作は再試行されます。

ユーザーの処置: この状況が再現しないようにするために、サーバー上のこのノードについて許可されるテープ・マウントの数を増やしてください。

ANS1005I ソケット = *socket-id*、エラー番号 = *error-code*、理由: *error-reason* で TCP/IP 読み取りエラーです。

説明: TCP/IP 接続を使用してデータを受信する試みは失敗しました。理由が「ピアによる接続のリセット」である場合は、サーバー制御接続時間がタイムアウトになった可能性があります。このことが発生する可能性があるのは、ファイル転送時間がサーバーで設定された IDLETIMEOUT 値より大きい場合です。

システムの処置: サーバーへの TCP/IP 接続が失敗します。

ユーザーの処置: タイムアウトの原因がファイル転送時間が大きかったことにある場合は、このメッセージは無視できます。クライアントは自動的にサーバーと再接続し、データの転送を完了して、統計を送信します。サーバー・オプション・ファイルの IDLETIMEOUT 値を大きくすることを考慮してもかまいません。

ANS1006I ソケット = *socket-id*、エラー番号 = *error-code*、理由: *error-reason* で TCP/IP 書き込みエラーです。

説明: TCP/IP 接続を使用してデータを送信する試みは失敗しました。

システムの処置: サーバーへの接続は失敗します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS1007E オブジェクト '*object-nameobject-nameobject-name*' の送信が失敗しました。 バックアップ・コピー・グループがありません。

説明: このファイル (*object-name*) の管理クラスにはバックアップ・コピー・グループがありません。デフォルト管理クラスにはバックアップ・コピー・グループがないか、INCLUDE 文がバックアップ・コピー・グループを持たない管理クラスにファイルのバインドを試みているかのどちらかです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルをバックアップしていません。

ユーザーの処置: DSMC QUERY MGMTCLASS -DETAIL を実行して、使用可能な管理クラスの情報を表示してください。

- そのファイルがデフォルト管理クラスにバインドされている場合は、その管理クラスにバックアップ・コピー・グループがあることを確認してください。

- そのファイルが INCLUDE 文で指定された管理クラスにバインドされている場合は、その管理クラスにバックアップ・コピー・グループがあることを確認してください。
- 複数の IBM Spectrum Protect サーバーがある場合は、正しいサーバーに接続していることを確認してください。
- 適切な管理クラスを検出できない場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1008E オブジェクト '*object-nameobject-nameobject-name*' の送信が失敗しました: アーカイブ・コピー・グループがありません

説明: このファイル (*object-name*) の管理クラスには、指定されたアーカイブ・コピー・グループがありませんでした。

システムの処置: ファイルをバックアップできませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1009W オペレーティング・システムの包含/除外ステートメントの処理中にエラーが発生しました。
このエラーは *subsystemname* の処理中に検出されました。

説明: クライアントが、オペレーティング・システムからの自動包含/除外ステートメントの取得中にエラーを検出しました。このエラーについて考えられる理由には以下のものがあります。

- 指定されたレジストリー・キーをオープンして読み取ることができない
- このキーの下に項目に正しくないデータがある

システムの処置: オペレーティング・システムの包含/除外ステートメントの完全なリストなしで処理を続行します。

ユーザーの処置: 指定したレジストリー・キーへのアクセス権限を持っていること、およびキーの項目が以下のものを含む MULTISZ 値であることを確認してください。

- 個別ファイル
- ディレクトリー
- ワイルドカード項目
- 環境変数

- /s スイッチ (/s はディレクトリー項目またはワイルドカード項目 (またはその両方) に使用され、このディレクトリーのすべてのサブディレクトリーを除外することを示します)

このメッセージの原因を判別または解決できない場合は、援助を求めるために IBM テクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1010E 'filespace-name' の処理中にエラーが発生しました。サポートされないファイル・システム操作です。

説明: ファイル・システムでは、ファイルまたはディレクトリーを処理するために必要な操作がサポートされていません。

システムの処置: ファイルまたはディレクトリーはスキップされます。発生した具体的なエラーによっては、Solaris クライアント上での処理が停止する場合があります。

ユーザーの処置: ファイル・システムが IBM Spectrum Protect クライアントでサポートされていることを確認してください。リストアまたはリトリブが失敗した場合、別の位置に対して操作を再試行してください。この問題が続く場合は、システム問題のその他の指示を探してください。ファイル・システムの不整合を検査して修復するオペレーティング・システム・ユーティリティーを実行する必要がある場合があります。それでも問題が解決しない場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1015E セッションはリジェクトされました。サーバーは、アーカイブ保存保護が使用可能になっていないクライアントのサインオンを許可していません。

説明: サーバーのアーカイブ保存保護が使用可能でも、クライアントでは使用不可なので、クライアントはサーバーへの接続を確立できません。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1016I 「pathname」と一致する適格なファイルは検出されませんでした。

説明: バックアップまたはアーカイブ操作は完了しましたが、ファイルは処理されませんでした。考えられる理由は次のとおりです。

バックアップまたはアーカイブの対象としたディレクトリーにファイルがない

ファイルがバックアップまたはアーカイブから除外されている

システムの処置: なし

ユーザーの処置: 入力したパスを検査してください。

ANS1017E セッションはリジェクトされました。
TCP/IP 接続障害。

説明: TCP/IP 通信を使用したサーバーとの接続の試みが失敗しました。これは、クライアント・オプション・ファイルの TCP/IP オプションの不正な設定による場合があります。このエラーは、LAN 接続がダウンした場合、あるいはシステム管理者がバックアップ操作を取り消した場合にも発生する可能性があります。

システムの処置: セッションはリジェクトされました。処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行するか、あるいはサーバーがバックアップされるのを待ち、その後操作を再試行してください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS1018E ポート *port number* は既に使用されています

説明: TCPCLIENTPORT オプションによって指定されたポートは別のプロセスによって使用されています。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: サーバー管理者に連絡し、サーバー開始接続に別のポートをセットアップしてください。その新しいポート番号に TCPCLIENTPORT を更新してください。

ANS1019E ボリュームをオープンできませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect がバックアップまたはリストア操作のためにボリュームをオープンしようとしたときにエラーが発生しました。

システムの処置: 要求された操作は実行されません。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、このエラーに関連している追加のメッセージがないか確認してください。ボリュームが使用可能であり、他のプロセスによってロックされていないことを確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1020E システム・オブジェクト・バックアップが失敗しました。

説明: Windows システム・オブジェクト・ファイルのバックアップ中にエラーが起きました。バックアップは完了しませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: システム管理者にエラー・ログの検査を依頼してください。エラー・ログに示されるシステム・オブジェクトに関連した Windows サービスを再始動し、バックアップ操作を再試行してください。

ANS1021E システム・オブジェクトのリストアが失敗しました。

説明: Windows システム・オブジェクト・ファイルのリストア中にエラーが起きました。リストアは完了しませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: システム管理者にエラー・ログの検査を依頼してください。マシンを再始動し、エラー・ログに示されるシステム・オブジェクトを再度リストアしてください。

ANS1022E ノード: *node-name* ファイル・システム: *fs-name* 操作: *op-type* エラー: *error* の取り消しが失敗しました。

説明: リモート操作の取り消し要求が失敗しました。ノード、ファイル・スペース、操作、および失敗の理由が示されます。

システムの処置: 操作は取り消されません。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS1023E セッションはリジェクトされました。ノード・タイプの不一致。

説明: ノード名は、異なるタイプのオペレーティング・システムに関連しており、このシステムでは使用できません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 新規ノード名が必要な場合は、その割り当てをシステム管理者に依頼してください。一般的には、サーバーへのアクセスが必要な各マシンとオペレーティング・システムのペアには、固有のノード名があります。

ANS1024E サーバー上の
'*file_space_namepath_namefile_name*' の
'*backup_type*' バックアップに関するバックアップ属性の更新に失敗しました。オブジェクト ID '*object_id:object_id*' 戻りコード '*return code*'。

説明: サーバー上の指定されたバックアップ・オブジェクトの属性の更新に失敗しました。サーバーは、バックアップの正しい状態を反映していない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、エラー・ログの前のエラー・メッセージを調べてください。操作を再試行してください。問題が続いて起こる場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1025E セッションはリジェクトされました。認証障害。

説明: Authentication failure.間違ったパスワードが入力されました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを入力します。正しいパスワードを思い出せない場合は、ノード名に対する新規パスワードの割り当てをシステム管理者に依頼してください。

ANS1026E セッションはリジェクトされます。通信プロトコル・エラーがありました。

説明: クライアントが予期しないネットワーク・メッセージを受信しました。この原因は、おそらく、ネットワークに問題があったかプログラミング・エラーがあったからです。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 通信パスが正しく機能しているかを確認して、操作を再試行してください。問題が続く場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1028S 内部プログラム・エラーが発生しました。

説明: 予期しない状態が検出されたため、操作を続行できません。これはプログラミング・エラーである可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM Spectrum

Protect 管理者が IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1029E IBM Spectrum Protect サーバーとの通信が失われています。

説明: このメッセージは、IBM Spectrum Protect サーバーとのセッションが予期しないで失われた後で発行されます。クライアントのエラー・ログに、この問題に関する追加情報が含まれることがあります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置:

- IBM Spectrum Protect クライアントを再始動して、操作をやり直してください。
- 問題が続く場合には、クライアントのエラー・ログにこの問題に関する他のメッセージがないかどうか確認してください。
- IBM Spectrum Protect クライアント・マシンと IBM Spectrum Protect サーバー・マシンの間にネットワーク接続があることを確認してください。
- さらに援助が必要な場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。IBM Spectrum Protect 管理者は、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティ・ログによってこの問題の追加情報を検討します。

ANS1030E オペレーティング・システムが、メモリー割り振りの要求を拒否しました。

説明: 処理を進める際に情報を保管するために、メモリーへのアクセスが要求されました。この場合は、オペレーティング・システムが割り振れる以上のメモリーが要求されています。考えられる理由は次のとおりです。

システムのメモリーが少なくなっています。

プログラムが実行するプロセスが、割り当て可能な最大のメモリーを超えました。

なんらかのエラー条件が発生したため、プログラムがメモリー不足と認識しています。

システムの処置: 要求された操作を完了できません。

ユーザーの処置: 不要なアプリケーションをすべてクローズし、操作を再試行してください。それでも操作が失敗する場合は、タスクをいくつかの小さい単位に分割してみてください。例えば、ファイル指定に高位のディレクトリーが含まれる場合、各ディレクトリーごとに順番に IBM Spectrum Protect のタスクを実行してください。IBM Spectrum Protect タスクが増分バックアップの場合、オプション "-memoryefficientbackup=yes" を使用してください。

リソース限度をサポートする UNIX システムでは、次

のコマンドを入力してメモリーのリソース限度が小さすぎるかどうかをチェックしてください。 `ulimit -a`

得られたデータに基づいて、UNIX システムのルート・ユーザーに現在の省略時値を指定変更してリソース限度を大きくするように依頼することができます。UNIX システムの root ユーザーにはリソース限度を大きくする権限があります。

ANS1031E TCP/IP 接続を確立しようとしたが、接続が行なわれる前にタイムアウトとなりました。

説明: 接続試行のオブジェクトが割り当てられた待ち時間以内に応答できませんでした。B/A クライアントの場合、`dsmmerror.log` ではこのメッセージの前に ANS5216E メッセージが表示され、失敗した接続の詳細が示されます。この状態は一時的なものです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置:

- IBM Spectrum Protect クライアントを再始動して、操作をやり直してください。
- クライアント・オプション・ファイルを確認して、`TCPSERVERADDRESS` および `TCPPORT` が IBM Spectrum Protect サーバーの正しい TCP/IP アドレスとポート番号を指定していることを確認してください。
- IBM Spectrum Protect クライアント・マシンと IBM Spectrum Protect サーバー・マシンの間にネットワーク接続があることを確認してください。
- 問題が続く場合には、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1032E TCP/IP 接続の確率の試みは、ホストによってリジェクトされました

説明: TCP/IP 接続確立の試みは、サーバーによってリジェクトされました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: サーバーが十分に初期化されていないか、現在稼働されていないか、TCP/IP 通信のために使用可能となっていないか、あるいは誤りのある TCP/IP ポート番号が指定されています。問題が解決されない場合は、システム管理者にご相談ください。

ANS1033E 無効な TCP/IP アドレスが指定されました。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントの `TCPSERVERADDRESS` 設定で指定されている TCP/IP アドレスをネットワークで検出できません。このエラ

一の一般的な理由は次の通りです。

- TCPSERVERADDRESS クライアント・オプションが IBM Spectrum Protect サーバーに対する TCP/IP アドレスを誤って指定しています。
- IBM Spectrum Protect サーバーをホストするマシンがネットワーク上にありません。
- ネットワークの問題があるために、IBM Spectrum Protect クライアントが IBM Spectrum Protect サーバーをホストするマシンを検出できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: TCPSERVERADDRESS および TCPPORT の設定が、ご使用の IBM Spectrum Protect サーバーに適切な値になっていることを確認してください。オペレーティング・システムの PING (または同様の) ユーティリティを使用して、ご使用のマシンからネットワーク内の IBM Spectrum Protect サーバーをホストするマシンの場所を探索できることを確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して支援を受けてください。

ANS1034E 指定された TCP/IP ホスト名は到達不能です。

説明: TCPSERVERADDRESS ステートメント内で指定された TCP/IP ホスト名に到達することができません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: オプション・ファイルを検査し、TCPSERVERADDRESS ステートメントが正しいかどうか調べます。管理者にサーバーの名前を問い合わせてください。

ANS1035S オプション・ファイル 'file-name' が見つからなかったか、読み取れません。

説明: このエラーの一般的な理由は次の通りです。

- デフォルト・オプション・ファイルが存在していません。
- IBM Spectrum Protect クライアントを開始するときに -OPTFILE オプションを指定しましたが、準備したオプション・ファイルが存在しません。
- DSM_CONFIG (IBM Spectrum Protect API を使用している場合は DSMI_CONFIG) 環境変数が、存在しないオプション・ファイルを指定しています。
- IBM Spectrum Protect クライアントを開始するときに -OPTFILE オプションを指定しましたが、指定したオプション・ファイルがシステムの標準ファイル・

エンコードではありません。例えば、Windows に必要なファイル・エンコードは ANSI です。

- IBM Spectrum Protect クライアントを開始するときに -OPTFILE オプションを指定しましたが、操作を実行しているユーザーにはその指定済みオプション・ファイルに対する適切な読み取り権限がありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアント処理は停止します。

ユーザーの処置: 使用するオプション・ファイルが存在し、そのファイルに操作を実行しているユーザーのための読み取り権限が設定され、そのファイルがシステムの標準ファイル・エンコードであることを確認してください。例えば、Windows に必要なファイル・エンコードは ANSI です。ご使用のオペレーティング・システムに固有の IBM Spectrum Protect クライアント・マニュアルで構成情報を確認してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して支援を受けてください。

ANS1036S オプション 'option' またはそれに提供された値が無効です。これは、オプション・ファイル 'file-name' の
行番号: *number* で見つかりました。
完全な入力: 'entry'

説明: 指定されたオプションまたはオプション値が無効です。日付または時刻指定が含まれているオプションの場合、日付または時刻の形式が、**DATEFORMAT** オプションまたは **TIMEFORMAT** オプションで指定された形式と一致していない可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: オプション名または値を訂正してください。日付または時刻を指定するオプションの場合、指定された日付または時刻が **DATEFORMAT** 設定および **TIMEFORMAT** 設定と一致することを確認してください。**-DATEFORMAT** または **-TIMEFORMAT** をコマンド・ラインに指定する場合、日付または時刻を指定するオプションを先に置く必要があります。例えば、**-FROMDATE=yyyy-mm-dd -DATEFORMAT=3** ではなく、**-DATEFORMAT=3 -FROMDATE=yyyy-mm-dd** を使用してください。

ANS1037S 無効なキーワードが指定されました。

説明: オプション・ファイルで誤ったキーワードが検出されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 有効な入力でオプション・ファイルを訂正します。

ANS1038S 無効なオプションが指定されました。

説明: 誤りのあるオプションが IBM Spectrum Protect に対して指定されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect を実行するために使用されるオプションを訂正します。

ANS1039S 包含パターンまたは除外パターンを解析できません。

説明: パターンのフォーマットが誤っているか、または複雑すぎるため、解釈できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 包含パターンまたは除外パターンが正しく指定されていることを確認してください。パターンが正しい場合には、IBM のテクニカル・サポートに連絡して援助を求めてください。

ANS1040S 包含/除外のパターンの右大括弧が脱落しています。

説明: 包含または除外のパターンの構成が正しくありません。右大括弧が欠落しています。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: パターンの構文を訂正してください。

ANS1041S 包含/除外のパターンはディレクトリー区切り文字で始まらなければなりません。

説明: 包含または除外パターンは、ディレクトリー区切り文字で始まらなければなりません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: パターンの構文を訂正してください。

ANS1042S **Include/Exclude** パターンからディレクトリーの開始または終了区切り文字が欠落しています。

説明:

1. この Include/Exclude パターンには、ディレクトリーの開始または終了区切り文字がない「...」が含まれています。
2. Windows の場合、ドライブ区切り文字の直後にディレクトリー区切り文字がありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: パターンの構文を訂正してください。

ANS1043S 引用符が一致しません。

説明: パターン内に指定された引用符が同一でなく、対応になりません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 構文中に対をなす引用符を使用してパターンを訂正します。

ANS1047E 宛先ファイル・システムが使用できません。以下のオブジェクトはスキップされました。ファイル・スペース:
'filespace-name' パス名: 'path-name' ファイル名: 'file-name'

説明: クライアントが指定されたオブジェクトを宛先にリストアまたはリトリブしようとしたますが、この宛先が存在していないか、または到達できません。

システムの処置: オブジェクトはリストアまたはリトリブされません。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置: 他の宛先を使用してコマンドを再試行してください。

ANS1048E デバイス *volname* はローカルではありません。

説明: 選択されたパスはローカル・デバイスではないので、イメージ操作に有効なオブジェクトではありません。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: 別のオブジェクトを選択してください。

ANS1049E '*filename*' は、イメージ・リストアの場合の有効な宛先ファイルではありません。

説明: 指定したファイル名は、ファイルに無効な名前か、ディレクトリーです。

システムの処置: リストア処理が停止しました。

ユーザーの処置: イメージ・リストア用の正しいファイル名を指定してください。

ANS1050E **VSS** インスタント・リストアのためにボリューム '*volume-name*' をロックできませんでした。

説明: 別のアプリケーションがそのボリューム上のファイル・システムにアクセスしているため、ボリュームをロックできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ボリューム上でオープンなハンドルを持つアプリケーションを停止または中断してください。ファイル・システム・リストアの場合、VSS インスタント・リストアで使用されるファイル・システムにアクセスしているアプリケーションをクローズしてください。

ファイル・システムにアクセスしているアプリケーションをクローズできない場合は、そのファイル・システムをアンマウントしてください。アンマウント処理が完了したら、ファイル・システムをマウントして、VSS インスタント・リストアを実行してください。

詳しくは、エラー・ログ・ファイル DSMERROR.LOG を参照してください。

ANS1051I パスワードが無効です。

説明: 無効なパスワードが入力されました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は正しいパスワードなしではサーバーと接続することはできません。

ユーザーの処置: パスワードを入力するか、または正しいパスワードをシステム管理者に尋ねてください。

ANS1052E ストレージ・エージェントへの直接接続は許可されていません。

説明: ストレージ・エージェントに直接には接続できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ストレージ・エージェントを使用して LAN フリー操作を実行するには、オプション・ファイルに ENABLELANFREE を指定して、処理を再始動します。

ANS1053I 既存のファイル・スペース *file_space_name* は、*file_space_name* に名前変更されました。

説明: ファイル・スペースが Windows システム状態用の場合、IBM Spectrum Protect バックアップ・アーカイブ・クライアントが大/小文字のみ異なる名前の複数のシステム状態ファイル・スペースを検出したときに、このメッセージが発行されます。以前に IBM Spectrum Protect 管理者がシステム状態ファイル・スペースを大/小文字違いの同じ名前に変更した場合、あるいはすべて大文字であるコンピューター名を小文字に変更したり、大/小文字混合に変更した場合、複数のシステム状態ファイル・スペースが存在する状況が発生します。

このファイル・スペース名がドライブ・ボリューム・ラベルを示す場合は、このファイル・スペースは古い

IBM Spectrum Protect バックアップ・アーカイブ・クライアントによって作成されています。

システムの処置: ファイル・スペースが Windows のシステム状態用の場合、IBM Spectrum Protect はシステム状態を最新のバックアップを含むファイル・スペースにバックアップします。古いファイル・スペースはこのメッセージに示されているように名前変更されます。後続のシステム状態バックアップは、システム状態を同じ (最近使用された) ファイル・スペースにバックアップし続けます。

このファイル・スペース名がドライブ・ボリューム・ラベルを示す場合、ファイル・スペースは対応する UNC 名に名前変更され、名前変更したこのファイル・スペースにドライブが引き続きバックアップされます。

ユーザーの処置: これ以上の処置は不要です。ただし、ファイル・スペースが Windows システム状態用の場合、今後、名前変更した古いシステム状態ファイル・スペースが必要なくなったときは、IBM Spectrum Protect 管理者に IBM Spectrum Protect ストレージからその古いファイル・スペースを削除するよう依頼してください。

ANS1054E 既存のファイル・スペース名 *filespace-name* を新しいファイル・スペース名 *filespace-name* に変更できません。IBM Spectrum Protect 戻りコード = *retcode*

説明: クライアントが、ボリューム・ラベルの命名規則から UNC 命名規則へファイル・スペース名をマイグレーションできませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログと IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。この問題が解決しない場合は、IBM テクニカル・サポートに連絡して、追加の支援を求めてください。

ANS1055I 既存のファイル・スペース名 *filespace-name* を新しいファイル・スペース名 *filespace-name* に名前変更しようとしたましたが、 ドライブ名が一致しません。 **old=drive-letter**、**new=drive-letter**。旧ファイル・スペースを無視し、新ファイル・スペースにバックアップしてください。

説明: ボリューム・ラベルを使用する既存のファイル・スペース名を、UNC フォーマットの命名規則に従って名前変更しようとしたましたが、ドライブ名が一致しません。既存のファイル・スペースをそのままにし、新しい

ANS1056E • ANS1062E

ファイル・スペースを作成します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1056E 共用/ネットワーク・パス *share* は解決することができません。パスが存在しません。

説明: バックアップの場合、存在しないかまたは共用にアクセスするための正しい特権が存在しない共用/ネットワークのバックアップを試みます。リストアの場合、解決できない共用/ネットワーク・パスのリストアを試みます。ディレクトリー・パスが存在しません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 宛先を指定してコマンドを再試行するか、あるいはディレクトリー・ツリーをリストアしてから共用ポイントをリストアしてください。

ANS1057I ファイル・スペース名 *file_space_name* を新規ファイル・スペース名 *file_space_name* に変更できません。この新規ファイル・スペースは既に存在しています。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーに新しいファイル・スペースが既に存在しているため、クライアントが、ボリューム・ラベルの命名規則から UNC 命名規則へファイル・スペース名をマイグレーションできませんでした。

システムの処置: 操作は新しいファイル・スペースを使用して続行されます。古いファイル・スペースは無視されます。

ユーザーの処置: アクションは必要ありませんが、古いファイル・スペースのデータが今後不要である場合は、IBM Spectrum Protect サーバーからこのデータを削除できます。

ANS1058E リストアの宛先に到達できません。

説明: 宛先ファイル・システムが無効であるか、到達できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 他の宛先を使用してコマンドを再試行してください。

ANS1059E 同じイメージ名の 2 つの非活動オブジェクトが選択されました。処理は終了します。

説明: 同じイメージ・オブジェクト (ロジカル・ボリ

ーム) の複数の非活動バージョンを選択しました。システムは、ユーザーがどちらをリストアしたいのかを決定できません。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリュームのリストアは実行されません。

ユーザーの処置: 活動バージョンを選択するか、リストアしたいボリュームの非活動バージョンを 1 つだけ選択して、操作を再試行してください。

ANS1060E 指定されたパスはマウントされたファイル・システムではありません。

説明: このシステムにマウントされたファイル・システムに対応しないファイル・システム名が入力されました。ファイル・システム名のミススペルか、単にそのファイル・システムが今はマウントされていないだけの可能性があります。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: マウントされているファイル・システムの名前を使用して、操作を再試行してください。

ANS1061E 指定されたデバイスはマウントされたファイル・システムに対応しています。ファイル・システム名で指定する必要があります。

説明: マウントされたファイル・システムにマップされた論理装置名が入力されました。このボリュームはそのファイル・システム名だけで参照する必要があります。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: 装置名の代わりにファイル・システム名を使用して、操作を再試行してください。

ANS1062E 宛先が入力されたときは、1 つのイメージだけを選択できます。

説明: 複数のイメージ・オブジェクト (ロジカル・ボリューム) がリストアするものとして選択されました。1 つの宛先も指定されました。システムは複数のイメージを 1 つの宛先ボリュームに入れることはできません。複数のオブジェクトが選択された場合は、それぞれを元の位置にリストアする必要があります。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリュームのリストアは実行されません。

ユーザーの処置: 所与の宛先にリストアするオブジェクトを 1 つ選択して操作をやり直すか、宛先を入力せずに操作を再試行してください。

ANS1063E 指定されたパスが有効なファイル・システムまたは論理ボリューム名ではありません。

説明: ありません。

システムの処置: ロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: 有効なパスを使用して操作を再試行してください。

ANS1064E イメージ操作の処理中に予期しないエラーが発生しました。

説明: ありません。

システムの処置: 要求された操作は実行されません。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、このメッセージの前後に発行された他のメッセージがないかを調べます。可能であれば、問題をすべて訂正してください。このメッセージの原因を判別または解決できない場合は、援助を求めるために IBM テクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1065E イメージ・ユーティリティのライブラリー・バージョンが、**IBM Spectrum Protect API** のものと一致していません。

説明: 現行システムのインストール済みコンポーネントが混乱しています。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: すべての IBM Spectrum Protect コンポーネントを再インストールします。

ANS1066E リストア操作は正常に完了しましたが、ファイル・システムを再マウントできませんでした。

説明: ありません。

システムの処置: ファイル・システムはまだ取り外されたままです。

ユーザーの処置: マウント・コマンドを使用してファイル・システムをマウントしてください。AIX では、オペレーティング・システムが要求した場合は **fsck** を実行します。

ANS1067E システム機能への呼び出しで、予期しないエラーが戻されました。

説明: JFS2 スナップショットをベースとした操作を実行している場合は、スナップショットの大きさが、スナ

ップショットの作成後にファイル・システムに対して行われたすべての変更を含めるのに十分ではなかったことが考えられます。これが原因でスナップショットが無効になったために、IBM Spectrum Protect クライアントがスナップショットを読み取れなかった可能性があります。

システムの処置: 要求された操作は実行されません。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、このエラーに関連している追加のメッセージがないか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

JFS2 スナップショットをベースにした操作を実行している場合は、デフォルトの **snapshotcachsize** である 100% を使用し、ボリューム・グループに少なくともファイル・システムと同じ大きさのスナップショットを割り振るのに十分なディスク・スペースがあることを確認して、操作を再試行してください。

ANS1068E デバイスはローカルではありません。

説明: 選択されたパスはローカル・デバイスではないので、イメージ操作に有効なオブジェクトではありません。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: 別のオブジェクトを選択してください。

ANS1069E デバイスからデータを読み取り中にエラーが発生しました。

説明: デバイスからデータを読み取り中にエラーが発生しました。Windows のみ: ドライブ上に不良セクターのあるおそれがあります。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。詳細については、エラー・ログをチェックしてください。Windows のみ: **chkdsk /r** を実行してから、再試行してください。それでも問題が解決しない場合は、代替手段として、通常のバックアップ (イメージ・バックアップではなく) によりドライブ全体をバックアップします。必ずすべてのデータがバックアップされるようにしてください。そのあと、/q という高速フォーマット・オプションは使用せずに、当該ドライブに完全フォーマットをかけてください。その後で、データのリストアをし、イメージ・バックアップ操作を再試行してください。

ANS1070E 書き込みエラー

説明: デバイスにデータを書き込んでいるときにエラーが発生しました。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。詳細については、エラー・ログをチェックしてください。

ANS1071E 無効なドメイン・ネームが入力されました : 'domain-name'。

説明: 無効なドメイン・ネームが入力されました。ドメイン名がファイル・システムになっており、そのファイル・システムがマウントされているかどうかを確認してください。ディレクトリーは、仮想マウント・ポイントでない限り、ドメイン・オプションで指定できません。

システムの処置: バックアップするドメイン・オプションに他のファイル・システムが存在する場合は、処理を続行します。

ユーザーの処置: 有効なドライブまたはファイル・システム名 (ドメイン) を入力してください。

ANS1072E 操作を続行できません。ドライブ 'drive-name' にボリューム・ラベルがありません。

説明: ドメイン・リスト内の指定された *drive-name* はボリューム・ラベルを持ちません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: システム・フォーマット・ユーティリティーを使用し、IBM Spectrum Protect を実行しようとする全ドライブ上に固有のボリューム・ラベルを指定します。

ANS1073E ドメイン 'domain-name' のファイル・スペースが IBM Spectrum Protect サーバーで見つかりませんでした。

説明: 指定されたファイル・スペースはサーバー上にあると期待されましたが、現在は存在しません。現在の操作の進行中にコマンドが実行されて、ファイル・スペースがサーバーから削除された可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が再発する場合は、エラー・ログにこの障害の原因を示す他のメッセージがないかを調べます。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカ

ル・サポートに連絡してください。

ANS1074W ユーザーが操作を停止しました。

説明: ユーザーの要求により操作が停止されました。通常これは 'Q' キーが 2 回押されたときに起こります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1075E *file name(line number)* オペレーティング・システムによって IBM Spectrum Protect のメモリー割り振り要求が拒否されました。

説明: 処理を進めるための情報を保管するために、IBM Spectrum Protect がメモリーにアクセスする必要があります。この場合は、オペレーティング・システムが割り振れる以上のメモリーが要求されています。考えられる理由は次のとおりです。

システムのメモリーが少なくなっています。

プログラムが実行されるプロセスが、割り振られた最大メモリーを超えました。

その他の何らかのエラー状態が発生しました。使用可能なメモリーがありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することはできません。

ユーザーの処置: 不要なアプリケーションをすべてクローズし、操作を再試行してください。それでも操作が失敗する場合は、タスクをいくつかの小さい単位に分割してみてください。例えば、ファイル指定に高位のディレクトリーが含まれる場合、各ディレクトリーごとに順番に IBM Spectrum Protect のタスクを実行してください。IBM Spectrum Protect タスクが増分バックアップの場合、オプション "-memoryefficientbackup=yes" を使用してください。

リソース限度をサポートする UNIX システムでは、次のコマンドを入力してメモリーのリソース限度が小さすぎるかどうかをチェックすることができます。 `ulimit -a`

得られたデータに基づいて、UNIX システムの root ユーザーに現在のデフォルト限度よりもリソース限度を大きくするように依頼することができます。UNIX システムの root ユーザーにはリソース限度を大きくする権限があります。

ANS1076E 指定されたディレクトリー・パス
「pathname」を検出できませんでした。

説明: 指定されたディレクトリー・パスが無効である
か、または到達できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 有効なディレクトリー・パスを使用し
て操作を再試行してください。

ANS1078S 不明なシステム・エラー *error-code* が発
生しました。

説明: クライアント・プログラム内で不明なエラー
error-code が発生しました。

システムの処置: クライアントは停止します。

ユーザーの処置: エラー・ログで、エラーの理由を示す
その他のメッセージを調べてください。示されている問
題の解決を試行してから、操作を再試行してください。
問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテク
ニカル・サポートに連絡してください。

ANS1079E ファイル仕様が入力されていません。

説明: プロンプトに対してファイル仕様が入力されま
せませんでした。

システムの処置: プロセスは、要求された操作を続行し
ませんでした。

ユーザーの処置: ファイル仕様を入力して継続します。

ANS1081E 無効な検索ファイル指定 '*string*' が入力さ
れました。

説明: ドライブ指定またはファイル・システム名に誤っ
た文字またはワイルドカード文字が含まれる、ファイル
指定あるいは検索ストリングが入力されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: お使いのオペレーティング・システム
に対応した「バックアップ/アーカイブ・クライアントの
使用」に記載されている正しいファイル指定を入力して
ください。

ANS1082E 無効な宛先ファイル指定 '*file-name*' が入
力されました。

説明: 誤りのある文字またはワイルドカード文字を仕様
に含む、宛先 *file-name* 仕様が入力されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: お使いのオペレーティング・システム
に対応した「バックアップ/アーカイブ・クライアントの

使用」に記載されている正しいファイル指定を入力して
ください。

ANS1083E '*filespace-name*' について、既にアーカイブ
されたファイルはありません。

説明: 指定されたドライブまたはファイル・システムに
関するファイル (*filespace-name*) が前にアーカイブされ
ていないときに、ファイルのリトリーブが試行されまし
た。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいドライブまたはファイル・シス
テムが指定されたこと、またファイルがユーザーによる
リトリーブのためにアーカイブされていることを確認し
ます。

ANS1084E 「*filespace-name*」で以前にバックアップさ
れたファイルがないか、または指定したフ
ァイル・スペースが現行オペレーティン
グ・システムでは無効です。

説明: ファイルはリストアできません。ファイル・ス
ペースまたはドライブが無効か、またはバックアップ・コ
ピーがありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 有効なドライブまたはファイル・ス
ペースを指定してください。バックアップ・コピーがある
ことを確認してください。

ANS1086E バックアップ、アーカイブ、またはマイグ
レーション処理でファイルが見つかりませ
ん。

説明: バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーシ
ョンの処理を行おうとしているファイルは、もうクライ
アント上に存在しません。IBM Spectrum Protect によ
るバックアップ、アーカイブまたはマイグレーションが
行われる前に、他の処理がファイルを削除しました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1087E 指定されたファイルまたはディレクトリー
へのアクセスが拒否されました。

説明: 指定されたファイルまたはディレクトリーへのア
クセスが拒否されました。 ファイルの読み取りまたは
ファイルへの書き込みを試行しましたが、ファイルまた
はディレクトリーへのアクセス許可がありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル名またはディレクトリ

一名を指定するようにして、許可を訂正するか、新しい場所を指定してください。

ANS1088E ファイル・スペース '*filespace-name*' は存在していません。

説明: 指定されたファイル・スペース (ドメイン) に誤りがあるか、あるいはマシン上に存在していません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 既存のドメイン (ドライブ名またはファイル・システム名) を指定して操作を再試行してください。

ANS1089E 宛先ディレクトリー・パスの長さがシステムの最大値を超えています。

説明: 指定されたパス名とリストアされたファイル名のパス名を結合すると、システムの最大長を超える長さの名前が作成されます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 結合されたときにシステムの最大長より短くなる宛先パスを指定してください。

ANS1090E **LVM1** デバイスは、このクライアントではもはやサポートされません。

説明: 選択されたパスは **LVM** バージョン 1 で管理されるボリューム・デバイスを参照しています。**LVM 1** はこのバージョンのクライアントではサポートされないため、もはやイメージ操作に有効なオブジェクトではありません。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: **LVM1** をサポートする旧バージョンのクライアントを使用して、論理ボリューム操作を実行してください。あるいは、**LVM2** にアップグレードして、ボリュームを **LVM2** にマイグレーションしてください。**LVM2** はこのクライアントで論理ボリューム操作にサポートされています。

ANS1091E オブジェクト照会時にサーバーとの通信エラー。

説明: サーバーに対するオブジェクト照会中に予期しない通信エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアントとサーバー間の通信が活動化していることを検証してください。サーバーの停止、プロセッサの停止、および通信コントローラーの停止が、このエラーの原因となります。

ANS1092W ファイル照合検索基準が見つかりません。

説明: サーバー・データベース内に存在しない探索パターンまたはファイル名が入力されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 探索パターンが正しいことを確認するか、あるいは新規探索ストリングを指定してください。

ANS1093E **IBM Spectrum Protect** サーバーでは特定時点処理がサポートされていません。

説明: クライアントが特定時点照会またはリストア操作を要求しましたが、クライアントが接続している **IBM Spectrum Protect** サーバーでは特定時点処理がサポートされていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しい **IBM Spectrum Protect** サーバーに接続していることを確認してください。正しいサーバーに接続している場合は、特定時点オプションを指定せずにコマンドを再試行してください。

ANS1094E 仮想マシン上のリストア・ロケーションに接続しようとしているときにエラーが発生しました。そのリストア・ロケーションが仮想マシンに存在すること、およびご使用のアカウントにそのロケーションへのアクセス権限があることを確認してください。

説明: リストア処理時に、システムは仮想マシン上のリストア・ロケーションにアクセスするための共有を作成します。この状態で、システムは共有を作成できませんでした。通常、このエラーは、リストア・ロケーションが存在しないか、そのロケーションにアクセスする権限がユーザー・アカウントにない場合に発生します。

システムの処置: システムは共有を作成できませんでした。

ユーザーの処置: そのリストア・ロケーションが仮想マシンに存在すること、およびご使用のアカウントにそのロケーションへのアクセス権限があることを確認してください。

ANS1096S ノードがサーバーに存在しないか、ノードに対するアクティブ・ポリシー・セットがないかのどちらかです。

説明: このエラーは、他のノードのデータにアクセスしようとしても発生します。ノードが **IBM Spectrum Protect** サーバーに登録されていないか、ノードに対するアクティブ・ポリシー・セットがないかのどちらかです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: データにアクセスしようとしているノードが、IBM Spectrum Protect サーバーに登録されていることを確認してください。複数の IBM Spectrum Protect サーバーがある場合は、正しいサーバーに接続していることを確認して、操作を再試行してください。問題が続く場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1097E クライアント・ヘルプ・テキストをヘルプ・ファイルから読み取ることができません。

説明: ヘルプ・ファイルは正常にオープンしており、その目次は使用できますが、ヘルプ・ファイルからのテキストの読み取りに問題があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: **DSM_DIR** 環境変数が設定されている場合は、その環境変数が現行レベルの IBM Spectrum Protect プログラム・ファイルを格納するディレクトリを指していることを確認してから、操作を再試行してください。問題が再発する場合は、クライアント・ソフトウェアを再インストールしてください。問題が続く場合は、IBM 技術サポートに連絡して追加の支援を受けてください。

ANS1098E 処理が終了しました。プログラム・メモリーを使い果たしました。

説明: プログラムは利用可能な全ストレージを使用しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 稼働中の不要プログラム (TSR) を解放し、操作を再試行します。照会の有効範囲および戻されるデータの量を削減することも問題の解決となります。

ANS1099E ファイル '*filename*' は以前にアーカイブされていません。

説明: ファイに対してアクセスしようとしたが、そのファイルはサーバー上に保管されていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル名が指定されていることを確認します。

ANS1100E ファイル '*filename*' は以前にバックアップされていません。

説明: ファイに対してアクセスしようとしたが、そのファイルはサーバー上に保管されていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル名が指定されていることを確認します。

ANS1101E ユーザーは *file-space* *namedirectory_pathfile_name* の暗号化を認可されていません。

説明: ユーザーはこのファイルの暗号化を許可されていません。一般に IBM Spectrum Protect 暗号化を使用できるユーザーは、IBM Spectrum Protect 許可ユーザーまたは root ユーザーのみです。ただし、PASSWORDACCESS オプションと ENCRYPTKEY オプションの特定の組み合わせにより、許可されていないユーザーでも暗号化操作を実行できます。

システムの処置: ファイルはバックアップまたはリストアされません。

ユーザーの処置: root ユーザーまたは IBM Spectrum Protect 許可ユーザーとしてログインし、操作を再試行してください。ENCRYPTKEY オプションの正しい使用法については、「IBM Spectrum Protect バックアップ・アーカイブ・クライアント インストールとユーザーのガイド」を参照してください。

ANS1102E プログラムに余分な数のコマンド・ライン引数が渡されました。

説明: このコマンド処理ルーチンは、使用可能以上のオペランドを受信しました。指定できる規則は次の通りです。

- 照会に含めることができるファイル指定は 1 つだけです。
- リストアおよびリトリブでは 2 つのファイル指定を含めることができます。
- アーカイブ、増分、および選択では、最大 20 のファイル指定を含めることができます。20 オペランド制限をバイパスするには、障害のあるアーカイブ、増分、または選択コマンドで **-REMOVEOPERANDLIMIT** オプションを使用します。

注: クライアントは、シェルから展開されたリストを受け取るよりも、ワイルドカードを内部で展開したほうがより効果的に作動します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 引数の数を削減し、操作を再試行し

す。UNIX ベース・システムの場合は、パターン・マッチング文字を含む指定を必ず引用符で囲みます。代替手段として、失敗した **archive** コマンド、**incremental** コマンド、または **selective** コマンドで **-REMOVEOPERANDLIMIT** オプションを使用してください。

ANS1103E 無効な管理クラスが入力されました。

説明: 無効な管理クラスが入力されました。

システムの処置: 要求された操作は実行できません。

ユーザーの処置: 有効な管理クラスを使用して操作を再試行します。

ANS1104E このファイルの管理クラスに有効なアーカイブ・コピー・グループがありません。
このファイルはアーカイブされません。

説明: このファイルの管理クラスは、指定されたアーカイブ・コピー・グループを持ちません。このファイルはアーカイブされません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 有効なアーカイブ・コピー・グループを管理クラスに加え、その後操作を再試行します。

ANS1105E このファイルの管理クラスに有効なバックアップ・コピー・グループがありません。
このファイルはバックアップされません。

説明: このファイルの管理クラスは指定されたバックアップ・コピー・グループを持ちません。このファイルはバックアップされません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 有効なバックアップ・コピー・グループを管理クラスに加え、その後操作を再試行します。

ANS1106E **ENCRYPTKEY SAVE** が正しく構成されていません。暗号化は使用されていません。

説明: このメッセージは、**ENCRYPTKEY SAVE** オプションと **PASSWORDACCESS PROMPT** オプションが設定されているときに IBM Spectrum Protect 許可ユーザーと root ユーザーに向けて発行されます。これらはデフォルトであることに注意してください。これらの値では暗号化は許可されません。

システムの処置: このファイルは暗号化されません。

ユーザーの処置: 暗号鍵を保管するには、構成値を変更する必要があります。 **PASSWORDACCESS GENERATE** をシステム・オプション・ファイルに追加してください。

ANS1107E 無効なオプション/値: '*option*'

説明: 誤った IBM Spectrum Protect オプションまたはオプション値を指定しました。

システムの処置: コマンド・ライン・クライアント: 処理は停止します。

固有 GUI クライアント: クライアントの初期化に不可欠な小さなオプションのセットがあります。その中にエラーがある場合、このメッセージが表示され、クライアントはそれ以降の処理を行わずに終了します。

ユーザーの処置: 該当するオペレーティング・システム用の資料「バックアップ/アーカイブ・クライアントの使用」で定義されている正しい IBM Spectrum Protect オプションを指定してください。

ANS1108E *function* コマンドに対してオプション (*option*) は無効です。

説明: このメッセージには 2 つの理由が考えられます。

- *option* オプションが、そのオプションを使用できないコマンドまたはサブコマンド (*function*) に指定されました。
- このオプションは、初期コマンド・ラインに現われ、そこでは無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 指定されたオプションの正しい使用方法については、「バックアップ/アーカイブ・クライアントインストールとユーザーのガイド」を参照してください。

ANS1110E クライアント・ヘルプ・ファイル *file-name* をオープンできませんでした。

説明: これは通常、ヘルプ・ファイル *file-name* が見つからない場合に発生します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: **DSM_DIR** 環境変数が設定されている場合は、その環境変数が現行レベルの IBM Spectrum Protect プログラム・ファイルを格納するディレクトリを指していることを確認してから、操作を再試行してください。問題が再発する場合は、クライアント・ソフトウェアを再インストールしてください。問題が続く場合は、IBM 技術サポートに連絡して追加の支援を受けてください。

ANS1113E スナップショット・キャッシュ位置が無効です。

説明: スナップショット・キャッシュ位置は、NTFS 形式でフォーマットされたローカル・ボリュームを指してある必要があります。デフォルト・キャッシュ位置は、スナップショットが実行されているのと同じのボリュームです。操作はスナップショット・サポートなしで続行されます。

システムの処置: クライアントはスナップショット・バックアップ操作を実行しません。

ユーザーの処置: SNAPSHOTCACHELOCATION オプションを使用して、別のスナップショット・キャッシュ位置を指定してください。

ANS1114I オフライン・メディアのマウントを待機中。

説明: サーバーは要求されたメディアが利用可能になるのを待ち、操作が継続可能になるのを待ちます。

システムの処置: 要求されたデータを待機します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1115W ファイル '*file-namefile-namefile-name*' が包含/除外リストによって除外されました。

説明: 除外されたファイルは、バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションできません。

システムの処置: ファイルを処理できません。

ユーザーの処置: そのファイルを意図的に除外した場合は、このメッセージを無視してください。そうでない場合は、包含/除外リストを修正してクライアントを再始動し、操作を再試行してください。さらに援助が必要な場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1116E プロセスが非対話モードで実行されていますが、ユーザー入力を必要としています。

説明: このプロセスではキーボード入力が必要ですが、非対話式プロセスによりキーボードからの入力読み取りができなくなっています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このエラーを解決するには、以下のアクションを実行してください。

- 製品を対話モードにします。
- パスワードが正しく設定されていることを確認します。

ANS1117E PICK および LATEST オプションを一緒に使用することはできません。

説明: リストア中、PICK および LATEST オプションを一緒に使用することはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: PICK または LATEST オプションを使って再試行します。

ANS1118I 無効なファイル・スペース番号が入力されました。
やり直してください。

説明: PICK オプションが使用されているとき、ファイル・スペースを表示する数に誤りがありました。

システムの処置: プロセスは、ユーザーの指定を待ちます。

ユーザーの処置: 正しいファイル・スペース数を入力します。

ANS1119I *filespace-name* ファイル・スペースの除去を開始中。

説明: 指定された *filespace-name* について、ファイル・スペース削除が開始されたことを示します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1120E ファイル・スペース '*filespace-name*' の除去が正常に実行されませんでした。

説明: ファイル・スペース (NAS または通常) を削除しようとしたことが失敗しました。

- ユーザーのクライアント登録では、サーバー上のファイル・スペースを削除する権限がない可能性があります。ANS1126E メッセージを確認してください。
- 示されているファイル・スペースがサーバーに存在しません。ANS1122W メッセージを確認してください。
- この後のメッセージに示されるその他の原因

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージに付随する他のメッセージで推奨されるアクションを実行してください。ファイル・スペースを再度除去するように指示されている場合は、そのようにしてください。問題が解決しない場合は、代わりに IBM Spectrum Protect 管理者がファイル・スペースを削除する権限を持っています。

ANS1121I ファイル・スペース '*filespace-name*' の除去要求は、サーバーに正常に送信されました。

説明: IBM Spectrum Protect は、指定された *filespace-name* の削除を要求しました。このメッセージが表示されても、削除プロセスが実際には完了していない場合があります。正常に削除されたことを確認するには、サーバーのログを調べてください。

削除プロセス中にサーバーでエラーが発生したり、ファイル・スペース内に削除保留状況のアーカイブ・オブジェクトが含まれている場合があります。どちらの場合も、ファイル・スペースは削除されません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1122W ファイル・スペース '*filespace-name*' がサーバーに存在していません。このファイル・スペースはユーザーのクライアント・ノード名を使用して、別のクライアントによって、または管理者によって、削除された可能性があります。

説明: 指定された *filespace-name* はサーバー上には存在しません。システム管理者がファイル・スペースを削除したか、あるいはユーザーのクライアント・ノード名を使用する他のクライアントがそれを削除した可能性があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1123E 画面の縦の寸法が小さ過ぎて、ヘルプ・ディレクトリーを表示できません。ウィンドウの高さを増やしてください。

説明: HELP コマンドの実行は、ユーザー・プロンプトならびに最低 1 行の HELP ディレクトリーに関するスペースを必要とします。

システムの処置: ヘルプ・ディレクトリーは表示されず、またヘルプ・コマンドは完了することができません。

ユーザーの処置: 表示ウィンドウのサイズを増加し、追加テキスト行を表示できるようにします。

ANS1125E 引用符が一致しません: '*string*'

説明: パターン内に指定された引用符が同一でなく、対になりません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 構文中で対をなす引用符を使用し、パターンを訂正します。

ANS1126E このノードにはアーカイブ・データやバックアップ・データを削除する許可がないため、ファイル・スペースを削除できません。

説明: IBM Spectrum Protect 管理者がご使用のノードに対して許可を与えない限り、ファイル・スペース・データを削除できません。許可によって、バックアップ・データ、アーカイブ・データ、またはその両方を削除できるようになります。

システムの処置: 削除処理は失敗します。

ユーザーの処置: 自分の許可を確認するには、DSMC QUERY SESSION コマンドを使用してください。IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、必要な許可を付与するか、代わりにファイル・スペースを削除するように依頼してください。

ANS1127E ユーザーのノードには、アーカイブ・ファイルを削除する許可がありません。

説明: IBM Spectrum Protect 管理者がご使用のノードに対して許可を与えない限り、アーカイブ・ファイルを削除できません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はアーカイブ・ファイルを削除しません。

ユーザーの処置: 自分の許可を確認するには、DSMC QUERY SESSION コマンドを使用してください。IBM Spectrum Protect 管理者に、必要な許可を与えてもらってください。

ANS1128S ディレクトリーに対して割り当てられた管理クラスが存在しません。

説明: DIRMC オプションで指定された管理クラス名が、サーバーで割り当てられたポリシー・セットに存在しません。エラー・ログには、無効な管理クラス名を示すエントリーがあります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 現在の DIRMC オプションをクライアント・オプション・ファイルから除去して、DSMC QUERY MGMTCLASS -DETAIL を実行して使用可能な管理クラスの情報を表示します。選択した管理クラスにバックアップ・コピー・グループがあることを確認してください。複数の IBM Spectrum Protect サーバーがある場合は、正しいサーバーに接続していることを確認してください。適切な管理クラスを検出できない場合

は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1129S ディレクトリーに使用される管理クラスにバックアップ・コピー・グループがありません。

説明: DIRMC オプションで指定している管理クラスには、バックアップ・コピー・グループがありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 現在の DIRMC オプションをクライアント・オプション・ファイルから除去して、DSMC QUERY MGMTCLASS -DETAIL を実行して使用可能な管理クラスの情報を表示します。選択した管理クラスにバックアップ・コピー・グループがあることを確認してください。複数の IBM Spectrum Protect サーバーがある場合は、正しいサーバーに接続していることを確認してください。適切な管理クラスを検出できない場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1130E ドライブにラベルがありません。操作は続行できません。

説明: 取り外し可能メディアのバックアップまたはアーカイブでは、そのメディアにボリューム・ラベルが必要です。ラベルのない取り外し可能ボリュームでデータのバックアップまたはアーカイブが試みられました。

システムの処置: 要求された操作は実行されません。

ユーザーの処置: 取り外し可能メディアのボリューム・ラベルを作成してから、操作を再試行してください。

ANS1131E 重複するボリューム・ラベルが存在します。操作は続行できません。

説明: 取り外し可能メディアの場合、IBM Spectrum Protect はファイル・スペース名としてボリューム・ラベルを使用します。異なるボリュームのデータが IBM Spectrum Protect サーバー上の同じファイル・スペースに保管されるのを防ぐため、重複するボリューム・ラベルを持つ取り外し可能メディア・ボリュームのバックアップまたはアーカイブは許可されません。

システムの処置: 要求された操作は実行されません。

ユーザーの処置: 取り外し可能メディア・ボリュームのボリューム・ラベルを変更して、ラベルが重複しないようにします。次に、IBM Spectrum Protect を再始動して、操作を再試行してください。

ANS1132E 'Access rule' アクセス規則はノード 'node' に既に定義されています。
古い規則を削除しない限り、新しい規則を定義できません。

説明: 指定されたノードに関する許可の定義が試みられましたが、既に許可が定義されていました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は指定されたノードに関する許可を再定義しませんでした。

ユーザーの処置: 許可の更新、旧規則の削除および新規規則の定義、あるいは現行許可の使用を行います。

ANS1133W 引用符で囲まれていないワイルドカードが式に含まれている可能性があります。

説明: UNIX シェルは、引用符のない、アスタリスク (*) または疑問符 (?) などのワイルドカード式を展開するので、コマンドを処理することができません。

式にワイルドカード文字が含まれていないときに、アーカイブ、選択、または増分コマンドに指定された制限数より多くのオペランドを配置する場合は、コマンドに -REMOVEOPERANDLIMIT オプションを付けて再試行してください。

システムの処置: コマンドによって異なります。

ユーザーの処置: ワイルドカード式を引用符で囲むか、-REMOVEOPERANDLIMIT オプションを追加して、コマンドを再入力してください。

ANS1134E ドライブ *drive-name* が無効なドライブ仕様になっています。

説明: 指定されたドライブ名は無効です。このドライブは、おそらく定義されていません。

システムの処置: プロセスは、無効なドライブをスキップし、次のドライブに進みます。

ユーザーの処置: 無効なドライブを検査します。

ANS1135E ドライブ *drive-name1* は、*drive-name2* の仮想ドライブです。バックアップまたはアーカイブすることはできません。

説明: 一方のドライブは、他方のドライブの代替 (SUBST) です。SUBST ドライブをバックアップまたはアーカイブすることはできません。

システムの処置: SUBST ドライブはスキップされます。次のドライブから処理を続行します。

ユーザーの処置: 他のドライブの代替であるドライブに関するファイル指定をしないでください。明示的な代替ドライブを DOMAIN ステートメントから除去しま

す。あるいは、ALL-LOCAL が指定されている場合は、-<drive:> 表記を使用して代替ドライブを除去します。

ANS1136E ファイル所有者ではありません。

説明: クライアントがファイル所有者ではないため、ファイルをバックアップすることができません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1137W 無効索引 'number' はスキップされました。

説明: 誤りのある *number* が索引のために入力されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 索引項目を訂正し、操作を再試行します。

ANS1138E 'command-name' コマンドの後にはサブコマンドを続けなければなりません。

説明: 不完全な *command-name* が入力されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドの正しい構文を入力し、継続します。

ANS1139W 'object-nameobject-nameobject-name' は 'temp-name' としてリストアされました。リストアを完了するには、リブートする必要があります。

説明: リストア対象のファイルは他のアプリケーションが使用中だったため、即時に置き換えることができませんでした。ファイルは、次にオペレーティング・システムをリブートするときに置き換えられます。リブートが行われるまでは、システムやそのアプリケーションが不安定な場合があるので、注意してください。不安定の度合いは、オペレーティング・システムやアプリケーションに対するファイルの重要度に依存します。

システムの処置: ファイルは一時的な名前ですべてリストアされました。オペレーティング・システムは、オペレーティング・システムの次回ブート時にオリジナル・ファイルをリストア済みファイルに置き換えるよう指示されました。

ユーザーの処置: リストア操作が終了したら、できるだけ速やかにマシンをリブートしてください。

ANS1140E アクセス設定コマンドの形式が無効です。

説明: SET ACCESS コマンドには少なくとも 3 つのオペランドが必要です。最初のオペランドは BACKUP または ARCHIVE でなければなりません。その後、有効な形式のファイル指定が必要です。

システムの処置: 処理が停止し、コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 詳しい使用法について HELP SET ACCESS コマンドを使用し、その後、正しい構文を使用して SET ACCESS コマンドを入力してください。

ANS1141W コマンドが不明 - *command-name*

説明: 誤りのある *command-name* が入力されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 正しいコマンドを入力します。

ANS1143E DIRONLY と FILESONLY オプションは一緒に使用することはできません。

説明: DIRONLY および FILESONLY オプションを一緒に使用することはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: DIRONLY または FILESONLY オプションのいずれかを使用してやり直してください。

ANS1144W パスワードの認証がサーバー上でアクティブになっていません。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: パスワード認証がサーバー上でオフにされているため、パスワードを更新する必要はありません。

ANS1145E マクロの最大ネスト・レベルを超えました。マクロは 10 レベルまでネストできます。

説明: IBM Spectrum Protect では、マクロが別のマクロを呼び出すことができます。例えば、マクロ「A」がマクロ「B」を呼び出し、そのマクロ「B」がマクロ「C」を呼び出します。このネスト・レベルは 3 です。制限は 10 レベルです (最初のマクロと、現在実行中のマクロ内の呼び出しの 9 レベル)。マクロ呼び出しがネストされない限り、マクロ内で発行される可能性のある複数の異なるマクロ呼び出しの数には制限はありません。

システムの処置: マクロは無視され、エラーが戻されます。

ユーザーの処置: マクロ・ネストのレベルを減らします。

ANS1146E マクロ・ファイル '*file spec*' をオープンできません。

説明: 示されているマクロ・ファイル名を指定するマクロ・コマンドが入力されました。しかし、ファイルは読み取り用にオープンすることができません。

システムの処置: マクロは無視され、エラーが戻されます。

ユーザーの処置: 正しいマクロ名でコマンドを入力します。

ANS1147E ファイルは一時的に使用不可です。

説明: ファイルは一時的に使用不可です。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルが別のプロセスによってロックされていないか確認してください。そうでない場合、コマンドを再試行してください。

ANS1148I '*command-name*' コマンドは正常に完了しました。

説明: 指定された *command-name* は正常に完了されました。

システムの処置: コマンドが完了しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS1149E 増分バックアップに使用可能なドメインがありません。ドメインが空になっているか、ドメイン内のすべてのファイル・システムが除外された可能性があります。

説明: 増分バックアップが開始されましたが、ドメインが選択されませんでした。このメッセージの考えられる原因は次のとおりです。

- EXCLUDED.FS オプションによって除外されたファイル・システムをバックアップしようとしてしました。
- DOMAIN が空です。つまり、DOMAIN ステートメントは 1 つ以上のファイル・システムを除外していますが、ファイル・システムを含む DOMAIN ステートメントがありません。
- DOMAIN ALL-LOCAL は有効ですが、システムにはローカル・ファイル・システムがありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: DOMAIN ステートメントが正しく構成されていることを確認し、バックアップを再試行します。DOMAIN ステートメントは、クライアント・オプション・ファイル (dsm.opt、dsm.sys)、クライアント・オプション・セット、スケジュール定義、およびスクリプト化された IBM Spectrum Protect コマンドに組み込むことができます。修正アクションは次のとおりです。

- DOMAIN オプション設定にバックアップ対象のファイル・システムが指定されていることを確認してください。
- バックアップする必要があるファイル・システムが、EXCLUDE.FS ステートメントによって除外されている場合は、EXCLUDE.FS ステートメントを削除してください。
- バックアップしてはならないファイル・システムが、DOMAIN ステートメント内にリストされている場合は、DOMAIN ステートメントからそのファイル・システムを削除してください。
- DOMAIN が空ではないことを確認してください。つまり、任意の DOMAIN ステートメントがファイル・システムをバックアップから除外している場合、その DOMAIN ステートメントにバックアップの必要があるファイル・システムが組み込まれていることを確認してください。

ANS1150E ローカル・システム・アカウントとして実行中であるため、現行ユーザー・プロファイルを一時的にリストアできません。

説明: そのローカル・システム・アカウントにはプロファイルがありません。したがって、ローカル・システム・アカウントのプロファイルをリストアできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: リストアしたいプロファイルを持つユーザーにログオンします。

ANS1151E '*drive-name1*' はクラスター・ディスクではありません。

説明: 示されているファイル・システムはクラスター・ディスクではありません。CLUSTERNODE オプションが YES に設定されているので、ファイル・システムのバックアップまたはアーカイブを実行できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: CLUSTERNODE オプションが誤って YES に設定されている場合は、このオプションを NO に変更してから操作を再試行してください。それ以外の場合は、クラスター環境で実行するようにクライアントを構

ANS1153E • ANS1159E

成する方法の詳細について、クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS1153E 'drive-name1' はクラスター・ディスクです。

説明: 示されているファイル・システムはクラスター・ディスクです。 **CLUSTERNODE** オプションが **NO** に設定されているので、ファイル・システムのバックアップまたはアーカイブを実行できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **CLUSTERNODE** オプションが誤って **NO** に設定されている場合は、このオプションを **YES** に変更してから操作を再試行してください。それ以外の場合は、クラスター環境で実行するようにクライアントを構成する方法の詳細について、クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS1154E オブジェクト名 'filepath-namefile-name' には、現行ロケールでは無効なマルチバイト・シーケンスが含まれています。

説明: このロケールでは正しくないマルチバイト・シーケンスがオブジェクト名で検出されました。パス名またはファイル名が壊れているか、現行ロケールの言語以外の言語でコード化されています。

システムの処置: オブジェクトはスキップされました。

ユーザーの処置: ファイル名またはパスが壊れていない場合は、そのファイル名またはパスが有効なロケールでファイルを処理してください。

ANS1155E イメージ・バックアップに使用可能なドメインがありません。

説明: イメージ・バックアップが開始されましたが、ドメインが指定されていませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ドメインを選択して、イメージ・バックアップをやり直してください。手動または GUI プリファレンス・エディターのいずれかにより、domain.image オプションを使用して dsm.opt ファイルにイメージ・ドメインを設定します。

ANS1156E **NODENAME** は、**CLUSTERNODE** が **YES** にセットされているときは、ローカル・マシン名であってはなりません。

説明: IBM Spectrum Protect がクラスター・ノードとして実行しているとき、ノード名はローカル・マシン名であってはなりません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ノード名をクラスター名または他の任意の名前に変更してから、IBM Spectrum Protect を再始動します。

ANS1157E クライアントがクラスター・ノードとして稼働しているときにはレジストリーをバックアップまたはリストアできません。

説明: **CLUSTERNODE** オプションが **YES** に設定されている場合は、レジストリーのバックアップまたはリストアを実行できません。

システムの処置: レジストリーはバックアップまたはリストアされません。

ユーザーの処置: **CLUSTERNODE** オプションが誤って **YES** に設定されている場合は、このオプションを **NO** に変更してから操作を再試行してください。それ以外の場合は、クラスター環境で実行するようにクライアントを構成する方法の詳細について、クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS1158E クライアントがクラスター・ノードとして稼働しているときにはイベント・ログをバックアップまたはリストアできません。

説明: **CLUSTERNODE** オプションが **YES** に設定されている場合は、イベント・ログのバックアップまたはリストアを実行できません。

システムの処置: イベント・ログはバックアップまたはリストアされません。

ユーザーの処置: **CLUSTERNODE** オプションが誤って **YES** に設定されている場合は、このオプションを **NO** に変更してから操作を再試行してください。それ以外の場合は、クラスター環境で実行するようにクライアントを構成する方法の詳細について、クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS1159E 指定されたファイルは他のプロセスが使用しています。

説明: 指定されたファイルは他のプロセスが使用しています。現在他のプロセスが使用しているファイルの読み取りまたは書き込みを試みました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル名またはディレクトリー名を指定するようにして、許可を訂正するか、新しい場所を指定してください。

ANS1162E ファイル・システムをマウントできませんでした。

説明: ファイル・システムのマウントのシステム・コールが正常に実行されませんでした。

システムの処置: ファイル・システムはまだマウントされないままです。

ユーザーの処置: マウント・コマンドを使用してファイル・システムをマウントしてください。AIX では、オペレーティング・システムが要求した場合は `fsck` を実行します。

ANS1163E ファイル・システムを取り外せませんでした。

説明: ファイル・システムの取り外しのシステム呼び出しが正常に実行されませんでした。

システムの処置: ロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: デバイスまたはファイル・システムがアクセスされていないことを確認してから、操作を再試行してください。

ANS1164E ファイル・システムはマウントされていません

説明: 指定されたファイル・システムは現在マウントされていません。IBM Spectrum Protect がイメージ・バックアップを実行するには、このファイル・システムをマウントする必要があります。

システムの処置: ロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: ファイル・システムをマウントしてください。

ANS1165E 送信元より宛先の方が小さくなっています。

説明: 選択された宛先のスペース割り当てが送信元より小さくなっています。

システムの処置: リストア操作は実行されません。

ユーザーの処置: 別の大きい宛先を選ぶか、または宛先ファイル・スペースのサイズを増やします。

ANS1166E 送信元と宛先のファイル・システム・タイプが同じではありません。

説明: 送信元と宛先のファイル・システム・タイプが一致しません。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: ファイル・システム・タイプが送信元と同じ宛先を選択してください。

ANS1168E エラー: イメージ・オブジェクトを作成できませんでした。

説明: イメージ・オブジェクトの作成は、以下の理由の中の 1 つのために失敗しました。

- イメージ・コマンドが非 `root` ユーザーによって実行された。
- イメージ・プラグイン・ライブラリーが見つからなかった。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム・ファンクションは実行されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を訂正してから操作を再試行してください。

ANS1169W *image-name* の目次がありません。

説明: 目次が要求されているイメージ項目は、RAW 論理ボリュームであるか、または `-TOC` オプションを指定せずにバックアップされています。

システムの処置: 目次は表示されません。

ユーザーの処置: TOC 表示には別のイメージ・オブジェクトを選択してください。

ANS1170I 無効な選択番号が入力されました。やり直してください。

説明: イメージのリストに示されていない番号が選択されました。それは、1 より小さいかまたは表示されている最大の項目番号より大きい値です。

システムの処置: クライアントは、有効な選択の入力を要求するプロンプトを出します。

ユーザーの処置: リストの中の番号を入力するか、終了する場合は `'Q'` を入力してください。

ANS1177E この操作のパスを指定する必要があります。

説明: 正常に実行するためにこの操作にパスを指定しなければなりません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 有効なパスを指定して、コマンドを再実行してください。

ANS1181E ジャーナル・サービスとの通信で障害が発生しました。

説明: ジャーナル・サービスとの名前付きパイプ通信の使用でエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ジャーナル・サービスを再始動してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1183E システム・オブジェクト '*sys-obj-name*' の処理中に、不明のエラーが発生しました。
MS API 関数 '*func-name*' が失敗して、エラー *error (error)* が起こりました。

説明: システム・オブジェクトの処理中に、不明のエラーが発生しました。取り込まれたエラー情報が障害の理由を示しています。この情報を使用して問題の診断ができます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現行操作を終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS1184W *command subcommand* コマンドは、このクライアントではサポートされていません。

説明: *command subcommand* コマンドは、このコンピューターのこのオペレーティング・システムで稼働しているクライアントではサポートされません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1185E 指定したヘルプ検索指数 "*string*" は、長すぎるか引用符が一致していません。

説明: 有効な指数は、セクション番号、コマンド名、オプション名およびメッセージ番号などの名前です。これらのすべての検索指数は、短くまた引用符で囲む必要はありません。

システムの処置: ヘルプ要求は実行されませんが、有効な指数を入力するか、目次を表示する、またはヘルプを終了することができます。

ユーザーの処置: 指示に従って後続のプロンプトに応答してください。

ANS1186I 指定されたファイルには、ヘルプ・セクションをサポートするための内容がありません。メッセージ・ヘルプの要求は、すべてトピックが見つからない結果になります。セクション番号、オプション名、コマンド名、またはコマンドとサブコマンドを入力してください。あるいは、**Enter** を押すか '**t**' と入力して目次を表示するか、'**q**' と入力してヘルプを終了してください。

説明: 製品を再インストールして、ヘルプ・ファイルを修正してください。

システムの処置: ヘルプ・コマンドは一時停止し、他の選択を行うことができます。

ユーザーの処置: インストール時に、適切なヘルプ・ファイルが作成されました。システム管理者の支援によって、指定した無効なファイルに置き換わるオリジナルのヘルプ・ファイルをリトリートできます。

ANS1187E 指定されたヘルプ・ファイル "*filename*" の内容は無効です。

説明: 製品を再インストールして、ヘルプ・ファイルを修正してください。

システムの処置: ヘルプ・コマンドは終了します。

ユーザーの処置: インストール時に、適切なヘルプ・ファイルが作成されました。システム管理者の支援によって、指定した無効なファイルに置き換わるオリジナルのヘルプ・ファイルをリトリートできます。

ANS1188E 選択されたファイル・システムは **HSM** で管理されているので、イメージ操作に有効なオブジェクトではありません。

説明: HSM の機能上、イメージ・バックアップは管理下のファイル・システムでは許可されていません。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1189E **DIRONLY** と **V2ARCHIVE** オプションを一緒に使用することはできません

説明: **DIRONLY** および **V2ARCHIVE** オプションを一緒に使用することはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: **DIRONLY** または **V2ARCHIVE** オプションのいずれかを使用してやり直してください。

ANS1190E 'target' へのシンボリック・リンク
'linkname' が正常に削除されました。

説明: ログ 'linkname' は、シンボリック・リンクには
できません。

システムの処置: シンボリック・リンク 'linkname' が
削除されて、ログが再作成され、処理が停止します。

ユーザーの処置: 新規ファイルの位置を確認してくださ
い。 ログ・ファイルの位置を指定するために、該当す
るユーザーズ・マニュアルで 'errorlogname' オプショ
ン、'schedlogname' オプション、および 'DSM_LOG'
環境変数を参照してください。

ANS1191E シンボリック・リンク 'link' を削除する
ことができません。

説明: ログ 'linkname' は、シンボリック・リンクには
できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: シンボリック・リンク 'linkname' を
削除してください。

ANS1192E エラー・ログ 'link' をシンボリック・リ
ンクとして指定することは、許可されませ
ん。

説明: エラー・ログ 'linkname' は、シンボリック・リ
ンクにはなりません。

システムの処置: シンボリック・リンク 'linkname' が
削除され、エラー・ログが再作成されて、処理が停止し
ます。

ユーザーの処置: 新規エラー・ログの場所を検査してく
ださい。 エラー・ログの場所を指定するには、
'errorlogname' オプション、および 'DSM_LOG' 環境変
数について、ユーザーズ・マニュアルを参照してくださ
い。

ANS1193E トレース・ファイル 'link' をシンボリッ
ク・リンクとして指定することは、許可さ
れません。

説明: セキュリティとシステム保全性のために、トレ
ース・ファイル 'linkname' はシンボリック・リンクにで
きません。

システムの処置: シンボリック・リンク 'linkname' は
削除され、トレース・ファイルは再作成され、処理は停
止します。

ユーザーの処置: シンボリック・リンクを使用しない
で、TRACEFILE オプションを使用して実際のトレ
ース・ファイルの位置を指定してください。

ANS1199E PRESNAPSHOTCMD コマンドは失敗し
ました。 イメージ・スナップショット・
バックアップは実行されません。

説明: イメージ・スナップショット・バックアップを実
行するためには、PRESNAPSHOTCMD オプションで指
定されたコマンドが正常に完了する必要があります。
このコマンドは、戻りコード 0 (ゼロ) が表示されて完
了すれば、正常に完了したものと見なされます。 コマ
ンドが完了しても、それ以外の戻りコードが表示された
場合は、コマンドは失敗したものと見なされます。この
コマンドが失敗した場合は、イメージ・スナップショッ
ト・バックアップは実行されません。

システムの処置: クライアントはイメージ・スナップシ
ョット・バックアップ操作を実行しません。

ユーザーの処置: コマンドが失敗する原因となった問題
を特定して、修正してください。このコマンドではゼロ
以外の戻りコードが通常であるような場合には、このコ
マンドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトに
ラップすることを検討してみてください。

ANS1200W POSTSNAPSHOTCMD コマンドが完了
して、ゼロ以外の戻りコードが表示されま
した。

説明: POSTSNAPSHOTCMD オプションで指定された
コマンドが完了し、ゼロ以外の値の戻りコードが表示さ
れた場合は、イメージ・スナップショット・バックアッ
プ操作は続行しますが、警告レベルの結果になります。
POSTSNAPSHOTCMD コマンドの結果がイメージ・ス
ナップショット・バックアップ・コマンドによるそれよ
りも高いレベルの結果に優先することはないということ
に注意してください。例えば、イメージ・スナップシ
ョット・バックアップ・コマンドが完了して、戻りコー
ド 12 が表示された場合は、POSTSNAPSHOTCMD コ
マンドの結果には関係なく、イメージ・スナップショッ
ト・バックアップは、戻りコード 12 で完了したものと
見なされます。

システムの処置: イメージ・スナップショット・バック
アップは続行しますが、少なくとも 8 という警告戻り
コードが表示されます。

ユーザーの処置: コマンドが失敗する原因となった問題
を特定して、修正してください。このコマンドではゼロ
以外の戻りコードが通常であるような場合には、このコ
マンドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトに
ラップすることを検討してみてください。

ANS1201E IBM Spectrum Protect は、ディレクトリーと同じ名前のファイルが存在しているため、ディレクトリー・パスを作成できません。

説明: なし

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディレクトリーと同名のファイルを除去するか、または名前を変更してください。あるいは、ディレクトリーを別の位置にリストアすることもできます。

ANS1202E イメージの TOC バックアップが正常に実行されませんでした。 ログ・ファイルをチェックしてください。

説明: 目次のバックアップ中にエラーが発生しました。詳細情報についてはエラー・ログを検査してください。

システムの処置: 要求されたロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: エラー・ログをチェックしてください。

ANS1203E 選択されたバックアップ・セットには目次を利用できません。サーバー管理者に連絡してください。

説明: 選択されたバックアップ・セット用の目次はありません。

システムの処置: 選択されたバックアップ・セットの拡張はできません。バックアップ・セット全体のリストアのみが可能です。

ユーザーの処置: バックアップ・セットを拡張するためには、サーバー管理者に連絡して、バックアップ・セットの目次の再生成を依頼してください。

ANS1204E このクライアントは IBM Spectrum Protect Express サーバーではサポートされていません。

説明: このクライアントは IBM Spectrum Protect Express サーバーではサポートされていません。以下の場合が考えられます。

1. クライアントが CLIENTVIEW オプションを使用して IBM Spectrum Protect Express クライアントとして構成されている
2. クライアントが IBM Spectrum Protect Express サーバーに接続しようとしている

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: サポートされる IBM Spectrum Protect Express クライアントを使用してログインしてください。

ANS1205E これはサポートされる IBM Spectrum Protect Express プラットフォームではありません。

説明: これはサポートされる IBM Spectrum Protect Express プラットフォームではありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: サポートされる IBM Spectrum Protect Express クライアントを使用してログインしてください。

ANS1206E ロウ・デバイスの TOC バックアップは、サポートされていません。しかし、ロウ・デバイスがバックアップされています。

説明: ロウ・デバイスの TOC バックアップは、サポートされていません。しかし、ロウ・デバイスがバックアップされています。

システムの処置: ロウ・デバイスはバックアップされますが、TOC オブジェクトは含まれません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1207E このファイル・システムに対しては、以前にバックアップされた TOC がありません。

説明: ユーザーはファイル・システムの TOC を照会しようとしています。そのファイル・システムの TOC バックアップは、以前に行われていません。

システムの処置: 照会は停止します。

ユーザーの処置: ファイル・システムを、-TOC オプションを使用して、再度バックアップします。

ANS1209E *option_name* オプションは、-FILELIST オプションを使用する *command_name* コマンドと一緒にサポートされません。

説明: -FILELIST オプションが指定されている場合は、指定されたオプションを指定されたコマンドと一緒に使用することはできません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: このコマンドに -FILELIST オプションが指定されている場合は、問題になっているオプションを指定しないでください。

ANS1212I 無効なプロセス番号が入力されました。
やり直してください。

説明: プロセスのリストに示されていない番号が選択されました。それは、1 より小さいかまたは表示されている最大の項目番号より大きい値です。

システムの処置: クライアントは、有効な選択を要求するプロンプトを出します。

ユーザーの処置: リストの中の番号を入力するか、終了する場合は 'Q' を入力してください。

ANS1213W デバイス *device-name* に対するスナップショット・イメージ・バックアップは不可能です。
静的イメージ・バックアップを開始中。

説明: Linux プラットフォームでは、スナップショット・イメージ・バックアップは、Linux 論理ボリューム・マネージャー (LVM) によって作成された論理ボリュームに対してのみ可能です。デフォルトのイメージ・バックアップ・タイプはスナップショットなので、LVM を使用して作成されなかったパーティションのバックアップは、自動的に静的イメージ・バックアップになります。

システムの処置: スナップショット・イメージ・バックアップが静的イメージ・バックアップにフェイルオーバーします。

ユーザーの処置: このメッセージを避けるには、*imagetype* オプションを使用して静的または動的イメージ・バックアップを指定します。

ANS1214E 論理ボリューム・グループに、ボリューム・スナップショットを含めるために十分なフリー・スペースがありません。

説明: スナップショットは、バックアップされている論理ボリュームを含むボリューム・グループに作成されます。ボリューム・グループに、スナップショットを含めるのに十分なフリー・スペースがありません。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: *SNAPSHOTCACHESIZE* 値を小さくするか、論理ボリューム・グループ内の使用可能なスペースを追加してください。その後で、操作を再試行してください。

ANS1215E **RAW** または フォーマット設定 **FAT32** では、スナップショット・キャッシュ位置は、バックアップ中の同一ボリューム上には配置できません。

説明: スナップショット・キャッシュ位置が、バックアップ中の同一ボリューム上にある場合、ボリュームは NTFS 形式にフォーマットする必要があります。デフォルト・キャッシュ位置は、スナップショットが実行されているのと同じのボリュームです。

システムの処置: クライアントはイメージ・スナップショット・バックアップ操作を実行しません。

ユーザーの処置: *SNAPSHOTCACHELOCATION* オプションを使用して、別のスナップショット・キャッシュ位置を指定してください。

ANS1216E **IBM Spectrum Protect** の実行を許可されていません。システムの管理者に連絡してください。

説明: 接続を試みているサーバーのシステム・オプション・ファイルは、ユーザー項目またはグループ項目、あるいはその両方を含んでいます。ユーザー ID またはグループ ID がどの項目にも発見されませんでした。ユーザーは現在このサーバーに対して **IBM Spectrum Protect** を実行する許可を持っていません。

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** 初期化は失敗し、プログラムは終了します。

ユーザーの処置: システムの **IBM Spectrum Protect** 管理者に連絡して、このサーバーのユーザーまたはグループ・リストへの追加を依頼してください。

ANS1217E システム・オプション・ファイルにサーバー名が見つかりません。

説明: システム・オプション・ファイルは *SERVERNAME* オプションを含みません。

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** 初期化は失敗し、プログラムは終了します。

ユーザーの処置: システムの **IBM Spectrum Protect** 管理者に連絡し、システム・オプション・ファイルの中にサーバー名が入っていることを確認してください。

ANS1218E システム・オプション・ファイルの中には、このサーバーの **TCPSERVERADDRESS** が定義されていません。

説明: システム・オプション・ファイルのサーバー名スタンザに、このサーバーの **TCPSERVERADDRESS** が定義されていません。

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** 初期化は失敗し、プログラムは終了します。

ユーザーの処置: システムの **IBM Spectrum Protect** 管理者に連絡し、接続先のサーバーのシステム・オプション

ANS1219E • ANS1226E

ョン・ファイル内に有効な TCPSERVERADDRESS が定義されていることを確認してください。

ANS1219E 仮想ノード名は、ノード名やシステム・ホスト名と異なる必要があります。

説明: VIRTUALNODENAME オプションに、NODENAME オプションまたはシステム・ホスト名と同じ名前が入力されました。

システムの処置: 初期化は失敗し、プログラムは終了します。

ユーザーの処置: 入力された仮想ノード名がホスト名と同じ場合は、仮想ノード名を除去してください。

NODENAME オプションと同じ場合は、意図された使用法に従っていずれかを除去してください。

NODENAME は、ご使用のシステムに代替名を割り当てるために使用されます。仮想ノード名は、別のシステムのサーバー・データにアクセスするために使用されます。

ANS1220E IBM Spectrum Protect サーバーがリソース不足です。

説明: ストレージ・リソースが不足しているか最大値条件が抜けているために、新規活動は実行できません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 後で操作を再試行してください。問題が続く場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、選択不可能なリソースを分離してください。IBM Spectrum Protect 管理者は、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティー・ログに問題を説明するようなメッセージがないか、チェックします。

ANS1221E トランザクション中止。

説明: サーバーとクライアントとの間の現行トランザクションが停止しました。サーバー、クライアント、または通信障害は回復することができません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が継続する場合は、システム管理者に連絡して問題を解決してください。

ANS1222E このプロセスのディスク・スペース限界に達しました。

説明: クライアント所有者に割り振られたディスク・スペースがフルです。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディスク・スペースを解放して、リス

トアまたはリトリート操作を再試行してください。

ANS1223E ファイルは圧縮されていません。システム障害。

説明: 圧縮のフラグを立てられたファイルが圧縮されていなかったため、システムで障害が発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: システム管理者にこの問題を報告してください。このエラーはシステム障害です。

ANS1224E ファイルはより多くのメモリーを持つ、別のクライアント・マシン上で圧縮されました。

説明: リストアを試行しているファイルは、ご使用のクライアント・ワークステーションより多くのメモリーを持つ別のクライアント・ワークステーションでバックアップおよび圧縮されています。このファイルはリストアできません。ファイルをリストアして解凍するには、ご使用のワークステーションのメモリーは不十分です。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: より多くのメモリーを持つマシンを手して、操作を再試行してください。

ANS1225E ファイルの圧縮/解凍にはメモリー不足です。

説明: データの圧縮または解凍 (展開) を行うための十分なメモリーが利用できません。リストアまたはリトリートに関しては、追加ストレージが利用可能となるまでは、サーバーからファイルを再呼び出しすることはできません。バックアップまたはアーカイブの場合は、ストレージが利用可能ではないときには、圧縮なしで実行を試行します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作のためにストレージを解放して継続するか、あるいは圧縮使用不能でバックアップまたはアーカイブ処理を実行します。

ANS1226E 宛先ファイルまたはディレクトリーは書き込みロックされています。

説明: 宛先が書き込みロックされているため、サーバーからリストアまたはリトリートされているファイルまたはディレクトリーに書き込むことができません。別の操作がファイルをオープンしていて、更新を許可していない可能性があります。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルを書き込みロックした操作を

判別するか、ファイルを別の名前または場所にリストアします。

ANS1227E 処理は停止しました。ディスクがいっぱいになっています。

説明: 宛先ディスクがフルであるため、これ以上のファイルをリストアまたはリトリブできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディスク・スペースを解放するか、ファイルを別のディスクにリストアまたはリトリブします。

ANS1228E オブジェクト '*object-nameobject-nameobject-name*' の送信が失敗しました。

説明: 指定したファイル (*object-name*) をサーバーに送信することができません。このメッセージには、少なくとも 1 つの別のメッセージが伴います。そのメッセージには、ファイルを処理できないより詳しい理由が示されます。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: このファイルに関する直前のメッセージで、失敗の理由を確認してください。適用できる場合は、サーバーへのファイル送信を妨げた状態を訂正してください。具体的な修正アクションは、失敗の理由によって異なります。

ANS1229E **MODE=INCREMENTAL** は、*file-space* では無効です。イメージ・バックアップは処理されません。

説明: このファイル・スペースは、少なくとも 1 回はプログレッシブ増分バックアップの対象になったことがあるため、バックアップ・イメージ・コマンドで **MODE=INCREMENTAL** オプション (イメージ・データごとに増分) を使用できません。

システムの処置: ファイル・システムはスキップされました。

ユーザーの処置: 指定したファイル・スペースのイメージ・バックアップが必要な場合は、

MODE=INCREMENTAL オプションを指定せずに、コマンドを再試行してください。今後このような動作を回避するには、サーバーから当該ファイル・スペースを削除し、それ以後は **BACKUP IMAGE**

-mode=selective と **BACKUP IMAGE**

-mode=incremental のみを使用するようにします。

ANS1230E 無効 **NFS** ファイル・ハンドル。

説明: **NFS** ファイル・システムが不整合になっています。

システムの処置: ファイル・システムはスキップされました。

ユーザーの処置: **NFS** マウント・ファイル・システムを確認してください。

ANS1231E 使用可能なファイル・ハンドルがありません。

説明: システムのファイル・ハンドルはすべて現在使用中です。使用可能なものはありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 他のプロセスを終了して一部のファイル・ハンドルを解放するか、システム・セットアップを変更して同時にオープンできるファイルの数を増やします。

ANS1232E ファイルが存在し、上書きできません。

説明: リストアまたはリトリブしようとしているファイルが存在し、権限かアクセス許可がないために上書きできません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: そのファイルに上書きするために必要なアクセス許可を持っていることを確認して、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるためにシステム管理者か **IBM Spectrum Protect** 管理者に連絡してください。

ANS1233E 無効なファイル・ハンドルが渡されました。システム・エラー。

説明: 内部システム・エラーが発生しました。無効なファイル・ハンドルのためにファイル操作が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。失敗が続く場合は、問題をキャプチャーしたサービス・トレースを取得し、**IBM** 技術サポートに連絡して支援を依頼してください。トレースの構成では、**IBM Spectrum Protect** 管理者の支援を受けることができます。

ANS1234E プロトコル違反。

説明: 通信プロトコル・エラーが発生しました。通信サブシステムが適切に定義されていないか、あるいはそれ自身にエラーがあります。

ANS1235E • ANS1243E

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 通信処理が適切に稼働しているかどうか検査し、その後操作を再試行します。

ANS1235E 不明なシステム・エラーが発生し、**IBM Spectrum Protect** はリカバリーできません。

説明: 不明なエラーが発生しました。これは、**IBM Spectrum Protect** が回復できない低レベルのシステム・エラーまたは通信エラーである可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合には、**IBM Spectrum Protect** エラー・ログで関連メッセージを確認してください。問題をキャプチャーしたサービス・トレースを取得し、**IBM** 技術サポートに連絡して支援を受けてください。トレースの構成では、**IBM Spectrum Protect** 管理者の支援を受けることができます。

ANS1236E 予期しないエラーが発生しました。

説明: これは、通常、**IBM Spectrum Protect** が回復できない低レベルのシステム・エラーまたは通信エラーによって起こります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、このエラーに関連している可能性のある追加のメッセージが何かないか調べてください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために **IBM Spectrum Protect** のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1237E **IBM Spectrum Protect** サーバーで問題が発生しました。

説明: クライアント・エラー・ログと **IBM Spectrum Protect** サーバー・アクティビティ・ログに、このエラーに関する追加情報が含まれている場合があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合には、クライアント・エラー・ログと **IBM Spectrum Protect** サーバー・アクティビティ・ログで、この問題に関する追加情報を調べてください。問題が解決しない場合には、問題を捕そくした **SERVICE** トレースを取得して、**IBM** テクニカル・サポートに連絡して援助を求めてください。トレースの構成では、**IBM Spectrum Protect** 管理者の支援を受けることができます。

ANS1238S **IBM Spectrum Protect** サーバーにポリシー管理の問題が発生しました。

説明: クライアント・エラー・ログと **IBM Spectrum Protect** サーバー・アクティビティ・ログに、このエラーに関する追加情報が含まれている場合があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合には、クライアント・エラー・ログと **IBM Spectrum Protect** サーバー・アクティビティ・ログで、この問題に関する追加情報を調べてください。問題が解決しない場合には、問題を捕そくした **SERVICE** トレースを取得して、**IBM** テクニカル・サポートに連絡して援助を求めてください。トレースの構成では、**IBM Spectrum Protect** 管理者の支援を受けることができます。

ANS1241E ファイルは使用中。書き込み許可は拒否されました。

説明: 現行ファイルは、現在、別の操作によって実行されているため、オープンして書き込むことができません。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルを実行している操作を停止して、操作を再試行するか、ファイルを異なる名前またはディレクトリーにリストアまたはリトリーブします。

ANS1242E 名前の解決を試みているときに検出されたシンボリック・リンクの数が多すぎます。

説明: ファイル名の解決を試行しているときに検出されたシンボリック・リンクの数が多すぎます。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルにループ・シンボリック・リンクがないことを確認してください。

ANS1243E ファイル名が長すぎるので、**IBM Spectrum Protect** が処理できません。

説明: ファイル名のサイズ制限は、オペレーティング・システムによって異なる場合があります。最も一般的な限度は 256 文字です。処理しているファイル名は、このシステム上の **IBM Spectrum Protect** によってサポートされる制限を超えています。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: **HELP FILE SPEC** を入力するか、このエラーを受信したオペレーティング・システムのクライアントのマニュアルを参照してください。マニュアルの『ファイル指定構文』セクションに、**IBM Spectrum**

Protect でサポートされるファイル名の長さが説明されています。

ANS1244E ファイル・システムはシステムによってロックされています。

説明: システムによってロックされているため、ファイル・システムにアクセスできません。

システムの処置: 操作を完了できません。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1245E ファイルのフォーマットが不明です。

説明: プロセスがファイルをリストアまたはリトリブしようとしたのですが、そのファイルのフォーマットが不明でした。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: そのファイルは別のアプリケーションでバックアップされたか、データが無効です。ファイルがこのシステムに属している場合は、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1246E コマンド・ラインの引数が、単一トークンの最大長 (*maximum length*) を超えています。

説明: コマンド・ライン引数は、*maximum length* 文字数を超えないようにします。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1247I サーバーからのファイルを待機中...

説明: リストア要求がサーバーに送信されました。待機時間はリストアするファイルの数によって異なります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルがサーバーからリストアされるのを待機します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1248E 同じソース・ファイル仕様の活動リストアが存在します。
この要求を続行することはできません。

説明: 現在、同じソース・ファイル仕様の活動リストアが存在しています。同じソース・ファイル仕様の別のリストアを開始することができません。

システムの処置: 要求されたリストアは失敗します。

ユーザーの処置: 異なるソース・ファイル仕様を指定して別のリストアを開始します。

ANS1249W サーバーが最後のリストア要求を再始動することができません。
再始動しないでリストアしますか、あるいは要求を打ち切りますか?

説明: 再スタート・リストア・トークンが有効期限切れになりました。サーバーは最後に終了したところからリストアを再始動することができません。

システムの処置: 処理は停止しました。ユーザーの介入を待ちます。

ユーザーの処置: 再始動しないで要求を再試行するか、あるいは要求を打ち切ります。

ANS1251E ファイル・システム/ドライブが作動不能です。

説明: ファイル・システム/ドライブでアクセスの準備ができていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ドライブが利用可能であることを確認し、操作を再試行します。

ANS1252W 接続したサーバーでは、この機能はサポートされていません。

説明: 仮想サーバーに接続しているときに、バックアップ・アーカイブ・クライアント操作を実行しようとした。仮想サーバーに接続している場合は、バックアップ・アーカイブ・クライアント操作はサポートされていません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: この機能を試みる前に有効なサーバーに接続してください。

ANS1253E ファイル入出力エラー。

説明: ファイルの読み取り中またはファイルへの書き込み中にエラーが検出されました。

システムの処置: ファイルまたはファイル・システムはスキップされます。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していることを確認してください。OS/2 の場合、障害を起こしたドライブに対して CHKDSK /F を実行してください。該当ドライブは、dsmerror.log で見つけることができます。

ANS1254E ファイル書き込みエラー。

説明: ファイルへの書き込み中にエラーが検出されました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していることを確認してください。

ANS1255E ファイルがシステム/ユーザー・ファイル限界を超えています。

説明: リストアまたはリトリブしようとしているファイルが、このユーザーに対するシステムの設定限界を超えています。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: システムしきい値が適切に設定されていることを確認してください。

ANS1256E ファイル/ディレクトリーを作成できません。

説明: リストアまたはリトリブされているファイルのディレクトリー・パスを作成できません。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: リストアまたはリトリブされているファイルのディレクトリーを作成するための適切な許可を取得していることを確認してください。書き込みアクセスが許可されていることを確認してください。

ANS1257E システム・オブジェクトのリストア準備中にエラーが発生しました。

説明: このメッセージは一般に、システム・オブジェクトのリストア準備で、クライアントが ADSM.SYS ステージング・ディレクトリーを削除できない場合に発行されます。

システムの処置: システム・オブジェクトはリストアされません。

ユーザーの処置: エラー・ログにこの障害の原因を示す他のメッセージがないかを調べて、示されている問題がある場合はそれを訂正してから、操作を再試行してください。問題が再発する場合は、手動で ADSM.SYS ディレクトリーを削除してから、操作を再試行してください。この問題が解決しない場合は、IBM テクニカル・サポートに連絡して、追加の支援を求めてください。

ANS1258E イメージ・スナップショット操作は失敗しました。

説明: プロセスは、指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: エラー・ログで、エラーの理由を示すその他のメッセージを調べてください。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1259E イメージ・スナップショット操作は失敗しました。 診断テキスト: *diag_text*。

説明: イメージ・バックアップ・スナップショット処理中にエラーが発生しました。エラーによっては、診断テキストが異なる可能性があります。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、問題の理由を示す他のメッセージがないか確認してください。メッセージに示されている修正アクションを行い、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1260E ファイルは再呼び出しされているところか、再呼び出しされています。

説明: ファイルが他の処理によって再呼び出し中か、あるいは再呼び出しが行われました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: なし

ANS1261W 指定したアーカイブの記述は、空ストリングです。
プロセスは、デフォルト記述 (**Archive Date: current date**) を使用します。

説明: アーカイブ・コマンド上の記述オプションは、空ストリングを指定しないようにします。

システムの処置: 処理は継続します。記述オプションは無視されます。

ユーザーの処置: ありません。記述には少なくとも 1 文字を指定してください。

ANS1262E パスワードは更新されません。無効な現行パスワードが指定されたか、あるいは新規パスワードがサーバーのパスワード要件を満たしていません。

説明: 以下のいずれかの理由により、パスワードが更新されません。

- 誤った現行パスワードを入力した。
- パスワードの長さ要件を満たさない新規パスワードを入力した。長さ要件はサーバーで設定する。

システムの処置: サーバーのパスワードは更新されません。

ユーザーの処置: 別のパスワードを入力してください。

ANS1263E アクティブ・ポリシー・セットにバックアップ・コピー・グループが含まれていません。バックアップ操作を続行できません。

説明: ファイルをバックアップするには、ポリシー・セットに前回のバックアップ・コピー・グループが含まれている必要があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ファイルをバックアップしませんでした。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者はバックアップ・コピー・グループを含むユーザーのポリシー・セットで少なくとも 1 つの管理クラスを更新または定義するか、少なくとも 1 つのバックアップ・コピー・グループがある別のポリシー・ドメインにユーザーを割り当てる必要があります。さらに援助が必要な場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1264E アーカイブ・ポリシー・セットにアーカイブ・コピー・グループが入っていません。アーカイブ操作は続行できません。

説明: ファイルをアーカイブするには、ポリシー・セットにアーカイブ・コピー・グループが少なくとも 1 つ含まれている必要があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ファイルをアーカイブしていません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者はアーカイブ・コピー・グループを含むユーザーのポリシー・セットで少なくとも 1 つの管理クラスを更新または定義するか、少なくとも 1 つのアーカイブ・コピー・グループがある別のポリシー・ドメインにユーザーを割り当てる必要があります。さらに援助が必要な場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1265E 不良なマウントまたはファイル・システムが見つかり、処理は停止しました。

説明: getmnt システム・コールがエラー表示を戻しました。マウント・ファイル・システムの判別を試みているときにエラーが検出されました。

システムの処置: 処理は停止しました。回復不能です。

ユーザーの処置: システム上に正しくないファイル・システムあるいはマウント・ポイントが存在します。ファイル・システムおよびマウントを調べ、エラーを訂正します。成功しない場合は、システム管理者に詳細情報を問い合わせてください。

ANS1266E 不良なマウントまたはファイル・システムが見つかり、処理は停止しました。

説明: マウントされたファイル・システムの判別を試みているときに、エラーが検出されました。

システムの処置: 処理は停止しました。回復不能です。

ユーザーの処置: 詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

ANS1267E ファイル *file-name* の管理クラスでは、マイグレーションは許可されません。このファイルはマイグレーションされません。

説明: このファイルの管理クラスはマイグレーションを許可しません。

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に、管理クラス内のスペース管理技法を NONE 以外の値に変更依頼するか、あるいは、包含/除外リストを変更して、適切なスペース管理技法値を持つ管理クラスを指定します。

ANS1268E このファイルはマイグレーション済みです。

説明: このエラーは、ハード・リンクを持つファイルをマイグレーションする場合に発生することがあります。ハード・リンクを持つファイルがマイグレーションされた後、別名ファイルをマイグレーションしようとしてエラーになります。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: このエラーがハード・リンクされたファイルのマイグレーションによって発生したものではない場合、このエラーは、前にキャンセルされたマイグレーション操作または再呼び出し操作により発生した可能性があります。その場合は、dsmrecalld デーモンを再

始動して、操作を再試行してください。

ANS1269I ファイルは暗黙的に除外されます。

説明: 暗黙的に除外されるファイルのバックアップまたはマイグレーションが試みられました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は暗黙的に除外されるファイルをバックアップまたはマイグレーションしません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1270E このコマンドの実行には、有効な
NetApp Snapshot Differential c-mode
ライセンス・ファイルが必要です。

説明: NetApp Snapshot Differential c-mode ライセンス・ファイルが存在していないか、無効です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM サポートに連絡してください。

ANS1271E 圧縮ファイルが破損しているため、正しく解凍できません。

説明: 以下のいずれかの理由により、圧縮ファイルを正しく解凍できません。

テープに問題がある。

通信に問題がある。

圧縮ファイルが IBM Spectrum Protect サーバー上で破損している。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: 1) テープに問題があるため圧縮ファイルが破損した。これが問題であるかどうか調べるには、IBM Spectrum Protect サーバーで以下のコマンドを実行してください。 `audit volume <volume_name> fix=no` 問題が報告された場合は、そのボリュームから新しいボリュームにデータを移動して (MOVE DATA コマンドを参照)、リストアを再試行してください。 2) IBM Spectrum Protect サーバーと IBM Spectrum Protect クライアントの間の通信に問題があり、その結果、送信中にファイルが破損した。サーバーでギガビット・イーサネット・アダプターを使用している場合は、カード・ドライバをアップグレードするか (AIX プラットフォームの場合)、または、SUN が提供する、いくつかのシステム・ネットワーク・オプションへの推奨される変更 (この問題を解決済み) を追加してください (SUN プラットフォームの場合)。 3) リストア中に、ファイル破損の発生元の IBM Spectrum Protect クライアント/サーバー間に問題がなかったか、ネットワーク・サポート担当者に確認してください。

ANS1272W クライアントで適応サブファイル・バックアップが構成されていましたが、サーバーではこのタイプのバックアップが許可されていません。
この操作では適応サブファイル・バックアップは使用されません。

説明: サーバーにより適応サブファイル・バックアップが強制的にオフにされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: クライアントによるサブファイルのバックアップを許可するようにサーバーをセットアップしてください。

ANS1273I **Microsoft Windows** のホット・フィックス '*hotfix-number*' がインストールされていません。

説明: このメッセージは Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows Vista および Windows Server 2008 で出されます。このホット・フィックスは、新しく機能拡張された API を Windows に提供することにより、外部ライブラリーが正しくセキュアにロードされることに役立つことが確認されています。ホット・フィックスの詳細は、Microsoft のサポート・ページ <http://support.microsoft.com> を参照してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows Vista および Windows Server 2008 では、スナップショット差分バックアップを実行する前に、パッケージ KB2533623 を適用する必要があります。 OpenSSL を使用するバックアップ・アーカイブ・クライアントの操作が OpenSSL 関連のエラーで正常に完了できない場合、ホット・フィックスを再インストールして操作を再試行してください。

ANS1274E **WINSOCK.DLL** のロード中のエラー。

説明: Windows ソケットのサポート・ファイルをメモリーにロード中にエラーが発生しました。このエラーが適用されるのは、TCP/IP 通信を使用しているときだけです。

システムの処置: サーバーへの接続は失敗します。

ユーザーの処置: このエラーはメモリー不足によって生じるため、稼働中のアプリケーションをシャットダウンし、再試行します。それでも問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS1275E WINSOCK.DLL からの機能のロード中にエラー。

説明: Windows ソケットのサポート・ファイルから 1 つ以上の機能をロード中にエラーがありました。

システムの処置: サーバーへの接続は失敗します。

ユーザーの処置: これはメモリ不足によって生じる可能性があるため、実行中のアプリケーションをシャットダウンし、再試行します。それでも問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS1278W 仮想マウント・ポイント '*filesystem-name*' は、ファイル・システムです。ファイル・システムとしてバックアップされます。

説明: ファイル・システムである仮想マウント・ポイントは無効なので、削除する必要があります。

システムの処置: 仮想マウント・ポイントは無視されます。

ユーザーの処置: 仮想マウント・ポイントを削除してください。

ANS1279W 仮想マウント・ポイント '*filesystem-name*' は、自動マウント機能で操作しているファイル・システムでは使用できないので、無視されます。

説明: 仮想マウント・ポイントは、自動マウント機能で操作しているファイル・システムでは使用できません。仮想マウント・ポイントが自動マウント機能で処理されるファイル・システムに存在する場合、仮想マウント・ポイント下にあるバックアップ済みファイルは、ファイル・システムがマウント解除されるとき有効期限切れになります。

システムの処置: 仮想マウント・ポイントは無視されます。

ユーザーの処置: 仮想マウント・ポイントを削除してください。

ANS1286E この操作には **-nasnodename** オプションが必要です。

説明: ユーザーが出した NAS 関連コマンドで、NASNodename オプションが欠落しています。

システムの処置: 操作が打ち切られました。

ユーザーの処置: コマンドに **-nasnodename** オプションを追加するか、オプション・ファイルに **nasnodename** オプションを入れてください。

ANS1287E ボリュームをロックできませんでした。

説明: ボリュームをロックするためのシステム呼び出しが失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 他のアプリケーションがボリュームにアクセスしていないことを確認してください。バックアップ中にシャットダウンできないアプリケーションがこのボリュームにアクセスしている場合は、代わりにオンライン・イメージ・バックアップ (スナップショット) を実行してください。イメージのリストア時には、IBM Spectrum Protect にボリュームの排他使用ができる必要があります。

ANS1288E SET EVENT コマンドでは **(-TYPE)** オプションが必要です。

説明: **-TYPE** オプションには省略時値がありません。この値をコマンドとともに明示的に入力する必要があります。

システムの処置: 現行コマンドは終了します。

ユーザーの処置: SET EVENT コマンドを **TYPE** オプション付きで再入力し、値 **HOLD**、**RELEASE**、または **ACTIVATERETENTION** を指定します。

ANS1289W '*volume*' において、セクター *hi:lo* と *hi:lo* の間に誤った領域があります。

説明: イメージ操作中に、ボリュームの指定の範囲で誤ったセクターが検出されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: **chkdsk** (Windows) や **fsck** (UNIX) などのシステム・ツールを使用して、ボリューム・データが破壊されていないことを確認してください。

ANS1300E 必要な構成要素をリストアできないために、ファイル '*file_name*' を再構成できません。

説明: このファイルのバックアップにサブファイルのバックアップ技法が使用されました。 リストア中に、ファイルの部分はサーバーから取得されませんでした。

システムの処置: メッセージに示されているファイルはリストアされません。他のファイルに対するリストアは続行されます。

ユーザーの処置: ユーザー・インターフェースからリストアするファイルを選択して、そのファイルのリストアをやり直してください。クライアント・エラー・ログとサーバー・アクティビティ・ログに、このメッセージで示されているファイルに関するメッセージがないかど

うか確認することもできます。

ANS1301E IBM Spectrum Protect サーバーにおけるエラーのために、この操作を続行できません。**IBM Spectrum Protect** サーバー管理者に支援を依頼してください。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーで、IBM Spectrum Protect クライアントの操作を続行できなくなるようなエラー条件が検出されました。IBM Spectrum Protect サーバー管理者は、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティー・ログによって、このエラーに関する詳細を検討します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者に支援を依頼してください。管理者は、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティー・ログによって、このエラーの原因となった状態についてさらに詳しく検討します。

ANS1302E サーバー上に照会に一致するオブジェクトがありません。

説明: サーバー上のどのオブジェクトも実行される照会操作と一致しません。このオブジェクトがあるノードで生成されたバックアップ・セットの一部であり、しかもそのノード名がサーバーで変更されている場合は、その名前変更よりも前に生成されたバックアップ・セット・オブジェクトが新しいノード名に一致することはありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 名前が適切に入力されていることを確認します。オブジェクトがノード名変更よりも前に生成されたバックアップ・セットの一部である場合は、バックアップ・セットが生成されたノードと同じノード名であるか確認してください。

ANS1303E クライアントがトランザクションを終了しました。

説明: クライアント・システムはサーバーの操作を終了し、現行トランザクションを終了しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: セッションを再始動します。

ANS1304W 活動バックアップ・バージョンが見つかりません。

説明: オブジェクトを期限切れにしようとしたますが、IBM Spectrum Protect サーバーはそのオブジェクトの活動バックアップ・バージョンを検出できませんでし

た。このメッセージの前のメッセージ ANS1228E に、オブジェクト名が示されます。

例えば、2 つの別個のクライアント・プロセスが同じファイル・システムを同時にバックアップしている場合に、このメッセージが発行されます。一方のプロセスがファイルを期限切れにすると、IBM Spectrum Protect サーバーによってファイルが非活動になります。2 番目のプロセスが同じファイルを期限切れにしようとする、IBM Spectrum Protect サーバーはそのファイルの活動バージョンを検出できないため、2 番目のプロセスによってそのファイルに対するこのメッセージが発行されます。

システムの処置: オブジェクトは期限切れではありません。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置:

- コンソールの出力、スケジュール・ログ、またはエラー・ログを確認して、このメッセージの直前の ANS1228E メッセージを見つけてください。ANS1228E に、期限切れにできなかったオブジェクトが示されます。
- この問題が発生した状態を確認し、それらの状態のためにメッセージが発行されたかどうかを検討してください。例えば、クライアントの複数インスタンスがファイル・システムを同時にバックアップしようとした場合に、このメッセージが表示されることがあります。
- メッセージが発行された理由を判別できず、操作を再試行してもメッセージが発行される場合は、IBM サポートに連絡して支援を受けてください。また、<http://www.ibm.com> で、このメッセージ番号によって考えられる解決方法を検索してください。

ANS1305E IBM Spectrum Protect サーバーにオブジェクトに対するデータがありません。

説明: IBM Spectrum Protect は、関連したデータの無いオブジェクトでリストアまたはリトリブを実行しようとした。修正アクションが可能な場合、IBM Spectrum Protect サーバーにあります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現在の操作を終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡し、IBM Spectrum Protect アクティビティー・ログに、問題の識別に役立つ可能性のある、このエラーに関連したメッセージがないか確認してもらってください。

ANS1306E 間違ったパスワードが入力されました。

説明: 入力された現行パスワードが誤っているか、入力された新規パスワードがサーバーで設定されているパスワード長さ要件を満たしていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しいパスワードでセッションを再試行してください。それでも失敗する場合や、パスワードを忘れた場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に新規パスワードの割り当てを依頼してください。

ANS1307E ノードが使用中です。

説明: 現在稼働しているノードは、サーバー上の他の操作によって使用中です。これは他のクライアントまたはサーバー上の活動からの可能性があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行するか、あるいはシステム管理者にユーザーのノードに関して他のどの操作が実行中であるかの調査を依頼します。

ANS1308E 有効期限は現在日より大きくなければなりません。

説明: アーカイブ有効期限が短すぎます。有効期限は本日より後でなければなりません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現在の操作を取り消します。

ユーザーの処置: 本日より後の有効期限を指定して、ファイルのアーカイブを再試行してください。

ANS1309I 要求されたデータはオフラインです。

説明: リストアまたはリトリブ操作に関しては、1 つ以上の要求されたファイルがオフライン・ストレージ・メディア (一般的にはテープ) から再呼び出しされなければなりません。待機時間は、サイトのオフライン・ストレージ管理ポリシーによって左右されます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、オフライン・ストレージ・メディアが使用可能になるのを待ってから、続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1310E オブジェクトが大き過ぎて、サーバーの限度を超えています。

説明: オブジェクトが大き過ぎます。サーバーの構成が、オブジェクトを受け入れるいかなるデータ・ストレージ・スペースも持ちません。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ご使用のサイトのサーバーが構成されている最大ファイル (オブジェクト) サイズの判別をシステム管理者に依頼してください。

ANS1311E サーバーのデータ・ストレージ・スペースが不足しています。

説明: サーバーはオブジェクトを保管するために利用可能なスペースを持ちません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 以下のいずれかのアクションを実行することができます。

- システム管理者に、ストレージ・プールへのスペースの追加を要求する。
- IBM Spectrum Protect クライアントの場合、COMPRESSALWAYS=NO および COMPRESSION=YES をオプション・ファイル (DSM.OPT) にセットしてから、ファイルが圧縮時に大きくなるようなら、圧縮しないで再送する。
- API アプリケーションの場合は、アプリケーションの資料を参照して、圧縮に関する推奨事項を調べる。
- ディスク・ストレージ・プールでのディスクのキャッシングをオフにし、各ディスク・プール・ボリュームに対して MOVE DATA コマンドを発行して、キャッシュされたビット・ファイルをクリアする。

ANS1312E サーバー・メディアのマウントが可能ではありません。

説明: サーバー・メディアのマウントが可能ではありません。オフライン・ボリュームのマウントを待っているときに、サーバーはタイムアウトになりました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: サーバー・ボリュームがマウント可能になったら再試行します。このノードのサーバー上に定義した MAXNUMMP (マウント・ポイントの最大数) が、0 より大きいことを確認してください。

ANS1313E 見積サイズを超えました

説明: バックアップまたはアーカイブ操作のためのデータの合計量が、データ・ストレージ・スペース割り当てのためにサーバーに最初に送信された見積サイズを超えます。バックアップまたはアーカイブ操作がセッション中の間、多数のファイルが大幅に成長しているときにこれが発生します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、大量のデータを生成している、クライア

ント・マシン上で実行中の他のプロセスは何かを検査します。バックアップまたはアーカイブ操作の発生中には、これらの操作を使用不能にします。

ANS1314E サーバー上で現在ファイル・データが使用不能です。

説明: ファイル・データは現在サーバー上で利用不能です。 リトリブまたはリストア操作が試みられました。考えられる原因は以下のとおりです。

- サーバーでデータが破壊されました。
- サーバーは読み取りエラーを検出しました。
- ファイルはサーバーにおいて一時的にレクラメーション処理操作に含まれています。
- サーバーは利用不能とマークされたテープ・ボリュームを要求しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、サーバー・コンソールまたはアクティビティー・ログから問題判別を行うためにシステム管理者にご相談ください。利用不能なテープ・ボリュームに対する要求が行われたかどうかを検査します。読み取りエラーが既に検出されているか、あるいはボリュームがテープ・ライブラリーからチェックアウトされている場合は、テープ・ボリュームは利用不能とマークされる場合があります。

ANS1315W 予期しない再試行要求。 **IBM Spectrum Protect** サーバーはデータの書き込み中にエラーを検出しました。

説明: ありません。

システムの処置: 現行操作が再試行をサポートしている場合、クライアントは操作を再試行します。可能でない場合は、処理は停止します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1316E サーバーには、現行操作を続行するための十分なリカバリー・ログ・スペースがありません

説明: サーバーはリカバリー・ログ・スペースを使い果たしました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: このエラーは一時的な問題です。後ほど再試行するか、システム管理者に連絡してください。

ANS1317E サーバーに現行操作の続行するための十分なデータベース・スペースがありません。

説明: サーバーはデータベース・スペースを使い果たしました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1318E サーバーに現行操作を続行するための十分なメモリーがありません。

説明: サーバーはメモリーを使い果たしました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: これは一時的な問題です。後ほど再試行するか、システム管理者に連絡してください。

ANS1319E ファイル・スペース *file_space_name* の名前を変更しようとしたときに **IBM Spectrum Protect** サーバーでエラーが発生しました。

説明: ありません。

システムの処置: ファイル・スペースの名前を変更できないため、操作は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログと **IBM Spectrum Protect** サーバー・アクティビティー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。この問題が解決しない場合は、IBM テクニカル・サポートに連絡して、追加の支援を求めてください。

ANS1320E 指定されたファイル・スペースはサーバー上に存在しません。
ファイル・スペースは、別のクライアントまたは管理者によって削除された可能性があります。

説明: 指定されたファイル・スペースはサーバー上に存在しません。システム管理者がファイル・スペースを削除したか、あるいはユーザーのクライアント・ノード名を使用する他のクライアントがそれを削除しました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名が正しいかどうか検査し、操作を再試行します。

ANS1321S 指定されたノード名はサーバーの中に定義されているので、オープン登録が失敗しました。

説明: ノードが同じ名前のサーバーに定義されているの

で、オープン登録は失敗しました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 他のノード名で再試行します。

ANS1322S デフォルトのドメインが存在しないので、オープン登録が失敗しました。

説明: デフォルトのポリシー・ドメインがユーザーによるノードの配置のために存在しないため、オープン登録は失敗しました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1323S 無効なノード名が指定されているので、オープン登録が失敗しました。

説明: 指定されたノード名が無効文字を含むため、オープン登録は失敗しました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 無効文字を持たない他のノード名で再試行します。

ANS1326S IBM Spectrum Protect サーバーのストレージ・プールには、現在はこのファイルのためのスペースがありません。これは一時的な状態である可能性があります。

説明: このメッセージは、通常、データが保管されるストレージ・プールに十分なスペースがないが、まもなく使用可能になる場合に発行されます。例えば、ストレージ・プール・マイグレーションによって、データを保管するための十分なスペースが解放されます。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 後で操作をやり直してください。それでも失敗する場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してストレージ・プールのスペースを増やすように要求してください。

ANS1327W 'volname' に対するスナップショット操作が失敗しました。エラー・コード: *retcode*。

説明: 指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。

システムの処置: スナップショット処理が停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。この問題が解決しない場合は、IBM テクニ

カル・サポートに連絡して、追加の支援を求めてください。

ANS1328W 'file-name' の差分ファイル生成時にエラーが発生しました。戻りコードは *retcode* です。

説明: 差分ファイルの作成を妨げるエラーが発生しました。このエラーについて考えられる理由には以下のものがあります。

- 基本ファイルをオープンして読み取ることができない
- バックアップ対象のファイルをオープンして読み取ることができない
- 差分ファイルをオープンして書き込むことができない
- バックアップ対象のファイルが 2 GB を超えるサイズに拡大した
- ファイルのメモリー・ファイル・マッピングを作成できない

システムの処置: ファイルのフルバックアップが実行され、新規バージョンの参照ファイルがサブファイル・キャッシュに保管されます。

ユーザーの処置: メッセージが戻りコード 4504 を示す場合は、差分サブファイル・キャッシュ・ディレクトリに残差分ファイルがあるかを調べます。差分サブファイル・キャッシュ・ディレクトリは、クライアント・オプション SUBFILECACHEDPATH によって指定されます。このディレクトリで、「dXXXXXXXX」というファイルを検索します (ここで「XXXXXXXX」は 8 桁の数字です)。進行中のバックアップ操作がない場合、SUBFILECACHEDPATH にはこの名前のファイルはありません。進行中のバックアップ操作はないがこのようなファイルが存在する場合は、それらのファイルを安全に除去できます。

このメッセージを受信し続けているが、サブファイル・キャッシュ・ディレクトリに残差分ファイルは存在せず、ファイルのサイズも 2 GB を超えていない場合は、援助を求めるために IBM テクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1329S サーバーのデータ・ストレージ・スペースが不足しています。

説明: サーバーはオブジェクトを保管するために利用可能なスペースを持ちません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: サーバー上のストレージ・プールがいっぱいであることをシステム管理者に報告してください。

ANS1330S このノードには現在、保留中の再始動可能なりストア・セッションがあります。
このセッションが完了するか取り消されるまでは、
要求された操作は完了できません。

説明: この操作は、再始動可能ストア・セッションが保留中のため完了できません。再始動可能セッションと現在の操作は同じファイル・スペースに影響するため、この操作は許可されません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: リストアの照会を出して、競合点を見つけます。リストア取り消しコマンドを発行して不要な再始動可能ストア・セッションを削除します。

ANS1331E IBM Spectrum Protect の許可ユーザーだけがこのアクションを実行できます。

説明: ユーザーは、このアクションを実行できる IBM Spectrum Protect の許可ユーザーでなければなりません。ユーザーはパスワード許可されておらず、このアクションには許可が必要です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ユーザーは root ユーザーであるか、実行可能プログラムの所有者であり、かつ、設定有効ユーザー ID のビットが 'on' ('s' ビット) である必要があります。

ANS1332E アプリケーションの「... for Administrators」バージョンを実行します。

説明: ユーザーは、root またはシステム管理者であり、提供される許可ツールを使用して IBM Spectrum Protect を始動する必要があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は終了します。

ユーザーの処置: ユーザーは、root ユーザーとしてログインするか、システム管理者として以下の許可ツールのいずれかを使用して IBM Spectrum Protect を始動する必要があります。

- 「IBM Spectrum Protect Backup for Administrators」
- 「IBM Spectrum Protect Scheduler for Administrators」
- 「IBM Spectrum Protect Scheduler Daemon for Administrators」

ANS1334W ターゲット・ディレクトリーが空でないため、ボリューム・マウント・ポイント '*filepath namepath-namedir-name*' がリストアされませんでした。

説明: ターゲット・ディレクトリーが存在していない場合、あるいはターゲット・ディレクトリーが存在しており空である場合にのみ、ボリューム・マウント・ポイントをリストアできます。ターゲット・ディレクトリーが存在していて空ではない場合、またはターゲット・ディレクトリーが既にジャンクション・ポイントである場合には、ボリューム・マウント・ポイントをリストアできません。Windows Vista では、'%systemroot%\¥Users' フォルダを指す多数のジャンクション・ポイントがあるため、システム・ドライブのリストア中にこの警告が出て正常です。

システムの処置: ボリューム・マウント・ポイントはリストアされません。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置: 空でないディレクトリーとの競合を訂正してから、操作を再試行してください。SYSVOL 内にあるボリューム・マウント・ポイントに関してこのメッセージが発行される場合、不完全な SYSVOL が原因でシステムの安定性の問題が発生する可能性があるもので、これは特に重要です。ボリューム・マウント・ポイントのリストアの追加情報については、クライアントのマニュアルで RESTORE コマンドの参照情報を参照してください。

ANS1335E RSM データベース・ファイルをリストアできませんでした。

説明: ありません。

システムの処置: RSM データベースはリストアされません。それ以外の処理を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。システムをリブートしてから、RSM リストア操作を再試行してください。この問題が解決しない場合は、IBM テクニカル・サポートに連絡して、追加の支援を求めてください。

ANS1336I 変更を有効にするには、RSM サービスを再始動する必要があります。

説明: RSM データベース・ファイルはサーバーからリストアされ、インポートされています。更新を有効にするには、RSM サービスを再始動する必要があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1337I RSM サービスの再始動中...

説明: RSM データベース・ファイルはサーバーからリストアされ、インポートされています。プロセスは、RSM サービスを停止してから再始動しようとしています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1338I RSM サービスの再始動は完了しました。

説明: RSM データベース・ファイルはサーバーからリストアされ、インポートされています。プロセスがユーザーに代わって RSM サービスを再始動させました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1339E RSM サービスの再始動は失敗しました。 RSM サービスを手操作で再始動してください。

説明: RSM データベース・ファイルは IBM Spectrum Protect サーバーからリストアされ、インポートされています。プロセスはユーザーに代わって RSM サービスの再始動を試みましたが、問題に遭遇しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: RSM サービスを手操作で再始動してください。

ANS1340E RSM データベースのバックアップ中にエラーが発生しました。

説明: RSM データベース・ファイルのバックアップ中にエラーが発生しました。データベースはバックアップされません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1341E オペランド: *operand* に無効文字があります。

説明: 現在のロケールとコード・ページでは無効な文字が *operand* に含まれています。内部のワイド文字フォーマットには変換できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: オペランドを記録した言語に合うようにワークステーションのロケールを変更し、コマンドを再試行してください。

ANS1342E クライアント・キャッシュがロックされている。操作を継続できません。

説明: クライアント・キャッシュは、現在別のプロセスによってロックされています。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: このプログラム・エラーをサービス担当員に報告してください。

ANS1343E オプション '*specified-option*' は、'*other-option*' が入力されている場合のみ入力できます。

説明: コマンドは、指定されたオプション (*specified-option*) は入力されましたが、他のオプション (*other-option*) が入力されていなかったため失敗しました。

システムの処置: コマンドは終了します。

ユーザーの処置: 指定したオプションを削除してコマンドを実行してください。あるいは、他のオプションを追加してコマンドを実行します。

ANS1344E ジョブはバックグラウンドで実行中。キーのプロンプトを出すことができません。

説明: ジョブをバックグラウンドで実行中のときは、クライアントはキーのプロンプトを出すことができません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ジョブをフォアグラウンドで実行してください。

ANS1345E サーバー上のオブジェクトは、'*object-nameobject-nameobject-name*' に一致しません。

説明: 指定されたファイルは、サーバー上で一致するものがありません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: このファイルをバックアップして、操作を再試行してください。問題が解決されない場合は、サーバー・コンソールを使用して問題の原因を取り除くようシステム管理者に問い合わせてください。

ANS1346E イメージ・スナップショット操作は失敗しました。このスナップショット・イメージ・バックアップを実行できるだけのスペースが **SNAPSHOTCACHELocation** にはありません。

説明: IBM Spectrum Protect が指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。

SNAPSHOTCACHELocation は、スナップショットの処理を実行できるだけのスペースのない場所を指しています。この原因として、予期しない量のディスク活動が発生し、現時点で空いているスペースに収容できる以上の変更が生じたという可能性があります。そうでない場合、指定された場所はボリュームに対して生じる通常の変更量を扱えるだけの大きさでないため、**SNAPSHOTCACHELocation** を変更する必要があります。この障害の発生するもう 1 つの理由として、指定された **SNAPSHOTCACHESize** の値が、スナップショット・イメージ・バックアップ中にボリュームに対して生じる通常の変更量を処理するのに十分な大きさに設定されていないことが考えられます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、**SNAPSHOTCACHESize** を増やすか、**SNAPSHOTCACHELocation** の値を変更してください。

ANS1347E イメージ・スナップショット操作は失敗しました。 **SNAPSHOTCACHESize** によって指定された使用スペースの比率を超えています。

説明: IBM Spectrum Protect が指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。

SNAPSHOTCACHESize オプションで割り当てたスペースの比率では、このスナップショット・イメージ・バックアップを実行するのに不十分でした。この原因として、予期しない量のディスク活動が発生し、現時点で割り当てられているスペースに収容できる以上の変更が生じたという可能性があります。この障害の発生するもう 1 つの理由として、指定された **SNAPSHOTCACHESize** の値が、スナップショット・イメージ・バックアップ中にボリュームに対して生じる通常の変更量を処理するのに十分な大きさに設定されていないことが考えられます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、**SNAPSHOTCACHESize** を増加するか、または Windows の場合は、**SNAPSHOTCACHELocation** の値を変更してください。

ANS1348E ボリューム書き込み活動のため、**SNAPSHOTFSIDLEWait** オプションおよび **SNAPSHOTFSIDLERetries** オプションを満足できません。

説明: IBM Spectrum Protect が指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。論理ボリューム・スナップショット・エージェントでは、指定のボリュームのスナップショットを開始する前に、**SNAPSHOTFSIDLEWait** オプションおよび **SNAPSHOTFSIDLERetries** オプションの条件を満たすことができませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、バックアップしているボリュームの通常の書き込み活動にもっとよく合致するように、**SNAPSHOTFSIDLEWait** オプションおよび **SNAPSHOTFSIDLERetries** オプションを変更してください。

ANS1349E 論理ボリューム・スナップショット・エージェントのスナップショット処理時にエラーが発生しました。

説明: スナップショット処理時にリカバリー不能エラーが発生しました。これは、さまざまなエラーが原因で発生することがあるため、エラー・ログおよびシステム・イベント・ログで追加のメッセージがないかどうか確認する必要があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログおよびシステム・イベント・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1350E 論理ボリューム・スナップショット・エージェント (**LVSA**) は現在、これと同じボリュームでスナップショットを実行しているために使用中です。

説明: 別の IBM Spectrum Protect プロセスが既にこのボリュームのスナップショットを実行しています。

システムの処置: 操作が停止しました。

ユーザーの処置: 別の IBM Spectrum Protect プロセスがこのボリュームの処理を終えるまで待ってから、操作を再試行してください。

ANS1351E セッションはリジェクトされました。現在サーバー・セッションはすべて使用中です。

説明: IBM Spectrum Protect の全利用可能セッションは使用中であり、この時点では新規セッションを受け入れることはできません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合は、サーバーに対する並行アクティブ・セッションの数を増やすようにシステム管理者に依頼してください。

ANS1352E セッションはリジェクトされました。パスワードの有効期限が切れています。

説明: IBM Spectrum Protect ユーザー ID のパスワードの有効期限が切れています。IBM Spectrum Protect ノード名パスワードまたは管理ユーザー ID パスワードのいずれか、あるいはその両方です。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。パスワードが更新されるまでは、サーバーへの接続は許可されません。

ユーザーの処置: パスワードを更新してください。ノード名パスワードまたは対応する管理 ID パスワードまたはその両方を更新する必要がある場合があります。

SET PASSWORD コマンドを使用するか、IBM Spectrum Protect 管理者がノードまたは管理 ID を更新します。

ANS1353E セッションはリジェクトされました: 不明または正しくないユーザー ID が入力されました

説明: ユーザー ID (IBM Spectrum Protect ノード名または管理ユーザー ID) がサーバーに認識されません。考えられる理由は次のとおりです。

ノード名が IBM Spectrum Protect サーバーに登録されていません

ノード名は適切ですが、同じ名前とクライアント所有者権限を使用する、対応する管理 ID がありません

異なるノードにマイグレーションされたファイルへのアクセスを試みています。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: サーバーがクローズされた登録を使用し、ノード名がサーバーに登録されていることを確認してください。IBM Spectrum Protect ユーザー ID を正確に入力したことを確認してください。IBM Spectrum Protect ノード名に、そのノードに対するクライアント所有者権限を持つ、対応する管理 ID がある

ことを確認してください。 ない場合には、IBM Spectrum Protect 管理者は ID を作成する必要があります。マイグレーションしたファイルにアクセスする場合は、ノード名はファイルをマイグレーションしたノードと同一でなければなりません。

ANS1354E セッションはリジェクトされました。重複する ID が入力されました。

説明: このノード名を使用する他のプロセスがサーバーでアクティブになっています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はサーバーと接続することができません。現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: UNIX ベースのシステムが稼働している場合は、IBM Spectrum Protect で別のプロセスが同じ名前でもアクティブになっていないことを確認してください。また、ノード名がサーバーにとって固有であり、したがって他のユーザーによって使用できないことを確認します。そのノード名の所有者の識別をシステム管理者に依頼してください。

ANS1355E セッションはリジェクトされました。サーバーが使用不可になっています。

説明: サーバーは使用不能状態にあり、通常活動のためにアクセスすることはできません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー上で **ENABLE SESSIONS** 管理コマンドを実行します。サーバーが使用可能状態に戻った後、操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者にご相談ください。

ANS1356E サーバーはオープン登録を行えるようには構成されていません。

説明: 許可されません。システム管理者による登録が必要です。サーバーはオープン登録を行えるようには構成されていません。

システムの処置: セッションは開始されません。

ユーザーの処置: システム管理者から IBM Spectrum Protect ノードおよびパスワードを入手する必要があります。

ANS1357S セッションはリジェクトされました。下位レベルのクライアント・コード・バージョン。

説明: サーバー・バージョンとクライアント・バージョン

ンが一致しません。クライアント・コードのレベルが下です。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡し、ユーザーのロケーションではどのバージョンの IBM Spectrum Protect を実行すべきかを調べてください。

ANS1358S セッションはリジェクトされました。下位レベルのサーバー・コード・バージョン。

説明: サーバー・バージョンとクライアント・バージョンが一致しません。サーバー・コードのレベルが下です。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡し、ユーザーのロケーションではどのバージョンの IBM Spectrum Protect を実行すべきかを調べてください。

ANS1359E セッションはリジェクトされました。指定されたノード名が現在使用中です。

説明: 指定されたノード名はサーバー上で使用中です。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: サーバーは、ノードがセッションの設定を行うのを妨げるタスクを実行している可能性があります。後で再試行するか、あるいはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS1360I 圧縮データが大きくなっています

説明: 圧縮後のファイルのサイズが圧縮前のファイルのサイズより大きくなっています。

システムの処置: たとえファイルのサイズは大きくなっていても、ファイルは圧縮されています。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1361E セッションはリジェクトされました。指定されたノード名は現在ロックされています。

説明: 指定されたノード名は現在サーバー上でロックされています。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: ノード名がロックされている理由をシステム管理者に確認してください。

ANS1362S SLM ライセンスが超過: IBM Spectrum Protect のクライアント・ライセンス数を超過しています。

システム管理者にご相談ください。

説明: 新規登録の追加により、IBM Spectrum Protect の製品ライセンス・カウントが超過します。

システムの処置: クライアント登録または接続要求の実行が終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1363E セッションはリジェクトされました。サーバーに接続を確立できるだけの十分なメモリーがありませんでした。

説明: サーバーには、クライアントがサーバーとの接続を確立することを可能とする十分なメモリーがありません。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: 後ほど再試行するか、システム管理者に連絡してください。

ANS1364E セッションはリジェクトされました。サーバーに接続を確立できるだけの十分なリカバリー・ログ・スペースがありません。

説明: サーバーはリカバリー・ログ・スペースを使い果たしました。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: このエラーは一時的な問題です。後ほど再試行するか、システム管理者に連絡してください。

ANS1365E セッションがリジェクトされました。サーバーに接続を確立できるだけの十分なデータベース・スペースがありません。

説明: サーバーはデータベース・スペースを使い果たしました。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1366E セッションはリジェクトされました。
IBM Spectrum Protect サーバーに内部エラーがあります。

説明: 内部サーバー・エラーのために、クライアントが IBM Spectrum Protect サーバーとの接続を確立できません。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。
 ユーザーの処置: このエラーを IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS1367E サーバーで **Unicode** クライアントのサインオンが許可されていないため、クライアントが **IBM Spectrum Protect** サーバーにサインオンできません。

説明: クライアントは IBM Spectrum Protect サーバーに接続できません。

システムの処置: セッションは開始されません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡し、ご使用の環境で稼働する IBM Spectrum Protect クライアントを構成する上での支援を求めてください。

ANS1368S セッションはリジェクトされました。サーバーは、このプラットフォーム・タイプのライセンスを持っていません。
 システム管理者にご相談ください。

説明: 要求しているクライアント・タイプにはサーバーはライセンスされていません。

システムの処置: クライアント登録または接続要求の実行が終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1369E セッションはリジェクトされました。このセッションはサーバー管理者によってキャンセルされました。

説明: サーバー管理者が現行のクライアント・セッションを取り消しています。

システムの処置: クライアント接続要求の実行は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1370E 入力されたユーザー **ID** はクライアント・マシンにアクセスするための正しいレベルの権限を持っていません。

説明: 入力されたユーザー **ID** はこの IBM Spectrum Protect クライアントにアクセスできません。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー上のこのユーザー **ID** に、この IBM Spectrum Protect クライアントへのアクセスを可能にする権限を付与します。

ANS1371E サブファイル構成要素からファイル **' '** を再構成できません。

説明: このファイルをそのサブファイル・コンポーネントから再構築中にエラーが発生しました。

システムの処置: メッセージに示されているファイルはリストアされません。他のファイルに対するリストアは続行されます。

ユーザーの処置: ユーザー・インターフェースからリストアするファイルを選択して、そのファイルのリストアをやり直してください。クライアント・エラー・ログとサーバー・アクティビティ・ログに、このメッセージで示されているファイルに関するメッセージがないかどうか確認することもできます。

ANS1372E クライアント・ノードと **IBM Spectrum Protect** サーバーに登録されたノードの間に
 不整合が検出されました。

説明: ユーザーが行ったノード・オプションのコーディングに誤りがあると考えられます。例えば、IBM Spectrum Protect サーバーに登録されているノードが、実際には非 NAS タイプであるのに、NAS のタイプの 1 つになっている可能性があります。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: クライアント・オプション・ファイル内でのノード名が正しいか確認してください。タイプ NAS のノードを使用するのは、nasnodename オプションの場合だけにしてください。

ANS1373W ボリューム *filespace* に対する **PRESNAPSHOTCMD** コマンドは、ゼロ以外の戻りコードで完了しました。

説明: スナップショットのバックアップ/アーカイブ操作を実行するためには、PRESNAPSHOTCMD オプションで指定されたコマンドが正常に完了する必要があります。このコマンドは、戻りコード 0 (ゼロ) が表示されて完了すれば、正常に完了しています。コマンドが完了しても、それ以外の戻りコードが表示された場合は、コマンドは失敗しています。コマンドが失敗した場合でもバックアップは実行されますが、スナップショット・テクノロジーの利点は得られません。

システムの処置: クライアントはバックアップ/アーカイブ操作を実行しますが、スナップショットを使用しません。

ユーザーの処置: コマンドの失敗の原因となった問題を識別して修正してください。このコマンドではゼロ以外の戻りコードが通常であるような場合には、このコマン

ドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトにラップすることを検討してみてください。

ANS1374W ボリューム *filespace* に対する **POSTSNAPSHOTCMD** コマンドは、ゼロ以外の戻りコードで完了しました。

説明: POSTSNAPSHOTCMD オプションで指定されたコマンドは、ゼロ以外の値の戻りコードで完了しました。スナップショット・ベースのバックアップ操作は、少なくとも 8 の戻りコードになります。

システムの処置: スナップショット・ベースのバックアップ操作は継続します。

ユーザーの処置: 事後スナップショット・コマンドが失敗する原因となった問題を特定して解決してください。このコマンドではゼロ以外の戻りコードが通常であるような場合には、この事後スナップショット・コマンドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトにラップすることを検討してみてください。

ANS1375W ファイル *FilesystemPathFileName* は、ユーザーによってスキップされました。

説明: このファイルが現行操作中にスキップされるよう、ユーザーの要求が出されました。

システムの処置: ファイルは、現行操作中にスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1376E 「*filespace namepath-namefile-name*」の処理中にエラーが発生しました。エンドツーエンド・ダイジェスト検証は失敗しました。

説明: リストア済みまたはリトリーブ済みのデータの暗号ダイジェストが、バックアップまたはアーカイブ操作中に生成されたダイジェストと一致しませんでした。考えられる原因は、伝送エラー、データ破損、またはハッシュ衝突です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: リストア操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM 技術サポートに連絡して追加の支援を受けてください。

ANS1377W '*volname*' がファイル・システムのスナップショットを取得できませんでした。操作はスナップショット・サポートなしで続行されます。

説明: 何らかの理由により、IBM Spectrum Protect クライアントがボリュームのスナップショットを作成でき

ませんでした。操作を失敗する代わりに、IBM Spectrum Protect クライアントは非スナップショットに基づくバックアップを実行します。

システムの処置: スナップショット処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1378E スナップショット操作は失敗しました。このスナップショット操作を実行できるだけのスペースが **SNAPSHOTCACHELocation** にはありません。

説明: IBM Spectrum Protect が指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。SNAPSHOTCACHELocation は、スナップショットの処理を実行できるだけのスペースのない場所を指しています。失敗の理由は次のとおりです。

- 予期しない量のディスク活動が発生し、現時点で空いているスペースに収容できる以上の変更が生じたという可能性があります。
- 指定された **SNAPSHOTCACHELocation** はボリュームに対して生じる通常の変更量を処理するだけの大きさはありません。
- 指定された **SNAPSHOTCACHESize** の値が、スナップショットのバックアップまたはアーカイブ操作中にボリュームに対して生じる通常の変更量を処理するのに十分な大きさに設定されていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、**SNAPSHOTCACHESize** を増やすか、**SNAPSHOTCACHELocation** の値を変更してください。

ANS1379E スナップショット操作は失敗しました。**SNAPSHOTCACHELocation** に使用するスペースの比率は **SNAPSHOTCACHESize** で指定しますが、その比率を超えています。

説明: IBM Spectrum Protect が指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。SNAPSHOTCACHESize オプションで割り当てたスペースの比率では、このスナップショットのバックアップ/アーカイブ操作を実行するのに不十分でした。失敗の理由は次のとおりです。

- 指定された **SNAPSHOTCACHELocation** はボリュームに対して生じる通常の変更量処理するだけの大きさはありません。
- 指定された **SNAPSHOTCACHESize** の値が、スナップショットのバックアップまたはアーカイブ操作中にボリュームに対して生じる通常の変更量処理するのに十分な大きさに設定されていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、**SNAPSHOTCACHESize** を増やすか、**SNAPSHOTCACHELocation** の値を変更してください。

ANS1380W スナップショット操作は失敗しました。ファイル・システムが書き込み状態であったために、**SNAPSHOTFSIDLEWait** オプションおよび **SNAPSHOTFSIDLERetries** オプションに応じた処理を論理ボリューム・スナップショット・エージェントで実行することができませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect が指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。論理ボリューム・スナップショット・エージェントでは、指定のボリュームのスナップショットを開始する前に、**SNAPSHOTFSIDLEWait** オプションおよび **SNAPSHOTFSIDLERetries** オプションの条件を満たすことができませんでした。

システムの処置: スナップショット処理は停止します。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、バックアップしているボリュームの通常書き込み活動にもっとよく合致するよう、**SNAPSHOTFSIDLEWait** オプションおよび **SNAPSHOTFSIDLERetries** オプションを変更してください。

ANS1381W **RAW** または フォーマット設定 **FAT32** では、スナップショット・キャッシュ位置は、バックアップ中の同一ボリューム上には配置できません。

説明: スナップショット・キャッシュ位置が、バックアップ中の同一ボリューム上にある場合、ボリュームは NTFS 形式にフォーマットする必要があります。デフォルト・キャッシュ位置は、スナップショットが実行されているのと同じのボリュームです。操作はスナップショット・サポートなしで続行されます。

システムの処置: クライアントはスナップショット操作を実行しません。

ユーザーの処置: **SNAPSHOTCACHELOCATION** オプ

ションを使用して、別のスナップショット・キャッシュ位置を指定してください。

ANS1382E サーバーはこのノードのクライアント開始接続を許可しません。

説明: サーバーにおけるこのノードの構成パラメーターのため、このノードは接続を開始できません。サーバーは、プロンプト・モードで稼働するクライアント・スケジューラーへの接続を開始できます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してノードでのクライアント開始セッションを使用可能にするか、**SESSIONINITIATION** オプションを更新してクライアント・スケジューラーを実行してください。

ANS1383E サーバー・ポートが誤っています。

説明: 管理セッション専用セットアップされたサーバー・ポートで、バックアップ/アーカイブ・クライアント・セッションを開こうとしました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡するか、TCP ポートおよび TCP 管理ポートに正しい値を使用してください。

ANS1384E トランザクション・オブジェクトが、無効な管理クラスにバインドされています。

説明: トランザクションのオブジェクトの 1 つがこのノードのポリシーの一部ではない管理クラスにバインドされているか、管理クラス・タイプがこのクライアント・レベルではサポートされていません。

システムの処置: 現行操作は終了します。

ユーザーの処置: すべてのオブジェクトが有効な管理クラスにバインドされていることを確認するか、クライアントを適切なレベルにアップグレードしてください。

ANS1385E このサーバーはバックアップ操作をサポートしていません。

説明: このサーバーは、アーカイブ操作のみをサポートしており、バックアップはできません。

システムの処置: 現行操作は終了します。

ユーザーの処置: このサーバーではアーカイブ操作のみを使用してください。

ANS1386E オブジェクト: "*fshlll*" の削除は許可されません。

説明: オブジェクトは、保留されていて削除できないか、保存保護が使用可能なサーバーにあって有効期限が切れていないかのいずれかです。

システムの処置: オブジェクトはスキップされ、処理を続行します。

ユーザーの処置: 照会によってオブジェクトの状況を調べ、保留されているのかどうか、または有効期限を確認してください。

ANS1387E このトランザクションのオブジェクト数は、**TXNGROUPMAX** 値を超えています。

説明: このトランザクション内のオブジェクトが多すぎます。

システムの処置: 現行操作は終了します。

ユーザーの処置: トランザクションのオブジェクト数を減らして操作を再試行するか、サーバーの **TXNGROUPMAX** 値を増やしてください。

ANS1388E *fshlll* は既に保留されています。

説明: 指定されたオブジェクトが既に保留されており、新規に保留状態にすることはできません。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされ、処理を続行します。

ユーザーの処置: 照会を発行してオブジェクトの状況を確認し、既に保留されているオブジェクトなしで操作を再試行してください。

ANS1389W スケジュール済み *function* コマンドに無効なオプション (*option*)

説明: このメッセージには 2 つの理由が考えられます。

- *option* オプションが、そのオプションを使用できないスケジュール済みコマンドまたはサブコマンド (*function*) に指定されました。
- オプションはスケジュール済みコマンドに指定されていますが、クライアント・スケジューラーの初期コマンド・ラインでのみ有効であり、サーバーからのスケジュールにあるコマンドでは無効です。

システムの処置: オプションは無視されます。

ユーザーの処置: 指定されたオプションの正しい使用方法については、「バックアップ/アーカイブ・クライアントインストールとユーザーのガイド」を参照してください

い。システム管理者は、サーバーのスケジュール定義から無効なオプションを除去してください。

ANS1395E 宛先ファイル・スペースまたはドライブ名が使用できません。次のオブジェクトが処理されませんでした。

ファイル・スペース: '*filespace-name*'

説明: システムは、到達できない宛先にリストアまたはリトリブしようとしてしました。指定したファイル・スペース名またはドライブ名が無効か、存在しないか、あるいは解決できないローカル共用名を指定しています。

システムの処置: このファイル・スペースの一部となっているオブジェクトは処理されません。

ユーザーの処置: コマンドを再試行し、処理されなかったオブジェクトに別の宛先を指定してください。

ANS1396E 指定されたログ・ファイルまたはトレース・ファイル (*filename*) へのアクセスが拒否されました。

説明: 指定されたファイルへのアクセスが拒否されました。現在のユーザーが書き込みできないログ・ファイル名またはトレース・ファイル名を指定しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しいファイル名またはディレクトリー名を指定するようにして、許可を訂正するか、新しい場所を指定してください。

ANS1397W **SNAPSHOTCACHELocation** には、このスナップショット操作を実行するための十分なスペースがないので、スナップショットを取得できません。

説明: IBM Spectrum Protect が指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。

SNAPSHOTCACHELocation は、スナップショットを作成するための十分なスペースを持たない場所を指定しています。おそらくディスクがいっぱいになっています。操作はスナップショット・サポートなしで続行します。

システムの処置: クライアントはスナップショット操作を実行しません。

ユーザーの処置: **SNAPSHOTCACHELocation** の値を変更するか、**SNAPSHOTCACHELocation** が指示しているディスクの内容を消去します。

ANS1398E 初期化機能で **IBM Spectrum Protect** ログまたは関連ファイル: *log-name* の 1 つをオープンすることができません。 **errno** = *errno-value*, *reason*

説明: 初期化時に、ファイル「*log-name*」を開けませんでした。システムはエラー・コード *errno-value* を設定しました。示されている *reason* が「アクセス拒否」の場合、現行ユーザーには、所定のディレクトリー内のログへの書き込み権限がありません。また、所定のログ位置に使用可能なスペースがない場合もあります。

UNIX システムの場合、ログがルート・ディレクトリーに存在してはなりません。その場合、「アクセス拒否」エラーが発生します。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: **DSM_LOG** (または **DSMI_LOG**) 環境変数を、現行ユーザーが書き込み可能なディレクトリーに設定してください。 **ERRORLOGNAME** オプションを使用して、現行ユーザーが書き込み権限を持っているファイルを指定することもできます。

ANS1399W 論理ボリューム・スナップショット・エージェント (**LVSA**) は現在、これと同じボリュームでスナップショットを実行しているために使用中です。

説明: 別のプロセスがこのボリュームのスナップショットを既に実行しているため、**IBM Spectrum Protect** は指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。操作はスナップショット・サポートなしで続行します。

システムの処置: スナップショット処理は停止します。

ユーザーの処置: 別の **IBM Spectrum Protect** プロセスがこのボリュームの操作を完了するまで待機し、操作を再試行してください。

ANS1400W スナップショット・キャッシュ位置が無効です。

説明: スナップショット・キャッシュ位置は、NTFS 形式でフォーマットされたローカル・ボリュームを指してある必要があります。デフォルト・キャッシュ位置は、スナップショットが実行されているのと同じのボリュームです。操作はスナップショット・サポートなしで続行されます。

システムの処置: スナップショット処理は停止します。

ユーザーの処置: **SNAPSHOTCACHELOCATION** オプションを使用して、別のスナップショット・キャッシュ位置を指定してください。

ANS1401W スナップショット仮想ボリュームにはアクセスできません。

説明: **IBM Spectrum Protect** が端末のサービスによって開始された可能性があるため、論理ボリューム・スナップショット・エージェント (**LVSA**) は、OFS 対応バックアップ/アーカイブ操作の間、仮想ボリュームにアクセスすることができません。操作はスナップショット・サポートなしで続行します。

システムの処置: スナップショット処理は停止します。

ユーザーの処置: スナップショットには端末のサービスを使用しないでください。ローカル・マシンで操作を再試行してください。

ANS1402W スナップショットは、リモート、取り外し可能、または **SAN** ドライブではサポートされていません。

説明: オープン・ファイル・サポートはボリュームのマウント・ポイントなどのローカル固定ボリュームでのみサポートされるため、**IBM Spectrum Protect** が指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。操作はスナップショット・サポートなしで続行します。

システムの処置: クライアントはスナップショット操作を実行しません。

ユーザーの処置: オープン・ファイル・サポートを利用するには、ローカル・マシンで操作を再試行することができます。

ANS1403E 必須 *filename* **DLL** のロード中のエラー

説明: ダイナミック・リンク・ライブラリーのロード時にエラーが発生しました。 **DLL** のロードに失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 使用しているシステム・ソフトウェアが最新になっているか、**IBM Spectrum Protect** クライアントで必要とされる **DLL** がすべて存在しているか検証してください。

ANS1404E 必須 *filename* **DLL** からの 1 つ以上の機能のロード中のエラー

説明: ダイナミック・リンク・ライブラリーからの機能のロード時にエラーが発生しました。 **DLL** のロードに失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 使用しているシステム・ソフトウェアが最新になっているか検証してください。

ANS1405I 'service-name' サービスは再始動の必要があります。

説明: リストアした変更が有効になるためには、サービスを再始動する必要があります。

システムの処置: 変更が有効になっていません。

ユーザーの処置: サービスを再始動してください。

ANS1408W 以前の変更がコミットされていません。
スナップショットを取得するには、マシンを再始動する必要があります。

説明: 直前の操作でマシンを再始動して変更を有効にする必要がありましたが、マシンが再始動されなかったため、IBM Spectrum Protect は指定されたボリュームのスナップショットを取得できませんでした。操作はスナップショット・サポートなしで続行されます。

システムの処置: クライアントはスナップショット操作を実行しません。

ユーザーの処置: マシンを再始動し、操作を再試行してください。

ANS1410E ネットワーク・パスにアクセスすることができません。

説明: ネットワーク・パスはネットワーク問題の可能性のためにアクセスすることができません。

システムの処置: クライアントは終了します。

ユーザーの処置: ネットワークが立ち上がっており、またパスがシステム・コマンドを使ってアクセス可能であることを確認し、操作を再試行します。

ANS1411E 通信セッションがドロップしました。

説明: ネットワーク問題可能性のために、通信セッションはドロップしました。

システムの処置: クライアントは終了します。

ユーザーの処置: ネットワークが立ち上がっていることを確認し、操作を再試行します。

ANS1412E ディレクトリーまたはファイルに不良な
EA データまたは競合したデータがあります。

説明: ディレクトリーまたはファイルに不良な EA データまたは競合したデータがあります。

システムの処置: クライアントは終了します。

ユーザーの処置: 障害を持つディレクトリーまたはファイルの不良 EA データを検査します。ディレクトリー

を新規位置にコピーし、操作を再試行します。

ANS1413W ファイル 'filepath-namefile-name' は、ディスク・ファイルとしてシステムで認識されず、処理できません。このファイルはスキップされます。

説明: クライアントは、「文字」および「パイプ」のようなファイル・タイプを「ディスク」として処理することができません。常にではありませんが、一般的にはこのメッセージは、通常オペレーティング・システムで予約されているファイル名に対して出されます。

Windows 環境では、予約名には、AUX、CON、NUL、PRN、COMx または LPTx があります。ここで、'x' は 1 から 9 (例えば、COM1、LPT3 など) の数字です。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: 必要がなければ、そのファイルを削除するか、さもなければクライアント・オプションに EXCLUDE ステートメントを使用してクライアントがファイルを処理しないようにします。Windows 環境では、通常の削除コマンドはほとんど機能しません。ファイル名の接頭部には、文字 '¥¥¥' を使用してください。例えば、"del c:¥¥¥¥lpt4" は機能しませんが、"del ¥¥¥¥c:¥¥¥¥lpt4" は機能します。

ANS1414W サーバー上のオープン・グループを削除できる十分な権限がありません。

説明: オープン・イメージ・グループが IBM Spectrum Protect サーバー上に存在し、このノードに関するバックアップ削除権が欠落しているため削除できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者にノードに関するバックアップ削除権の認可を要求してください。

ANS1417W 保護されたシステム状態ファイル
'filename' は、システム状態ファイル・スペースではなく、
ドライブ・ファイル・スペースにバックアップされました。

説明: Microsoft Windows ファイル保護 (WFP) または Microsoft Windows リソース保護 (WRP) によって保護されたファイルは、システム状態の一部である Microsoft ボリューム シャドウ コピー サービス (VSS) システム書き込みプログラムの一部です。通常これらのファイルは、それらのファイルがあるファイル・システムではなく、システム状態の一部としてバックアップ

されます。

オペレーティング・システム環境の問題により、このメッセージ・テキストに示されている保護されたファイルはシステム状態ファイルとして列挙されないため、システム状態の一部としてバックアップされます。

このメッセージが表示される原因となった状態は正常ではありません。確実にファイルを保護するために、ファイルはそのファイルが常駐するファイル・システムの一部としてバックアップされます。

システムの処置: ファイルは、常駐するファイル・システムの一部分としてバックアップされます。

ユーザーの処置: ファイル・システムおよびシステム状態バックアップを使用してシステムをリストアすることが可能です。ただし、システム状態ファイルが正しく列挙されるのを妨げている条件に対処する必要があります。

Microsoft Windows 2008 および Microsoft Windows 2008 R2 では、DiskShadow ユーティリティのサブコマンド LIST WRITERS DETAILED を使用してシステム状態ファイルを列挙することができます。Microsoft Windows のほかのバージョンでは、-wm2 オプションを指定して vshadow ユーティリティを使用することにより、システム状態ファイルを列挙できます。このメッセージに示されたファイルがリストされないことを確認してください。

注: vshadow は、Microsoft から入手できるユーティリティです。

ファイルが列挙されないことを確認した後、オペレーティング・システムの技術サポートに連絡し、ファイルがシステム状態の一部として正しく列挙されるのを妨げている問題を診断して解決するための支援を要求してください。

ANS1418E 認証エラーです。 *nodename* の管理者パスワードまたはノード・パスワード (あるいはその両方) の有効期限が切れています。

説明: ノードの管理者パスワードまたはノード・パスワードの有効期限が切れているために、サーバーでセッションの認証に失敗しました。

システムの処置: 現行操作の処理は停止しました。

ユーザーの処置: 特定されたノードの管理者パスワードまたはノードのパスワード (あるいはその両方) を更新してください。

ANS1420E ボリューム・マップ文書 (*tsmvolmap.txt*) が見つかりません。

説明: VSS 自動システム回復 (ASR) の実行中にエラーが発生しました。詳細について、*dsmerror.log* を確認してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システム管理者にエラー・ログの検査を依頼してください。

ANS1421E イメージ・オブジェクト '*object-type*' がサーバーで見つかりませんでした。

説明: 指定された *object-type* タイプのイメージ・オブジェクトがサーバーで見つかりませんでした。このオブジェクトがないと、操作を完了できません。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、問題の理由を示す他のメッセージがないか確認してください。メッセージに示されている修正アクションを行い、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1423W 「*filesystem*」は仮想マウント・ポイントです。仮想マウント・ポイントに対するマイグレーションはサポートされていません。

説明: IBM Spectrum Protect HSM では、管理対象ファイル・システム内の仮想マウント・ポイントはサポートされていません。仮想マウント・ポイント・フォルダーのファイルはマイグレーションできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現行操作の続行を試みます。

ユーザーの処置: HSM で管理されるファイル・システム内の仮想マウント・ポイントを使用しないでください。代わりに、組み込み/除外ルールを使用してください。

ANS1424W ボリューム *filespace-name* に関して失敗したイメージ操作の再試行。

説明: ボリューム *filespace-name* に関するイメージ操作のためのトランザクションが、以前のメッセージ (複数の場合もある) で記述されていた理由によって失敗しました。

システムの処置: 要求されたイメージ操作があらためて再試行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1425E 重大エラーが原因で、ボリューム *filespace-name* のイメージ操作を再試行できません。

説明: ありません。

システムの処置: 示されているボリュームに対するイメージ操作は失敗します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1426E レジストリーのバックアップ・ディレクトリー構造の作成中にエラーが発生しました。

説明: Windows レジストリーのバックアップ・プロセスの一部として、IBM Spectrum Protect クライアントはクライアント・マシンで中間ディレクトリー構造を使用します。クライアントはこの中間ディレクトリー構造を作成できなかったため、Windows レジストリーをバックアップできませんでした。

この問題が発生するのは、バックアップ操作を実行するための十分な特権がユーザーにない場合や、クライアントがシステムからこれ以上メモリーを割り振ることができない場合、あるいはディレクトリー構造内のコンポーネントが既にファイルとして存在する場合です。

システムの処置: Windows レジストリーはバックアップされません。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、このメッセージが書き込まれたときに記録されたその他のメッセージがないかを調べます。そして、これらのメッセージで指示されている修正がある場合は、その修正を行ってください。また、この操作を実行するアカウントに十分な特権があることを確認します。プロセスを実行するだけの十分なメモリーがシステムにあることも確認してください。システム・ドライブのルートから ADMS.SYS ディレクトリーを除去してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、IBM のサポートに連絡して援助を求めてください。

ANS1427I レジストリー・バックアップ機能が正常に完了しました。

説明: レジストリー・バックアップは成功しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS1428E レジストリーのバックアップが失敗しました。

説明: ありません。

システムの処置: レジストリーはバックアップされません。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1429I レジストリー・リストア機能が正常に完了しました。

説明: レジストリー・リストアが成功しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS1430W 変更を有効にするには、マシンをリブートしなければなりません。

説明: リストア操作によって、マシンをリブートするまで有効にならない変更が行われました。リブートが行われるまでは、システムやそのアプリケーションが不安定な場合があるので、注意してください。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: リストア操作が終了したら、できるだけ速やかにマシンをリブートしてください。

ANS1431E レジストリーのリストアが失敗しました。

説明: ありません。

システムの処置: このレジストリーはリストアされません。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1432E キーワードの後に予期されているキーワード '*keyword*'

説明: レジストリー・コマンドの入力に誤りがあります。

システムの処置: レジストリー機能が起動されません。

ユーザーの処置: このコマンドのコマンド解説を参照してください。

ANS1433E キーワード '*keyword*' の後に余分な引数 '*input*' があります。

説明: レジストリー・コマンドの入力に誤りがあります。

システムの処置: レジストリー機能が起動されません。

ユーザーの処置: このコマンドのコマンド解説を参照してください。

ANS1434E キーワード '*keyword*' の後に無効な引数 '*input*' があります。

説明: レジストリー・コマンドの入力に誤りがあります。

システムの処置: レジストリー機能が起動されません。

ユーザーの処置: このコマンドのコマンド解説を参照してください。

ANS1435E レジストリー・キーの保管中にエラーが起きました。

説明: ありません。

システムの処置: レジストリーはバックアップされません。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1436E レジストリー・キーの置換中にエラーが起きました。

説明: ありません。

システムの処置: レジストリー・キーはサーバーからリストアされますが、レジストリーで活動化できません。現在のレジストリー・キーが引き続きアクティブになります。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1437I イベント・ログ・バックアップ機能が正常に完了しました。

説明: イベント・ログのバックアップは成功しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS1438E イベント・ログのバックアップが失敗しました。

説明: ありません。

システムの処置: イベント・ログはバックアップされません。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1439I イベント・ログ・リストア機能が正常に完了しました。

説明: イベント・ログのリストアが成功しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS1440E イベント・ログのリストアが失敗しました。

説明: ありません。

システムの処置: イベント・ログはリストアされません。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1441E キーワードの後に予期されているキーワード '*keyword*'

説明: イベント・ログ・コマンドの入力に誤りがあります。

システムの処置: イベント・ログ機能は起動されません。

ユーザーの処置: このコマンドのコマンド解説を参照してください。

ANS1442E キーワード '*keyword*' の後に余分な引数 '*input*' があります。

説明: イベント・ログ・コマンドの入力に誤りがあります。

システムの処置: イベント・ログ機能は起動されません。

ユーザーの処置: このコマンドのコマンド解説を参照してください。

ANS1443E キーワード '*keyword*' の後に無効な引数 '*input*' があります。

説明: イベント・ログ・コマンドの入力に誤りがあります。

システムの処置: イベント・ログ機能は起動されません。

ユーザーの処置: このコマンドのコマンド解説を参照してください。

ANS1444E イベント・ログのバックアップ・ディレクトリ構造の作成中にエラーが発生しました。

説明: Windows イベント・ログのバックアップ・プロセスの一部として、IBM Spectrum Protect クライアントはクライアント・マシンで中間ディレクトリ構造を使用します。クライアントはこの中間ディレクトリ構造を作成できなかったため、Windows イベント・ログをバックアップできませんでした。

この問題が発生するのは、バックアップ操作を実行するための十分な特権がユーザーにない場合や、クライアントがシステムからこれ以上メモリーを割り振ることができない場合、あるいはディレクトリ構造内のコンポーネントが既にファイルとして存在する場合です。

システムの処置: Windows イベント・ログはバックアップされません。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、このメッセージが書き込まれたときに記録されたその他のメッセージがないかを調べます。そして、これらのメッセージで指示されている修正がある場合は、その修正を行ってください。また、この操作を実行するアカウントに十分な特権があることを確認します。IBM Spectrum Protect を実行するだけの十分なメモリーがシステムにあることも確認してください。システム・ドライブのルートから ADSM.SYS ディレクトリを除去してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、IBM のサポートに連絡して援助を求めてください。

ANS1445E エラー: NAS イメージ・オブジェクトを作成できませんでした。

説明: NAS イメージ・オブジェクトの作成が、次のいずれかの理由で失敗しました。

- 無許可ユーザーが NAS コマンドを起動しました。
- NAS 操作が現行のプラットフォームではサポートされていません。

- NAS プラグイン・ライブラリーが検出できません。

システムの処置: 要求された NAS 操作は実行されません。

ユーザーの処置: 障害の原因を訂正してから操作を再試行してください。

ANS1446E VSS ASR バックアップ文書 (ASRBackupDoc.xml) が見つかりません。

説明: VSS 自動システム回復 (ASR) の実行中にエラーが発生しました。詳細について、dsmerror.log を確認してください。このエラーでは、考えられる原因は以下のとおりです。

- Windows XP または Windows 2003 などのレガシー・オペレーティング・システムを実行しているマシンをリカバリーしようとしている。レガシー・オペレーティング・システムに対する VSS ASR リストアはサポートされていません。
- バージョン 6.2.2 より前のクライアントで作成されたバックアップから、ASR リカバリーを実行しようとしている。このようなバックアップには、ASRBackupDoc.xml ファイルがありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システム管理者にエラー・ログの検査を依頼してください。

ANS1448E *command* コマンドは、現在のサーバーではサポートされません。

説明: クライアントが接続しているサーバーは、*command* をサポートしていません。

1. コマンドが「set event」の場合は、サーバーがイベント・ベースのポリシーをサポートしていません。このコマンドでは、サーバーがイベント・ベースのポリシーをサポートしている必要があります。このサポートは、IBM Spectrum Protect Server 5.2.2 レベル以上でのみ有効です。
2. メッセージに他のコマンドが表示される場合は、サーバーがアーカイブ保存保護をサポートするように構成されているため、その機能に関連付けられていない操作を処理することができません。

システムの処置: コマンドはスキップされ、別の処理が続行されます。

ユーザーの処置: 該当するサーバーにログインして、コマンドを再実行してください。

ANS1449W 予期しない非クリティカル・エラーが検出されました。
スナップショット (**Set/Volume**) の削除は失敗しました。推定原因: スナップショットがもはや存在しない。処理を続行中...

IBM Spectrum Protect スナップショット ID : *snapshot-id*

IBM Spectrum Protect 機能名 : *function-name*

IBM Spectrum Protect 機能 : *function-desc*

IBM Spectrum Protect 戻りコード : *TSM-rc*

IBM Spectrum Protect ファイル : *file-name (line-number)*

説明: ありません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS1450W -FILENAME オプションがファイル名なしで指定されました。出力は *filename* に書き込まれます。

説明: -FILENAME オプションが指定されましたが、ファイル名が省略されていました。

システムの処置: 出力をデフォルト・ファイルに書き込みます。

ユーザーの処置: コマンドを再発行して有効なファイル名を指定するか、デフォルト・ファイルに書き込まれた情報を使用してください。

ANS1453W NTFS 以外のファイル・システムでは、**IMAGEGAPSIZE** オプションはサポートされていません。ボリューム全体がバックアップされます。

説明: ありません。

システムの処置: ボリューム全体がバックアップされています。

ユーザーの処置: IMAGEGAPSIZE オプションに関する追加情報については、クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS1454W *name* に関する使用済みブロック情報を取得できませんでした。ボリューム全体がバックアップされます。

説明: ありません。

システムの処置: ボリューム全体がバックアップされています。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1458I ボリューム *name* 用の **OBF** ファイルが小さすぎるため、サーバー・フリー・データ転送ができません。

説明: ボリューム用の **OBF** ファイルが極端に小さいため、サーバー・フリー・データ転送を開始することができません。したがって、このファイルはサーバー・フリー・データ・パス経由で転送されません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1459E VSS 自動システム回復 (**ASR**) が失敗しました。

説明: VSS 自動システム回復 (ASR) の実行中にエラーが発生しました。詳細について、*dsmerror.log* を確認してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システム管理者にエラー・ログの検査を依頼してください。

ANS1461E '*filespace namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。暗号化タイプがサポートされていません。

説明: リストアまたはリトリブしようとしているファイルは、IBM Spectrum Protect クライアントの以降のバージョンによってバックアップまたはアーカイブされています。このファイル暗号化方式は、現在のクライアントではサポートされていません。

システムの処置: オブジェクトはスキップされました。

ユーザーの処置: 最新バージョンの IBM Spectrum Protect クライアントを使用してファイルをリストアまたはリトリブしてください。

ANS1463E 暗号化ライブラリーで予期しないエラーが発生しました。

説明: 暗号化ライブラリーに予期しないエラーがあります。詳しくは、エラー・ログを参照してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 失敗の原因を判別するには、エラー・ログで ANS1467E を調べてください。IBM Spectrum Protect クライアントが正しくインストールされているかを確認してください。必要であれば、クライアントまたは API を再インストールしてください。問題がまだ存在する場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS1464S ICC 暗号化ライブラリーをロードできません。

説明: プロセスは、クライアントとともに自動的にインストールされて実行時にロードされる暗号化ライブラリーを使用しています。クライアントはライブラリーがロードされなければ処理を進めることができません。

システムの処置: クライアントは終了します。

ユーザーの処置: 失敗の原因を判別するには、エラー・ログで ANS1467E を調べてください。ご使用の IBM Spectrum Protect クライアントが正しくインストールされているか確認してください。必要であれば、クライアントまたは API を再インストールしてください。問題がまだ存在する場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS1465E 競合するオプション **ERRORLOGMAX** および **ERRORLOGRETENTION** が指定されました。

説明: **ERRORLOGMAX** と **ERRORLOGRETENTION** の両方のオプションの値が指定されました。これらのオプションは相互に排他的です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定された最大値に達したときにエラー・ログが折り返されるようにしたい場合は、

ERRORLOGMAX オプションの値にゼロ以外の値を指定してください。時間ベースのスケジュールでエラー・ログのサイズを制限する場合は、**ERRORLOGRETENTION** オプションを使用してください。

ANS1466E 競合するオプション **SCHEDLOGMAX** および **SCHEDLOGRETENTION** が指定されました。

説明: **SCHEDLOGMAX** と **SCHEDLOGRETENTION** の両方にオプションの値が指定されました。これらの

オプションは相互に排他的です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定された最大値に達したときに IBM Spectrum Protect にスケジューラー・ログ折り返しを実行させる場合は、**SCHEDLOGMAX** にゼロ以外の値を指定してください。時間ベースのスケジュールでスケジューラー・ログのサイズを制限する場合は、**SCHEDLOGRETENTION** を使用してください。

ANS1467E ICC ルーチン *icc-routine* が **majRC = majRC, minRC = minRC, desc = 'desc'** を戻しました。

説明: ICC 暗号化ライブラリーにエラーがありました。このメッセージは、エラーの原因を判別するために IBM Spectrum Protect テクニカル・サポート担当者が使用する、戻りコードおよび問題記述を報告しています。

システムの処置: クライアントは終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect クライアントが正しくインストールされているかを確認してください。必要であれば、クライアントまたは API を再インストールしてください。問題がまだ存在する場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS1468E 自動化システム・リカバリー (ASR) ファイルのバックアップは失敗しました。ファイルはバックアップされません。

説明: 自動化システム・リカバリー (ASR) で必要なファイルのバックアップ中にエラーが発生しました。ファイルはバックアップされません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システム管理者にエラー・ログの検査を依頼してください。このコマンドの実行元となっている Windows アカウントに管理者権限があることを確認し、コマンドを再試行してください。

ANS1469E '*filespace namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。暗号鍵が無効です。

説明: 入力されたキーはファイルのバックアップ中に暗号化するために使用されたキーと一致しません。一致するキーが入力されないと、ファイルをリストアできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: リストア操作をやり直して、正しいキーを使用してください。

ANS1470E **ACL** と拡張属性のサポートに必要な **GPFS** 機能をロードできません。
path_name をスキップします。

説明: GPFS ACL と拡張属性を処理する GPFS 機能がロードされませんでした。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置: GPFS ソフトウェアがシステムにインストールされていることを確認し、操作を再試行してください。Linux では、GPFS libgpfs.so 共有ライブラリーの /usr/lib/ ディレクトリーに適切なシンボリック・リンクが作成されていることを確認してください。

ANS1471E **ASR** システム情報ファイルの作成に失敗しました。 **ASR** バックアップは失敗します。

説明: 自動化システム・リカバリー (ASR) に必要なシステム情報ファイル (asr.sif) の作成中にエラーが発生しました。 **ASR** バックアップは失敗します。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システム管理者にエラー・ログの検査を依頼してください。このコマンドの実行元となっている Windows アカウントに管理者権限があること、およびユーザーがシステム・オブジェクト・ステージング・ディレクトリー <system drive> :%adsm.sys へのアクセス権を持っていることを確認してください。コマンドを再試行してください。

ANS1472E **ASR** システム情報ファイルにエントリーを追加できませんでした。 **ASR** バックアップは失敗します。

説明: 自動化システム・リカバリー (ASR) に必要なシステム情報ファイル (asr.sif) にエントリーを追加中にエラーが発生しました。 **ASR** バックアップは失敗します。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システム管理者にエラー・ログの検査を依頼してください。このコマンドの実行元となっている Windows アカウントに管理者権限があることを確認し、コマンドを再試行してください。

ANS1473E セッションはリジェクトされました。共有メモリーの **TCP/IP** 接続障害。

説明: 共有メモリー・プロトコルによるローカル・サーバーへの接続の試みは、初期 TCP/IP 通信の間に失敗しました。このエラーは、サーバーが正しいポートで

listen していない場合、あるいはサーバーがダウンしている場合に発生する可能性があります。

システムの処置: セッションはリジェクトされました。処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行するか、あるいはサーバーがバックアップされるのを待ち、その後操作を再試行してください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS1474E 共有メモリー・プロトコルの使用時にエラーが発生しました。

説明: 共有メモリー通信プロトコルでデータを読み取りまたは書き込みしている間にエラーが起きました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することはできません。

ユーザーの処置: 追加情報がないかトレース・ログをチェックし、操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS1475E 共有メモリー領域に接続するには権限が不十分です。

説明: このコマンドを発行しているユーザーは共有メモリー・セグメントに接続する権限を持っていません。共有メモリー・セグメントがサーバーによって作成されたときには、それはサーバー・プロセス (dsmserv) の有効な uid によって所有されます。この uid または root によって実行されるプロセスのみが、セグメントに (さらにはサーバーに) 接続することができます。

システムの処置: セッションはリジェクトされ、処理は停止します。

ユーザーの処置: 可能な場合は、dsmserv を実行するプロセスの uid のもとでコマンドを実行してください。これが不可能な場合、詳しくは、システム管理者に問い合わせてください。

ANS1476E **CLUSTERNODE** は **YES** に設定されていますが、クラスター情報デーモンが開始されていません。

説明: **CLUSTERNODE** オプションを指定するためには、**HACMP** クラスター情報デーモンを開始する必要があります。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: **HACMP** クラスター情報デーモンを開始してください。

ANS1477E CLUSTERNODE は **YES** に設定されていますが、クラスター・ロード・ライブラリーが無効です。

説明: オペレーティング・システムがクラスター名を取得するために提供するロード・ライブラリーが無効です。原因として、ロード・ライブラリーが古く、この製品で必要とされる正しいルーチンが含まれていない可能性があります。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 最新のクラスター・ソフトウェアがシステムにインストールされているか確認してください。

ANS1478E CLUSTERNODE は **YES** に設定されていますが、クラスター・ソフトウェアがこのシステムで使用不能です。

説明: オペレーティング・システムがクラスター名を取得するために提供するロード・ライブラリーがこのシステムでは使用不能です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: クラスター・ソフトウェアがシステムにインストールされているか確認してください。

ANS1479E CLUSTERNODE は **YES** に設定されていますが、このマシンがクラスターのメンバーではありません。

説明: このマシンはクラスター・ノードのメンバーではありません。クラスター・サービスが正しく構成されなかったか、クラスターが初期化の最中であることが、原因として考えられます。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: クラスター・ソフトウェアが適正に構成されているか確認してください。クラスターが初期化の最中である場合は、後で操作を再試行してください。

ANS1480E CLUSTERNODE は **YES** に設定されていますが、クラスター・サービスがこのシステムで使用可能になっていません。

説明: クラスター・サービスがこのシステムで使用可能になっていません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: クラスター・サービスをシステムで使用可能にしてください。

ANS1481E CLUSTERNODE オプションはこのシステムではサポートされていません。

説明: このオプションはこのシステムではサポートされていません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ローカル・オプション・ファイルの **CLUSTERNODE** オプションを使用不可にしてください。

ANS1482E このプログラムがシステムからクラスター名を取得しようとしたら予期しないエラー (*retcode*) が起こりました。

説明: このプログラムがクラスター・サービスからクラスター名を取得しようとしたら不明のエラーが起こりました。エラー・コードは、このオペレーティング・システム環境で使用されているクラスター・サービスから直接提供された理由コードです。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ご使用のクラスタリング・ソフトウェアの資料で、この理由コードの説明を参照してください。クラスタリング・サービスが操作可能であることを確認して、IBM Spectrum Protect 操作を再試行してください。

ANS1483I スケジュール・ログの除去が開始されました。

説明: スケジュール・ログの除去機能が開始しました。

システムの処置: スケジュール・ログは除去されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1484I スケジュール・ログの除去が正常に完了しました。

説明: スケジュール・ログの除去機能は、エラーなしで完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1487E WMI リポジトリのバックアップ中にエラーが発生しました。データベースはバックアップされません。

説明: Windows イベント・ログとエラー・ログに、このエラーに関連した追加情報が含まれていることがあります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Windows イベント・ログとエラー・ログに、WMI に関連したメッセージがないかどうか確認してください。WMI (Windows Management Instrumentation) サービスが開始済みであることを確認してください。

ANS1489E WMI サービスは停止しませんでした。
ファイルはリストアされません。

説明: Windows Management Instrumentation (WMI) サービスの停止中にエラーが起きました。データベースはリストアされません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Windows イベント・ログとクライアント・エラー・ログに、WMI (Windows Management Instrumentation) に関連したメッセージがないかどうか確認してください。WMI サービスの停止を妨げているリソースを解放するために、WMI 活動を静止するか、マシンをリブートする必要があります。

ANS1490W ファイル指定 '*file-spec*' が無視されました。ファイル・リストは既に指定されています。

説明: -FILELIST が処理された後、オプションのない引数 (ファイル指定) が見つかりました。

システムの処置: 引数は無視されます。

ユーザーの処置: このコマンド上では、-FILELIST または明示的ファイル指定を行えますが、両方の指定はできません。

ANS1492S 無効なマウント・ポイント
file_space_name: ファイルが見つかりません。

説明: ファイル・システムで検索できなかったシステム・オプション・ファイル中の **VIRTUALMOUNTPOINT** オプションの指定は無効です。

システムの処置: プロセスは、現行操作を続けようとしています。

ユーザーの処置: システム・オプション・ファイルの仮想マウント・ポイントをチェックして、それがファイル・システムに存在していることを確認してください。操作を再試行してください。

ANS1493S 無効な仮想マウント・ポイント
file_space_name: アクセス否認。

説明: システム・オプション・ファイルの指定された **VIRTUALMOUNTPOINT** オプションは、アクセス否認で無効です。

システムの処置: プロセスは、現行操作を続けようとしています。

ユーザーの処置: システム・オプション・ファイル内の **VIRTUALMOUNTPOINT** オプションの値をチェックして、仮想マウント・ポイントがアクセス可能であることを確認してください。操作を再試行してください。

ANS1494S 無効な仮想マウント・ポイント
file_space_name: シンボリック・リンク。

説明: システム・オプション・ファイルの指定された **VIRTUALMOUNTPOINT** オプションは、シンボリック・リンクで、**FOLLOWSYMBOLIC** オプションがセットされていないので無効です。

システムの処置: プロセスは、現行操作を続けようとしています。

ユーザーの処置: ユーザー・オプション・ファイルでオプション **FOLLOWSYMBOLIC** を YES にセットしてください。操作を再試行してください。

ANS1495S 無効な仮想マウント・ポイント
file_space_name: 他のエラーは、戻りコード = *return_code* です。

説明: システム・オプション・ファイルの指定された **VIRTUALMOUNTPOINT** オプションは、無効です。

システムの処置: プロセスは、現行操作を続けようとしています。

ユーザーの処置: 仮想マウント・ポイントがディレクトリーで、シェルからアクセス可能であることを確認して、操作を再試行してください。

ANS1496W 重複した包含/除外オプション '*option file-name*' が、クライアント・オプション・ファイルの処理時に見つかりました。これにより、予期しない結果が起こる可能性があります。

説明: IBM Spectrum Protect がクライアント・オプション・ファイルを処理中に、予期しない結果を起こす可能性のある重複ステートメントを検索しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 望ましい結果を得たか検査してください。得られなかった場合は、クライアント・オプション・ファイルを修正して、重複オプション・ステートメントを除去してください。

ANS1497W 重複した包含/除外オプション '*option file-name*' が、サーバーが渡したクライアント・オプションの処理時に見つかりました。
これにより、予期しない結果が起こる可能性があります。

説明: IBM Spectrum Protect は、サーバーがクライアント・オプションを処理中に、予期しない結果を起こす可能性のある、重複ステートメントを検索しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 望ましい結果を得たか検査してください。得られなかった場合は、クライアント・オプション・ファイルを訂正するか、サーバーが渡したクライアント・オプションを訂正する必要があります。

ANS1498E IIS サービスは停止しませんでした。 ファイルはリストアされません。

説明: Internet Information Services (IIS) サービスの停止中にエラーが起きました。メタベースはリストアされません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Windows イベント・ログとクライアント・エラー・ログに、IIS (インターネット・インフォメーション・サービス) に関連したメッセージがないかどうか確認してください。IIS サービスの停止を妨げているリソースを解放するために、IIS 活動を静止するか、マシンをリブートする必要があります。

ANS1499E 目次の作成に失敗しました。

説明: 目次の作成中にサーバーで障害が発生しました。

システムの処置: 目次は作成されませんでした。

ユーザーの処置: この異常終了コードは、サーバーでの目次の作成で問題があったことを示します。システム管理者は、サーバーのアクティビティ・ログを確認して原因を判別する必要があります。

ANS1500E **dsmtca** モジュールはインストール・ディレクトリー内にありません。

説明: IBM Spectrum Protect は、該当するディレクトリーで **dsmtca** モジュールを見つけることができません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 製品を再インストールしてください。

ANS1501E **dsmtca** の実行/所有者許可が無効です

説明: **dsmtca** の実行/所有者許可が無効です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は終了します。

ユーザーの処置: **dsmtca** 許可が正しく設定されるように、クライアントのインストール指示を確認するようにシステム管理者に依頼してください。

ANS1502E **dsmtca** モジュールまたは **dsmenc** モジュールを実行するためのアクセスが拒否されました。

説明: バックアップ/アーカイブ・クライアントのユーザーに、**dsmtca** モジュールや **dsmenc** モジュールを実行するための権限がありません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1503E サーバー '*server-name*' の有効なパスワードが使用できません。

システムの管理者は、バックアップ・アーカイブ・クライアントを実行して、それをローカルに保管するためにはパスワードを入力する必要があります。

説明: 指定されたサーバー *server-name* に関する保管されたパスワードを含むファイルが利用不能です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ユーザー・システムの管理者は、新規パスワードを設定および保管しなければなりません。

ANS1504E **dsmtca** プロセスまたは **dsmenc** プロセスの開始中にエラーが発生しました。

説明: **dsmtca** または **dsmenc** 処理の始動中にエラーが発生しました。具体的には、**fork()** 関数が失敗しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: おそらくシステム・エラーです。問題が存続する場合は、ワークステーションを再始動します。

ANS1505W *volume name* のボリューム全体のイメージ・バックアップを実行中です。このレベルのオペレーティング・システムでは使用済みブロックのイメージ・バックアップはサポートされていないため、*image gap size* の **IMAGEGAPSIZE** オプション値

は無視されます。使用済みブロックのイメージ・バックアップを実行するには **AIX 5.3 保守レベル 7** またはそれ以降にアップグレードしてください。

説明: AIX 5.3 保守レベル 7 またはそれ以降では、使用済みブロックのイメージ・バックアップに必要な必須フィックスがいくらかあります。

システムの処置: ボリューム全体がバックアップされています。

ユーザーの処置: 使用済みブロックのイメージ・バックアップを実行するには **AIX 5.3 保守レベル 7** またはそれ以降にアップグレードしてください。

ANS1506E IBM Spectrum Protect dsmtca は無効な要求を受け取りました。

説明: dsmtca プロセスまたは dsmenc プロセスが、バックアップ/アーカイブ・クライアントによって呼び出されましたが、呼び出し時に不明な要求引数を受け取りました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: dsmtca プロセスまたは dsmenc プロセスが、バックアップ/アーカイブ・クライアント以外のプロセスによって誤って呼び出された可能性があります。そうでない場合は、これは内部エラーです。問題が再発する場合は、IBM サービス担当者に連絡してください。

ANS1507E このアクションには、このシステムでの **IBM Spectrum Protect** 管理権限が必要です。

説明: IBM Spectrum Protect 管理者が実行しなければならない活動 (例えば、オープン登録、ファイル・スペースの削除、またはパスワード更新) が試みられました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: このアクティビティが必要な場合は、このシステムの管理者が実行する必要があります。

ANS1508E セマフォ割り当て中のエラー。

説明: 割り振ろうとしているセマフォが不足したために、エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に援助を依頼し、必要に応じて、システム内のセマフォの数を増やしてください。

ANS1509E セマフォ値の設定中、またはセマフォで待機中にエラー。

説明: セマフォの設定または待機中に、エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: おそらくシステム・エラーです。問題が存続する場合は、ワークステーションを再始動します。

ANS1510W 指定されたバックアップ・セットが存在しないか、またはファイル・データが入っていません。

説明: 指定されたバックアップ・セットが存在しないか、または指定されたノード名のファイル・データが含まれていません。バックアップ・セット・リストア・コマンドは、ファイル・データを含むバックアップ・セットに制限されています。バックアップ・セットからイメージ・バックアップをリストアするには、イメージ・リストア・コマンドを使用してください。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 間違ったバックアップ・セット名が指定されていた場合は、正しいバックアップ・セット名を指定してコマンドを再試行してください。バックアップ・セットからイメージをリストアしようとしている場合は、イメージ・リストア・コマンドを参照して正しい構文を確認してください。

ANS1511I 無効なセッション番号が入力されました。やり直してください。

説明: 再始動可能リストアのリストに示されていない番号が入力されました。入力された番号が 1 より小さいか、表示されている最も大きい項目番号より大きいのか、どちらかです。

システムの処置: クライアントは、有効な選択を要求するプロンプトを出します。

ユーザーの処置: リストの中の番号を入力するか、終了する場合は 'Q' を入力してください。

ANS1512E スケジュール・イベント 'event' が失敗しました。 戻りコード = value。

説明: 1 つ以上のエラー条件が発生したために、スケジュールが正常に完了できませんでした。このメッセージの前に、操作中に発生した具体的な問題を示す他のメッセージがあります。

システムの処置: スケジュールされたイベントは失敗しました。

ユーザーの処置: スケジュール・ログ・ファイルとエラー・ログ・ファイルをチェックして、操作中に発生した問題を指定するメッセージを確認してください。これらのメッセージの原因になった状態を訂正してください。具体的な修正アクションは、発生した具体的なエラーによって異なります。

戻りコードについて詳しくは、製品情報 (www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSGSG7/) で「クライアント戻りコード」を検索してください。

ANS1513E オブジェクト '*object_name*' は名前変更をスキップします。 *Error_condition*。

説明: ログ・ネームは同じであるが、属性の異なるオブジェクトがサーバー上に存在するため、IBM Spectrum Protect は、指定されたオブジェクトの名前変更をスキップします。

システムの処置: バックアップ操作は継続します。指定されたオブジェクトは、次の増分バックアップ中に有効期限が切れます。

ユーザーの処置: オブジェクトがスキップされるのは、次のいずれかの条件が生じた場合です。

 ログ・ネーム・オブジェクト (LN) の方がショート・ネーム・オブジェクト (SN) よりも新しい挿入日付です。

 LN と SN の管理クラスが一致しません。

 LN と SN のコピー・グループが一致しません。

 LN と SN の所有者が異なっています。

 LN と SN の作成日が一致しません。

 LN のショート・ネーム属性が SN に一致しません。

原因が判別できない場合は、サービス担当員に問題を報告してください。

ANS1514W 暗号鍵パスワードが同じではありません。

説明: 鍵パスワードが異なっています。

システムの処置: プロセスは再試行を許します。

ユーザーの処置: 訂正したパスワードを入力してください。

ANS1515E 目次のロードに失敗しました。

説明: 目次のロード中にサーバーで障害が発生しました。

システムの処置: 目次はロードされませんでした。

ユーザーの処置: この異常終了コードは、サーバーでの目次のロードで問題があったことを示します。システム

管理者は、サーバーのアクティビティ・ログを確認して原因を判別する必要があります。

ANS1519E ノードにバックアップ・ファイルを削除する許可がありません。

説明: ノードがバックアップ・ファイルを削除することは、サーバーによって許可されません。

システムの処置: プロセスは、バックアップ・ファイルを削除していません。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS1520E IBM Spectrum Protect エラー・ログへの書き込みに失敗しました: *errno = errno-value*、

説明: *dsmererror* ログまたは *dsierror* ログへの書き込み時に障害を検出しました。システムはエラー・コード *errno-value* を設定しました。指定されたログの保管位置に使用可能なスペースがないと考えられます。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: *DSM_LOG* (または *DSMI_LOG*) 環境変数を、ログ・データを書き込むスペースが十分にあるディレクトリーに設定してください。

ANS1521E IBM Spectrum Protect ログまたはログ関連ファイルへの書き込みに失敗しました。 *file-name*、*errno = errno-value*、*reason*

説明: いずれかのログ・ファイルまたは関連ファイル、*file-name* への書き込みが失敗しました。システムはエラー・コード *errno-value* を設定しました。*reason* が、エラー・コードのシステム説明です。他には、指定されたログの保管位置に使用可能なスペースがないと考えられます。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: *DSM_LOG* (または *DSMI_LOG*) 環境変数を、ログ・データを書き込むスペースが十分にあるディレクトリーに設定してください。

ANS1523E TSA/SMDR サービスへの接続中にエラーが発生しました。

説明: TSA/SMDR サービスの呼び出し中にエラーが見つかりました。通常このメッセージは、問題に関するより具体的な情報を含む前のメッセージに続いて表示されます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 詳細については、*dsmererror.log* の前

のメッセージを参照してください。問題の識別にそれらのメッセージが役立たない場合は、システム管理者に連絡して援助を求めてください。

ANS1528I プロセスは *log-file* を継続 (ブルーニング) モードから折り返しモードに変換しています。この処理には数分かかる場合があります。

説明: *log-file* は、以前連続モードでした。連続モードでは、**ERRORLOGRETENTION** オプションまたは **SCHEDLOGRETENTION** オプションのみを使用してサイズが制御されます。これは、**ERRORLOGMAX** オプションまたは **SCHEDLOGMAX** オプションがこのログのために指定される最初の機会なので、形式を変更し古いデータを保管する必要があります。

システムの処置: 遷移処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1529I プロセスは *log-file* を折り返しモードから継続 (ブルーニング) モードに変換しています。この処理には数分かかる場合があります。

説明: *log-file* は以前折り返しモードでした。折り返しモードではサイズ制御は **ERRORLOGMAX** または **SCHEDLOGMAX** オプションの使用によります。これは、**ERRORLOGMAX** オプションまたは **SCHEDLOGMAX** オプションがこのログのために指定される最初の機会ではないので、形式を変更し古いデータを保管する必要があります。

システムの処置: 遷移処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1530I *count* ログ・レコードが処理されました。

説明: これは、処理が継続中であることを通知する進行状況レポートです。

システムの処置: 遷移処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1532E プロキシはリジェクトされました。プロキシ権限はこのノードには認可されていません。

説明: このノードには、**ASNODENAME** オプションで指定したノードにアクセスするプロキシ権限が認可されていません。IBM Spectrum Protect 管理者は、最初にプロキシ権限の認可を行う必要があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者は、このノードのプロキシ権限を付与する必要があります。管理者コマンド「Grant Proxynode」を参照してください。

ANS1533E プロキシはリジェクトされました。
ASNODENAME オプションで指定したノード名はロックされています。

説明: IBM Spectrum Protect 管理者が **ASNODENAME** オプションとして指定したノードをロックしています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: このノードにアクセスするには、事前に IBM Spectrum Protect サーバー管理者がノードをアンロックする必要があります。後で操作を再試行するか、または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1534E プロキシはリジェクトされました。
IBM Spectrum Protect サーバーがメモリー不足です。

説明: この操作を続行するために使用可能なメモリーが十分にありません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合は、システム管理者に連絡して、サーバーのメモリー量を増やしてください。

ANS1535E プロキシが拒否されました: **ASNODENAME** オプションと **NODENAME** オプションに同じ値が指定されています。

説明: **ASNODENAME** オプションと **NODENAME** オプションに同じ値を指定することはできません。

システムの処置: 現行の操作はキャンセルされます。

ユーザーの処置: 他のノードにアクセスする場合にだけ **ASNODENAME** オプションを使用してください。自分のノードにアクセスするには **ASNODENAME** オプションを使用する必要はありません。管理コマンド "Grant Proxynode" によって実際にアクセスする権限を認可されたノードにアクセスする場合以外は、オプション・ファイルから **ASNODENAME** オプションを除去してください。

ANS1536E プロキシはリジェクトされました。サーバーに内部エラーがあります。

説明: 内部サーバー・エラーのために、クライアントはこのプロキシで、**ASNODENAME** オプションで指定したノードにアクセスできません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: すぐにシステム管理者に連絡してください。

ANS1537E **ASNODENAME** オプションは、**FROMNODE** オプションとともに使用すると無効になります。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **ASNODENAME** オプションをオプション・ファイルから除去するか、または **FROMNODE** オプションを使用しないでください。

ANS1538E 試みている操作は、**ASNODENAME** オプションを使用して呼び出すことができません。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **ASNODENAME** オプションを除去し、操作を再試行してください。

ANS1539E **ASNODENAME** オプションは、**CLUSTERNODE** オプションとともに使用することができません。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **ASNODENAME** オプションを除去し、操作を再試行してください。

ANS1544E **WAS** 処理でエラーが発生しました。

説明: ありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: 以下のコマンドを実行して、バックアップできるノードを確認してください。

`dsmc query was -wastype=local`

ご使用の環境で実行結果が正しいことを確認してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM Spectrum Protect のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1546W **IBM Spectrum Protect** は **WebSphere** 構成リポジトリのロックに失敗しました。

説明: ありません。

システムの処置: **WebSphere** 構成リポジトリのロックに失敗しました。

ユーザーの処置: **WebSphere** サーバーが実行中であることを確認してください。既にサーバーが実行中であれば、リポジトリがアンロックされていることを確認してください。正しいノードをバックアップしようとしていることを確認してください。バックアップできる使用可能なノードのリストを見るには、'`dsmc q was -wastype=local`' と入力してください。

ANS1547W **IBM Spectrum Protect** は **WebSphere** 構成リポジトリのアンロックに失敗しました。

説明: ありません。

システムの処置: **WebSphere** 構成リポジトリのアンロックに失敗しました。

ユーザーの処置: **WebSphere** サーバーが実行中であることを確認してください。リポジトリがロックされている場合は、アンロックしてから操作を再試行してください。正しいノードをバックアップしようとしていることを確認してください。バックアップできる使用可能なノードのリストを見るには、'`dsmc q was -wastype=local`' を実行してください。

ANS1548E このマシンにはサポートされているバージョンの **WebSphere** がインストールされていません。

説明: このマシンにはサポートされているバージョンの **WebSphere** がインストールされていません。サポートされている **WebSphere** のバージョンは 5.0.x のみです。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: **WebSphere** 5.0 をマシンにインストールしてください。

ANS1549E アプリケーション・サーバー・インスタスが見つかりませんでした。バックアップを実行することができません。

説明: このマシンにはアプリケーション・サーバーがインストールされていません。

システムの処置: バックアップは実行されません。

ユーザーの処置: アプリケーション・サーバーをインストールしてください。

ANS1550E バックアップするネットワーク・デプロイメント・マネージャー・インスタンスが見つかりませんでした。

説明: このマシンにはデプロイメント・マネージャーがインストールされていません。

システムの処置: バックアップは実行されません。

ユーザーの処置: ネットワーク・デプロイメント・マネージャーをインストールしてください。

ANS1553W Data Protection for WebSphere に提供されたユーザー名とパスワードが無効です。

説明: ありません。

システムの処置: Data Protection for WebSphere を実行できません。

ユーザーの処置: dsmsc set WASPassword コマンドを実行し、WebSphere セキュリティーのユーザー名とパスワードを設定してください。

ANS1556E WAS ユーザーとパスワードの設定に失敗しました。

説明: WAS ユーザーとパスワードに対するパスワード検証に失敗しました。

システムの処置: WAS パスワード検証は失敗します。

ユーザーの処置: ユーザーとパスワードの正しい値を使用して、set WASPassword コマンドを再試行してください。

ANS1557W WAS サーバーが稼働していなかったの
で、パスワード・ファイルは検証なしで保管されました。

説明: ダウンしている場合、WAS サーバーはサーバーに接続、またユーザー入力のパスワードを検証することができません。パスワードは保管されていますが、検証は実行されていません。

システムの処置: WAS パスワードの設定コマンドは、パスワードを検証しませんでした。パスワードは保管されていますが、検証は実行されていません。パスワードが誤っている可能性があります。

ユーザーの処置: 以下の 2 つのオプションがあります。

- バックアップを試みてください。バックアップがフェイルオーバーし、パスワードが無効であることを示す

メッセージがエラー・ログにある場合、入力されたパスワードが誤っています。

- WAS サーバーを始動し、パスワードの設定コマンドを再実行してください。サーバーが稼働すると、通常どおり検証が行われるため、ユーザーは入力したパスワードが正しいかが分かります。

ANS1560W WebSphere サーバーが実行されていません。

説明: WebSphere サーバーが実行されていません。WAS サーバーはバックアップ操作のために実行されています。

システムの処置: WebSphere サーバーが実行されていません。

ユーザーの処置: WAS サーバーを始動してバックアップを再実行してください。

ANS1562E EAR 拡張時に **WAS** リストアに失敗しました。

説明: EAR 拡張は、ファイルがリストアされた後に WebSphere Application Server の場合に実行されます。

システムの処置: WAS リストアは失敗します。

ユーザーの処置: リストアを再実行してください。

ANS1565E WebSphere EARExpander が見つかりませんでした。基本 **WebSphere bin** ディレクトリーからインスタンス **bin** ディレクトリーに **EARExpander** ツールをコピーし、リストア操作を再実行してください。

説明: EAR ファイルがアプリケーション・サーバーのインスタンスに応じて展開され、EARExpander ツールはインスタンス bin ディレクトリーに存在しません。

システムの処置: WebSphere EARExpander が見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 基本インストールの bin ディレクトリーからインスタンスの bin ディレクトリーに WAS EARExpander ツールをコピーします。EARExpander ツールがコピーされた後で、WAS リストア操作を再実行してください。

ANS1566E マシンの **WebSphere** のバージョンが、バックアップされた **WebSphere** のバージョンと一致していません。**WAS** リストア操作を実行するには、両者のバージョンが一致する必要があります。

説明: マシンの WebSphere のバージョンが、バックアップされた WebSphere のバージョンと一致していません。WAS リストア操作を実行するには、両者のバージョンが一致している必要があります。

システムの処置: WAS リストア操作は失敗します。

ユーザーの処置: リストア操作を実行する前に、正しいバージョンの WebSphere をマシンにインストールしてください。

ANS1568E クライアント・アクセプターは、**TCPCADADDRESS** オプションを使用せずに、その **tcppport** および **tcpip** アドレスの登録を試行しました。

説明: クライアント・アクセプターは、ポート予備アドレス情報をサーバーに送信しましたが、サーバーへの情報の登録時に問題が発生しました。問題は、**tcpip** アドレスのデフォルトが指定されていないために発生しました。サーバーは、通信方式が **tcpip** ではないため、**tcpip** アドレスのデフォルトを決定することができません。

システムの処置: サーバーは、クライアント・アクセプターの情報を登録できません。クライアント・アクセプター処理は継続されますが、クライアント・アクセプターのいくつかの機能が正しく機能しない可能性があります。

ユーザーの処置: クライアント・オプション・ファイルの **TCPCADADDRESS** を使用して、このクライアント・アクセプターの正しい TCP/IP アドレスを示します。

ANS1569E クライアント・アクセプターはその **tcppport** および **tcpip** アドレスの登録を試行しましたが、**TCP/IP** アドレスはループバック・アドレスに解決され、サーバーによって拒否されました。

説明: クライアント・アクセプターは、ポート予備アドレス情報をサーバーに送信しましたが、サーバーへの情報の登録時に問題が発生しました。問題は、提供されたアドレスがループバック・アドレスに解決されたことをサーバーが検出したために発生しました。

システムの処置: サーバーは、クライアント・アクセプターの情報を登録できませんでした。クライアント・アクセプター処理は継続されますが、クライアント・アクセプターのいくつかの機能が正しく機能しない可能性があります。

ユーザーの処置: クライアント・オプション・ファイルの **TCPCADADDRESS** を使用して、このクライアント・アクセプターの正しい TCP/IP アドレスを示します。

す。ループバック・アドレスは無効です。

ANS1570E このインスタンスをクライアント・アクセプターに登録しようとして失敗しました。クライアント・アクセプタープロセスは続行されます。

説明: クライアント・アクセプターは、エラーのために、サーバーへのアドレス情報の登録に失敗しました。このメッセージの直前のメッセージで、問題の詳細が示されています。

システムの処置: サーバーは、クライアント・アクセプターの情報を登録しませんでした。クライアント・アクセプター処理は継続されますが、クライアント・アクセプターのいくつかの機能が正しく機能しない可能性があります。

ユーザーの処置: このメッセージの直前のメッセージを確認して、どのエラーが発生したかを判別してください。

ANS1571E *time-option* オプションは、*date-option* オプションを指定しないと使用できません。

説明: **to/from/pit** 時間オプションを指定する場合、対応する **to/from/pit** 日付も指定する必要があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: **to/from/pit** 時間オプションを除去するか、対応する **to/from/pit** 日付オプションを追加してください。

ANS1572E サーバー照会から予期しないエラー受信しました (**RC=rc tcode**)。

説明: クライアントが予期しないエラーを受信しました。この原因は、おそらく、ネットワークに問題があったかプログラミング・エラーがあったからです。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 通信パスが正しく機能しているかを確認して、操作を再試行してください。問題が続く場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1573E **PITDATE** と **FROMDATE** および **TODATE** を同時に使用することはできません。

説明: **PITDATE** オプションは **FROMDATE** および **TODATE** オプションとは異なる日付選択基準を使用しますが、この基準が **FROMDATE** および **TODATE** オプションの基準と競合します。したがって、これらのオプションを組み合わせて使用することはできません。

システムの処置: リストア操作は実行されません。

ユーザーの処置: PITDATE または FROMDATE および TODATE のどちらの機能が必要であるかを判断してから、操作を再試行してください。特定の日時のファイルをリストアする場合は、PITDATE および PITTIME を使用してください。特定の日付範囲でファイルをリストアするには、

FROMDATE、TODATE、FROMTIME、および TOTIME を使用してください。これらのオプションの追加情報については、ご使用のオペレーティング・システムに該当する IBM Spectrum Protect クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS1574E ジャーナル照会が失敗しました。

説明: ジャーナル・デーモンは、要求されたジャーナル照会を処理できませんでした。

システムの処置: ジャーナル・バックアップ処理は中断されます。

ユーザーの処置: バックアップを再試行し、ジャーナル・デーモン・エラー・ログを調べて障害の理由を確認してください。ドメイン内の他のファイル・システムのバックアップは続行されます。

ANS1575E ジャーナル・デーモン通信エラー。

説明: ジャーナル・デーモンと通信中にエラーが発生しました。

システムの処置: ジャーナル・バックアップ処理は中断されます。

ユーザーの処置: バックアップを再試行し、ジャーナル・デーモンおよびクライアント・エラー・ログを調べて障害の理由を確認してください。

ANS1577I **Windows** コンソールのイベント・ハンドラーが 'event' コンソール・イベントを受け取りました。

説明: IBM Spectrum Protect のプロセスまたはプログラムの 1 つがコンソール・イベントを受け取りました。次のイベントを受け取る場合があります。

- **Ctrl-C** - これは、ユーザーが Ctrl-C シーケンスを入力したか、Windows サーバーの 1 つが停止したことを示します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1578E 指定されたパス '*path*' はバックアップまたはアーカイブには無効です。

説明: 指定されたパスは、特殊ファイル・システムか、特殊ファイル・システムの一部です。特殊ファイル・システムにはオペレーティング・システムが生成した動的情報が入っているため、バックアップまたはアーカイブしないでください。ご使用のオペレーティング・システムの特殊ファイル・システムの詳細なリストについては、IBM Spectrum Protect クライアントのマニュアルを参照してください。

システムの処置: 他にバックアップするファイル・システムが存在する場合は、処理を続行します。

ユーザーの処置: バックアップまたはアーカイブには特殊ファイル・システムを指定しないでください。

ANS1579E **GSKit** 機能 *func-name* が失敗して、*error-code* が出されました: *session*

説明: GSKit 機能が失敗して、示されているエラー・コードが出されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 資料に説明されている SSL 通信用の鍵データベースを構成していることを確認してください。問題が解決しない場合は、IBM Spectrum Protect お客様サポートに連絡してください。

ANS1580W 指定されたドライブには、パフォーマンス・アルゴリズムが設定された **Include.Fs** ステートメントが既に存在します。ステートメントを置き換えますか?

説明: ユーザーはパフォーマンス・アルゴリズムが関連付けられているドライブ用に重複 **Include.Fs** 項目を作成しようとしていました。このメッセージは MFC GUI の Preference Editor に適用されます。

システムの処置: ユーザーは、ステートメントを新規のものに置き換えるか、この操作を取り消すことができます。

ユーザーの処置: ユーザーは、ステートメントを新規のものに置き換えるか、または No を選択してこの操作を取り消すことを求められます。

ANS1581W '*object-name*' は '*temp-name*' としてリストアされました。リストアを完了するには、リブートする必要があります。

説明: システム・ファイルはリストアされましたが、即時に置き換えることはできませんでした。ファイルは、次にオペレーティング・システムをリブートするときに

置き換えられます。 リブートが行われるまでは、変更が有効にならないことに注意する必要があります。

システムの処置: クライアントは、ファイルを一時的な名前でもリストアし、オペレーティング・システムに対しては、次のオペレーティング・システムのブート時にオリジナル・ファイルをリストア済みファイルに置き換えるよう指示しました。

ユーザーの処置: リストア操作が終了したら、できるだけ速やかにマシンをリブートしてください。

ANS1583E ハードウェア・ユーティリティ・プラグイン・モジュールが見つからないか、ロードできませんでした。

説明: 処理は停止します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: コマンド・ライン・クライアント・プロンプトで「**dsmc show plugins**」コマンドを実行して、システムで利用できるプラグインを調べ、それらのプラグインのロードに使用するパスを確認してください。プラグイン・パスが使用可能であって、ハードウェア・ユーティリティ・プラグイン libPiHDW.a が存在する場合は、**LIBPATH** 変数がハードウェア製品のライブラリー・パスに設定されていることを確認してください。例えば、**LIBPTH=/usr/opt/db2_08_01/lib** などです。

ANS1584E LVM2 ボリュームのイメージ操作に必要なシステム・ライブラリー '**libdevmapper.so**' のロード中にエラー。

説明: LVM2 イメージ操作に必要なシステム・ライブラリー **libdevmapper.so** をロードできませんでした。ライブラリーがシステムに存在しない場合、またはライブラリーが必要なレベルより前のレベルの場合に、このエラーが起こることがあります。また、IBM Spectrum Protect クライアント・プロセスによってライブラリーをオープンできない場合にも、このエラーが起こることがあります。

システムの処置: LVM2 ボリュームのイメージ操作は使用できません。

ユーザーの処置: システムにインストールされたパッケージとライブラリーのバージョンを確認してください。正しいバージョンがインストールされている場合は、アクセス権限に関連した問題を調べてください。システムにこれらのライブラリーがインストールされていない場合は、Linux OS のディストリビューターに連絡してください。また、技術情報 1452629 (<https://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21452629>) も参照してください。

ANS1587W オブジェクト *object-full-name* の拡張属性を読み取れません。**errno:** *errno-value*、理由: *errno-explanation*

説明: オブジェクトの拡張属性を読み取れませんでした。システムはエラー・コード *errno-value* および理由 *errno-explanation* を設定しました。理由 *errno-explanation* が「アクセス否認」または「許可否認」のいずれかである場合、現行ユーザーはオブジェクトの拡張属性を読み取る許可を持っていません。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーが所有していない、あるいはアクセスできないオブジェクトの拡張属性を読み取ろうとする場合は、エラーが预期されます。理由が入出力エラーを示している場合は、ファイル・システムの整合性検査手順を実行し、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1588W *file-name* のファイル属性 *attr-name* を読み取り中に入出力エラーが発生しました。
errno = *errno-value*、

説明: ファイル *file-name* の属性 *attr-name* をリトリブできませんでした。システムはエラー・コード *errno-value* を設定しました。理由が「アクセス否認」の場合、現在のユーザーはファイル属性の読み取りを行う許可を持っていません。

システムの処置: 処理は、指定されたファイル属性のバックアップなしで続行されます。

ユーザーの処置: 物理エラーの原因となった状態を訂正してください。

ANS1589W *object-full-name* の拡張属性を書き込めません。**errno:** *errno-value*、理由: *errno-explanation*

説明: オブジェクトの拡張属性を書き込めませんでした。システムはエラー・コード *errno-value* および理由 *errno-explanation* を設定しました。理由が「アクセス拒否」または「許可拒否」の場合、現在のユーザーはオブジェクトの拡張属性を書き込む権限を持っていません。

システムの処置: 拡張属性をリストアせずに処理を続行します。

ユーザーの処置: ユーザーが所有していない、あるいはアクセスできないオブジェクトに拡張属性を書き込もうとする場合は、エラーが预期されます。理由が入出力エラーを示している場合は、ファイル・システムの整合性

検査手順を実行し、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1590W *file-name* のファイル属性 *attr-name* を書き込み中に入出力エラーが発生しました。
errno = *errno-value*、

説明: ファイル *file-name* の属性 *attr-name* を設定できませんでした。システムはエラー・コード *errno-value* を設定しました。理由が「アクセス否認」の場合、現在のユーザーはファイル属性の設定を行う許可を持っていません。

システムの処置: 処理は、指定されたファイル属性のリストアなしで続行されます。

ユーザーの処置: 物理エラーの原因となった状態を訂正してください。

ANS1592E SSL プロトコルの初期化に失敗しました。

説明: プロセスが SSL プロトコルを初期化できませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: エラー・ログに GSKit 関連のメッセージがあるか調べてください。資料に説明されている SSL 通信用の鍵データベースを構成していることを確認してください。問題が解決しない場合は、IBM Spectrum Protect お客様サポートに連絡してください。

ANS1593E 鍵データベースをオープンできません。

説明: プロセスは、SSL 通信用のサーバー証明書が含まれていると予想される鍵ファイルを開くことができませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 資料に説明されている SSL 通信用の鍵データベースを構成していることを確認してください。問題が解決しない場合は、IBM Spectrum Protect お客様サポートに連絡してください。

ANS1594E キー・データベースのパスワードが誤っているか無効です。

説明: クライアントは、保管されたパスワードを使用して証明書キー・データベースを開くことができなかったか、保管されたパスワードを読み取ることができませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 「クライアントのインストールおよびユーザーズ・ガイド」の説明に従って SSL 通信用のキー・データベースが構成されていることを確認してください。また、現行ユーザーが *stash* ファイル (*dsmcert.sth*) を読み取り可能であることも確認してください。

ANS1595E サーバー証明書が無効です。

説明: プロセスは、証明書が無効であるためにサーバーとの SSL 接続をオープンできませんでした。通常、クライアントがサーバー証明書の妥当性を確認できない場合にこのエラーが起こります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 資料に説明されている SSL 通信用の鍵データベースを構成していることを確認してください。必ず、接続しようとしている IBM Spectrum Protect サーバーから正しい証明書をインポートしてください。

ANS1596E SSL プロトコルはサポートされていません。

説明: SSL プロトコルはこのプラットフォームではサポートされていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: サポートされるプラットフォームのリストについては、IBM Spectrum Protect の資料を参照してください。

ANS1597E **-pick** オプションと **-deltype=all** オプションを一緒に使用することはできません。

説明: **-deltype=all** はディレクトリー・ツリー全体の削除に使用します。**-pick** を使用してツリーから個別のオブジェクトを選択することはできません。**-pick** は、**-deltype=active** または **-deltype=inactive** の場合にのみ有効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: オプションの有効な組み合わせを指定して、操作を再試行してください。

1 つのツリー全体を削除するには、**-deltype=all** を使用しますが、**-pick** は使用できません。

削除するバックアップ・バージョンを選択するには、**-deltype=active** または **-deltype=inactive** を選択して、**-pick** オプションを使用してください。また、ファイル選択で、ファイル指定のサブディレクトリーにファイルを含める場合は、**-subdir=yes** を使用してください。

詳細については、クライアントのマニュアルまたはコマ

ンド・ライン・ヘルプを参照してください。

ANS1598E このファイル指定では **-deltype=all** は無効です。

説明: **-deltype=all** はディレクトリー・ツリー全体の削除に使用します。 **-deltype=all** を使用する場合は、ディレクトリー全体をワイルドカードで指定する必要があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: オプションの有効な組み合わせを指定して、操作を再試行してください。

1 つのディレクトリー・ツリー全体のすべてのバックアップ・バージョンを削除するには、**-deltype=all** と、ツリー全体のファイル指定にワイルドカードを使用します。

部分修飾ファイル名のバックアップ・バージョンを削除するには、**-deltype=active** または **-deltype=inactive** を使用してください。また、ファイル指定のサブディレクトリーのバックアップ・バージョンを削除する場合は、**-subdir=yes** を使用してください。

詳細については、クライアントのマニュアルまたはコマンド・ライン・ヘルプを参照してください。

ANS1599E **SSL** ランタイム・ライブラリーをロードできません。

説明: IBM Spectrum Protect は SSL プロトコルに必要な SSL ランタイム・ライブラリーを動的にロードできませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect クライアントが正しくインストールされていることを確認してください。さらに、クライアント・ソフトウェアの再インストールを試みてください。問題が解決しない場合は、IBM Spectrum Protect お客様サポートに連絡してください。

ANS1600E **Data Protection for Lotus Domino** ライブラリーをロードできません。

説明: Data Protection for Lotus Domino ライブラリーをロードできませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: Lotus Domino プラグインが正しく構成されていることを確認し、クライアント・マシンのエラー・ログで詳細な情報をチェックしてください。

ANS1601E 内部エラーが原因で **Lotus Domino** プラグイン操作が失敗しました。

説明: Lotus Domino プラグインの内部エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: クライアント・マシンのエラー・ログで詳細な情報を確認してください。

ANS1602E プリファレンス・ファイルが見つからないため、**Lotus Domino** プラグイン操作が失敗しました。

説明: Data Protection for Lotus Domino のプリファレンス・ファイルが見つかりません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: Data Protection for Lotus Domino の構成ファイル (デフォルト名 domdsm.cfg) が見つかりません。クライアント・マシンのエラー・ログで詳細な情報を確認してください。

ANS1603E 内部 **TCP/IP** エラーが原因で **Lotus Domino** プラグイン操作が失敗しました。

説明: TCP/IP エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: クライアント・マシンのエラー・ログで詳細な情報を確認してください。

ANS1604E **dsmdomp** アドレス・スペースを開始しようとして、**Lotus Domino** プラグイン操作が失敗しました。

説明: dsmdomp アドレス・スペースを開始できませんでした。これはおそらくインストール・エラーです。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: lotus/bin ディレクトリーに dsmdomp の tools ディレクトリーへのシンボリック・リンクがあり、lotus/notes ディレクトリーに dsmdomp 実行可能ファイルへのシンボリック・リンクがあることを確認してください。問題が続く場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS1605E **dsmdomp** アドレス・スペースとの通信を初期化中に、**Lotus Domino** プラグイン操作が失敗しました。

説明: Lotus Domino プラグインの通信の初期化に失敗しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: dsmdomp アドレス・スペースの初期化中に障害が起きました。インストール・エラーの可能性あります。lotus/bin ディレクトリーに dsmdomp の tools ディレクトリーへのシンボリック・リンクがあり、lotus/notes ディレクトリーに dsmdomp 実行可能ファイルへのシンボリック・リンクがあることを確認してください。問題が続く場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS1606E dsmdomp アドレス・スペースの開始中に、**Lotus Domino** プラグイン操作が失敗しました。

説明: dsmdomp アドレス・スペースを開始できませんでした。

システムの処置: Data Protection for Domino の処理は停止します。

ユーザーの処置: dsmdomp アドレス・スペースの初期化中に障害が起きました。インストール・エラーの可能性あります。lotus/bin ディレクトリーに dsmdomp の tools ディレクトリーへのシンボリック・リンクがあり、lotus/notes ディレクトリーに dsmdomp 実行可能ファイルへのシンボリック・リンクがあることを確認してください。詳細な情報についてはファイル /tmp/dsmdomp* を調べてください。問題が続く場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS1607E プラグイン・ライブラリーに検出されたプラグインは、現在のレベルの **IBM Spectrum Protect** クライアントではサポートされていません。

説明: プラグインがロードされていませんが処理は続行しています。

システムの処置: プラグインがロードされていませんが処理は続行しています。

ユーザーの処置: おそらくインストール・エラーです。プラグイン・ディレクトリーが有効なプラグイン・ライブラリーを含んでいることと、IBM Spectrum Protect クライアントの正しいレベルがインストールされていることを確認してください。問題が続く場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS1608E **Lotus Domino** プラグイン操作が失敗し、以下のメッセージが出されました。
message

説明: Lotus Domino プラグインの操作エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 操作の失敗の原因となったエラーを訂正してください。

ANS1609E **Lotus Domino** プラグインの処理が失敗しました。エラーに関連するメッセージは以下のとおりです。
message

説明: Lotus Domino プラグインの操作エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 操作の失敗の原因となったエラーを訂正してください。

ANS1611E 内部エラーによりプラグイン操作が失敗しました。

説明: プラグイン内部エラーが発生しました。

システムの処置: プラグイン操作が停止します。

ユーザーの処置: エラーが続く場合は、トレースを使用可能にして実行を行い、システム管理者または IBM に連絡してください。

ANS1612E **IBM Spectrum Protect API** エラーが原因で **Lotus Domino** プラグイン操作が失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect API エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: クライアント・マシンのエラー・ログで詳細な情報を確認してください。

ANS1613E >**IBM Spectrum Protect API** はロードできませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect API はロードできませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: クライアント・マシンのエラー・ログで詳細な情報を確認してください。

ANS1614E **Lotus Domino** プラグインの試用ライセンスの有効期限が切れました。

説明: 検出された試用ライセンスの有効期限が切れています。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: この製品は既に使用できません。製品を実行する前に、有効なライセンスを取得する必要があります。

ANS1615E ライセンス・エラーが原因で **Lotus Domino** プラグイン操作が失敗しました。

説明: Lotus Domino プラグインのライセンス検証が失敗しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、エラー・ログを確認してください。

ANS1616E **Lotus Domino API** がロードできなかったため、**Lotus Domino** プラグイン操作が失敗しました。

説明: Lotus Domino API をロードできませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: Lotus Domino Server が正しくインストールされていることを確認してください。

ANS1617E **Data Protection for Domino** の API エラーが原因で、**Lotus Domino** プラグイン操作が失敗しました。

説明: Lotus Domino プラグイン操作中に Data Protection for Lotus Domino の API エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 詳しくは、以下の IBM Spectrum Protect エラー・ログを表示してください。

API エラー・ログ (dserror.log) および Data Protection for Domino アクティビティのログ (domdsm.log)。これらのログのデフォルトのロケーションは、Data Protection for Domino の インストール・ディレクトリです。

バックアップ・アーカイブ・クライアントのエラー・ログ (dsmerror.log)、Web クライアントのエラー・ログ (dsmwebcl.log)、およびスケジューラー・アクティビティのログ (dsmsched.log)。これらのログのデフォルトのロケーションは、バックアップ・アーカイブのインストール・ディレクトリです。

ANS1618E **Lotus Domino** プラグイン操作は既に実行中です。操作が完了するまでお待ちください。

説明: Lotus Domino プラグイン操作は実行中です。

システムの処置: Lotus Domino プラグイン操作は停止します。

ユーザーの処置: Lotus Domino プラグイン操作が完了するまで待って、新しい Lotus Domino プラグイン操作を開始してください。

ANS1619E **IBM Spectrum Protect** アプリケーション・クライアントは、インストール済みの **Lotus Domino** プラグインのバージョンでは動作しません。

説明: 現在システムにインストールされている Lotus Domino プラグインのバージョンが、IBM Spectrum Protect アプリケーション・クライアントの構築に使用されたものより古いバージョンです。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect アプリケーション・クライアントのレベル以降の Lotus Domino プラグインのバージョンをインストールしてください。

ANS1621E サーバー上の
'file_space_namepath_namefile_name' のローカル・バックアップに関するバックアップ属性の更新に失敗しました。オブジェクト ID - 'object_id': 'object_id'、戻りコード 'return_code'。

説明: プロセスは、サーバー上の指定されたバックアップ・オブジェクトの属性の更新に失敗しました。サーバーは、バックアップの正しい状態を反映していない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 詳細については、エラー・ログの前のエラー・メッセージを調べてください。操作を再試行します。問題が続いて起こる場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1622I サーバー上でクリーンアップされたバックアップ・オブジェクトの数: 'number'。使用可能にされているローカル・スナップショット・リソースの数: 'number'

説明: サーバーのデータベースと、クライアント・システム上で保守されているローカル・リポジトリの整合性検査を実行しているときに、報告された不整合が見つ

かりました。不整合なバックアップはリストアできないため、IBM Spectrum Protect は不整合なバックアップ・オブジェクトをすべて削除して、ローカル・リポジトリ内で占有されていたスペースを解放します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: エラー・ログで、サーバー上で削除されたオブジェクトに関する詳細を調べます。数が非常に大きいときには、構成を検査して、引き続き数が非常に大きい場合は IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1623W NSF DB2 データベースのバックアップがスキップされました。**NSF DB2** データベースはサポートされていません。

説明: このバージョンの DP for Domino プラグインは、NSF DB2 データベースをサポートしていません。

システムの処置: NSF DB2 データベースのバックアップはスキップされます。

ユーザーの処置: NSF DB2 データベースをバックアップから除外してください。

ANS1624E '*value*' は、'*command*' コマンドのオプション '*option*' には無効な値です。

説明: 指定されたオプション値は、このコンテキストでは無効です。

システムの処置: 操作は停止されました。

ユーザーの処置: オプションに有効な値を指定してください。有効な値については資料で確認してください。

ANS1626E ハードウェアまたはスナップショット機能を使用する **IBM Spectrum Protect** 操作の処理中に、予期しないエラーが発生しました。

IBM Spectrum Protect 機能名 :

function-name

IBM Spectrum Protect 機能 :

function-desc

IBM Spectrum Protect 戻りコード :

TSM-rc

IBM Spectrum Protect ファイル :

file-name (line-number)

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS1632I '*option name*' が指定されなかったため、デフォルトの '*default value*' が使用されます。

説明: オプションの値が指定されなかったため、デフォルト値が使用されます。

システムの処置: 操作は、オプションのデフォルト値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: デフォルトをオーバーライドするには、オプションに有効な値を指定してください。有効な値については資料で確認してください。

ANS1647E '*input spec*': 無効な入力指定形式です。

説明: このコマンドで指定された入力は無効です。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: パラメーターと一緒に指定された構文が正しいことを確認してください。

ANS1648W PREViewsize オプション値が、指定されたスタブ・サイズより大きい値です。

説明: PREViewsize CLI オプション値には、ファイルのスタブ・サイズより大きい値を指定することはできません。

システムの処置: 操作が停止しました。ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: PREViewsize の値を適切に変更してください。

ANS1649E オプション '*specified-option*' はオプション '*other-option*' と不整合です。

説明: 同時に 2 つのオプションを使用することはできないため、コマンドが失敗しました。

システムの処置: コマンドが停止しました。

ユーザーの処置: 同時に両方のオプションを指定せずに、コマンドを実行してください。

ANS1650I コマンド: *command-string*

説明: メッセージに示されているコマンド・ストリングが、バックアップ/アーカイブ・クライアントによって出されました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1651I バックアップ済み: *fshlll*

説明: このオブジェクトのバックアップ操作は正常に実行されました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1652I アーカイブ済み: *fshlll*

説明: このオブジェクトのアーカイブ操作は正常に実行されました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1653I 更新済み: *fshlll*

説明: このオブジェクトの更新操作は正常に実行されました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1654E 失敗しました: *fshlll*

説明: このオブジェクトに対する **backup**、**archive**、**restore** または **retrieve** 操作が失敗しました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。失敗に関する情報については、バックアップ/アーカイブ・クライアントのエラー・ログを参照してください。

ANS1655I リストア済み: *fshlll*

説明: このオブジェクトのリストア操作は正常に実行されました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1656I リトリリーブ済み: *fshlll*

説明: このオブジェクトのリトリリーブ操作は正常に実行されました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1657I 有効期限切れ: *fshlll*

説明: IBM Spectrum Protect データベース内でこのオブジェクトのアクティブ・バージョンの有効期限が切れていました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1658I 削除済み: *fshlll*

説明: このオブジェクトが IBM Spectrum Protect データベースから削除されました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1659I スキップ: *fshlll*

説明: バックアップまたはアーカイブ処理中にユーザーがこのオブジェクトをスキップしました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1660I 除外: *fshlll*

説明: このオブジェクトは、バックアップまたはアーカイブ処理から除外されました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1661I 未変更: *fsllll*

説明: このオブジェクトは最終増分バックアップが実行された後に変更されていないため、再送する必要はありません。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1662I エージェント・ノード: '*agent_node*' ターゲット・ノード: '*target_node*'

説明: プロキシ・ノード情報。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

ANS1663W ボリューム *vol_name* 上のオプション予約率が **100** パーセント未満に低下しました。

説明: Network Appliance は、予約率を 100 パーセント未満に設定したときは、ボリューム上のスペース消費量とデータの変更比率を積極的にモニターして、上書き用の予約スペースが不足しないようにすることを、強くお勧めします。上記の設定のときに上書き用の予約スペースが不足すると、アクティブ・ファイル・システムへの書き込みが失敗し、ホスト・アプリケーションまたはオペレーティング・システムがクラッシュすることがあります。

システムの処置: プロセスは続行します。

ユーザーの処置: スペース消費量を必ずモニターしてください。ボリュームでの使用可能スペースをモニターするツールについては、Network Appliance を調べてください。

ANS1664E スナップショット名 *snapname* を使用したボリューム *volname* のスナップ・リストアを行うと、他のアプリケーションまたはボリューム複製に必要な後のスナップショットが破棄されます。

説明: ONTAP は、特定のスナップショットがスナップ・リストアに使用される場合、ボリュームのスナップショットの新しいほうを削除します。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: スナップ・リストアの前に、他のアプリケーションまたはボリューム・クローンで新しいほうのスナップショットが使用されないようにしてください。

ANS1665W IBM Spectrum Protect for ACS は、N シリーズ・ファイラー上のボリューム *volname* のスナップショットを検出できませんでした。

説明: N シリーズ・ファイラー上のこのボリュームに対して、スナップショットは検出されませんでした。

システムの処置: プロセスは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1666W IBM Spectrum Protect for ACS は、N シリーズ・ボリューム *volname* に関する情報を検出ませんでした。

説明: このボリュームに関する情報の照会で、戻されたデータはありませんでした。

システムの処置: プロセスは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1667E ボリューム *volname* のスナップショット名 *snapname* は、N シリーズ・ファイラーのスナップショット・リストにありませんでした。

説明: この名前で識別されるスナップショットは存在しません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1668E '*drive-name1*' はローカル・ディスクではありません。

説明: 指定されたファイル・システムは、ネットワーク・ディスクまたは network share です。

CLUSTERNODE オプションが YES に設定されているので、ファイル・システムのバックアップまたはアーカイブを実行できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: CLUSTERNODE オプションが誤って YES に設定されている場合は、オプションを NO に変更して操作を再試行してください。それ以外の場合は、クライアントの資料を参照して、クラスター環境で IBM Spectrum Protect クライアントを稼働させるための構成の詳細を確認してください。

ANS1669W *command subcommand* コマンドは、Windows WinPE モードでのみ実行できます。

説明: *command subcommand* コマンドは、現在稼働し

ているオペレーティング・システムではサポートされていません。このコマンドを実行するには、Windows WinPE モードにリブートする必要があります。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1670E ファイル仕様が無効です。有効なネットワーク・アプライアンスまたは **N-Series** の **NFS** ボリューム (**AIX**、**Linux** の場合) または **CIFS** ボリューム (**Windows** の場合) を指定してください。

説明: ファイル仕様が無効です。-SNAPDIFF オプションを指定してスナップショットの差分を使用する増分バックアップは、ネットワーク・アプライアンスまたは **N-Series** の **NFS** ボリューム (**AIX** 上と **Linux** 上)、および **CIFS** ボリューム (**Windows** 上) でのみ実行できます。ネットワーク・アプライアンスまたは **N-Series** の **Qtree**、あるいはネットワーク・アプライアンスまたは **N-Series** ボリューム内部のパスのいずれかを指定しないでください。サポートされるのはフル・ボリュームのみです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: -SNAPDIFF オプションを使用して、増分バックアップ操作を再試行してください。有効なネットワーク・アプライアンスまたは **N-Series** の **NFS** ボリューム (**AIX** 上または **Linux** 上)、または **CIFS** ボリューム (**Windows** 上) を指定してください。

ANS1672I クラスター・リソース *resource name* をオフラインにすることができませんでした。 **MS** 戻りコードは *retcode* です。エラーは無視されます。

説明: Microsoft は、信頼性の高いクラスター・データベースのリストア中は、クラスター・リソースをオフラインにすることを推奨しています。ただし、リソースをオフラインにすることができない場合も、リストアは実施できます。エラーは無視されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置はありません。

ANS1673W ノード *node name* 上のクラスター・サービスを開始できませんでした。サービスを手動で開始する必要があります。

説明: クラスター・データベースはリストア済みです。リストア中、クラスター・サービスはオフラインにされていました。IBM Spectrum Protect はクラスター・サービスの再始動に失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このノードのサービスは手動で始動できます。

ANS1674I クラスター・データベースはリストアされましたが、一部のノード上のクラスター・サービスを開始できませんでした。

Failover Cluster Management ツールを使用して、ノードを手動で開始してください。

説明: クラスター・データベースはリストア済みです。リストア中、リストアされているノードを除いて、クラスター・サービスはオフラインにされていました。IBM Spectrum Protect は、これらのクラスター・サービスの自動的な開始に失敗しました。手動で開始する必要があります。サービスの開始が失敗したノードは、クライアント・エラー・ログにログが記録されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: クラスター・サービスは手動で始動できます。

ANS1675W クラスター・データベースのリストア後に再始動するためのクラスター・ノードのリストを取得できません。コール '*cmd*' は **MS** 戻りコード *retcode* で戻りました。リストアが終了したら、すべてのノード上でクラスター・サービスを再始動する必要があります。

説明: エラーのため、IBM Spectrum Protect はクラスター内のノードのリストをリトリブして再始動できませんでした。これらのノード上のクラスター・サービスは、手動で始動する必要があります。クライアントのエラー・ログに、障害の起きた場所に仕掛けて追加情報が含まれることがあります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: すべてのノード上でクラスター・サービスを再始動してください。

ANS1676W 信頼性の高いクラスター・データベースのリストアを実施しています。このプロセスは、ファイルのリストアの前か後にハングした可能性があります。これは、クラスター・サービスは、稼働していなく、すべてのリソースがオフラインにされている場合、そのクラスター・サービスを開始することが必要な場合があるからです。クラスター・データベースがリストアされると、クラスター・サービスは変更を有効にする

ために再開されます。他のすべてのノード上のクラスター・サービスもシャットダウンされています。それらは再始動されます。これには数分かかることがあります。

説明: リストアの前に IBM Spectrum Protect が、リストアするノード上のクラスター・サービスを開始し、すべてのリソースをオフラインにするため、リストアは、一時停止している可能性があります。クラスター・データベースがリストアされると、リストアするノード上のクラスター・サービスは休止状態になります。他のノード上のクラスター・サービスはシャットダウンされています。すべてのサービスは再開する必要があります。一部のサービスが自動的に開始できない場合、再開を試みることができます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 処置はありません。

ANS1677W IBM Spectrum Protect は、エラーのために高速フォーマット用のディスクの設定に失敗しました。詳細についてはエラー・ログを参照してください。ディスクは低速フォーマットされ、リストア処理が遅くなります。

説明: デフォルトで IBM Spectrum Protect は、HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥ASR¥RestoreSession キーの QuickFormat 値を設定して、すべてのディスクで高速フォーマットを実行しようとしています。エラーのため、低速フォーマットでディスクの再作成が実行されます。このプロセスでは、リストア処理が遅くなります。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: なし

ANS1678E ASR パス 'path': 見つかりません。

説明: 存在しないディレクトリーを指定しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: スペルや句読点、特にディレクトリー区切り文字 (例えば、「¥」など) の配置をすべて再チェックしてください。構文が間違っている場合は、訂正してから操作を再試行してください。

ANS1679W リストアされたボリュームを識別するレジストリーの更新は失敗しました。これは、既にリストアされたボリュームには影響しません。詳細についてはエラー・ログを参照してください。エラーは無視され、処理は続行されます。

説明: 重要なボリュームをリストアすると、IBM Spectrum Protect は HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥ASR¥RestoreSession キーの RestoredVolumes 値を更新して、リストアされたボリュームを示そうとします。レジストリーへのアクセスのエラーによって、エラーはログに記録されますが処理は続行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

ANS1680E スナップショット差分バックアップは、データ保護 (**SnapVault** または **SnapMirror**) ボリュームに対してのみ使用可能です。ボリューム 'NetApp-Volume' は、**SnapVault** ボリュームでも **SnapMirror** ボリュームでもありません。

説明: NetApp ライセンスでは、データ保護 (**SnapVault** または **SnapMirror**) ボリュームに対してのみスナップショット差分処理を使用できます。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1681E DSM_DIR が設定されず **ASRFILESPATH** オプションが指定されませんでした。

説明: ASR ファイルは、デフォルトで DSM_DIR パスに入力するか、ASRFILESPATH オプションで上書きできます。そのいずれかが設定されています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: DSM_DIR 環境変数を設定するか、ASRFILESPATH オプションを "RESTORE MACHINEASR" コマンドで指定します。

ANS1682E ボリューム 'NetApp-Volume' は、読み取り専用データ保護 (**SnapMirror** または **SnapVault**) ボリュームです。スナップショット差分バックアップのスナップショットは、読み取り専用ボリューム上に作成できません。バックアップで使用するための既存のスナップショットを選択するために、**USEEXISTINGBASE** オプションと **DIFFSNAPSHOT=latest** オプションを指定する必要があります。

説明: 指定された NetApp ボリュームは読み取り専用

ボリュームであり、スナップショット差分バックアップによって使用されるスナップショットを作成できません。USEEXISTINGBASE オプションと DIFFSNAPSHOT=latest オプションは、既存のスナップショットを使用することを指定します。このオプションは、BASESNAPSHOTNAME オプションおよび DIFFSNAPSHOTNAME オプションとともに使用できません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 既存のスナップショットを指定する際に適切なオプションを使用してください。

ANS1684W サブファイル・キャッシュにアクセス中にディスク満杯エラー: *exception-name*

説明: サブファイルの増分バックアップ中に、指定されたサブファイル・キャッシュ・ファイルにアクセスまたは書き込みしようとしてディスク満杯エラーが起きました。より詳細な情報については、クライアントのエラー・ログを参照してください。

システムの処置: サブファイルなしで処理は続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1685E スナップショットの差分を使用した増分バックアップ操作は、**N** シリーズ/**NetApp** ファイラー・ボリュームでのみ使用可能です。は **NetApp** ボリュームではありません。

説明: マウントまたはマップされたボリューム上のスナップショットの差分を使用する NAS NFS/CIFS 増分バックアップ操作は、そのボリュームが **N** シリーズ/**NetApp** ファイラー・ボリュームでないため、実行できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: NAS NFS または CIFS ボリューム全体を指定して、増分バックアップ操作を再試行してください。

ANS1686I 単一インスタンス・ストア・リンク '*file-name*' は、通常のファイルとしてリストアまたはリトリブされます。

説明: IBM Spectrum Protect は、単一インスタンス・ストア (SIS) リンクを通常のファイルとしてリストアします。リストアされたバージョンが、SIS 共通ストアにあるコピーの複写の場合、SIS Groveler は SIS リンクを再作成することになります。

システムの処置: プロセスは、リパース・ポイントでな

く通常のファイルを作成します。

ユーザーの処置: なし

ANS1687E **VSS** インスタント・リストア操作が失敗しました。 **IBM Spectrum Protect** クライアントのエラー・ログ・ファイル (**DSMERROR.LOG**)、**Windows** アプリケーション・イベント・ログ、**Windows** システム・イベント・ログ、および **VSS** プロバイダー・ログ・ファイル (該当する場合) で詳細を調べてください。エラーの戻りコードの意味については、**VSS** プロバイダーの資料を参照してください。

説明: ボリューム・レベルのコピーのリストア操作を実行する際に **VSS** ハードウェア・プロバイダーが失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 可能であれば、アプリケーション・クライアント ログ・ファイル、クライアントのエラー・ログ・ファイル (**DSMERROR.LOG**)、**Windows** アプリケーション・イベント・ログ、**Windows** システム・イベント・ログ、および **VSS** プロバイダー・ログ・ファイルを調べ、エラーの原因を判別してみてください。

Windows VSS の操作に関する追加説明は、**IBM Spectrum Protect** 問題判別ガイドに記載されています。問題を訂正し、操作を再試行してください。このエラーが継続する場合には、サービス担当員にご連絡ください。

ANS1688I ファイルのバックアップ元のボリュームがスパース・ファイルをサポートしていないため、「*file-name*」のスパース属性を正しくバックアップできません。

説明: ファイルのバックアップ元のボリュームがスパース・ファイルをサポートしていない場合は、スパース・ファイルに割り振られた範囲はバックアップできません。これは、ファイルにスパース属性が設定されている場合でも同様です。これが起きる可能性のある一例として、スパース・ファイルが NAS ボリューム上に作成されているが、そのボリュームが CIFS を介してバックアップされていて、CIFS がスパース・ファイルをサポートしていないという場合があります。

システムの処置: ファイルのスパース属性および割り振り範囲はバックアップされません。ファイルをリストアする場合、リストア済みファイルはスパースにはなりません。

ユーザーの処置: スパース属性と割り振り範囲のバックアップが不要な場合は、アクションは不要です。

ファイルのスペース属性と割り振り範囲のバックアップが必要な場合は、IBM Spectrum Protect でバックアップするファイルが入った元のボリュームがスペース・ファイルをサポートしている必要があります。

ANS1689E VSS ASR リストア後に、レジストリーが更新されませんでした。

説明: VSS 自動システム回復 (ASR) 後のレジストリー更新中にエラーが発生しました。詳細について、`dsmerror.log` を確認してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システム管理者にエラー・ログの検査を依頼してください。

ANS1690E スナップショット差分バックアップは、データ保護 (SnapVault または SnapMirror) ボリュームに対してのみ使用可能です。ボリューム '*NetApp-Volume*' は、SnapVault ボリュームでも SnapMirror ボリュームでもありません。

説明: スナップショット差分処理を使用するための NetApp ご使用条件は、データ保護 (SnapVault または SnapMirror) ボリュームのバックアップのみを許可します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: なし

ANS1691I オプション・ファイル '*file-name*' の行番号 *number* で検出されたオプション '*option*' はサポートされていません。これはクライアントで無視されます。

説明: 指定されたオプションは有効ではあるが、現行プラットフォームではサポートされていないためにクライアントによって無視されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージを無視するか、オプション・ファイルから該当のオプションを除去できます。

ANS1692E 証明書がトラステッドではありません。

説明: サーバー証明書がトラステッドでないため、クライアントは、サーバーへの SSL 接続をオープンできませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 資料に説明されている SSL 通信の鍵データベースを構成済みであることを確認してください。IBM Spectrum Protect サーバーが自己署名証明書

を使用している場合は、接続しようとしている相手のサーバーから正しい証明書をインポートするようにしてください。認証局によって署名された証明書をサーバーが使用している場合は、その認証局のルート証明書がクライアント鍵データベースにインポートされるようにしてください。

ANS1693E 証明書の有効期間に誤りがあります。

説明: 証明書の有効期間に誤りがあるために、クライアントはサーバーへの SSL 接続をオープンできませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: これを IBM Spectrum Protect サーバー管理者に報告してください。サーバーに正しい証明書がインストールされている必要があります。

ANS1694E 証明書 ID を検証できませんでした。

説明: 証明書 ID を検証できなかったために、プロセスはサーバーへの SSL 接続をオープンできませんでした。これは、証明書の所有権情報が IBM Spectrum Protect のドメイン名または IP アドレスと一致しない場合に起こります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいサーバーのドメイン名または IP アドレス (TCPSEVERADDRESS オプションの値) を指定してください。問題が続く場合は、これを IBM Spectrum Protect サーバー管理者に報告してください。

ANS1695E 証明書が無効です。

説明: 無効な証明書のために、プロセスはサーバーへの SSL 接続をオープンできませんでした。クライアントは失敗の正確な原因を判別できませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: サーバー証明書またはクライアント鍵データベース (あるいはその両方) の詳しい分析が必要です。詳しくは、IBM Spectrum Protect の資料を参照してください。

ANS1696E このアクションを実行できるのは root ユーザーのみです。

説明: このアクションを実行するユーザーは root でなければなりません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: root としてログインし、操作を再試行してください。

ANS1700W データベース '*database*' (保存日=*date*) は正常にリカバリーされました。

説明: 指定したデータベース (指定の日付に保存されたもの) は、正常にリカバリーされました。

システムの処置: 指定したデータベースは、最新の保存バージョンを使用してリカバリーされました。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1704W アプリケーションではオプション '*option-name*' は指定できず無視されます。

説明: API アプリケーションでオプションが指定されました。このオプションはアプリケーションで指定できません。このオプションは、*dsm.sys* オプション・ファイルでのみ指定できます。

システムの処置: 指定されたオプションは無視されます。処理を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーションの構成を修正してください。

ANS1705E システム書き込みプログラム *writersname* が存在していません。

説明: これらの書き込みプログラムは、オペレーティング・システムの必須部分です。書き込みプログラムが使用できない場合、バックアップは正常に完了しますが、書き込みプログラムのデータは IBM Spectrum Protect サーバーにバックアップされません。その結果、システム状態のリストア後にコンピューターがブートしなくなります。

システムの処置: システム状態のバックアップが停止しました。

ユーザーの処置: 「*vssadmin list writers*」コマンドを使用して、これらの書き込みプログラムが存在しているかどうか確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合は、支援を求めるためにシステム管理者または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1706E ディレクトリー '*directory*' の作成中にエラーが発生しました。

説明: システムは指定されたディレクトリーを作成できませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: このディレクトリーを作成するための適切な権限がシステムにあることを確認し、操作を再開してください。

ANS1707E 既存ファイル '*exist-file-name*' に対するハード・リンク '*new-file-name*' を作成できませんでした。 **Microsoft Windows** の戻りコード: '*windows-return-code*'
'*windows-error-text*'

説明: 一部のシステム状態ファイルは、別のファイルを指すハード・リンクです。システム状態のリストア時に、IBM Spectrum Protect はリストア済みのシステム状態ファイルに対するハード・リンクを再作成します。リストア時にハード・リンクと同名のファイルが既に存在している場合、IBM Spectrum Protect は、そのファイルをハード・リンクで置換しようとしています。

このメッセージは、IBM Spectrum Protect が既存のファイルをハード・リンクで置換できない場合に発行されます。メッセージには、ハード・リンク名、ハード・リンクが指すシステム状態ファイル名、および Microsoft Windows の戻りコード情報が含まれています。戻りコード情報は、ファイルを置換できなかった理由を示しています。

ハード・リンクを再作成できない場合、オペレーティング・システムまたはアプリケーションの動作が不規則になる場合があります。

システムの処置: ハード・リンクをスキップして、システム状態のリストアを続行します。

ユーザーの処置: メッセージに示されている Microsoft Windows の戻りコード情報を使用して、エラーの根本原因を判別してください。エラーの根底にある原因とシステム状態をリストアする理由に基づいて、根底にある原因を訂正して再度リストアを実行するか、またはハード・リンクの作成を手動で試みるか、どちらかを選択することができます。このエラー・メッセージは異常で予期しない状態を示すものなので、どちらかを選択するにしても、起こり得る結果を慎重に検討する必要があります。

ハード・リンクを手動で作成するには、以下のようにします。ハード・リンクと同名のファイルを名前変更してください。次に、Microsoft Windows ユーティリティの *fsutil.exe* を下記のように使用します。

FSUTIL HARDLINK CREATE *hardlinkname*
originalfilename

ANS1708E バックアップ操作は失敗しました。この操作を実行できるのは、**root** ユーザーのみです。

説明: 非 **root** ユーザーにより開始されたバックアップは、IBM Spectrum Protect 管理者により無効にされます。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に、非

root バックアップを有効にするよう要求してください。

ANS1710I 再バインド: fshlll

説明: IBM Spectrum Protect データベース内でこのオブジェクトのアクティブ・バージョンが MC に再バインドされました。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS1711E バックアップ中にディスク 'disk name' または VM 'vmname' にアクセスできません。

説明: クライアントが VM ディスクにアクセスできません。オフロード・バックアップでは、この問題は、RDM ディスクが VM に存在しており、補助 ESX ホストからアクセスできない場合に発生する可能性があります。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: ESX から VM ディスクにアクセスできることを確認してください。

ANS1712W スナップショット・ボリューム 'uncVolumePath' のスナップショットの操作は、ディスク・プロバイダー・タイプ 'LUN-provider-name' (LUN-provider-type) ではサポートされていません。

説明: このタイプの LUN では機能が使用可能ではありません。

システムの処置: 操作を続行します。

ユーザーの処置: ストレージ・デバイスまたはサブシステム上の LUN を手動で削除してください。

ANS1715E 仮想マシン (VM_name) のファイル・スペースは既に存在していますが、現在の仮想マシンの UUID (VM_UUID) とは異なる仮想マシン UUID (VM_UUID) が使用されています。

説明: この名前の仮想マシンはバックアップされており、現在バックアップされている仮想マシンとは異なる仮想マシン UUID を持っています。これは、同じデータ・センター・ノード名にバックアップされている、同じ名前の仮想マシンが 2 つある場合に発生することがあります。その場合、バックアップ/アーカイブ・クライアントは仮想マシン名を使用して、IBM Spectrum

Protect サーバーの仮想マシンを一意的に参照するので、バックアップを続行できません。

これは、仮想マシンの UUID が前回のバックアップ操作後に変更された場合にも発生する可能性があります。発生するのは、以下のようなイベントの後です。

1. 仮想マシン VM_1 がバックアップされました。
2. 仮想マシン VM_1 が新規名 VM_2 でリストアされます。新規 UUID は VM_2 に割り当てられます。
3. 仮想マシン VM_1 は削除されます。
4. 仮想マシン VM_2 が VM_1 に名前変更されます。

システムの処置: この仮想マシンのバックアップは失敗します。バックアップ処理は他の仮想マシンでは続行できます。

ユーザーの処置: データ・センター・インベントリー内に同じ名前の仮想マシンが複数ある場合、以下のいずれかのアクションを実行できます。

- データ・センター・インベントリー内のすべての仮想マシン名が固有となるように、仮想マシンを名前変更します。
- 同じ名前の仮想マシンを異なる IBM Spectrum Protect サーバーにバックアップします。

VM の UUID が変更された場合、VMBACKUPUPDATEGUID オプションを指定して BACKUP VM コマンドを実行します。VMBACKUPUPDATEGUID オプションは、IBM Spectrum Protect サーバーの UUID を更新します。

ANS1716E VMware vStorage の Web サービス・タスクがタイムアウトになりました。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、VMware vCenter または ESX ホストが要求された Web サービス・タスクを完了するのを待つ間に、タイムアウトになりました。資源が少ないかシステムが使用中である可能性があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: VMware vCenter または ESX ホストにエラーがないか確認してください。

ANS1717E VMware vStorage の Web サービス・タスクが失敗しました。

説明: VMware vCenter または ESX ホストの Web サービス・タスクが失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: VMware vCenter または ESX ホストにエラーがないか確認してください。

ANS1729E 渡されたファイル・リスト '*file-list*' が有効な入力ファイル・リストではありません。
標準のファイル・リストまたはコレクション・ファイル・リストを **dsmrecall** コマンドに渡してください。

説明: ユーザーが無効なファイル・リスト・タイプを **dsmrecall** コマンドに渡しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 標準のファイル・リストまたはコレクション・ファイル・リストを **dsmrecall** コマンドに渡してください。

ANS1730E 順序付け情報の **IBM Spectrum Protect** サーバー照会が失敗しました。

説明: テープ最適化再呼び出しは **IBM Spectrum Protect** サーバーから順序付け情報を取得できませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: **IBM Spectrum Protect** サーバーへの接続を検査して、**IBM Spectrum Protect** サーバーが使用可能であるか、またアクセス権限が正しく構成されているかを確認してください。

ANS1731E ファイル・リスト '*file-list*' のテープ最適化再呼び出しが **rc = code** で失敗しました。

説明: テープ最適化再呼び出しは **IBM Spectrum Protect** サーバーから順序付け情報を取得できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: この問題の詳細については、このメッセージの上のエラー・メッセージをすべて確認してください。

ANS1732W ファイル '*file*' は異なるファイル・システムのもので、ファイルを未処理ファイルのリスト '*file-list*' に書き込んでいます。

説明: **dsmrecall** コマンドは、処理するファイル・システムを指定します。他のファイル・システムのファイルはスキップされ、未処理リストに書き込まれます。

システムの処置: ファイルはスキップされ、情報は未処理ファイルのリストに書き込まれます。

ユーザーの処置: 入力ファイル・リストのすべてのファイルが正しいファイル・システムのものであることを確認してください。

ANS1733I コレクション・ファイル '*file-list*' が指定されました。順序付けプロセスをスキップします。

説明: 収集ファイルが入力ファイル・リストとして渡されました。ファイルは既に順序付けされているため、順序付けは必要ありません。再呼び出しのみが開始します。

システムの処置: 順序付けプロセスは開始せず、再呼び出しのみが開始します。

ユーザーの処置: これ以上のアクションは不要です。

ANS1734W 仮想マシン '*VM-name*' に 1 つ以上の独立ディスクが組み込まれています。この構成ではバックアップはサポートされていません。これらのディスクをバックアップから除外するために、**'-vmprocessvmwithindependent=yes'** オプションを指定してください。

説明: 独立ディスクはスナップショットの影響を受けないため、**IBM Spectrum Protect** クライアントではこれらのディスクのバックアップはサポートされていません。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: 仮想マシンの電源をオフにし、ディスクの独立モードを変更するか、仮想マシンからディスクを除去します。あるいは、

「**-vmprocessvmwithindependent=yes**」オプションを指定して、これらのディスクをバックアップから除外します。

ANS1735W 仮想マシン '*VM-name*' に 1 つ以上の物理ロー・デバイス・マッピング (**RDM**) が組み込まれています。この構成ではバックアップはサポートされていません。これらのディスクをバックアップから除外するために、**'-vmprocessvmwithprdm=yes'** オプションを指定してください。

説明: 物理 **RDM** はスナップショットに含まれないため、**IBM Spectrum Protect** クライアントではこれらのディスクのバックアップはサポートされていません。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: 仮想マシンの電源をオフにし、**RDM** を仮想モードに変更するか、仮想マシンから **RDM** を除去します。あるいは、

「**-vmprocessvmwithprdm=yes**」オプションを指定し

て、これらのディスクをバックアップから除外します。

ANS1737E PRESNAPSHOTCMD コマンドは失敗しました。

説明: VSS スナップショット・バックアップを実行するには、PRESNAPSHOTCMD オプションで指定されたコマンドが正常に完了する必要があります。このコマンドは、戻りコード 0 (ゼロ) が表示されて完了すれば、正常に完了したものと見なされます。コマンドが完了しても、それ以外の戻りコードが表示された場合は、コマンドは失敗したものと見なされます。このコマンドが失敗した場合は、VSS スナップショット・バックアップは実行されません。

システムの処置: クライアントは VSS スナップショット・バックアップ操作を実行しません。

ユーザーの処置: コマンドが失敗する原因となった問題を特定して、修正してください。このコマンドではゼロ以外の戻りコードが通常であるような場合には、このコマンドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトにラップすることを検討してみてください。

ANS1738W POSTSNAPSHOTCMD コマンドは失敗しました。

説明: POSTSNAPSHOTCMD オプションで指定されたコマンドが完了し、ゼロ以外の戻りコードが表示された場合、VSS スナップショット・バックアップ操作は続行されます。この操作は警告レベルの結果を伴って続行されます。POSTSNAPSHOTCMD コマンドの結果が VSS スナップショット・バックアップ・コマンドからのより高位の結果に取って代わることはありません。例えば、VSS スナップショット・バックアップ・コマンドが完了して、コード 12 が表示された場合は、その戻りコードが POSTSNAPSHOTCMD コマンドからのより低い戻りコードによって変更されることはありません。

システムの処置: VSS スナップショット・バックアップは続行されますが、少なくとも 8 という警告戻りコードが表示されます。

ユーザーの処置: コマンドが失敗する原因となった問題を特定して、修正してください。このコマンドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトにラップすることを検討してください。

ANS1739E システム・ドライブのリストアは許可されていません。

説明: リストア先のドライブにはオペレーティング・システムが含まれています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システム・ドライブを指定せずに操作を再実行してください。

ANS1740W オブジェクト *file_system path name* の ACL を読み取れません。詳細について、**dsmerror.log** を確認してください。

説明: オブジェクトの ACL を読み取れません。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、問題の理由を示す他のメッセージがないか確認してください。推奨される修正アクションがある場合はそれを実行し、操作を再試行してください。

ANS1741W *file_system path name* の拡張属性を読み取れません。詳細について、**dsmerror.log** を確認してください。

説明: オブジェクトの拡張属性を読み取れません。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、問題の理由を示す他のメッセージがないか確認してください。推奨される修正アクションがある場合はそれを実行し、操作を再試行してください。

ANS1742E バックアップ '*backup-name*' のスナップショットの公開が失敗しました。

説明: スナップショットの公開が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳しくは、**dsmerror.log** ファイルを参照してください。

ANS1743E バックアップ '*backup-name*' のスナップショットの非公開が失敗しました。

説明: スナップショットの非公開が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳しくは、**dsmerror.log** ファイルを参照してください。

ANS1744E リストア操作に必要な 1 つ以上のスナップショット (ボリューム) が見つかりませんでした。詳しくは、**dsmerror.log** を参照してください。

説明: リストアに必要な 1 つ以上のスナップショットがシステムで見つかりませんでした。

ANS1745I • ANS1751E

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳しくは、dsmerror.log ファイルを参照してください。

ANS1745I リストアする仮想マシンに分散ポート・グループが 1 つ以上あります。リストアの完了後にポート番号を選択するために、さらに構成が必要になる場合があります。

説明: 仮想マシンは分散ポート・グループと関連付けられた 1 つ以上の NIC カードで保存されました。リストアでの競合により、ポート番号は保存されませんでした。

システムの処置: リストアを続行します。

ユーザーの処置: 仮想マシンの設定を編集し、必要に応じてポートを選択してください。

ANS1746E 使用可能な LUN が見つかりませんでした。ホストでストレージ・アダプターが正しく構成されていること、および LUN が別の仮想マシンにマップされていないことを確認してください。

説明: 仮想マシンは LUN と関連付けられたロー・デバイス・マッピング・ディスクで保管されました。必要な LUN がないか、別の仮想マシンにマップされたままです。

システムの処置: 仮想マシンをリストアできません。

ユーザーの処置: ホストでストレージ・アダプターが正しく構成されていること、また LUN が別の仮想マシンにマップされていないことを確認してください。

ANS1747E 暗号鍵パスワードが使用不可です。

説明: クライアントで非許可ユーザーによる暗号化バックアップ/リストア操作が有効にされていないか、暗号鍵パスワードが管理者によって保管されていません。

システムの処置: 暗号化または暗号化解除することができないオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: システムの管理者に連絡し、非許可ユーザーの暗号化操作を構成してください。

ANS1748E 仮想マシンは LUN と関連付けられたロー・デバイス・マッピング・ディスクで保管されました。必要な LUN がないか、別の仮想マシンにマップされています:
LUN UUID *lun*。

説明: 仮想マシンは LUN と関連付けられたロー・デバイス・マッピング・ディスクで保管されました。必要

な LUN がないか、別の仮想マシンにマップされたままです。

システムの処置: 仮想マシンをリストアできません。

ユーザーの処置: 必要な LUN を見つけて、仮想マシンで使用できるようにしてください。

ANS1749W オブジェクト '*filesystem-namehl-namell-name*' は、無効なファイル・システム・タイプ属性付きでバックアップされました。

説明: ファイル・システム・タイプは、クライアントが使用してオブジェクト名が大文字小文字の区別があるかどうか判別します。誤ったファイル・システム・タイプによって、大文字小文字を区別するファイル・システムではサーバー・ツリーのソート順が不正になる場合があります。最終的に、変更されないファイルの一部は、有効期限が切れてフル増分バックアップ時に再度バックアップされる場合があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー上の対応するファイル・スペースを名前変更し、再度フル増分バックアップを実行することをお勧めします。

ANS1750I ボリューム・マウント・ポイント '*volumemountpoint*' がボリューム '*volume*' にマウントされています。'*volume*' にスナップショット・ボリュームを使用して、バックアップ。

説明: ボリューム・マウント・ポイントは、スナップされたボリュームに解決されました。同じスナップショット・ボリュームが使用されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1751E '*filesystem name*' を処理中にエラー: ファイル・システムにアクセスできません。

説明: クライアントはファイル・システムにアクセスできません。一般的な理由としては、クライアントの実行アカウントにファイル・システムのルートへのアクセス権がないこと、またはファイル・システムが存在しないことの 2 つがあります。

システムの処置: アクセスできないファイル・システムはスキップされます。処理は、次のファイル・システムから続行されます。

ユーザーの処置: エラー・ログで、ファイル・システムへのアクセスを妨げている問題に関する追加情報を示す追加メッセージを調べてください。問題を訂正して、操作を再試行してください。アカウントにこのファイ

ル・システムへのアクセス権がない場合は、システム管理者がアクセス権を付与するか、またはこのファイル・システムへのアクセス権を持つアカウントを使用する必要があります。このファイル・システムが存在しない場合は、ファイル・システム仕様を除去するか訂正してください。

ANS1752E ファイル・システムにアクセスできません。

説明: クライアントはファイル・システムにアクセスできません。一般的な理由としては、クライアントの実行アカウントにファイル・システムのルートへのアクセス権がないこと、またはファイル・システムが存在しないことの 2 つがあります。

システムの処置: アクセスできないファイル・システムは無視されます。

ユーザーの処置: エラー・ログで、ファイル・システムへのアクセスを妨げている問題に関する追加情報を示す追加メッセージを調べてください。問題を訂正して、操作を再試行してください。アカウントにこのファイル・システムへのアクセス権がない場合は、システム管理者がアクセス権を付与するか、またはこのファイル・システムへのアクセス権を持つアカウントを使用する必要があります。このファイル・システムが存在しない場合は、ファイル・システム仕様を除去するか訂正してください。

ANS1753E ファイル・スペース '*filespace name*' は古いクライアント・バージョンによってバックアップされたため、このクライアント・バージョンではリストアできません。このファイル・スペースはスキップされます。

説明: 以前のクライアント・バージョンでの SYSTEM STATE および SYSTEM SERVICES のバックアップ・セット形式が、現在のクライアント・バージョンのものと互換性がありません。これらのファイル・スペースはスキップされます。クライアントがこれらのファイル・スペース内のオブジェクトをスキップしている間、リストアが一時停止しているように見える場合があります。その他のファイル・スペース・データはリストアされません。

システムの処置: このファイル・スペースのオブジェクトはスキップされます。その他のファイル・スペース・データはリストアされます。

ユーザーの処置: バックアップ・セット内のこの特定のファイル・スペースを、前のレベルのクライアントを使用してリストアしてください。

ANS1754E **ASNODENAME** オプションが有効な場合、ファイル・スペース '*filespace name*' をリストアすることはできません。このファイル・スペースはスキップされます。

説明: 別のノードのシステム状態データを別のノードにリストアすることはできません。これらのファイル・スペースはスキップされます。クライアントがこれらのファイル・スペース内のオブジェクトをスキップしている間、リストアが一時停止しているように見える場合があります。その他のファイル・スペース・データはリストアされます。

システムの処置: このファイル・スペースのオブジェクトはスキップされます。その他のファイル・スペース・データはリストアされます。

ユーザーの処置: バックアップ・セットにこの特定のファイル・スペースをリストアする前に **ASNODENAME** オプションを除去するか、システム状態データのバックアップに使用されたノード名を使用してリストアを行ってください。

ANS1755W **Active Directory** との通信中にエラーが発生しました。**USEDIRECTORY** オプションは無視され、処理は続行します。

説明: プロセスは、Active Directory for IBM Spectrum Protect サーバー・パラメーターを照会しようとしたが、エラーが発生しました。このエラーは、Active Directory または IBM Spectrum Protect サーバーの構成が原因で発生した可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は **USEDIRECTORY** オプションを無視し、クライアント処理を続行します。

ユーザーの処置: コンピューターが活動ディレクトリーを持つドメインに対して適切に設定されていることを確認してください。また、IBM Spectrum Protect 管理者がノードに対して IBM Spectrum Protect サーバーを適切に構成したことも確認してください。

ANS1756W '*backup-specification*' のジャーナルがリセットされました。サーバー・ファイル・スペースは最後のバックアップ完了後に削除されました。

説明: 対応するファイル・スペースが最後のバックアップ完了後に削除されたため、クライアントはジャーナルをリセットしました。

システムの処置: ジャーナルがリセットされ、現行バックアップはジャーナルを使用しません。フル増分バックアップが正常に完了するまで、ジャーナルは使用できません。

ANS1757W • ANS1763W

ユーザーの処置: ありません。

ANS1757W 'backup-specification' のジャーナルがリセットされました。サーバー・ファイル・スペースは最後のバックアップ完了後に削除されました。

説明: 対応するファイル・スペースが最後のバックアップ完了後に削除されたため、クライアントはジャーナルをリセットしました。

システムの処置: ジャーナルがリセットされ、現行バックアップはジャーナルを使用しません。フル増分バックアップが正常に完了するまで、ジャーナルは使用できません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1758W 'backup-specification' のジャーナルがリセットされました。サーバー・ファイル・スペースは最後のバックアップ完了後に削除されました。

説明: 対応するファイル・スペースが最後のバックアップ完了後に削除されたため、クライアントはジャーナルをリセットしました。

システムの処置: ジャーナルがリセットされ、現行バックアップはジャーナルを使用しません。フル増分バックアップが正常に完了するまで、ジャーナルは使用できません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1759W 'backup-specification' のジャーナルがリセットされました。ポリシー・セットは最後のバックアップ完了後に更新されました。

説明: ノード・ポリシー・セットが最後のバックアップ完了後に削除されたため、クライアントは指定されたファイル・システムのジャーナルをリセットしました。

システムの処置: ジャーナルがリセットされ、現行バックアップはジャーナルを使用しません。フル増分バックアップが正常に完了するまで、ジャーナルは使用できません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1760I backup-specification' のジャーナルが、ノード 'nodename' およびサーバー 'servername' 用に使用可能になりました。

説明: 上記のファイル・システムのジャーナルが有効になり、上記の IBM Spectrum Protect ノードおよびサーバーにより次のフル増分バックアップで使用されます。

システムの処置: このファイル・システムの次のフル増分バックアップではジャーナルが使用されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1761I 'backup-specification' のジャーナルは、バックアップが正常に終了すると使用可能になります。

説明: バックアップ中のファイル・システム用に存在するジャーナルは、アクティブですが無効です。バックアップが正常に完了すると、このジャーナルは、同じ IBM Spectrum Protect ノードおよびサーバーによるこのファイル・システムの次のフル増分バックアップで使用できます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1763W ボリューム 'volume' のスナップショット 'snapshot' のクリーンアップ中にスナップショット・マウント・ポイント snapshot mountpoint をアンマウントできませんでした。

エラーは 'error' です。

操作は続行されます。バックアップが完了したら、手動でアンマウントし、スナップショット・マウント・ポイント・ディレクトリを除去し、スナップショットを削除してください。

説明: 何らかの理由により、IBM Spectrum Protect クライアント操作の終了フェーズの間にスナップショットをアンマウントできませんでした。ただし、IBM Spectrum Protect 操作は正常に完了しました。

システムの処置: 処理は続行され、アンマウント・エラーは無視されます。

ユーザーの処置: 次のようにして、スナップショットを手動でクリーンアップしてください。

スナップショットを照会します: snapshot -q -c:

<source FS>.

スナップショット名の形式は、tsmxxxxxxxxxxx です。

スナップショットがマウントされているか確認します:

df -k | grep tsmxxxxxxxxxxx。

スナップショットをアンマウントします: umount -f tsmxxxxxxxxxxx。

スナップショットのマウント・ポイントを除去します:

rmdir tsmxxxxxxxxxxx。

スナップショットを削除します: snapshot -d

/dev/tsmxxxxxxxxxxx。

「デバイス使用中」またはその他のエラーによりスナップショットの削除が失敗した場合は、スナップショット

のソース・ファイル・システムをアンマウントします:
`umount -f <source FS>`。
 スナップショットの削除を再試行します: `snapshot -d /dev/tsmxxxxxxxxxx`。
 残りの論理ボリュームがあるか確認します: `ls -l /dev/tsm*`。
 残りの論理ボリュームを除去します: `rmlv -f tsmxxxxxxxxxx`。
 ソース・ファイル・システムが前にアンマウントされた場合は、再マウントします: `mount <source FS>`。

ANS1764W ボリューム '*volume*' のスナップショット '*snapshot*' のクリーンアップ中に、スナップショット・マウント・ポイント・ディレクトリ *snapshot mountpoint* を除去できませんでした。
 エラーは '*error*' です。
 操作は続行されます。バックアップが完了したら、スナップショット・マウント・ディレクトリを手動で除去し、スナップショットを削除してください。

説明: 何らかの理由により、IBM Spectrum Protect クライアント操作の終了フェーズの間にスナップショットのマウント・ポイント・ディレクトリを除去できませんでした。ただし、IBM Spectrum Protect 操作は正常に完了しました。

システムの処置: 処理は続行され、`rmdir` エラーは無視されます。

ユーザーの処置: 次のようにして、スナップショットを手動でクリーンアップしてください。

スナップショットを照会します: `snapshot -q -c: <source FS>`。

スナップショット名の形式は、`tsmxxxxxxxxxx` です。
 スナップショットがマウントされているか確認します:
`df -k | grep tsmxxxxxxxxxx`。

スナップショットをアンマウントします: `umount -f tsmxxxxxxxxxx`。

スナップショットのマウント・ポイントを除去します:
`rmdir tsmxxxxxxxxxx`。

スナップショットを削除します: `snapshot -d /dev/tsmxxxxxxxxxx`。

「デバイス使用中」またはその他のエラーによりスナップショットの削除が失敗した場合は、スナップショットのソース・ファイル・システムをアンマウントします:
`umount -f <source FS>`。

スナップショットの削除を再試行します: `snapshot -d /dev/tsmxxxxxxxxxx`。

残りの論理ボリュームがあるか確認します: `ls -l /dev/tsm*`。

残りの論理ボリュームを除去します: `rmlv -f`

`tsmxxxxxxxxxx`。

ソース・ファイル・システムが前にアンマウントされた場合は、再マウントします: `mount <source FS>`。

ANS1765W ボリューム '*volume*' のスナップショット '*snapshot*' のクリーンアップ中に、スナップショットを削除できませんでした。
 エラーは '*error*' です。
 操作は続行されます。バックアップの完了後に、スナップショットを手動で削除してください。

説明: 何らかの理由により、バックアップ・アーカイブ・クライアント操作の間にスナップショットを削除できませんでした。ただし、操作は正常に完了しました。このエラーは、スナップショット・コマンドが予想しない順序であったために発生した可能性があります。AIX JFS2 では、特定のファイル・システムに対するスナップショット削除要求は、最初に最も古いスナップショットに対して発行し、その後、次に古いスナップショットに対して発行する、という順序で発行されることが期待されています。同じファイル・システムのさらに古いスナップショットを使用するプロセスが他にある場合、削除要求は失敗します。また、バックアップ/アーカイブ・クライアントは、そのプロセスの 1 つで作成されたスナップショットのみを削除します。他のアプリケーションまたはユーザーによって作成された古いスナップショットは削除しません。この場合、次の バックアップ・アーカイブ・コマンドが正常に完了できるように、ユーザーは古いスナップショットをすべて手動で削除する必要があります。

システムの処置: 処理は続行され、スナップショット削除エラーは無視されます。

ユーザーの処置: 以下のようにして、スナップショットをクリーンアップしてください。

スナップショットを照会します: `snapshot -q -c: <source_FS>`

スナップショット名の形式は、`tsmxxxxxxxxxx` です。
 スナップショットがマウントされているか確認します:

`df -k | grep tsmxxxxxxxxxx`

スナップショットをアンマウントします: `umount -f tsmxxxxxxxxxx`

スナップショットのマウント・ポイントを除去します:
`rmdir tsmxxxxxxxxxx`

スナップショットを削除します: `snapshot -d /dev/tsmxxxxxxxxxx`

「デバイス使用中」またはその他のエラーによりスナップショットの削除が失敗した場合は、スナップショットのソース・ファイル・システムをアンマウントします:
`umount -f <source_FS>`

スナップショットの削除を再試行します: `snapshot -d`

```
/dev/tsmxxxxxxxxxx
残りの論理ボリュームがあるか確認します: ls -l
/dev/tsm*
残りの論理ボリュームを除去します: rmlv -f
tsmxxxxxxxxxx
ソース・ファイル・システムが前にアンマウントされた
場合は、再マウントします: mount <source_FS>
```

ANS1767E 次のコマンドを使用して、スナップショットの論理ボリュームを作成することができません。

'cmd'

エラーは **'error'** です。

ボリューム・グループに割り振り要求を満たすのに十分な空き区画があることを確認してください。

説明: IBM Spectrum Protect クライアント操作の初期化フェーズの間にスナップショットの論理ボリュームを作成することができませんでした。

システムの処置: 処理は続行され、スナップショット論理ボリュームの作成エラーは無視されます。IBM Spectrum Protect 操作はスナップショットなしで実行されます。

ユーザーの処置: ボリューム・グループに **mklv** 割り振り要求を満たすのに十分な空き区画があることを確認し、操作を再試行してください。

ANS1768E **IBM Spectrum Protect** は新規スナップショット用のスペースを見つけれませんでした。

IBM Spectrum Protect 機能名 :
function-name

IBM Spectrum Protect 機能 :
function-desc

IBM Spectrum Protect 戻りコード :
TSM-rc

IBM Spectrum Protect ファイル :
file-name (line-number)

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 前のバックアップがまだ処理中の可能性があります。問題が続くようであれば、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、このメッセージに示された情報を提供してください。

ANS1769E スナップショットの差分を使用する増分バックアップを実行する場合は、**Data ONTAP** バージョン「*version.modification.submodification*」の **NetApp** ファイル・サーバー「*server-name*」はサポートされていません。

説明: スナップショットの差分を使用する増分バックアップには、Data ONTAP V7.3 以降が必要です。ただし、Data ONTAP V7.3.3 またはそれ以降から V8.0 にアップグレードすると、ユニコード・ファイル名のためのスナップショットの差分のサポートが失われます。Data ONTAP V8.1 以降にアップグレードしてください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ファイル・サーバーをサポート対象レベルの Data ONTAP にアップグレードした後で、操作を再試行してください。

ANS1770E アドレス '*tcpip address*' を解決できません。エラー = *error code*、'*error message*'

説明: システムは TCP/IP v6 アドレスを取得できませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 示されたアドレスが TCP/IP v6 アドレス指定であること、および ping または ping6 で解決できることを検査してください。

ANS1771W システム状態ファイル・スペース「*filespace name*」は別のロケーションにリストアすることはできません。

説明: システム状態ファイル・スペースを別のロケーションにリストアすることはできません。このファイル・スペースはスキップされます。

システムの処置: システム状態ファイル・スペース内のオブジェクトはスキップされます。残っているその他のファイル・スペースはリストアされます。クライアントがこのファイル・スペース内のオブジェクトをスキップしている間、リストアが一時停止しているように見える場合があります。

ユーザーの処置: システム状態をその元のロケーションにリストアしてください。

ANS1772E スナップショット・プラグインをロード中にエラーが発生しました。プラグインが正しくインストールされていない可能性があります。

説明: スナップショット・プラグインは、プラグインがインストールされていない可能性があるため、ロードできませんでした。

システムの処置: スナップショット・バックアップは停止します。

ユーザーの処置: Linux 86/86_64 プラットフォームにまだ TIVsm-BAhbw パッケージがインストールされていない場合は、そのパッケージをインストールしてください。操作を再試行してください。AIX プラットフォーム上に、まだ hbw および snphbw ファイル・セットがインストールされていない場合は、そのファイル・セットをインストールしてください。操作を再試行してください。

ANS1773I 仮想マシン 'VM-name' に 1 つ以上の独立ディスクがあり、ディスクは **VM** バックアップから除外されています。

説明: 独立ディスクのスナップショットを実行することはできません。ディスクをスキップするにはオプション '-vmprocessvmwithindependent=yes' を指定してください。

システムの処置: 仮想マシンの独立ディスクはバックアップされません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1774I 仮想マシン 'VM-name' に 1 つ以上の物理ロー・デバイス・マッピング (**RDM**) ディスクがあり、ディスクは **VM** バックアップから除外されています。

説明: 物理 RDM ディスクのスナップショットを実行することはできません。ディスクをスキップするにはオプション '-vmprocessvmwithprdm=yes' を指定してください。

システムの処置: 仮想マシンの物理 RDM ディスクはバックアップされません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1780E *writer-name* は初期化と **VSS** へのサブスクライブに失敗しました。

説明: Windows ボリューム・シャドウ・コピー・サービス (VSS) の制御下にある *writer-name* の作成中に IBM Spectrum Protect がエラーを検出しました。IBM

Spectrum Protect エラー・ログとアプリケーション・イベント・ログにこのエラーの追加情報がないか確認してください。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。エラーが解決しない場合は、IBM Spectrum Protect エラー・ログと Windows イベント・ログにこのエラーに関連した情報がないか確認してください。

Windows ボリューム・シャドウ・コピー・サービス (VSS) を再始動し、操作を再試行してください。

VSS のエラー状態をクリアするために、マシンの再始動が必要になる場合があります。

ANS1782E *writer-name* は停止できませんでした。

説明: *writer-name* の停止中に IBM Spectrum Protect がエラーを検出しました。IBM Spectrum Protect エラー・ログとアプリケーション・イベント・ログにこのエラーの追加情報がないか確認してください。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。エラーが解決しない場合は、IBM Spectrum Protect エラー・ログと Windows イベント・ログにこのエラーに関連した情報がないか確認してください。

Windows ボリューム・シャドウ・コピー・サービス (VSS) を再始動し、操作を再試行してください。

VSS のエラー状態をクリアするために、マシンの再始動が必要になる場合があります。

ANS1784E '*volume-name*' でのスナップショットの差分による増分バックアップは、このボリュームが **vFiler** ボリュームであるため実行できません。

説明: vFiler ボリュームでは、スナップショットの差分による増分バックアップはサポートされていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: スナップショットの差分による増分バックアップは、通常の NetApp/N シリーズのボリュームでのみ実行してください。

ANS1787I 仮想マシンの **NIC** は分散仮想ポート・グループに関連付けられていますが、**portgroupKey** 属性がないため、**NIC** をリストアできません。

説明: 仮想マシンの **NIC** に必要な **portgroupKey** 属性がありません。

ANS1788I • ANS1796I

システムの処置: 仮想マシンはリストアできますが、NIC はリストアできません。

ユーザーの処置: 仮想マシンをリストアした後に、新しい NIC カードを追加できます。

ANS1788I ターゲット **ESX** ホストに必要な分散仮想ポート・グループがないため、仮想マシンの **NIC** をリストアできません。
VMDEFAULTDVPORTGROUP オプションを使用して、新規ポート・グループを設定してください。ターゲット **ESXi** サーバーにポート・グループがない場合、**VMDEFAULTNETWORK** オプションを使用してください。

説明: 仮想マシンの **NIC** は分散仮想ポート・グループと関連付けられていますが、ターゲット **ESX** ホストにこのポート・グループがありません。

システムの処置: 仮想マシンはリストアできますが、NIC はリストアできません。

ユーザーの処置: 仮想マシンをリストアした後に、新しい NIC カードを追加できます。

ANS1789I ターゲット **ESX** ホストで分散仮想ポート・グループが見つかりませんでした。仮想マシンの **NIC** をリストアできません。

説明: 仮想マシンの **NIC** は分散仮想ポート・グループと関連付けられていますが、ターゲット **ESX** ホストに使用可能なポート・グループがありません。

システムの処置: 仮想マシンはリストアできますが、NIC はリストアできません。

ユーザーの処置: 仮想マシンをリストアした後に、新しい NIC カードを追加できます。

ANS1790E ファイラーで '**nosnapdir=on**' が設定されているため、ボリューム '**volname**' をバックアップできません。

説明: メッセージに示されているボリュームで「**nosnapdir=on**」オプションが設定されている場合は、このメッセージが表示されます。このオプションが設定されている場合、ボリューム・スナップショットは非表示になるためバックアップできません。

システムの処置: メッセージに示されているボリュームはバックアップされません。次のボリュームの処理が続行されます。

ユーザーの処置: ボリュームをバックアップするには、ファイラーでボリュームを変更します。オプション「**nosnapdir=off**」を設定してください。その後、この

ボリュームのバックアップ操作を再試行してください。ボリュームがバックアップされない場合は、バックアップ・アーカイブ・クライアントの **DOMAIN** 設定からこのボリュームを除去してください。

ANS1794I ファイラー「**filerName**」でオプション「**cifs.enable_share_browsing = off**」が設定されています。

説明: メッセージに示されている **NAS** ファイラーでオプション「**cifs.enable_share_browsing= off**」が設定されている場合に、このメッセージが発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: オプション

「**cifs.enable_share_browsing = on**」を設定してください。その後、スナップショット差分バックアップ操作を再試行してください。

ANS1795I ファイル・システム '**volname**' に書き込み権限がないため、スナップショット・プロバイダーを使用せずに処理を続行します。

説明: スナップショットは本質的にファイル・システムの変更に関する特定時点のスナップショットであるため、スナップショット対象のソース・ファイル・システムは読み取り/書き込みでなければなりません。スナップショットの作成によりファイル・システムのスーパーブロックが更新され、ここでファイル・システムが読み取り/書き込み可能でなければなりません。

システムの処置: スナップショット・プロバイダーを使用せずに処理を続行します。

ユーザーの処置: スナップショット・プロバイダーを使用してボリュームをバックアップする必要がある場合は、その権限を読み取り/書き込みに変更してください。

ANS1796I '**fullpath-name**' の短縮名をオリジナルの短縮名 '**file-name**' に設定できませんでした。**Windows** 機能 '**func-name**' は戻りコード **return-code**、理由: '**error text**' で失敗しました。

説明: クライアントは、指定されたオブジェクトの短縮名を設定できません。これは通常は、同じディレクトリにある別のオブジェクトによってその短縮名が既に使用されていることが原因です。他の理由としては、クライアントを実行しているアカウントに

SE_RESTORE_NAME 特権がないことが考えられます。

システムの処置: 指定されたオブジェクトの短縮名は設定されません。オブジェクトには、デフォルト短縮名が保持されます。その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: これは通知メッセージであり、無視しても構いません。オブジェクトをオリジナルの短縮名でリストアする必要がある場合は、競合するオブジェクトを移動または削除しなければなりません。オペレーティング・システムのコマンド・プロンプトから、リストアするオブジェクトが含まれるディレクトリーに移動します。次に、「dir /x」コマンドを使用して、競合するオブジェクトを識別します。さらに、ユーザーが SE_RESTORE_NAME 特権を持っていることを確認してください。援助が必要な場合は、システム管理者に連絡してください。競合が解消されたら、ファイルのリストアを再試行してください。

ANS1797E 機能 *function-name* は、オブジェクト '*object-name*' へのアクセスを試行中に、**Microsoft API** *MS-function-name* から予期しないエラー **rc=error** を受信しました。ファイル *file-name* でエラーが発生しました (*line-number*)。

説明: オブジェクトの処理中にエラーが発生しました。エラー・コードは、失敗の理由を示します。この情報を使用して問題の診断ができます。

システムの処置: コードによって、IBM Spectrum Protect クライアントは、操作が失敗する場合も失敗しない場合もあります。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS1798W オブジェクト '*object-name*' の暗号化されたデータへのアクセス中にエラーが発生しました。オブジェクトをスキップします。**Windows** システム・エラー・コード *error*、理由 '*error-reason*'

説明: オブジェクトの暗号化されたデータの処理中にエラーが発生しました。取り込まれたエラー情報が障害の理由を示しています。この情報を使用して問題の診断ができます。

システムの処置: オブジェクトはスキップされました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS1799I 「*fullpath-name*」の最終アクセス日付は、ファイルが読み取り専用なのでリセットできませんでした。

説明: PRESERVELASTACCESSDATE YES オプションが有効ですが、ファイルの「読み取り専用」属性が有効だったので、IBM Spectrum Protect クライアントは指定されたファイルへの最終アクセス日付をリセットできませんでした。

クライアントは、「読み取り専用」ファイルの最終アクセス日付をリセットできません。

システムの処置: 指定されたファイルの最終アクセス日付はリセットされません。その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: これは通知メッセージであり、無視しても構いません。ファイルの「読み取り専用」属性を解除して、後続のバックアップによって最終アクセス日付がリセットされるようにすることもできます。属性を解除する前に、ファイルまたはそのファイルを使用するアプリケーションの保全性に影響がでないことを確認してください。また、属性を解除しても、ユーザー組織のファイル管理ポリシーに違反しないことを確認してください。

ANS1800W *fullpath-name* の最終アクセス日付をリセットできませんでした。機能 *func-name* は戻りコード *return-code* を出して失敗しました。

説明: PRESERVELASTACCESSDATE YES オプションが有効ですが、IBM Spectrum Protect クライアントは指定されたファイルの最終アクセス日付をリセットできませんでした。メッセージには、失敗した機能名およびその機能の戻りコードが含まれています。

システムの処置: 指定されたファイルの最終アクセス日付はリセットされません。その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題が再生可能な場合は、この問題のインスタンスを取り込む SERVICE トレースを入手してください。QUERY SYSTEMINFO コマンドを実行し、dsminfo.txt ファイルを収集してください。IBM サポートに連絡し、このエラー・メッセージ・テキストを正確に報告してください。必ず、dsminfo.txt ファイルと dsmerror.log ファイル、および SERVICE トレース (使用可能な場合) をサポートに提供してください。

ANS1801E サーバーに新規 ID を登録できません。

説明: この問題の理由は、クライアント・システム・メモリー不足またはサーバー・プロトコル・エラーである可能性があります。IBM Spectrum Protect アクティビティ・ログに、この問題の原因について詳しく記述されているエラー・メッセージが含まれている場合があります。

システムの処置: この新規 ID はサーバーに登録されません。

ユーザーの処置: ネットワーク接続を確認し、後で再試行してください。エラーが再度表示される場合は、クライアント・マシンの管理者にお問い合わせください。

ANS1802E 'file-name' の増分バックアップが failCount 個の障害で終了しました。

説明: 名前付きファイル指定の 1 つ以上のオブジェクトをバックアップできなかった場合、このファイルの増分バックアップ操作完了後にこのメッセージが発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログを調査して、失敗した各オブジェクトをバックアップできなかった理由を示す追加メッセージがないかを確認してください。メッセージに示されている修正アクションを実行してください。

ANS1803E 'file-space name' のアーカイブ処理が障害で終了しました。

説明: 名前付きファイル指定の 1 つ以上のオブジェクトをアーカイブできなかった場合、このファイルのアーカイブ操作完了後にこのメッセージが発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、各オブジェクトをアーカイブできなかった理由を示す追加メッセージを確認してください。メッセージに示されている修正アクションを実行してください。

ANS1804E 'file-space name' の選択バックアップ処理が障害で終了しました。

説明: 名前付きファイル指定の 1 つ以上のオブジェクトをバックアップできなかった場合、このファイルの選択バックアップ操作完了後にこのメッセージが発行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログを調査して、失敗した各オブジェクトをバックアップできなかった理由を示す追加メッセージがないかを確認してください。メッセージに示されている修正アクションを実行してください。

ANS1805E シンボリック・リンク 'file-name' をリストアすることができません。

説明: リンクが指定されていないファイル名を指示しているので、クライアントのオペレーティング・システムはシンボリック・リンクを作成することができません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 別のオペレーティング・システムでリストアを試みてください。

ANS1806W サイズ 'file_size' の 'file_space_namepath_namefile_name' は、システムの最大ファイル・サイズ限度を超えています。

説明: システムの最大ファイル・サイズ制限を超えているファイルのリストアまたはリトリブを試行しました。

システムの処置: プロセスは、ファイルをリストアまたはリトリブできません。

ユーザーの処置: このファイルのサイズをサポートするシステムで、このファイルをリストアまたはリトリブしてください。システム管理者にご相談ください。

ANS1807E 再呼び出しデーモンからのエラーのためにサーバーからファイルを再呼び出しすることができません。

説明: ファイルを再呼び出しすることができません。再呼び出しデーモンは、ファイルの再呼び出しを試みているときにエラーを報告しました。詳細については、再呼び出しデーモンのエラー・ログを参照してください。サーバーがダウンの場合、接続が中断されているとき、あるいはサーバー上のファイルが欠落しているときにこれが生じる可能性があります。システム・オプション・ファイル内のマイグレーション・サーバーが異なるサーバーに変更されている可能性もあります。再呼び出しデーモンは、いったん始動されるとシステム・オプション・ファイルの変更は検査しません。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: サーバーが立ち上がっているか調べて、再試行します。問題が存続する場合は、エラー・ログを調べます。また、ワークステーション管理者にファイル・システムに照らして dsmreconcile の実行を依頼し、.SpaceMan/orphan.stubs ファイル内にそのファイルが現れるかどうかを確認します。システム・オプション・ファイルが変更されている場合は、全再呼び出しデーモンを停止し、マスター再呼び出しデーモンを再始動して変更点を取りだします。

ANS1808E 論理ボリューム・スナップショット・エージェントのレベルが正しくありません。クライアントが新しいレベルにアップグレードされていますが、それと同時に **LVSA** ドライバーが更新されていない可能性があります。セットアップ・ウィザードを使用して、オンライン・イメージまたはオープン・ファイル・サポートのいずれかを構成し、論理ボリューム・スナップショット・エージェントの更新を選択してください。

説明: 選択した操作には、正しいレベルの論理ボリューム・スナップショット・エージェントが必要です。セットアップ・ウィザードを使用して、LVSA を更新します。

システムの処置: 選択した操作は実行されません。

ユーザーの処置: 論理ボリューム・スナップショット・エージェントを更新した後で、操作を再試行してください。

ANS1809W **IBM Spectrum Protect** サーバーとのセッションが切断されました。接続の再確立が試行されます。

説明: このメッセージは、IBM Spectrum Protect サーバーとのセッションが予期しないで失われた後で発行されます。このメッセージが発行される理由として考えられる、いくつかの状況を以下に示します。

- ネットワークに問題がある。
- IBM Spectrum Protect サーバーがシャットダウンされた。
- IBM Spectrum Protect サーバー管理者がクライアント・セッションを取り消した。

システムの処置: クライアントはサーバーとの接続を再確立しようとします。IBM Spectrum Protect サーバー管理者がセッションを取り消した場合は、接続再確立操作は失敗し、メッセージ **ANS1369E** が発行されます。接続再確立操作が成功すると、処理が続行します。接続再確立操作が失敗すると、クライアントは **COMMRESTARTDURATION** および **COMMRESTARTINTERVAL** クライアント・オプション設定に従って接続を再確立しようとします。

ユーザーの処置: セッションが IBM Spectrum Protect サーバー管理者により取り消されたがその理由が不明である場合、あるいはクライアントが IBM Spectrum Protect サーバーとのセッションを再確立できない場合は、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に連絡し、詳細情報を確認してください。ANS1809W メッセージが頻繁に発行される場合は、ネットワークに問題が発生している可能性があります。dsmerror.log ログにこの

メッセージが繰り返し記録されている場合は、ネットワーク接続の問題 (ネットワーク・インターフェース・カードの障害やルーターの問題など) が発生していないかどうかを調べてください。一般的な問題の 1 つに、ネットワーク・アダプターのメディア・スピードがあります。ネットワーク・アダプターが「自動ネゴシエート (auto-negotiate)」に設定されている場合は、これを「100%% 全二重 (100%% full duplex)」に変更してください。問題が解決しない場合は、一時的な対策として、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に IBM Spectrum Protect サーバーの **COMMTIMEOUT** および **IDLETIMEOUT** オプション設定を大きくするよう依頼してください。これにより、このメッセージが発行される頻度が減少することがあります。

ANS1810I **IBM Spectrum Protect** サーバーとのセッションが再確立されました。

説明: 接続障害の発生後にサーバーとのセッションが再確立されました。通常、このメッセージの前にはメッセージ **ANS1809W** が発行されます。

システムの処置: 処理は続行します。

ユーザーの処置: ありません。これは通知メッセージです。

ANS1811S **IBM Spectrum Protect** セッションを再確立できませんでした。

説明: サーバーとのセッションが消失しました。セッションの再確立の試みが失敗しました。考えられる原因 (必ずしもこれだけとは限らない) として次のものがあります。

- サーバーが停止した。
- サーバーとのネットワーク接続が停止した。
- IBM Spectrum Protect が相互作用していた通信プログラムに何らかの問題が発生した。

システムの処置: 処理は停止されます。

ユーザーの処置: サーバーとのネットワーク接続を検査してください。IBM Spectrum Protect が実行中であることを確認してください。IBM Spectrum Protect の下の通信プログラムが正しく稼働していることを確かめます。

ANS1813E '*filespace-name*' のイメージ・バックアップ処理は、失敗して終了しました。

説明: イメージ・バックアップ操作は失敗しました。通常このメッセージの前には、失敗の性質を示す他のメッセージが表示されます。

システムの処置: 障害のあるファイル・スペースはスキ

ANS1814E • ANS1821E

ップされ、処理が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前のメッセージおよび IBM Spectrum Protect クライアントのエラー・ログを確認し、問題についてのより具体的な特徴を調べてください。一般的な原因は、おそらくマウント・ポイントの数が不足しているために、IBM Spectrum Protect サーバーにテープをマウントできないことです。サーバーに問題がある場合には、システム管理者に連絡して援助を求めてください。

ANS1814E スケジュール済みイベント '*event-name*' を開始できません。

説明: スケジュール済み *event* がサーバーで既に有効でなくなっています。ウィンドウを経過したか、スケジュールが削除されました。

システムの処置: 次のスケジュール・イベントを入手するため、クライアント・スケジューラーはサーバーを照会します。

ユーザーの処置: 問題が続く場合には、システム管理者に連絡して、サーバー上の問題を訂正してください。

ANS1815E ウィンドウを過ぎたか、スケジュールが削除されました。

説明: スケジュール・イベントはサーバー上では既に有効ではありませんでした。

システムの処置: 次のスケジュール・イベントを入手するため、クライアント・スケジューラーはサーバーを照会します。

ユーザーの処置: 問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡し、サーバー上の問題を訂正します。

ANS1816E スケジューリング・モードが無効です。

説明: スケジュール・イベントについて入力されたモードが正しくありませんでした。

システムの処置: イベントは発生しません。

ユーザーの処置: 正しいスケジューリング・モードを入力し、操作を再試行します。

ANS1817E スケジュール機能は IBM Spectrum Protect 許可ユーザーだけが実行できません。

説明: 不適切な権限のため、スケジュール機能使用の試みは失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: スケジュール機能については、IBM Spectrum Protect 許可ユーザーに相談してください。

118 IBM Spectrum Protect: クライアント・メッセージとアプリケーション・プログラミング・インターフェースのリターン・コード

ANS1818E SCHEDULE コマンドは LOOP (対話) モードでは許可されません。

説明: SCHEDULE コマンドは、最初のコマンド・ラインでのみ指定できます。SCHEDULE コマンドの詳細については、HELP SCHED コマンドを入力します。

システムの処置: クライアントはスケジュールされたイベントを実行しません。

ユーザーの処置: OS プロンプトからスケジューラーを開始します。例えば次のとおりです。

dsmc schedule

Windows クライアントもクライアント・スケジューラー・サービスを使用できます。SCHEDULE コマンドの使用法および IBM Spectrum Protect クライアント・スケジューラー機能の使用法については、クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS1819E IBM Spectrum Protect サーバーはこのノードのアドレスを登録できませんでした。

説明: これはまれな状態であり、通常は IBM Spectrum Protect サーバーの問題が示されます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: エラー・ログで、エラーの理由を示すその他のメッセージを調べてください。また、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティー・ログにサーバーの問題を示すメッセージがないかを調べるよう、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に依頼してください。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1820E コマンド・ライン・オプションの前に '-' が必要です。

説明: '-' 区切り文字なしでオプションが指定されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 各オプションの前にダッシュを付けて、コマンドを再び入力します。

ANS1821E POSTSCHEDULECMD/
PRESCHEDULECMD '*command*' を開始できません。

説明: 要求された処置は、新規処理の作成を必要としました。オペレーティング・システム・コマンドの実行

を要求したオプションまたはスケジュール「処置」が、入力されました。

システムの処置: 要求は無視されます。

ユーザーの処置: オプション・ファイルまたはサーバー上に定義されたスケジュールから要求を除去します。

ANS1822E リストアに選択されたオブジェクトが多すぎます。オブジェクトの数は *max_objects* より少なくしてください。

説明: 選択されているオブジェクトが多すぎるため、リストアを実行できません。

システムの処置: リストアは実行されません。

ユーザーの処置: 選択状態のオブジェクトの数を減らしてから操作を再試行してください。

ANS1823E **TESTFLAGS** または **TRACEFLAGS** オプションに不明のフラグ名 '*keyword*' が指定されているか、または名前付きキーワードとして指定された値が無効です。

説明: *testflag* または *traceflag* の名前のスペルが間違っているか、そのフラグに指定された値が無効です。

システムの処置: **TESTFLAGS** または **TRACEFLAGS** オプションがクライアント・オプション・ファイルに指定されたか、クライアントの初期化時にコマンド・ラインで指定された場合、クライアント・プログラムは始動しません。LOOP (対話) モードでの実行中にこのオプションがコマンド・ライン・クライアントから指定された場合、操作は実行されません。

ユーザーの処置: **TESTFLAGS** または **TRACEFLAGS** のフラグ名を訂正するか、メッセージに示されている **TESTFLAG** キーワードに指定された値を訂正してください。これらのオプションは一般に、IBM テクニカル・サポートの指示に基づくか、「IBM Spectrum Protect 問題判別ガイド」で指定されているとおりに使用します。どのフラグ名を使用すればよいかわからない場合は、「IBM Spectrum Protect 問題判別ガイド」の追加情報を参照するか、あるいは、さらに援助が必要であれば IBM テクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1824E 無効なトレース・ファイル名 (名前が長すぎます)。

説明: プリファレンス・ファイル内の **TRACEFILE** オプションで長すぎるファイル名が使用されました。

システムの処置: クライアント・プログラムが初期化しませんでした。

ユーザーの処置: 長さが 255 文字以下になるように、

TRACEFILE として使用したファイル名を変更してください。

ANS1827W 現在サーバーにロードされている目次ではディレクトリーを選択できません。

説明: このボリュームについて現在サーバーにロードされている目次には、一意の特定時点バックアップに対応するオブジェクトが含まれていません。不完全な特定時点または複数の特定時点が含まれています。

システムの処置: ディレクトリーはリストア対象に選択しません。

ユーザーの処置: ディレクトリー全体のリストアを選択できるようにするには、「特定時点」ダイアログで「最新のものを使用 (Use Latest)」または「特定時点を使用 (Use Point in Time)」を選択してください。

ANS1828E 画面サイズが **PICK** オプションを使用するのに小さ過ぎます。

説明: 横 20 文字未満または 10 行未満の画面を持つワークステーション上では、**PICK** オプションを使用することができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は操作を完了しませんでした。

ユーザーの処置: 最小限サイズ以上の画面を持つワークステーションを使用して操作を再試行するか、そうでなければ **PICK** オプションは使用しません。

ANS1831E パスワードの期限切れです。このシステムの管理者は **IBM Spectrum Protect** を実行してパスワードを更新しなければなりません。

説明: パスワードは有効期限切れになりました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は終了します。

ユーザーの処置: このシステムの管理者はパスワードを更新しなければなりません。

ANS1832W オプション '*option*' はサポートされなくなったため、このリリースでは **IBM Spectrum Protect** クライアントによって無視されます。

説明: 指定されたオプションは廃止予定であり、このリリースのクライアントでは無視されます。このオプションは、次のリリースでは除去されて無効になる予定です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: オプション・ファイルからこのオプションを除去してください。また、資料を調べて、このオプションが新規オプションに置き換えられたかどうかを確認してください。

ANS1834S パスワードを保管するための '*file-name*' に書き込むことができません。

説明: IBM Spectrum Protect は指定された *file-name* に書き込みを行うことはできません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクセス許可およびディスク・スペースを検査してください。成功しない場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS1835E **PASSWORDACCESS** は **GENERATE** ですが、サーバー '*server-name*' にはパスワードが必要です。
パスワードがローカルに保管されていないか、またはサーバーで変更されています。

説明: パスワードがローカルに保管されていないか、またはサーバーで変更されています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect がフォアグラウンドで稼働している場合、IBM Spectrum Protect は、パスワードの入力を求めるプロンプトを出します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect がバックグラウンド・プロセスとして稼働していた場合は、フォアグラウンドから IBM Spectrum Protect コマンドを発行します。プロンプトに回答してパスワードを入力します。その後、バックグラウンド IBM Spectrum Protect コマンドを再び試みます。

ANS1836I プロセッサ・バリュウ・ユニットのハードウェア・スキャン情報ファイル '*file name*' を処理できません。 *errno*、*cause*。

説明: 内部で使用するデータ・ファイルを読み取れませんでした。

システムの処置: プロセッサ・バリュウ・ユニットの情報は IBM Spectrum Protect サーバーに送信されません。処理を続行します。

ユーザーの処置: 応答は不要です。これによる通常の処理への影響はありません。ファイルのアクセス権の問題を修正し、コマンドを再試行してください。ファイルが存在する場合は、そのファイルを削除してから、コマンドを再試行してください。

ANS1837S ファイル・スペース *file_space_name* は無視されます。処理を続行します。

説明: システム・オプション・ファイルの指定されたファイル・スペースは、無効です。

システムの処置: プロセスは、現行操作を続けようとしています。

ユーザーの処置: システム・オプション・ファイル内のファイル・スペースを検査し、有効なファイル・スペースを使用します。操作を再試行してください。

ANS1838E ユーザー指定のオプション・ファイル '*file_space_name*' のオープン中にエラーが発生しました。

説明: 指定されたオプション・ファイルが見つからないか、開けません。

システムの処置: プロセスは、デフォルト・オプション・ファイルを開こうとしています。

ユーザーの処置: 指定されたオプション・ファイルが存在し、有効であることを確認してください。

ANS1839E パスワードを読み取ることができません。

説明: 読み取られる入力ファイルのセットアップ時に (例えば、端末) エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 端末の属性を検査します。

ANS1853E サーバーは目次をロードできませんでした。 状況: *status*

説明: サーバーが NDMP ボリュームのファイル・レベル目次をロードするときに障害が発生しました。問題が解決されるまで、このボリュームに対するファイル・レベル照会は実行できません。

システムの処置: 目次はロードされません。

ユーザーの処置: サーバーのアクティビティ・ログを検査し、障害の原因を判別してください。問題を訂正してから操作を再試行してください。

ANS1862W サーバーではこのボリュームの目次情報を使用できません。

説明: 選択したボリュームについて目次情報付きでバックアップされたオブジェクトはサーバーに存在しません。これ以後、このボリュームに対するファイル・レベル照会は実行できません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: ファイル・レベル情報が必要な場合は、バックアップ時に TOC オプションを使用してください。

ANS1865E セッションはリジェクトされました。名前付きパイプの接続障害です。

説明: 名前付きパイプ通信を使ってサーバーに接続しようとしたが失敗に終わりました。この問題は、オプション・ファイルで誤った NAMEDPIPENAME が指定されたか、システム管理者がバックアップ操作を取り消したために発生した可能性があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行するか、あるいはサーバーがバックアップされるのを待ち、その後操作を再試行してください。NAMEDPIPENAME オプションに指定した値が、サーバーによって使用されている値と同じであることを確認してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡して支援を受けてください。

ANS1867E サーバーは動詞タイプ CRC verb の CRC を生成しましたが、これは受信された動詞 received verb と一致しません。

説明: 巡回冗長検査 (CRC) は IBM Spectrum Protect クライアントとサーバーの通信中に失敗しました。

システムの処置: 現在のオブジェクトはスキップされます。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置: これは異常な状態であり、IBM Spectrum Protect クライアントとサーバーの間の通信の問題を示している可能性があります。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM に連絡してください。

ANS1871W サーバーの CRC バージョンは server CRC version で、クライアント・バージョン client CRC version に一致しません。

説明: これはまれな状態です。サーバーとクライアントは、異なるバージョンの巡回冗長検査 (CRC) アルゴリズムを使用しています。

システムの処置: CRC 検査をせずに処理を続行します。

ユーザーの処置: 使用できるクライアントは、IBM Spectrum Protect サーバーのレベルから 1 バージョン下位のレベルまでです。クライアントとサーバーが互換レベルであるか確認してください。クライアントが始動してサーバーに接続すると、コマンド・ライン・クライアントにはクライアント・バージョンとサーバー・バージョンの両方が表示されます。また、QUERY

SESSION コマンドを実行すれば、サーバー・バージョンが表示されます。GUI から、クライアント・バージョンを確認するには「ヘルプ/製品情報 (Help/About)」メニュー項目を使用し、サーバー・バージョンを確認するには「ファイル/接続情報 (File/Connection Information)」メニュー項目を使用します。クライアント・バージョンとサーバー・バージョンが非互換の場合、IBM Spectrum Protect サーバー管理者はユーザーのノードに対する CRC 検査をオフにすることができます。

ANS1873E システム・オブジェクト 'sys-obj-name' の処理中に、不明のエラーが発生しました。ユーティリティ関数 'func-name' が失敗して、エラー error が起こりました。

説明: システム・オブジェクトの処理中に、不明のエラーが発生しました。取り込まれたエラー情報が障害の理由を示しています。この情報を使用して問題の診断ができます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現行操作を終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS1877E 構文解析するストリングは、IBM Spectrum Protect で処理するには長すぎるため、バッファ・オーバーフローしないように切り捨てられました。

説明: これはまれな状態です。非常に長いストリングは、コマンド・ライン、dsm.opt ファイル、またはファイル・リストにユーザーが入力する必要があります。このストリングは、入力ストリングの最大サイズである 1024 バイトを超えています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ストリングを可能最大長である 1024 に切り捨てて、操作を続行しました。この切り捨てが原因で、後で操作が失敗する場合があります。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、このメッセージが書き込まれた後に記録されたその他のメッセージがないかを調べます。そして、これらのメッセージで指示されている修正がある場合は、その修正を行ってください。問題が続く場合には、IBM のサポートに連絡して援助を求めてください。

ANS1878E システム・オブジェクト 'sys-obj-name' の処理中に、不明のエラーが発生しました。サービス 'service-name' およびその従属サービスが停止できませんでした。

ANS1882E • ANS1900I

説明: システム・オブジェクトの処理中に、不明のエラーが発生しました。メッセージにリストされているサービス、およびそれに従属するサービスのすべてが停止できませんでした。サービスが停止されるまで、処理は完了できません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現行操作を終了しました。

ユーザーの処置: サービスを手動で停止し、操作を再試行してください。

ANS1882E サービス '*service-name*' を停止できません。エラー *error*

説明: サービスはプログラムで停止できませんでした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現行操作を終了しました。

ユーザーの処置: サービスを手動で停止し、操作を再試行してください。

ANS1891W FILELIST を使用するときは SUBDIR は無効なオプションなので、SUBDIR は無視されます。

説明: FILELIST を指定するとき、各エントリは単一オブジェクトなので、SUBDIR は適用しません。

システムの処置: SUBDIR オプションは、無視されます。

ユーザーの処置: このコマンド上では、-FILELIST または SUBDIR の指定を行えますが、両方の指定はできません。

ANS1892W *expire* コマンドは、IBM Spectrum Protect ジャーナル・ファイル・スペース '*filespace*' には許可されません。

説明: IBM Spectrum Protect ジャーナル・ファイル・スペース上では、サーバーからファイルを有効期限切れにすることはできません。

システムの処置: *expire* コマンドは、このファイル指定では機能しません。

ユーザーの処置: このファイル指定を有効期限切れにしたい場合、ローカル・ファイル・システムから除去してください。

ANS1895I 最高のマクロ戻りコードは *return code value* でした。

説明: このメッセージが出されるのは、クライアント・マクロのすべてのコマンドが完了してからです。戻りコードは、マクロの処理中に発行された戻りコードの中で

番号が最も大きいものを表します。戻りコードは番号が大きくなるほど重大度が増し、その意味は次のとおりです。

0 - コマンドは、正常に完了しました。

4 - 1 つ以上のファイルがスキップされました。

8 - 1 つ以上の警告メッセージが出されました。

12 - 1 つ以上のエラー・メッセージ (スキップされたファイルを除く) が出されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 戻りコードが 0 以外の場合は、ユーザーは、クライアント操作 (複数の場合もある) の結果を検証し、必要に応じて、診断および修復アクションを行うことができます。

ANS1898I ***** *count* 個のファイルを処理済み

説明: IBM Spectrum Protect は示された数のファイルを処理しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1899I ***** *count* 個のファイルを検査済み

説明: IBM Spectrum Protect は示された数のファイルを検査しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1900I 戻りコード *return code value*

説明: 先行するクライアント・コマンドに対して戻りコードが出されています。戻りコードは番号が大きくなるほど重大度が増し、その意味は次のとおりです。

0 - コマンドは、正常に完了しました。

4 - 1 つ以上のファイルがスキップされました。

8 - 1 つ以上の警告メッセージが出されました。

12 - 1 つ以上のエラー・メッセージ (スキップされたファイルを除く) が出されました。

戻りコードは、クライアント・コマンドの実行中に出されたメッセージの中で最も重大度の高いものを表します。

スケジュールされたイベントの場合は、戻りコードが 0、4、または 8 であれば、イベントは正常に行われたと見なされ、戻りコードが 12 の場合は、イベントは失敗したと見なされます。

システムの処置: ありません。

122 IBM Spectrum Protect: クライアント・メッセージとアプリケーション・プログラミング・インターフェースのリターン・コード

ユーザーの処置: 戻りコードが 0 以外の場合は、ユーザーは、クライアント操作の結果を検証し、必要に応じて、診断および修復処置を行うことができます。

ANS1901I 最高の戻りコードは *return code value* でした。

説明: このメッセージは、実行された全クライアント・コマンドの中で戻りコードの番号が最も大きいものを示します。戻りコードは番号が大きくなるほど重大度が増し、その意味は次のとおりです。

- 0 - コマンドは、正常に完了しました。
- 4 - 1 つ以上のファイルがスキップされました。
- 8 - 1 つ以上の警告メッセージが出されました。
- 12 - 1 つ以上のエラー・メッセージ (スキップされたファイルを除く) が出されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 戻りコードが 0 以外の場合は、ユーザーは、クライアント操作 (複数の場合もある) の結果を検証し、必要に応じて、診断および修復アクションを行うことができます。

ANS1902E **PRESCHEDULECMD** コマンドは失敗しました。スケジュールされたイベントは実行されません。

説明: スケジュールされたイベントを実行するためには、PRESCHEDULECMD オプションで指定されたコマンドが正常に完了する必要があります。このコマンドは、戻りコード 0 (ゼロ) が表示されて完了すれば、正常に完了したものと見なされます。コマンドが完了しても、それ以外の戻りコードが表示された場合は、コマンドは失敗したものと見なされます。コマンドが失敗した場合は、スケジュールされたイベントは実行されません。

システムの処置: クライアントがスケジュールされたイベントを実行することではなく、スケジュールされたイベントの結果コードは 12 になります。

ユーザーの処置: コマンドが失敗する原因となった問題を特定して、修正してください。スケジュールされたイベントを開始する前にコマンドが完了する必要がある場合は、コマンドが正常に完了することを必要としない PRENSCHEDULECMD オプションの使用を考慮してください。このコマンドではゼロ以外の戻りコードが通常であるような場合には、このコマンドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトにラップすることを検討してみてください。

ANS1903W **POSTSCHEDULECMD** コマンドは失敗しました。

説明: POSTSCHEDULECMD オプションで指定されたコマンドが完了し、ゼロ以外の値の戻りコードが表示された場合は、スケジュールされたイベントは正常に完了したと見なされますが、警告レベルの結果になります。スケジュールされたクライアント・コマンドの結果の値のほうがより高ければ、POSTSCHEDULECMD コマンドの結果は優先されません。例えば、スケジュールされたクライアント・コマンドが完了して、戻りコード 12 が表示された場合は、POSTSCHEDULECMD コマンドの結果には関係なく、スケジュールされたイベントは、戻りコード 12 で完了したものと見なされます。

システムの処置: スケジュールされたイベントの結果コードは最低でも 8 です。

ユーザーの処置: コマンドが失敗する原因となった問題を特定して、修正してください。コマンドが、スケジュールされたイベントの結果を通知する前に、完了する必要がある場合は、POSTNSCHEDULECMD オプションの使用を検討してください。このコマンドではゼロ以外の戻りコードが通常であるような場合には、このコマンドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトにラップすることを検討してみてください。

ANS1904E アーカイブ記述には '?' あるいは '*' のようなワイルドカード文字を入れることはできません。

説明: アーカイブ・ファイルの記述の中にワイルドカード文字を入れることはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ワイルドカード文字が入っていないアーカイブ記述を入力してください。

ANS1906I **FROMNODE** を使用するときには、この操作の宛先を指定しなければなりません。

説明: FROMNODE 処理を使用する場合、リストア/リトリブ・コマンドで宛先を指定する必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 宛先を指定して、リストア/リトリブ・コマンドを再試行してください。

例えば、Windows のバックアップ・アーカイブ・クライアントでは、以下のように指定します。

```
restore -fromnode=cougar ¥¥cougar¥d$¥projx¥*
d:¥projx¥
```

UNIX および Linux バックアップ・アーカイブ・クライアントでは、以下のようになります。

```
restore -fromn=node1 -fromo=ann "/home/proj/*"  
/home/gillis/
```

ANS1907E サーバーでオブジェクト・マージ操作を実行しようとしてエラーが発生しました。

説明: NetWare クライアントの場合: IBM Spectrum Protect サーバーは NetWare ロング・ネーム変換を実行できません。

Unix または Windows イメージ・バックアップの場合: 関連イメージ・コンポーネントの保管に使用されるグループをクローズできませんでした。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: NetWare の場合: より最新レベルの IBM Spectrum Protect サーバーでこの変換を実行できる可能性があります。 IBM Spectrum Protect サーバー管理者に支援を依頼してください。

Unix または Windows の場合: このエラーは許可の問題を示しています。 IBM Spectrum Protect サーバー管理者に支援を依頼してください。

それでも問題が解決しない場合は、IBM テクニカル・サポートに連絡して、追加の支援を依頼してください。

ANS1908I スケジュールされたコマンドは正常に完了しました。

説明: スケジュールされたコマンドが完了して、ゼロという戻りコードが表示され、これは正常と解釈されます。

システムの処置: スケジュールされたイベントは正常に行われました。 イベントの結果コードは 0 です。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1909E スケジュールされたコマンドは失敗しました。

説明: スケジュールされたコマンドが完了して、ゼロ以外の値という戻りコードが表示され、これは失敗と解釈されます。

システムの処置: スケジュールされたイベントは失敗しました。 イベントの結果コードは 12 です。

ユーザーの処置: コマンドが失敗する原因となった問題を特定して、修正してください。このコマンドではゼロ以外の戻りコードが通常であるような場合には、このコマンドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトにラップすることを検討してみてください。

ANS1912E 無効なレジストリー・ハイブの指定。

説明: 指定したレジストリー・ハイブは無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1913E 無効なレジストリー・サブキーの指定。

説明: 指定されたレジストリー・サブキーは無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1914E 指定されたサブキーは、指定されたハイブでは無効です。

説明: 指定されたレジストリー・サブキーは、指定されたレジストリー・ハイブでは無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1915E BACKUP REGISTRY コマンドに指定した引数が多すぎます。

説明: BACKUP REGISTRY コマンドに指定した引数が多すぎました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1916E RESTORE REGISTRY コマンドに指定した引数が多すぎます。

説明: RESTORE REGISTRY コマンドに指定した引数が多すぎました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1917E BACKUP REGISTRY コマンドに指定した引数が少なすぎます。

説明: BACKUP REGISTRY コマンドに指定した引数が少なすぎました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1918E RESTORE REGISTRY コマンドに指定した引数が少なすぎます。

説明: RESTORE REGISTRY コマンドに指定した引数が少なすぎました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1919E 指定されたイベント・ログが無効です。

説明: 指定されたイベント・ログが無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1920E BACKUP EVENTLOG コマンドに指定した引数が多すぎます。

説明: BACKUP EVENTLOG コマンドに指定した引数が多すぎました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1921E RESTORE EVENTLOG コマンドに指定した引数が多すぎます。

説明: RESTORE EVENTLOG コマンドに指定した引数が多すぎました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1922E BACKUP EVENTLOG コマンドに指定した引数が少なすぎます。

説明: BACKUP EVENTLOG コマンドに指定した引数が少なすぎました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1923E RESTORE EVENTLOG コマンドに指定した引数が少なすぎます。

説明: RESTORE EVENTLOG コマンドに指定した引数が少なすぎました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1924E 指定されたシステム・オブジェクトが無効です。

説明: 指定されたシステム・オブジェクトが無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1925E 指定されたシステム・オブジェクト・タイプが無効です。

説明: 指定されたシステム・オブジェクト・タイプが無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1926E 指定されたシステム・オブジェクト・タイプは、**Windows NT** でのみ有効です。

説明: 指定されたシステム・オブジェクト・タイプは、**Windows NT** でのみ有効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1928E サーバー開始セッションは、**LAN** フリー・モードでは利用不能です。

説明: 競合するオプション SESSIONINIT=serveronly および ENABLELANFREE=yes が指定されました。この組み合わせは許可されていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント開始セッションを使用するか、**LAN** フリーを使用不可に設定してください。

ANS1929E レジストリー・キーの保存中にエラーが発生しました。

説明: 活動レジストリー・キーを ADSM.SYS ステージング・ディレクトリーにコピーできません。

システムの処置: レジストリー・バックアップ操作は停止します。

ユーザーの処置: **Windows** ブート区画の使用可能なスペースをチェックし、**Windows** レジストリーのコピーを格納する余地があることを確認してください。これ

には数メガバイトのフリー・スペースが必要なことがあります。 ADSM.SYS ステージング・ディレクトリーの Windows アクセス権も確認してください。それと共に IBM Spectrum Protect を実行するために使用している Windows ユーザーが、そのディレクトリーと内容への全アクセス権限を持っていることを確認してください。

ANS1930W IBM Spectrum Protect Express クライアント・ビューは、**IBM Spectrum Protect Enterprise** サーバー用にはサポートされません。**CLIENTVIEW** オプションは無視されます。

説明: IBM Spectrum Protect Express クライアント・ビューは、IBM Spectrum Protect Express サーバーに接続された場合にのみサポートされます。IBM Spectrum Protect Express クライアントが IBM Spectrum Protect Enterprise サーバーに接続されると、CLIENTVIEW オプションは無視され、代わりに IBM Spectrum Protect Standard クライアント・ビューが表示されます。

システムの処置: CLIENTVIEW オプションは無視され、IBM Spectrum Protect Enterprise クライアント・ビューが表示されます。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect Enterprise サーバーを使用する意図がある場合は、CLIENTVIEW オプションを値 STANDARD に更新してください。それ以外の場合は、ご使用の IBM Spectrum Protect Express サーバーを指すように TCPSERVERADDRESS オプションを更新してください。

ANS1931E 1 つ以上のイベント・ログの保管中のエラー。

説明: 1 つ以上のイベント・ログの保管中にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1932E 1 つ以上のレジストリー・キーを置換中にエラーが発生しました。

説明: レジストリー・キー、または置換されたキーは、別々のプロセスによって排他的に保持されます。レジストリー・キーは先にリストアされましたが、システムは再始動しませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このエラーは、レジストリー・キー、または置換されているキーが、別々のプロセスによって

排他的に保持されているために発生します。レジストリー・キーは先にリストアされてもシステムがリブートしないときに、発生します。システムをリブートして、リストア操作を再試行してください。

ANS1933E ファイルまたはデバイス '*name*' にアクセス中のエラー。

説明: ファイルまたはデバイスのアクセス中にエラーが発生しました。

システムの処置: バックアップ・セットの操作は未完了です。

ユーザーの処置: ファイルまたはデバイスが存在していて、アクセス可能であることを確認してください。

ANS1934E バックアップ・セット '*name*' が見つかりません。

説明: バックアップ・セット名がサーバー上で見つかりませんでした。

システムの処置: バックアップ・セット操作は処理されません。

ユーザーの処置: バックアップ・セット名が正しいことを確認してください。

ANS1935E BACKUP NTDS コマンドに指定した引数が多すぎます。

説明: BACKUP NTDS コマンドに指定した引数が多すぎました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1936E BACKUP NTDS コマンドに指定した引数が十分ではありません。

説明: BACKUP NTDS コマンドに指定した引数が十分ではありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1937E BACKUP NTDS コマンドで NTDS サーバー名が指定されていません。

説明: BACKUP NTDS コマンドで NTDS サーバー名が指定されていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドに NTDS サーバー名を指定して、操作を再試行してください。

ANS1938E NT Active Directory は、この OS レベルではサポートされていません。

説明: NT Active Directory は、この OS レベルではサポートされていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: バックアップ操作を行う前に Active Directory をインストールしてください。

ANS1939E File Replication Service のバックアップが失敗しました。

説明: Windows 2000 File Replication Service の制御下にあるファイルのバックアップ中に、IBM Spectrum Protect でエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: Windows 2000 File Replication Service Event ログを検査して、File Replication Service が正しく作動していることを確認します。サービスを再始動し、バックアップ操作を再度試みてください。

ANS1940E File Replication Service リストアが失敗しました。

説明: Windows 2000 File Replication Service の制御下にあるファイルのリストア中に、IBM Spectrum Protect でエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: Windows 2000 File Replication Service Event ログを検査して、File Replication Service が正しく作動していることを確認します。サービスを再始動し、リストア操作を再度試みてください。

ANS1941E System Volume のバックアップが失敗しました。

説明: Windows 2000 System Volume のファイルのバックアップ中に、IBM Spectrum Protect でエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: Windows 2000 File Replication Service Event ログを検査して、システム・ボリュームが正しく初期化されていることを確認します。サービスを再始動し、バックアップ操作を再度試みてください。

ANS1942E System Volume のリストアが失敗しました。

説明: Windows 2000 File Replication Service の制御下にあるファイルのリストア中に、IBM Spectrum Protect でエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: Windows 2000 File Replication Service Event ログを検査して、システム・ボリュームが正しく初期化されていることを確認します。サービスを再始動し、リストア操作を再度試みてください。

ANS1943E 操作はサポートされません。下位レベル・サーバー・バージョン。

説明: サーバー・バージョンが下位レベルなので、操作は行えません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいサーバー・バージョンを使用してください。

ANS1944E ファイルまたはデバイスにアクセス中のエラー。

説明: ファイルまたはデバイスのアクセス中にエラーが発生しました。

システムの処置: バックアップ・セットの操作は未完了です。

ユーザーの処置: ファイルまたはデバイスが存在していて、アクセス可能であることを確認してください。

ANS1945E ロング・ネーム・スペースはローカル・ファイル・スペースから除去されています。バックアップ/アーカイブ操作を続けたい場合は、サーバー上でファイル・スペースを名前変更してください。

説明: プロセスは、サーバー・ネーム・スペースが NTW:LONG であることを検出しましたが、ローカル・ボリュームにはロング・ネーム・サポートはありません。ショート・ネームを使用してボリュームをバックアップしたい場合は、サーバー上のファイル・スペースを名前変更します。ロング・ネームを使用してバックアップしたい場合は、該当のボリュームに元どおりロング・ネーム・スペース・サポートを追加します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ロング・ネーム・スペース・サポートをボリュームに追加するか、対応するサーバー・ファイル・スペースを名前変更 (除去) してください。

ANS1946W ファイルが存在します。このファイルをスキップします。

説明: クライアントは指定のファイルをリストアまたはリトリブしようとしたますが、ファイルはリストアの出力先の場所に既に存在しており、ユーザーは既存のファイルを置き換えない選択をしました。

システムの処置: このファイルはスキップされ、メッセージが `dsmerror.log` に記録されます。リストア処理またはリトリブ処理は、次のオブジェクトを対象に引き続き実行されます。

ユーザーの処置: このファイルがスキップされた理由は、REPLACE NO が有効であった (それによって既存のすべてのファイルおよびディレクトリーがスキップされた) か、あるいは REPLACE PROMPT が有効であったかのいずれかであり、プロンプトが出されたときに、ユーザーはこのファイルまたは既存のすべてのディレクトリーおよびファイルをスキップすることを選択しました。意図的にファイルをスキップすることにしたのであれば、これ以上の措置は不要です。それ以外の場合は、REPLACE ALL (既存のディレクトリーおよびファイルが自動的に置き換わる) か REPLACE PROMPT (ファイルを置き換えるかどうかについてユーザーの判断をおおぐ) かいずれかを使って操作を再試行することができます。

ANS1947W 次のディレクトリーは存在しているためスキップされます: `file-space_name`
`directory_path` `directory_name`

説明: クライアントは指定のディレクトリーをリストアまたはリトリブしようとした。このディレクトリーはリストアのターゲットとなる位置に存在しており、ユーザーはその既存のディレクトリーを置き換えない選択をしました。

このディレクトリーがスキップされるのは、既存のすべてのファイルとディレクトリーをスキップするようにするオプション REPLACE=NO が設定されているためです。また、オプション REPLACE=PROMPT が設定され、プロンプトが表示されたときにユーザーがこのディレクトリーをスキップするように選択すると、ディレクトリーがスキップされます。

システムの処置: このディレクトリーはスキップされ、メッセージが `dsmerror.log` ログ・ファイルに記録されます。次のオブジェクトのリストア処理またはリトリブ処理が続行されます。

ユーザーの処置: 追加のアクションは不要です。

ファイルを置き換えるには、操作を再試行し、オプション REPLACE=ALL を設定してください。
REPLACE=PROMPT を設定し、プロンプトが表示され

たときにディレクトリーを置き換えるように選択できます。

ANS1948E Microsoft volume shadow copy システム・コンポーネントが照会されません。

説明: Windows Volume Shadow Copy Service の制御下にあるシステム・ライターの照会中に IBM Spectrum Protect がエラーを検出しました。エラー・ログと Windows イベント・ログに、このエラーに関する追加情報が含まれている場合があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。エラーが解決しない場合には、エラー・ログと Windows イベント・ログにこのエラーに関連した情報がないかを確認してください。Volume Shadow Copy Service を再始動して、操作を再試行してください。Volume Shadow Copy のエラー状態をクリアするために、マシンをリブートする必要があります。

ANS1949E Microsoft Volume Shadow Copy スナップショットの初期化は失敗しました。

説明: バックアップ用またはリストア用に Microsoft Volume Shadow Copy Service を初期化中に IBM Spectrum Protect でエラーが発生しました。エラー・ログと Windows イベント・ログに、このエラーに関する追加情報が含まれている場合があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。エラーが解決しない場合には、エラー・ログと Windows イベント・ログにこのエラーに関連した情報がないかを確認してください。Windows コマンド '`vssadmin list writers`' を使用して、Volume Shadow Copy サービスの状況を判別してください。マシンをリブートすると、Volume Shadow Copy のエラー状態をクリアできます。このシステムがドメイン・コントローラーで、活動ディレクトリー・サービスが停止されている場合、活動ディレクトリー・サービスを再始動すると問題が解決します。

ANS1950E Microsoft Volume Shadow Copy を使用したバックアップは失敗しました。

説明: Microsoft Volume Shadow Copy Service によるバックアップの実行中に IBM Spectrum Protect がエラーを検出しました。エラー・ログと Windows イベント・ログに、このエラーに関する追加情報が含まれている場合があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: エラー・ログと Windows イベント・ログにこのエラーに関連した情報がないか確認してください。Windows イベント・ログで示されたすべての失敗したシステム・サービスを再始動してください。Volume Shadow Copy Service を再始動してください。Windows コマンドの '**vssadmin list writers**' を使用すると、Volume Shadow Copy Service の状況を判断できます。Volume Shadow Copy のエラー状態をクリアするために、マシンをリブートする必要があります。

ANS1951E Microsoft Volume Shadow Copy を使用したリストアは失敗しました。

説明: Microsoft Volume Shadow Copy Service によるリストア中に IBM Spectrum Protect がエラーを検出しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: エラー・ログと Windows イベント・ログにこのエラーに関連した情報がないか確認してください。Windows イベント・ログで示されたすべての失敗したシステム・サービスを再始動してください。Volume Shadow Copy Service を再始動してください。Windows コマンドの '**vssadmin list writers**' を使用すると、Volume Shadow Copy Service の状況を判断できます。Volume Shadow Copy のエラー状態をクリアするために、マシンをリブートする必要があります。

ANS1952E 無効なシンボリック・リンク宛先 '**file-name**' を入力しました。

説明: リストア/リトリブの宛先として、シンボリック・リンクである **file-name** という指定を入力しました。シンボリック・リンクにリストアするには、**followsymbolic** オプションを必ず **yes** に設定する必要があります。そのシンボリック・リンクのポイント先も確認してください。リストア/リトリブ先としてシンボリック・リンクを指定する場合は、既存のオブジェクトがポイント先になっている必要があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル指定を入力してください。

ANS1954E 'file-space name' のバックアップ処理は、失敗して終了しました。

説明: このメッセージは、ファイル・システムのバックアップは完了したが、バックアップ処理中にエラーが発生したことを示しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、ファイル・システムのバックアップ・エラーに関連した他のメッセージがないかを調べます。メッセージに示されている修正アクションを実行してください。

ANS1956E BACKUP GROUP コマンドに指定した引数が少なすぎます。

説明: BACKUP GROUP コマンドに指定した引数が少なすぎました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1957E Showmembers および **inactive** を照会の排他パラメーターとして同時に指定することはできません。

説明: Showmembers および inactive を照会の排他パラメーターとして同時に指定することはできません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 照会では相互に排他的なパラメーターのいずれか 1 つを指定してください。

ANS1958W 基本グループは見つかりませんでした。フルバックアップを試行します。

説明: 差分バックアップを行うには、以前にフルバックアップを行っている必要があります。

システムの処置: 処理を続行し、フルバックアップを試行します。

ユーザーの処置: ありません。差分バックアップの前にフルバックアップを行ってください。

ANS1959I 以前の不完全グループ '**name**' **Id:hi-lo** を除去中

説明: 以前のグループのバックアップは、一時グループのクリーンアップを正しく行わないまま失敗しました。

システムの処置: 以前の不完全グループが除去され、処理は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1971E リモート・クライアント・エージェント (**dsmagent**) を開始できませんでした。

説明: リモート・クライアント・エージェントを開始できません。通常このエラー・メッセージは、他のメッセージの後に表示されるか、このメッセージの後に他のメッセージが続きます。

システムの処置: 処理は停止されます。

ユーザーの処置: エラー・ログで、エラーの理由を示すその他のメッセージを調べてください。Web クライアントが正しくインストールされていることを検証してください。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1972E リモート・クライアント・エージェント (**dsmagent**) へ接続できませんでした。ポート番号を読み取ることができなかったか、またはポート番号が無効です。

説明: ポート番号を読み取ろうとしたときにエラーが発生しました。リモート・クライアント・エージェントへ接続できませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: エラー・ログで、エラーの理由を示すその他のメッセージを調べてください。Web クライアントが正しくインストールされていることを検証してください。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS1973I システム・オブジェクト '**name**' の **VSS** ライターが存在しません。リストアがスキップされました。

説明: Microsoft Volume Shadow Copy Service はこのシステム構成要素に対するライターを検出しません。構成要素がインストールされていないか実行されていません。

システムの処置: オブジェクトはスキップされました。

ユーザーの処置: 影響を受けるシステム・サービスをインストールするか使用可能にし、操作を再試行してください。

ANS1974W 以前の不完全グループ **Id:hi-lo** の除去でエラーが発生しました。

説明: 以前のグループ・バックアップは一時グループを正しくクリーンアップせずに失敗しており、そのエラーは現在もクリーンアップできません。

システムの処置: 以前の不完全グループを残し、処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS1975W グループのクローズおよび名前変更中に **IBM Spectrum Protect** サーバー・エラー *reason* が発生しました。

説明: 一時グループのクローズおよび名前変更でエラーが検出されました。

システムの処置: バックアップは失敗します。

ユーザーの処置: ユーザーがグループを更新するための適切な権限を持っていることを確認して、操作を再試行してください。

ANS1976E 指定されたシステム・サービスが無効です。

説明: 指定されたシステム・サービスが無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS1977E **Dsmcad** スケジュール呼び出しに失敗しました。このコマンドは **10** 分後に再試行されます。

説明: **Dsmcad** は、**dsmc** スケジュール処理から有効なスケジューラー情報を取得できませんでした。スケジューラーの初期化の間に、誤ったオプションの使用法などの問題が発生した可能性があります。

システムの処置: **Dsmcad** は 10 分後に再びスケジューラーを呼び出し、有効な情報の取得を試みます。

ユーザーの処置: コンソールとエラー・ログを検査して **dsmc** 処理の間に発生したエラーの種類を判別し、問題を訂正してください。

ANS1978E **IBM Spectrum Protect** サーバーは下位レベルであるため、要求された機能をサポートしていません。バージョン情報については、エラー・ログを調べてください。

説明: 使用されている機能には、さらに新しい **IBM Spectrum Protect** サーバーが必要です。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: **IBM Spectrum Protect** サーバーを、この機能をサポートしているレベルにアップグレードしてください。バージョン情報については、エラー・ログを調べてください。

ANS1979E IBM Spectrum Protect ストレージ・エージェントは下位レベルであるため、要求された機能をサポートしていません。バージョン情報については、エラー・ログを調べてください。

説明: 使用されている機能には、さらに新しい IBM Spectrum Protect ストレージ・エージェントが必要です。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect ストレージ・エージェントを、この機能をサポートしているレベルにアップグレードしてください。バージョン情報については、エラー・ログを調べてください。

ANS1980E IBM Spectrum Protect サーバーおよび **IBM Spectrum Protect** ストレージ・エージェントは下位レベルであるため、要求された機能をサポートしていません。バージョン情報については、エラー・ログを調べてください。

説明: 使用されている機能には、さらに新しい IBM Spectrum Protect サーバーおよび IBM Spectrum Protect ストレージ・エージェントが必要です。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバーおよび IBM Spectrum Protect ストレージ・エージェントを、この機能をサポートしているレベルにアップグレードしてください。バージョン情報については、エラー・ログを調べてください。

ANS1981E サーバー: バージョン *ver*、リリース *rel*、レベル *lev.subl*
 ストレージ・エージェント: バージョン *SAver*、リリース *SArel*、レベル *SAlev.SAsubl*

説明: このメッセージは、下位レベル・メッセージを補足しています。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: このメッセージは、下位レベル・メッセージを補足しています。

ANS1986E 初期化機能で、指定したトレース・ファイルをオープンできません。

説明: 初期化時にファイルを開けませんでした。指定されたパスが誤っている可能性があります。現在のユーザーは指定されたディレクトリーのトレース・ファイルに

書き込みを行う許可を持っていない可能性もあります。トレース・ファイルの保管位置に使用可能なスペースがないことも考えられます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: トレース・ファイルのオプションが有効なパスを指していること、また指定されたファイルに書き込むためのユーザーの許可が適切であることを確認してください。

ANS1987E このコマンドでは宛先ファイルは指定できません。

説明: システム・オブジェクトのすべてのリストア・コマンドの中で **RESTORE ASR** のみが宛先ファイルを指定できます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 宛先ファイル指定を行わずにコマンドを再発行してください。

ANS1989E 初期化機能で、指定したエラー・ログ・ファイルをオープンできません。

説明: 初期化時にエラー・ログ・ファイルを開くことができませんでした。指定されたパスが誤っている可能性があります。現在のユーザーは指定されたディレクトリーのログ・ファイルに書き込みを行う許可を持っていない可能性もあります。指定されたログ・ファイルの保管位置に使用可能なスペースがないことも考えられます。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ログ・ファイルのオプションが有効なパスを指していること、また指定したファイルに書き込むためのユーザーの許可が適切であることを確認してください。

ANS1990W '*filesystem name*' ボリューム・マウント・ポイントにアクセスできません。 **IBM Spectrum Protect** の戻りコードは '*rc*' です。

説明: クライアントからボリューム・マウント・ポイントにアクセスできません。一般的な理由としては、クライアント実行アカウントにボリューム・マウント・ポイントへのアクセス権がなかったこと、またはボリュームのマウント先クラスター・ボリュームが現在使用不可であることがあります。

システムの処置: アクセス不能なマウント・ポイントはスキップされ、処理が次のマウント・ポイントまたはボリュームに進みます。

ユーザーの処置: エラー・ログで、ボリューム・マウン

ト・ポイントへのアクセスを妨げている問題に関する追加情報を示す追加メッセージを調べてください。 IBM Spectrum Protect クライアントが、ボリューム・マウント・ポイントへのアクセス権をもつアカウントで実行されていることを確認してください。 マウント・ポイントがクラスター・ボリュームにアクセスしていないことを確認してください。 クラスター・サーバーでのボリューム・マウント・ポイントの構成方法についての詳細は、Microsoft のサポート技術文書 280297 を参照してください。

ANS1991E レジストリー・キー '*key-name*'、データ値 '*value-name*' の処理中にエラーが発生しました。 クライアント・エラー・ログでこのエラーの追加情報を参照してください。

説明: クライアントが Windows レジストリーの読み取りまたは更新を実行しようとしたときに、予期しないエラーが起きました。通常、このエラーに関する追加情報はエラー・ログに記録されています。

システムの処置: エラーによっては、操作が正しく実行されない可能性があります。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで、このメッセージが書き込まれた時点で記録されている他のメッセージがないかどうか確認し、これらのメッセージに示されている修正アクションを実行してください。問題が続く場合には、IBM のサポートに連絡して援助を求めてください。

ANS1995W 別々のタイプのオブジェクトを同時に削除することはできません。

説明: 別々のタイプのオブジェクトを削除することは許可されていません。例えば、バックアップ・セットと正規のファイル・オブジェクトを同時に削除することはできません。

システムの処置: 処理は行われません。

ユーザーの処置: 削除操作を行うには、同じタイプのオブジェクトを選択してください。

ANS1996W ボリューム '*filesystem name*' 上のボリューム・マウント・ポイントの列挙が失敗しました。 **Windows** システムのエラー・コード: *error*; 理由: '*error-reason*'。

説明: クライアントは、ボリューム・マウント・ポイントに対して指定されたボリュームをスキャンできませんでした。取り込まれたエラー情報に障害の理由が示されています。一般的な原因は、クライアントを実行しているアカウントが、ボリュームに対するアクセス権限を持っていないことです。

システムの処置: 処理は、次のボリュームから続行されます。

ユーザーの処置: ボリュームおよびボリューム・マウント・ポイントに対するアクセス権限を持っているアカウントの下で、クライアントが実行されていることを確認してください。エラーの原因となった状態を訂正し、操作を再試行してください。問題が続く場合は、支援を求めるためにシステム管理者または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS1997W VSS コンポーネント '*component-name*' に関して、以前にバックアップされたファイルはありません。

説明: Microsoft の Volume Shadow Copy (VSS) の「システム状態」コンポーネントをリストアしようとしたが、そのコンポーネントにはファイル・データがありません。これは必ずしも問題ではありません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: エラー・ログで、バックアップ中に生じたメッセージが他にないかどうか確認してください。ログにこの失敗の原因が示されている可能性があります。

ANS1998W トランザクションのバイト限度 '*name*' はサーバーでサポートされていません。値が *limit* にリセットされました。

説明: TXNBYTELIMIT が、サーバーがサポートする値を超えています。値は、サポートされる限度値にリセットされます。

システムの処置: TXNBYTELIMIT がリセットされ、処理は続行されます。

ユーザーの処置: オプションを、サーバーでサポートされている値に設定してください。

ANS1999E '*filespace-name*' の *type of the operation* 処理が停止しました。

説明: クライアントが、指定されたファイル・スペースの処理を続行できなくなる条件を検出しました。 IBM Spectrum Protect クライアント・エラー・ログまたはスケジュール・ログに、このエラーに関連する追加メッセージがあります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect クライアント・エラー・ログまたはスケジュール・ログに、このエラーに関連する追加メッセージがないか調べてください。関連するメッセージに示されている修正アクションをとって、操作を再試行してください。問題が続く場

合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS2026W ボリューム *volname* 上に不良セクターが検出されました。

説明: イメージのバックアップ/リストア操作中に不良セクターをスキップしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: `chkdsk` (Windows) や `fsck` (Unix) などのシステム・ツールを使用して、ボリューム・データが破壊されていないことを確認してください。

ANS2032I クライアント **VM** リストアはサポートされていない独立ディスクをスキップしています: *vm disk*

説明: VMware vStorage API は独立ディスクのスナップショットをサポートしていないため、バックアップは作成されませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2033W 「*symboliclink name*」は、別のファイル・システム内のファイルまたはディレクトリへのシンボリック・リンクです。

説明: `dsmls` ファイル指定のオペランドまたは使用されたファイル・リストに、別のファイル・システム内のファイルまたはディレクトリへのシンボリック・リンクが含まれています。処理すると、そのシンボリック・リンクの参照先オブジェクトに関して正しくない状況が表示されることがあります。

システムの処置: オブジェクトの状況が表示されます。

ユーザーの処置: オブジェクトの正しい状況を表示するには、そのオブジェクトの完全修飾パスを指定して `dsmls` を使用してください。

ANS2036W 整理機能で **IBM Spectrum Protect** 整理ファイル *log-name* の 1 つをオープンすることができません。 **errno =** *errno-value*,

説明: 整理時にファイル "*log-name*" をオープンできませんでした。システムはエラー・コード *errno-value* を設定しました。理由が「アクセス否認」の場合、現在のユーザーは指定されたディレクトリのファイルに書き込みを行う許可を持っていません。さらに、指定されたファイル位置に使用可能なスペースがないか、あるいは異なるユーザー ID により開始された別の IBM

Spectrum Protect プロセスが同時に整理を実行していることも考えられます。

システムの処置: 整理は停止されますが、それ以外の処理は続行されます。

ユーザーの処置: 現在のユーザーが書き込み可能なディレクトリに対する `DSM_LOG` (または `DSMI_LOG`) 環境変数を設定してください。

ANS2037W スケジュール・ログの整理が失敗しました。

説明: スケジュール・ログの整理機能は、エラーで完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: エラー・ログで失敗の理由を調べてください。

ANS2038W 無効なオプション「*option-name*」を **IBM Spectrum Protect** サーバー・クライアント・オプション・セットから受け取りました。

説明: クライアントは、無効なオプションを IBM Spectrum Protect サーバーのクライアント・オプション・セットから受け取りました。クライアント・オプション・セット・オプションの多くの構文検査はサーバーによって行われますが、クライアントだけが検出できるエラーが残っています。これらのエラーは次のとおりです。

- オプション値が正しくない。
- 新しいバージョンの IBM Spectrum Protect クライアントで廃止されているオプション。
- 大括弧またはディレクトリ区切り文字が欠落している。
- 複雑すぎる包含および除外パターン。

システムの処置: このオプションは、IBM Spectrum Protect クライアントによって無視されます。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者に連絡し、このオプションをクライアント・オプション・セットから除去できるかどうか調べてください。

ANS2039E 無効な宛先ファイル指定 '*file-name*' が入力されました。

説明: ファイル・リストのリストア実行時、またはリストア指定の対象が複数のファイルのとき、またはオプション `SUBDIR YES` が有効であるとき、宛先ファイルの指定はディレクトリ区切り文字で終わる必要があります。

ANS2040E • ANS2045E

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 宛先の末尾がディレクトリー区切り文字になるように指定してください。

ANS2040E リモート・クライアントとの通信を試行しているときに、バージョン検査により、バージョンが一致しないことが示されました。バージョンは *remoteversion* ですが、予期されるバージョンは *localversion* です。

説明: ローカル・クライアントとリモート・クライアントの間で初期化しているときに、バージョン検査により、バージョンが一致しないことが示されました。これは通常、1 つのクライアント・モジュールをアップグレードして、製品ソリューションの一部である他のクライアント・モジュールをアップグレードしなかったことが原因です。

システムの処置: 呼び出し手順は戻され、制御はユーザーに戻されます。

ユーザーの処置: 相互に通信するすべての IBM Spectrum Protect クライアント製品のバージョンを調べて、すべてのバージョン、リリース、およびレベルが同一であることを確認してください。

ANS2041E 指定された NetApp ファイラーでは、スナップショット差分サポートを利用できません。

説明: 指定された NetApp ファイラーでは必要なサポートを利用できないため、スナップショットの差分による増分バックアップを実行できません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2042W 「*symboliclink*」は、別のファイル・システム内のファイルまたはディレクトリーへのシンボリック・リンクです。ACL または拡張属性がバックアップされない可能性があります。

説明: バックアップまたはアーカイブのオペランドに、別のファイル・システム内のファイルまたはディレクトリーへのシンボリック・リンクが含まれています。ACL またはその他の拡張属性は処理されない可能性があるため、処理によってそれらが失われることになる場合があります。

システムの処置: ファイル・データはバックアップされます。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置: ACL およびその他の拡張属性が確定

に正常にバックアップされるようにする必要がある場合、ファイル・システム・タイプが異なる他のファイル・システム上のバックアップ・ファイルへのシンボリック・リンクを使用しないでください。代わりに、IBM Spectrum Protect を使用して、他のファイル・システムを直接的に処理してください。

ANS2043I 仮想マシン・テンプレート「*name*」は既にバックアップされています。

説明: 前回のバックアップ以降に変更が行われていない場合、仮想マシン・テンプレートはスキップされます。

システムの処置: 処理は、この仮想マシン・テンプレートをスキップします。

ユーザーの処置: この仮想マシン・テンプレートをバックアップするには、永久増分フルバックアップ操作を実行してください。

ANS2044E vStorage バックアップ・サーバー上の IBM Spectrum Protect データ・ムーバー・ノードが ESX/ESXi ホストに直接接続されている場合、テンプレート仮想マシン「*name*」をリストアできません。

説明: VMware vStorage API は、ESX/ESXi ホストに直接接続されている場合、テンプレート仮想マシン操作をサポートしません。

システムの処置: このテンプレート仮想マシンの処理は停止します。

ユーザーの処置: 仮想マシン・テンプレート操作は、IBM Spectrum Protect データ・ムーバー・ノードが ESX/ESXi ホストに直接接続しているときにサポートされます。IBM Spectrum Protect データ・ムーバーを vCenter サーバーに接続するには、VMCHOST を変更してください。

ANS2045E VMENABLETEMPLATEBACKUPS オプションが指定されていません。仮想マシン・テンプレート「*name*」をバックアップできません。

説明: 仮想マシン・テンプレートをバックアップ操作に含めるためには、VMENABLETEMPLATEBACKUPS テンプレート・オプションを「YES」に指定する必要があります。デフォルト値は NO です。

システムの処置: このテンプレート仮想マシンの処理は停止します。

ユーザーの処置: オプション

-vmenabletemplatebackups=yes を使用して、操作を再試行してください。

ANS2046S 監査ログ '*file-name*' に書き込もうとして、エラー '*errtxt*' (*errno=errno*) が発生しました。監査ログの機能が使用不可に設定されています。

説明: 監査ログに書き込むときにエラー (例えば、ディスクに十分なスペースがない) が検出されました。

システムの処置: 残りの操作では、監査ロギングは使用不可に設定されます。操作の戻りコードは 12 に設定され、監査ログの内容が不完全であることを示します。

ユーザーの処置: これが、スペース不足状態の場合、ボリュームのスペースを開放するか、より大きなスペースのボリュームに監査ログを書き込むことを試行してください。

ANS2047E システム状態/サービス要求の処理中に予期しないエラーが見つかりました。
IBM Spectrum Protect 機能名 :
function-name
IBM Spectrum Protect 機能 :
function-desc
IBM Spectrum Protect 戻りコード :
TSM-rc
IBM Spectrum Protect 説明 : *TSM-msg*
IBM Spectrum Protect ファイル :
file-name (line-number)

説明: ありません。

システムの処置: システム状態の処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS2048W オブジェクトの名前付きストリーム '*object-namepath-namefile-name*' が壊れています。

説明: 1 つ以上のファイルの名前付きストリームが壊れています。

システムの処置: 名前付きストリームがリストア/リトリートされることはありません。

ユーザーの処置: 名前付きストリームのバックアップ・コピーが損傷しています。ファイルはできるだけ広い範囲までリストアされますが、ファイルを調べて、ファイルが使用可能か検証する必要があります。

ANS2049W オブジェクトの名前付きストリーム '*object-name*' が壊れている可能性があります。

説明: 1 つ以上のファイルの名前付きストリームのが壊

れている可能性があります。

システムの処置: 名前付きストリームは、できるだけ広い範囲までリストア/リトリートされます。

ユーザーの処置: 名前付きストリームのバックアップ・コピーが損傷している可能性があります。ファイルはできるだけ広い範囲までリストアされますが、ファイルを調べて、ファイルが使用可能か検証する必要があります。

ANS2050E **IBM Spectrum Protect** はパスワードのプロンプトを必要としますが、プロセスがバックグラウンドで実行中であるため、プロンプトを出せません。

説明: `PASSWORDACCESS=PROMPT` が指定されている場合、あるいは、ローカル側に保管されているパスワードが正しくない場合、**IBM Spectrum Protect** はユーザーに対してパスワードを要求するプロンプトを出そうとします。しかし、プロセスがバックグラウンドで稼働中であるため、ユーザーにプロンプトを出す試みが失敗します。プロセスがバックグラウンドで稼働中である場合は、プロンプトを出すことはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: `RUNASSERVICE=YES` の場合は `PASSWORDACCESS=PROMPT` を設定しないでください。`PASSWORDACCESS=GENERATE` を使用します。

ANS2051W *location* にローカル・スナップショット・リポジトリが見つかりませんでした。

説明: ローカル・スナップショットの場所に指定されたディレクトリが存在しません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 新規のローカル・スナップショット・リポジトリが指定されたディレクトリに構築されます。

ANS2052E ディスク・サブシステムに関する情報が欠落しています。

説明: ディスク・サブシステムに関する情報が欠落しているため、ローカル・スナップショット・リポジトリを初期化できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: アプリケーションで、ディスク・サブシステムが適切に初期化されていることを確認します。先行エラー・メッセージをチェックします。

ANS2053E ファイル *filename*、行番号 *linenumber* でメモリ割り振りエラーが発生しました。

説明: 処理を継続するための十分なメモリを使用できません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: システムに十分な実メモリおよび仮想メモリがあることを確認してください。不要なアプリケーションをクローズしてください。

ANS2054E オペレーティング・システム・エラー
errno: message text。

説明: システム機能の実行中に、アプリケーションが予期しないメッセージ・エラーを検出しました。オペレーティング・システム・エラーおよびメッセージ・テキストがそれぞれ表示されます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 該当する特定のエラー・メッセージを調べてください。

ANS2055I ローカル・スナップショット・マネージャーをロックできませんでした。

説明: ローカル・リポジトリは他のアプリケーションによってロックされています。他のアプリケーションがそのローカル・リポジトリをアンロックした時に、この処理が進行します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2056I 他のアプリケーションがそのロックを解放するまで、最大 *timeout* 秒まで待機します。

説明: 他のアプリケーションがローカル・リポジトリをロックしている間、プログラムは特定の時間が経過するのを待ちます。例えば、mySAP 環境では、待機時間は 1 時間です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2057E ローカル・スナップショット・マネージャーが初期化されていません。

説明: ローカル・スナップショット・リポジトリが事前に初期化されずに使用されました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 通常、システムがローカル・リポジト

リーを初期化します。先行エラー・メッセージをチェックします。

ANS2058E ID *dcID* のデータ・コンテナをローカル・リポジトリで更新できませんでした。

説明: FlashCopy のバックアップ中に、ローカル・リポジトリのターゲット・セット・レコードは対応するプロパティで更新されます。そのプロセスの間に障害が発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: メモリ割り振りエラーまたは他のシステム・エラーなどの、先行エラー・メッセージを確認してください。

ANS2059E ソース・データ・コンテナと一致するターゲット・データ・コンテナを検出できません。

説明: スナップショット・タイプのバックアップまたはハードウェア関数の処理時に、プロセスは操作を確実にするために、ソース・データ・コンテナと一致するターゲット・データ・コンテナを検出しようとします。一致するターゲット・データ・コンテナを検出できませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 複数のターゲット・データ・コンテナの 1 つを選択するための規則を参照してください。例えば、ユーザーがタイプ「INCR」の FlashCopy バックアップを開始しようとしていて、すべてのターゲット・セットが FlashCopy タイプ「COPY」で使用されている場合には、このメッセージが表示されます。また、ターゲット・ボリュームがバックアップ・システムから使用可能であること、および以下のセットアップ・ファイル・パラメーターについて構文が正しいことを確認してください。 1. *shark_target_volume* 2. *shark_copy_service_code* 3. *java_home_directory* 4. *primary_copyservices_servername* 5. *shark_username* 6. *shark_password*

ANS2060W ソース *srcvol* と一致するボリュームは、ターゲット・データ・コンテナ *dcID* には見つかりません。

説明: この警告メッセージは、特定のソースに対して、FlashCopy 操作に一致するターゲット・ボリュームが、このターゲット・データ・コンテナで検出できなかったことを示しています。複数のターゲット・データ・コンテナが使用されている場合は、この処理によって次

のターゲット・データ・コンテナのボリュームの検査が継続されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2061W ローカル・リポジトリに ID *dcid* のターゲット・データ・コンテナが見つかりませんでした。

説明: そのターゲット・セットがローカル・リポジトリに存在しないため、指定された ID のデータ・コンテナの照会は正しく行われませんでした。

システムの処置: 処理は続行できます。

ユーザーの処置: エラーでプログラムを終了すべきか否かは、照会を要求しているアプリケーションが決定します。次のメッセージを確認してください。

ANS2062W 要求された基準を満たす状態 *state* のターゲット・データ・コンテナが見つかりませんでした。

説明: アプリケーションによって要求された特定の基準を満たす、指定された状態のデータ・コンテナをローカル・リポジトリで検出できませんでした。

システムの処置: 処理は続行できます。

ユーザーの処置: どの基準が渡されたかはアプリケーションによって異なります。次のメッセージを確認してください。その警告でプログラムを終了するかどうかは、アプリケーションが決定します。

ANS2063W ローカル・スナップショット・リポジトリはディレクトリ *location* に既に存在します。

説明: アプリケーションが、既に存在するローカル・リポジトリをディレクトリに作成しようとしてしました。

システムの処置: 処理は続行できます。

ユーザーの処置: その警告でプログラムを終了するかどうかは、アプリケーションが決定します。次のメッセージを確認してください。

ANS2064I ローカル・スナップショット・リポジトリがディレクトリ *location* に作成されます。

説明: データ・コンテナの状態に関する情報を含むローカル・スナップショット・リポジトリを作成しています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2065I ローカル・スナップショット・リポジトリをディレクトリ *location* に作成できませんでした。

説明: ローカル・スナップショット・リポジトリを作成中に、障害が起きました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムのエラー・メッセージを探してください。

ANS2066E *.fct* ファイル *filename* を読み取ることができません。

説明: ターゲット・データ・コンテナを含む *.fct* ファイルが検出されなかったか、あるいはアクセスできません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: そのファイルの名前、パスおよび権利を確認してください。

ANS2067E 例外 **CLsmException** がスローされました。理由: *txt*。

説明: ローカル・スナップショット・リポジトリの関数を処理中に、予期しないエラーが検出されました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 具体的な理由を確認してください。

ANS2068E *.fct* ファイル *filename* には、データ・コンテナ *dcID* に対するターゲット **LUN** は見つかりませんでした。

説明: プログラムはそれぞれの特定データ・コンテナの *.fct* ファイルで、ラベル

<PREFIX>TARGET_VOLUME をもつ項目のリストを検索します。この場合の接頭部はハードウェア・タイプによって異なります。指定されたデータ・コンテナのターゲット・ボリュームに間違ったラベルがある、あるいは *.fct* ファイル中のこのデータ・コンテナにターゲット **LUN** がありません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: このエラーは、ユーザーがターゲット・データ・コンテナの入力を提供し、形式が自動的に検査されるような GUI がアプリケーションにない場合にのみ起こることがあります。その場合は、*.fct* ファイルのフォーマットを調べてください。

ANS2069E ローカル・スナップショット・リポジトリのファイル *filename* を読み取ることができません。

説明: システムはデータ・コンテナの状態に関する一部の情報をローカルのファイルに保持しています。このファイルが見付からなかったか、アクセス不能です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: そのファイルの名前、パスおよび権利を確認してください。

ANS2070E リポジトリ状態ファイル *filename* が空であるか、あるいはそのファイルのフォーマットが正しくありません。

説明: システムはデータ・コンテナの状態に関する一部の情報をローカルのファイルに保持しています。このファイルは検出されましたが、予想されるデータのフォーマットが正しくありません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 通常、システムはこのファイルのフォーマットが正しいことを確認します。先行エラーを確認してください。

ANS2071E データ・コンテナ *dcID* をローカル・スナップショット・リポジトリに挿入できませんでした。

説明: システムはデータ・コンテナの状態に関する一部の情報をローカルのファイルに保持しています。新規のデータ・コンテナの項目の挿入中に、エラーが起きました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: これは予期しないエラーです。先行エラーを確認してください。その他のエラーを表示できない場合は、ログおよびトレースを収集して、サポート担当に連絡してください。

ANS2072E ハードウェアまたはスナップショット機能を使用する **IBM Spectrum Protect** 操作の処理中に、予期しないエラーが発生しました。

IBM Spectrum Protect 機能名 :
function-name

IBM Spectrum Protect 機能 :
function-desc

IBM Spectrum Protect 戻りコード :
TSM-rc

IBM Spectrum Protect ファイル :
file-name (line-number)

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS2073E ローカル・スナップショット・リポジトリのファイル *filename* が書き込み用に開けませんでした。

説明: システムはデータ・コンテナの状態に関する一部の情報をローカル・スナップショット・リポジトリに保持しています。このリポジトリのファイルをオープンする際エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: そのファイルの権限を確認してください。

ANS2074E ユーザー入力 **FlashCopy** ターゲット・ファイル '*fst_file*' をオープンできません。

説明: ユーザーが提供した **FlashCopy** ターゲット・ファイルを読み取ることができません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: クライアント構成ユーティリティーを実行して、有効な **FlashCopy** ターゲット・ユーザー入力ファイルを提供してください。

ANS2075E ボリュームには使用できる **VTOC** データがありません。ボリュームはバックアップできません。

説明: ボリューム・ディスク・ラベルのタイプが **VTOC** ではありません。ディスクは **EFI** ラベルでフォーマット設定されている可能性があります。Solaris 上の **IBM Spectrum Protect** クライアントは、現在 **VTOC** ディスク・ラベルのみサポートしています。

システムの処置: ボリュームはバックアップされません。

ユーザーの処置: **VTOC** ディスク・ラベル以外でフォーマット設定されたボリュームのバックアップはしないでください。

ANS2076E *program-name:* ファイル・システム「*filesystem*」にスペース管理を追加できません。ファイル・システム名の長さが **DMAPI** 属性に保管できる「*maxlength*」の最大長さを越えています。

説明: **DMAPI** には、**DMAPI** 属性に保管できるデータのサイズに制限があります。ファイル・システム名の長

さがこの限度を越えると、IBM Spectrum Protect クライアントはスペース管理をそのファイル・システムに追加できません。

システムの処置: スペース管理をファイル・システムに追加できません。

ユーザーの処置: ファイル・システム名が DMAPI の限度を超えないようにしてください。

ANS2077E *program-name:* ファイル・システム '*filesystem*' に対する調整は、非 **scout** 環境で選択済みモードで開始できません。
代わりに両方向孤立検査調整を使用してください。

説明: HSM システムが **scout** デーモンなしで稼働するように構成されている場合、IBM Spectrum Protect クライアント調整プログラムは、孤立検査モードまたはスタブ・リストア・モードで開始することはできません。

システムの処置: 調整は、非 **scout** 環境では実行できません。

ユーザーの処置: 非 **scout** 環境を構成済みの場合は、両方向孤立検査調整を使用する必要があります。

ANS2078E システム状態のバックアップは、**CLUSTERNODE** が **YES** に設定されている場合は許可されません。

説明: **CLUSTERNODE** オプションを **YES** に設定している場合は、**backup systemstate** コマンドは無効です。

システムの処置: システム状態のバックアップは停止します。

ユーザーの処置: **CLUSTERNODE** オプションが誤って **YES** に設定されている場合は、オプションを **NO** に変更して操作を再試行してください。それ以外の場合は、クラスター環境で実行するようにクライアントを構成する方法の詳細について、バックアップ・アーカイブ・クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS2079E '*filespace namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。スナップショット・スキャンのエラー

説明: このメッセージは、バックアップに使用されるスナップショットから IBM Spectrum Protect クライアントがデータを読み取れない場合に発行されます。

Microsoft Volume Shadowcopy Service (VSS) スナップショット・バックアップを実行している場合、考えら

れる原因の 1 つとして、シャドー・コピー・ストレージを拡大できなかったためにオペレーティング・システムが VSS スナップショットを削除したことが挙げられます。通常の NetApp/N シリーズ・ボリューム上でスナップショット差分の増分バックアップを実行している場合は、考えられる原因の 1 つとして、基本スナップショットが NetApp ファイル・サーバーから誤って除去されてしまったことが挙げられます。

システムの処置: ファイル・システムのバックアップ処理は停止します。

ユーザーの処置: VSS スナップショット・ベースのバックアップを実行している場合は、クライアントのエラー・ログおよび Microsoft Windows システムのイベント・ログで、問題の識別に役立つメッセージが他にないか確認してください。失敗の原因が不明な場合は、操作を再試行してください。VSS と他のシステム・ディスクの入出力アクティビティとの間での一時的な入出力競合が原因で問題が発生した可能性があります。スナップショット差分の増分バックアップを実行していた場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、基本スナップショットが誤って削除されていないか確認してください。

ANS2080W オプション「*option*」の値「*option*」はサポートされなくなったため、このリリースの **IBM Spectrum Protect** クライアントでは無視されます。

説明: 指定されたオプションの値は廃止予定であり、このリリースのクライアントでは無視されます。このオプションの値は、次のリリースでは除去されて無効になる予定です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: オプションの値を更新するか、オプション・ファイルから該当のオプションを除去してください。また、資料を調べて、このオプションが新規オプションに置き換えられたかどうかを確認してください。

ANS2083W 入力指定に一致する **vApp** が見つかりませんでした。

説明: 指定された入力または **DOMAIN.VCD** オプション内の **VAPP** 値に一致する **vApp** が見つかりませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: **DOMAIN.VCD** オプション内の **VAPP** 値が正しいことを確認してください。

ANS2084I 新規 **vApp** を作成しています。

説明: リストアは、宛先 **vApp** の作成を試行しています。

システムの処置: これは単なる通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2085E 仮想マシンは、フォールト・トレラント仮想マシンとして構成されています。そのため、バックアップすることはできません。

説明: **vSphere** は、**vStorage API for Data Protection** を使用しているフォールト・トレラント仮想マシンのスナップショットおよびバックアップを許可しません。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: **vStorage API for Data Protection** を使用しているフォールト・トレラント仮想マシンをバックアップするには、最初にフォールト・トレラントを無効にします。その後、バックアップが完了した後でフォールト・トレラントを有効にします。

ANS2088E セッションはリジェクトされました: クライアントはユニコードを使用していない。

説明: クライアントはユニコードを使用していないが、ノードには既にユニコード・ファイル・スペースが含まれているため、サーバーはこのクライアント・セッションを受け入れることができません。サーバーはクライアントのデータがユニコードであるかどうかを記録しており、ノードがこの属性を変更することを許可しません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ユニコード・データを使用するプラットフォームのクライアントからサーバーにログオンします。例えば、このノードの既存のファイル・スペースを作成するために使用した元のプラットフォームです。あるいは、クライアント・ノードを、現在セッションが試みられているプラットフォームに変更する必要がある場合には、サーバー管理者に連絡してユニコード・データが含まれる既存のファイル・スペースを削除し、ノード接続を再試行します。

ANS2089E スtring *string_text* を **Unicode** に変換できません。

説明: オブジェクトに、現在のロケールで無効なマルチバイト・シーケンスが含まれています。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 処理しているオブジェクトに適切なロケールであることを確認してください。

ANS2090I このパスには次の仮想マシン・フォルダーが見つかりませんでした: *name*

説明: 宛先ターゲットには、仮想マシンで保存された元のインベントリー・パスがありません。そのため、仮想マシンは、**ESX** または **ESXi** インベントリーの最上位レベルにリストアされます。

システムの処置: 処理を続行します

ユーザーの処置: なし

ANS2091I このパスには次の仮想マシン・リソースが見つかりませんでした: *name*

説明: 宛先ターゲットには、仮想マシンと一緒に保存された元のリソース・パスがありません。そのため、仮想マシンは、**ESX** または **ESXi** インベントリーの最上位レベルにリストアされます。

システムの処置: 処理を続行します

ユーザーの処置: なし

ANS2092I リストア・プロセスは、仮想マシンと一緒に保存された元のインベントリー・パスをオーバーライドします。

説明: **-datacenter** オプションまたは **-host** オプションを指定すると、仮想マシンと一緒に保存された元のインベントリー・パスはオーバーライドされます。そのため、仮想マシンは、**ESX** または **ESXi** インベントリーの最上位レベルにリストアされます。

システムの処置: 処理を続行します

ユーザーの処置: なし

ANS2093E 下位レベルのリモート・ファイル・システム・エージェントのため、この操作はサポートされません。

NODENAME : *node*

MULTI-NODE NAME : *multi-node*

ホスト名 : *host*

TCP/IP アドレス : *tcpaddr:tcpport*

バージョン : *version.release.level..mod*

説明: ありません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: サポートされるレベルにリモート・ファイル・システム・エージェントをアップグレードしてください。

ANS2097E エージェント・ノード '*agent*' を使用して、ターゲット・ノード '*target*' として **IBM Spectrum Protect** サーバーとのセッションを確立できませんでした。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: サーバー上にマルチノード名が存在すること、およびリストされたターゲット・ノードに対する適正な権限をエージェント・ノード が持っていることを確認してください。

ANS2101E 圧縮されたデータが増大しました。

説明: データのサイズが圧縮後に大きくなっています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーションでトランザクションを打ち切る必要があります。

圧縮をオフにして、オブジェクトの再送を試行してください。

ANS2102E ファイル・リストの処理は開始しません。

説明: ファイル・リストの処理が開始する前にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、問題の理由を示す他のメッセージがないか確認してください。推奨される修正アクションがある場合はそれを実行し、操作を再試行してください。

ANS2104E ファイル・リストの処理後にエラーが発生しました。

説明: ファイル・リストの処理が完了した後にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、問題の理由を示す他のメッセージがないか確認してください。推奨される修正アクションがある場合はそれを実行し、操作を再試行してください。

ANS2105I ファイル・リストの項目 *File List Entry* は処理されません。

説明: ファイル・リストの操作でエラーが検出されました。ファイル・リストのこの項目は処理されませんでした。

システムの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ユーザーの処置: このメッセージは監査用としてのみ出されます。

ANS2106I 1 次 **IBM Spectrum Protect** サーバー *primary server*; への接続が失敗しました

説明: 1 次サーバーへの接続を試行中に通信エラーが発生しました。ノードは複製用に構成されており、2 次サーバーへの接続が試行されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: **IBM Spectrum Protect** サーバー管理者に連絡して、1 次サーバーが使用可能であるかを確認してください。1 次サーバーが使用可能である場合は、エラー・ログで通信障害がないかを確認し、構成の問題がある場合は修正します。**IBM Spectrum Protect** サーバーが使用不可の場合は、1 次 **IBM Spectrum Protect** サーバー管理者による構成に従って、ノードが 2 次サーバーにフェイルオーバーすることを許可します。

ANS2107I *secondary server*; : *TCP/IP Port*; にある 2 次サーバー *secondary server*; への接続を試行しています。

説明: ノードは複製用に構成されており、2 次サーバーへの接続が試行されます。2 次サーバーのアドレスおよびポートは、1 次 **IBM Spectrum Protect** サーバー管理者が構成し、オプション・ファイルに保存されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: **IBM Spectrum Protect** サーバー管理者に連絡して、1 次サーバーが使用可能であるかを確認してください。1 次サーバーが使用可能である場合は、**IBM Spectrum Protect** エラー・ログで通信障害がないかを確認し、構成の問題がある場合は修正します。**IBM Spectrum Protect** サーバーが使用不可の場合は、1 次 **IBM Spectrum Protect** サーバー管理者による構成に従って、ノードが 2 次サーバーにフェイルオーバーすることを許可します。

ANS2108I 2 次サーバー *secondary server*; に接続しました。

説明: ノードは複製用に構成されており、2 次サーバーに正常に接続されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2110I 2 次サーバー IBM Spectrum Protect
secondary server; への接続が失敗しました

説明: 2 次サーバーへの接続を試行中に通信エラーが発生しました。ノードは複製用に構成されており、2 次サーバーへの接続が試行されましたが失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者に連絡して、2 次サーバーが使用可能であるかを確認してください。2 次サーバーが使用可能である場合は、エラー・ログで通信障害がないかを確認し、構成の問題がある場合は修正します。

ANS2111E 指定された MYREPLICATIONSERVER
 オプションの **REPLSERVERNAME** 項目
 が見つかりませんでした。

説明: MYREPLICATIONSERVER オプションでは、オプション・ファイル内に一致する REPLSERVERNAME 項目がなければなりません。

REPLSERVERGUID、REPLTCPPORT、および REPLTCPSEVERADDRESS も指定する必要があります。通常、これらのオプションは、IBM Spectrum Protect サーバー管理者が設定し、1 次サーバーへのログオン中にオプション・ファイルに保存されます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: オプション・ファイルを手動で編集して、これらのオプションを修正または削除します。

ANS2112I 2 次サーバーは読み取り専用で構成されて
 います。2 次サーバーが読み取り専用モード
 の場合、バックアップ操作およびアーカイブ
 操作はサポートされません。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、読み取り専用で構成されているサーバーとのセッションを確立しました。IBM Spectrum Protect サーバーは複製サーバーとして構成されており、このノードからのデータを受け入れません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect は、リストア操作、リトリブ操作、および照会操作で 사용할 ことができます。Backup コマンドおよび Archive コマンドは失敗します。IBM Spectrum Protect サーバー管理者は、Update Node コマンドを使用して、ノードのバックアップ操作およびアーカイブ操作を使用可能にすることができます。

ANS2113E フェイルオーバー・モードで 2 次サーバ
 ーに接続されている場合、*Command;* コマ
 ンドを使用することはできません。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントはフェイルオーバーされており、2 次サーバーとのセッションが確立されています。IBM Spectrum Protect サーバーは複製サーバーとして構成されており、このノードからのデータを受け入れません。このサーバーにデータを保管するコマンドは使用できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect クライアントを使用して、リストア操作、リトリブ操作、および照会操作を行うことができます。バックアップ操作およびアーカイブ操作は失敗します。

ANS2114W IBM Spectrum Protect アプリケーショ
 ン保護は、VM 'VM' から **VSS**
Manifest ファイルをコピーしませんでした。

説明: ゲスト・マシン上に VSS マニフェスト・ファイルが見つかりません。

システムの処置: VSS マニフェスト・ファイルをコピーできません。VSS と SQL の書き込みプログラムのサービスがゲスト VM 上で実行されていることを確認してください。

ユーザーの処置: なし

ANS2115I 複製サーバーの接続情報が保存されました
 :
connection information;

説明: このノードは複製用に構成されています。複製サーバーの接続情報がオプション・ファイルに保存されました。複製サーバーのオプションは、IBM Spectrum Protect 管理者が設定し、ログオン時にクライアントに送信され、オプション・ファイルに保存されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2116W IBM Spectrum Protect アプリケーショ
 ン保護は、VM 'VM' から **VSS**
Manifest ファイルをバックアップしませんでした。

説明: アプリケーション保護に必要なファイルのバックアップ中に障害が発生しました。

システムの処置: この VM のバックアップは失敗しました。

ユーザーの処置: 追加情報については、dsmerror.logを確認してください。その後で、操作を再試行してください。

ANS2117E ソース・ボリュームはサブタイプ *dev-type* で、宛先はサブタイプ *dev-type* です。宛先は、ソースより大でなければなりません。

説明: スケーラブル・ボリューム・グループ (サブタイプ DS_LVZ) の論理ボリュームに LVCB が含まれていません。つまり、最初のブロックにはユーザー・データが含まれています。

元のボリューム・グループ (サブタイプ LVM) の AIX LVM ボリュームには、ボリュームの最初のブロック (512 バイト) に論理ボリューム制御ブロック (LVCB) が含まれています。サブタイプ LVM のボリュームにリストアする時には、宛先ボリュームの既存の LVCB を保持するために、最初のブロックをスキップする必要があります。つまり、リストア操作は、ボリュームの 2 番目のブロックで書き込みを開始します。このことは、全く同じサイズの 2 つのボリューム (1 つはサブタイプ DS_LVZ で、もう 1 つはサブタイプ LVM) がある場合、後者では、ユーザー・データを保管するための 512 バイト・ブロックが 1 つ少なくなることの意味します。したがって、サブタイプ DS_LVZ のボリュームをサブタイプ LVM のボリュームにリストアする場合、宛先ボリュームはソース・ボリュームと同一サイズでは十分ではありません。そうではなく、宛先ボリュームは、ソース・ボリュームより、少なくとも 512 ブロック 1 個分大きくなければなりません。

システムの処置: リストア操作は実行されません。

ユーザーの処置: ソース論理ボリュームと宛先論理ボリュームの両方が同じタイプになるようにするか、より大きい宛先ボリュームを選択するか、宛先ボリュームのサイズを増加してください。

ANS2118I オプション・ファイルへのノード複製フェイルオーバー値の保存を試行中に書き込み障害が発生しました。

説明: 多くの場合、書き込み障害は、オプション・ファイルへのアクセス権が不足していることが原因で発生しますが、使用可能なディスク・スペースが不足しているために発生する場合もあります。複製サーバーの接続情報を保存することができず、フェイルオーバーを行うことができません。

システムの処置: 操作は失敗しました。

ユーザーの処置: ローカル・ディスクに書き込みエラーの原因がないかを確認し、オプション・ファイルに対し

て十分なアクセス権が構成されているかを確認してください。

ANS2119I サーバーから無効な複製サーバー・アドレスの戻りコード値 *rc-value* を受信しました。

説明: 無効な複製サーバー・アドレスの戻りコードは、サーバーが接続情報を取得できなかったことを示します。

システムの処置: サーバーの問題が考えられます。

ユーザーの処置: サーバー・ログで詳細を確認してください。

ANS2120W ファイル・スペース *filespace*; について、サーバー *replication server*; が報告した最後の保管操作の日付 *server commit date*; (UTC) が、クライアントが保管している最後の保管操作の日付 *client commit date*; (UTC) と一致しません。

説明: サーバー上で報告された最後の保管操作の日付が、クライアント上でローカルに保管されている日付と一致しません。複製サーバーに接続されている場合、クライアントから 1 次サーバーへの最後の保管操作の前に、複製が実行された可能性があります。そのため、複製が古くなっています。1 次サーバーに接続されている場合、前回のバックアップは別のマシンから実行された可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者に連絡してください。古い複製からリストアを行うと、データが失われる可能性があります。1 次サーバーをリカバリーできない場合は、複製に対してフルバックアップを行うことをお勧めします。1 次サーバーに接続されている場合は、このメッセージを無視できません。

ANS2123W `dsmc SET PASSWORD -type=VCD 'vCloud Director hostname' 'userid' 'password'` コマンドを発行して、暗号化されたパスワードを保存してください。

説明: オプション・ファイルまたはコマンド・ライン入力のいずれかで VCDPW オプションが検出されました。どちらの入力方式も許可されていますが、これらの方式ではパスワードが暗号化されていない平文であるため、セキュリティ・リスクが存在します。

システムの処置: このオプションは受け入れられ、現行セッションで VCD パスワードが使用されます。

ユーザーの処置: 暗号化されたパスワードを保存するには、次のコマンドを発行します。

```
dsmc SET PASSWORD -type=VCD 'VirtualCenter
hostname' 'userid' 'password'
```

ANS2124W クライアント・ノードの複製表は、別のプロセスによってロックされています。

説明: 別のプロセスがクライアント・ノードの複製表を使用しています。

このキャッシュを使用できるのは、一度に 1 つのプロセスのみです。

システムの処置: このプロセスは、クライアント・ノードの複製表を使用しません。

ユーザーの処置: クライアント・ノードの複製表を使用するプロセスを直列化することができます。あるいは、別の表パスを使用するように現行プロセスを再構成することで、競合を回避することができます。

ANS2126E 組織 '*org name*' の組織 VDC '*org vdc name*' のスナップショットを含む組織 VDC ノードが見つかりませんでした。

説明: 組織 VDC ノードには、リストアするバックアップ・データが含まれます。指定された組織および組織 VDC は、この組織 VDC ノードにマップされていません。その結果、リストア操作を続行することができません。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 指定された組織、組織 VDC、および vApp が正しいことを確認してください。

ANS2127E '*vapp name*' をリストアするのに必要なスナップショット・データを IBM Spectrum Protect サーバーから取得できません。

説明: 必要なスナップショット・データを IBM Spectrum Protect サーバーから取得できませんでした。

システムの処置: 操作は停止しました。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、データが取得されなかった理由に関する情報を確認してください。その後、操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、IBM Support Portal (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/>) で追加情報を参照してください。

ANS2128E リストアされた '*vapp name*' の作成に失敗しました。

説明: vCloud 上でリストアされた vApp を作成する操作が失敗しました。vApp スナップショットに関連するデータは完了していない可能性があります。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、操作が失敗した理由に関する情報を確認してください。その後、操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、IBM Support Portal (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/>) で追加情報を参照してください。

ANS2129E 名前変更を試行した VM '*rename*' が、リストアする VM のリスト '*list*' に表示されませんでした。

説明: 並行リストアの VMNAME オプションでは、名前フィールドと名前変更フィールドを一緒にペアにする必要があります。リストアを試行していない VM の名前を変更することはできません。

システムの処置: 操作は開始されません。

ユーザーの処置: コマンドの構文およびリストアを試行している VM のスペルを確認してください。

ANS2135E IBM Spectrum Protect サーバー上のノードは読み取り専用モードです。

説明: サーバーは、IBM Spectrum Protect サーバー上の保管操作を回避しました。この理由としては、ノードが 2 次サーバーにフェイルオーバーされていることが考えられます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者に連絡して、1 次サーバーが使用可能であるかを確認してください。1 次サーバーが使用可能である場合は、エラー・ログで通信障害がないかを確認し、構成の問題がある場合は修正します。

ANS2136E 操作は許可されていません。2 次サーバーは、1 次サーバーが使用可能であることを報告しています。IBM Spectrum Protect クライアントを終了して再始動し、コマンドを再試行してください。

説明: サーバーは、2 次 IBM Spectrum Protect サーバー上の保管操作を回避しました。2 次サーバーは、1 次サーバーが使用可能であることを報告しています。しかし、IBM Spectrum Protect クライアントは 2 次サーバーにフェイルオーバーされています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect クライアントを再始動し、1 次サーバーの接続が確立されていることを確認してください。IBM Spectrum Protect クライアントが 1 次サーバーに接続できない場合、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に連絡して、1 次サーバーが使用可能であるかを確認してください。1 次サーバーが使用可能である場合は、エラー・ログで通信障害がないかを確認し、構成の問題がある場合は修正します。

ANS2138E vApp 'vapp name' への vApp プロパティのリストアが失敗しました。

説明: vApp プロパティは、作成された vApp にリストアされませんでした。この失敗は、バックアップされた vApp、またはそのメタデータに問題があることが原因の可能性があります。

システムの処置: 操作は完了します。ただし、リストアされたオブジェクトに、期待されるすべてのコンテンツが含まれていない可能性があります。

ユーザーの処置: vCloud 上でバックアップされた vApp を確認してください。また、dsmerror.log ファイルで、この問題に関連している可能性がある追加のメッセージがないかを確認してください。操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、IBM Support Portal (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/>) で追加情報を参照してください。

ANS2143E vApp の検証が失敗しました。データの不整合が見つかりました。

説明: vApp の検証中に、バックアップ・データに不整合が見つかりました。

システムの処置: リストア操作は停止されました。

ユーザーの処置: この問題に関連する追加メッセージがないか、クライアント・エラー・ログを調査して、さらに支援が必要な場合は IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS2145W 警告 - 「name」という名前の既存の仮想マシンを更新中。リストア操作は続行されます。

説明: 仮想マシンが存在し、指定したディスクで更新されます。

システムの処置: 仮想マシンはリストア操作によって更新されます。

ユーザーの処置: ユーザー処置は不要です。

ANS2146E ターゲット vCenter または ESX/ESXi ホストは、仮想マシン・バックアップについて、このバージョンの IBM Spectrum Protect ではサポートされなくなりました。

説明: ターゲット vCenter または ESX/ESXi ホストは、仮想マシン・バックアップについて、このバージョンの IBM Spectrum Protect ではサポートされなくなりました。

システムの処置: この仮想マシンの処理は停止します。

ユーザーの処置: このバージョンの IBM Spectrum Protect でサポートされる、別のターゲット vCenter または ESX/ESXi ホストを指定してください。

ANS2147E 「name」という名前の仮想マシンが、ターゲット・システムに既に存在します。

説明: 仮想マシンをリストアできません。指定された名前がターゲット・システム上に既に存在しているためです。

システムの処置: この仮想マシンの処理は停止します。

ユーザーの処置: -vmname オプションを使用して、仮想マシンを名前変更してください。

ANS2148I 仮想マシン・テンプレートは増分モードでバックアップできないため、フル・モードに切り替えます。

説明: 仮想マシン・テンプレートのバックアップは、フルバックアップとしてのみサポートされます。

システムの処置: このテンプレート仮想マシンの処理は、フル・モードで続行されます。

ユーザーの処置: この仮想マシン・テンプレートをバックアップするには、フル・モードを使用してください。

ANS2149E 仮想マシンのハードウェアのバージョンに互換性がないため、この仮想マシンのターゲット ESX/ESXi ホストへのリストア操作はサポートされません。

説明: ターゲット ESX/ESXi ホストは、仮想マシンの仮想ハードウェア・バージョンをサポートしていません。そのため、指定された仮想マシンのこのホストへのリストアはサポートされません。

システムの処置: この仮想マシンの処理は停止します。

ユーザーの処置: リストア対象として別の仮想マシンを指定するか、仮想マシンの仮想ハードウェア・バージョンをサポートする別のターゲット ESX/ESXi ホストを指定してください。

ANS2150E HSM マルチサーバー機能を使用するには、**dsm.opt** ファイルで **HSMDISABLEAUTOMIGDAEMONS YES** を設定します。

説明: HSM マルチサーバー機能を使用するには、**dsm.opt** ファイルで **HSMDISABLEAUTOMIGDAEMONS YES** を設定します。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は停止します。

ユーザーの処置: **dsm.opt** で **HSMDISABLEAUTOMIGDAEMONS YES** を設定します。

ANS2155W ファイル「*file-name*」をスキップ中。
「*server-name*」に関連したファイルです。

説明: ファイルは既に別のサーバーに結合されています。

システムの処置: HSM は通常の動作を続行します。

ユーザーの処置: 正しいサーバーを使用してファイルを処理してください。

ANS2156E サーバー「*server-name*」は環境に追加されませんでした。

説明: 要求された IBM Spectrum Protect サーバーはマルチサーバー環境に追加されませんでした。このエラーには複数の原因があります。

- ファイル・システムが HSM によって管理されていません。
- HSM 管理がファイル・システムに対してアクティブになっていません。
- ファイル・システムのスペースが不足しています。
- ファイル・システムのデフォルトの IBM Spectrum Protect サーバーがまだマルチサーバー環境に追加されていません。
- IBM Spectrum Protect サーバー名が無効です。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は停止します。

ユーザーの処置: この問題について考えられる原因を取り除き、再試行してください。

ANS2157E サーバー「*server-name*」は環境から削除されませんでした。

説明: 要求された IBM Spectrum Protect サーバーはマルチサーバー環境に追加されませんでした。

このエラーには複数の原因があります。

- ファイル・システムが HSM によって管理されていません。
- HSM 管理がファイル・システムに対してアクティブになっていません。
- IBM Spectrum Protect サーバーはファイル・システムのデフォルト・サーバーであり、最後に削除する必要があります。
- IBM Spectrum Protect サーバー名が無効です。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は停止します。

ユーザーの処置: この問題について考えられる原因を取り除き、再試行してください。

ANS2158E サーバー「*server-name*」は環境に追加されませんでした。
このファイル・システムのデフォルトの **IBM Spectrum Protect** サーバー（「*default-server-name*」）を最初に追加する必要があります。

説明: 要求された IBM Spectrum Protect サーバーはマルチサーバー環境に追加されませんでした。

要求された IBM Spectrum Protect サーバーは、ファイル・システムのデフォルト・サーバーではありません。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は停止します。

ユーザーの処置: 最初にデフォルトの IBM Spectrum Protect サーバーを追加してください。

ANS2159I サーバー「*server-name*」が環境に追加されました。

説明: 要求された IBM Spectrum Protect サーバーがマルチサーバー環境に追加されました。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2160I サーバー「*server-name*」が環境から削除されました。

説明: 要求された IBM Spectrum Protect サーバーはマルチサーバー環境から削除されました。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2161E サーバー「*server-name*」は、この環境で有効な **IBM Spectrum Protect** サーバーではありません。

説明: 要求された IBM Spectrum Protect サーバーはマルチサーバー環境に追加されませんでした。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は停止します。

ユーザーの処置: dsm.sys ファイルで正しい IBM Spectrum Protect サーバー名を確認してください。

ANS2162E HSM をファイル・システムから削除できません。IBM Spectrum Protect マルチサーバー・リストが空ではありません。

説明: HSM 管理をファイル・システムから削除できませんでした。

システムの処置: HSM 処理は続行されます。

ユーザーの処置: HSM を削除する前に、すべての IBM Spectrum Protect サーバーをマルチサーバー・リストから削除してください。

ANS2163E ファイル・システムのデフォルトの **IBM Spectrum Protect** サーバー (「*server-name*」) が削除されます。

説明: デフォルトの IBM Spectrum Protect サーバーが削除されます。

このステップの後で、マルチサーバーの IBM Spectrum Protect サーバー・リストが空になります。

システムの処置: HSM 処理は、マルチサーバー・サポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2165I サーバー「*server-name*」はデフォルトのサーバーであり、最後に削除されました。

説明: 要求された IBM Spectrum Protect サーバーはマルチサーバー環境から削除されました。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2166I **IBM Spectrum Protect** サーバー「*server-name*」は、マルチサーバー環境に含まれていません。

説明: 要求された IBM Spectrum Protect サーバーは、マルチサーバー環境の一部ではありません。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2167W サーバー名属性を読み取れません。

説明: IBM Spectrum Protect は、SERVERNAME 属性をファイルから読み取れません。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2168W サーバー名属性を書き込めません。

説明: IBM Spectrum Protect は、SERVERNAME 属性をファイルに書き込めません。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2169E スキップ中 - 要求されたサーバーはファイル・システム「*file-system*」のマルチサーバー環境に含まれていません。

説明: 要求された IBM Spectrum Protect サーバーは、マルチサーバー環境の一部ではありません。

システムの処置: HSM マルチサーバーの処理は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2170W スキップ中 - ファイルが別のサーバーにリンクされています。

説明: ファイルは既に別の IBM Spectrum Protect サーバーに結合されています。

システムの処置: HSM は通常の動作を続行します。

ユーザーの処置: 正しいサーバーを使用してファイルを処理してください。

ANS2171E **DMAPI** バージョン「*dmapi-version*」はサポートされていません。

説明: このノードにインストールされている DMAPI のバージョンは、指定された IBM Spectrum Protect クライアントからサポートされていません。

システムの処置: この問題が原因で、影響を受ける HSM プロセスは終了します。

ユーザーの処置: 資料を使用して、サポートされている DMAPI のバージョンを確認してください。サポートさ

れている DMAPI をインストールし、HSM のコマンドまたはプロセスを再試行してください。

ANS2172E コマンドは **HSMBACKENDMODE TSMFREE** でサポートされていません。

説明: そのコマンドは、外部 HSM バックエンドの使用について、サポートされていません。

システムの処置: プログラムの終了

ユーザーの処置: コマンドを使用しないでください。

ANS2173E **vFiler** 「*vFiler name*」のボリューム「*volume name*」は、**AIX NFS** バージョン **4** を使用してマウントされています。この構成は、スナップショットの差分による増分バックアップではサポートされていません。

説明: スナップショットの差分による増分バックアップは、**AIX NFS** バージョン **4** を使用してマウントされた **vFiler** ボリュームではサポートされません。

システムの処置: スナップショットの差分による増分バックアップは失敗します。

ユーザーの処置: この問題は、**NetApp BURT 630200** によって記載されています。この問題に対応するフィックスを **NetApp** で入手できるようになったら、適用してください。dsm.opt ファイルに「testflag snapdiffenablevfilernfs4」を指定して、スナップショットの差分による増分バックアップを再試行してください。

ANS2174E 競合するオプション **HSMLOGMAX** および **HSMLOGRETENTION** が指定されました。

説明: **HSMLOGMAX** と **HSMLOGRETENTION** の両方のオプションに値が指定されました。これらのオプションは相互に排他的です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定された最大値に達したときに **IBM Spectrum Protect HSM** ログ折り返しを実行させる場合は、**HSMLOGMAX** にゼロ以外の値を指定してください。時間ベースのスケジュールで **HSM** ログのサイズを制限する場合は、**HSMLOGRETENTION** を使用してください。

ANS2175I スクリプト '**dsmMultiServerRemove.pl**' を使用して、サーバー '*server-name*' からの情報を再呼び出しする必要があります。

説明: サーバーをマルチサーバー構成から除去するには、事前にマイグレーション済みファイルを再呼び出しする必要があります。

システムの処置: サーバーは除去されません。

ユーザーの処置: '**dsmMultiServerRemove.pl**' スクリプトについて詳しくは、資料を確認してください。

ANS2176E サンプル・ジャーナル構成ファイル「」を「」にコピーできませんでした。

説明: **IBM Spectrum Protect** ジャーナル・エンジン・セットアップ・ウィザードは、サンプル構成ファイルをコピーして新規ジャーナル構成ファイルを作成しようとしました。しかし、サンプル構成ファイルを正常にコピーできませんでした。

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** ジャーナル・エンジン・セットアップ・ウィザードは停止します。

ユーザーの処置: サンプル・ジャーナル構成ファイル「*config¥tsmjbbd.ini.smp*」を手動で「*baclient¥tsmjbbd.ini*」にコピーしてから、**IBM Spectrum Protect** ジャーナル・エンジン・セットアップ・ウィザードを再試行してください。「*baclient*」ディレクトリおよび「*config*」ディレクトリは、**IBM Spectrum Protect** バックアップ/アーカイブ・クライアントをインストールしたディレクトリ内にあります。
例: "*C:¥Program Files¥Tivoli¥TSM¥baclient*" and "*C:¥Program Files¥Tivoli¥TSM¥config*"

ANS2177E '*vapp name*' という名前の **vCloud vApp** は、ターゲット・システム上に既に存在しています。

説明: **restore vApp** コマンドは、既存の名前を持つ **vApp** のリストアをサポートしていません。

システムの処置: リストアは実行されませんでした。

ユーザーの処置: リストアする **vApp** に指定する名前が使用されていないことを確認して、必要な **restore** コマンドを再実行してください。

ANS2181I オプション *primary server;* が保存されました。

説明: このノードは複製用に構成されています。1 次サーバー名オプションがオプション・ファイルに保存されました。複製サーバーのオプションは、**IBM Spectrum Protect** 管理者が設定し、ログオン時にクライアントに

送信され、オプション・ファイルに保存されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2182I オプション *secondary server*; が保存されました。

説明: このノードは複製用に構成されています。複製サーバー・オプションがオプション・ファイルに保存されました。複製サーバーのオプションは、IBM Spectrum Protect 管理者が設定し、ログオン時にクライアントに送信され、オプション・ファイルに保存されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2183E vCloud Director で組織 '*Org name*' が見つかりませんでした。

説明: 指定された組織は、vCloud Director によって認識されていません。

システムの処置: 組織に対して要求されたアクションはキャンセルされます。

ユーザーの処置: 指定された名前の組織が vCloud 内に存在していることを確認してください。組織名は大/小文字を区別します。

ANS2184E 組織 '*Org name*' に組織 VDC '*Org VDC name*' が見つかりませんでした。

説明: 指定された組織 VDC は、指定された組織の一部ではありません。

システムの処置: 組織 VDC に対して要求されたアクションはキャンセルされます。

ユーザーの処置: 指定された名前の組織 VDC が、指定された組織内に存在していることを確認してください。組織名および組織 VDC 名は大/小文字を区別します。

ANS2185E ユーザー名 '*vCD user name*' を使用して '*vCD host name*' 上の vCloud Director にログオンにできませんでした: 認証に失敗しました。

説明: VCDUser および VCDPass オプションで指定された vCloud 資格情報は、vCloud Director によってリジェクトされました。

システムの処置: vCloud 操作を実行できません。

ユーザーの処置: vCloud Director に有効な資格情報を

使用して、VCDUser および VCDPass オプションを更新してください。

ANS2187E '*vCD host name*' 上の vCloud Director との接続の確立に失敗しました。

説明: VCDHost および VCDPort オプションで指定したホスト上の vCloud Director に対して接続を確立できませんでした。

システムの処置: vCloud 操作を実行できません。

ユーザーの処置: VCDHost および VCDPort オプションの値が有効であること、ホストへのネットワーク接続が存在していること、vCloud Director サービスが稼働中であることを確認してください。

ANS2188E vCloud 保護ランタイム・ライブラリーはインストールされていないか、ロードに失敗しました。

説明: vCloud ランタイム・ライブラリーはインストールされていないか、ロードできません。

システムの処置: vCloud 操作を実行できません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect for Virtual Environments vCloud ランタイム・ライブラリーがインストールされていることを確認してください。必要な場合は、IBM Spectrum Protect for Virtual Environments を再インストールしてください。

ANS2189E vCloud 保護ランタイム・ライブラリーを初期化できません。

説明: vCloud 保護ランタイム・ライブラリーの初期化に失敗しました。この問題は、Java ランタイムがインストールされていないことが原因の可能性があります。

システムの処置: vCloud 操作を実行できません。

ユーザーの処置: Java がインストールされていることを確認してください。

ANS2190E vCloud 保護ランタイム・ライブラリーで内部エラーが発生しました。

説明: vCloud ランタイム・ライブラリーで内部エラーが発生しました。

システムの処置: vCloud 操作を実行できません。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、この問題に関連している可能性がある追加のメッセージがないかを確認してください。操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、IBM Support Portal (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/>) で追加情報を参照してください。

ANS2191E デフォルト VSS ステージング・ディレクトリー 'path' の作成中にエラーが発生しました。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、VSS ステージング・ディレクトリーを使用して、VSS スナップショット操作に関連するファイルを保管します。IBM Spectrum Protect クライアントは、このディレクトリー構造を作成できませんでした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアントは停止しました。

ユーザーの処置: 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポートに連絡して支援を求めてください。

ANS2192E ノード 'node name' からのノード構成情報の読み取りに失敗しました。

説明: この vCloud 操作には、ノード・マッピング情報が必要です。しかし、マッピング情報が指定されたノードに存在しないか、読み取ることができません。

システムの処置: 操作はキャンセルされます。

ユーザーの処置: 正しいノードにアクセスしていることを確認してください。ノード・マッピング情報は、プロバイダー VDC ノードに保管されています。必要場合は、「構成」ページに進んで「構成ウィザードを実行」をクリックし、ノード・マッピングを修正してください。

ANS2193E vApp 'vapp name' のバックアップに必要なファイル・スペースがありません。

説明: 指定された vApp のバックアップに必要なファイル・スペースがありません。

システムの処置: リストアは実行されませんでした。

ユーザーの処置: 指定された vApp が正しいことを確認してください。その後、リストア操作を再試行してください。

ANS2194E vApp 'vapp name' のスナップショット・データが不完全です。

説明: バックアップ済みの vApp に不整合データが見つかりました。指定された vApp をリストアすることができません。

システムの処置: リストアは実行されませんでした。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、この問題に関連している可能性がある追加のメッセージがないかを確認してください。問題が解決しない場合は、IBM Support Portal (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/>) で追加情報を参照してください。

ANS2195E リストアが可能な VM の数が、vApp 'vapp name' メタデータから予想される数と異なっています。

説明: vApp メタデータに不整合データが見つかりました。指定された vApp をリストアすることができません。現在、リストアが可能な数より多くの VM がバックアップされています。これは、不完全なノード複製によって、またはファイル・スペースが削除された場合に発生することがあります。

システムの処置: リストアは実行されませんでした。

ユーザーの処置: この問題を示しているメッセージがないか、dsmerror.log ファイルを確認してください。この vApp に対して詳細な照会を実行し、すべての VM バックアップが存在していることを確認してください。ノード複製が使用されている場合、正しく動作していることを確認してください。問題が解決しない場合は、IBM Support Portal (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/>) で追加情報を参照してください。詳細については IBM Spectrum Protect 管理者に問い合わせてください。

ANS2196W ディスク 'disk name' で、非互換ディスク構成が検出されました。データベース 'database name' では個別のデータベース・リストアはサポートされていません。

説明: この操作における 1 つ以上のデータベース・ファイルが、ダイナミック・ディスクまたは GUID パーティション・テーブル (GPT) ディスク上にあります。この構成では、個別のデータベース・リストアはサポートされていません。

システムの処置: フル VM バックアップは続行されます。

ユーザーの処置: この環境を前の状態にリストアするには、フル VM リストアを実行します。

ANS2197E vApp 'vapp name' の検証テストは、vApp 内の VM データが不完全であることを示しています。vApp をリストアできません。

説明: 指定された vApp の VM に不整合データが見つかりました。指定された vApp をリストアすることができません。これは、不完全なノード複製によって、またはファイル・スペースが削除された場合に発生することがあります。

システムの処置: 操作を続行します。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、この問題に関連している可能性がある追加のメッセージがないか

を確認してください。この vApp に対して詳細な照会を実行し、すべての VM バックアップが存在していることを確認してください。ノード複製が使用されている場合、正しく動作していることを確認してください。問題が解決しない場合は、新たに vApp のフル・バックアップを実行し、IBM Support Portal (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/>) で追加情報を参照してください。詳細については IBM Spectrum Protect 管理者に問い合わせてください。

ANS2198I 組織 'Org name' の組織 VDC 'Org VDC name' 内の VMware vCloud Director vApp 'vApp name' のバックアップが正常に完了しました。 VM: number of VMs in vApp 個中 number of VM backed up 個の VM が正常にバックアップされました。

説明: バックアップ操作は完了しました。バックアップされた VM の数と vApp の VM の総数が表示されています。

システムの処置: これは単なる通知メッセージです。

ユーザーの処置: バックアップされた VM の数が、vApp 内の VM の総数より少ない場合は、エラー・ログで詳細を確認してください。

ANS2200I ***** キャッシュ埋め込み中 count ファイル *****

説明: IBM Spectrum Protect 上記の数のファイルがディスク・キャッシュに追加されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2201I ***** キャッシュ検査中 count ファイル *****

説明: IBM Spectrum Protect 上記の数のファイルがディスク・キャッシュ内で検査されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2202E ディスク・キャッシュへアクセス中にディスク満杯エラー

説明: ディスク・キャッシュの増分バックアップ中に、指定されたディスク・キャッシュ・ファイルにアクセスまたは書き込みしようとしてディスク満杯エラーが起きました。より詳細な情報については、クライアントのエラー・ログを参照してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このエラーはキャッシュ・ファイルを含むファイル・システムでスペースを解放すること、あるいはキャッシュ・ファイルに別の場所を指定することで解決できます。キャッシュ・ファイルの場所を指定するには、diskcachelocation オプションを使用します。

ANS2203E ディスク・キャッシュにアクセス中にエラー。

説明: ディスク・キャッシュの増分バックアップ中に、指定されたディスク・キャッシュ・ファイルにアクセスしようとしてエラーが起きました。より詳細な情報については、クライアントのエラー・ログを参照してください。IBM Spectrum Protect.

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2204E ディスク・キャッシュが再始動しました。

説明: ディスク・キャッシュの増分バックアップ中に、オブジェクト名の名前が、構成済みディスク・キャッシュ・キー長を超えました。バックアップの再始動が必要です... IBM Spectrum Protect.

システムの処置: 該当のオブジェクト名に適合した、より長いキー長で、バックアップが再始動しました。

ユーザーの処置: 不要です。失敗の原因となったオブジェクトの名前は、dsmerror.log ファイルに記録されています。

ANS2206W メモリー効率の高いバックアップ・ディスク・キャッシュ方式を使用するためには、ユーザーは root 権限を持っている必要があります。操作は、ディスク・キャッシングなしで、メモリー効率の高いバックアップ・メソッドを使用して続行します。

説明: ありません。

システムの処置: 操作はディスク・キャッシングを使用せずに続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2213W 仮想マシン 'vm-name' は、カテゴリ 'cat' のタグ 'tag' で、スナップショット試みに無効な数を指定して構成されています。

説明: タグ値の静止スナップショット試みまたは非静止スナップショット試みに対して、無効な数のスナップショット試みが指定されました。どちらのタイプのスナ

アップショット試みにも、指定できる最大値は 10 です。指定できる最小値は 0 ですが、両方の数値を 0 にすることはできません。

システムの処置: 操作は、静止試みと非静止試みのデフォルト数 (2,0) で続行します。

ユーザーの処置: 静止試みと非静止試みの数値が 0 から 10 の間の値になるように、また両方の数値が共に 0 にならないようにしてタグの数値ペアを変更してください。

ANS2218I ノード *node name* およびサーバー *server name* の暗号鍵パスワードは、マイグレーション済みです。

説明: IBM Spectrum Protect パスワード・ファイルの形式は最近変更されました。MIGRATEENCRYPTKEY オプションが設定され、保管されていた暗号鍵パスワードは、新しい形式に自動的にマイグレーションされました。このメッセージは、マイグレーションが正常に実行されたことを確認するものです。

システムの処置: 暗号鍵パスワードはマイグレーション済みです。

ユーザーの処置: 応答はありません。

ANS2219E ファイルをファイル・スペースにバックアップまたはアーカイブできません。このファイル・スペースが **IBM Spectrum Protect API** アプリケーションによって所有されているためです。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、IBM Spectrum Protect API アプリケーションによって使用されているファイル・スペースにファイルをアーカイブまたはバックアップすることはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect クライアントおよび IBM Spectrum Protect API アプリケーションにそれぞれ異なるノード名を使用してください。

ANS2220E クラスタ・ディスクを保守モードにできませんでした。

説明: クラスタ・ディスクを保守モードするためのシステム呼び出しが失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続くようであれば、このメッセージが書き込まれたときにクライアント・エラー・ログに記録された他のメッセージがないか確認し、それらのメッセージによって提案されている修正アクションがある場合はそれを実行してく

ださい。Windows イベント・ログを調べ、追加情報が含まれていないか確認してください。システム管理者または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、さらに援助を求めてください。

ANS2221W ネットワークの誤設定の問題により、Java はローカル・マシンの IP アドレスを解決できませんでした。ネットワークおよび DNS 構成が正しくセットアップされているか検査してください。

UNIX マシンでは、*/etc/hosts* 構成ファイル内の **IPv4** および **IPv6** 通信方式に対してホスト名が正しく (同じに) 報告される必要があります。

IBM Spectrum Protect 処理は続行されます。

説明: ネットワークの誤設定の問題により、Java はローカル・ホスト・アドレスを取得できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ネットワークおよび DNS 構成が正しくセットアップされているか検査してください。

UNIX マシンでは、*/etc/hosts* 構成ファイル内の **IPv4** および **IPv6** 通信方式に対してホスト名が正しく (同じに) 報告される必要があります。システム管理者または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、さらに援助を求めてください。

ANS2223W *peer name* からの非認証のサーバー開始セッションをリジェクトしました。

説明: セキュリティを確保するため、クライアントは認証がオフになっているサーバーからのサーバー開始セッションを受け入れません。

システムの処置: クライアント/サーバー・セッションはオープンされず、スケジュールは実行されません。スケジューラーは引き続き、認証がオンになっているサーバーからの接続を待ちます。

ユーザーの処置: クライアント・システムが開始側 IBM Spectrum Protect サーバーからのスケジュール・イベントを受け入れることになっている場合は、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に認証をオンに切り替えるよう依頼するか、またはサーバー開始セッションを使用しないでください。

クライアント・システムが開始側サーバーからのスケジュール・イベントを受け入れることになっていない場合は、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に開始側サーバー上のスケジュールからクライアント・ノード名を除去するように依頼してください。

ANS2225W ユーザーは「**SNAPSHOTROOT**」オプションを指定しました。*snapshot provider* スナップショットのバックアップは、このオプションを指定する場合には無効です。
「**SNAPSHOTROOT**」オプションが優先されるため、**IBM Spectrum Protect** によって内部でとられたスナップショットは使用されずに処理は続行されます。

説明: (-**SNAPSHOTROOT**) オプションは、(-**SNAPSHOTROOT**) オプションを使用する必要のない包括的なスナップショット・ソリューションである **IBM Spectrum Protect** スナップショット・プロバイダー (論理ボリューム・スナップショット・エージェント、VSS スナップショット・プロバイダー、JFS2 スナップショット・プロバイダーなど) とは互換性がありません。(-**SNAPSHOTROOT**) オプションを使用する代わりに、**IBM Spectrum Protect** スナップショット・プロバイダーによって提供されるスナップショット機能を使用してください。処理は **IBM Spectrum Protect** スナップショット・プロバイダー を使用せずに続行されます。

システムの処置: 処理は **IBM Spectrum Protect** スナップショット・プロバイダーを使用せずに続行されます。

ユーザーの処置: ご使用のオペレーティング・システムに対応する「バックアップ/アーカイブ・クライアントの使用」の資料で、指定されたオプションの正しい使用方法を参照してください。

ANS2226W 仮想マシン '*vm-name*' は、カテゴリ '*cat*' のタグ '*tag*' で指定された、無効なハード・ディスク・リストで構成されています。

説明: 無効なハード・ディスク番号がディスク・バックアップ・リストのタグ値に指定されています。指定できる最小ハード・ディスク番号は 1、最大ハード・ディスク番号は 999 です。また、ハード・ディスク番号は、コマンドで区切られた正の整数値でなければなりません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ハード・ディスク・リスト・タグを変更して、ハード・ディスク番号が 1 から 999 の間にあり、コマンド区切りの値でリストされるように変更してください。

ANS2227W サーバー・オプション '*option-name*' '*option-value*' は、クライアント・オプション **SRVOPTSETENCRYPTIONDISABLED** のため、クライアントに適用されていません。

説明: クライアント・オプション **SRVOPTSETENCRYPTIONDISABLED** がクライアントで YES に設定されているため、**IBM Spectrum Protect** 管理者はクライアント・オプション **ENCRYPTKEY GENERATE**、**EXCLUDE.ENCRYPT**、**INCLUDE.ENCRYPT** のいずれかを設定できません。

システムの処置: オプションは無視されます。

ユーザーの処置: 不要です。

ANS2228W 組織 '*Org name*' の組織 **VDC '*Org VDC name*'** 内の **VMware vCloud Director vApp '*vApp name*'** のバックアップが完了しました。一部の **VM** がバックアップされませんでした。**VM: number of VMs in vApp** 個中 **number of VM backed up** 個の **VM** が正常にバックアップされました。

説明: **vApp** バックアップ操作は正常に完了しました。ただし、指定された **vApp** の 1 つ以上の **VM** がバックアップされませんでした。これらの **VM** は、リストア操作では作成されません。

システムの処置: 処理は次の **vApp** に進みます。

ユーザーの処置: ログ・ファイルでこの **vApp** について調べ、このメッセージに関する詳細を確認してください。問題を解決して、操作を再試行してください。

ANS2229E **vCloud** 保護環境の初期化に失敗しました。エラー・メッセージについての詳しい情報は、ローカル・クライアントのエラー・ログを参照してください。

説明: **vCloud** 保護パッケージを初期化できませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: **vCloud** 環境に関連するすべてのオプションを正しく指定してください。詳しい情報については、**dsmerror.log** ファイルを確認してください。

ANS2230E 仕様 '*vApp specification*' に従った **vApp** リストの作成に失敗しました。

説明: vCloud Director から vApp リストを取得することができませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: VCDHost、VCDUser、VCDPW、および DOMAIN.VCD オプションで指定された値が正しいことを確認してください。vCloud Director が稼働していることを確認してください。

ANS2231I IBM カテゴリー '*cat*' が見つかりませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect オプション '*VMTAGDATAMOVER*' が有効にされているため、IBM カテゴリーおよびタグを仮想マシンに適用することができますが、IBM カテゴリーが見つかりませんでした。

システムの処置: バックアップ操作はタグ付けサポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: VMware vSphere Web クライアントに必要な IBM カテゴリーを作成するか、あるいはクライアント・オプション・ファイルでデータ・ムーバー・オプション '*VMTAGDATAMOVER*' を無効にします。

ANS2232E **vApp** '*vApp name*' の **VM** のリストを **vCloud Director** から取得するのに失敗しました。

説明: 指定された vApp の VM 情報は、vCloud Director から取得されませんでした。この失敗は、vCloud Director が稼働していないかアクセス不能であることが原因の可能性あります。

システムの処置: 指定された vApp を構成している VM はバックアップされません。処理は次の vApp に進みます。

ユーザーの処置: vCloud Director が稼働しており、アクセス可能であることを確認してください。

dsmerror.log ファイルで、この問題に関連する具体的なエラーがないかを確認してください。

ANS2233I カテゴリー '*cat*' の **IBM** タグ '*tag*' が見つかりませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect オプション '*VMTAGDATAMOVER*' が有効にされているため、IBM カテゴリーおよびタグを仮想マシンに適用することができますが、IBM タグが見つかりませんでした。

システムの処置: 操作はタグ付けサポートなしで続行されます。

ユーザーの処置: VMware vSphere Web クライアントに必要な IBM タグを作成するか、あるいはクライアント・オプション・ファイルでデータ・ムーバー・オプション '*VMTAGDATAMOVER*' を無効にします。

ANS2234W データベース '*db-name*'については、仮想マシン・バックアップ '*vm-name*' からリストアすることはできません。reason

説明: 以下のいずれかの理由により、ゲスト内アプリケーション・データベースについては、仮想マシン・バックアップからのリストアはサポートされていません。

- データベース・ファイルが、動的ディスク、GUID パーティション・テーブル (GPT) ディスク、iSCSI ディスク、またはその他の Network Attached Storage デバイスに配置されている。
- Microsoft Exchange Server データベースが、仮想マシンのバックアップ時に取り外された (dismount) 状態であった。
- Microsoft Exchange Server データベースが正常な状態ではないか、あるいは正常な状態ではないデータベース・コピーが含まれている。
- Microsoft Exchange Server データベースが同時に別のサーバーによってバックアップされている。
- vmPreferDagPassive オプションが YES に設定されている場合に、Microsoft Exchange Server データベースが、現在のサーバー上でアクティブ・コピーであり、他のサーバーに正常なパッシブ・コピーを持っている。
- 仮想マシン・バックアップ時に IBM Spectrum Protect がデータベースの正常性状況を判別できないために、Microsoft Exchange Server Exchange データベースが不明な状態である。

システムの処置: フル仮想マシンのバックアップ操作は続行します。

ユーザーの処置: 次の 1 つ以上のアクションを実行して、問題を解決してください。

- データベース・ファイルを、ゲスト内アプリケーション保護によってサポートされるディスクに移動します。
- 仮想マシンのバックアップの前に、取り外されている Microsoft Exchange Server データベースをマウントします。
- 正常な状態ではない Microsoft Exchange Server データベースを修復します。
- データ・ムーバー上で VMTSMVSS トレース・フラグを使用して、仮想マシン・バックアップ操作中にデータベースの正常性状況の処理をトレースします。

ANS2236I 仮想マシン 'VM-name' に、
VMMAXVIRTUALDISKS オプションで
設定されている最大サイズを超えるディス
クが 1 つ以上含まれています。これらの
ディスクはバックアップから除外されま
す。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、最大サ
イズより大きい VMDK をバックアップしません。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされます
が、制限を超えるディスクはバックアップから除外され
ます。

ANS2238E この操作を実行する前に、**VCDHOST** オ
プションを設定する必要があります。

説明: VCDHOST オプションが欠落しています。

システムの処置: このオプションが設定されていない
と、操作を続行できません。

ユーザーの処置: プリファレンス・エディターの使用、
クライアント・オプション・ファイルの手動編集、ある
いはコマンド・ラインでのオプションの指定により、こ
のオプションをクライアント・オプション・ファイルに
追加します。

ANS2242E 入力指定 *node specification* に一致するノ
ードが見つかりませんでした。

説明: 無効なノード指定が入力されました。

システムの処置: 操作は停止されました。

ユーザーの処置: ノードの指定方法の資料を確認して
ください。

ANS2244W 仮想マシンに、
VMMAXVIRTUALDISKS オプションで
設定されている最大サイズを超えるディス
クが 1 つ以上含まれています。
VMMAXVIRTUALDISKS オプションを
使用して最大サイズを変更するか、
'-VMSKIPMAXVIRTUALDISKS=yes' オ
プションを指定してこれらのディスクをバ
ックアップから除外することができます。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、最大サ
イズより大きい VMDK をバックアップしません。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされま
せん。

ユーザーの処置: **VMMAXVIRTUALDISKS** オプション
を使用して最大サイズを変更するか、
'-VMSKIPMAXVIRTUALDISKS=yes' オプションを指定

してこれらのディスクをバックアップから除外してくだ
さい。

ANS2245E 仮想マシンのバックアップおよびリストア
は、32 ビットのデータ・ムーバーではサ
ポートされません。

説明: バックアップやリストアなどの仮想マシン操作
は、32 ビットのデータ・ムーバーではサポートされま
せん。

システムの処置: 操作は実行されません。

ユーザーの処置: 64 ビットのデータ・ムーバーに更新
して、操作を再試行してください。

ANS2246W **vApp** *vApp name* の保守モードの無効化
に失敗しました。

説明: クライアントは、この **vApp** の保守モードを無
効にしようとした。この操作は失敗しました。

システムの処置: 操作を続行します。

ユーザーの処置: **vApp** がまだ保守モードになっている
かを確認します。まだ保守モードの場合は、手動で無効
にします。

ANS2247E このコマンドを実行するときには、
ASNODENAME オプションを指定する
必要があります。

説明: vCloud 関連コマンドを実行するとき、
ASNODENAME オプションにプロバイダー **vDC** ノー
ドを指定する必要があります。

システムの処置: 操作を続行できません。

ユーザーの処置: コマンドでは **ASNODENAME** にプ
ロバイダー **vDC** ノードを指定してください。

ANS2248E **Java** ランタイム・ライブラリーのロード
または初期化に失敗しました。

説明: vCloud 保護環境に必要な **Java** ランタイム・ラ
イブラリー (**libjvm**) がロードできないか、**Java** ラン
タイム環境の初期化に失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: **Linux** オペレーティング・システム
の場合、**Java** インストール・パスの下に '**jre**' ディレク
トリーを参照する '**jre**' という名前のリンクが、バック
アップ・アーカイブ・クライアントのインストール・デ
ィレクトリーに存在することを確認してください。リン
クが存在しない場合は、リンク (**ln -s**
**/opt/ibm/java-x86_64-70/jre /opt/tivoli/tsm/client/
ba/bin/jre** など) を作成してください。あるいは、

LD_LIBRARY_PATH を変更して、libjvm.so へのパス (export LD_LIBRARY_PATH=\$LD_LIBRARY_PATH:/opt/tivoli/tsm/client/ba/bin:/opt/ibm/java-x86_64-70/jre/bin/classic など) を組み込んでください。

Windows オペレーティング・システムの場合、クライアントのインストール・ディレクトリの下に JRE ディレクトリが存在していることを確認してください。必要な場合は、バックアップ・アーカイブ・クライアントを再インストールしてください。

ANS2249W このシステム上に仮想マシン '*vmname*' が存在します。
既存の仮想マシンを置き換えますか？

説明: この仮想マシンのリストアでは、既存の仮想マシンおよびその仮想マシンのすべてのファイルを停止して削除します。アプリケーション・データを保護するには、実行中のすべてのアプリケーションを停止し、仮想マシンをシャットダウンしてからリストアします。

システムの処置: ユーザーが続行を選択すると、システムは既存の仮想マシンおよびその仮想マシンのすべてのファイルを停止して削除します。

ユーザーの処置: 既存の仮想マシンを置き換えるかどうかを選択します。

ANS2250W IBM Spectrum Protect コア・ファイルまたは異常終了レポートが見つかりました
: *filename*

説明: コア・ダンプまたは異常終了レポートが存在するということは、処理が異常終了したことを示します。

システムの処置: コア・ファイルまたは異常終了レポート名が、メッセージで報告されています。処理を続行します。

ユーザーの処置: コア・ダンプの原因の診断に役立つその他のエラー・メッセージがないか、エラー・ログを確認してください。可能な場合は、見つかった問題を修正してください。コア・ダンプは通常プログラミング・エラーによって発生するので、このメッセージに記載されているファイルを保存して、IBM 技術サポートにお問い合わせください。

ANS2253W IBM Spectrum Protect によって使用中の、メッセージ・カタログのバージョン *catalogversion* は、**IBM Spectrum Protect** のバージョン *clientversion* と一致しません

説明: カタログ・バージョンのチェックにより、カタログと IBM Spectrum Protect が同じバージョンではないことがわかりました。このため、使用されるメッセー

ジが欠落したり、不適切なメッセージになる可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect のインストールを確認し、メッセージ・カタログ・ファイルが、インストールされている IBM Spectrum Protect のバージョンと一致していることを確認してください。IBM Spectrum Protect の再インストールが必要になる場合があります。または、インストールを完了するためにシステムのリブートが必要なことがあります。

ANS2254E セッション ID *sessid* の *program-name* がトークン *token* の再呼び出しを打ち切りました。 **ERRNO** *errno* : *errno-text* が設定されました。メッセージの解説を参照してください。

説明: HSM からの再呼び出しが打ち切られました。

HSM の ERRNO 設定は、再呼び出しが打ち切られた理由を説明します。

一時的エラー (関連する問題を解決したら操作を再試行する必要があります):

ENOSPC : デバイスにスペースが残されていません。

HSM は、再呼び出しのためにスペースを開放できませんでした。

ENOMEM : 再呼び出しに必要なリソースを獲得するためのメモリーが十分ではありません。

ESRCH : マスターおよびディストリビューター間の内部通信が失敗しました。

EACCES : 最も一般的な *errno*。以下の障害のいずれかになります。

- 再呼び出しデーモンは終了します。システム・クリーンアップが進行中です。

- 以前に失敗したノードのリカバリーが進行中です。

- ファイルは不変なので、書き込み/切り捨てのために開けません。

- HSM 内部処理が、DMAPI の問題のために失敗しました。

EBUSY : HSM は、ファイルの排他的な権限を獲得できません。

EFAULT : システムは、引数を使用しようとして無効なアドレスを検出しました。

EINTR : DMAPI 実装により中断が許可されるので、プロセスが中断されました。

EINVAL : 要求された権限は無効であるか、セッションまたはトークンが無効であるか、トークンが

DM_NO_TOKEN でした。

静的エラー (操作を完了できません。再呼び出しができません):

EIO : スタブ・ファイルは孤立化しています。

ENOENT : ファイル・システムにファイルが存在して

いません。

EBADF：ファイル・ハンドルは既存のオブジェクトやアクセス可能オブジェクトを参照しません。

システムの処置： 再呼び出し要求は、HSM サービスから打ち切られました。

ユーザーの処置： 一時的なエラー：

`errno` で指定された問題を解決してください。GPFS プラットフォームの場合： コマンド `dsmmigfs q -d -n=all` を使用して、HSM と GPFS が正しく実行されていることを確認してください。

失敗したファイルを識別できる場合、再呼び出し操作を再試行してください。

失敗したファイルを識別できない場合は HSM ロギングを有効にして、新たな発生を待機します。

(HSM ロギングにより、ANS メッセージから表示されたトークンと再呼び出しファイル間のマッピングが可能になります)

静的エラー：

バックアップからファイルをリストアします。

ANS2260E IBM Spectrum Protect サーバーのパスワード・ファイルをロックできませんでした。

説明： マルチプロセス環境では、正しいパスワードが有効期限切れになった場合のパスワード更新の際に、競合を回避するため、IBM Spectrum Protect クライアントは認証中にパスワード・ファイルをロックします。

システムの処置： 処理は停止します

ユーザーの処置： MAXRETRIESLOCK テスト・フラグを使用して、ファイルをロックする試行回数を増やしてみてください。 デフォルトは 1500 です。

ANS2261E IBM Spectrum Protect クライアントは、オプション・ファイルをロックできませんでした。

説明： マルチプロセス環境では、オプションの読み取りまたは追加時の競合を回避するために、IBM Spectrum Protect クライアントは、初期化中にオプション・ファイルをロックします。

システムの処置： 処理は続行します

ユーザーの処置： IBM Spectrum Protect クライアント・プロセスの数を減らしてください

ANS2262I サービスを開始しています。

説明： ファイル・リストア・サービスを開始しています。

システムの処置： 処理を続行します。

ユーザーの処置： アクションは不要です。

ANS2263I サービスが開始されました。

説明： ファイル・リストア・サービスが開始されました。

システムの処置： 処理を続行します。

ユーザーの処置： アクションは不要です。

ANS2264I シャットダウンが進行中です。

説明： シャットダウンが進行中です。

システムの処置： 処理を続行します。

ユーザーの処置： アクションは不要です。

ANS2265I サービスはシャットダウン中です。

説明： ファイル・リストア・サービスをシャットダウンしています。

システムの処置： 処理を続行します。

ユーザーの処置： アクションは不要です。

ANS2266I オプション '*option-name*' は、デフォルト値の '*default-value*' に設定されています。

説明： このオプション値でエラーが検出されました。

システムの処置： デフォルト設定が使用されます。

ユーザーの処置： 非デフォルト値を使用するには、`frConfig.props` ファイルでオプション値を修正します。

ANS2267W '*option-name*' オプションの値 '*invalid-value*' は無効です。

説明： このオプション値でエラーが検出されました。

システムの処置： デフォルト設定が使用されます。

ユーザーの処置： 非デフォルト値を使用するには、`frConfig.props` ファイルでオプション値を修正します。その後、ファイル・リストア・インターフェースをホストしている Web サーバーを再始動します。

ANS2268W マウント・プロキシ・ノードの TCP/IP ポート・アドレスが見つからないか無効です。

説明： マウント・プロキシ・ノードでは TCP/IP ポート・アドレスが必要です。このアドレスは、マウント・プロキシ・ノードのクライアント・アクセプターによる通信用に使用されます。

- ローカル・マウント・プロキシ・ノードが使用される場合には、構成ウィザードまたはノートブックで指定された TCP/IP ポート・アドレスが無効です。
- リモート・マウント・プロキシ・ノードが使用されている場合、frConfig.props ファイル内の default_mp_httpport オプションが指定されていないか無効です。

クライアント・アクセプターとの通信を開始できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ローカル・マウント・プロキシ・ノードが使用される場合には、構成ウィザードまたはノートブックの「マウント・プロキシ・ノード・ペア」ページを使用して、マウント・プロキシ・ノードを削除してください。そして、この問題を解決するために、マウント・プロキシ・ノードを再度追加してください。

リモート・マウント・プロキシ・ノードを使用する場合は、frConfig.props ファイルの default_mp_httpport オプションに有効な TCP/IP ポート・アドレスが指定されていることを確認してください。

ANS2269E バックアップの最大数がロードされています。リストアを実行中の場合は、完了するまで待ってからバックアップを再ロードしてください。別のブラウザ・ウィンドウでバックアップがロードされている場合は、そのブラウザを閉じてください。

説明: 別のバックアップをマウントするには、マウントされているバックアップの 1 つをマウント解除する必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: マウントされているバックアップの 1 つをマウント解除して、操作を再試行してください。

ANS2309I vSphere Server へのシングル・サインオン・ログインが機能 *function* で失敗しました。
API message 現在は資格情報によるログインが試行されています。

説明: vSphere Server へのシングル・サインオン (SSO) ログインが失敗しました。この失敗の原因として、以下の状態が考えられます。

- vSphere Server クロックとクライアント・クロック間に 10 分を超える時差があります。
- SSO サーバーがデフォルト以外のポートにアクセスしています。この問題は、SSO サーバーが

VMware vCenter と同じシステムにインストールされているときに発生することがあります。

システムの処置: SSO ログインの失敗の結果として、このシステムでは資格情報によるログインを試みています。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、SSO ログインの試みが失敗した理由に関する詳細を確認してください。そして、必要に応じて修正アクションを行ってください。

ANS2310E スナップショットの作成タスクは、仮想マシン '*VM-name*' で使用不可です。そのため、仮想マシンをバックアップすることができません。

説明: 別のアプリケーションに管理または複製されている仮想マシンでは、スナップショットの作成タスクが使用不可になります。vSphere クライアントまたは別のアプリケーションによって、この仮想マシンのスナップショットの作成タスクが使用不可になりました。そのため、この仮想マシンをバックアップすることができません。

システムの処置: バックアップ操作は、スナップショットの作成タスクが使用不可である仮想マシンをスキップし、残りの仮想マシンの処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2311E スナップショットの作成タスクは、仮想マシンで使用不可です。そのため、仮想マシンをバックアップすることができません。

説明: 別のアプリケーションに管理または複製されている仮想マシンでは、スナップショットの作成タスクが使用不可になります。vSphere クライアントまたは別のアプリケーションによって、この仮想マシンのスナップショットの作成タスクが使用不可になりました。そのため、この仮想マシンをバックアップすることができません。

システムの処置: バックアップ操作は、スナップショットの作成タスクが使用不可である仮想マシンをスキップし、残りの仮想マシンの処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2312E -DELTYPE=ALL は DELETE BACKUP -OBJTYPE=VM では許可されません。

説明: VM バックアップ・オブジェクトを削除する場合、DELTYPE=ALL は無効なオプション値です。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: VM ノードのすべてのバックアップを削除したい場合は、DELETE FILESPACE コマンドを使用してください。

ANS2313E -OBJTYPE=VM の場合、-FILELIST は、DELETE BACKUP および EXPIRE では許可されません。

説明: VM バックアップ・オブジェクトを削除あるいは有効期限切れにする場合、-filelist は無効なオプション値です。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: VM ノードのすべてのバックアップを削除あるいは有効期限切れにしたい場合は、DELETE FILESPACE コマンドを使用してください。

ANS2314E VM-Name の VM バックアップは存在しません。

説明: 指定された VM 名の VM バックアップの記録が IBM Spectrum Protect サーバーにありません。バックアップが削除されたか、VM 名のスペルが正しくない可能性があります。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: スペルが誤っている場合は、訂正してコマンドを再実行依頼してください。

ANS2315E -OBJTYPE=VM の場合、-PICK は、EXPIRE では許可されません。

説明: VM バックアップ・オブジェクトを有効期限切れにする場合、-pick は無効なオプション値です。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: すべての VM ノードを有効期限切れにしたい場合は、DELETE FILESPACE コマンドを使用してください。

ANS2316E VM 名の引数では、ワイルドカードは許可されません。

説明: VM バックアップを有効期限切れあるいは削除する場合、VM 名を正確に指定する必要があります。EXPIRE -OBJTYPE=VM コマンドは、呼び出しごとに 1 つのバックアップのみを処理します。DELETE BACKUP -OBJTYPE=VM コマンドで -INACTIVE を指定した場合、選択対象のリストにすべてのバージョンの単一 VM バックアップが表示されます。-INACTIVE を指定しない場合、このコマンドは現行のアクティブ VM バックアップを有効期限切れにします。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: ワイルドカードを使用せずに 1 つの VM 名のみを指定してください。大文字でも小文字でも構いません。

ANS2317E VM オブジェクト VMname の削除が失敗しました。理由:

説明: 指定された VM オブジェクトを削除するトランザクションがサーバーで失敗しました。理由コード?????

システムの処置: 削除はスキップされて、次の選択がある場合は処理が続行されます。

ユーザーの処置: エラー・ログで、この障害の具体的な理由がないかを確認してください。

ANS2318E Command に -OBJTYPE=VM を指定する場合、非オプション引数を必ず 1 つだけ指定する必要があります。

説明: このコマンドは、引数として 1 つの VM 名のみを受け入れます。コマンド・ラインで、引数が入力されなかったか、複数の引数が指定されました。

システムの処置: コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: ワイルドカードを使用せずに 1 つの VM 名のみを指定してください。大文字でも小文字でも構いません。

ANS2319W DELETE BACKUP -OBJTYPE=VM が失敗して終了しました。

説明: 1 つ以上の削除が失敗しました。

システムの処置: 失敗した VM バックアップは、以前のメッセージで報告されています。次の選択がある場合は処理が続行されます。

ユーザーの処置: 各失敗の原因について、以前のエラー・メッセージを確認してください。

ANS2320I DELETE BACKUP -OBJTYPE=VM は問題なく終了しました。

説明: 削除を選択されたすべての VM バックアップが削除されました。

システムの処置: 制御はコマンド・ラインに戻ります。

ユーザーの処置: アクションは不要です。これは通知メッセージです。

ANS2321W -OBJTYPE=VM を指定した EXPIRE が失敗して終了しました。

説明: コマンドは完了していません。有効期限切れになったオブジェクトはありません。

システムの処置: 失敗した VM の有効期限切れは、以前のメッセージで報告されています。

ユーザーの処置: 失敗の原因について、以前のエラー・メッセージを確認してください。

ANS2322I -OBJTYPE=VM を指定した EXPIRE が問題なく終了しました。

説明: EXPIRE コマンドは正常に実行されました。

システムの処置: 制御はコマンド・ラインに戻ります。

ユーザーの処置: アクションは不要です。これは通知メッセージです。

ANS2323E VMware vCloud Director 'vCD host name' のユーザー ID とパスワードが設定されていません。

説明: 暗号化パスワード・ファイルから VMware vCloud Director のユーザー ID とパスワードを読み取ることができませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: dsmsc SET PASSWORD -type=VCD 'vCloud Director hostname' 'userid' 'password' コマンドを発行して、暗号化されたパスワードを保存してください。

ANS2324W 警告: パスワード・ファイルから読み取った VMware vCloud Director のユーザー ID <hostuserid> が、VCDUser オプション値 <vmcuserid> と異なります。保管されている値を使用します。

説明: TSM.PWD ファイルと VCDUSER オプションで指定されるユーザー ID は、すべて同じでなければなりません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS2325E ファイラー ' ' ボリューム ' ' のスナップショット差分変更ログにアクセス中にエラーが発生しました。詳しくは、クライアント・エラー・ログを参照してください。

説明: 指定されたファイラー・ボリュームのバックアッ

プに必要なスナップショット差分変更ログにアクセスできませんでした。

システムの処置: 指定されたボリュームのバックアップは失敗します。

ユーザーの処置: 変更ログが配置されているクライアントのステージング・ディレクトリーが、アクセス可能であることを確認してください。

ANS2326W スナップショット差分変更ログの破損が検出されました。変更ログはリセットされ、完全プログレッシブ増分バックアップが実行されます。

説明: バックアップを行っているファイラー・ボリュームに、破損したスナップショット差分変更ログが検出されました。

システムの処置: 変更ログはリセットされ、新規の基本スナップショットを使用した完全プログレッシブ増分バックアップが実行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2327I スナップショット差分変更ログを作成しています。

説明: 新規のスナップショット差分変更ログが作成されました。

システムの処置: これは単なる通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2328I スナップショット差分変更ログを使用しています。

説明: スナップショット差分変更ログがバックアップに使用されています。

システムの処置: これは単なる通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2329W ダウン・レベルのスナップショット差分変更ログが検出されました。変更ログはリセットされ、完全プログレッシブ増分バックアップが実行されます。

説明: ありません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2330E スナップショット時間が、タイムアウト制限である **10** 秒を超えたため、**VSS** ライターの凍結の解除に失敗しました。

説明: Microsoft VSS には、VM 上にある VSS ライターの凍結と解凍のイベント間に 10 秒のタイムアウト制限があります。スナップショット時間が 10 秒のタイムアウト制限を超えると、VSS ライターは「失敗」状態に戻ります。この失敗の状態は、VSS プロバイダーが VSS ライターを許可された時間内に解凍できなかったために発生します。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: イベント・ログを確認してください。アプリケーション保護の VM バックアップ操作を再試行する前に、ゲスト VM 上のライターが「安定」状態にあることを確認します。スナップショット操作は、10 秒以内に完了される必要があります。

ANS2331W 入力された **Hyper-V VM** 名または **VMList 'string'** に一致するものがサーバー上に見つかりませんでした。

説明: 入力された Hyper-V VM 名または VMList パラメーターに一致するものがサーバー上に見つかりませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: サーバー上にある別の Hyper-V VM 名または VMList パラメーターを指定してください。

ANS2332E **vCloud Director** へのログオンに失敗しました。認証に失敗しました。

説明: vCloud 資格情報が vCloud Director によってリジェクトされました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: vCloud Director のユーザー名とパスワードを更新します。

ANS2333E **vCloud Director** への接続の確立に失敗しました。

説明: VCDHost および VCDPort オプションで指定したホスト上の vCloud Director に対して接続を確立できませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: VCDHost および VCDPort オプションの値が有効であること、ホストへのネットワーク接続が存在していること、vCloud Director サービスが稼働中であることを確認してください。

ANS2334E **Windows Management Instrumentation (WMI)** サービスが必要な操作が、エラー '*errorstring*' で失敗しました。 **Hyper-V** 名前空間に接続できません。バックアップ・ノードに **Hyper-V** がインストールされていることを確認してください。

説明: Hyper-V の Windows Management Instrumentation (WMI) 名前空間 "*root\virtualization\v2*" が見つかりませんでした。この名前空間は、Hyper-V と一緒にインストールされます。Hyper-V がインストールされている場合、Hyper-V が正常な状態ではありません。

システムの処置: Hyper-V WMI プロバイダーへの接続を作成しています。

ユーザーの処置: Hyper-V がインストールされているかを確認します。Hyper-V がインストールされていない場合は、この操作を再試行する前に Hyper-V をインストールしてください。

ANS2335E **Windows Management Instrumentation (WMI)** サービスが必要な操作が、エラー '*errorstring*' で失敗しました。 **WMI** サービスはシャットダウン中またはシャットダウン状態です。サービスを再始動してから再試行してください。

説明: Windows Management Instrumentation (WMI) サービスはシャットダウン要求を受信したか、外部エラーによってシャットダウンされています。WMI が必要な内部操作が試行されて失敗しました。要求された操作は、WMI のシャットダウン中には使用不可です。

すべての Hyper-V 操作では、Windows Management Instrumentation サービスが必要です。

システムの処置: Windows Management Instrumentation を必要とする内部 IBM Spectrum Protect 操作が発生しました。

ユーザーの処置: Windows Management Instrumentation サービスを再始動します。

ANS2336W **Hyper-V** 仮想マシン "*virtual_machines*" が増分バックアップ・チェーンを中断したことを **IBM Spectrum Protect** が検出しました。指定された **Hyper-V** 仮想マシン上でフルバックアップを実行しています。

説明: 仮想マシン上での最後の操作はリストアでした。あるいは、リストされた仮想マシン上で不明な通話者が増分バックアップ操作を実行しました。バックアップの破損を回避するために、代わりにフルバックアップが実行されます。

システムの処置: 仮想マシンが増分バックアップ・チェックを中断したことを IBM Spectrum Protect が検出しました。

ユーザーの処置: 増分バックアップの代わりにフルバックアップが実行されます。

ANS2337E プロセスがクラスター・リソース '**resourcename**' をオフラインにできませんでした。現行操作では、リソースをオフラインにする必要があります。戻りコード **rc** でクラスター・リソースをオフにできませんでした。

説明: クラスター・リソースが制限時間内にオフラインにならなかったか、クラスター・リソースをオフラインにする試行が失敗しました。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: クラスター・リソースが障害状態になっていないかを確認します。クラスター・リソースをオフラインにできることを確認します。

ANS2338W プロセスが、仮想マシンのレプリカをバックアップする要求を検出しました。レプリカ '**vmreplicaname**' (**ID** '**vmid**') の状態が、オリジナルの仮想マシンの状態と異なっている可能性があります。オリジナルの仮想マシンとレプリカの名前が同一である場合、同じファイル・スペースが使用されます。オリジナルの仮想マシンとレプリカの状態が異なっているため、データがリカバリー不能になる可能性があります。

説明: オリジナルの仮想マシンとそのレプリカをバックアップすると、通常、それらの名前と ID は同一であるため、相互に上書きされます。仮想マシンのレプリカは、一定間隔で取得されます。これらの間隔の間は、オリジナルとレプリカのデータが異なっている可能性があります。場合によっては、オリジナルのバックアップの後にレプリカのバックアップが行われると、この差異によってデータ破損が発生する可能性があります。

システムの処置: 仮想マシンのレプリカのバックアップ要求は処理中です。

ユーザーの処置: オリジナルの仮想マシンまたはレプリカのみをバックアップするように IBM Spectrum Protect を構成します。あるいは、レプリカの名前をオリジナルの仮想マシンと異なる名前に変更します。これにより、レプリカは別のファイル・スペースにバックアップされます。

ANS2339W **Hyper-V VM** '**vmname**' が、最後のバックアップと異なり「ブランチ」状態です。「永久増分 - 増分」バックアップを実行することができません。代わりに、「永久増分 - フル」バックアップが実行されます。

説明: VM の状態は、最後のバックアップと異なり「ブランチ」です。これにより、この状態ではバックアップの整合性が保証されないため、「永久増分 - フル」へのフォールバックが発生します。

システムの処置: 「永久増分 - フル」バックアップが実行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2340W ターゲット仮想マシン '**VM-name**' は存在しているため、**REPLACE** オプションを使用して上書きします。

説明: 指定されたターゲット VM は存在しており、ユーザーは、リストアによる既存のマシンを置き換えを許可しないように指定しています。

システムの処置: 仮想マシンはリストアされません。

ユーザーの処置: リストア・ターゲットとして別の仮想マシンを指定するか、既存の仮想マシンを置き換えることができるように指定してください。

ANS2341E ターゲット仮想マシン '**VM-name**' をリストアできません。**GUID** がバックアップ・コピーと異なります。

説明: 指定されたターゲット VM は存在しており、仮想マシンのバックアップに使用された GUID と異なる GUID を持っています。

システムの処置: 仮想マシンはリストアされません。

ユーザーの処置: リストア・ターゲットとして別の仮想マシンを指定するか、指定されたターゲット仮想マシンを削除してください。

ANS2342E 指定されたリストア・ターゲット '**VM-name**' が不明確です。同じ名前を持つ複数の仮想マシンが存在します。

説明: 指定されたリストア・ターゲットが不明確です。同じ名前を持つ複数の仮想マシンが存在します。

システムの処置: 仮想マシンはリストアされません。

ユーザーの処置: リストア・ターゲットとして別の仮想マシンを指定してください。

ANS2343E 物理ディスクが接続されているため、仮想マシン '*vmname*' のスナップショットを取得することはできません。

説明: ボリューム・スナップショット・サービス (VSS) は、物理ディスクを持つ仮想マシンのスナップショットを取得することができません。

システムの処置: 仮想マシンのフルバックアップは失敗して終了しました。次の仮想マシンのバックアップが処理されます。

ユーザーの処置: バックアップでは、この仮想マシンを *domain.vmfull* に含めないでください。この仮想マシンのスナップショットを取得することはできません。

ANS2344E '*drive-name1*' はディスク監視です。

説明: 示されたボリュームはディスク監視です。
CLUSTERNODE オプションが YES に設定されているため、ボリュームをバックアップまたはアーカイブすることはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: CLUSTERNODE オプションが誤って YES に設定されている場合は、オプションを NO に変更して操作を再試行してください。それ以外の場合は、クライアントの資料を参照して、クラスター環境で IBM Spectrum Protect クライアントを稼働させるための構成の詳細を確認してください。

ANS2345W 仮想マシン '*'*' に古いスナップショット '*'*' があることが検出されました。そのスナップショットを削除するためのコマンドが **vCenter** に送信されました。

説明: スナップショットのクリーンアップ処理中に、バックアップ/アーカイブ・クライアントが仮想マシン上の古いスナップショットを検出しました。古いスナップショットを削除するために、スナップショットの削除コマンドが VMware vCenter に送信されました。

システムの処置: 処理を続行します

ユーザーの処置: 次にスケジュールされたバックアップが行われる前に、仮想マシンからすべてのスナップショットが解放されていることを確認してください。

ANS2346E VM オブジェクト *VMname* の有効期限切れが失敗しました。理由:

説明: 指定された VM オブジェクトを有効期限切れにするトランザクションがサーバーで失敗しました。理由コード????

システムの処置: 有効期限切れは完了していません。

ユーザーの処置: エラー・ログで、この障害の具体的な理由がないかを確認してください。

ANS2347E IBM Spectrum Protect アプリケーション保護を使用できません。 *machine* 上で **Java** ランタイム環境の正しいバージョンが検出されていません。このプログラムを実行するには、**Java** ランタイム環境 *version* 以降が必要です。このレベルの **Java** のバージョンをマシンにインストールしてある場合は、正しい **Java** の実行可能ファイルが **PATH** 上にあるかを確認して、もう一度プログラムを開始してください。

説明: Java ランタイム環境が要件を満たしていないため、IBM Spectrum Protect アプリケーション保護の VM バックアップを開始できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しい **Java** の実行可能ファイルが **PATH** 上にあることを確認するか、必要とされる Java ランタイム環境のバージョンをインストールして、バックアップを再実行してください。

ANS2348E マウント・プロキシ・ホスト '*remoteversion*' にサポートされるオペレーティング・システムがありません。

説明: マウント・プロキシ・ノードは、サポートされるオペレーティング・システム上で構成する必要があります。

システムの処置: 呼び出し手順は戻され、制御はユーザーに戻されます。

ユーザーの処置: サポートされるオペレーティング・システムのリストについては、資料を確認してください。サポートされるオペレーティング・システム上でマウント・プロキシ・ノードを構成してください。

ANS2349W 仮想マシン '*'*' でスナップショットの統合が必要であることが検出されました。統合を実行するためのコマンドが **VMware vCenter** に送信されました。

説明: 仮想マシンのバックアップ処理中に、バックアップ/アーカイブ・クライアントが、スナップショットの統合が必要な仮想マシンを検出しました。統合を実行するためのコマンドが VMware vCenter に送信されました。

システムの処置: 処理を続行します

ユーザーの処置: 次にスケジュールされたバックアップ

が行われる前に、仮想マシンですべてのスナップショットおよびスナップショット差分ファイルはクリーンにされていることを確認してください。

ANS2350E 仮想マシン 'VM name' は、サポートされない特殊文字 (¥ / : ; , * ? " ' < > |) の少なくとも 1 つを含んでいるため、バックアップすることができません。

説明: 指定された仮想マシンには、仮想マシンのバックアップおよびリストア操作でサポートされない文字が含まれています。

システムの処置: 指定された仮想マシンのバックアップは失敗します。

ユーザーの処置: 指定された特殊文字が含まれないように、仮想マシンを名前変更してください。

ANS2351E 同一のバックアップ操作で、重複する仮想マシン名「vmname」が検出されました。固有のオブジェクト名を使用しないと、仮想マシンのバックアップを続行することができません。

説明: 固有のオブジェクト名が使用可能ではないため、仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 指定された仮想マシンのバックアップは失敗します。次の仮想マシンのバックアップが処理されます。

ユーザーの処置: ノードの仮想マシン間で固有になるように仮想マシンの名前を変更します。

ANS2352E 仮想マシン 'vmname' 構成の検証時に、**Hyper-V** から以下のメッセージが戻されました:
hypervmessage
このメッセージは、**Hyper-V** からのメッセージに対処するまで仮想マシンをリストアできないことを示しています。

説明: Hyper-V を使用した仮想マシンの検証時に、仮想マシンのリストアを続行できないことを示すメッセージが戻されました。

システムの処置: 問題が解決されるまでリストアを続行できません。

ユーザーの処置: メッセージに記載されている問題を解決してください。

ANS2353W リストアされる仮想マシン 'vm-name' の vCPU の数、仮想メモリの大きさ、あるいはその両方が、ホストでの許容量を超えています。リストア操作を続行できるように、仮想マシンは、ホストでの最小許容量にリセットされます。

説明: リストアされる仮想マシンの構成は、ホストで許容される vCPU の数、仮想メモリの大きさ、あるいはその両方を超えています。vCPU の数および仮想メモリの大きさは、リストア操作完了後に調整することができます。

システムの処置: vCPU の数、仮想メモリの大きさ、あるいはその両方が、ホストでの最小許容量にリセットされます。リストア操作は続行されます。

ユーザーの処置: リストア操作完了後に、vCPU の数、仮想メモリの大きさ、あるいはその両方を調整してください。

ANS2373E VMware vCloud Suite プラグイン・ライブラリーが Platform Services Controller (PSC) への接続およびシングル・サインオン・セッションの実行に失敗しました。

説明: Platform Services Controller との接続を確立できません。

システムの処置: vCloud Suite API 操作を実行できません。

ユーザーの処置: VMCHOST オプションの値が正しいこと、ホストへのネットワーク接続が存在すること、および Platform Services Controller が組み込みまたは外部で稼働中であることを確認してください。この問題に関連している可能性がある追加のメッセージを受け取るには、クライアント・オプション・ファイルで TRACEFLAGS VCLLOUD トレースを有効にしてください。vCenter Server が参照している Platform Services Controller を判別するには、vCenter Server の詳細設定キー 'config.vpxd.sso.sts.uri' を調べてください。データ・ムーバー・ノード上の PSC、vCenter およびクライアント間のシステム時刻が同期していることを確認してください。また、vCloud Suite プラグインのエラー・ファイル vcsplugin.log を調べてください。

ANS2374E VMware vCloud Suite プラグイン・ライブラリーが vCenter Management Server への接続に失敗しました。

説明: vCenter Management Server との接続を確立できません。

システムの処置: vCloud Suite API 操作を実行できません。

ユーザーの処置: VMCHOST オプションの値が正しいこと、およびホストへのネットワーク接続が存在することを確認してください。この問題に関連している可能性がある追加のメッセージを受け取るには、オプション・ファイルで TRACEFLAGS VCLLOUD トレースを有効にしてください。また、vCloud Suite プラグインのログ・ファイル vcsplugin.log を調べてください。

ANS2375E インスタンス名が見つからなかったため、**VMware vCloud Suite** プラグイン・ライブラリーが **vCenter Management Server** への接続に失敗しました。

説明: インスタンス名が見つからなかったため、vCenter Management Server との接続を確立できません。これは、ホスト名のスペルが誤っているか、あるいはドメイン・ネーム・システム (DNS) が機能していないことが原因である可能性があります。

システムの処置: vCloud Suite API 操作を実行できません。

ユーザーの処置: VMCHOST オプションの値が正しいこと、およびこの値が Platform Services Controller への vCenter の登録時に使用した名前に一致することを確認してください。この値は、多くの場合、完全修飾ドメイン名 (FQDN) です。この問題に関連している可能性がある追加のメッセージを受け取るには、オプション・ファイルで TRACEFLAGS VCLLOUD トレースを有効にしてください。

ANS2376I ターゲット **vCenter** バージョンは、**VMware** の **vCloud Suite SDK** をサポートしていません。そのため、クライアントは、データ・ムーバー・ノードでタグ付け操作を実行できません。

説明: IBM Spectrum Protect カテゴリーおよびタグを仮想マシンに適用できるように、クライアント・オプション 'VMTAGDATAMOVER' が有効になっていますが、vCenter のバージョンが 6.0 より前のバージョンです。

システムの処置: vCloud Suite プラグイン・ライブラリーおよび vSphere タグ付けサポートを使用せずに操作が実行されます。

ユーザーの処置: バージョン 6.0 以降の vCenter を使用するか、クライアント・オプション・ファイルで 'VMTAGDATAMOVER' オプションを無効にしてください。

ANS2377I **IBM** カテゴリー・データは、**VMware Platform Services Controller** 上に、作成済みであるか、または既に存在しています。

説明: バックアップ/アーカイブ・クライアントでタグ付けサポートに使用されたカテゴリーは、VMware Platform Services Controller での使用が可能です。

システムの処置: 操作は完了しました。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2378W **Platform Services Controller (PSC)** へのシングル・サインオン・セッションが失敗して次のメッセージが表示されました。
apimessage

説明: Platform Services Controller (PSC) へのシングル・サインオン・セッションは失敗しました。この失敗の原因として、以下の状態が考えられます。

- この問題は、PSC ホスト、vCenter Server ホスト、およびクライアント・ホスト上のシステム・クロックが非同期であるか、時間帯の設定が正しくない場合に発生することがあります。
- PSC シングル・サインオン・サーバーがデフォルト以外のポートにアクセスしています。この問題は、シングル・サインオン・サーバーが VMware vCenter と同じシステムにインストールされているときに発生することがあります。

システムの処置: データ・ムーバー・ノード上のクライアントは、シングル・サインオン・ログインに失敗した結果、資格情報によるログインを試みます。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、シングル・サインオン・ログインの試みが失敗した理由に関する詳細を確認してください。そして、必要に応じて修正アクションを行ってください。

ANS2398I 仮想マシン 'VM-name' は、復旧サイトの **VMware Site Recovery Manager** のプレースホルダー仮想マシンとして構成されています。そのため、この仮想マシンはスキップされます。

説明: VMware Site Recovery Manager は、仮想ディスク・データを持たないプレースホルダー仮想マシンを作成します。そのため、これらの仮想マシンをバックアップすることができません。

システムの処置: バックアップ操作は、プレースホルダー仮想マシンをスキップし、残りの仮想マシンの処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

ANS2399I 仮想マシンは、復旧サイトの **VMware Site Recovery Manager** のプレースホルダー仮想マシンとして構成されています。そのため、この仮想マシンはスキップされます。

説明: VMware Site Recovery Manager は、仮想ディスク・データを持たないプレースホルダー仮想マシンを作成します。そのため、これらの仮想マシンをバックアップすることができません。

システムの処置: バックアップ操作は、プレースホルダー仮想マシンをスキップし、残りの仮想マシンの処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

ANS2408I 仮想マシン 'VMNAME' の瞬時アクセスの準備ができました

説明: 指定された仮想マシンの瞬時アクセス操作が正常に完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: なし

ANS2409E インスタント・リストアのタイプが識別されませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーに瞬時リストアおよびアクセスの情報を照会しているときに、クライアントで接続エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアントがサーバーに接続されていることを確認してください。その後、操作を再実行します。コマンド `QUERY SESSION` を使用して、接続問題の原因を確認します。また、`dsmerror.log` で追加情報も確認してください。

ANS2410E 指定された仮想マシンのインスタント・リストア情報が見つかりませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーに、指定された仮想マシンの瞬時リストア情報が含まれていません。あるいは、指定された仮想マシンが誤っています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: `QUERY VM *`

`-VMRESTORETYPE=ALLTYPE` コマンドを発行します。このコマンドは、IBM Spectrum Protect サーバー上で有効なすべてのアクティブな瞬時アクセス、リストア、およびディスク・セッションを照会します。

ANS2411E 仮想マシン '*vmname*' のインスタント・リストア/アクセスが戻りコード *return-code* で失敗しました

説明: 瞬時リストアまたはアクセスの処理中にエラーが発生しました。前の出力を参照して、正確に何が起きたかを確認してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: エラー・ログを参照して、このエラーの解決方法に関する情報を確認してください。

ANS2412E **IBM Spectrum Protect Recovery Agent** がインストールされていません。

説明: IBM Spectrum Protect Recovery Agent がインストールされていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect Recovery Agent が正しくインストールされ、構成されていることを確認してください。

ANS2413E **Recovery Agent** シェル・コマンドが予想されたインストール・パスで見つかりませんでした。

IBM Spectrum Protect for VE が正しくインストールされ、構成されていることを確認してください。

説明: Recovery Agent シェル・コマンドが予想されたインストール・パスで見つかりませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect for VE が正しくインストールされ、構成されていることを確認してください。

ANS2414E ローカル・マシンのホスト名が呼び出されたときにエラーが発生しました。

説明: システム呼び出し `gethostname` が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ネットワーク・インターフェースの構成が正しいことを確認してください。

ANS2415E マシン・アドレス情報が呼び出されたときにエラーが発生しました。

説明: システム呼び出し `getaddrinfo` が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ネットワーク・インターフェースの構成が正しいことを確認してください。

ANS2416E マシン名情報が呼び出されたときにエラーが発生しました。

説明: システム呼び出し `getnameinfo` が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ネットワーク・インターフェースの構成が正しいことを確認してください。

ANS2417E 予期しない通信方式です。TCP および TCPv6 のみが許可されます。

説明: 予期しない通信方式が検出されました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect の通信方式が正しいことを確認します。TCP または TCPv6 を使用してください。

ANS2418E ローカル・インスタント・リストア・データの読み取りまたは書き込みができません。
filename
ファイルにアクセスできないか、ファイルが損傷しています。

説明: 瞬時アクセス操作および瞬時リストア操作では、データを保管するためにローカル・データ・ムーバーに対する読み取り/書き込みアクセス権が必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: インスタント・リストア・データを保管するには、C:\Documents and Settings\¥AllUsers¥Application Data¥Tivoli¥TSM¥ または C:\ProgramData¥Tivoli¥TSM フォルダに対する読み取りおよび書き込みのアクセス権がデータ・ムーバー・アプリケーションに必要です。
ユーザーが正しい権限を持てるように、このディレクトリーにアクセス権限を設定します。
ファイルが損傷した場合、現行バージョンと .bak ファイルの置き換えが役立つ場合があります。

ANS2419E データ・ストアにインスタント・リストア操作を行うための十分なフリー・スペースがありません。

説明: 選択されたデータ・ストア上のスペースは、瞬時リストア操作を行うには不十分です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: データ・ストアのスペースを増やすか、別のデータ・ストアを選択してください。

ANS2420E ストレージ・デバイス情報が見つかりません。

説明: ストレージ・デバイス情報を取得できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ESX ホストとの通信が正常に機能していることを確認してください。また、ESX ホストのログ・メッセージも確認してください。

ANS2421E ESXi ホストで iSCSI イニシエーターが見つかりません。

説明: ESXi ホストの iSCSI イニシエーター名が見つかりません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ESX ホストとの通信が正常に機能していることを確認してください。また、ESX ホストのログ・メッセージも確認してください。

ANS2422E iSCSI ホスト・バス・アダプターが見つかりません。

説明: iSCSI アダプターを検出できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ESX ホストとの通信が正常に機能していることを確認してください。また、ESX ホストのログ・メッセージも確認してください。

ANS2424E ESX ホスト 'ESXHOST' が vCenter で見つかりません。

説明: 指定された ESX ホストを vCenter で見つけることができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定された ESX ホストが vCenter に存在することを確認してください。ESX ホストの名前が正しいことを確認してください。あるいは、別の ESX ホストを指定してください。

ANS2425E ESX ホスト 'ESXHOST' に接続できません。

説明: 指定された ESX ホストへの接続を確立できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定された ESX ホストが vCenter

ANS2426E • ANS2435E

およびネットワークに接続されていることを確認してください。あるいは、別の ESX ホストを指定してください。

ANS2426E ESX ホスト '**ESXHOST**' の電源がオンにされていません。

説明: 指定された ESX ホストの電源がオンにされていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ESX ホストの電源をオンにしてください。あるいは、別の ESX ホストを指定してください。

ANS2427E ESX ホスト '**ESXHOST**' は保守モードになっています。

説明: 指定された ESX ホストは保守モードになっています。このホストとの接続を確立することはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ESX ホストを通常モードに戻してから再試行してください。あるいは、別の ESX ホストを指定してください。

ANS2428E ESX ホスト '**ESXHOST**' は接続されていません。

説明: 指定された ESX ホストは vCenter 内で接続されていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: vCenter 内で ESX ホストを接続して再試行してください。あるいは、別の ESX ホストを指定してください。

ANS2430E データ・センター '**DATACENTER**' が見つかりません。

説明: 指定されたデータ・センターを vCenter で見つけることができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定されたデータ・センターが vCenter に存在することを確認してください。あるいは、別のデータ・センターを指定してください。

ANS2431E 一時データ・ストア '**TEMPDATASTORE**' が ESX ホスト '**ESXHOST**' で見つかりません。

説明: 指定された一時データ・ストアを指定された

ESX ホスト上で見つけることができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定されたデータ・ストアが ESX ホスト上に存在することを確認してください。あるいは、別のデータ・ストアを指定してください。

ANS2432E 一時データ・ストア '**TEMPDATASTORE**' は、ターゲット・データ・ストア '**DATASTORE**' と同じです。

説明: 指定する一時データ・ストアは、マシンのリストア先となるデータ・ストアとは別のデータ・ストアでなければなりません。Storage vMotion が正しく作動するには、2 つの異なるデータ・ストアを指定する必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 一時データ・ストアとして別のデータ・ストアを指定してください。

ANS2433E 瞬時リストア操作には、'**-vmtempdatastore**' オプションを指定する必要があります。

説明: Storage vMotion が正しく作動するには、2 つの異なるデータ・ストアを指定する必要があります。'**-vmtempdatastore**' オプションを使用して、一時データ・ストアを指定してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 一時データ・ストアを指定してください。

ANS2434E データ・ストア '**DATASTORE**' がホスト '**ESXHOST**' で見つかりませんでした。

説明: 指定されたデータ・ストアを ESX ホスト上で見つけることができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定されたデータ・ストアが ESX ホスト上に存在することを確認してください。あるいは、別のデータ・ストアを指定してください。

ANS2435E IBM Spectrum Protect Recovery Agent は、VM '**VM**' のスナップショットのディスク '**disk-label**' からのマウントを試行中に以下のエラーを検出しました。
FBCxxxxE-error-message

説明: iSCSI デバイスとして VM ディスクをマウントしようとする試みが失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Recovery Agent ログと FBCxxxxE エラー・メッセージを確認し、問題を解決してから、操作を再試行してください。

ANS2436E IBM Spectrum Protect Recovery Agent は、VM 'VM' のスナップショットのターゲット 'target' からのマウント解除を試行中に以下のエラーを検出しました。
FBCxxxxE-error-message

説明: iSCSI ターゲットから、指定した VM のスナップショットをマウント解除することができませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Recovery Agent ログと FBCxxxxE エラー・メッセージを確認し、問題を解決してから、操作を再試行してください。

ANS2442W Linux マウント・プロキシー・ノードの情報が使用できません。

説明: Windows マウント・プロキシーは、パートナーの Linux マウント・プロキシー・ノードの情報を取得できませんでした。

システムの処置: Linux マウント・プロキシーへの接続が確立されていません。

ユーザーの処置: Linux マウント・プロキシー・ノードがセットアップされており、DSMCAD サービスが Linux マウント・プロキシー・ノード上で稼働していることを確認してください。その後、この操作を再試行してください。

ANS2444E ホスト 'ESXHOST' のデータ・センターが見つかりません。

説明: ESX ホストが配置されているデータ・センターを判別することができません。

システムの処置: 操作は停止されました。

ユーザーの処置: ESX ホストの vCenter がデータ・センター内にあること、およびユーザーがこの情報にアクセスするための適切な権限を持っていることを確認してください。

ANS2445E 仮想マシン 'VM' は稼働中です。この VM を削除することはできません。

説明: 稼働中の仮想マシンを削除することはできません。

システムの処置: 操作は停止されました。

ユーザーの処置: 仮想マシンの電源をオフにするための

適切な権限を持っていることを確認し、VM を電源オフにして削除します。

ANS2447E ESX ホストから VM 'VM' を削除できませんでした。

説明: ESX ホストから仮想マシンを削除できません。

システムの処置: 操作は停止されました。

ユーザーの処置: 仮想マシンを削除するための適切な権限を持っていることを確認し、VM を削除します。

ANS2448E Mount コマンドが失敗しました。
使用されたコマンドは
COMMAND

。シェル・コマンドは次の結果を返しました:
RESULT

説明: マウント・コマンドは正常に完了しませんでした。

システムの処置: 操作は停止されました。

ユーザーの処置: Mount コマンドで返されたエラーの詳細情報から問題を判別してください。問題を解決し、コマンドを再実行してください。

ANS2452E ESX ホスト上で num_discovered 個の iSCSI デバイスが検出されましたが、予想された数は num_mounted 個でした。

説明: ESX ホスト・バス・アダプターをスキャンした後、検出されたデバイス数がマウント済みのデバイス数と異なっています。

システムの処置: 瞬時リストア・プロセスあるいは瞬時アクセス・プロセスは停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect マウントが正しい ESX ホスト IP を使用するように構成されていることを確認してください。環境をクリーンにするには、クリーンアップ・プロセスを実行する必要があります。

ANS2453E ホスト・バス・アダプターをスキャンしたときにエラーが発生しました。

説明: ESX ホスト・バス・アダプターをスキャンしたときにエラーが発生しました。

システムの処置: 瞬時リストア・プロセス、瞬時アクセス・プロセス、あるいはクリーンアップ・プロセスは停止します。

ユーザーの処置: ESX ホスト・バス・アダプターの問題をすべて修正した後、クリーンアップ・プロセスを実行してください。

ANS2454E iSCSI ターゲット *target_name* が ESX ホスト・バス・アダプターから切断されたときにエラーが発生しました。

説明: 示された iSCSI ターゲットが ESX ホスト・バス・アダプターから切断されたときにエラーが発生しました。

システムの処置: クリーンアップ操作は停止します。

ユーザーの処置: ESX ホスト・バス・アダプターの問題をすべて修正した後、クリーンアップ・プロセスを実行してください。

ANS2455I 仮想マシンが始動しました。ブートが完了したらマシンを使用することができます。また、**vCenter** コンソールから接続して、この仮想マシンの設定を管理することもできます。

説明: 仮想マシンは始動中です。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ブートの進行中には、仮想マシンに接続して、BIOS 設定を表示あるいは管理したり、ブート・ローダー・オプションを管理したり、その他のタスクを実行することができます。ブート・プロセスが完了したら、仮想マシンおよびそのアプリケーションとリソースを使用することができます。

ANS2462E 仮想マシン '*vm_name*' の **vMotion** タスクを開始できません。

説明: 指定された仮想マシンの瞬時リストアが試行されましたが失敗しました。クライアントが、仮想マシンをマイグレーションするための **vMotion** タスクを開始できませんでした。

システムの処置: 瞬時リストア操作は停止します。

ユーザーの処置: クライアントの **dserror.log** ファイルを調査して、**vMotion** タスクが失敗した理由を示すログ項目がないかを確認します。**vCenter** サーバーで、VM をマイグレーションした元の ESXi ホストの「タスクおよびイベント」タブから、失敗に関する追加情報を入手できる場合があります。可能な場合は、ログとイベントの記録を使用して、**vMotion** タスクが失敗した原因を判別し、問題を修正します。その後、仮想マシンをクリーンアップし (**Restore VM** コマンドに **-VMRESToretype=VMCleanup** オプションを付ける)、**vMotion** タスクを再開します。タスクを再開できない場合は、仮想マシンを停止し、**vSphere Web** クライアントを使用して、ホスト間での仮想マシンのマイグレーションを開始します。

ANS2463W インスタント・リストア情報をサーバーに保存することができません。

説明: 瞬時リストア情報をサーバーに保存しているときにエラーが発生しました。瞬時リストア・プロセスは引き続き実行中です。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: クライアントの **dserror.log** ファイルに、このエラーの理由をトラブルシューティングするのに役立つ情報が含まれている可能性があります。瞬時リストア・プロセスはそのまま完了させてください。仮想マシン上でクリーンアップ操作を実行する必要がある場合があります。**Restore VM** コマンドを使用し、**-VMRESToretype=VMCleanup** オプションを指定してください。

ANS2464E サーバーからインスタント・リストア情報を削除できません。

説明: サーバーから瞬時リストア情報を削除しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: 瞬時リストア操作は続行されます。

ユーザーの処置: このエラーの理由として最も可能性が高いのは、以前に **ANS2463W** 警告が発生しており、削除するデータがない場合です。以前に **ANS2463W** メッセージを見ていない場合は、クライアントの **dserror.log** ファイルにこのエラーのトラブルシューティングに役立つ情報が記載されている可能性があります。仮想マシンをクリーンアップして、サーバーから古い情報を削除してください。**Restore VM** コマンドを使用し、**-VMRESToretype=VMCleanup** オプションを指定してください。

ANS2465E ストレージ **vMotion** 操作中にエラーが発生しました。

説明: 稼働中の仮想マシンのマイグレーション中にストレージ **vMotion** タスクが失敗しました。

システムの処置: 瞬時リストア操作は停止します。

ユーザーの処置: クライアントの **dserror.log** ファイルを調査して、**vMotion** タスクが失敗した理由を示すログ項目がないかを確認します。**vCenter** サーバーで、VM をマイグレーションした元の ESXi ホストの「タスクおよびイベント」タブから、失敗に関する追加情報を入手できる場合があります。可能な場合は、ログとイベントの記録を使用して、**vMotion** タスクが失敗した原因を判別し、問題を修正します。その後、仮想マシンをクリーンアップし (**Restore VM** コマンドに **-VMRESToretype=VMCleanup** オプションを付ける)、**vMotion** タスクを再開します。タスクを再開できない場

合は、仮想マシンを停止し、vSphere Web クライアントを使用して、ホスト間での VM のマイグレーションを開始します。

ANS2466W 続行すると、この仮想マシン上で作成されたすべてのデータが失われます。
仮想マシンも **ESXi** ホストから削除されます。
これを本当に削除しますか? **Y** を押すと、仮想マシンのデータが失われ、**ESXi** ホストから仮想マシンが削除されます。
それ以外の任意のキーを押すと、データや **VM** を削除せずに続行します。

説明: 仮想マシンの作成後に作成されたすべてのデータを削除する操作を実行しています(続行が許可されている場合)。

システムの処置: **Y** を押すと、瞬時リストア操作は停止し、クリーンアップ操作が実行されます。

ユーザーの処置: プロンプトに応答してください。すべてのデータを破棄してサーバーから仮想マシンを削除するには、**Y** を押します。削除せずに続行するには、それ以外の任意のキーを押します。

ANS2467W 仮想マシン '*vm_name*' に対して作成されたスナップショットを削除できません。

説明: 瞬時リストア操作によって仮想マシンをリストアすると、スナップショットが作成され、仮想マシンのディスクに書き込まれたすべてのデータが保管されます。リストアが完了すると、**ESXi** ホストはスナップショットを削除します。指定された仮想マシンのスナップショットを削除できませんでした。

システムの処置: 操作を続行します。

ユーザーの処置: vSphere ログを調査して、スナップショットを削除できない理由を判別し、削除を妨げている問題を解決してください。その後、スナップショット・マネージャーを使用してスナップショットを削除してください。

ANS2468E 必要な **iSCSI** ターゲットが **ESX** ホスト上で見つかりませんでした。

説明: インスタント・リストア操作が開始されましたが、1 つ以上の必要な **iSCSI** ターゲットが **ESXi** ホスト上で見つかりませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **-VMISCSISERVERADDRESS** パラメーターで指定した IP アドレスが正しいことを確認してください。

ANS2469E **iSCSI** ターゲットを除去することができません。

説明: **iSCSI** ターゲットの除去を試行しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: この操作が失敗した理由について vSphere クライアント・ログ・ファイルを確認してから、**iSCSI** ターゲットを除去してください。失敗した **iSCSI** 静的ターゲットを除去するには、**ESXi** ホストの「構成」->「ストレージ・アダプター」に進み->**iSCSI** アダプターを選択し->選択したアダプター上で右クリックして->「プロパティ」->「静的ディスクカバリー」をクリックし、失敗した **iSCSI** ターゲットを選択して除去します。

ANS2471E **vMotion** タスク '*task*' を停止できません。

説明: 指定された **vMotion** タスクを停止することができませんでした。

システムの処置: 瞬時リストア操作は停止します。

ユーザーの処置: vSphere ログを調査して、マイグレーションを停止できない理由を判別してください。問題を解決し、**vMotion** タスクをキャンセルします。その後、**Restore VM** コマンドで

-VMRESToretype=VMFULLCleanup オプションを使用して、瞬時リストア操作で作成されたすべてのファイルおよびその他のリソースを削除してください。

ANS2472E 仮想マシン *vmname* の接続された **RDM** デバイスの **LUN** を検出できません。
この仮想マシンのリストア操作を完了できません。

説明: 指定した仮想マシンに使用される **RDM** デバイスの **LUN** は、欠落しているか、他のマシンにマップされているか、あるいは、デバイス名と **LUN** が一致していません。

システムの処置: リストア操作は停止します。

ユーザーの処置: **vmrestoretype=instantrestore** または **vmrestoretype=instantaccess** が指定されたリストア操作では、**iSCSI** サーバー・アドレスと **VMkernel** ポート・バインディングが一致していることを確認してください。この情報を検証するには、以下の内容を確認してください。1. **Data Protection for VMware** 構成ファイル **RecoveryAgent.conf** をチェックして、**iSCSI** サーバー・アドレスが正しいネットワーク・カードおよびセグメントにバインドされていることを確認します。2. vSphere クライアントを使用して **ESXi** ホストに接続し

ます。vSphere では、「構成」->「ストレージ・アダプター」を選択し、iSCSI アダプターのリストを表示します。確認するアダプターを右クリックします。次に、「プロパティー」->「ネットワーク構成」を選択します。「VMkernel ポート・バインディング詳細」出力で、VMkernel アダプターが、データ・ムーバー・ノードと同じサブネット上にあることを確認します。

ANS2473E 仮想マシン '*vm_name*' のスナップショットを作成できません。

説明: 指定された仮想マシンに対して瞬時リストア操作が試行されました。仮想マシンのリストアに使用するスナップショットを作成することができませんでした。

システムの処置: 瞬時リストア操作は停止します。

ユーザーの処置: vCenter ログを調査して、スナップショットを作成できなかった理由を判別し、瞬時リストア操作を再試行してください。

ANS2474E vMotion タスクがまだ稼働中のため、仮想マシン '*vm_name*' のインスタント・リストア操作後にクリーンアップできません。

説明: 指定された仮想マシンのインスタント・リストア操作はまだ実行中です。

システムの処置: クリーンアップ操作が停止します。

ユーザーの処置: QUERY コマンドを使用して、インスタント・リストア操作の状況をチェックします。

vMotion タスクの状況を判別するために vCenter を調査します。インスタント・リストアを停止する場合は、DP VMware GUI で操作をキャンセルするか、vCenter インターフェースから vMotion タスクを停止してください。その後、クリーンアップ操作を再開してください。

ANS2476E 別の仮想マシン名にリストアする場合は、**TARGETPATH** オプションを使用してリストア・ロケーションを指定する必要があります。

説明: VMNAME オプションで指定した仮想マシン名と異なる仮想マシン名にリストアする場合は、TARGETPATH オプションを使用してリストア・ロケーションを指定する必要があります。

システムの処置: 仮想マシンはリストアされません。

ユーザーの処置: TARGETPATH オプションを使用してリストア・ロケーションを指定してください。

ANS2484I 仮想マシン '*vm_name*' は正常にリストアされました

説明: 仮想マシンは正常にリストアされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: なし

ANS2485E IBM Spectrum Protect サーバーに照会して瞬時アクセス情報を取得することができません

説明: サーバーが瞬時アクセス情報に関する照会に応答しませんでした。

システムの処置: 仮想マシンのクリーンアップ操作は停止します。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルおよび IBM Spectrum Protect サーバーのアクティビティー・ログを調査して、このエラーの原因を判別してください。

ANS2488E iSCSI デバイスのマウントでエラーが発生しました。

説明: iSCSI デバイスのマウントを試行しているときにエラーが発生しました。dsmerror.log ファイルを調べて、このエラーの原因を判別してください。

システムの処置: 操作は停止されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2490E VM '*VM*' の電源をオフにできませんでした。

説明: 指定された仮想マシンの電源をオフにすることができませんでした。このため、仮想マシンをリストアするために作成されたリソースをクリーンアップすることができません。

システムの処置: リストア操作は停止されました。

ユーザーの処置: 仮想マシンの電源をオフにしてから、vSphere Web クライアントを使用して仮想マシンを削除します。

ANS2513I 仮想マシンにはディスクが取り付けられていません

説明: 仮想マシンは存在しますが、ディスクが取り付けられていません。マシンはクリーンアップすることができます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: なし

ANS2514I ディスク状況を判別できません

説明: このディスクの状況を判別することができません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: vSphere Client のログを調査して、マシンの問題を判別してください。ログ・エントリにこの仮想マシンの問題が示されていない場合は、vSphere Client で仮想マシンを調査して、ディスク状況が判別できない理由を判別してください。必要に応じて、vSphere 資料で追加ガイダンスを参照してください。

ANS2515I この仮想マシンに関する追加情報はありません。仮想マシンは削除されたか、名前が変更されています。

説明: この仮想マシンに関する情報を ESXi ホスト上で見つけることができません。仮想マシンは、既に削除されたか名前が変更された可能性があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: vSphere Client を使用して、この仮想マシンに何が起きたかを判別してください。仮想マシンの名前が変更されている場合は、一時リソースをクリーンアップする前に、Restore VM コマンドに -VMRESToretype=VMCLEANUP オプションを指定して、その仮想マシンがエラーなしで稼働していることを確認してください。

ANS2516E VMware ストレージ vMotion 操作が失敗しました。
vSphere Web クライアントを使用して手動でストレージ vMotion 操作を再開し、リストア操作を完了してください。
手動リカバリー・プロセスの詳細については、資料を参照してください。

説明: リストアされた VM への IBM Spectrum Protect 変更は、永続的に保存されない場合があります。

システムの処置: 失敗した vMotion 操作に対する IBM Spectrum Protect 自動クリーンアップを実行することはできません。

ユーザーの処置: イベント・ログを調査して、失敗の原因を判別してください。すべての問題を修正し、vSphere Web クライアントを使用して手動でストレージ vMotion 操作を再開し、リストア操作を完了してください。手動リカバリー・プロセスの詳細については、vMotion 資料を参照してください。

ANS2517E IBM Spectrum Protect サーバーに照会して瞬時リストア情報を取得することができません

説明: サーバーが瞬時リストア情報に関する照会に応答しませんでした。

システムの処置: 仮想マシンのクリーンアップ操作は停止します。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルおよび IBM Spectrum Protect サーバーのアクティビティ・ログを調査して、このエラーの原因を判別してください。

ANS2519E ディスク ¥"diskname¥" は、非アクティブ・パスを持つ iSCSI デバイスです。仮想マシンの電源をオフにすると、ESXi サーバーがハングします。これを回避するために、クリーンアップ操作は停止しました。

Query VM コマンドに **-detail** オプションを指定して、仮想マシンの詳細な状況情報を取得してください。

パスを修正して **iSCSI** の状態をアクティブにし、**VMFULLCleanup** 操作を再試行してください。

説明: 非アクティブな iSCSI デバイスを持つ稼働中の仮想マシンをクリーンアップすることはできません。

システムの処置: 仮想マシンのフル・クリーンアップ (VMRESToreType=VMFULLCleanup) 操作は停止します。

ユーザーの処置: 非アクティブ iSCSI リソースのトラブルシューティングについては、VMware サポート・ページで「troubleshooting iSCSI」あるいは「inactive iSCSI」などの検索ストリングを使用して検索してください。

ANS2520E ディスク「diskname」は、物理デバイスではありません。

vMotion は一部の仮想マシン・データをリストアできなかったため、インスタント・リストア・クリーンアップが停止しました。

Query VM コマンドに **-detail** オプションを指定して使用すると、指定したディスクの状態に関する情報を取得できます。

vMotion を使用して、仮想マシン・デバイスを手動でマイグレーションしてから、クリーンアップ操作を再試行してください。

説明: vMotion がすべての仮想マシン・リソースをリ

ストアできなかったため、瞬時リストアのクリーンアップ操作 (-VMRESToretype=VMCleanup) を完了することができません。

システムの処置: 仮想マシンのクリーンアップ操作は停止します。

ユーザーの処置: VMware 資料を参照して、vMotion を使用して仮想マシンをマイグレーションする方法を判別してください。その後、Restore VM コマンドに -VMRESToretype=VMCleanup オプションを指定して、クリーンアップ操作を再試行してください。この仮想マシンをリストアしない場合は、Restore VM コマンドに -VMRESTORTYPE=VMFULLCleanup オプションを指定して、仮想マシンとそのすべてのリソースを削除してください。

ANS2521E インスタント・リストア操作を行うには、**vMotion** およびストレージ **vMotion** の両方の有効なライセンスが必要です。

説明: 瞬時リストアは、ESXi ホストが vMotion およびストレージ vMotion の両方の有効なライセンスを持っている場合にのみ機能します。

システムの処置: 瞬時リストア操作は停止します。

ユーザーの処置: VMware から必要なライセンス入手し、そのライセンスを ESXi ホストに割り当ててください。

ANS2522W ユーザーは 'operationType' 操作を取り消しました。

説明: ユーザーはリストア/バックアップ操作をキャンセルしました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

ANS2523E 仮想マシン *vm* を、バックアップされたときと同じ構成にリストアすることはできません。 **IBM Spectrum Protect** は、最も重要な構成情報のみを含むように仮想マシンを再構成し、リストア操作を再試行します。

説明: リストア操作は、仮想マシンをその元の構成にリストアするのに失敗しました。このエラーは、仮想マシンがバックアップ時に置かれていたハードウェアと、リストアされた物理ホスト上のハードウェアの間に非互換性がある場合に、発生する可能性があります。 **IBM Spectrum Protect** は、最も必要な構成情報 (ビデオおよび仮想ディスク) 以外のすべての情報を除去して仮想マシンを再構成し、リストア操作を再試行します。

システムの処置: リストア操作は、再構成された仮想マシン情報を使用して続行されます。

ユーザーの処置: リストアが完了した後、リストアされた仮想マシンを要件に従って再構成してください。

ANS2524E ディスク '*vm*' から **VM 'disk'** のスナップショットをマウントしようとしたましたが、失敗しました。
ボリュームは別の操作でマウントされている可能性があり、再マウントできません。

説明: ディスク '*vm*' から **VM 'disk'** のスナップショットをマウントしようとしたますが、失敗しました。
ボリュームは別の操作でマウントされている可能性があり、再マウントできません。

システムの処置: マウント操作は停止します。

ユーザーの処置: マウント・クリーンアップ操作を実行してボリュームをマウント解除してから、マウント操作を再実行してください。

ANS2525E 作成済みの仮想マシンをパワーオンにできません。

説明: vSphere Server は、作成済みの仮想マシンをパワーオンにできません。

システムの処置: 操作はロールバックされ、停止されます。

ユーザーの処置: 詳しくは、dsrmerror.log ファイルを確認してください。vSphere ログを確認して、仮想マシンのパワーオン中に発生したエラーをチェックしてください。

ANS2526W **VM** のフルバックアップでは **VM_DONT_QUIESCE_ON_SNAPSHOT testflag** は推奨されません。
INCLUDE.VMSNAPSHOTATTEMPTS オプションを使用して、「ファイル・システム静止およびアプリケーション静止 (**VSS**) が無効にされた **VMware Tools**」によるスナップショットを試みます。

説明: **VM_DONT_QUIESCE_ON_SNAPSHOT testflag** は、**INCLUDE.VMSNAPSHOTATTEMPTS** オプションをオーバーライドします。その結果、すべてのスナップショット試行は、「ファイル・システム静止およびアプリケーション (**VSS**) 静止が無効にされた **VMware Tools**」が使用されます。

システムの処置:

INCLUDE.VMSNAPSHOTATTEMPTS オプションを使用して、「ファイル・システム静止およびアプリケーション

ョン (VSS) 静止が無効にされた VMware Tools」によるスナップショット試みを指定します。

ユーザーの処置: このオプションの設定方法については、INCLUDE.VMSNAPSHOTATTEMPTS 資料を参照してください。

ANS2527I ログイン要求が開始されました。

説明: ユーザーは、ファイル・リストア・インターフェースへログインするための要求を実行依頼しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2528I ログイン要求が正常に完了しました。
VM-OS=*os* **Data-Center=***datacenter*

説明: ユーザーは、ファイル・リストア・インターフェースに正常にログインしました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2529I ログイン要求が失敗しました。

説明: ファイル・リストア・インターフェースへのログイン中にエラーが発生しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 関連するログイン・エラーおよび認証エラーがないか、ログを確認してください。

ANS2530I ログアウト要求が開始されました。

説明: ユーザーが、ファイル・リストア・インターフェースからログアウトしたか、ファイル・リストア・インターフェースが非活動状態のためにタイムアウトになったかのいずれかです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2531I ログアウト要求が正常に完了しました。

説明: ユーザーは、ファイル・リストア・インターフェースから正常にログアウトしました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2532I ログアウト要求が失敗しました。

説明: ファイル・リストア・インターフェースからのログアウト中にエラーが発生しました。

システムの処置: ログアウト処理はエラーで完了しました。

ユーザーの処置: 関連するログアウト・エラーがないか、ログを確認してください。

ANS2533I マウント要求が開始されました。

Backup-ID=*backupId*

説明: ユーザーがロードするバックアップを選択しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2534I マウント要求が正常に完了しました。

Backup-Date=*backupDate*

Mount-ID=*mountId*

説明: バックアップは正常にマウントされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2535I マウント要求が失敗しました。

Backup-Date=*backupDate*

Mount-ID=*mountId*

説明: バックアップのマウント中にエラーが発生しました。

システムの処置: マウント処理は停止します。

ユーザーの処置: 関連するマウント・エラーがないか、ログを確認してください。

ANS2536I マウント解除要求が開始されました。

Backup-ID=*backupId*

Backup-Date=*backupDate*

Mount-ID=*mountId*

説明: ユーザーが別のバックアップをロードするために選択したか、ファイル・リストア・インターフェースからログアウトしました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2537I • ANS2601S

ANS2537I マウント解除要求が正常に完了しました。

Backup-ID=*backupId*
Backup-Date=*backupDate*
Mount-ID=*mountId*

説明: バックアップは正常にマウント解除されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2538I マウント解除要求が失敗しました。

Backup-ID=*backupId*
Backup-Date=*backupDate*
Mount-ID=*mountId*

説明: バックアップのマウント解除中にエラーが発生しました。

システムの処置: マウント解除処理は停止します。

ユーザーの処置: 関連するマウント解除エラーがないか、ログを確認してください。

ANS2539I リストア要求が開始されました。

Selection-Size=*selectionSize*
Alt-Destination=*altDestination*

説明: ユーザーが、ファイル、ディレクトリー、またはその両方をバックアップからリストアする要求を実行依頼しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2540I リストア要求が正常に完了しました。

説明: リストア要求が正常に実行依頼されました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2541I リストア要求が失敗しました。

説明: リストア要求中にエラーが発生しました。

システムの処置: リストア処理は停止します。

ユーザーの処置: 関連するリストア・エラーがないか、ログを確認してください。

ANS2542I 最終リストア処理統計が使用可能です。

Total Objects=*totalObjects* **Total**
Restored=*totalRestored* **Total**
Failed=*totalFailed* **Total Bytes=***totalBytes*
Completion Code=*completionCode*

説明: リストア処理統計には、リストア操作の状態を示

す完了コードが含まれます。

- 完了コード 0 は、すべての項目が正常にリストアされたことを示します。
- 完了コード 8 は、リストア操作は完了したが、一部の項目がリストアされなかったことを示します。
- 完了コード 12 は、リストア操作が正常に完了しなかったことを示します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 完了コードが 0 でない場合は、関連するリストア・エラーがないか、ログを確認してください。

ANS2600S ブラウザーがクライアントへの接続を確立しようとしたときにソケット例外 *exception-name* を受け取りました。

説明: ブラウザーは、IBM Spectrum Protect クライアント・コンピューターへの接続を試行中に例外を受信しました。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: LAN が立ち上がっていて、正しいポート番号に接続しようとしていることを確認してください。

追加情報がないか、エラー・ログ *dsmerror.log*、*dsmwebcl.log*、または *dsmj.log* を確認してください。これらのログのデフォルトのロケーションは、バックアップ・アーカイブ・クライアントのインストール・ディレクトリーです。

コマンド・ライン・クライアントが問題なく実行されることを確認してください。"**dsmc q sess**" のようなコマンドを使用して、コマンド・ライン・クライアントをテストします。

ANS2601S ブラウザーはクライアントへの接続を試行しましたが、不明なホスト例外 *exception-name* を受信しました。

説明: ブラウザーは、IBM Spectrum Protect クライアント・マシンへの接続を試行中に例外を受信しました。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が解決されない場合は、この種類の問題になりそうな原因を判別します。例えば、LAN がダウンしていないか調べるか、正しい IBM Spectrum Protect クライアント・マシンに接続しようとしているかを確認してください。

ANS2602S ブラウザーはクライアントへの接続を試行しましたが、入出力例外 *exception-name* を受信しました。

説明: ブラウザーは、IBM Spectrum Protect クライアント・マシンへの接続を試行中に例外を受信しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: この種類の例外になりそうな原因を判別します。操作を再試行して、LAN がダウンしていないかを確認します。

ANS2603S ブラウザーはクライアントへの接続を試行しましたが、例外 *exception-name* を受信しました。

説明: ブラウザーは、IBM Spectrum Protect クライアント・マシンへの接続を試行中に例外を受信しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: この種類の例外になりそうな原因を判別します。LAN がダウンしていないかどうか、または IBM Spectrum Protect マシン上の IBM Spectrum Protect クライアント・アクセプターが立ち上げられて稼働しているかどうかを判別します。

ANS2604S Web クライアント・エージェントがサーバーにより認証できませんでした。

説明: Web クライアント・エージェントは IBM Spectrum Protect サーバーにより認証できませんでした。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: 可能な解決策の 1 つとして、コマンド・ライン・クライアントを稼働すると、クライアントのパスワードを再入力できます。関係のあるメッセージがあるかどうか IBM Spectrum Protect Web クライアント・エージェント・システムのエラー・ログを検査することも、解決策の 1 つです。

ANS2605S ブラウザーはクライアントへの接続を再確立できませんでした - プロトコル・エラーを受信しました。

説明: ブラウザーは、クライアント・マシンに再接続しようとしてプロトコル・エラーを受信しました。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: この種類のエラーになりそうな原因を判別します。ブラウザーと IBM Spectrum Protect ク

ライアント・コードの同期がとれていない可能性があるので確認します。

ANS2606S 無効なパスワードがサーバーに送信されました。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーに送信されたパスワードが無効でした。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを持っていることを確認します。また、そのパスワードが、例えば、短すぎないなどのように有効であることを確認してください。

ANS2607S ブラウザーはクライアントへの接続を確立できませんでした。

説明: ブラウザーは IBM Spectrum Protect クライアント・マシンに接続できませんでした。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: この種類の問題になりそうな原因を判別します。LAN がダウンしていないかどうか、または IBM Spectrum Protect マシン上の IBM Spectrum Protect クライアント・アクセプターが立ち上げられて稼働しているかどうかを判別します。

ANS2609S ブラウザーとクライアント・マシン間の TCP/IP 通信が失敗しました。

説明: このエラーは、次のいずれかによって発生する可能性があります。

- IBM Spectrum Protect クライアント・マシンへの LAN 接続がダウンした。
- 正しくないポート番号を使用して IBM Spectrum Protect クライアント・マシンへ接続しようとした。
- IBM Spectrum Protect クライアント・マシン上のクライアント・アクセプターは、立ち上げられて稼働し、接続を受け入れる状態になっていない。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行して LAN が立ち上がっていることを確認します。また、ポート番号が正しいこと、クライアント・アクセプターが IBM Spectrum Protect クライアント・マシン上で開始され、稼働していること、および正しいポート番号で待機中であることをチェックしてください。

ANS2610S クライアントとサーバー・マシン間の
TCP/IP 通信が失敗しました。

説明: TCP/IP 通信を使用したサーバーとの接続の試みが失敗しました。これは、クライアント・オプション・ファイルの TCP/IP オプションの不正な設定による場合があります。このエラーは、LAN 接続がダウンした場合、あるいはシステム管理者がバックアップ操作を取り消した場合にも発生する可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアントは終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行して LAN が立ち上がっていることを確認します。IBM Spectrum Protect サーバーおよび IBM Spectrum Protect クライアントが、どちらもセットアップされて稼働していることを確認してください。

ANS2611S ブラウザーで不明のエラーが発生しました。

説明: ブラウザー内で実行中のアプレット内で不明のエラーが発生しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。まだ問題が解決されない場合は、トレースを行って、ブラウザー・コンソールへのトレースによってエラーの原因が分かるかどうか調べます。

ANS2612S クライアントで不明のエラーが発生しました。

IBM Spectrum Protect エラー・ログに追加情報がないか調べてください。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントで不明のエラーが発生しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアントは終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。まだ問題が解決されない場合は、追加情報について IBM Spectrum Protect エラー・ログを検査してください。

ANS2613S **Web** ブラウザーとクライアントの間で通信プロトコル・エラーが発生しました。

説明: ありません。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が再発する場合は、IBM Spectrum Protect Web クライアントが正しくインストールおよび構成されており、サポ

ートされているブラウザーを使用していることを確認してください。ブラウザー・キャッシュをフラッシュしてください。その後で、操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、ターゲット・マシンの Web クライアントと IBM Spectrum Protect Java アプレットの SERVICE トレースを使用可能にし、問題を再現してください。さらに援助が必要な場合には、トレースを収集し、IBM に連絡してください。

ANS2614S クライアントとサーバーの間の通信でプロトコル・エラーが発生しました。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントと IBM Spectrum Protect サーバーの間でプロトコル・エラーが発生しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアントは終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。まだ問題が解決されない場合は、追加情報について IBM Spectrum Protect エラー・ログを検査してください。正しいアプレットを適切なレベルのクライアントで実行していることを確認します。

ANS2615S 入力されたユーザー ID がクライアント・マシンで構成されたノード名と一致しません。

説明: 入力されたユーザー ID は、この IBM Spectrum Protect クライアント上のノード名と同じではありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: 入力されたノード名が IBM Spectrum Protect クライアント上で正しく構成されていることを確認します。

ANS2616I 変更を有効にするには、マシンをリポートしなければなりません。

説明: リストアされたレジストリー変更が効果を持つためには、マシンを開始する必要があります。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: マシンをリポートします。

ANS2617S 指定された宛先ディレクトリーは無効です。

説明: ユーザーは、リストアまたはリトリーブ用に無効な宛先ターゲット・ディレクトリーを指定しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: 有効なディレクトリー名を指定して操作を再試行してください。

ANS2619S クライアント・アクセプターはリモート・クライアント・エージェントを開始できませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect クライアント・アクセプターは IBM Spectrum Protect リモート・クライアント・エージェントを開始できませんでした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: 関係のあるメッセージがあるかどうか IBM Spectrum Protect Web クライアント・エージェントのエラー・ログを検査します。問題を訂正して、再試行してください。

ANS2620W 全分岐の拡張操作には長時間かかる可能性があります、
開始した後に取り消すことはできません。
操作が完了するのを待ちますか?

説明: 全分岐の拡張操作には長時間を要し、開始した後に取り消すことはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。ユーザーの介入を待ちます。

ユーザーの処置: 全分岐の拡張操作を開始するには、「はい」と応答します。「いいえ」と応答すると、現在の操作は取り消されます。

ANS2622S 無効な ID またはパスワードが送信されました。

説明: この ID が IBM Spectrum Protect に登録されていないか、ID に対してパスワードが誤っています。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: 使用している ID が、リモート・クライアント・ノードの接続先 IBM Spectrum Protect サーバーに存在していることを確認してください。この ID には、リモート・クライアント・ノードのデータにアクセスできる十分な特権が必要です。また、ID の正しいパスワードを使用していることを確認してください。ID が存在しないか、またはパスワードが不明な場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。ID が存在していない場合には、IBM Spectrum Protect 管理者が **REGISTER ADMIN** コマンドと **GRANT AUTHORITY** コマンドを使用して、リモート・クライアント・ノードのデータにアクセスできる ID を登録できます。

パスワードが不明な場合、IBM Spectrum Protect 管理者は **UPDATE ADMIN** コマンドを使用してパスワードをリセットできます。

ANS2623S Web クライアントのアプレット・レベルが Web クライアント・エージェントと同期していません。

説明: Web クライアント・アプレットと Web クライアント・エージェントのレベルが非互換です。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: クライアントに正しいレベルのアプレットがインストールされていること、および誤ったレベルのアプレットがインストール・ディレクトリーに置かれていなかったことを確認してください。

ANS2624E この操作にはクライアント所有者権限が必要です。

説明: ユーザーのユーザー ID には、この操作の実行に十分な権限がありません。

システムの処置: 処理を続行しますが、ユーザーはこの操作を行う許可を受けていません。

ユーザーの処置: この操作を実行しないか、またはこの操作を実行するためにユーザー ID に高い権限レベルを取得してください。

ANS2625E ノードは、このイメージ操作をサポートしません。

説明: ノードは、このイメージ操作をサポートしないか、このイメージ操作を行うために構成されていません。

システムの処置: 処理を続行しますが、ユーザーはこの操作を行う許可を受けていません。

ユーザーの処置: このイメージ関連オペレーションが、ターゲット・プラットフォームで、サポートされているかまたは構成されているかを確認してください。

ANS2626E 包含/除外ステートメント:
ieStatement
には無効文字が含まれています。

説明: 指定された包含/除外ステートメントには無効文字が含まれています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は指定された包含/除外ステートメントをリストに追加しません。

ユーザーの処置: 有効な文字を含む別のステートメントで操作を再試行してください。

ANS2627W オブジェクト '*full-name*' の NTFS セキュリティー属性を設定できませんでした。
Windows システムのエラー・コード:
error; 理由: '*error-reason*'. デフォルトの
NTFS セキュリティー属性が設定されています。

説明: IBM Spectrum Protect はファイルの NTFS セキュリティー属性を設定できませんでした。取り込まれたエラー情報に障害の理由が示されています。デフォルトの NTFS セキュリティー属性が設定されています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: NTFS セキュリティー属性が設定されなかった理由を説明する、コードの理由フィールドを確認してください。エラーの原因となった状態を訂正し、操作を再試行してください。問題が続く場合は、支援を求めるためにシステム管理者または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS2628W 名前付きオブジェクト・ストリーム '*file_space_namepath_namefile_name*' の作成に失敗しました。

説明: プロセスは、名前付きストリームを作成できませんでした。

システムの処置: 名前付きストリームがリストア/リトリブされることはありません。

ユーザーの処置: オブジェクトは、名前付きストリームなしにリストアされます。オブジェクトを検査して、それが使用可能であるか確認する必要があります。このメッセージが書き込まれたときに記録されたはずのクライアント・エラー・ログで ANS5250E エラー・メッセージがないか確認し、修正アクションを行い、操作を再試行してください。問題が続く場合は、支援を求めるためにシステム管理者または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS2629I マイグレーション: ファイル・スペースは永久増分モデルにマイグレーションされます。

説明: 定期的なフル・モデルを使用して以前にバックアップされた仮想マシンに対して初めて永久増分 - 増分 (IFIncr) バックアップが実行され、前回のバックアップが増分バックアップである場合、バックアップ・チェーンが永久増分モデルにマイグレーションされます。

システムの処置: これは単なる通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2630E vCloud Suite プラグイン・ライブラリーの **Java** ランタイム・ライブラリーは、ロードまたは初期化に失敗しました。

説明: vCloud Suite プラグイン・ライブラリーに必要な Java ランタイム・ライブラリー (libjvm) がロードできないか、Java ランタイム環境の初期化に失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Linux オペレーティング・システムの場合、Java インストール・パスの下に '*jre*' ディレクトリーを参照する '*jre*' という名前のリンクが、バックアップ・アーカイブ・クライアントのインストール・ディレクトリーに存在することを確認してください。リンクが存在しない場合は、リンク (`ln -s /opt/ibm/java-x86_64-70/jre /opt/tivoli/tsm/client/ba/bin/jre` など) を作成してください。あるいは、LD_LIBRARY_PATH を変更して、libjvm.so へのパス (`export LD_LIBRARY_PATH=$LD_LIBRARY_PATH:/opt/tivoli/tsm/client/ba/bin:/opt/ibm/java-x86_64-70/jre/bin/classic` など) を組み込んでください。Windows オペレーティング・システムの場合、クライアントのインストール・ディレクトリーの下に JRE ディレクトリーが存在していることを確認してください。必要な場合は、バックアップ・アーカイブ・クライアントを再インストールしてください。

ANS2631E vCloud Suite プラグイン・ライブラリーを初期化できません。

説明: vCloud Suite プラグイン・ライブラリーの初期化に失敗しました。この問題は、Java ランタイムがインストールされていないことが原因の可能性があります。

システムの処置: vCloud Suite 操作を実行できません。

ユーザーの処置: Java がインストールされていることを確認します。

ANS2632E vCloud Suite プラグイン・ライブラリーを **Java** ランタイムに接続できません。

説明: vCloud Suite プラグイン・ライブラリーの JVM ランタイムへの接続に失敗しました。この問題は、Java ランタイムが破損しているか不完全なインストールが原因の可能性があります。

システムの処置: vCloud Suite 操作を実行できません。

ユーザーの処置: Java がインストールされており、正しく機能していることを確認してください。

ANS2633E vCloud Suite プラグイン・ランタイム・ライブラリーは、'*psc-host*' 上の **Platform Services Controller** に、ユーザー名 '*user-name*' でログインすることができませんでした。認証に失敗しました。

説明: VMCUSER オプションまたは VMCPW オプションに指定された vCloud Suite のシングル・サインオン資格情報は、Platform Services Controller に拒否されました。

システムの処置: vCloud Suite 操作を実行できません。

ユーザーの処置: ターゲットとなっている Platform Services Controller の有効な資格情報を使用して VMCUSER オプションおよび VMCPW オプションを更新します。

ANS2634E vCloud Suite プラグイン・ランタイム・ライブラリーは、'*psc-host*' 上の **Platform Services Controller** へのログインに失敗しました。

説明: VMCHOST オプションを使用して、Platform Services Controller への接続を確立できませんでした。

システムの処置: vCloud Suite 操作を実行できません。

ユーザーの処置: VMCHOST オプションの値が適切であること、ホストへのネットワーク接続が存在していること、Platform Services Controller サービスが稼働中であることを確認してください。このオプション・ファイルで、この問題に関連している可能性がある追加のメッセージがないかを確認するために、VCLOUD トレースを有効にしてください。

ANS2635E vCloud Suite プラグイン・ランタイム・ライブラリーで内部エラーが発生しました。

説明: vCloud Suite プラグイン・ライブラリーには、キャッチされなかった予期しない内部エラーが発生しました。

システムの処置: vCloud Suite 操作を実行できません。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、この問題に関連している可能性がある追加のメッセージがないかを確認してください。オプション・ファイルで VCLOUD トレースを有効にしてください。

ANS2636E vCloud Suite プラグイン・ライブラリーは初期化されていません。

説明: vCloud Suite プラグイン・ライブラリーは初期化されていません。この問題は、プラグイン・ライブラリーのロードまたは初期化時にエラーが発生したことが原因の可能性があります。

システムの処置: vCloud Suite 操作を実行できません。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、この問題に関連している可能性がある追加のメッセージがないかを確認してください。オプション・ファイルで VCLOUD トレースを有効にしてください。

ANS2640I 仮想マシン '*VM-name*' は、'*exclude-category*' カテゴリーおよび '*exclude-tag*' タグを使用して構成されているため、バックアップ操作から除外されます。

説明: クライアント・オプション '*VMTAGDATAMOVER*' が有効にされているため、IBM カテゴリーおよびタグを仮想マシンに適用することができません。

システムの処置: 仮想マシンは、スケジュールされたバックアップ操作から除外されます。

ユーザーの処置: 仮想マシンをスケジュールされたバックアップに含める必要がある場合は、タグを削除して、仮想マシンのオンデマンド・バックアップを実行するか、あるいは、クライアント・オプション・ファイルで '*VMTAGDATAMOVER*' オプションを '*No*' に設定してください。

ANS2641E クライアントは、VMware vCloud Suite プラグイン・ライブラリー '*piVcloudSuiteJNI*' のロードに失敗しました。

説明: VMware vCloud Suite プラグイン・ライブラリー '*piVcloudSuiteJNI*' が見つからなかったか、ロードできませんでした。この問題は、ライブラリーが破損しているか、インストールが不完全であることが原因の可能性があります。

システムの処置: この操作は、VMware vCloud Suite プラグイン・ライブラリーがなければ完了することができません。

ユーザーの処置: VMware vCloud Suite プラグイン・ライブラリー '*piVcloudSuiteJNI*' がクライアント・インストール・フォルダーの '*plugins*' フォルダー内にあることを確認するか、クライアント・オプション

'VMTAGDATAMOVER' を無効にしてください。

ANS2642E VMware vCloud Suite プラグイン・ライブラリーは、必要な Java クラスまたはメソッドを検出できませんでした。

説明: VMware vCloud Suite プラグイン・ライブラリーは、必要な Java クラスまたはメソッドの検出に失敗しました。この問題は、インストールが不完全であるか、VMware vCloud Suite プラグイン JAR 'piVcloudSuiteJwrapper.jar' ファイルが欠落しているか、あるいは JAR ファイルが Java クラスパス内にならないことが原因である可能性があります。

システムの処置: この操作は、VMware vCloud Suite プラグイン・ライブラリーがなければ完了することができません。

ユーザーの処置: VMware vCloud Suite プラグイン・ライブラリー JAR 'piVcloudSuiteJwrapper.jar' がクライアント・インストール・フォルダーの 'plugins' フォルダー内にあり、他の JAR ファイルが 'plugins/sdk' にあることを確認するか、クライアント・オプション 'VMTAGDATAMOVER' を無効にしてください。

ANS2643I 仮想マシン 'VM-name' のオンデマンド・バックアップを実行しています。仮想マシンは、'exclude-category' カテゴリーおよび 'exclude-tag' タグを使用して構成されています。

説明: クライアント・オプション 'VMTAGDATAMOVER' が有効になっているため、IBM カテゴリーおよびタグを仮想マシンに適用することができますが、オンデマンド・バックアップによって除外のためのタグ設定がオーバーライドされます。

システムの処置: バックアップ操作は継続します。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2644I 仮想マシン 'VM-name' は 'exclude-category' タグで構成されておらず、デフォルトのデータ・ムーバーによってのみバックアップ可能です。仮想マシンは、スケジュールされたバックアップ操作から除外されます。

説明: クライアント・オプション 'VMTAGDATAMOVER' が有効にされているため、IBM カテゴリーおよびタグを仮想マシンに適用することができます。アクティブ・データ・ムーバーはデフォルトのデータ・ムーバーではないため、バックアップ操作を実行できません。

システムの処置: 仮想マシンは、スケジュールされたバ

ックアップ操作から除外されます。

ユーザーの処置: スケジュール・バックアップにこの仮想マシンを組み込みたい場合、データ・ムーバー・タグを仮想マシンに割り当てるか、VMTAGDEFAULTDATAMOVER オプションを使用することで、データ・ムーバーがデフォルト・データ・ムーバーとして設定されていることを確認してください。

ANS2666S ソース・ボリュームまたはターゲット・ボリュームが重複しています。同じボリュームが複数のボリューム・パスにマウントされています。

説明: このエラーは、ソース・ボリュームが複数のボリューム・パス (例えば、ドライブ名や 1 つ以上のマウント・ポイント・ディレクトリーなど) にマップされている場合に発生することがあります。IBM Spectrum Protect はボリューム・パスを使用してその内部バックアップ・データベース内のバックアップ情報を追跡するため、重複したボリューム・パスを持つ同じボリュームをバックアップすることはできません。エラー・ログ内の追加情報を確認してください。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はボリュームを選択することができません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect によって管理されていないときに作成された最後のスナップショットを削除してください。単一のマウント・ポイントが同じソース・ボリュームを指すようにするために、重複したボリューム・パスをアンマウントしてください。IBM Spectrum Protect を再始動し、操作を再試行します。

ANS2667I スキャン操作は正常に完了しました。

説明: 仮想マシンのスキャンが正常に完了しました。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2668E 予期しないエラーでスキャン操作が失敗しました。

説明: ゲスト・スキャン操作中に予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログで追加情報がなければ確認してください。

ANS2669I ゲスト・オペレーティング・システム・プラットフォームはサポートされていません。

説明: 仮想マシンのオペレーティング・システムは、スキャン操作でサポートされていませんでした。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2670I ゲスト内のリモート・ディレクトリーは、他のアプリケーションが使用しています。

説明: ディレクトリーが別のアプリケーションによって使用されているため、スキャン操作は、リモート・ディレクトリーにファイルをコピーできませんでした。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: リモート・ディレクトリーがロック解除されていることを確認してください。その後、スキャン操作を再スケジュールしてください。

ANS2671I **VMware** サーバー上で仮想マシン名が見つかりませんでした。

説明: なし

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2672W 指定された仮想マシン名で、ホスト名を見つけないことができませんでした。

説明: この問題は、仮想マシンが稼働しておらず、固定 IP アドレスがないことが原因の可能性があります。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: ゲストが適切に構成されていることを確認してください。その後、スキャン操作を再スケジュールしてください。

ANS2673I 重複する仮想マシン名が検出されました。

説明: なし

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プ

ロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2674I 仮想マシンは **ESX** サーバーに接続されていません。

説明: なし

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2675E プロキシはリジェクトされました。指定されたデータ・ムーバー・ノードにプロキシ権限が付与されていません。

説明: 仮想マシンのスキャンに失敗しました。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: **IBM Spectrum Protect** サーバー管理者は、このノードのプロキシ権限を付与する必要があります。管理者コマンド「**Grant Proxynode**」を参照してください。

ANS2676W ゲスト・オペレーティング・システムの資格情報が見つかりませんでした。

説明: ゲストのスキャン操作には、有効なオペレーティング・システム資格情報が必要です。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: ゲスト・オペレーティング・システムの資格情報が設定されていることを確認してください。その後、スキャン操作を再スケジュールしてください。

ANS2677W ゲスト・オペレーティング・システムの資格情報が無効です。

説明: ゲストのスキャン操作には、有効なオペレーティング・システム資格情報が必要です。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: 有効なゲスト・オペレーティング・システムの資格情報が設定されていることを確認してください。その後、スキャン操作を再スケジュールしてください。

ANS2678I ゲスト・マシンの電源がオフにされています。

説明: なし

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2679I ゲスト・マシン上の **VMware Tools** が実行されていません。

説明: なし

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2680I ゲスト・マシン上の **VMware Tools** のバージョンが最新ではありません。

説明: なし

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2681W **ESX** ホストまたは **vCenter** のバージョンがサポートされていません。

説明: **ESX** ホストまたは **vCenter** がダウン・レベル・バージョンです。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: サポートされる **ESX** および **vCenter** のバージョンについては、製品資料を参照してください。

ANS2682I ゲストの資格情報の許可が不十分です。

説明: なし

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2683W リモート・ホストと通信できません。

説明: この通信の問題は、ネットワーク・エラーまたはホストが応答しないことが原因です。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: ネットワークおよびホスト接続が正しく構成されていることを確認してください。その後、スキャン操作を再スケジュールしてください。

ANS2684I ゲストの操作エージェントに接続できませんでした。

説明: なし

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2685I この **VM** はテンプレートです。

説明: **VM** テンプレートは、スキャン操作でサポートされません。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: なし

ANS2686E **VM** スキャンの初期化でエラーが発生しました。

説明: **VM** スキャン操作で、初期化中にエラーが発生しました。

システムの処置: この仮想マシンに対するスキャン・プロセスは停止します。データ・センター内の次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログを確認し、追加情報をトレースしてください。

ANS2687W 仮想マシン '**VM-name**' に、**VMMAXVIRTUALDISKS** オプションで設定されている最大サイズを超えるディスクが 1 つ以上含まれています。
VMMAXVIRTUALDISKS オプションを使用して最大サイズを変更するか、'**-VMSKIPMAXVIRTUALDISKS=yes**' オプションを指定してこれらのディスクをバックアップから除外することができます。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、最大サイズより大きい VMDK をバックアップしません。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: VM MAXVIRTUALDISKS オプションを使用して最大サイズを変更するか、'-VMSKIPMAXVIRTUALDISKS=yes' オプションを指定してこれらのディスクをバックアップから除外してください。

ANS2688E 永久増分バックアップを使用してバックアップされた **Hyper-V** 仮想マシンのリストアは、**Windows 2008** または **Windows 2008 R2** のホスト上では許可されません。リストア操作は、**Windows 2012** 以降の **Hyper-V** ホストで実行する必要があります。

説明: 永久増分バックアップでバックアップされた **Hyper-V** 仮想マシンは、**Windows 2012** 以降の **Hyper-V** ホストでのみリストアできます。

システムの処置: リストア操作が開始されません。

ユーザーの処置: **Windows 2012** 以降の **Hyper-V** ホストで操作を再試行してください。

ANS2689E **Hyper-V command subcommand** コマンドが指定されましたが、ホスト・システム上で **Hyper-V** 役割が有効にされていません。

説明: **Hyper-V** 操作が行われるホスト・システム上では **Hyper-V** 役割が有効になっている必要があります。現在のシステムは **Hyper-V** 役割が有効になっていません。

システムの処置: 操作は開始されません。

ユーザーの処置: **Hyper-V** 役割が有効にされているホストから操作を再試行してください。

ANS2690E **Hyper-V BACKUP VM** コマンドがモード **IFFULL** または **IFINCR** で指定されましたが、**Data Protection for Microsoft Hyper-V** ライセンス・ファイルが存在しないか無効です。

説明: **Hyper-V BACKUP VM** コマンドをモード **IFFULL** または **IFINCR** で実行するには、**Data Protection for Microsoft Hyper-V** ライセンス・ファイルが必要です。**Data Protection for Microsoft Hyper-V** ライセンス・ファイルがインストールされていることを確認してください。

システムの処置: バックアップは開始されません。

ユーザーの処置: **Data Protection for Microsoft Hyper-V** ライセンス・ファイルがインストールされているホストから操作を再試行してください。あるいは、**BACKUP VM** コマンドを発行して、モード **FULL** を指定します。

ANS2691E **Hyper-V BACKUP VM** コマンドがモード **FULL** で指定されましたが、**Data Protection for Microsoft Hyper-V** ライセンス・ファイルが存在します。モード **IFFULL** または **IFINCR** を指定する必要があります。

説明: モード **FULL** を使用した **Hyper-V BACKUP VM** コマンドは、**Data Protection for Microsoft Hyper-V** ライセンス・ファイルがインストールされているホストでは許可されません。代わりに、モード **IFFULL** または **IFINCR** を使用して **BACKUP VM** コマンドを実行してください。

BACKUP VM コマンドをモード **FULL** で実行する必要がある場合、**Data Protection for Microsoft Hyper-V** ライセンス・ファイルをアンインストールする必要があります。ただし、ライセンス・ファイルをアンインストールすると、**IFINCR** バックアップ・チェーンが無効になります。そのため、**IFFULL** が実行されるのは、**Data Protection for Microsoft Hyper-V** ライセンス・ファイルが再インストールされる場合になります。

システムの処置: バックアップは開始されません。

ユーザーの処置: 操作を再試行して、モード **IFFULL** または **IFINCR** を指定します。

ANS2692E 仮想マシン (**VM_name**) のファイル・スペースを登録中にエラーが発生しました。

説明: 指定した仮想マシンのファイル・スペースを登録中にエラーが発生しました。

システムの処置: この仮想マシンのバックアップは失敗します。バックアップ処理は他の仮想マシンでは続行できます。

ユーザーの処置: エラー・ログでこの問題の解決方法に関する情報を確認します。

ANS2693E 仮想マシン (**VM_name**) のファイル・スペースを登録中にエラーが発生しました。現在、削除されている同じ名前のファイル・スペースが存在します。

説明: 指定した仮想マシンのファイル・スペースを登録中にエラーが発生しました。**IBM Spectrum Protect** サ

ーバー上で、同じ名前のファイル・スペースが現在、削除されています。

システムの処置: この仮想マシンのバックアップは失敗します。バックアップ処理は他の仮想マシンでは続行できます。

ユーザーの処置: ファイル・スペースの削除が終了するまで待機して、バックアップ・コマンドを再実行してください。

ANS2694W 仮想マシン 'VM-name' でアプリケーション保護が有効になっていますが、この仮想マシンには、アプリケーション保護操作での最大許容サイズである **2 TB** を超えるディスクが **1** つ以上含まれています。この仮想マシンをバックアップするには、アプリケーション保護を無効にする必要があります。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、アプリケーション保護が使用されている場合に **2 TB** を超える VMDK をバックアップしません。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: 指定された仮想マシンをバックアップするには、アプリケーション保護を無効にする必要があります。

ANS2695W 定期的フルバックアップ・モードが使用されていますが、仮想マシン 'VM-name' には、定期的フルバックアップ・モードでの最大許容サイズである **2 TB** を超えるディスクが **1** つ以上含まれています。
'-VMSKIPMAXVIRTUALDISKS=yes' オプションを使用してこれらのディスクをバックアップから除外するか、永久増分バックアップ・モードに変更することができます。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、定期的フルバックアップ・モードが使用されている場合に **2 TB** を超える VMDK をバックアップしません。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: **'-VMSKIPMAXVIRTUALDISKS=yes'** オプションを使用してこれらのディスクをバックアップから除外するか、永久増分バックアップ・モードに変更してください。

ANS2697E 「datastore」という名前のデータ・ストアが存在しないか、または非アクティブであるため、仮想マシンをリストアできません。

説明: 仮想マシンがバックアップされるときに参照したデータ・ストアが、仮想マシンのリストア先とされている ESX/ESXi 上に存在しないか、または非アクティブになっています。

システムの処置: 仮想マシンをリストアできません。

ユーザーの処置: 欠落しているデータ・ストアを見つけるか、または **Restore VM** コマンドに **-datastore** オプションを指定して仮想マシン・ファイルのリストア先にする既存データ・ストアを指定してください。

ANS2698E スナップショット操作は失敗しました。

説明: VSS または LVSA スナップショットをベースとした操作を実行している場合は、スナップショットの大きさが、スナップショットの作成後にファイル・システムに対して行われたすべての変更を含めるのに十分ではなかったことが考えられます。これが原因でスナップショットが無効になったために、IBM Spectrum Protect クライアントがスナップショットを読み取れなかった可能性があります。

システムの処置: 要求された操作は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、このエラーに関連している追加のメッセージがないか確認してください。メッセージに示されている修正処置を行い、操作を再試行してください。

ANS2699W vApp 'vapp name' の VM 'vm name' のインポートが失敗しました。

説明: vSphere から vCloud vApp への VM のインポート操作が失敗しました。

システムの処置: vApp のリストア処理は続行されます。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、VM がインポートされなかった理由に関する情報を確認してください。その後、操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、IBM Support Portal (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/>) で追加情報を参照してください。

ANS2700E vApp 'vapp name' の VM 'vm name' をリストアすることができません。VM バックアップ・データがありません。

説明: vApp のリストア中に、リストア対象の vApp

バージョン内の VM をリストアすることができませんでした。これは、この VM が正常にバックアップされていなかったことが原因です。

システムの処置: リストア操作は続行され、有効な vApp バックアップ・データがある場合は、そのリストアを試行します。

ユーザーの処置: 指定された VM のバックアップが失敗した理由を示すメッセージがないか、クライアント・エラー・ログを調査してください。さらに支援が必要な場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS2701E 行おうとしたデータベース操作は正常に実行されませんでした。エラー・ログで追加情報を調べてください。

説明: 処理は停止します。

システムの処置: 予約済み。

ユーザーの処置: エラー・ログで失敗に関する情報を調べ、さらに必要なアクションを行ってください。

ANS2704E エラー: vCenter Server バージョンが ESX ホスト・バージョンより低いレベルにあるか、VMCUser オプションにより指定されたユーザー ID に操作を実行する十分な許可がありません。

説明: vCenter が、ライセンスに問題があることを示すエラーを返しました。vCenter サーバーのバージョンが ESX ホストのバージョンよりも低いレベルである場合、このエラーが発生する可能性があります。vCenter サーバーのバージョンは、ESX ホストのバージョンと同じ (またはそれ以上の) レベルでなければなりません。VMCUser オプションによって指定されたユーザー ID に、操作を実行するために十分な許可がない場合、または vCenter サーバー・レベルで許可が適用されていない場合にも、このエラーが発生する可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: vCenter サーバーが正しいレベルであること、また VMCUser オプションによって指定されたユーザー ID に、操作を実行するために十分な許可があることを確認してください。

ANS2705S リストア用に使用できる DB2 UDB 区画はありません。

説明: IBM Spectrum Protect サーバー上にはリストアに使用できる DB2 UDB 区画がありません。以前のバックアップが完了する前に異常終了したことが、まず原因として考えられます。DB2 UDB データベースと選

択された区画はリストアできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 同じデータベース、ファイル、および日付基準を使用して、-DETAIL パラメーターを指定した IBM Spectrum Protect クライアント・コマンド QUERY DB2UDB を実行し、リストアに使用できるデータベース区画があるかどうか調べてください。あるいは、異なるバックアップを使用して DB2 UDB データベースをリストアしてください。

ANS2711E 仮想マシン 'VM-name' のスナップショットがバックアップ時に除去されました。

説明: 仮想マシンのスナップショットは、バックアップ中に別のアプリケーションまたはプロセスによって除去されました。この除去によってバックアップが破壊され、使用不可になります。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: バックアップ中は、別のアプリケーションまたはプロセスによって仮想マシンが除去および変更されないようにしてください。

ANS2712W 仮想マシン 'name' では、VMware Tools が稼働中ですが、VMware Tools は古いバージョンです。

説明: サポートされるバージョンの VMware Tools がインストール済みで、仮想マシンのバックアップを実行している必要があります。

システムの処置: バックアップ操作は失敗します。

ユーザーの処置: サポートされるバージョンの VMware Tools がインストールされており、実行中であることを確認してください。その後、バックアップ操作を再試行してください。

ANS2713E 仮想マシン 'VM-name' は、無効な接続状態 'state' になっています。そのため、バックアップすることはできません。

説明: 仮想マシンをバックアップするには、アクセスするために 'connected' 状態でなければなりません。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: 仮想マシンを 'connected' 状態に戻し、バックアップを再試行してください。

ANS2714W バックアップの宛先 '*dest*' に指定された管理クラス '*mc*' が無効です。デフォルト管理クラスが使用されます。

説明: ありません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、DB2 UDB 用構成ユーティリティの実行と、有効な管理クラスの指定を依頼してください。

ANS2715E 仮想マシン '*VM-name*' は、フォールト・トレラント仮想マシンとして構成されています。そのため、バックアップすることはできません。

説明: vSphere は、vStorage API for Data Protection を使用しているフォールト・トレラント仮想マシンのスナップショットおよびバックアップを許可しません。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: vStorage API for Data Protection を使用しているフォールト・トレラント仮想マシンをバックアップするには、最初にフォールト・トレラントを無効にします。その後、バックアップが完了した後でフォールト・トレラントを有効にします。

ANS2716E バックグラウンド・コピー・プロセスがローカル・ハードウェア上でまだ保留中です。バックグラウンド・コピー・プロセスが完了するまで、リストア操作を開始できません。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックグラウンド・コピー・プロセスの完了を待ってから、リストア操作を再試行してください。

ANS2717E マルチノード定義には、それ自身のバックアップ・ファイルをサーバーから削除する権限がありません。

説明: すべての DB2 UDB コマンドでは、ローカル・バックアップ・リポジトリとサーバーのバックアップ・リポジトリを正しく調整するために、マルチノード定義がそれ自身のバックアップ・ファイルをサーバーから削除する権限を持っている必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: マルチノード定義がそれ自身のバックアップ・ファイルをサーバーから削除する権限を持つよ

うに、IBM Spectrum Protect 管理者に更新を依頼してください。マルチノード定義を更新するには、例えば、IBM Spectrum Protect 管理コマンド・ライン・クライアントで、次のように入力します。

```
dsmadmc update node <multi-node name>
backdelete=yes
```

ANS2718W 仮想マシン '*VM-name*' には、スナップショット統合が必要です。

説明: スナップショットは削除するが、その関連ディスクは基本ディスクに戻さない場合は、スナップショット統合が必要です。統合が完了していない場合、スナップショット・ディスクが増大し、最終的にデータ・ストアを埋め尽くす可能性があります。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップは続行されます。

ユーザーの処置: 該当する VMware vSphere 資料に記載された手順に従って、仮想マシンのスナップショットを統合してください。

ANS2719E '*datetime*' に開始した前のバックアップは、まだ保留中であり、新しいバックアップに必要なリソースを使用中です。

説明: 前のバックアップが完了するまで、新しいバックアップは実行できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 別のローカル・バックアップを開始する前に、前のバックアップが完了するのを待ってください。あるいは、異なる *copyType* 値を使用して、ローカル・バックアップを実行することもできます。IBM Spectrum Protect ローカル・バックアップ・ポリシーでは、ローカル・バックアップ・リソースが新しいバックアップ・バージョンに再利用される前のどの時点でも、1 つの増分バックグラウンド・コピーと 1 つのフル・バックグラウンド・コピーのみを保留状態にすることができます。新しいローカル・バックアップを実行すると、保留状態のバックグラウンド・コピーでバックアップが行われる結果になります。

ANS2720W コマンド '*command*' の実行に失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect コマンドの実行に失敗しました。考えられる理由 - コマンドのインタープリターが見つかりませんでした。コマンド・インタープリターを位置指定する ComSpec 環境変数と PATH 環境変数を確認してください。ComSpec または PATH が定義されていないか、正しく定義されていません。

システムの処置: コマンドは実行されません。その他

の処理は、続行が試みられます。

ユーザーの処置: コマンド・インタープリターを位置指定する ComSpec と PATH の環境変数を修正してください。修正方法がわからない場合にはシステム管理者に連絡してください。

ANS2721E 仮想マシンは、無効な接続状態になっています。そのため、バックアップすることはできません。

説明: 無効な接続状態が原因で、1 つ以上の仮想マシンのバックアップが失敗しました。バックアップを行うためにアクセスするには、仮想マシンが 'connected' 状態でなければなりません。

システムの処置: この仮想マシンの処理は停止します。

ユーザーの処置: 接続状態が無効であった理由について、コンソール出力およびエラー・ログを確認してください。問題を修正し、失敗した仮想マシンのバックアップを試行してください。

ANS2722E このバックアップを完了するための十分なスペースがローカル・リポジトリにありません。

説明: ローカル・リポジトリで使用可能なこのスペースは、このバックアップ操作のスナップショットを実行するには不十分です。この事態は、構成時にローカル・リポジトリで割り振られたスペースを上回る数のローカル・バージョンが管理クラスにある場合、またはアプリケーション構成が変更されて前に割り振られたスペースが不十分になった場合に起こることがあります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 構成ウィザードを実行して IBM Spectrum Protect 構成の妥当性検査を行ってください。

ANS2723E **HSMBACKENDMODE** オプションが **IBM Spectrum Protect** に設定されている場合、**READstartsrecall** オプションの値 **UNDEF** は無効です。

説明: **READstartsrecall** オプションの値 **UNDEF** は、**HSMBACKENDMODE** オプションが **TSMFREE** に設定されている場合にのみ有効です。

システムの処置: 操作は停止します。このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: **HSMBACKENDMODE** オプションが **IBM Spectrum Protect** に設定されている場合は、**READstartsrecall** オプションを **YES** または **NO** に設定してください。

ANS2725E **IBM Spectrum Protect** アプリケーション保護は、ゲスト VM 'VM' の **IBM Spectrum Protect VSS** プロバイダーを登録できませんでした。

説明: データ・ムーバーに指定されたゲスト vm 資格情報には、アプリケーション保護のために必要な正しい Windows 許可が設定されていません。

システムの処置: アプリケーション保護の vm バックアップ処理は停止します。

ユーザーの処置: ゲスト VM に対して指定された資格情報に、アプリケーション保護タイプ「vm バックアップ」のために、必要な正しい Windows 許可が設定されていることを確認してください。ユーザー・ガイドには、Microsoft Exchange Server および Microsoft SQL Server のアプリケーション・データをバックアップおよびリストアするために必要な正しい許可について概要が記載されています。

ANS2729E オペレーティング・システム・コマンド「*command*」が失敗しました。**rc=rc**。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: この障害についての詳細は、オペレーティング・システムからの戻りコードを確認してください。失敗したコマンドを手動で実行して、同じ障害が発生するかどうかを確認してください。

ANS2731E **Data Protection for VMware** ライセンス・ファイルが存在しないか、無効であるために、**BACKUP VM** コマンドが失敗しました。

説明: **BACKUP VM** コマンドには、**Data Protection for VMware** ライセンス・ファイルが必要です。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: **Data Protection for VMware** または **Data Protection for VMware** のライセンス・ファイルをインストールして、コマンドを再試行してください。あるいは、**Data Protection for VMware** ライセンス・ファイルがインストールされているホストから操作を再試行してください。

ANS2732E **Data Protection for Microsoft Hyper-V** ライセンス・ファイルが存在しないか、無効であるために、**BACKUP VM** コマンドが失敗しました。

説明: **BACKUP VM** コマンドには、**Data Protection**

for Microsoft Hyper-V ライセンス・ファイルが必要で
す。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: Data Protection for Microsoft
Hyper-V または Data Protection for Microsoft
Hyper-V のライセンス・ファイルをインストールし
て、コマンドを再試行してください。あるいは、Data
Protection for Microsoft Hyper-V ライセンス・ファ
イルがインストールされているホストから操作を再試行し
てください。

ANS2733E Windows Management Instrumentation (WMI) サービスが必要な操作が、エラー
'errorstring' で失敗しました。**IBM
Spectrum Protect** 十分な特権がないため
に、は **WMI** システムへのアクセスを拒
否されました。

説明: Windows は、Windows Management
Instrumentation (WMI) リソース、オブジェクト、また
は操作へのアクセスを拒否しました。このプログラムに
は、要求された操作を実行するための十分な権限があり
ません。

システムの処置: Windows Management
Instrumentation サービスが必要な操作を実行していま
す。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect に割り当てる
権限を上げてから操作を再試行します。

ANS2734E Windows Management Instrumentation (WMI) サービスが必要な操作が、エラー
'errorstring' で失敗しました。アプリケー
ション・インターフェースが存在しま
せん。

説明: このエラーは、Windows Management
Instrumentation (WMI) クラスが登録されていなかった
か、登録抹消されているために発生しました。WMI ク
ラスは Windows 機能に登録されています。

システムの処置: Windows Management
Instrumentation オブジェクトの初期化に失敗しまし
た。

ユーザーの処置: 該当する Windows 機能の Windows
Management Instrumentation クラスを登録します。

ANS2736E リモート **IBM Spectrum Protect** ファ
イル・システム・エージェントから予期しな
い応答を受け取りました。
verb : *verb*
リモート・ホスト : *host*

戻りコード : *rc*

理由コード : *rs*

メッセージ・ストリング : *msg-string*

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を
IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS2737W バックアップ中にすべてのディスクが除外
されていたため、**VM** からディスクはマ
ウントされません。

説明: すべてのディスクがバックアップ中に除外されて
いたか、VM にディスクが含まれていなかったために、
VM からディスクをマウントできません。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 対象のファイル・システムまたはボリ
ュームからファイルをリカバリーする必要がある場合
は、少なくとも 1 つのディスクをバックアップに含め
るようにしてください。

ANS2740E vApp のリストア操作が失敗しました。

説明: vApp のリストア操作が失敗しました。操作が失
敗した原因の詳細についてエラー・ログを確認してくだ
さい。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 問題について詳しくは、コンソール出
力およびエラー・ログを検討してください。問題があ
れば修正し、操作を再開してください。

ANS2744I TESTFLAG DB2 が値 '*value*' で使用可能
になりました。

説明: ありません。

システムの処置: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2745E Hyper-V 仮想マシン '*virtualmachinename*'
に割り当てられた仮想ディスクが見つかり
ません。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、仮想マ
シンがディスクを割り当て済みで、そのディスクに到達
不能であることを検出しました。ディスクは移動または
削除された可能性があります。ディスクが見つからない
場合、スナップショットを取得することはできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、割り当て

られたパスで仮想ディスクを見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: 仮想ディスクが移動あるいは削除されていないかを確認し、ファイル・システムに対する変更に一致するように仮想マシン構成を更新してください。

ANS2746E Hyper-V 仮想マシン 'virtualmachinename'
に割り当てられた仮想ディスクが **VHD** または無効なフォーマットです。 **VHDX** フォーマットの仮想ディスクのみがバックアップ可能です。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、仮想マシンが **VHD** フォーマット、認識できないフォーマット、あるいはサポートされていないフォーマットでディスクを割り当てていることを検出しました。ディスクが **VHDX** フォーマットの場合、破損している可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、仮想マシンのバックアップの準備中に、**VHD** フォーマットまたは認識できないフォーマットの仮想ディスクを検出しました。

ユーザーの処置: 仮想ディスクが **VHD** フォーマットの場合、いくつかのオプションがあります。仮想マシンから **VHD** を除去し、仮想ディスクを **VHD** フォーマットから **VHDX** フォーマットに変換するか、あるいは **DOMAIN.VMFULL** を調整してこの仮想マシンをバックアップからスキップします。ディスクが **VHDX** フォーマットの場合、ディスクが破損していないかを確認してください。

ANS2747E Hyper-V 仮想マシン 'virtualmachinename'
に割り当てられた **AVHDX** 仮想ディスクが、親ディスクを見つけることができません。親が見つかった場合にのみスナップショットを取得することができます。

説明: **AVHDX** フォーマットは、親 **AVHDX** または **VHDX** ファイルを指す内部フィールドを指定します。親が見つからない場合、ディスクは無効になり、スナップショットは失敗します。

システムの処置: プロセスは、仮想マシンに接続された **AVHDX** をディスカバーし、親 **AVHDX** または **VHDX** ファイルの検出を試行しました。

ユーザーの処置: 親 **AVHDX** または **VHDX** ファイルがまだ存在しており、移動あるいは削除されていないかを確認してください。親 **AVHDX** および/または **VHDX** ファイルを返します。

ANS2748E Hyper-V 仮想マシン 'virtualmachinename'
に割り当てられた仮想ディスクが、最大容量の制限を超えました。 **IBM Spectrum Protect** クライアントは、**2** テラバイトの制限を超えたディスクを持つ仮想マシンをバックアップすることができません。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、仮想マシンがディスクを割り当て済みで、そのディスクの容量が **2** テラバイトを超えていることを検出しました。現在、**2** テラバイトを超えた仮想ディスクは、永久増分バックアップではサポートされていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、バックアップがスケジュールされた仮想マシン上で、容量が **2** テラバイトを超えた仮想ディスクを検出しました。

ユーザーの処置: いくつかのオプションが使用可能です。仮想マシンからディスクを除去する、ディスクを **2** テラバイト未満に縮小する、容量が **2** テラバイト未満の仮想ディスクにデータをコピーするなどです。増分バックアップが使用できない場合でも、フルバックアップ・タイプは常に **2** テラバイトを超えるディスクと互換性があります。

ANS2749E Microsoft 技術情報 KB2771882 を参照してください。 **Hyper-V 仮想マシン 'virtualmachinename'** に割り当てられた仮想ディスクに、クラスター共有ボリュームおよびローカル・ボリューム上にあるファイルが含まれています。この構成では、仮想マシンのスナップショットを取得することができません。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、ローカル・ボリュームとクラスター共有ボリュームの両方でスナップショットに含まれるファイルが仮想マシンにあることを検出しました。この構成の仮想マシンのスナップショットは、必ず失敗します。このエラーについては、Microsoft 技術情報 KB2771882 に記載されています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアントは、スナップショットの取得前に、ローカル・ボリュームとクラスター共有ボリューム上のファイルが仮想マシンにあることを検出しました。

ユーザーの処置: すべてのディスクおよび構成ファイルが、ローカル・ボリュームまたはクラスター共有ボリューム上にあることを確認します。必要場合は、ストレージ・マイグレーションを実行して、ディスクおよび/または構成ファイルを移動してください。

ANS2750E 現在、**Hyper-V** 仮想マシン
'*virtualmachinename*' は以下のいずれかの
操作を実行中です。

- * ローカル・スナップショットの作成
- * ローカル・スナップショットの適用
- * ローカル・スナップショットの削除
- * 仮想マシンのエク スポート
- * 仮想マシンのマイグレーション
- * ボリューム・スナップショット・サービ
ス (**VSS**) スナップショット
- * リストア
- * 異なるディスクのマージ

上記の操作の実行中は、**Hyper-V VSS** ス
ナップショットを実行する ことができま
せん。操作が完了するまで待つか、バック
アップの実行を取り消してください。

説明: 一部の仮想マシン管理タスクは、仮想マシン
VSS スナップショットを妨害します。バックアップ要求
中にこれらの操作のいずれかが検出されました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアント
は、現在、仮想マシンがボリューム・スナップショッ
ト・サービスのスナップショットを妨げる操作を実行中
であることを検出しました。

ユーザーの処置: 現行の仮想マシン管理タスクを取り消
すか、完了するまで待ってから、バックアップを再試行
してください。

ANS2751E **Data Protection for VMware** ライセン
ス・ファイルが存在しないか、無効である
ために、**RESTORE VM** コマンドが失敗
しました。

説明: **RESTORE VM** コマンドには、**Data Protection**
for **VMware** ライセンス・ファイルが必要です。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: **Data Protection for VMware** または
Data Protection for VMware のライセンス・ファイル
をインストールして、コマンドを再試行してください。
あるいは、**Data Protection for VMware** ライセンス・
ファイルがインストールされているホストから操作を再
試行してください。

ANS2752E **Data Protection for Microsoft Hyper-V**
ライセンス・ファイルが存在しないか、無
効であるために、**RESTORE VM** コマン
ドが失敗しました。

説明: **BACKUP VM** コマンドには、**Data Protection**
for **Microsoft Hyper-V** ライセンス・ファイルが必要で
す。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: **Data Protection for Microsoft**
Hyper-V または **Data Protection for Microsoft**
Hyper-V のライセンス・ファイルをインストールし
て、コマンドを再試行してください。あるいは、**Data**
Protection for Microsoft Hyper-V ライセンス・ファイ
ルがインストールされているホストから操作を再試行し
てください。

ANS2753I *node* ノードとのクライアント間通信を確
立中。

説明: ありません。

システムの処置: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2785I '*type*' リストア用に現在の **DB2** 構成を収
集中。

説明: ありません。

システムの処置: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2790E **NetApp** ファイラー '*filer_name*' 上のスト
レージ仮想マシン '*svm_name*' にアクセス
する際にエラーが発生しました。

説明: 指定されたファイラー上の指定されたストレージ
仮想マシンにアクセスできませんでした。指定された
ファイラー上にストレージ仮想マシンがあり稼働してい
ること、そのストレージ仮想マシンが **SET**
NETAPPSVM コマンドによってファイラーに正しく関
連付けられていることを確認してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定されたファイラー上でストレージ
仮想マシンが稼働していること、ファイラーとストレ
ージ仮想マシンの関連付けが **dsmc set netappsvm** コマ
ンドによって正しく定義されていることを確認してくだ
さい。

ANS2798E クライアント・ノード '*nodename*' マルチ
ノード '*multi-node*' からアドレス
'*ip-address:ip-port*' のクライアントへのセ
ッションを開始できません。戻りコードは
rc です。

説明: ありません。

システムの処置: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2799E 別のクライアントとのセッション中にエラーが検出されました。

エラー・ログに追加情報がないか調べてください。

説明: このメッセージは DB2 UDB 用に予約されています。

システムの処置: 予約済み。

ユーザーの処置: このメッセージは DB2 UDB 用に予約されています。

ANS2800W IBM Spectrum Protect プロセスが見つかりませんでした。

説明: QUERY PIDS コマンドが、システムで実行されている既知の IBM Spectrum Protect プロセスを識別できませんでした。-FILTER オプションを使用した場合は、フィルター仕様に一致するプロセスが見つかりませんでした。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: dsmttrace を使用して実行中のクライアント・プロセスのトレースを使用可能または使用不可にする必要がある場合、クライアントが既に実行中であることを確認してください。-FILTER オプションを使用した場合は、異なるフィルター仕様でコマンドを再試行してください。-FILTER=* を使用すると、システムで実行されているプロセスをすべて表示できます。

ANS2801E dsmttrace ユーティリティーは、指定されたプロセスに接続することができませんでした。

説明: このメッセージは、通常、指定されたプロセス ID がアクティブでない場合に発生します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: dsmttrace を使用して実行中のクライアント・プロセスのトレースを使用可能または使用不可にする必要がある場合、クライアントが既に実行中であることを確認してください。dsmttrace QUERY PIDS コマンドを使用して、実行中のクライアント・プロセスを識別し、再度コマンドを試行してください。

ANS2802I トレースが使用不可能になっています。

説明: ありません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2803E トレースを使用不可にすることができませんでした。

説明: 問題は、指定されたプロセスのトレースを使用不可にしようとしているときに発生しました。このメッセージは、通常、このメッセージの直前または直後に、より具体的なメッセージを伴っています。

システムの処置: 指定されたプロセスのトレース状況は変更されません。

ユーザーの処置: このエラーに関する詳細については、このメッセージの直前または直後のメッセージを確認してください。

ANS2804W トレースは、既に使用可能です。-TRACEFILE、-TRACEMAX、および -TRACESEGSIZE は無視されます。

説明: クライアント・プロセスに対してトレースが既に使用可能になっている場合、-TRACEFLAGS オプションは影響を与えません。

システムの処置: -TRACEFLAGS オプションがクライアント・プロセスで設定されています。

-TRACEFILE、-TRACEMAX、および -TRACESEGSIZE は無視されます。

ユーザーの処置: -TRACEFILE、-TRACEMAX、または -TRACESEGSIZE 設定を変更する必要がある場合は、まず dsmttrace DISABLE コマンドを使用して、クライアント・プロセスのトレースを使用不可にする必要があります。次に、dsmttrace ENABLE コマンドを実行して、目的のトレース設定を構成します。これらの設定を変更する必要がない場合は、このメッセージは無視することができます。

ANS2805I トレースが使用可能になっています。

説明: ありません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2806E トレースを使用可能にすることができませんでした。

説明: 問題は、指定されたプロセスのトレースを使用可能にしようとしているときに発生しました。このメッセージは、通常、このメッセージの直前または直後に、より具体的なメッセージを伴っています。

システムの処置: 指定されたプロセスのトレース状況は変更されません。

ユーザーの処置: このエラーに関する詳細については、

このメッセージの直前または直後のメッセージを確認してください。

ANS2807E *command-name* コマンドに指定されたパラメーターの数が誤っていました。

説明: 指定のコマンドを起動するときのパラメーターが少なすぎたか多すぎました。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: 正しい数のパラメーターでコマンドを再試行してください。dsmttrace コマンド構文に関する追加情報については、「dsmttrace help」を実行してください。

ANS2808W スナップショットの差分による増分バックアップで、**NetApp/N** シリーズのファイラー・ボリューム '*volume-name*' に登録済み基本スナップショット '*regbase-name*' が見つかりませんでした。基本スナップショットとしてスナップショット '*olderbase-name*' が使用されます。

説明: スナップショットの差分による増分バックアップで、指定された NetApp/N シリーズのファイラー・ボリュームに、指定された登録済み基本スナップショットが見つかりませんでした。現行の基本スナップショットとして、登録済み基本スナップショットより古い、最も新しい既存のスナップショットが使用されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS2809E 入力ファイルの **backupid** '*backupid*:' がリストアされる **vmname** '*vmname*:' と一致しません。

説明: 入力ファイルで指定されたバックアップ ID と **vmname** に矛盾があります。

システムの処置: 仮想マシンをリストアできません。

ユーザーの処置: **inquire_detail** コマンドを再度実行することによって、指定したバックアップ ID がリストアしようとしている **vmname** と一致することを確認し、必要な訂正をすべて行ってから再度リストアを試行してください。

ANS2810E **IBM Spectrum Protect for Virtual Environments** 入力ファイル '*input file*:' が空であるように見えます。

説明: 入力ファイルの処理中に、操作する項目が何も見つかりませんでした。

システムの処置: 空のリストでは操作を続行できません。

ユーザーの処置: 入力ファイルが空ではなく、有効な入力データが含まれていることを確認してください。ファイルが空でない場合は、ファイルの読み取り中にエラーが発生した可能性があります。エラー・ログを調べて、ファイルの読み取り中に検出されたエラーがないか確認してください。エラーが見つかった場合は、必要な修正を行ってから、操作を再試行してください。

ANS2811E **IBM Spectrum Protect for Virtual Environments** は、データ・センター・ノード '*datacenter nodename*' 用の適切なデータ・ムーバー・エージェントを見つけることができませんでした。

説明: 指定されたデータ・センター・ノードとのプロキシ関係の処理中に、該当するデータ・ムーバーに一致するものが検出されませんでした。

システムの処置: 有効なデータ・ムーバーがないと操作を続行できません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者と協力して、データ・ムーバー・ノードに対するプロキシ権限がデータ・センター・ノードに付与されていることを確認してください。

ANS2812E **IBM Spectrum Protect for Virtual Environments** は、**IBM Spectrum Protect** サーバー上で '*datamover nodename*' という名前のデータ・ムーバー・ノードを見つけることができませんでした。

説明: 指定されたデータ・センター・ノードとデータ・ムーバー・ノードのプロキシ関係の処理中に、該当するデータ・ムーバー・ノード名に一致するものが検出されませんでした。

システムの処置: 有効なデータ・ムーバー・ノード名がないと操作を続行できません。

ユーザーの処置: 指定されたデータ・ムーバー・ノード名が有効な IBM Spectrum Protect ノードであること、およびそのノードに適切なプロキシ関係が確立されていることを確認してください。

ANS2813E **IBM Spectrum Protect** サーバーが、「*datamover nodename*」の空のネットワーク・アドレスまたはポート番号を返しました。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーにデータ・ムーバーのネットワーク・アドレスとポート番号を照会して

いるときに、サーバーが値の 1 つとしてゼロを返しました。

システムの処置: 有効なデータ・ムーバーのネットワーク・アドレスとポート番号がないと、操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは通常、データ・ムーバー・ノードが開始されていないことが原因です。データ・ムーバー・ホストにログオンし、DSMCAD サービスを開始または再始動して、IBM Spectrum Protect for Virtual Environments コマンドを再試行してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect サーバー管理者と協力して、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティ・ログを検査し、問題を特定してください。

ANS2814E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は、入力ファイル「*input file*」の解析中にエラーを検出しました。
'*specifier*' が空または無効である可能性があります。

説明: 入力ファイルの解析中にエラーが発生しました。

システムの処置: 有効な仮想マシンの指定がないと操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは通常、仮想マシン名または他の ID が空であることが原因です。入力ファイルの構文がすべての項目について正しいこと、および仮想マシン名が空でないことを確認して、操作を再試行してください。

ANS2815E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は入力ファイル '*input file*' からの '*read in line*' の解析中にエラーを検出しました。

説明: 入力ファイルの解析中にエラーが発生しました。

システムの処置: 入力ファイル内に有効な指定がないと、操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは、仮想マシン名または他の ID が空であることが原因である可能性があります。入力ファイルの構文がすべての項目について正しいこと、および仮想マシン名が空でないことを確認して、操作を再試行してください。

ANS2816E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は **IBM Spectrum Protect** サーバー IP アドレスが指定されていないことを検出しました。

説明: コマンド・ライン・オプションの構文解析中に、空のサーバー・アドレスが検出されました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect サーバーの有効なネットワーク・アドレスがないと、操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは、VMCLI プロファイルに空の `VE_TSM_SERVER_NAME` 項目があることが原因である可能性があります。VMCLI プロファイルが、IBM Spectrum Protect サーバー・アドレスを指定して、正しく構成されていることを確認してください。

ANS2817E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は **vCenter** コマンド・ライン・インターフェース・ノード名が指定されていないことを検出しました。

説明: コマンド・ライン・オプションの構文解析中に、空の **vCenter** コマンド・ライン・インターフェース・ノード名が検出されました。

システムの処置: 有効な **vCenter** コマンド・ライン・インターフェース・ノード名がないと、操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは、VMCLI プロファイルに空の `VE_TSMCLI_NODE_NAME` 項目があることが原因である可能性があります。VMCLI プロファイルが、**vCenter** コマンド・ライン・インターフェース・ノード名を指定して、正しく構成されていることを確認してください。

ANS2818E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は **IBM Spectrum Protect** サーバー・ポートが指定されていないことを検出しました。

説明: コマンド・ライン・オプションの構文解析中に、空の **IBM Spectrum Protect** サーバー・ポートが検出されました。

システムの処置: 有効な **IBM Spectrum Protect** サーバー・ポートがないと、操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは、VMCLI プロファイルに空の `VE_TSM_SERVER_PORT` 項目があることが原因である可能性があります。VMCLI プロファイルが、**IBM Spectrum Protect** サーバー・ポートを指定して、正しく構成されていることを確認してください。

ANS2820E 中断が起きました。 現行操作が終了してクライアントはシャットダウンします。

説明: **CTRL-BREAK** または **CTRL-C** といったブレイク信号により処理が中断する場合に、このメッセージが発行されます。

システムの処置: 操作および処理は即時に終了します。

ユーザーの処置: 必要であればその操作を再始動してください。

ANS2824E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は **vCenter** を示すノード名が指定されていないことを検出しました。

説明: コマンド・ライン・オプションの構文解析中に、空の **vCenter** ノード名が検出されました。

システムの処置: 有効な **vCenter** ノード名がないと操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは、VMCLI プロファイルに空の **VE_VCENTER_NODE_NAME** 項目があることが原因である可能性があります。VMCLI プロファイルが、**vCenter** ノード名を指定して、正しく構成されていることを確認してください。

ANS2825E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments はデータ・センターを示すノード名が指定されていないことを検出しました。

説明: コマンド・ライン・オプションの構文解析中に、空のデータ・センター・ノード名が検出されました。

システムの処置: 有効なデータ・センター・ノード名がないと操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは、**-d** データ・センター・ノード名がコマンド・ラインに渡されていないことが原因です。**-d** データ・センター・ノード名をコマンド・ライン呼び出しに確実に渡すようにして、操作を再試行してください。

ANS2826E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は **vCenter** データ・ムーバーを示すノード名が指定されていないことを検出しました。

説明: コマンド・ライン・オプションの構文解析中に、空のデータ・ムーバー・ノード名が検出されました。

システムの処置: 有効なデータ・ムーバー・ノード名がないと操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは、**-o** データ・ムーバー・ノード名がコマンド・ラインに渡されていないことが原因です。**-o** データ・ムーバー・ノード名をコマンド・ライン呼び出しに確実に渡すようにして、操作を再試行してください。

ANS2827E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は入力ファイルが指定されていないことを検出しました。

説明: コマンド・ライン・オプションの構文解析中に、空の入力ファイル名または存在しない入力ファイル名が検出されました。

システムの処置: 有効な入力ファイル名がないと操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは、**-I** 入力ファイル名がコマンド・ラインに渡されていないことが原因です。**-I** 入力ファイル名をコマンド・ライン呼び出しに確実に渡すようにして、操作を再試行してください。

ANS2828E 指定されたファイル・システムに対するイメージ操作はサポートされていません。

説明: 指定されたファイル・システムに対するイメージ・バックアップおよびリストアはサポートされていません。

システムの処置: 要求されたイメージ操作は実行されません。

ユーザーの処置: 別のオブジェクトを選択してください。

ANS2829E イメージ操作は **GPFS** にはサポートされません。

説明: イメージ・バックアップ/リストアは、**GPFS** ボリュームにはサポートされません。

システムの処置: 要求されたイメージ操作は実行されません。

ユーザーの処置: 別のオブジェクトを選択してください。

ANS2830E 誤った数のパラメーターが指定されました。

説明: 指定のコマンドを起動するときのパラメーターが少なすぎたか多すぎました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しい数のパラメーターでコマンドを再試行してください。

ANS2831E 「*volume-name*」は、**NetApp/N** シリーズ「*fsType*」ボリュームではなく、タイプ「*type*」であるため、このボリュームでスナップショットの差分による増分バックアップを実行できません。

説明: 指定されたボリュームは、NetApp/N シリーズのスナップショットの差分による増分バックアップ操作の実行には使用できません。このボリュームは、ネットワーク・アプライアンスまたは N シリーズ NAS ボリューム用の NFS マウント・ポイントまたは CIFS 共有ドライブに対応していません。この障害の 1 つの理由として考えられるのは、スナップショットの差分による増分バックアップが、AIX/Linux プラットフォーム上の NetApp/N シリーズ NFS ボリュームまたは Windows プラットフォーム上の CIFS ボリュームでのみ実行できることです。

この障害のもう 1 つの理由として、ボリュームの **qtree** セキュリティー・スタイルの選択に誤りがあった可能性があります。CIFS ボリュームを Windows にマップする場合は、セキュリティ・スタイルを必ず NTFS に設定してください。ボリュームを NFS としてマウントする場合は、セキュリティ・スタイルを必ず UNIX に設定してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しいセキュリティ・スタイルを指定して、NetApp/N シリーズ NFS または CIFS ボリュームでコマンドを再試行してください。

ANS2832E *file space name* のスナップショットの差分による増分バックアップは失敗しました。詳細は、エラー・ログを参照してください。

説明: スナップショットの差分による NAS NFS/CIFS 増分バックアップの実行は失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: エラー・ログの情報に基づいて適切なアクションを取ってください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS2834E スナップショットの差分を使用して増分バックアップを実行するには、**root** ユーザーでなければなりません。

説明: ユーザーが **root** でないため、スナップショットの差分を使用する NAS NFS/CIFS 増分バックアップ操作の実行に失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **root** ユーザーとして操作を再試行してください。

ANS2835E スナップショットの差分を使用する増分バックアップは、このプラットフォームではサポートされていません。

説明: スナップショットの差分を使用する NetApp NFS/CIFS 増分バックアップ操作は、AIX、Linux、および Windows のプラットフォームでのみサポートされています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 増分バックアップ操作を **snappdiff** オプションを指定しないでやり直してください。

ANS2836E スナップショットの差分を使用した増分バックアップ操作は、フルボリュームの場合のみ使用可能です。
が部分ボリュームまたは **qtree** です。

説明: 取り付けられたボリュームまたはマップされたボリューム上でのスナップショットの差分を使用した NAS NFS/CIFS 増分バックアップ操作は、次のいずれかの理由によって実行できません。1) ボリュームが実際に **qtree** である。2) ボリュームがフルボリュームでなく、ボリュームのルートに取り付けられていないか、マップされていない。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: NAS NFS または CIFS ボリューム全体を指定して、増分バックアップ操作を再試行してください。

ANS2837E ファイラー '**'** について、必要とされる保管済み **NetApp** ファイラー資格情報 (ユーザー **ID** とパスワード) にアクセスできません。
資格情報を保管する **SET PASSWORD -TYPE=FILER** コマンドが正しく指定されていることを確認してください。

説明: 指定された NetApp ファイラーのユーザー **ID** およびパスワードは、設定されていないか、誤って指定されています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: '**set password -type=filer**' コマンドを使用して、指定された NetApp ファイラーのユーザー **ID** およびパスワードを定義し、スナップショット差分バックアップ操作を再試行してください。

ANS2838W ファイル・パス '*filename*' が **HSM** のパスの最大長を超えています。

説明: マイグレーションしようとしたファイルのパス名が長すぎます。

システムの処置: ファイルはマイグレーションからスキップされます。

ユーザーの処置: マイグレーションできるようにファイルのパスを短くしてください。

ANS2839E ユーザー ID 「*id_name*」を使用した **NetApp** ファイラー 「*filer_name*」 への接続時に **ONTAPI** エラー 「*error_code*」 で失敗しました。このファイラーについて資格情報が誤って提供された可能性があります。

説明: ユーザー ID およびパスワードが、指定されたファイラーに対して不正に構成されています。

vFiler は HTTPS トランスポート・タイプをサポートしないため、**snappdiffhttps** オプションを使用する場合は、vFiler ボリュームを指定しないでください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ファイラーについて指定した資格情報が正しいことを確認してください。 **dsmc set password** コマンドを使用して、ファイラーについて正しい資格情報を指定してから、コマンドを再試行してください。

ANS2840E スナップショットの差分を使用する増分バックアップは、**Data ONTAP** ファイル・サーバーのバージョン「*version.modification.submodification*」ではサポートされていません。ファイル・サーバー「*file-server-name*」を **Data ONTAP** バージョン「**7.3**」以降にアップグレードして、スナップショットの差分を使用した増分バックアップ操作を使用できるようにしてください。

説明: 指定したファイル・サーバーは、スナップショットの差分 API をサポートする **Data ONTAP** バージョンではありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ファイル・サーバーを **Data ONTAP** バージョン 7.3 以降にアップグレードしてから、操作を再試行してください。

ANS2841E スナップショットの差分による増分バックアップは、**AIX 64** ビットおよび **Linux 86** ビットのクライアントでのみサポートされています。

説明: スナップショット差分フィーチャーを使用する増分バックアップは、**IBM Spectrum Protect AIX 64** ビットおよび **Linux 86** クライアントでのみ使用可能です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **IBM Spectrum Protect AIX 64** ビットまたは **Linux 86** のクライアントでコマンドを再試行してください。

ANS2842E **IBM Spectrum Protect for Virtual Environments** では、**createsnap:** キーワードでエラーが検出されます。**createsnap:yes** が指定されている一方で、**vmsnapname:VMWare Snapshot Name** も指定されています。

説明: Input File for FlashCopy Manager for VMWare オフロード・バックアップの構文解析中に、VMWare スナップショットのハンドリングでエラー条件が検出されました。**createsnap:yes** の指定中に VMWare Snapshot 名を指定することは許可されていません。

システムの処置: **createsnap:** と **vmsnapname:** の正しい組み合わせを指定しないと操作を続行できません。

ユーザーの処置: これは、**createsnap:** キーワードと **vmsnapname:** キーワードで矛盾する入力を含む **-I Inputfile** が原因です。**IBM Spectrum Protect for Virtual Environments** に **FlashCopy Manager** によって作成される **VMWare Snapshot** を使用させたい場合は、**vmsnapname:** キーワード用の有効な **VMWare Snapshot** と共に **createsnap:no** を指定してください。

ANS2850E スナップショットの作成のエラーが発生しました: ボリューム **NAS volume** は、**snapmirror** 宛先のボリュームです。

説明: 読み取り専用の **snapmirror** 宛先のボリューム上にスナップショットを作成しようとする試みが行われました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **USEEXISTINGBASE** オプションおよび **DIFFSNAPSHOT=latest** オプションを使用して操作を再試行してください。

ANS2851E スナップショット処理エラー:。

説明: メッセージに指定されている理由によりエラーが発生しました

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定ボリュームがオンライン上にあり、書き込みアクセスが可能なことを確認してください。

ANS2855W IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は、入力ファイル「*input file*」の解析中にエラーを検出しました。
'specifier' を使用する場合、*'specifier'* を指定してはなりません。オプションは無視されます。

説明: 入力ファイルの解析中にエラーが発生しました。

システムの処置: 操作は、このパラメーターを無視して続行されます。

ユーザーの処置: このエラーは、通常、識別子を誤ったオプションで使用したことが原因です。入力ファイル内のオプションが要求された操作と一致しているかを確認して、操作を再試行してください。

ANS2856E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は **vCloud** を示すノード名が指定されていないことを検出しました。

説明: VMCLI プロファイルで **vCloud** を表すノード名が指定されていません。

システムの処置: 有効な **vCloud** ノード名を指定せずに操作を続行できません。

ユーザーの処置: VMCLI プロファイルの **VE_VCENTER_NODE_NAME** パラメーターで **vCloud** ノード名を指定してください。その後、操作を再試行してください。

ANS2857E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は、入力ファイル '*input file*' からの '*read in line*' を解析中に、'*operation*' 操作にはオプション '*specifier*' が必須であることを検出しました。

説明: 必須オプションあるいは識別子が入力ファイルから欠落しています。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: この問題は、オプションまたは識別子が欠落していることが原因である可能性があります。入力ファイル内のコマンドの構文と値の構文が正しいこと

を確認してください。その後、操作を再試行してください。

ANS2858E バックアップに使用可能な **VM** のリストの取得に失敗しました。

説明: バックアップする必要がある **VM** を選択するための **VM** の全リストの取得に失敗しました。

システムの処置: 操作は停止されました。

ユーザーの処置: **vCenter** への接続用の構成パラメーターを確認してください。

ANS2859E バックアップしたデータを保管するのに使用する組織 **VDC** ノードを見つけることができませんでした。

説明: バックアップした **vApp** データを保管する組織 **VDC** ノードを見つけることができませんでした。このノードは、プロバイダー **VDC** ノードにマップされている必要があります。この問題は、プロバイダー **VDC** ノードと組織 **VDC** ノードの間のマッピングが無効であることが原因の可能性があります。

システムの処置: 操作は停止されました。

ユーザーの処置: 「構成」ページに進んで「構成ウィザードを実行」をクリックし、プロバイダー **VDC** ノードのマッピング情報が有効であることを確認します。

ANS2860E PRESNAPSHOTCMD コマンドは失敗しました。スナップショット差分バックアップは実行されません。

説明: スナップショット差分バックアップを実行するには、**PRESNAPSHOTCMD** オプションで指定されたコマンドが正常に完了する必要があります。このコマンドは、戻りコード 0 (ゼロ) が表示されて完了すれば、正常に完了したものと見なされます。コマンドが完了しても、それ以外の戻りコードが表示された場合は、コマンドは失敗したものと見なされます。コマンドが失敗した場合、スナップショット差分バックアップは実行されません。

システムの処置: クライアントは、スナップショット差分バックアップ操作を実行しません。

ユーザーの処置: コマンドが失敗する原因となった問題を特定して、修正してください。このコマンドではゼロ以外の戻りコードが通常であるような場合には、このコマンドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトにラップすることを検討してみてください。

ANS2861W POSTSNAPSHOTCMD コマンドは失敗しました。

説明: POSTSNAPSHOTCMD オプションで指定されたコマンドがゼロ以外の戻りコードで完了した場合、スナップショット差分バックアップ操作は続行されます。この操作は警告レベルの結果を伴って続行されます。

POSTSNAPSHOTCMD コマンドの結果が、スナップショット差分バックアップ・コマンドによる高レベルの結果より優先されることはありません。例えば、スナップショット差分バックアップ・コマンドがコード 12 で完了した場合、それより小さい POSTSNAPSHOTCMD コマンドからの戻りコードによって、この戻りコードが変更されることはありません。

システムの処置: スナップショット差分バックアップは続行されますが、8 以上の警告戻りコードが表示されます。

ユーザーの処置: コマンドが失敗する原因となった問題を特定して、修正してください。このコマンドを常にゼロの戻りコードで終了するスクリプトにラップすることを検討してください。

ANS2862E 指定されたストレージ仮想マシンの項目が見つかりませんでした。

説明: SVM は、レジストリーまたはパスワード・ファイルに存在しません。

システムの処置: 操作は実行されません。

ユーザーの処置: ユーザーは、「Set NetAppSVM」コマンドを使用して SVM を登録する必要があります。

ANS2863E バックアップ・アーカイブ・クライアントは、Vcloud 保護ランタイム・ライブラリーのロードに失敗しました。

説明: vCloud 保護ランタイム・ライブラリーは、バックアップ・アーカイブ・クライアントによってロードされていません。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: vCloud ランタイム・ライブラリーが、クライアント・インストール・フォルダーの下の「plugins」フォルダーにあることを確認します。

ANS2864E Hyper-V 操作が試行されましたが、Hyper-V 役割がホスト・システム上で検出されませんでした。

説明: Hyper-V 操作が行われるホスト・システム上では Hyper-V 役割が有効になっている必要があります。現在のホスト・システムは Hyper-V 役割が有効になっ

ていないか、Hyper-V をサポートしていません。

システムの処置: 操作は開始されません。

ユーザーの処置: ホスト・システムが Hyper-V をサポートしている場合、Hyper-V 役割を有効にしてください。そうでない場合、Hyper-V をサポートしているホスト・システムから操作を再試行し、Hyper-V 役割を有効にしてください。

VMware 仮想マシンを処理する場合、「IBM Spectrum Protect」ウィンドウに移動し、「編集」>「クライアント・プリファレンス」>「VM バックアップ」とクリックしてください。「VMWare のフル VM」または「VMWare のファイル・レベル」をクリックします。その後、「OK」をクリックします。

ANS2865E 仮想マシン 'VM-name' の仮想ディスクの作成中あるいは仮想ディスクへのアクセス中にエラーが発生しました。

説明: 仮想マシンのリストア中に、仮想ディスクの作成あるいはアクセスでエラーが発生しました。

システムの処置: 仮想マシンはリストアされません。

ユーザーの処置: エラーの詳細については、クライアント・エラー・ログを参照してください。

ANS2866E 仮想マシン 'VM-name' の作成中にエラーが発生しました。

説明: リストア操作中に、仮想マシンの作成でエラーが発生しました。

システムの処置: 仮想マシンはリストアされません。

ユーザーの処置: エラーの詳細については、クライアント・エラー・ログを参照してください。

ANS2867E 仮想マシン 'VM-name' の照会中にエラーが発生しました。

説明: リストア操作中に、仮想マシンの照会でエラーが発生しました。

システムの処置: 仮想マシンはリストアされません。

ユーザーの処置: エラーの詳細については、クライアント・エラー・ログを参照してください。

ANS2868E 仮想マシン 'VM-name' の削除中にエラーが発生しました。

説明: リストア操作中に、仮想マシンの削除でエラーが発生しました。

システムの処置: 仮想マシンはリストアされません。

ユーザーの処置: エラーの詳細については、クライアント

ト・エラー・ログを参照してください。

ANS2869E ハイパーバイザー上の仮想マシンは、リストアする仮想マシン 'VM-name' と名前は異なりますが、**ID** が同じです。 リストアは許可されません。

説明: リストア対象の仮想マシンと名前は異なるが同じ ID の仮想マシンがハイパーバイザーに存在します。

システムの処置: 仮想マシンはリストアされません。

ユーザーの処置: 異なる仮想マシンを選択してリストアするか、既存の仮想マシンを削除します。

ANS2870W 仮想マシン 'vmname' の増分バックアップが要求されましたが、仮想マシンには、既存のリカバリー・スナップショットがありません。 データ損失を防ぐために、フルバックアップが行われます。

説明: 仮想マシンのリカバリー・スナップショットを削除しても、内部で管理されている前回の正常バックアップ時刻はリセットされません。 リセットが行われないと、仮想マシンのバックアップ時刻とハード・ディスク構成に不整合が生じます。 フルバックアップを行うことで、このあいまいさが修正され、データ損失を防ぎます。

システムの処置: 仮想マシン構成で不整合が検出されました。

ユーザーの処置: バックアップ操作間はリカバリー・スナップショットの削除を避けてください。

ANS2872E プロセスは、仮想マシン 'vmname' の仮想ディスク・ユーザー・メタデータ項目をディスク 'diskpath' にリストアできませんでした。

説明: ディスクのユーザー・メタデータ項目をリストアしようとして失敗しました。ディスクのユーザー・メタデータは、アクセス不能か到達不能である可能性があります。

システムの処置: 仮想ディスクのリストア。

ユーザーの処置: ユーザー特権に仮想ディスク・ライターへのアクセス権が含まれていることを確認するか、アクセス可能ロケーションにディスクを移します。

ANS2873I 仮想マシン 'vmname' は正常にリストアされました。 この仮想マシンがクラスターにリストアされた場合、クラスターの設定によって、リストアされた仮想マシンが高可用性モードで作動できることを確認して

ください。 高可用性設定と、高可用性モードで作動できるハイパーバイザー・ノードの推奨設定は、自動的に設定されない場合があります。

説明: 指定された仮想マシンはリストアされていますが、リストア処理によって Microsoft フェイルオーバー・クラスタリング高可用性設定は変更されません。 以前に削除した仮想マシンをリストアした場合、または仮想マシンを新しい名前およびロケーションにリストアした場合、リストアされた仮想マシンは高可用性リソースとして有効にならない場合があります。 Microsoft フェイルオーバー・クラスター・マネージャー、System Center Virtual Machine Manager、または PowerShell コマンドレットを使用して、この仮想マシンに対する高可用性を有効にします。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: Microsoft フェイルオーバー・クラスター・マネージャー、System Center VM Manager、または PowerShell を使用してクラスターを構成し、この仮想マシンが高可用性構成で実行できるようにしてください。

ANS2876E ストレージ仮想マシン '' と関連付けられているファイラー '' について、必要とされる保管済み NetApp 管理ファイラー資格情報 (ユーザー ID とパスワード) にアクセスできません。 資格情報を保管する **SET PASSWORD -TYPE=FILER** コマンドが正しく指定されていることを確認してください。

説明: 指定されたストレージ仮想マシンに関連付けられている、指定された NetApp 管理ファイラーのユーザー ID とパスワードは、設定されていないか、誤って指定されています。

ストレージ仮想マシンは、SET NETAPPSVM コマンドを使用して管理ファイラーに関連付けられます。 管理ファイラーの資格情報は、SET PASSWORD -TYPE=FILER コマンドを使用して保管されます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 'set password -type=filer' コマンドを使用して、指定された NetApp 管理ファイラーのユーザー ID およびパスワードを定義します。 'set netappsvm' コマンドを使用して、ストレージ仮想マシンと管理ファイラーを関連付けます。この両方のコマンドが正しく指定されていることを確認し、スナップショット差分バックアップ操作を再試行してください。

ANS2888E VM フルバックアップまたは **VM** 増分バックアップを実行できません。
仮想環境向けの有効な **IBM Spectrum Protect** ライセンス・ファイル (*license-file*) が見つかりません。

説明: ライセンス・ファイルが見つからなかったか、アクセス権のためにオープンできなかったか、またはファイルが破損しています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を確認してください。ライセンス・ファイルが正しい場所にあるかどうか確認してください。

ANS2889I vApp 'vapp name' は '*new vapp name*' という名前で正常にリストアされました

説明: vApp の指定された名前へのリストアで正常にリストア操作を完了しました。

システムの処置: これは単なる通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS2891W vApp 'vapp name' は正常にリストアされました。ただし、*existing vms num* 個の **VM** 中 *failed vms num* 個はリストアされませんでした。

説明: vCloud での vApp リストア操作は正常に完了しましたが、1 つ以上の VM がリストアされませんでした。

システムの処置: 操作は正常に完了しました。ただし、一部の VM がリストアされませんでした。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルで、VM がリストアされなかった理由に関する情報を確認してください。その後、操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、IBM Support Portal (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/>) で追加情報を参照してください。

ANS2900E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は、スキャン・ドメインが指定されていないことを検出しました。

説明: コマンド・ライン・オプションの解析中に、スキャン・ドメインが検出されませんでした。このエラーは、-domain オプションが指定されなかったために発生しました。

システムの処置: 有効なスキャン・ドメインなしでこの操作を続行できません。

ユーザーの処置: -domain オプションを指定して、操作を再実行してください。

ANS2901E IBM Spectrum Protect for Virtual Environments は、ドメイン・ユーザーが指定されていないことを検出しました。

説明: コマンド・ライン・オプションの解析中に、ドメイン・ユーザーが検出されませんでした。このエラーは、-user オプションが指定されなかったために発生しました。

システムの処置: 有効なドメイン・ユーザーなしでこの操作を続行できません。

ユーザーの処置: -user オプションを指定して、操作を再実行してください。

ANS2902E 機能 *func-name* でのドメイン・パスワードの保存が、戻りコード *return-code* で失敗しました。

説明: この機能がドメイン・パスワードを保存しようとしたときに、予期しない書き込みアクセス・エラーが発生しました。レジストリー、またはパスワード・ファイルが保存されている Linux インストール・フォルダー上の IBM Spectrum Protect for Virtual Environments に対する書き込みアクセス権が存在しません。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: レジストリー、または Linux インストール・フォルダー上の IBM Spectrum Protect for Virtual Environments に書き込みアクセス権を付与し、操作を再試行してください。

ANS2903E 機能 *func-name* でのドメイン・パスワードの読み取りが、戻りコード *return-code* で失敗しました。

説明: この機能がドメイン・パスワードを読み取ろうとしたときに、予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: Windows の場合は、パスワードがレジストリー内に存在することを確認してください。

Linux の場合は、パスワード・ファイル内にパスワードが存在していることを確認してください。操作を再試行してください。

ANS2998I 包含/除外ファイル '*file-name*' の行番号 *number* で検出されたオプション '*option*' は、サポートされていません。クライアントは、このオプションを無視します。

説明: 指定されたオプションは有効ではあるが、現行プ

ラットフォームではサポートされていないためにクライアントによって無視されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このメッセージは無視しても構いません。あるいは、包含/除外ファイルからこのオプションを削除することもできます。

ANS3000I *communication-type* 通信をポート
port-number で使用可能です。

説明: 指定された通信は指定されたポート番号で使用可能です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS3001W 選択されたロケール "*locale*" はサポートされていないため、デフォルト・ロケールの英語 (米国) が使用されます。サポートされているロケールは以下の通りです。
supportedLocales

説明: ユーザーのシステムまたはブラウザーのロケールはサポートされていません。

システムの処置: システムにより、デフォルトは英語 (米国) ロケールに設定されます。

ユーザーの処置: デフォルト・ロケールを使用するか、サポートされているロケールのいずれかに切り替えてください。

ANS3002I ユーザー *userid* (*communication-method address*) のセッションが開始しました。

説明: 指定されたユーザーのセッションが開始しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS3003I 新規パスワードでは大/小文字が区別されます。

説明: ご使用のアカウントは、大/小文字が区別されるパスワードを使用するように更新されています。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: 大/小文字を含めて、新規パスワードを入力時に必ず覚えておいてください。詳しくは、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS3004E ユーザー *userid* のセッションが終了しました - 無効なパスワードが入力されました。

説明: 無効なパスワードが入力されたために、指定されたユーザーのセッションが終了しました。

システムの処置: 指定されたユーザーのセッションが終了します。

ユーザーの処置: リモート・クライアントを再始動して、指定されたユーザーの正しいパスワードを入力してください。

ANS3005I ユーザー *userid* のセッションが終了しました - *idle-minutes* 分間アイドル状態になっています。

説明: 指定された分数の間セッションで何も活動が行われなかったため、指定されたユーザーのセッションが終了しました。

システムの処置: 指定されたユーザーのセッションが終了します。

ユーザーの処置: リモート・クライアントを再始動して、新規セッションを開始してください。

ANS3006I IBM Spectrum Protect Web クライアント (*ip-address*) に対する要求を処理中。

説明: Web クライアントに対する要求は処理中です。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS3007I IBM Spectrum Protect *client-name* を終了します - *idle-minutes* 分間アイドル状態になっています。

説明: 指定されたクライアントは、指定された時間アイドル状態であったため終了します。このクライアントは、必要なときに自動的に開始されます。

システムの処置: クライアント・プログラムは停止します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS3008E 名前 '*file_name*' を解決しているときに、検出されたシンボリック・リンクの数が多すぎました。

説明: ファイル名の解決を試行しているときに検出されたシンボリック・リンクの数が多すぎます。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ANS3009E • ANS3101E

ユーザーの処置: ファイルにループ・シンボリック・リンクがないことを確認してください。

ANS3009E 論理ボリューム・スナップショット・エージェント・プラグイン・ライブラリーが見つかりませんでした。

説明: 論理ボリューム・スナップショット・エージェント (LVSA) プラグイン・ライブラリーは、クライアントのインストール時にインストールされているはずですが、見つかりません。

システムの処置: 選択した操作は実行されません。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が再発する場合は、IBM Spectrum Protect クライアント・ソフトウェアを再インストールしてください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS3010E スナップショット・ウィザード操作が失敗しました。

説明: スナップショット・ウィザード操作が失敗し、ゼロ以外の値の戻りコードが表示されました。追加情報についてはエラー・ログを検査してください。

システムの処置: 選択した操作は実行されません。

ユーザーの処置: エラー・ログにエラー・メッセージがないか確認し、失敗の原因を訂正してから操作を再試行してください。

ANS3011E 以前の変更がコミットされていません。マシンをリブートしてからでないと、この操作は実行できません。

説明: 前の操作で変更が有効になるためにはマシンをリブートする必要がありますが、マシンがリブートされていません。マシンをリブートしてからでないと、ここで選択した操作は実行できません。

システムの処置: 選択した操作は実行されません。

ユーザーの処置: マシンをリブートした上で、操作を再試行してください。

ANS3012E 論理ボリューム・スナップショット・エージェントがインストールされていません。セットアップ・ウィザードを使用してオンライン・イメージまたはオープン・ファイル・サポートのいずれかを構成し、スナップショット・プロバイダーとして論理ボリューム・スナップショット・エージェントを選択してください。

説明: 選択した操作には論理ボリューム・スナップショ

ット・エージェントが必要ですが、これがインストールされていません。 セットアップ・ウィザードを使用して、LVSA をインストールします。

システムの処置: 選択した操作は実行されません。

ユーザーの処置: 論理ボリューム・スナップショット・エージェントをインストールした後で、操作を再試行してください。

ANS3013E 指定されたスナップショット・プロバイダーは、このバージョンのオペレーティング・システムではサポートされていません。

説明: 指定されたスナップショット・プロバイダーは、現在実行中のバージョンのオペレーティング・システムではサポートされていません。別のスナップショット・プロバイダーが使用可能な場合は、それを選択して操作を再試行してください。

システムの処置: 選択した操作は実行されません。

ユーザーの処置: 別のスナップショット・プロバイダーが使用可能な場合は、それを選択して操作を再試行してください。

ANS3014E バックアップ文書「xml-backup-doc-file」のスナップショットの公開が失敗しました。

説明: スナップショットの公開が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳しくは、dsmerror.log ファイルを参照してください。

ANS3100E iSCSI イニシエーター名を取得できません。Windows エラーは (error) です。

説明: システム上で iSCSI イニシエーター名が構成されていません。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で iSCSI イニシエーター名の構成方法を確認してください。

ANS3101E 仮想マシン 'vmname' のマウント操作が、戻りコード *return-code* で失敗しました。詳しくは、**Recovery Agent** のログを確認してください。

説明: マウント操作中にエラーが発生しました。以前の操作からの出力を参照し、エラーの原因を識別します。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: リカバリー・エージェント・ログを参

照して、この問題の解決方法を示す情報がないかを確認してください。

ANS3102I 'VMNAME' は正常にマウントされ、作動可能です。

説明: 指定された仮想マシンのマウント操作は正常に完了しました。その結果、仮想マシンはファイル・リストア操作の準備ができました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: なし

ANS3103E ダイナミック・リンク・ライブラリー (iscsidsc.dll) をロードできません。
Windows エラーは (error) です。

説明: システム上で iSCSI ダイナミック・リンク・ライブラリー (iscsidsc.dll) が見つかりません。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料でダイナミック・リンク・ライブラリー (iscsidsc.dll) のインストール方法を確認してください。

ANS3104E iSCSI ポータルでターゲットが見つかりませんでした。
見つからないターゲットは 'target' です。

説明: iSCSI ポータルは、IBM Spectrum Protect Recovery Agent コマンド・ライン・インターフェースで作成されたすべてのターゲットをディスカバーすることはできません。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で、この iSCSI ポータルの問題を修正する方法を確認してください。iSCSI のトラブルシューティングの情報については、<http://technet.microsoft.com/en-US/windowsserver> で検索してください。

ANS3105E iSCSI ポータル上のすべてのターゲットに接続できません。
接続されないターゲットは 'target' です。
Windows エラーは (error) です。

説明: iSCSI ポータルは、IBM Spectrum Protect Recovery Agent コマンド・ライン・インターフェースで作成されたすべてのディスカバー済みターゲットに接続することができませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で、この iSCSI ポータルの問題を修正する方法を確認してください。

い。iSCSI のトラブルシューティングの情報については、<http://technet.microsoft.com/en-US/windowsserver> で検索してください。

ANS3106E Windows 構成マネージャーが新規ハードウェアをスキャンできません。Windows エラーは (error) です。

説明: Windows 構成マネージャーが新規の iSCSI ディスク接続を検出できませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で、このハードウェア・スキャンの問題を修正する方法を確認してください。

ANS3107E ディスク 'disk' に関する情報の取得に失敗し、Windows エラー (error) が発行されました。

説明: Windows API 呼び出しは、ディスク情報の取得に失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で、この Windows API 呼び出しの問題の解決方法を確認してください。

ANS3108W ラベル 'label' が付いたディスクは、バックアップ時に除外されていたためにマウントされませんでした (理由: 'reason')。

説明: このディスクは、バックアップ時に除外されていたためにマウントできません。このディスクを使用するファイル・システムまたはボリュームからファイルをリカバリーすることはできません。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: 対象のファイル・システムまたはボリュームからファイルをリカバリーする必要がある場合は、そのディスクをバックアップに含めるようにしてください。

ANS3109E マウント ID *mountID* がみつからないために、このマウントを取得できません。

説明: 指定されたマウント ID を持つマウントの取得中にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

ANS3110E Windows デバイス '*device*' を通信できません。**Windows** エラーは (*error*) です。

説明: Windows API 呼び出しは、Windows デバイスのオープンに失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で、この Windows API 呼び出しの問題の解決方法を確認してください。

ANS3111E 同じダイナミック・ディスクを複数回マウントすることはできません。
ディスク '*disk*' シグニチャーは、オンラインにある別のディスクのディスク・シグニチャーと同じです。

説明: 同じディスク・シグニチャーを持つ 2 番目のディスクをシステムに接続することはできません。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行する前に、同じディスク・シグニチャーを持つ他のディスクをマウント解除する必要があります。

ANS3112E Windows 仮想ディスク・サービスは、すべての新規デバイスを検出することはできません。

説明: 仮想ディスク・サービス VDS は、すべての iSCSI ターゲットにはアクセスできません。一部のターゲットが欠落しているか、作動していません。

システムの処置: 操作はロールバックされ、停止されません。

ユーザーの処置: データ・ムーバーが一部の iSCSI ターゲットにアクセスできない理由を判別します。IBM Spectrum Protect サーバーが正常に作動しているかどうかを判別します。iSCSI サービスが稼働中であるかどうかを判別します。デバイス欠落の問題があるかどうか Windows イベント・ログを検索します。

ANS3113E 仮想マシン '*name*' に、少なくとも 1 つのミラーまたは **RAID5** ボリュームがあります。ミラーおよび **RAID5** のサポートは使用不可にされています。

説明: マウント操作中に、仮想マシンにミラーまたは RAID5 ボリュームがあることが検出されました。そのようなボリュームのサポートは、管理者によって使用不可にされています。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 詳しくは、管理者にお問い合わせください。

ANS3114E ボリューム '*volume*' に関する情報の取得に失敗し、**Windows** エラー (*error*) が発行されました。

説明: Windows API 呼び出しは、ボリューム情報の取得に失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で、この Windows API 呼び出しの問題の解決方法を確認してください。

ANS3115E ディスク '*disk*' をオンラインにする試行に失敗し、**Windows** エラー (*error*) が発行されました。

説明: Windows API 呼び出しは、ディスクのオンライン化に失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で、この Windows API 呼び出しの問題の解決方法を確認してください。

ANS3116E ディレクトリー '*dir*' の作成に失敗し、**Windows** エラー (*error*) が発行されました。

説明: Windows API 呼び出しは、ディレクトリーの作成に失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で、この Windows API 呼び出しの問題の解決方法を確認してください。

ANS3117E ディレクトリー '*dir*' でのボリュームのマウントに失敗し、**Windows** エラー (*error*) が発行されました。

説明: Windows API 呼び出しは、指定されたボリュームのマウントに失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で、この Windows API 呼び出しの問題の解決方法を確認してください。

ANS3118E リストアする **VM** のオペレーティング・システム・タイプを判別できません。

説明: リストアする **VM** のオペレーティング・システム・タイプを判別できませんでした。この問題は、**restore** パラメーター **-VMOSType** が指定されていない場合や、このパラメーターで誤ったオペレーティング・システム・タイプが指定されている場合に発生する可能性があります。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: **-VMOSType** パラメーターを使用して、リストアする **VM** の正しいオペレーティング・システム・タイプを指定します。

ANS3119W オペレーティング・システム・タイプ "*name1*" が検出されましたが、オペレーティング・システム・タイプ "*OSname*" が指定されました。

説明: 検出された **VM** のオペレーティング・システム・タイプが、**restore** パラメーター **-VMOSType** で指定されたタイプと一致しません。オペレーティング・システム・タイプの不整合は、マウント操作に悪影響を及ぼします。操作は、オペレーティング・システム・タイプとして "*OSname*" を使用して続行されます。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: マウント操作が失敗する場合は、自動検出を使用するか、正しいオペレーティング・システムを指定して操作を再試行してください。

ANS3122E **Microsoft iSCSI** イニシエーター・サービスでエラーが発生しました。**Windows** エラーは (*error*) です。

説明: **iSCSI** 操作中に **Microsoft iSCSI** イニシエーター・サービスでエラーが発生しました。このエラーにより、操作は停止しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: **Microsoft iSCSI** イニシエーター・サービスのエラー・メッセージを参照し、エラーの原因を判別してください。必要な場合は、該当する **Microsoft** 資料を参照し、この **iSCSI** イニシエーター・エラーの解決方法を確認してください。

ANS3123E ローカル **VM** ファイル・リストア・データの読み取りまたは書き込みができません。
filename
ファイルにアクセスできないか、ファイルが損傷しています。

説明: **VM** ファイル・リストア操作の場合、データは、リストアを実行するユーザーがアクセスできるディレクトリー内のローカル・データ・ムーバーに保管する必要があります。データ・ファイルが損傷している可能性もあります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **VM** ファイル・リストア・データを保管するには、データ・ムーバー・アプリケーションに、**C:\Documents and Settings\AllUsers\Application Data\Tivoli\TSM** or **C:\ProgramData\Tivoli\TSM** フォルダーに対する読み取り/書き込みアクセス権が必要です。

ユーザーが正しい権限を持てるように、このディレクトリーにアクセス権限を設定します。

ファイルが損傷した場合、現行バージョンと **.bak** ファイルの置き換えが役立つ場合があります。

ANS3124E コンテキスト **ID** *contextID* がみつからないので、ユーザー・セッションを取得できません。

説明: 指定されたコンテキスト **ID** を持つ現行ユーザー・セッションの取得中にエラーが発生しました。タイムアウトになったセッションが原因でエラーが発生した可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: セッションがタイムアウトになった場合、再度ログインしてください。

ANS3125E **ID** が *id* で仮想マシン名が '*name*' であるファイル・リストア・マウントのローカル・データが見つかりません。

説明: 指定されたマウント **ID** または仮想マシン名のローカル・データ・セットが見つかりませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 照会コマンド "**dsmsc q vm <name> -vmrestoretype=mount**" を使用して、正しいマウント **ID** および仮想マシン名を確認し、クリーンアップを行います。

ANS3126E **Linux** マウント・プロキシ・パートナーのノード名が見つかりませんでした。

説明: **Linux** マウント・プロキシ・パートナーについて **IBM Spectrum Protect** サーバーの照会中にエラーが発生しました。ノードが見つかりませんでした。

Linux **VM** ファイル・リストア操作を実行するには、**Linux** マウント・プロキシ・パートナーとの通信が必要です。

ANS3127E • ANS3133E

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Linux マウント・プロキシー・パートナー・ノード構成を確認して、ノードが適切な構成で稼働していることを確認してください。

ANS3127E Linux マウント・プロキシー・パートナーの IP アドレスまたはポートが見つかりませんでした。

説明: Linux マウント・プロキシー・パートナーについて IBM Spectrum Protect サーバーの照会中にエラーが発生しました。そのパートナーの IP アドレスまたはポートが見つかりませんでした。Linux VM のファイル・リストアを処理するには、アドレスおよびポートが必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ノード構成を確認し、Linux マウント・プロキシー・パートナーが適切な構成で稼働していることを確認してください。Linux マウント・プロキシー・パートナー上のクライアント・アクセプター・デーモンが稼働しており、IBM Spectrum Protect サーバーに接続できることを確認します。

ANS3128E Windows マウント・プロキシーのノード名が、IBM Spectrum Protect 命名規則に適合していません。

説明: Linux マウント・プロキシー・パートナーについて IBM Spectrum Protect サーバーを照会中にエラーが発生しました。Windows マウント・プロキシーの名前が、命名規則に適合していません。Linux VM の処理には、正しい名前が必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ノード構成を確認し、マウント・プロキシー名が正しいことを確認します。Web ベースの構成ウィザードを使用して、構成をセットアップします。

ANS3129I VM 'VMNAME' のマウント・クリーンアップが完了しました。

説明: 指定された仮想マシンのマウント・クリーンアップ操作が完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: なし

ANS3130E 仮想マシン 'vmname' のマウント・クリーンアップ操作が、戻りコード *return-code* で失敗しました。

説明: マウント・クリーンアップ操作中にエラーが発生

しました。以前の操作からの出力を参照し、エラーの原因を識別します。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: dsmerror.log ファイルでこの問題の解決方法に関する情報を確認します。

ANS3131E iSCSI ターゲットを Windows データ・ムーバーから切断する操作が失敗しました。

説明: iSCSI ターゲットの切断時のマウント・クリーンアップ操作中にエラーが発生しました。以前の操作からの出力を参照し、エラーの原因を識別します。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Windows iSCSI イニシエーター・ツールを開き、ターゲットを切断してターゲット・ポータルを削除します。ツールは、「管理ツール」->「iSCSI イニシエーター」にあります。

ANS3132E Windows iSCSI サービスが、現在実行中のすべてのセッションのリストは取得できません。Windows エラーは (error) です。

説明: iSCSI サービスは、接続されたすべてのターゲットおよび対応するセッションのリストは取得できませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Microsoft 資料で、この iSCSI の問題の修正について確認してください。iSCSI のトラブルシューティングの情報については、<http://technet.microsoft.com/en-US/windowsserver> で検索してください。

ANS3133E iSCSI ポータルによってターゲット 'target' を切断できませんでした。Windows エラーは (error) です。

説明: iSCSI ポータルは、Recovery Agent コマンド・ライン・インターフェースで作成された、すべての接続済みターゲットを切断することができません。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Microsoft 資料で、この iSCSI ポータルの問題の修正について確認してください。iSCSI のトラブルシューティングの情報については、<http://technet.microsoft.com/en-US/windowsserver> で検索してください。

ANS3134E Windows iSCSI サービスが、現在使用可能なすべてのポータルのリストを取得できません。**Windows** エラーは (*error*) です。

説明: iSCSI サービスでは、使用可能なすべてのポータルのリストの取得中に問題が発生しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Microsoft 資料で、この iSCSI ポータルの問題の修正について確認してください。iSCSI のトラブルシューティングの情報については、<http://technet.microsoft.com/en-US/windowsserver> で検索してください。

ANS3135E iSCSI ポータル '*target*' の削除が **Windows** エラー (*error*) で失敗しました

説明: iSCSI サービスが iSCSI ポータルを除去できません。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Microsoft 資料で、この iSCSI ポータルの問題の修正について確認してください。iSCSI のトラブルシューティングの情報については、<http://technet.microsoft.com/en-US/windowsserver> で検索してください。

ANS3136E クリーンアップ操作でマウント ID が指定されていませんでした。

説明: '*mountcleanup*' 操作を実行する際には *-MOUNTID* パラメーターを指定する必要があります。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 照会コマンド "*dsmc q vm <name> -vmrestoretype=mount*" を使用して、正しいマウント ID を取得して、クリーンアップを行います。

ANS3137W 'VMNAME' のマウントがエラーで完了しました。

説明: 指定された仮想マシンのマウント操作はエラーで完了しました。仮想マシンのディスクのサブセットのみが、ファイル・リストア操作の準備ができています。

システムの処置: 失敗した VM ディスクは、以前のメッセージで報告されています。

ユーザーの処置: 各失敗の原因について、以前のエラー・メッセージを確認してください。

ANS3138E マウント ID *mountid* のクリーンアップ操作中にボリュームのアンマウントが失敗しました

説明: ボリュームのアンマウント中のマウント・クリーンアップ操作時にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 以前の操作からの出力を参照し、エラーの原因を識別します。

ANS3139E ディスクをアンマウントしようとして **Windows** エラー (*error*) で失敗しました。

説明: Windows API 呼び出しは、ディスクのアンマウントに失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Microsoft 資料で、この問題の修正について確認してください。Windows エラーについては資料を検索してください。

ANS3140E iSCSI ターゲット '*target_list*' への接続が失敗しました。

説明: *iscsiadm* コマンド・ライン・インターフェースでは、Linux マウント・プロキシー・マシンから、指定された iSCSI ターゲットに接続できませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: ターゲットが Linux マウント・プロキシー・マシンに既に接続されている場合、ターゲットから *iscsiadm -m node -T targetname --logout* などのコマンドでログアウトします。また、iSCSI サーバー・アドレスが適切に指定されていることを確認します。

ANS3141W デバイス '*device_list*' のマウントが失敗しました。

説明: Linux マウント・プロキシー・マシン上に指定したデバイスをマウントできませんでした。

システムの処置: 他のデバイスのマウントは操作により続行されます。

ユーザーの処置: クリーンアップを実行するか、Linux マウント・プロキシー・マシン上のデバイスの手動アンマウントを試行してください。

ANS3142E Windows 仮想ディスク・サービスでエラーが発生しました。 **Windows** エラーは (*error*) です。

ANS3143W • ANS3149E

説明: Windows 仮想ディスク・サービスが正常に作動していません。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Microsoft 資料で、この問題の修正について確認してください。仮想ディスク・サービスのトラブルシューティングの情報については、

<http://technet.microsoft.com/en-US/windowsserver> で検索してください。

ANS3143W iSCSI サービスが稼働していません。状態は 'state' です。

説明: iSCSI サービスが稼働していません。

システムの処置: サービスは中断状態の可能性がありますが、操作を続行できません。

ユーザーの処置: iSCSI サービスを開始してください。

ANS3144W iSCSI サービスが稼働していません。ファイル・リストア・マウント操作は作動しません。

説明: iSCSI サービスが稼働していません。ファイル・リストア・マウント操作を行うには、Windows および Linux マウント・プロキシーでこのサービスが必要です。フル VM インスタント・アクセスおよびインスタント・リストアは影響されません。

システムの処置: ファイル・リストアのマウント操作は続行できません。

ユーザーの処置: ファイル・リストア操作を実行したい場合は、iSCSI サービスを開始してください。VM インスタント・アクセスおよびインスタント・リストアの場合、アクションは必要ありません。

ANS3145E Windows API 呼び出しが失敗しました。

説明: Windows API 呼び出しが失敗しました。

システムの処置: 操作を続行できません。

ユーザーの処置: 詳しくは、`dsmerror.log` を参照してください。

ANS3146E ボリューム *volume* をアンマウントするためのクリーンアップ操作が失敗しました。マウントされたファイル・システムが使用中です。

説明: Linux マウント・プロキシー・マシン上のボリュームのアンマウント中のマウント・クリーンアップ操作時にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ファイル・システムが使用中でないことを確認し、クリーンアップ操作を再試行するか、ホスト上のボリュームを手動でアンマウントします。

ANS3147W iSCSI ターゲット '*iscsi_target*' は正常に切断されましたが、ターゲットを削除しようとして失敗しました。

説明: ターゲットを切断した後にオブジェクトを削除することができませんでした。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: Linux マシン上のオブジェクトの手動削除を試行してください。例えば、`iscsiadm -m node -T targetname -o delete` を実行します。

ANS3148W iSCSI ターゲット '*iscsi_target*' は既に接続されています。

説明: ターゲットは既に Linux マウント・プロキシー・マシンに接続されています。このエラーは、クリーンアップが実行されなかった場合、またはクリーンアップが部分的にしか成功しなかった場合に発生する可能性があります。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: Linux マウント・プロキシー・マシンは、既に接続されているターゲットを再使用しようとしてしました。ボリュームが正しくマウントされていない場合は、Linux マウント・プロキシー・マシン上のターゲットを手動で切断してください。例えば `iscsiadm -m node -T targetname --logout`; `iscsiadm -m node -T targetname -o delete` を実行します。

ANS3149E iSCSI ターゲット '*target*' は Linux マシンからの切断に失敗しました。
iscsiadm コマンド・ライン・インターフェースからのメッセージは *message_output* です

説明: `iscsiadm` コマンド・ライン・インターフェースでは、指定された iSCSI ターゲットを Linux マシンから切断できませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Linux マシンでターゲットが既に切断されているかどうかを確認するか、ターゲットの手動での切断を試行してください。例えば、`iscsiadm -m node -T targetname --logout` を実行します。iSCSI サーバー・アドレスが正しく指定されていることを確認します。

ANS3150W タイプ '*device_type*' のブロック・デバイス '*block_device*' はマウントに失敗しました。システム・メッセージは次のとおりです。
'*system_message*'

説明: Linux マシン上で 1 つ以上のデバイスをマウントできませんでした。

システムの処置: 他のデバイスのマウントは操作により続行されます。

ユーザーの処置: クリーンアップを実行するか、Linux マシン上のデバイスを手動でのアンマウントを試行してください。

ANS3151E *initiator.iscsi* ファイルが存在しないか、開くことができません。

説明: ファイルが存在しないか、開くことができません。

システムの処置: 操作を続行できません。

ユーザーの処置: iSCSI サービスがインストールされていない可能性があります。

ANS3152E *initiator.iscsi* ファイルに有効なイニシエーター ID 項目がありません。

説明: iSCSI イニシエーター ID が存在しません。

システムの処置: 操作を続行できません。

ユーザーの処置: iSCSI サービスがインストールされていない可能性があります。

ANS3153E 仮想マシン '*VMNAME*' のマウント ID '*mountid*' マウント・クリーンアップはエラーで完了しました。エラー・ログ '*errlog*' は '*machinename*' で参照可能です。

説明: ボリュームのアンマウント中のマウント・クリーンアップ操作時にエラーが発生しました。マウントされたファイル・システムが使用中の可能性があります。エラー・ログを参照し、エラーの原因を識別してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ファイル・システムが使用中でないことを確認し、クリーンアップまたはホスト上のボリュームの手動アンマウントを実行します。

ANS3154E iSCSI サービスがインストールされていません。

説明: iSCSI サービスがインストールされていません。

システムの処置: 操作を続行できません。

ユーザーの処置: ご使用のプラットフォーム用の iSCSI サービスをインストールしてください。

ANS3155I Windows データ・ムーバーは '*name*' (*ip*) です

説明: Windows データ・ムーバーの DNS 名および IP。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: この情報を使用して、Windows データ・ムーバーのホスト名および IP が正しく解決されているかを判別することができます。この情報は、iSCSI 接続が正しく機能していない場合に役立ちます。

ANS3156I 使用されている iSCSI サーバー・アドレスは '*ip*' です

説明: このメッセージは、iSCSI サーバーの IP アドレスを戻します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: この情報を使用して、iSCSI サーバー・アドレスの IP アドレスが正しく解決されているかを判別することができます。この情報は、iSCSI 接続が正しく機能していない場合に問題のトラブルシューティングに役立つ可能性があります。

ANS3157I Linux データ・ムーバーは '*name*' (*ip*) です。

説明: Linux データ・ムーバーの DNS 名および IP アドレス。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: この情報を使用して、Linux データ・ムーバーのホスト名および IP が正しく解決されているかを判別することができます。この情報は、iSCSI 接続が正しく機能していない場合に問題のトラブルシューティングに役立つ可能性があります。

ANS3158W Windows 共有を作成しようとして Windows エラー (*error*) で失敗しました。共有は作成されません。

説明: 指定されたユーザー/グループ名での Windows 共有の作成は失敗しました。

システムの処置: Windows 共有は作成されません。
操作は続行されます。

ユーザーの処置: 失敗の一般的な理由の 1 つは、指定されたユーザー/グループが存在しないことです。
Windows ユーザーまたはグループ名が存在しており、Windows データ・ムーバーにアクセス可能であることを確認してください。これがドメイン・ユーザーまたはグループの場合、Windows データ・ムーバーはそのドメインの一部でなければなりません。この問題が解決しない場合、該当する Microsoft 資料でこのエラー・コードの情報を参照してください。

ANS3159E Windows 共有の削除が **Windows** エラー (*error*) で失敗しました。

説明: Windows API 呼び出しは、Windows 共有の削除に失敗しました。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: 該当する Microsoft 資料で、この Windows API 呼び出しの問題の解決方法を確認してください。

ANS3160W Linux ファイル・システムをエクスポートしようとして、エラー「**NFS** サービスが稼働していません」で失敗しました。

説明: `exportfs` コマンドで、Linux マウント・プロキシ上に NFS クライアントがマウントに使用可能なディレクトリを作成できませんでした。

システムの処置: NFS エクスポートを作成せずに操作が続行されます。

ユーザーの処置: Linux マウント・プロキシ上のエラーを解決します。ディレクトリを手動でエクスポートします。

ANS3161E Linux ファイル・システムをアンエクスポートしようとして、エラー「**NFS** サービスが稼働していません」で失敗しました。

説明: `exportfs` コマンドで、Linux マウント・プロキシ上のディレクトリをアンエクスポートできませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Linux マウント・プロキシ上のエラーを解決します。ディレクトリを手動でアンエクスポートします。

ANS3162I マウント ID '*Id*' およびスナップショット日時 '*date time*' の VM '*VMNAME*' のマウント・クリーンアップが完了しました。

説明: 指定された仮想マシンのマウント・クリーンアップ操作が完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: なし

ANS3163W Linux オペレーティング・システムが最小レベルではありません。マウント操作は正常に完了しない場合があります。

説明: Linux オペレーティング・システムが最小レベルではありません。

システムの処置: マウント操作は正常に完了しない場合があります。

ユーザーの処置: Linux オペレーティング・システムを最小レベル以上にアップグレードしてください。

ANS3164W '*os*' の最小レベルは '*level*' です。
現在のレベルは '*actual*' です。

説明: Linux オペレーティング・システムが最小レベルではありません。

システムの処置: マウント操作は正常に完了しない場合があります。

ユーザーの処置: Linux オペレーティング・システムを最小レベル以上にアップグレードしてください。

ANS3165W Linux オペレーティング・システムにインストールされているパッケージが最小レベルではありません。マウント操作は正常に完了しない場合があります。

説明: Linux オペレーティング・システムにインストールされているパッケージが最小レベルではありません。

システムの処置: マウント操作は正常に完了しない場合があります。

ユーザーの処置: パッケージを最小レベル以上にアップグレードしてください。

ANS3166W パッケージ '*package*' の最小レベルは '*level*' です。
現在のレベルは '*actual*' です。

説明: Linux オペレーティング・システムにインストール

ールされているパッケージが最小レベルではありません。

システムの処置: マウント操作は正常に完了しない場合があります。

ユーザーの処置: パッケージを最小レベル以上にアップグレードしてください。

ANS3167E IBM Spectrum Protect Recovery Agent サービスがインストールされていません。

説明: IBM Spectrum Protect Recovery Agent サービスがインストールされていません。

システムの処置: 操作を続行できません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect Recovery Agent が正しくインストールされ、構成されていることを確認してください。

ANS3168E IBM Spectrum Protect Recovery Agent サービスが稼働していません。

説明: IBM Spectrum Protect Recovery Agent サービスが稼働していません。

システムの処置: 操作を続行できません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect Recovery Agent サービスを開始してください。Recovery Agent は、「net start RecoveryAgent」を使用するか、services.msc の IBM Spectrum Protect Recovery Agent を参照することで開始できます。

ANS3169E マウント・プロキシのオペレーティング・システムは、Windows Server 2008 以上のオペレーティング・システムでなければなりません。

説明: Windows オペレーティング・システムが最小レベルではありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Windows マウント・プロキシをサポート対象のオペレーティング・システムにアップグレードしてください。

ANS3170W Linux ファイル・システムをエクスポートしようとして、エラー「**exportfs** コマンドが失敗しました」で失敗しました。

説明: **exportfs** コマンドで、Linux マウント・プロキシ上に NFS クライアントがマウントに使用可能なディレクトリを作成できませんでした。

システムの処置: NFS エクスポートを作成せずに操作が続行されます。

ユーザーの処置: Linux マウント・プロキシ上のエラーを解決します。ディレクトリを手動でエクスポートします。

ANS3171E Linux ファイル・システムをアンエクスポートしようとして、エラー「**exportfs** コマンドが失敗しました」で失敗しました。

説明: **exportfs** コマンドで、Linux マウント・プロキシ上のディレクトリをアンエクスポートできませんでした。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: Linux マウント・プロキシ上のエラーを解決します。ディレクトリを手動でアンエクスポートします。

ANS3172T 仮想マシン 'source' を名前 'destination' の新規 VM にリストアしています。

説明: 指定した仮想マシンは、新しい名前で新規 VM としてリストアされます。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: ありません。

ANS3173E Linux デバイスは、正しくマウントできませんでした。

説明: Linux デバイスは、正しくマウントできませんでした。

システムの処置: マウント操作は正常に完了しませんでした。

ユーザーの処置: Linux マウント・プロキシ・サーバーが IBM Spectrum Protect サーバーと通信できることを確認してください。

ANS3174E 仮想マシンのマウントに失敗しました。

説明: マウント操作中にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: コマンド・ライン出力をチェックして、操作中に発生した問題を指定するメッセージを確認してください。

ANS3175E VM マウントのクリーンアップが失敗しました。

説明: マウント・クリーンアップ操作中にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ANS3176W • ANS3181E

ユーザーの処置: コマンド・ライン出力をチェックして、操作中に発生した問題を指定するメッセージを確認してください。

ANS3176W 'name' という名前の **Windows** ユーザーまたはグループが見つかりません。共有は作成されません。

説明: IBM Spectrum Protect は、指定したユーザーまたはグループ名を Windows セキュリティ識別子にマップできませんでした。

システムの処置: Windows 共有は作成されません。操作は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの一般的な理由の 1 つは、指定されたユーザーまたはグループが存在しないということです。Windows ユーザーまたはグループ名が存在しており、Windows データ・ムーバーにアクセス可能であることを確認してください。これがドメイン・ユーザーまたはグループの場合、Windows データ・ムーバーはそのドメインの一部でなければなりません。

また、このメッセージは、Windows データ・ムーバーが、Active Directory ドメイン・サーバーにアクセスできないことも示します。ネットワークの問題によって、Windows データ・ムーバーが、Active Directory ドメイン・サーバーとの通信を妨げられていないこと確認してください。

ANS3177E iSCSI ターゲットが接続されませんでした。バックアップ/アーカイブ・クライアントの iSCSI オプションを確認してください。

説明: iSCSI ターゲットが見つからなかったか、Linux マウント・プロキシー・マシンに接続されていません。

システムの処置: 操作がロールバックされます。

ユーザーの処置: iSCSI がご使用の Windows また Linux マウント・プロキシーで正しくセットアップされていることを確認してください。失敗の一般的な理由の 1 つは、Windows データ・ムーバーのオプション・ファイルに VMISCSIServeraddress オプションが指定されていないか、正しく設定されていないかのどちらかです。

ANS3178E タイプ 'file_system_type' のボリューム 'volume' はアンマウントされていません。システム・メッセージは次のとおりです。'system_message'

説明: Linux マウント・プロキシー・マシン上のボリュームのアンマウント中のマウント・クリーンアップ操

作時にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ファイル・システムが使用中でないことを確認し、クリーンアップ操作を再試行するか、Linux マウント・プロキシー上のボリュームを手動でアンマウントします。

ANS3179W 同じ名前 'name' のフォルダー共有は既に存在しています。

説明: 指定された名前を持つフォルダー共有が既に存在するため、IBM Spectrum Protect はその名前の共有を作成できませんでした。

システムの処置: フォルダー共有は作成されていません。操作は続行され、VM ディスクはファイル・リストア用にマウント・プロキシーにマウントされます。

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・コマンドを使用して、固有の名前を持つフォルダーの共有を作成し、マウント解除操作を実行する前にこの共有を削除してください。

ANS3180W パラメーター 'name' には、許可されていない文字が含まれていて、その文字は削除されました。
その結果、値は 'new' になります

説明: 一部の文字は、マルチプラットフォーム環境で使用できません。互換性の問題を解決するために、この特定のパラメーターでは、限定された文字のみが許可されています。

パラメーター "-MOUNTPoint" は [a から z][A から Z][0 から 9][:/][¥][_] に制限されています

パラメーター "-MOUNTTag" は [a から z][A から Z][0 から 9][_] に制限されています

パラメーター "-EXPORTParameter" は、Windows では [a から z][A から Z][0 から 9][!-[_]¥[@] に制限されています

パラメーター "-EXPORTParameter" は、Linux では [a から z][A から Z][0 から 9][.:] に制限されています:]

システムの処置: 操作は、変更されたパラメーターを使用して続行されます。

ユーザーの処置: なし

ANS3181E レジストリー・キー
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥partmgr¥Parameters¥CrPolicy が、3 以外の値に設定されています。

説明: レジストリー・キー

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM

¥CurrentControlSet¥Services¥

partmgr¥Parameters¥CrPolicy が、3 以外の値に設定されている場合、マウント操作中にマシンがハングする可能性があります。値を 3 に変更し、マシンをリブートしてください。

システムの処置: 操作は停止します。

ユーザーの処置: レジストリー・キー

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥

CurrentControlSet¥Services¥partmgr

¥Parameters¥CrPolicy は、Microsoft によって文書化されていません。このキーが 3 以外の値に設定されていると、マウント操作で問題が発生する可能性があります。値を 3 に設定し、マシンをリブートしてください。

ANS3182E マウント・クリーンアップ操作は、Linux マウント・プロキシーからの応答を *minutes* 分間待ち、タイムアウトになりました。

説明: Windows マウント・プロキシーは、指定されたタイムアウト時間内に Linux マウント・プロキシーからの応答を受信しませんでした。Linux マウント・プロキシーは、停止状態になっている可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Linux マウント・プロキシー・マシンの状況を確認し、詳細をマウント・プロキシー・トレース・ファイルで確認してください。umount の実行時にシステムが完全に停止した場合、Linux マウント・プロキシー・マシンをリブートした後に手動でマウント・クリーンアップを行う必要がある場合があります。

ANS3183E でマウントされているボリュームの復帰に失敗しました。

説明: ボリュームの復帰操作が失敗しました。ボリュームの手動によるマウントを試みてください。そのスナップショットを検索し、復帰操作を試みてください。

システムの処置: リストアが停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect エラー・ログの Windows イベント・ログで詳細な情報を確認してください。

ANS3184W マウント操作の LVM 活動化フェーズ中に重複した装置 UUID が検出されました。'vgimportclone' システム・コマンドが LVM 装置 'LVMdeviceName' の新規 UUID を生成できなかったため、UUID

がマウント・プロキシー・マシンの装置 'LVMdeviceName2' と重複しています。装置 'LVMdeviceName3' は、マウント・プロキシーにマウントされるボリュームのリストから除外されました。一部の Linux ディストリビューションでは、iSCSI 切断フェーズの後も引き続きこの装置が存在する可能性があり、手動でのクリーンアップ (例えば、'dmsetup remove device_name' コマンドを使用) が必要になる可能性があります。

説明: 'vgimportclone' コマンドがこの LVM 装置の新規 UUID を生成できなかったため、UUID が重複しています。

システムの処置: ターゲット VM の装置はスキップされ、マウントされません。操作は続行されます。

ユーザーの処置: この問題は、'vgimportclone' コマンドが新規 UUID を生成できなかった一部の Linux ディストリビューションで発生しています。そのようなケースでは、'iscsiadm -m node -T ... --logout' コマンドでその装置を削除することができず、手動でのクリーンアップ (例えば、'dmsetup remove device_name' コマンドを使用) が必要である場合があります。このような状況は、ターゲット VM がマウント・プロキシーと同じテンプレートから複製されたことを示す場合があるので注意してください。VM マシンの複製によって生じた、重複した装置を解決するには、'blkid' コマンドを使用してターゲット VM のブロック・デバイスを調べ、マウント・プロキシー・マシンと重複した UUID が存在していないことを確認してください。重複する装置がターゲット VM に属しており、それが使用されている場合、その装置に新規 UUID を割り当てるか、そのような装置を削除する必要があります。

ANS3185W iSCSI ターゲットの接続後に重複デバイス UUID が見つかりました。タイプ 'new_device_type' の UUID 'new_device_uuid' を使用するデバイス 'new_device_name' は、マウント・プロキシーにマウントされるボリュームのリストから除外されます。

説明: UUID がシステムに既に存在する場合、Linux オペレーティング・システムはこのタイプのデバイスをマウントできません。この状態は、ターゲット VM がマウント・プロキシーと同じテンプレートから複製された場合に起こることがあります。

システムの処置: ターゲット VM のデバイスはマウントされません。操作は続行されます。

ユーザーの処置: VM の複製によって生じた、重複し

たデバイスを解決するには、'blkid' コマンドを使用してターゲット VM のブロック・デバイスを調べ、マウント・プロキシー・マシンに重複した UUID が存在していないことを確認してください。重複するデバイスがターゲット VM に属しており、それが使用中の場合、そのデバイスに新規 UUID を割り当てるか、デバイスを削除します。

ANS3401W エンティティ *name* は無効です。

説明: この名前のボリュームは見つからないか、サーバー・フリー操作に適していません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しい名前を指定してください。

ANS3402W *name*: システム呼び出し *func* がコード *rc* で失敗しました。

説明: オペレーティング・システムから情報を取得しているときに、エラーが発生しました。ボリューム情報を取得できませんでした。

システムの処置: 取得しようとしていた情報がこの操作にとって重要でない場合や、実行しようとしていた操作のコンテキストでその動作が予期される場合は、処理を続行できます。

ユーザーの処置: エラー・ログで、エラーの理由を示すその他のメッセージを調べてください。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS3403W ボリューム *name* を読み取りのためにオープンできません。システム・エラー・コードは、*err* です。

説明: 示されているボリュームをオープンできませんでした。その原因としては、装置が有効なシステム装置でないこと、装置が別のアプリケーションによってロックされていること、ユーザーが正しい許可を持っていないことなどが考えられます。メッセージに表示されているオペレーティング・システム・エラー・コードが失敗の具体的な理由を示しています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムのツールを使用して、エラー・コードの記述を取得してください。また、エラー・ログで、失敗の理由を示す他のメッセージを探してください。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS3404W ボリューム *name* を読み取っているときに、エラーが発生しました。

説明: 示されているボリュームを読み取れませんでした。その原因としては、読み取り対象のデータがボリュームの有効範囲外にあること、装置が別のアプリケーションによってロックされていることなどが考えられます。メッセージに表示されているオペレーティング・システム・エラー・コードが失敗の具体的な理由を示しています。

システムの処置: サーバー・フリー・データ移動を使用している場合は、非サーバー・フリー・データ移動によって処理を続行します。そうでない場合、処理は停止します。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムのツールを使用して、エラー・コードの記述を取得してください。また、エラー・ログで、失敗の理由を示す他のメッセージを探してください。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS3405W ボリューム *name* のファイル・システム *fs* が不明です。

説明: そのボリュームのそのファイル・システムは、実行対象の操作に関してサポートされていません。

システムの処置: サーバー・フリー・データ移動を使用している場合は、非サーバー・フリー・データ移動によって処理を続行します。そうでない場合、処理は停止します。

ユーザーの処置: エラー・ログで、エラーの理由を示すその他のメッセージを調べてください。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS3406I 仮想マシン '*vm*' の前回のバックアップ状況を更新するためのスペースが足りません。

説明: 仮想マシンは正常にバックアップされましたが、仮想マシンの '*Notes*' フィールドには前回のバックアップ状況を書き込むためのスペースが不十分です。

システムの処置: バックアップ操作は完了しました。

ユーザーの処置: 前回のバックアップ状況が必要な場合は、仮想マシンの '*Notes*' フィールドでスペースの一部を開放してください。

ANS3407W *name* はローカルではありません。

説明: そのドライブまたはファイル・システムは、ローカルでなく、イメージ・バックアップに適していません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ローカルなボリュームを指定してください。

ANS3408E ボリューム '*volume*' に対するシステム呼び出し '*umount*' が失敗し、**errno='error'** が戻されました。**errno** を基に適切なアクションを実行し、操作を再試行してください。

説明: 指定されたボリュームの *umount* が失敗し、示された **errno** が戻されました。**errno** を基に適切なアクションを実行し、操作を再試行してください。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: *umount* の失敗の **errno** を確認し、修正アクションを実行したうえで、操作を再試行してください。

ANS3409W ボリューム *name* に書き込んでいるときに、エラーが発生しました。

説明: IBM Spectrum Protect は、示されているボリュームに書き込めませんでした。その原因としては、書き込み対象のデータがボリュームの有効範囲外にあること、装置が別のアプリケーションによってロックされていることなどが考えられます。メッセージに表示されているオペレーティング・システム・エラー・コードが失敗の具体的な理由を示しています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムのツールを使用して、エラー・コードの記述を取得してください。また、エラー・ログで、失敗の理由を示す他のメッセージを探してください。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS3410E オペレーティング・システムが、メモリー割り振りの要求を拒否しました。

説明: 処理を進めるための情報を保管するために、プロセスがメモリーにアクセスする必要があります。この場合は、オペレーティング・システムが割り振れる以上のメモリーが要求されています。考えられる理由は次のとおりです。

システムのメモリーが少なくなっています。

プログラムが実行するプロセスが、割り当て可能な最大のメモリーを超えました。

なんらかのエラー条件が発生したため、プログラムがメモリー不足と認識しています。

システムの処置: プロセスは要求された操作を完了できません。

ユーザーの処置: 不要なアプリケーションをすべてクローズし、操作を再試行してください。それでも操作が失敗する場合には、タスクを小さい単位に分割してみてください。例えば、ファイル指定に高位のディレクトリーが含まれる場合、各ディレクトリーごとに順番に IBM Spectrum Protect のタスクを実行してください。タスクが増分バックアップの場合、オプション **"-memoryefficientbackup=yes"** を使用してください。

リソース限度をサポートする UNIX システムでは、次のコマンドを入力してメモリーのリソース限度が小さすぎるかどうかをチェックしてください。 **ulimit -a**

得られたデータに基づいて、UNIX システムのルート・ユーザーに現在の省略時値を指定変更してリソース限度を大きくするように依頼することができます。UNIX システムの **root** ユーザーにはリソース限度を大きくする権限があります。

ANS3411E 無効な引数が関数 *name* に渡されました。

説明: 示されている関数は、処理を進めるための正しい引数を受け取りませんでした。それ以上の説明については、エラー・ログでこのエラーの後に記述されている追加のエラーを調べてください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS3412I **DiskMapper** は、エンティティー *name* の *name* をサポートしていません。

説明: 要求された機能は、現時点で **DiskMapper** にインプリメントされていません。このエラーを IBM Spectrum Protect 管理者に報告してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS3413I **DiskMapper** オブジェクト '*name*' のタイプ '*name*' は無効です。

説明: 示されているオブジェクトは、発信元のクライアント・システムで無効です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が続く場合には、クライアントのエラー・ログにこの問題に関する他のメッセージがないかどうか確認してください。さらに支援が必要な場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS3414I ディスク '*name*' は、システム上で定義されているコンテナの一部ではありません。

説明: ありません。

システムの処置: ありません。これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: ありません。

ANS3415W '*name*' のデータを含んでいる 1 つ以上のディスクに不良ブロックがあります。

説明: 上記のオブジェクトのデータ・ブロックを含んでいる 1 つ以上の物理ディスクに不良ブロックがあるので、要求された操作を続行できません。

システムの処置: システムは、要求された操作を完了するための予備手段を見つける可能性があります。コンソール・ログとエラー・ログで、実行された修正処置や提案されているユーザー処置に関する追加情報を調べてください。

ユーザーの処置: 操作によっては、プロセスが操作を完了するための代替手段を提案することがあります。エラー・ログ、sched ログ、コンソール・ログで追加情報を調べてください。

ANS3416E ボリューム '*name*' は現在別のプロセスが使用中です。

説明: この操作には、このボリュームへの排他的アクセスが必要です。この失敗の原因としては、システム上の別のプロセスがボリュームを開いていることが考えられます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: システムで実行中のアプリケーションを確認し、どのプロセスもこのボリュームを開いていないことを確認してから、操作を再試行してください。

ANS3417W *name*: システム呼び出し *func* がコード *rc* - *strerror* で失敗しました。

説明: オペレーティング・システムから情報を取得しているときに、エラーが発生しました。ボリューム情報を取得できませんでした。

システムの処置: 取得しようとしていた情報がこの操作にとって重要でない場合や、実行しようとしていた操作のコンテキストでその動作が予期される場合は、処理を続行できます。

ユーザーの処置: エラー・ログで、エラーの理由を示すその他のメッセージを調べてください。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS3418W イメージ・バックアップ操作のためのメモリー割り振り要求は、オペレーティング・システムにより拒否されました。

説明: ファイル・システムの使用済みブロックについての情報を保管するために IBM Spectrum Protect がメモリーにアクセスする必要があります。この場合は、オペレーティング・システムが割り振れる以上のメモリーが要求されています。

システムの処置: *imagegapsize* が専用ファイル・システムに対して小さすぎる場合、およびクライアントがメモリー不足状態である場合、クライアントは自動的に完全ボリューム・バックアップに切り替えます。操作は *imagegapsize* = 0 で続行します。

ユーザーの処置: メモリー不足状態を防ぐには以下の方法があります。

次のコマンドを入力して、メモリー・リソースの制限が低すぎないかどうかを検査します。 `ulimit -a` そして、UNIX システムの root ユーザーに、メモリーの制限の引き上げを依頼します。

imagegapsize オプション値の引き上げ。より大きな *imagegapsize* が使用されると、イメージ・バックアップに必要なメモリーはより少なくなります。逆もまた同様に、より小さな *imagegapsize* が使用されると、バックアップにはより多くのメモリーが使用されますが、より少ない未使用データがサーバーに送信されます。結果もボリューム上でのデータの分散状況に依存します。 *is spread on the volume*.

ANS3419W 仮想マシン '*vmname*' での整合性検査のための **VSS** スナップショットのマウントに失敗しました。整合性検査はスキップされ、**Microsoft Exchange Server** トランザクション・ログは切り捨てられません。

説明: Microsoft Exchange Server データベース・ファイルの整合性を検査するには、仮想マシン・スナップショットがマウントされている必要があります。指定された仮想マシンのスナップショットをマウントできませんでした。その結果、この操作では、Microsoft Exchange Server データベース・ファイルの整合性が検査されませんでした。

システムの処置: 整合性検査を行わずにバックアップ操作が継続され、Microsoft Exchange Server トランザクション・ログは切り捨てられません。

ユーザーの処置: このエラーを回避するには、ゲスト仮想マシンから ESXi ホストへの接続を構成します。その後、操作を再試行してください。

ANS4000E 「*filespace-name*」の処理中にエラーが発生しました。ファイル・スペースが存在しません。

説明: 指定されたファイル・スペース (ドメイン) が誤っているか、ワークステーション上に存在しません。-MODE=INCREMENTAL オプションを指定して BACKUP IMAGE コマンドを実行した結果このメッセージが出力された場合は、ユーザーがロー論理ボリュームの名前を入力したことを意味します。

MODE=INCREMENTAL オプションは、ロー論理ボリュームでは無効です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 既存のドメイン (ドライブ名またはファイル・システム名) を指定して操作を再試行してください。メッセージが MODE=INCREMENTAL オプションの不適切な使用の結果表示された場合は、オプションを省略してコマンドを再試行してください。

ANS4001E ドメイン '*filespace-name*' のファイル・スペースが **IBM Spectrum Protect** サーバーで見つかりませんでした。

説明: 指定されたファイル・スペースはサーバー上にあると期待されましたが、現在は存在しません。現在の操作の進行中にコマンドが実行されて、ファイル・スペースがサーバーから削除された可能性があります。

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が再

発する場合は、エラー・ログにこの障害の原因を示す他のメッセージがないかを調べます。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS4002E '*filespace-name*' を処理中のエラー: ボリューム・ラベルが存在しない。

説明: 選択されたドライブにはラベルがありません。

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** は、入力されたドライブまたはラベルがないと、要求された操作を実行できません。

ユーザーの処置: ドライブがフロッピー・ドライブである場合、ボリューム・ラベルの付いたディスクをそこにに入れて、操作を再試行してください。ディスクがハード・ディスクである場合、ドライブにボリューム・ラベルがあることを確認して、操作を再試行してください。

ANS4003E '*filespace-name*' を処理中のエラー: 重複ボリューム・ラベルが検出されました。

説明: 選択したドライブには重複ボリューム・ラベルがあります。**IBM Spectrum Protect** はボリューム・ラベルを使用して、バックアップ・アーカイブ情報を追跡するので、重複ボリューム・ラベルを持つドライブからファイルをバックアップまたはアーカイブすることはできません。

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** はドライブを選択することができません。

ユーザーの処置: このボリュームをシステムで使用できるようにする必要がある場合には、**IBM Spectrum Protect** を終了して、ドライブにボリューム・ラベルを割り当ててください。**IBM Spectrum Protect** を再始動し、操作を再試行します。

ANS4004E '*filespace namepath-namefile-name*' を処理中のエラー: 宛先ファイルおよびディレクトリは書き込みロックされています。

説明: 宛先が書き込みロックされているため、サーバーからリストアまたはリトリブされているファイルまたはディレクトリに書き込むことができません。別の操作がファイルをオープンしていて、更新を許可していない可能性があります。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルを書き込みロックした操作を判別するか、ファイルを別の名前または場所にリストアします。

ANS4005E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー：ファイルが見つかりません。

説明: バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションの処理を行おうとしているファイルは、もうクライアント上に存在しません。IBM Spectrum Protect によるバックアップ、アーカイブまたはマイグレーションが行われる前に、他のプロセスがファイルを削除しました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS4006E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー：ディレクトリー・パスが見つからない。

説明: IBM Spectrum Protect からディレクトリーにアクセスしようとしたときに、「パスが見つからない」という状況がオペレーティング・システムから戻されました。メッセージに示された存在していないディレクトリー (path-name) を指定したか、IBM Spectrum Protect でディレクトリーをバックアップまたはアーカイブする前に別のプロセスによって削除されたため、処理対象のディレクトリーがクライアント上に存在しません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: スベルや句読点、特にディレクトリー区切り文字 (例えば、「¥」など) の配置をすべて再チェックしてください。構文が間違っている場合は、訂正してから操作を再試行してください。パスが正しく指定され、ディレクトリーが実際に存在していることを確認してください。正しいパスとディレクトリー名を指定して、コマンドをやり直してください。ディレクトリー名を訂正できない場合は、除外オプションを使用してこのディレクトリーを操作から除外してください。

ANS4007E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー：オブジェクトへのアクセスがリジェクトされた。

説明: 指定されたファイルまたはディレクトリーへのアクセスが拒否されました。ファイルの読み取りまたはファイルへの書き込みを試行しましたが、ファイルまたはディレクトリーへのアクセス許可がありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル名またはディレクトリー名を指定するようにして、許可を訂正するか、新しい場所を指定してください。

ANS4008E 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。ファイルは一時的に使用不可です。

説明: ファイルは一時的に使用不可です。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルが別のプロセスによってロックされていないか確認してください。そうでない場合、コマンドを再試行してください。

ANS4009E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー：ディスクが満杯状態です

説明: 宛先ディスクがフルであるため、これ以上のファイルをリストアまたはリトリブできません。

システムの処置: クライアントは、次のアクションの選択を求めるプロンプトを表示します。

- このオブジェクトの再試行
- このオブジェクトのスキップ
- アクションの打ち切り

ユーザーの処置: このオブジェクトの適切なアクションを選択してください。操作を再試行する前に、宛先ディスクでフリー・スペースを作成します。もう 1 つのオプションとして、ファイルを別のディスクにリストア、またはリトリブしてください。

ANS4010E 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。不整合の NFS ハンドルです。

説明: NFS ファイル・システムが不整合になっています。

システムの処置: ファイル・システムはスキップされました。

ユーザーの処置: NFS ファイル・システムがマウントされていることを確認します。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムをアンマウントして再マウントしてから、操作を再試行してください。

ANS4011E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー：使用可能なファイル・ハンドルがない。

説明: システムのファイル・ハンドルはすべて現在使用中です。使用可能なものはありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 他のプロセスを終了して一部のファイル・ハンドルを解放するか、システム・セットアップを

変更して同時にオープンできるファイルの数を増やします。

ANS4012E 'filespace namepath-namefile-name' は既に存在しています。これはスキップされます。

説明: クライアントは指定のファイルをリストアまたはリトリブしようとしたましたが、ファイルはリストアの出力先の場所に既に存在しており、ユーザーは既存のファイルを置き換えない選択をしました。

システムの処置: このファイルはスキップされ、メッセージが dsmerror.log に記録されます。リストア処理またはリトリブ処理は、次のオブジェクトを対象に引き続き実行されます。

ユーザーの処置: このファイルがスキップされた理由は、REPLACE NO が有効であった (それによって既存のすべてのファイルおよびディレクトリーがスキップされた) か、あるいは REPLACE PROMPT が有効であったかのいずれかであり、プロンプトが出されたときに、ユーザーはこのファイルまたは既存のすべてのディレクトリーおよびファイルをスキップすることを選択しました。意図的にファイルをスキップすることにしたのであれば、これ以上の措置は不要です。それ以外の場合は、REPLACE または ALL REPLACE PROMPT を使用して操作を再試行できます。

ANS4013E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: 無効なファイル・ハンドル

説明: 内部システム・エラーが発生しました。無効なファイル・ハンドルが受け渡されたため、ファイル操作は失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: この問題をシステム管理者に報告してから、操作を再試行してください。

ANS4014E 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。不明なシステム・エラー (error-code) が発生しました。プログラムを終了します。

説明: クライアント・プログラム内で、認識されない、予期しない error-code が発生しました。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続く場合は、エラーを IBM Spectrum Protect 管理者に報告してください。

ANS4015E 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。予期しない

IBM Spectrum Protect エラー (error-code) が検出されました。

説明: 予期しないエラーが発生しました。これは、IBM Spectrum Protect が処理またはリカバリーできない低レベルのシステム・エラーまたは通信エラーの可能性あります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続く場合は、システム問題のその他の指示を探して、どこに問題があるかを判別してください。ほとんどのシステムには、追加情報が含まれていることがあるエラーまたはイベント・ログがあります。システム管理者または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、さらに援助を求めてください。

ANS4016E 'filespace namepath-namefile-name' プロセス中のエラー: ファイルは実行中。書き込み許可がリジェクトされました。

説明: 現行ファイルは、現在、別の操作によって実行されているため、オープンして書き込むことができません。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルを実行している操作を停止して、操作を再試行するか、ファイルを異なる名前またはディレクトリーにリストアまたはリトリブします。

ANS4017E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: 名前の解決中に検出されたシンボリック・リンクの数が多すぎます。

説明: ファイル名の解決を試行しているときに検出されたシンボリック・リンクの数が多すぎます。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルにループ・シンボリック・リンクがないことを確認してください。

ANS4018E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: ファイル名が長すぎます。

説明: 指定されたファイル名は、IBM Spectrum Protect が処理するには長すぎます。

システムの処置: ファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: 特定オペレーティング・システム用の該当する「バックアップ・アーカイブ・クライアントの使用」資料で IBM Spectrum Protect によって処理されるファイル名を確認してください。

ANS4019E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中にエラー：ファイル・システムがシステムによってロックされています。

説明： システムによってロックされているため、ファイル・システムにアクセスできません。

システムの処置： IBM Spectrum Protect は、操作を完了できません。

ユーザーの処置： システム管理者にご相談ください。

ANS4020E オブジェクトのデータ形式 'filespace namepath-namefile-name' が不明です。不明のフォーマットは、通常、ファイルがより最近のバージョンの **IBM Spectrum Protect** でバックアップまたはアーカイブされたときに発生します。

説明： ファイルをバックアップまたはアーカイブすると、IBM Spectrum Protect にはファイルに関するいくつかの追加情報が組み込まれます。IBM Spectrum Protect がリストアまたはリトリブ操作時にその情報を認識できない場合に、このメッセージが出されます。この問題の原因として一番考えられるのは、ファイルがより新しいバージョンの IBM Spectrum Protect でバックアップまたはアーカイブされたことです。大/小文字を保持するものの、大/小文字を区別しないファイル・システムからファイルがバックアップされた場合、表示されるファイル名の大/小文字が誤っている可能性があります。ただし、このファイルはスキップされるため、不正確な大/小文字による処理への影響はありません。

システムの処置： ファイルはリストアもリトリブもされません。次のファイルで処理を続行します。

ユーザーの処置： 現行バージョンの IBM Spectrum Protect クライアント・ソフトウェアを使用してリストアまたはリトリブ操作を試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS4021E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー：ファイル・システムが作動不能です。

説明： ファイル・システム/ドライブでアクセスの準備ができていません。

システムの処置： 処理は停止しました。

ユーザーの処置： ドライブが IBM Spectrum Protect にとって利用可能であることを確認し、操作を再試行します。

ANS4022E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中にエラー：ファイル・システムが無効です。

説明： ドライブをアクセス用には使用できませんでした。

システムの処置： 処理は停止します。

ユーザーの処置： ドライブが操作可能であることを確認し、操作を再試行してください。うまくいかない場合、エラー・ログを調べてください。

ANS4023E 'filespace namepath-namefile-name': ファイルの入出力エラーです

説明： ファイルの読み取り中またはファイルへの書き込み中にエラーが検出されました。

システムの処置： ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置： システムが正しく作動していることを確認してください。OS/2 の場合、障害を起こしたドライブに対して CHKDSK /F を実行してください。該当ドライブは、dsmerror.log で見つけることができます。

ANS4024E 'filespace namepath-namefile-name': ファイルの書き込みエラーです

説明： ファイルへの書き込み中にエラーが検出されました。

システムの処置： ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置： システムが正しく作動していることを確認してください。

ANS4025E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー：ファイルがユーザーまたはシステム・ファイルの限界値を超えています。

説明： バックアップ/リストアまたはアーカイブ/リトリブを行っているファイルが、このユーザー用のシステム設定制限を超えました。下記に、さまざまなプラットフォームに対応するファイル・サイズ制限を示します。

AIX 68,589,453,312 (64GB)

HP-UX 1,099,511,627,775 (1TB-1)

Linux 2,147,483,647 (2GB)

Mac OS9 より前
2,147,482,624 (2GB-1K)

Mac OS9
18,446,744,073,709,551,616 (16EB)

NetWare

4,294,963,200 (4GB -4KB)

NUMA-Q DYNIX/ptx

4.5 1,095,216,660,480 (1TB-4GB)

OS/390

4,294,967,295 (4GB)

SGI 18,446,744,073,709,551,615 (16EB-1)**Solaris 2.6 以上**

1,099,511,627,775 (1TB-1)

Tru64 UNIX

1,099,511,627,776 (1TB)

UnixWare

2,147,483,647 (2GB)

Windows ME (FAT32)

4,294,967,295 (4GB)

Windows NT/2000 (NTFS)

17,592,185,978,880 (16TB-64K)

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: システムしきい値が適切に設定されていることを確認してください。

ANS4026W '*filesystem namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。'*file-size*' のサイズがシステムの最大ファイル・サイズ制限を超えました。

説明: システムの最大ファイル・サイズ制限を超えているファイルのリストアまたはリトリブを試行しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ファイルをリストアまたはリトリブできません。

ユーザーの処置: このファイルのサイズをサポートするシステムで、このファイルをリストアまたはリトリブしてください。システム管理者にご相談ください。

ANS4027S '*filesystem namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。内部プログラム・メッセージ '*value*' が出力されました。

説明: 予期しない重大なプログラム障害が発生しました。 *value* に示されています。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決しない場合は、システム管理者またはサービス技術員に連絡してください。

ANS4028E '*filesystem namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。ファイル/ディレクトリー項目を作成できません。

説明: リストアまたはリトリブされているファイルのディレクトリー・パスを作成できません。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: リストアまたはリトリブされているファイルのディレクトリーを作成するための適切な許可を取得していることを確認してください。

ANS4029E '*filesystem namepath-namefile-name*' の処理中にエラー: ディレクトリー・パスを構築できません。ディレクトリーと同じ名前のファイルが存在しています。

説明: IBM Spectrum Protect はディレクトリー・パスの作成を試みましたが、ディレクトリーと同じ名前を持つファイルが存在するために、作成することができません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディレクトリーと同じ名前を持つファイルを除去します。前回のリストア/リトリブ操作を参照して、パスに沿ってすべてのディレクトリーを確認してください。

ANS4030E '*filesystem namepath-namefile-name*' を処理中のエラー: このプロセスのディスク・スペースの限界値に達しました。

説明: クライアント所有者に割り振られたディスク・スペースがフルです。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディスク・スペースを解放して、リストアまたはリトリブ操作を再試行してください。

ANS4031E 「*file_space_namepath_namefile_name*」の処理中にエラーが発生しました。名前が内部の **IBM Spectrum Protect** の最大値を超えています。

説明: IBM Spectrum Protect でのファイル操作時に、内部の IBM Spectrum Protect の最大値を超えているファイル名が、ファイル名の構成要素

(*file_space_name*、*path_name*、*directory_name* または *file_name*) のうちの 1 つ以上で検出されました。

file_space_name、*path_name*、*directory_name* または *file_name* に対して、内部の IBM Spectrum Protect の最大値は、オペレーティング・システムの最大値とは別に考える必要があります。

ANS4032E • ANS4037E

さまざまなプラットフォームにおける IBM Spectrum Protect の内部ファイル名の最大値を以下に示します。

AIX HP-UX Solaris	
File_space_name	1024
Path_name or directory_name	1023
File_name	256

Linux	
File_space_name	1024
Path_name or directory_name	768
File_name	256

Windows XP/2000/2003	
File_space_name	1024
Path_name or directory_name	248
File_name	248

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイル名のサイズを縮小して、IBM Spectrum Protect の内部の最大値より小さくなるようにしてください。

ANS4032E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: ファイルが圧縮されていません。

説明: 圧縮のフラグを立てられたファイルが圧縮されていなかったため、システムで障害が発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: システム管理者にこの問題を報告してください。このエラーはシステム障害です。

ANS4033E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: ファイルはメモリーの大きい他のマシン上で圧縮されています。

説明: リストアを試行しているファイルは、ご使用のクライアント・ワークステーションより多くのメモリーを持つ別のクライアント・ワークステーションでバックアップおよび圧縮されています。このファイルはリストアできません。ファイルをリストアして解凍するには、ご使用のワークステーションのメモリーは不十分です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は操作を取り消します。

ユーザーの処置: より多くのメモリーを持つマシンを入手して、操作を再試行してください。

ANS4034E 'filespace namepath-namefile-name' を処理中のエラー: 不明のシステム・エラー。

説明: 不明なエラーが発生しました。これは IBM Spectrum Protect が処理または回復することができない、低レベルのシステムまたは通信エラーの可能性がります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決しない場合は、問題がある場所を判別してください。システム管理者にさらなる支援を要請してください。

ANS4035W ファイル 'filespace namepath-namefile-name' は、現在サーバー上で使用不可です。

説明: 現在 IBM Spectrum Protect サーバーから使用不可なファイルのリストアまたはリトリブを試行しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ファイルをリストアまたはリトリブできません。

ユーザーの処置: ファイルがサーバーで使用可能になってから、リストアまたはリトリブを試行してください。システム管理者にご相談ください。

ANS4036E レジストリー・キーの保存中にエラーが発生しました。

説明: 活動レジストリー・キーを ADSM.SYS ステージング・ディレクトリーにコピーできません。

システムの処置: レジストリーのバックアップ操作は終了します。

ユーザーの処置: Windows ブート区画の使用可能なスペースをチェックし、Windows レジストリーのコピーを格納するスペースがあることを確認します。これには数メガバイトのフリー・スペースが必要なことがあります。ADSM.SYS ステージング・ディレクトリーの Windows 許可も確認してください。それと共に IBM Spectrum Protect 実行下の Windows ユーザーが、そのディレクトリーと内容への全アクセス権限を持っていることを確認してください。

ANS4037E 処理中にオブジェクト 'file-namefile-namefile-name' が変更されています。オブジェクトはスキップされました。

説明: 指定された file-name は、処理を試行したときに変更中であったため、バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションでスキップされました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、オブジェクトをスキップしました。

ユーザーの処置: このファイルをバックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションしたい場合には、操作をやり直してください。これが失敗した場合は、オブジェクトが変更されている理由を判別してください。変更中のオブジェクトのバックアップ、アーカイブ、またはマ

イグレーションの詳細については、システム管理者に照会してください。

ANS4038E ファイル・システム '*filesystem name*' の処理中にエラーが発生しました。

説明: ファイル・システム '*filesystem name*' は壊れているか、1 つ以上の壊れたディレクトリーが含まれているため、処理できません。

システムの処置: ファイル・システムはスキップされました。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していることを確認してください。Windows 環境の場合、障害を起こしたドライブに対して CHKDSK ユーティリティを実行します。壊れたディレクトリーの詳細については、`dsmerror.log` に記載されています。

ANS4039E '*filesystem namepath-namefile-name*' の処理中にエラー。圧縮ファイルが壊れていて、解凍できません。

説明: 以下のいずれかの理由により、圧縮ファイルを正しく解凍できません。

テープに問題がある。

通信に問題がある。

圧縮ファイルが IBM Spectrum Protect サーバー上で破損している。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: 1) テープに問題があるため圧縮ファイルが破損した。これが問題であるかどうか調べるには、IBM Spectrum Protect サーバーで以下のコマンドを実行してください。 `audit volume <volume_name> fix=no` 問題が報告された場合は、そのボリュームから新しいボリュームにデータを移動して (MOVE DATA コマンドを参照)、リストアを再試行してください。 2) IBM Spectrum Protect サーバーと IBM Spectrum Protect クライアントの間の通信に問題があり、その結果、送信中にファイルが破損した。サーバーでギガビット・イーサネット・アダプターを使用している場合は、カード・ドライバーをアップグレードするか (AIX プラットフォームの場合)、または、SUN が提供する、いくつかのシステム・ネットワーク・オプションへの推奨される変更 (この問題を解決済み) を追加してください (SUN プラットフォームの場合)。 3) リストア中に、ファイル破損の発生元の IBM Spectrum Protect クライアント/サーバー間に問題がなかったか、ネットワーク・サポート担当者に確認してください。

ANS4040E '*filesystem namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。ファイル・システム *filesystem name* がそのスペース管理割り当て量を超えています。

説明: IBM Spectrum Protect が、ファイル・システムがその割り当て量を超えていることを検出しました。このファイル・システムからこれ以上のデータをマイグレーションできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、このファイル・システムからファイルをマイグレーションしません。

ユーザーの処置: いくつかのファイルを再呼び出しするか、システム管理者にこのファイル・システムの割り当て量を増やすよう依頼してください。

ANS4041E Windows 以外のデータ・ムーバーでは、Windows Server 2008 または 2008 R2 VMware ゲストをリストアできません。

説明: Windows データ・ムーバーは、Active Directory のリストアを完了するために特定のコマンドを実行する必要があります。Windows 以外のデータ・ムーバーには、この操作の完了に必要なツールがありません。Windows Server 2012 以上である Windows VMware ゲストは、この制限の影響を受けません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Windows データ・ムーバーを使用してこのアクションを実行してください。

ANS4042E オブジェクト名 '*filesystem namepath-namefile-name*' に 1 つ以上の認識されない文字が含まれているため、無効です。

説明: ファイル名、ディレクトリー名、またはボリューム・ラベルの構文が誤っています。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ディスクにエラーがないかを確認してください。

ANS4044E '*filesystem-namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。大/小文字の区別がある名前が競合しています。

説明: ワークステーションで指定されたファイルの処理中に、大/小文字のみが異なる類似の名前を持つ別のファイル名が検出されました。バックアップ/アーカイブ・クライアントは、このプラットフォームでは大/小文字のみが異なる複数の名前を許可せず、ファイルの保

ANS4045E • ANS4050W

全性を保証できないため、このファイルはスキップされます。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: 問題のファイルの名前を固有の名前に変更してください。

ANS4045E 'filespace-namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。大/小文字の区別がある名前が競合しています。このディレクトリー・ツリーはスキップされません。

説明: ワークステーションで指定されたファイルの処理中に、大/小文字のみが異なる類似の名前を持つ別のオブジェクト名が検出されました。バックアップ/アーカイブ・クライアントは、このプラットフォームでは大/小文字のみが異なる複数の名前を許可せず、ファイルの保全性を保証できないため、このディレクトリーおよびその中のすべてのオブジェクトはスキップされます。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: 問題のファイルの名前を固有の名前に変更してください。

ANS4046E 'filespace-namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。このオブジェクトは壊れており、読み取り不能です。

説明: 壊れているファイルまたはディレクトリーの読み取りまたはファイルまたはディレクトリーへの書き込みが試行されました。壊れているファイルはスキップされます。これがディレクトリーである場合は、ディレクトリーおよびそのサブディレクトリーに含まれるオブジェクトはスキップされます。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされません。

ユーザーの処置: chkdsk (Windows) または fsck (UNIX) などのシステム・ツールを使用して、システムでファイル・スペースが壊れていないか確認してください。

ANS4047E 'file-namefile-namefile-name' で読み取りエラーが発生しています。このファイルはスキップされます。

説明: 指定された *file-name* をバックアップ/アーカイブ中に読み取ることができなかったため、このファイルはスキップされました。

JFS2 スナップショットをベースとした操作を実行して

いる場合は、スナップショットの大きさが、スナップショットの作成後にファイル・システムに対して行われたすべての変更を含めるのに十分ではなかったことが考えられます。これが原因でスナップショットが無効になったために、IBM Spectrum Protect クライアントがスナップショットを読み取れなかった可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルをスキップしました。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していることを確認してください。

JFS2 スナップショットをベースにした操作を実行している場合は、デフォルトの `snapshotcachesize` である 100% を使用し、ボリューム・グループに少なくともファイル・システムと同じ大きさのスナップショットを割り振るのに十分なディスク・スペースがあることを確認して、操作を再試行してください。

ANS4048W LAN フリー接続が失敗しました。

説明: このセッションでは ENABLELANFREE オプションが YES に設定されていましたが、LAN フリー接続試行操作が失敗しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアントは、非 LAN フリー・サポートにフェイルオーバーします。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect error.log で LAN フリーの障害について調べてください。LAN フリー・セットアップを調べて、すべてのコンポーネントが正しく機能していることを確認してください。

ANS4049I LAN フリー接続を確立しました。

説明: このセッションで ENABLELANFREE オプションが YES に設定され、IBM Spectrum Protect クライアントは LAN フリー接続の中断後にサーバーとの LAN フリー接続を正常に確立しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアントは、LAN フリーを介してサーバーと通信します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect error.log で LAN フリー・エラーについて調べてください。LAN フリー・セットアップを調べて、すべてのコンポーネントが正しく機能していることを確認してください。

ANS4050W IBM Spectrum Protect 管理者がクライアント上でスケジュール・アクションを実行できなくなっているため、スケジュール '*schedule-name*' のスケジュール・アクション '*schedule-action*' は実行できませんでした。

説明: クライアント・オプション (schedmddisabled、srprepuestoscheddisabled、srprepuestosnapdisabled、restretscheddisabled) の 1 つ以上がクライアント上で YES に設定されているため、IBM Spectrum Protect 管理者は、クライアント上でスケジュール・アクション (preschedule、postschedule、presnapshot、postsnapshot) のいずれか、またはスケジュールされたオペレーティング・システム・コマンド、リストア操作、またはリトリブ操作を実行できなくなっています。

システムの処置: スケジュールされた操作は実行されず、そのことを示すメッセージが IBM Spectrum Protect サーバーのログに記録されます。

ユーザーの処置: 不要です。

ANS4051E 'filespace namepath-namefile-name' の処理エラー: 復号オプションが有効ですが、バックアップまたはアーカイブの実行で使用されているユーザー ID にはこの暗号化ファイル・システム (EFS) ファイルを復号する許可がありません。

説明: 処理中のファイルは暗号化ファイル・システム (EFS) によって暗号化されています。このオプションはファイルを復号された形式でバックアップまたはアーカイブするために指定します。バックアップまたはアーカイブの実行で使用されているユーザー ID には、このファイルを復号する権限がありません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: 復号作業を行う方法として、以下の 3 つが考えられます。

- 所有者とバックアップ/アーカイブ用ユーザー ID の両方が属するグループの暗号鍵を使用してファイルを暗号化し直す
- バックアップ/アーカイブ用ユーザー ID をこのファイルの復号許可を持つユーザーのリストに追加する
- 可能であれば、所有者のユーザー ID を使用してバックアップまたはアーカイブを実行する

ANS4052E 'filespace namepath-namefile-name' の処理エラー: 暗号化ファイル・システム (EFS) ファイルをリストアできません。ファイル・システムが未加工の EFS バックアップ・データからのリストアをサポートしないため、または、おそらくそのリストア機能にこのディレクトリーへの書き込み権限がないためです。

説明: 処理中のファイルは暗号化ファイル・システム (EFS) によって暗号化されています。このファイルは未

加工の暗号化形式でバックアップされました。ターゲット・ファイル・システムがこの暗号化形式をサポートしていないか、またはファイルのリストア先のディレクトリーに対する書き込み権限がリストア機能にありません。

システムの処置: リストアは終了します。

ユーザーの処置:

- ファイル・システムが AIX 拡張ジャーナル済みファイル・システム (JFS2) でない場合は、ファイルをこのロケーションにリストアすることはできません。
- ファイルが JFS2 であっても EFS が使用可能に設定されていない場合は、EFS を使用可能にしないとファイルをリストアできません。
- リストアの実行で使用されているユーザー ID にそのディレクトリーへの書き込み許可がない場合は、その許可を変更するか、リストアを別のユーザー ID で実行する必要があります。

ANS4053E 'filespace path filename' の処理エラーが発生しました。ファイル・システムまたはオペレーティング・システムで暗号化ファイル・システム (EFS) データがサポートされていないため、ファイルをリストアできません。

説明: 指定されたオブジェクトは、未加工の暗号化ファイル・システム (EFS) データとしてバックアップされました。クライアントは、EFS データをサポートしない宛先にこのオブジェクトをリストアまたはリトリブしようとしています。このロケーションは、以下のいずれかの理由で EFS データをサポートしていない可能性があります。

- オペレーティング・システムがサポートを提供していないか、このリリースにサポートが含まれていない
- オペレーティング・システムで EFS のサポートがアクティブになっていない
- ターゲット・ファイル・システムが EFS データをサポートしていない

システムの処置: オブジェクトはリストアまたはリトリブされません。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置: このファイルをリストアする必要がある場合は、EFS データをサポートする AIX オペレーティング・システム環境にリストアしてください。

ANS4054E 'filespace namepath-namefile-name' の処理エラー: 指定された暗号鍵がロードされていません。

説明: 処理中のファイルは暗号化ファイル・システム (EFS) によって暗号化されています。オプションは、復号された形式でファイルをバックアップまたはアーカイブするように指定されています。ファイルの復号に必要な暗号鍵がカーネル鍵リングにロードされていません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: この問題は、次の 3 つの状態が発生します。

- AIX システムで EFS の初期活動化を実行したばかりで、まだログアウトしていない。AIX は初期活動化時に実行されていたセッションの鍵をロードします。ソリューション: ログアウトし、再度ログインしてください。
- 最近ログイン・パスワードを変更しており、通常はログイン・パスワードと同じ EFS パスワードを使用して実行している。ログイン・パスワードを変更した場合、AIX は自動的に EFS パスワードを変更しません。ソリューション: 'efskeymgr -n' を発行して、EFS パスワードをログイン・パスワードと同じになるように設定します。
- EFS パスワードがログイン・パスワードと異なる場合、バックアップの復号を実行する必要がある。ソリューション: 'efskeymgr -o ksh' を発行し、ロードされた鍵を使用して新規シェルを起動します。シェルを起動すると、AIX により EFS パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。新規シェルからバックアップを実行します。

ANS4055E ファイル・スペース「filespace-name」を更新できません。**IBM Spectrum Protect** サーバー上のファイル・スペース・バージョンは、このクライアントと互換性がありません。

説明: IBM Spectrum Protect サーバー上のファイル・スペースは、このクライアントと互換性がありません。これが起きた原因は、あるクライアントでバックアップ操作またはアーカイブ操作を行ってから、下位レベルのクライアントで同じファイル・スペースを対象としてバックアップ操作またはアーカイブ操作を試行したことです。

具体的には、Windows または AIX クライアント V6.1 以上でバックアップ操作またはアーカイブ操作を行ってから、その後のバックアップ操作またはアーカイブ操作をクライアント V5.5 以下で試行すると、この問題が起きます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しいレベルのクライアントを使用してください。

ANS4056E **IBM Spectrum Protect** サーバーによって返されるオブジェクト 'object-name' には、最大長の 6000 文字を超える高位名が付いています。ファイルおよびディレクトリーを処理できません。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーが、6000 文字を超える高位名を持つバックアップ・バージョンまたはアーカイブ・バージョンに関する情報を返しました。高位名とは、オブジェクト (ファイルまたはディレクトリー) が含まれるディレクトリー・パスです。

このメッセージは、以下のすべての条件が該当する場合に表示されます。

- オブジェクトが、バージョン 6.1 以前の **IBM Spectrum Protect** クライアントによってバックアップまたはアーカイブされた場合。
- オブジェクトが、バージョン 5.5 以前の **IBM Spectrum Protect** サーバーにバックアップまたはアーカイブされた場合。
- バージョン 6.2 以降の **IBM Spectrum Protect** クライアントが、このオブジェクトに関する情報を **IBM Spectrum Protect** サーバーからクライアントに返す操作を試行している場合。注: 増分バックアップ中は、変更されたファイルの判別に使用する活動バックアップ・バージョンについての情報を、サーバーがクライアントに返します。

IBM Spectrum Protect サーバーのバージョン 6.1 以降では、高位名の最大長が 8192 文字から 6000 文字に削減されました。6000 文字を超える高位名を持つオブジェクトは、バックアップおよびアーカイブではサポートされていません。**IBM Spectrum Protect** バックアップ・アーカイブ・クライアントのバージョン 6.2 以降でも、同様に高位名の最大長が削減されました。

システムの処置: メッセージに指定されたファイルまたはディレクトリーはスキップされます。次のオブジェクトについて処理を続行します。

ユーザーの処置: さらに支援が必要な場合は、**IBM Spectrum Protect** サーバー管理者に連絡してください。

ANS4058I オプション・ファイルへのノード複製フェイルオーバー値の保存を試行中に書き込み障害が発生しました。

説明: 多くの場合、書き込み障害は、オプション・ファ

イルへのアクセス権が不足していることが原因で発生しますが、使用可能なディスク・スペースが不足しているために発生する場合があります。複製サーバーの接続情報を保存することができず、フェイルオーバーを行うことができません。

システムの処置: 操作は失敗しました。

ユーザーの処置: ローカル・ディスクに書き込みエラーの原因がないかを確認し、オプション・ファイルに対して十分なアクセス権が構成されているかを確認してください。

ANS4059I オプション **USEREPLICATIONFailover** が **NO** に設定されています。ノードは、2 次サーバーにフェイルオーバーしません

説明: このオプションを使用すると、1 次サーバーに障害が発生した場合に、ノードは複製サーバーに接続しません。

システムの処置: クライアントは、1 次サーバーに接続せず、処理は停止します。

ユーザーの処置: 応答は不要です。

ANS4061I フェイルオーバー・モードで 2 次サーバー *secondary server*; に接続されました。ホーム・サーバーは *home server*; です。

説明: ノードは複製用に構成されており、2 次サーバーに正常に接続されました。このメッセージは、ノードがフェイルオーバー・モードで 2 次サーバーに接続されたことをサーバー管理者に通知するためのものです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS4063W **IBM Spectrum Protect** アプリケーション保護は、アプリケーション・メタファイル '*App-Metadata-File-Name*' を **VM** '*VM-Name*' からコピーできません。このバックアップからの個別のデータベース・リストアはサポートされていません。アプリケーションのライターおよびデータベースの正常性について確認してください。

説明: アプリケーション・メタファイルがゲスト・マシンに見つかりませんでした。

システムの処置: 操作は完了します。ただし、アプリケーション・メタファイルはコピーされませんでした。

ユーザーの処置: アプリケーション VSS ライターがこのゲスト・マシン上で実行されていること、およびアプリケーション・データベースがバックアップ可能な状態

であることを確認してください。Exchange の場合、データベースがマウントされていることを確認してください。SQL の場合、データベースがオンラインであることを確認してください。その後で、操作を再試行してください。

ANS4064I 組織 '*org name*' の組織 **VDC** '*org vdc name*' から **vCloud Director vApp** '*vapp name*' をリストアしています。
ターゲット **vApp** 名は '*restored vapp name*' です。

Restore VAPP command started. 処理する **vApp** の総数: *vapps num to restore*

説明: リストア vApp 操作は完了しました。

システムの処置: これは単なる通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS4065E プロキシが拒否されました。データ・ムーバー・ノード '*dm node*' には、組織 '*Org Name*' の組織 **VDC** '*OVDC name*' に関連付けられたターゲット・ノード '*target_node*' に対するプロキシ権限が付与されていません。

説明: この操作を行うには、データ・センター・ノードのプロキシ・アクセスがデータ・ムーバー・ノードに付与されている必要があります。

システムの処置: 指定された vApp に対する操作はキャンセルされます。

ユーザーの処置: 構成ウィザードまたは構成エディターを実行して、適切なノード関係を構成してください。

ANS4066I "*sType*" スナップショットを使用したゲスト仮想マシン '*VM*' のスナップショット操作試行は、*y* 回中 *x* 回が失敗しました。
"*sType2*" スナップショットによるスナップショットを再試行中です。

説明: スナップショット操作は失敗しました。スナップショット再試行操作はスケジュールに入れられています。

システムの処置: スナップショットを再試行しています。

ユーザーの処置: エラー・ログで、エラーの理由を示すその他のメッセージを調べてください。問題を修正し、操作を再試行してください。

ANS4067E "sType" スナップショットを使用したゲスト仮想マシン 'VM' のスナップショット操作試行は、y 回中 x 回が失敗しました。
バックアップが失敗しました。

説明: ゲスト仮想マシンのスナップショット再試行はすべて失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: エラー・ログで、失敗の理由を示すメッセージを調べてください。問題を修正し、操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect サポート Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/product/system_storage/storage_software/ibm_spectrum_protect_family/ibm_spectrum_protect) で既知の解決方法を検索してください。

ANS4068I リストア対象の仮想マシン 'VM' は、「ファイル・システム静止およびアプリケーション静止が無効にされた **VMware Tools**」スナップショットを使用してバックアップされました。
これは、「整合性が崩壊した」バックアップに相当します。

説明: リストア対象の仮想マシンは、「ファイル・システム静止およびアプリケーション静止が無効にされた **VMware Tools**」スナップショットを使用してバックアップされました。アプリケーション保護機能は使用不可になります。

システムの処置: VM のリストアは続行されます。

ユーザーの処置: なし

ANS4069E **Windows** ドメイン資格情報が見つかりません。**Data Protection for VMware vSphere GUI** 構成エディターを使用して、**Windows** ドメイン資格情報を設定してください。

説明: 要求された **Windows** ドメイン管理者資格情報は設定されていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **Data Protection for VMware vSphere GUI** 構成エディターで、**Windows** ドメイン管理者資格情報を設定してください。

ANS4070E **Windows** ドメイン資格情報が誤っています。資格情報を確認し、**dsmc SET PASSWORD -type=DOMAIN 'domain¥userid' 'password'** を使用して、ユーザー名とパスワードを更新してください。

説明: 提供された資格情報は誤っています。システムは、これらの資格情報を使用して **Windows** ドメインに対して認証できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **dsmc SET PASSWORD -type=DOMAIN 'domain¥userid' 'password'** を使用して、ユーザー名とパスワードを更新してください。その後で操作を再試行します。

ANS4071E 'VM-Name' は、クライアントの新規バージョンを使用してバックアップされたためにリストアできません。

説明: 仮想マシンをリストアしようと試みたクライアント・バージョンは、仮想マシンをバックアップしたクライアント・バージョンより前のものです。仮想マシンは、以前のクライアント・バージョンではリストアできません。

システムの処置: 仮想マシンはリストアされません。次の仮想マシンで処理を続行します。

ユーザーの処置: 仮想マシンをバックアップしたクライアント・バージョンと互換性のあるバージョンに、クライアントをアップグレードしてください。

ANS4072E 'filepath namepath-namefile-name' の処理中のエラー: シンボリック・リンクを作成できません。そのシンボリック・リンクと同じ名前のファイルまたはディレクトリーが既に存在しています。

説明: **IBM Spectrum Protect** はシンボリック・リンクの作成を試行しましたが、そのシンボリック・リンクと同じ名前のファイルまたはディレクトリーが存在するために作成できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: シンボリック・リンクと同じ名前を持つファイルまたはディレクトリーを削除します。前回のリストア/リトリブ操作を参照してください。

ANS4073W "sType" スナップショットを使用したゲスト仮想マシン 'VM' のスナップショット操作試行は、y 回中 x 回が失敗しました。

"sType2" スナップショットによるスナップショットを再試行中です。

説明: スナップショット操作は失敗しました。別のスナップショット・タイプでスナップショット再試行操作がスケジュールされました。

システムの処置: 別のスナップショット・タイプでスナップショットを再試行しています。

ユーザーの処置: エラー・ログで、エラーの理由を示すその他のメッセージを調べてください。問題を修正し、操作を再試行してください。

ANS4077E ファイル 'filepath-namefile-name' は、**Microsoft EFS** によって暗号化され、少なくとも 1 つの疎データ・ストリームを含んでいます。オペレーティング・システムは、このファイルのリストアをサポートしないため、そのファイルはバックアップもリストアもされません。

説明: Microsoft Windows API 内のエラーのため、以下の条件を満たすファイルは正常にリストアされません。

- ファイルのバックアップ時にファイルが Microsoft Encrypting File System (EFS) で暗号化されている
- ファイルにスパースのデータ・ストリーム (代替「名前付き」ストリームまたは名前なしストリーム) が 1 つ以上含まれている。
- オペレーティング・システムが Microsoft XP、Microsoft Windows Server 2003、または Microsoft Windows Server 2003 R2 である

ファイルをリストアできないため、IBM Spectrum Protect はそのファイルをバックアップしません。この問題は Microsoft の <http://support.microsoft.com/kb/2525290> に記載されています。

システムの処置: ファイルはバックアップまたはリストアされません。次のオブジェクトの処理を続行するか、処理するオブジェクトがない場合は終了します。

ユーザーの処置: バックアップの操作中にこのメッセージが出された場合は、次の操作を実行できます。

- ファイルの EFS 暗号化を使用不可にしてバックアップできるようにします。
- ファイルのバックアップ・コピーが不要な場合は、それをバックアップから除外できます。

ANS4081E 'filepath-name' の処理中にエラーが発生しました: ファイル・スペースのタイプがサポートされていません。

説明: 指定されたファイル・スペース・タイプは、現在このプラットフォーム上で IBM Spectrum Protect はサポートしていません。

システムの処置: サポートされていないファイル・システムはスキップされます。処理は、次のファイル・システムから続行されます。

ユーザーの処置: サポートされているファイル・スペース・タイプに関する情報についての資料を参照してください。

ANS4083I 新しいノード・パスワードが生成されました。

説明: クライアントがノード名でなく管理 ID を使用してログインしました。新しいランダム・ノード・パスワードが生成され記録されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS4084E 「filepath-namefile-name」の処理中にエラーが発生しました。ファイル状況を取得できません。

説明: ファイルの処理中に、Istat() 呼び出しが EOVERFLOW エラー・コードを設定しました。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: このファイルはスキップされます。次のファイルで処理を続行します。

ANS4085I 前のシステム状態バックアップから新規のシステム状態バックアップに、「number」個のオブジェクトが割り当てられました。

説明: 前のシステム状態バックアップのオブジェクトは、変更されずに、新規のシステム状態バックアップに割り当てられました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS4086W 前のシステム状態バックアップから新規のシステム状態バックアップへの、未変更のオブジェクトの割り当てに失敗しました。オブジェクトはバックアップされます。

説明: 前のシステム状態バックアップのオブジェクト

は、変更がなく、そのまま新規のシステム状態バックアップに割り当てる必要があります。エラーのため、割り当て操作が失敗しました。オブジェクトはバックアップされます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS4087E ウィザードのデータをロードしようとしたが、失敗しました。
詳しくは、ログ・ファイルを参照してください。

説明: ウィザードのデータをロードしようとしたが、失敗しました。リモート・エージェントが使用不可能である可能性があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4089W ファイル・サーバー *file-server-name* は、**Data ONTAP** バージョン「*version.modification.submodification*」にアップグレードされました。オプション **createnewbase=migrate** を指定して、できるだけ早く完全増分バックアップを実行してください。

説明: ファイル・サーバーは、スナップショットの差分を使用する増分バックアップ用のユニコード・ファイル名をサポートするバージョンにアップグレードされました。以前のバージョンの IBM Spectrum Protect クライアントによりスキップされた可能性のあるユニコード名を持つファイルをバックアップするために、完全増分バックアップを実行してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンド・ライン・オプション **createnewbase=migrate** を **snappdiff** オプションと共に指定して、できるだけ早く完全増分バックアップを実行してください。

ANS4090I ファイル・サーバー *file-server-name* は、**Data ONTAP** バージョン「*version.modification.submodification*」にアップグレードされました。オプション **createnewbase=migrate** を指定して、できるだけ早く完全増分バックアップを実行してください。

説明: ファイル・サーバーは、スナップショットの差分を使用する増分バックアップ用のユニコード・ファイル名をサポートするバージョンにアップグレードされました。以前のバージョンの IBM Spectrum Protect クライアントによりスキップされた可能性のあるユニコード名を持つファイルをバックアップするために、完全増分バックアップを実行してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンド・ライン・オプション **createnewbase=migrate** を **snappdiff** オプションと共に指定して、できるだけ早く完全増分バックアップを実行してください。

ANS4092E このデータ・ムーバー・プラットフォームは、インスタント・アクセス/リストア操作でサポートされていません。

説明: インスタント・アクセス/リストア操作は失敗しました。

システムの処置: インスタント・アクセス/リストア操作は失敗しました。失敗の理由は、サポートされていないプラットフォームです。

ユーザーの処置: インスタント・アクセス/リストア操作は、サポートされているデータ・ムーバー・プラットフォームから実行する必要があります。

ANS4099E システム・ボリュームを識別できません。したがって、システム状態をバックアップできません。

説明: システム・ボリュームには、Ntldr、Boot.ini、Ntdetect.com、または Bootmgr などの、Windows の開始に必要なハードウェア固有のシステム状態ファイルが含まれています。システム・ボリュームを識別できなければ、これらのファイルをバックアップできません。したがって、システム状態をバックアップすることができません。

システムの処置: システム状態のバックアップが停止します

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合は、その問題を収集したサービス・トレースを入手して、IBM 技術サポートに連絡を取り、追加支援を依頼してください。トレースの構成では、IBM Spectrum Protect 管理者の支援を受けることができます。

ANS4137E 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました: 許可されたリンクの最大数を超過しました。

説明: 宛先ファイル・システムで許可されたリンクの最大数を超過したため、リンクをリストアまたはリトリブすることができません。

システムの処置: クライアントは、次のアクションの選択を求めるプロンプトを表示します。

- このオブジェクトのスキップ
- アクションの打ち切り

ユーザーの処置: このオブジェクトの適切なアクションを選択してください。別のファイル・システムにリンクをリストアまたはリトリブしてください。

ANS4148E 仮想マシン「*vmname*」の完全 **VM** バックアップが失敗しました。 **RC rc**

説明: 仮想マシンのフル **VM** バックアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのフル・バックアップが失敗して終了しました。 **vmlist** の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4150E 仮想マシン '*vmname*' の増分バックアップが失敗しました。 **RC rc**

説明: 仮想マシンボリュームの増分バックアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 **vmlist** の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4151E 仮想マシン '*vmname*' のマウントに失敗しました。 **RC=rc**

説明: **VMware** は仮想マシンディスクのマウントに失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップを続行できません。 **vmlist** の次の仮想計算機を処理します。障害の原因を示す詳しいエラー・メッセージについては、**dsmerror.log** を参照してください。

ユーザーの処置: 詳しいエラー・メッセージについて

は、**dsmerror.log** を参照してください。

ANS4152E **VMware** 仮想マシンの環境の初期化に失敗しました。 **RC=rc**。 詳しいエラー・メッセージについては、**IBM Spectrum Protect** エラー・ログを参照してください。

説明: **VMware** 仮想マシンの環境の初期化に失敗しました。詳しいエラー・メッセージについては、**IBM Spectrum Protect** エラー・ログを参照してください。

システムの処置: バックアップを続行できません。

ユーザーの処置: 詳しいメッセージについては、**IBM Spectrum Protect** エラー・ログを参照してください。

ANS4153E 仮想マシン '*vmname*' のホスト名が見つかりませんでした。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 **vmlist** の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4154E 考えられる原因は、仮想計算機が稼働しておらず、固定 **IP** アドレスを持っていないことです。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 **vmlist** の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4155E 仮想マシン '*vmname*' が **VMware** サーバー上に見つかりませんでした。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 **vmlist** の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4156E 仮想マシン '*vmname*' のファイル・レベルの **VM** バックアップはサポートされていません。
ファイル・レベルの **VM** バックアップは、非 **Windows** プラットフォームのゲスト **OS** ではサポートされません。プラットフォーム・タイプ: '*platform*'。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 *vm*list の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: VMBACKUPTYPE=FULLvm オプションを使用して仮想マシンをバックアップしてください。

ANS4159E 仮想マシン '*vmname*' のバックアップが失敗しました。 *rc*=*rc*。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 *vm*list の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4160E プロキシが拒否されました。ターゲット・ノード '*target_node*' のプロキシ権限は、エージェント・ノード '*agent_node*' に認可されませんでした。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 *vm*list の次の仮想マシンを処理します。障害の原因は、バックアップ・プロキシ・ノードによって指定されたノードにアクセスするプロキシ権限をノードが認可されなかったことです。IBM Spectrum Protect 管理者は、最初にプロキシ権限の認可を行う必要があります。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者は、このノードのプロキシ権限を付与する必要があります。管理者コマンド「Grant Proxynode」を参照してください。

ANS4161E 同一のバックアップ操作で、重複する仮想マシン名 '*vmname*' が検出されました。
固有のオブジェクト名を使用しないと、仮想マシン '*vmfullname*' のバックアップを続行できません。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 *vm*list の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: 仮想マシンの固有の名前を選択してください。

ANS4162E 仮想マシン '*virtual-machine-name*' は以前にバックアップされていません。

説明: 指定された仮想マシンは以前にバックアップされたことがないため、リストアを指定することはできません。

システムの処置: 指定された仮想マシンはスキップされ、リストア・リストにある次の仮想マシンが処理されます。

ユーザーの処置: リストアされる仮想マシン名を検証して、操作を再試行してください。

ANS4164W 現在圧縮が使用可能になっていますが、クライアント・サイドの重複排除を使用していないため '*virtual-machine-name*' の仮想マシン・バックアップは圧縮されません。

説明: 圧縮は、クライアント・サイドの重複排除が使用可能になったストレージ・プールにファイルが保管されている場合に、仮想マシンの CTL ファイルと Data ファイルにのみ使用できます。このメッセージは、クライアントが圧縮用に構成されていて、仮想マシンの CTL ファイルまたはデータ・ファイルが、クライアント・サイド重複排除を有効にしていないストレージ・プールに送られたときに発行されます。

システムの処置: バックアップを続行しますが、データは圧縮されません。

ユーザーの処置: 仮想マシンの CTL ファイルとデータ・ファイルを圧縮する場合は、クライアント・サイドの重複排除が有効になっているストレージ・プールに両方のタイプのファイルが送信されるように IBM Spectrum Protect 構成を更新してください。仮想マシンのデータ・ファイルは圧縮して CTL ファイルは圧縮しない場合は、クライアント・サイドの重複排除が有効になっているストレージ・プールにデータ・ファイルが送信されるように IBM Spectrum Protect 構成を更新し

てください。クライアント・オプション・ファイルで **VMSKIPCTLCOMPRESSION** を **YES** に設定します。圧縮を使用する予定がない場合は、クライアント・オプション・ファイルで **COMPRESSION** を **NO** に設定してください。

ANS4165E 仮想マシンを作成していますが、ホスト名「*virtual-machine-name*」が見つかりませんでした。

説明: 作成中の仮想マシンが作成されるためには、有効なホスト名が指定される必要があります。

システムの処置: 指定された仮想マシンのホスト名が正しいかどうか確認してください。

ユーザーの処置: 指定された仮想マシンのホスト名を訂正して、リストアを再試行してください。

ANS4166E 仮想マシンを作成していますが、データ・センター「*virtual-machine-name*」が見つかりませんでした。名前が正しくないか、**VMware** フォルダに存在している可能性があります。「*vmfolder/dcname*」などのフォルダ名が必要です。

説明: 作成中の仮想マシンには、作成するために有効なデータ・センターが必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定された仮想マシンのデータ・センターが正しいかどうか確認してください。データ・センターがフォルダに含まれている場合は、そのフォルダ・パスもすべて含めた *vmfolder/dcname* のような完全なデータ・センター名を指定する必要があります。

ANS4167E 仮想マシンを作成していますが、データ・ストア「*virtual-machine-name*」が見つかりませんでした。

説明: 作成中の仮想マシンが作成されるためには、有効なデータ・ストアが指定される必要があります。

システムの処置: 指定された仮想マシンのデータ・ストアが正しいかどうか確認してください。

ユーザーの処置: 指定された仮想マシンのデータ・ストアを修正して、リストアを再試行してください。

ANS4168E **VMware** はその **SOAP** インターフェースを介してエラーを報告しました。「詳細状況報告」パネルで、最後に報告されたエラー・メッセージを表示してください。また、エラー・ログで発生した問題の詳細情報を確認してください。

説明: **VMware** に対するコマンドを実行できませんでした。返されたエラーは、「最終エラー・メッセージ」セクションのリストアまたはバックアップ要約パネルに表示されます。

システムの処置: エラーが発生したため、操作が失敗しました。

ユーザーの処置: 報告されたエラーを確認し、問題を修正してください。通常、エラーの原因は、ユーザーが操作で無効な値を指定したことです。

ANS4169E 仮想マシンの仮想ディスク情報を一時的に保管するために使用されるローカル・ディスク・プロキシで書き込みエラーが発生しました。書き込みエラーの原因は、この情報の保管に使用されるドライブで使用可能なディスク・スペースが不足していることである可能性があります。このために異なるディスクの場所を割り当てるには、**VMBACKDIR** オプションを使用できます。使用しているドライブを確認し、この操作に必要なスペースを確保してください。

説明: 仮想マシンの仮想ディスク情報を保管するために使用されるローカル・ディスクで書き込みエラーが発生しました。通常、書き込みエラーの原因は、ディスク・スペースの不足、書き込み権限の不足、またはローカル・ディスクに関する同じような何らかの問題です。操作に必要なフリー・スペースがローカル・ドライブにない場合は、**VMBACKDIR** オプションを使用して異なるディスクの場所を割り当てることができます。

システムの処置: ディスクの書き込みエラーが発生したため、操作が失敗しました。

ユーザーの処置: ローカル・ディスクに書き込みエラーの原因がないか確認し、必要に応じて **VMBACKDIR** オプションを使用して別のディスクを割り当ててください。

ANS4170E **VMware** リリース「*release-version-source*」からバックアップされた **VMware** リリース「*release-version-target*」上で仮想マシンを作成できません。

説明: 作成中の仮想マシンは、リストアに使用されているターゲットの **VMware** リリース・バージョンと互換性がない **VMware** バージョンからバックアップされました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 仮想マシンのバックアップ元のレベル

と互換性がある VMware システムに仮想マシンをリストアしてください。

ANS4174E **VMware** 仮想マシン '*vmname*' の完全 **VM** バックアップが **RC=rc** モード **=full_or_incr**、ターゲット・ノード名 **=target_node_name**、データ・ムーバー・ノード名 '*data_mover_node_name*' で失敗しました

説明: 仮想マシンのフル **VM** バックアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのフル・バックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4177E **VMware** 仮想マシン '*vmname*' の完全 **VM** リストアが **RC=rc** ターゲット・ノード名 '*target_node_name*'、データ・ムーバー・ノード名 '*data_mover_node_name*' で失敗しました

説明: 仮想マシンのフル **VM** リストアが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンの完全リストアが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4179I **IBM Spectrum Protect** アプリケーション保護は、**VM 'VM'** 上の **Microsoft SQL Server** ログを切り捨てませんでした。

説明: この仮想マシンに対してオプション

INCLUDE.VMTSMVSS *vname* **OPTIONS=keepsqlog** が指定されていたために、**SQL** サーバー・ログは切り捨てられませんでした。

システムの処置: 操作は完了します。

ユーザーの処置: **OPTIONS=keepsqlog** オプションを除去して、バックアップの完了時の **SQL** ログの切り捨てを有効にします。

ANS4187W **CPU** およびメモリーのリソース割り振りの構成設定は、**Virtual Center** が管理する **ESX/ESXi** ホストに **IBM Spectrum Protect** データ・ムーバー・ノードが直接接続している場合は、リストアできません。これらの設定はスキップされました。

説明: VMware vStorage API は、Virtual Center によって管理されている **ESX/ESXi** ホストに直接接続されている場合、**CPU** およびメモリーのリソース割り振りの構成設定をサポートしません。

システムの処置: **CPU** およびメモリーのリソース割り振りの構成設定はスキップされます。処理を続行します。

ユーザーの処置: 仮想マシンの **CPU** およびメモリーのリソース割り振りの構成設定は、**IBM Spectrum Protect** データ・ムーバー・ノードが **vCenter** サーバーに直接接続している場合は、リストアされます。**IBM Spectrum Protect** データ・ムーバーを **vCenter** サーバーに接続するには、**VMCHOST** を変更してください。

ANS4191E 「**SAN**」トランスポート・モードを使用したリストア **VM** 操作が失敗しました。**VM** リストアを **SAN** ベースからネットワーク・ベースに切り替えることで、リストアが成功する場合があります。

説明: **SAN** トランスポート・モードを使用して失敗するリストア **VM** 操作が、**LAN** パスを経由すると成功することはよくあります。「**SAN**」トランスポート・モードを使用して **VM** リストア操作が失敗した場合は、クライアント・オプション **VMVSTORTTRANSPORT** を "**nbd:nbdssl**" に設定して、**VM** リストア操作をやり直してみてください。

システムの処置: 「**SAN**」トランスポート・モードを使用したリストア **VM** 操作が失敗しました。「**nbd:nbdssl**」トランスポート・モードを使用するとリストアは成功する可能性があります。

ユーザーの処置: 「**SAN**」トランスポート・モードを使用したリストア **VM** 操作が失敗しました。「**nbd**」または「**nbdssl**」のトランスポート・モードの使用時は、ネットワーク・ベースの **VM** リストアが成功する場合があります。**VMVSTORTTRANSPORT** オプションを使用して、**IBM Spectrum Protect** クライアントが指定されたトランスポート・モードのみを使用するように制限することができます。

ANS4193E データ・ムーバー '*dm node*' がターゲット・ノード '*target_node*' に接続できないため、**vApp** '*vApp name*' を処理することができません。

説明: この操作を行うには、データ・センター・ノードのプロキシ・アクセスがデータ・ムーバー・ノードに付与されている必要があります。

システムの処置: 指定された **vApp** に対する操作はキャンセルされます。

ユーザーの処置: エラー・ログでエラーがないか確認し、すべての問題を修正します。構成ウィザードまたは構成エディターを実行して、ノードを適切に構成してください。

ANS4194E 現在暗号化が使用可能になっていますが、仮想マシンの永久増分バックアップ (**-MODE=IFFULL** または **-MODE=IFINCREMENTAL**) ではサポートされていません。

説明: 仮想マシンの永久増分バックアップ (**-mode=IFFULL** または **-mode=IFINCREMENTAL**) のクライアント暗号化はサポートされていません。サーバー上の暗号化されていないデータを誤って保管しないように、バックアップ操作は停止します。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップは停止します。

ユーザーの処置: この操作の暗号化オプションを削除して、再度実行してください。Secure Sockets Layer (SSL) 暗号化を使用すると、ネットワークを経由するデータを暗号化することができます。IBM Spectrum Protect ストレージ・プール内のバックアップ・データを暗号化する必要がある場合は、完全および増分バックアップ (**-mode=FULL** および **-mode=INCREMENTAL**)、またはインゲスト・バックアップなどの別のバックアップ方法を使用してください。

ANS4195E 組織 '*Org name*' 内の組織 **VDC** '*OrgVDC name*' のターゲット・ノードが見つかりませんでした。その結果、**vApp** '*vApp name*' をバックアップすることができません。

説明: 指定した組織 **VDC** の IBM Spectrum Protect ノードが IBM Spectrum Protect サーバー上で見つからなかったか、組織 **VDC** ノードに関する情報がプロバイダー **VDC** ノード内で見つかりませんでした。

システムの処置: 指定された **vApp** のバックアップは停止します。処理は次の **vApp** に進みます。

ユーザーの処置: 「構成」ページに進んで「構成ウィザードを実行」をクリックし、必要なすべての IBM Spectrum Protect ノードが IBM Spectrum Protect サーバーに登録されていることを確認します。必要場合は、新規のデータ・ムーバー・ノードに登録します。組織 **VDC** が、このデータ・ムーバー・ノードが保護するプロバイダー **VDC** に属していることを確認してください。

ANS4199W クラスタ・ディスク '*volume name*' にアクセスできないため、ファイル '*file name*' はシステム状態の一部としてバックアップされません。

説明: 指示されたファイルまたはディレクトリーが、書き込みプログラムのバックアップ・ファイル・リストの一部として **VSS** から返されました。しかし、ファイルが置かれているクラスタ・ディスクにアクセスできません。この問題の原因は、クラスタ・ディスクがオフラインであるか、別のノードに属していることである可能性があります。

システムの処置: ファイルはバックアップされません。処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題は Microsoft 知識ベースのトピック 980794 (<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;EN-US;980794>) に記載されています。このトピックにはホット・フィックスが含まれています。ホット・フィックスを使用して、**VSS** の一覧から除外される 1 つ以上のファイルのリストが入っているレジストリー・キーを指定できます。IBM Spectrum Protect は、**VSS** によって列挙されないファイルをバックアップしません。システム状態バックアップを実行するノードに対してボリュームがオンラインになる場合、そのボリュームをバックアップできません。そのボリュームをレジストリー・キーから除去し、システムを再始動してから、ボリュームをバックアップする必要があります。この問題のホット・フィックスを実装しない場合、IBM Spectrum Protect はこのメッセージを出し続けます。

ANS4200E 仮想マシン '*vmname*' は、データ・ストア '*datastore*' のデータ使用量がデータ・ストアしきい値の *percentused* パーセントを超えたためにバックアップできませんでした。

説明: この仮想マシンに使用されるデータ・ストアのデータ使用量は、**VMDATASTORETHRESHOLD** オプションに設定されたしきい値を超えています。

システムの処置: 仮想マシンはバックアップされません。

ユーザーの処置: データ・ストアのデータ使用量を減らすか、**VMDATASTORETHRESHOLD** オプションのしきい値を増やしてください。その後、仮想マシンを再度バックアップしてください。

ANS4202E デプロイメント・マネージャーは言語パック *language pack name* のインストールに失敗しました。 **Microsoft Installer** のエラー・コードは *error code* でした。

説明: 以前の言語パックはアンインストールされましたが、新しい言語パックのインストールは失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: For more information about Windows installer error messages, go to the Microsoft Developer Network (MSDN) テクニカル・ライブラリー (<http://msdn.microsoft.com/en-us/library>) にアクセスして「Windows Installer Error Messages」を検索してください。

クライアント・コンピューター上のインストール・ログを確認してください。

ANS4251W *writername* ファイル「*filename*」が見つかりません。

説明: 指示された VSS 書き込みプログラム・ファイルまたはディレクトリーが、書き込みプログラムのバックアップ・ファイル・リストの一部として VSS から返されました。しかし、そのオブジェクトがディスクに存在していません。

システムの処置: **SKIPMISSINGSYSWFILES** オプションが **NO** に設定されている場合、処理は停止します。**SKIPMISSINGSYSWFILES** オプションが **YES** に設定されている場合は、処理を続行します。

ユーザーの処置: このファイルがシステム状態バックアップでスキップできることを検証してください。

ANS4254E デプロイメント・マネージャーは、バックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイする必要があるワークステーションで **HSM** クライアントを検出しました。

説明:すでに **HSM** クライアントがインストールされているワークステーションに、バックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイしようとしていました。 **HSM** クライアントがあるワークステーションに、バックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイすることはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **HSM** クライアントをアンインストール

し、バックアップ・アーカイブ・クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

ANS4255E デプロイメント・マネージャーがシステム情報オブジェクトを作成できる十分なメモリーがありません。

説明: 一時的にデータを書き込むのに使用可能な RAM が十分でないため、システム情報オブジェクトを作成できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・ワークステーションで不要なアプリケーションをすべてクローズし、デプロイメントのスケジュールを変更してください。

ANS4256E **DSMI_DIR** 環境変数が定義されていません。

説明: **DSMI_DIR** 環境変数が設定されていないため、デプロイメント・マネージャーはサーバーへの接続を開始できません。このエラーが発生する可能性があるのは、デプロイメント・マネージャーがクライアント・スケジューラーを使用せずに開始される場合です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 入手可能な資料を読んで、クライアント・スケジューラーを使用してクライアント・デプロイメント・タスクを作成する方法を判別してください。

ANS4257E デプロイメント・マネージャーはファイル *file name* の情報を解析できません。

説明: デプロイメント・マネージャーは、必要な情報を解析することも、指定のファイルから抽出することもできませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・ワークステーション上のエラー・ログ・ファイルを確認してください。

ANS4258E デプロイメント・マネージャーは、**Windows** の「**OpenSCManager failed**」エラー・メッセージを受信しました。

説明: デプロイメント・マネージャーは、クライアント・スケジューラーを開始するために「**Windows サービス コントロール マネージャ**」に接続できませんでした。一般に、このエラーが発生するのは、このタスクを開始するユーザーに十分な権限がないためです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・スケジューラーを開始

するユーザーに管理特権があることを確実にしてください。

ANS4259E クライアント・スケジューラーが **root** ユーザーで開始されていません。

説明: クライアント・スケジューラーには、クライアント・コードをアップグレードするための **root** ユーザー特権が必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **root** としてログインし、クライアント・スケジューラーを開始してください。

ANS4260E インストール・ファイル・システムが書き込み不能です。

説明: デプロイメント・マネージャーはインストール・ファイル・システムに書き込めません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: インストール・ファイル・システムの権限を確認してください。現在のクライアント・ノードが、物理環境の共有ストレージにインストールされているクライアント・コードを使用して、仮想化環境で稼働している可能性があります。物理環境でクライアント・ノードを使用して、クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

ANS4261E デプロイメント・マネージャーはバックアップ・アーカイブ・クライアントをアップグレードできません。

説明: 現在の場所がデフォルトのインストール場所でないか、**DSM_DIR**、**DSMI_DIR**、**DSM_CONFIG** および **DSMI_CONFIG** 環境変数が、絶対パスではなく、相対パスを使用して定義されているため、バックアップ・アーカイブ・クライアントをアップグレードできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 現在のバックアップ・アーカイブ・クライアントのインストール・ディレクトリーを確認してください。バックアップ・アーカイブ・クライアントがデフォルトの場所にインストールされていない場合、手動でバックアップ・アーカイブ・クライアントをアップグレードしてください。

DSM_DIR、**DSMI_DIR**、**DSM_CONFIG** および **DSMI_CONFIG** 環境変数が相対パスを使用して定義されている場合、絶対パスを使用して定義して、クライアントのデプロイメントを再試行してください。

ANS4262E クライアント・インストールのプレビューが失敗しました。

説明: デプロイメント・マネージャーは現在のクライアントをアンインストールしませんでした。クライアント・コードは未変更のままです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: プレビュー時に識別された特定の問題がないか、クライアント・ワークステーションでデプロイメント・マネージャーのログ・ファイルとトレース・ファイルを調べてください。すべての問題が解決された後、デプロイメントのスケジュールを変更してください。

ANS4263E デプロイメント・マネージャーはバックアップ・アーカイブ・クライアントをアンインストールできませんでした。

説明: デプロイメント・マネージャーは、現在のクライアントのアンインストール中にエラーを受信しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このエラーの詳細については、クライアント・ワークステーションでデプロイメント・マネージャーのログ・ファイルとトレース・ファイルを調べてください。手動でクライアントをアンインストールする必要がある場合があります。

ANS4264E デプロイメント・マネージャーはバックアップ・アーカイブ・クライアントをインストールできませんでした。

説明: 現在のクライアントがアンインストールされ、デプロイメント・マネージャーは、新規クライアント・コードのインストール中にエラーを受信しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このエラーの詳細については、クライアント・ワークステーションでデプロイメント・マネージャーのログ・ファイルとトレース・ファイルを調べてください。問題が解決された後、新規クライアントを手動でインストールしてください。

ANS4265I スケジューラー・コマンドで、またはクライアント・サービスから、クライアント・デプロイメント・オプションが指定されていません。

説明: デフォルトのクライアント・オプション・ファイルが使用されます。デプロイメント・マネージャーは、状況の報告時に正しいサーバーおよびノードの情報を報告しない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: コマンド・ラインから直接クライアント・デプロイメントを開始せずに、必ず、Windows サービスとしてクライアント・スケジューラーを開始してください。

ANS4266I デプロイメント・マネージャーは、英語以外の言語パックをインストールできませんでした。

説明: 以前のパッケージがアンインストールされ、1 つ以上の新規言語パックのインストールが失敗しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 特定の言語パック情報がないか、クライアント・ワークステーションでデプロイメント・トレース・ファイルを確認してください。

ANS4267I デプロイメント・マネージャーはハードウェア・プラグイン・パッケージをインストールできませんでした。

説明: 以前のパッケージがアンインストールされました。新規ハードウェア・プラグイン・パッケージのインストールが失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・ワークステーション上のデプロイメント・トレース・ファイルを確認してください。

ANS4268I デプロイメント・マネージャーはジャーナル・ベースのバックアップ・パッケージをインストールできませんでした。

説明: 以前のジャーナル・ベース・バックアップ・パッケージはアンインストールされました。新規のジャーナル・ベースのバックアップ・パッケージのインストールが失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント・ワークステーション上のデプロイメント・トレース・ファイルを確認してください。

ANS4269W デプロイメント・マネージャーは、スケジューラー処理または CAD 処理を停止しようとしています。

説明: 新規クライアントをデプロイする前に、デプロイメント・マネージャーはスケジューラー処理と CAD 処理を停止する必要があります。デプロイメント後に、これらの処理が再開されなければなりません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: デプロイメント中にクライアント・スケジューラーが中断しています。

ANS4270I デプロイメント・マネージャーと新規クライアント・インストール・パッケージが、ディレクトリー *file name* にダウンロードされました。

説明: ダウンロード・ディレクトリーには、新規クライアント・デプロイメントの完了に必要なすべてのものが入っています。デプロイメントのログ・ファイルおよびトレース・ファイルは、log/ サブディレクトリーにあります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題判別のために、ダウンロード・ディレクトリーからログ・ファイルとトレース・ファイルを取得してください。これらのファイルは log/ サブディレクトリーにあります。

ANS4271E デプロイメント・パッケージには、1 つ以上の必須のインストール・イメージ・ファイルが欠落しています。

説明: クライアント・デプロイメント・パッケージが、サーバーに正しくインポートされていない可能性があります。ディスク・スペースが不足しているため、デプロイメント・パッケージをクライアント・コンピュータに完全には取得できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: サーバー上に使用可能なクライアント・パッケージがあり、クライアント・コンピュータに十分なディスク・スペースがあることを確認してください。さらに詳しいエラー・メッセージについては、バックアップ・アーカイブ・クライアントのエラー・ログ・ファイルを確認してください。

ANS4272E パッケージのプロセッサ・タイプ *package processor type* が、現在のクライアントの *system processor type* と一致しません。

説明: デプロイしたいクライアント・パッケージでサポートされているプロセッサ・タイプが、クライアントをデプロイしようとしているワークステーションのプロセッサ・タイプと一致しません。常にデプロイメント・マネージャーがサーバーに接続し、エラーを報告することができるとは限りません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: アップグレードしたいコンピュータ

のプロセッサ・アーキテクチャに正しいクライアント・パッケージを使用していることを確認してください。その後でデプロイメントを再開してください。

ANS4273E デプロイメント・マネージャーは、バックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイする必要があるワークステーションでジャーナル・ベースのバックアップ (JBB) クライアントを検出しました。

説明: すでに JBB クライアントがインストールされているワークステーションに、バックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイしようとしていました。一部のプラットフォームでは、JBB クライアントがインストールされているワークステーションにバックアップ・アーカイブ・クライアントをデプロイすることはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: JBB クライアントをアンインストールし、バックアップ・アーカイブ・クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

ANS4274E デプロイメント・マネージャーは、スケジューラー処理または CAD 処理を停止できません。

説明: デプロイメント・マネージャーは、バックアップ・アーカイブ・クライアントのスケジューラー処理または CAD 処理をシャットダウンしようとしていましたが、バックアップ・アーカイブ・クライアントが他のタスクで使用中である可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアントのデプロイメントのスケジュールを変更してください。

ANS4275E デプロイメント・マネージャーは、スケジューラー処理または CAD 処理を再開できません。

説明: 終了する前に、デプロイメント・マネージャーはバックアップ・アーカイブ・クライアントのスケジューラー処理または CAD 処理を再開できませんでした。デプロイメント・マネージャーは、クライアントのアップグレードの前にこれらの処理を停止しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアント・ワークステーションにログオンし、エラー・ログ・ファイルを確認してください。環境変数を設定し

た場合は、相対パスを使用して定義されていないことを確認してください。

ANS4276E デプロイメント・マネージャーは、スケジューラー処理または CAD 処理に関する情報を取得できません。

説明: デプロイメント・マネージャーは、バックアップ・アーカイブ・クライアントのスケジューラー処理または CAD 処理の停止と再開を行うために、処理情報が必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアント・ワークステーションにログオンし、エラー・ログ・ファイルおよびデプロイメント・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを確認してください。

ANS4277E ターゲット・オペレーティング・システムのバージョン *target operating system* が最小要件のバージョン *minimum required version* と一致しません。

説明: オペレーティング・システムのバージョンが、自動デプロイメント・パッケージに必要なバージョンよりも古いです。

システムの処置: デプロイメントがキャンセルされました。

ユーザーの処置: デプロイされるバージョンが、ターゲット・オペレーティング・システムでサポートされていることを確実にしてください。

ANS4278E デプロイメント・マネージャーは、**Logical Volume Snapshot Agent (LVSA)** に関する情報を取得できません。

説明: デプロイメント・マネージャーは、LVSA がクライアント・ワークステーションにインストールされているかどうかを判別する必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアント・ワークステーションにログオンし、エラー・ログ・ファイルおよびデプロイメント・マネージャーのエラー・ログ・ファイルを確認してください。

ANS4280E クライアント・ワークステーションでの自動クライアント・デプロイメントが許可されません。

説明: 1 つ以上の実行中のクライアント・サービスで、オプション・ファイルに `AUTODEPLOY = NO` が含まれています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアントで AUTODEPLOY オプションを変更して、クライアント・デプロイメントのスケジュールを変更してください。

ANS4281E 更新マネージャーが **TIVsmCapi** パッケージを非グローバル・ゾーン: *zone name* から削除できません。

説明: APAR IC57433 では、グローバル・ゾーンからアンインストールが実行される場合、疎ルートの非グローバル・ゾーン上で Solaris の TIVsmCapi パッケージが削除されないようにします。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 非グローバル・ゾーンから直接 IBM Spectrum Protect クライアントを手動でアンインストールして、デプロイメントのスケジュールを変更してください。

ANS4282E 非グローバル・ゾーン *zone names* からインストールされた **IBM Spectrum Protect** バックアップ/アーカイブ・クライアントで疎ルートの非グローバル・ゾーンが見つかりました。

説明: 1 つ以上の非グローバル・ゾーンが、/usr ファイル・システムをグローバル・ゾーンと共有しています。IBM Spectrum Protect バックアップ/アーカイブ・クライアントが、-G パラメーター付きでグローバル・ゾーンにインストールされ、また非グローバル・ゾーンにも手動でインストールされています。グローバル・ゾーン内の Tivoli Storage Manager バックアップ/アーカイブ・クライアントは、自動デプロイメントの一部ではない疎ルートの非グローバル・ゾーンと共有する GSKit のバージョンを更新するので、ユーザーはグローバル・ゾーンの IBM Spectrum Protect バックアップ/アーカイブ・クライアントを更新できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアントを手動で更新するか、-G パラメーターを指定せずにグローバル・ゾーンからインストールしてください。これにより、グローバル・ゾーンと疎ルートの非グローバル・ゾーンとの間に同じバージョンがあることになります。したがって、それらすべてのゾーンにクライアントをデプロイすることができます。

ANS4283E **GSKit** パッケージを圧縮解除するには *path* のディスク・スペースが不足しています。必要なスペース: *req_space* バイト。使用可能なスペース: *avail_space* バイト。

説明: デプロイメント・マネージャーが、GSKit パッケージを圧縮解除するにはディスク・スペースが不足していると判定しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 必要な量までディスク・スペースの空き容量を増やしてから、クライアントの自動デプロイメント・スケジュールを変更してください。

ANS4284E /usr ファイル・システムをグローバル・ゾーンと共有する疎ルートの非グローバル・ゾーンに対して自動クライアント・デプロイメント・タスクがスケジュールされていたため、デプロイメントは取り消されます。

説明: 試行された自動クライアント・デプロイメント・タスクはサポート対象外であり、取り消されます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ/アーカイブ・クライアントをグローバル・ゾーンからインストールするか、手動でバックアップ/アーカイブ・クライアントをアップグレードしてください。

ANS4285E 既存の仮想マシン「*VmName*」に対する更新リストア操作が失敗しました。仮想マシンが電源オフ状態になっていません。

説明: 既存の仮想マシンに対する更新リストア操作は、実行中のマシンについてサポートされていないため、打ち切られます。

システムの処置: リストアが打ち切られました。

ユーザーの処置: 仮想マシンの電源をオフにして、更新リストア操作を再試行してください。

ANS4290E リストア用に選択できる仮想マシンは 1 つのみです。

説明: 複数の仮想マシンのリストアは許可されません。リストア用に選択できる仮想マシンは 1 つのみです。

システムの処置: 処理は発生しません。

ユーザーの処置: リストア用に仮想マシンを 1 つのみ選択してください。

ANS4291E 仮想マシンが **VMware** サーバー上に見つかりませんでした。

説明: 仮想マシンのバックアップは失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。 `vmist` の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4292E 仮想マシンが見つかりませんでした。

説明: 仮想計算機の名前が検出されなかったか、またはドメイン・オプションに仮想計算機が指定されていませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しい VM 名またはドメイン・オプションを指定してください。

ANS4293E 組織 '*Org name*' の組織 VDC '*Org VDC name*' 内の **VMware vApp** '*vApp name*' のバックアップが失敗しました。

説明: vApp バックアップ操作は失敗しました。このエラー・メッセージは要約メッセージで、詳細情報は含まれません。

システムの処置: 指定された vApp の構成情報および VM はバックアップされません。処理は次の vApp に進みます。

ユーザーの処置: `dsmerror.log` ファイルで以前のメッセージを調べ、この vApp に関する詳細を確認してください。

ANS4295W 仮想マシン '*vmname*' は、**Windows VSS** システム・プロバイダーを使用してバックアップされました。 リストアされたボリュームのシャドー・コピーは手動で戻すか削除する必要があります。そうしないと、パフォーマンスの低下やスペース不足状態が発生する可能性があります。

説明: バックアップ時に、アプリケーション保護は 10 秒の VSS 制限時間内に VM をバックアップできませんでした。そのため、Windows VSS システム・プロバイダーが使用されました。アプリケーションをリストアする場合、ボリュームは自動的に戻されます。ただし、VM 全体をリストアする場合は、手動でシャドー・コピーを戻すか削除する必要があります。

システムの処置: 仮想マシンは、システム・プロバイダ

ーのシャドー・コピーを含めリストアされます。

ユーザーの処置: リストアが正常に完了し、データが壊れていないことを確認します。データが壊れていない場合、シャドー・コピーを削除できます。ただし、データが壊れている場合、シャドー・コピーを戻してデータ保全性をリストアします。リストアされた各ボリュームのルート・ディレクトリーにある

`dsmShadowCopyID.txt` ファイルを検索すると、削除または戻す必要があるシャドー・コピーを確かめられます。次に `diskshadow delete` または `revert` のコマンドを使用します。

ANS4301I **IBM Spectrum Protect** は、仮想マシン '*VM*' 上で **Microsoft Active Directory** ドメイン・コントローラーを検出しました。

説明: 仮想マシンに Microsoft Active Directory ドメイン・コントローラーが含まれています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、この仮想マシンに関する追加情報を保存しました。

ユーザーの処置: なし

ANS4302W **IBM Spectrum Protect** は、仮想マシン '*VM*' 上に **Microsoft Active Directory** ドメイン・コントローラーがあるかを検出することができませんでした。

説明: 仮想マシンに Microsoft Active Directory ドメイン・コントローラーが含まれているかを確認中にエラーが発生しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、この仮想マシンのバックアップを続行します。

ユーザーの処置: 追加情報については、IBM Spectrum Protect エラー・ログを確認してください。

ANS4303E **vCloud Director vApp** '*vapp-name*' は、以前にバックアップされていません。

説明: 指定された vCloud Director vApp は、以前にバックアップされていません。そのため、リストア対象として指定することができません。

システムの処置: 指定された vCloud Director vApp はスキップされ、リストア・リストの次の vApp が処理されます。

ユーザーの処置: リストアする vCloud Director vApp 名を確認し、操作を再試行してください。

ANS4304I IBM Spectrum Protect は IBM Spectrum Protect for Virtual Environments のライセンスを検出できませんでした。Active Directory ドメイン・コントローラーは、VM 'VM' 上で保護されません。

説明: 仮想マシンには Microsoft Active Directory ドメイン・コントローラーが含まれていますが、IBM Spectrum Protect for Virtual Environments のライセンスは検出されませんでした。ドメイン・コントローラーは保護されません。

システムの処置: Active Directory を保護するために、IBM Spectrum Protect for Virtual Environments 7.1 以降をインストールします。

ユーザーの処置: なし

ANS4305W 組織 'Org name' の組織 VDC 'Org VDC name' 内の VMware vApp 'vApp name' のバックアップが完了しました。一部の VM がバックアップされませんでした。モード: '永久増分 - full_or_incr' ターゲット・ノード名: 'target_node_name' データ・ムーバー・ノード名: 'data_mover_node_name' VM バックアップ状況: number of VMs in vApp 個中 number of VM backed up 個の VM のバックアップが正常に完了しました。

説明: vApp バックアップ操作は正常に完了しました。ただし、指定された vApp の 1 つ以上の VM がバックアップされませんでした。これらの VM は、リストア操作では作成されません。

システムの処置: 処理は次の vApp に進みます。

ユーザーの処置: dsmserror.log ファイルでこの vApp について調べ、このメッセージに関する詳細を確認してください。問題を解決して、操作を再試行してください。

ANS4308E 'hypervisor' 仮想マシン 'vmname' の完全 VM バックアップが失敗しました。RC=rc、モード=full_or_incr、ターゲット・ノード名='target_node_name'、データ・ムーバー・ノード名='data_mover_node_name'

説明: 仮想マシンのフル VM バックアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのフル・バックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理し

ます。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4311E 'hypervisor' 仮想マシン 'vmname' の完全 VM リストアが RC=rc で失敗しました。ターゲット・ノード名='target_node_name'、データ・ムーバー・ノード名='data_mover_node_name'

説明: 仮想マシンのフル VM リストアが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンの完全リストアが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4441E 'fs' は、'fstype' ファイル・システムです。これは、ファイル・バックアップ、イメージ・バックアップまたはアーカイブ用にサポートされているファイル・システム・タイプではありません。

説明: 'fs' ファイル・システムは、どのタイプのバックアップでもサポートされません。IBM Spectrum Protect は、'fs' ボリュームのバックアップとアーカイブ、およびイメージ・バックアップをサポートしません。

システムの処置: このファイル・システムはスキップされます。処理は、次のファイル・システムから続行されます。

ユーザーの処置: サポートされるファイル・システムの詳細なリストについては、IBM Spectrum Protect クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS4442E 'VM-Name' 仮想マシンは、重複するディスク ID を使用してディスクを割り当てているため、この仮想マシンのバックアップを作成できません。

説明: クライアントは、この仮想マシンが重複するディスク ID を使用してディスクを割り当てていることを検出しました。ディスクはコピーされている可能性があります。重複するディスク ID を持つ仮想マシンではバックアップを作成できません。

システムの処置: この仮想マシンはバックアップされません。次の仮想マシンで処理を続行します。

ユーザーの処置: 仮想ディスクごとに異なるディスク

ID を持っていることを確認し、仮想マシン構成を更新してファイル・システムに対する変更と一致させます。問題が続く場合は、Hyper-V サーバーの管理者に連絡してください。

ANS4443E 'fs' は、CSVFS ファイル・システムです。これは、ファイル・バックアップ、イメージ・バックアップまたはアーカイブ用にサポートされているファイル・システム・タイプではありません。

説明: Microsoft Cluster Shared Volumes File Systems (CSVFS) は、クラスター共有ボリュームに追加される NTFS ボリュームまたは ReFS ボリュームです。これらのボリュームは、Hyper-V および SQL の拡張サポート用であり、通常のファイル・データ用ではありません。IBM Spectrum Protect は、CSVFS ボリュームのファイル・レベルのバックアップおよびアーカイブ、またはイメージ・バックアップをサポートしません。

システムの処置: このファイル・システムはスキップされます。処理は、次のファイル・システムから続行されます。

ユーザーの処置: サポートされるファイル・システムの詳細なリストについては、IBM Spectrum Protect クライアントのマニュアルを参照してください。

ANS4446E *hypervisor type* 仮想マシン '*vmname*' のファイル・リストア・マウント操作が失敗しました。データ・センター・ノード名は '*data center node name*'、マウント・プロキシ・ノード名は '*mount proxy node name*' です。

説明: 仮想マシンのファイル・リストア・マウント操作が失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのマウントが失敗して終了しました。

ユーザーの処置: ローカル・クライアントのエラー・ログを参照して、失敗の理由を確認してください。

ANS4449E *hypervisor type* 仮想マシン '*vmname*' のファイル・リストア・マウントのクリーンアップが失敗しました。データ・センター・ノード名は '*data center node name*'、マウント・プロキシ・ノード名は '*mount proxy node name*' です。

説明: 仮想マシンのファイル・リストア・マウント操作のクリーンアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのマウントのクリーンアップ

が失敗して終了しました。

ユーザーの処置: ローカル・クライアントのエラー・ログを参照して、失敗の理由を確認してください。

ANS4450E このマウント・プロキシ・プラットフォームは、ファイル・リストア・マウント操作でサポートされていません。

説明: ファイル・リストア・マウント操作が失敗しました。マウント・プロキシ・プラットフォームがサポートされていないか、IBM Spectrum Protect Recovery Agent が正しくインストールおよび構成されていません。

システムの処置: ファイル・リストア・マウント操作が失敗しました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect Recovery Agent が正しくインストールおよび構成されていることを確認し、サポートされるマウント・プロキシ・プラットフォームからファイル・リストア・マウント操作を実行します。

ANS4451E Windows iSCSI サービスが使用できません。

説明: マウント・プロキシ・マシン上で Windows iSCSI サービスが使用できません。サービスが開始されていないか、正しくインストールまたは構成されていません。

システムの処置: 処理は停止します。ファイル・リストア・マウント操作は失敗します。

ユーザーの処置: iSCSI サービスがマウント・プロキシ・マシン上で稼働中であることを確認してください。

ANS4900W スケジュール '*schedule-name*' によりサーバーで、新規セッションがオープンされました。

説明: 接続障害のために、スケジュールされたイベントが終了します。操作を実行するために、通常の開始ウィンドウの外でスケジュール済みイベントを再開する必要があります。

システムの処置: スケジュールされたイベントは複数のセッションを使用して完了しています。

ユーザーの処置: 不要です。これが再発状態である場合は、ネットワーク問題を確認することが必要な場合があります。

ANS4901E 以下のオブジェクトは、1 つ以上の一致しない引用符を含んでいるので、処理できません: `'filespace path filename'`。

説明: ファイル・リスト内のファイル名に一致していない引用符があります。ファイル・リストの行の先頭にある単一引用符または二重引用符は、開始引用符と見なされます。同じタイプの対応する終了引用符が行の末尾になければなりません。終了引用符がない場合、または終了引用符が行の途中にある場合、入力は無効です。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: オブジェクトの指定を修正してください。

ANS4904E **VMware** 仮想マシン '*vmname*' のインスタント・アクセスが失敗しました。ターゲット・ノード名は '*target_node_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data_mover_node_name*' です。

説明: 仮想マシンの瞬時アクセスが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンの瞬時アクセスが失敗して終了しました。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4907E **VMware** 仮想マシン '*vmname*' のインスタント・リストアが失敗しました。ターゲット・ノード名は '*target_node_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data_mover_node_name*' です。

説明: 仮想マシンの瞬時リストアが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンの瞬時リストアが失敗して終了しました。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4910E **VMware** 仮想マシン '*vmname*' のクリーンアップが失敗しました。ターゲット・ノード名は '*target_node_name*'、データ・ムーバー・ノード名は '*data_mover_node_name*' です。

説明: 仮想マシンのクリーンアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのクリーンアップが失敗して終了しました。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ト・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS4915I 圧縮中にサイズが大きくなったオブジェクト: `filespace pathfilename`

説明: ファイルのサイズが圧縮時に増大しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS4917E **VMware** ライブラリーへのアクセス時に障害が発生しました。仮想マシン・バックアップに必要なファイルが見つかりませんでした。ファイルがインストールされるのは、クライアントが **IBM Spectrum Protect for Virtual Environments** のデータ・ムーバーとして定義されている場合のみです。

説明: 仮想マシン環境の **VMware** ライブラリーへのアクセス時に障害が発生しました。

システムの処置: バックアップ操作を続行できません。

ユーザーの処置: クライアントを使用して仮想マシンをバックアップするように **IBM Spectrum Protect for Virtual Environments** パッケージをインストールします。

ANS4937I 送信エラーからリカバリーするために、新規トランザクション・セッションでファイル *file* を再送しています。

説明: ありません。

システムの処置: ファイルは再送されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS4942E ファイル指定 '*string*' が無効です。

説明: オペレーティング・システムはファイル指定が無効であることを指示しました。考えられる理由の 1 つは、ファイル指定に認識できない文字が含まれていることです。また、ファイル指定での引用符の使い方が正しくないことも考えられます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ご使用のオペレーティング・システム用の「バックアップ・アーカイブ・クライアントの使用」に記載されている正しいファイル指定を入力してください。ファイル指定で有効な文字が使用されていることを確認してください。ブランク・スペースを含む指定で、引用符が正しく使用されていることを確認してください。

ださい。複数のファイル指定を使用する場合は、複数のファイル指定が単一のファイル指定と見なされるような引用符の使い方をしないようにしてください。

ANS4946W 警告: ユーザーによって除外された仮想マシン: *vm-name*、ディスク: *disk-name* が見つかりませんでした。

説明: 指定された仮想ディスクが仮想マシンに存在しません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 「*dsmc backup vm ...*」コマンドを *-preview* オプションを付けて使用して、仮想マシン上に存在するディスク・ラベルのリストを表示します。このディスクはバックアップから除外するように指定されているため、バックアップは続行します。ただし、バックアップしてほしくないディスクがバックアップに含まれている可能性があります。ディスク・ラベルのスペルをチェックして、バックアップしてほしくないディスクがバックアップ操作に今、含まれている場合は、ディスク・ラベルを修正します。

ANS4947E エラー: ユーザーによって組み込まれた仮想マシン: *vm-name*、ディスク: *disk-name* が見つかりませんでした。

説明: 指定された仮想ディスクが仮想マシンに存在しません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 「*dsmc backup vm ...*」コマンドを *-preview* オプションを付けて使用して、仮想マシン上に存在するディスク・ラベルのリストを表示します。ディスク・ラベルのスペルをチェックし、ディスク・ラベルを修正して、その後「*backup vm*」操作を再試行します。

ANS4948E 指定された仮想ディスクが仮想マシンに存在しません。

説明: 仮想マシンに存在する仮想ディスクのラベル名を指定する必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ操作の場合、「*dsmc backup vm ...*」コマンドを *-preview* オプションを付けて使用して、仮想マシン上に存在するディスク・ラベルのリストを表示します。リストア操作の場合、「*dsmc query vm ...*」コマンドを *-detail* オプションを付けて使用して、仮想マシン・バックアップ上に存在するディスク・ラベルのリストを表示します。ディスク・ラベルのスペルをチェックし、ディスク・ラベルを

修正して、その後、操作を再試行します。

ANS4972W ファイル・サーバー *file-server-name* は、**Data ONTAP** バージョン

「*version.modification.submodification*」にアップグレードされました。このバージョンでは、スナップショットの差分の増分バックアップ用のユニコード・ファイル名をサポートしていません。できるだけ早くユニコード・ファイル名をサポートするバージョンにアップグレードしてください。

説明: ファイル・サーバーが、スナップショットの差分を使用する増分バックアップ用のユニコード・ファイル名をサポートするバージョンから、サポートしないバージョンにアップグレードされました。Data ONTAP バージョン 7.3.3 (またはそれ以降) から 8.0 にアップグレードした場合、スナップショットの差分による増分バックアップを実行する際に、ユニコード・ファイル名を持つファイルをバックアップする機能が失われます。

システムの処置: 処理を続行します。ただし、ユニコード名のファイルはバックアップされません。

ユーザーの処置: できるだけ早くユニコード・ファイル名をサポートするバージョンにアップグレードしてください。Data ONTAP バージョン 7.3.3 (またはそれ以降) から 8.0 にアップグレードした場合は、8.1 (またはそれ以降) にアップグレードしてください。現時点でアップグレードできない場合は、IBM Spectrum Protect サーバー上のファイル・スペースを名前変更してスナップショット差分の増分バックアップを実行することで、この警告メッセージを抑止できます。

ANS4973E ファイル '*filepath namepath-namefile-name*' の **NTFS** セキュリティー情報へのアクセス中にエラーが発生しました。

説明: NTFS セキュリティー情報へのアクセス試行中にアクセス否認エラーが発生しました。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡するか、SkipNTSecurity オプションを使用して失敗した検査をバイパスします。

ANS4974E '*filepath namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。必要な NT 特権がありません。

説明: IBM Spectrum Protect を実行しているユーザー・アカウントは、現行操作を実行するのに必要な NT ユーザー権限/特権を保持していません。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: 必要な特権を認可する権限はシステム管理者にあります。

ANS4987E 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。オブジェクトは、別のプロセスが使用中です。

説明: 指定されたファイルは他のプロセスが使用しています。現在他のプロセスが使用しているファイルの読み取りまたは書き込みを試みました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルが別のプロセスによってロックされていないことを確認してください。ファイルがロックされていない場合は、コマンドを再試行してください。

ANS4988W ファイル 'filespace namepath-namefile-name' は、現在サーバーで使用不可であり、スキップされました。

説明: 現在 IBM Spectrum Protect サーバーから使用不可なファイルのリストアまたはリトリブを試行しました。これは、おそらく一時的な問題です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ファイルをリストアまたはリトリブできません。

ユーザーの処置: ファイルがサーバーで使用可能になった後で、ファイルを別々にリストアまたはリトリブしてみてください。この問題が続いて起こる場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して支援を求めてください。

ANS4989E 'filespace namepath-namefile-name' の処理中にエラーが発生しました。ディレクトリーは、別のプロセスが使用中です。ディレクトリーおよびそのサブディレクトリーにあるオブジェクトはすべてスキップされます。

説明: 指定されたディレクトリーは、別のプロセスによって使用されています。現在他のプロセスが使用しているディレクトリーの読み取りまたは書き込みを試みました。ディレクトリーおよびそのサブディレクトリーに含まれるオブジェクトはバックアップされません。

システムの処置: そのディレクトリーに対する処理は停止しました。このバックアップ処理には他のファイルやディレクトリーを指定していた場合、それらについては処理されます。

ユーザーの処置: 正しいディレクトリー名が指定されて

いることの確認、許可の訂正、または新規位置の指定を行ってください。ディレクトリー名が正しい場合、ディレクトリーの排他使用を行うプロセスがないときにバックアップを再試行してください。

ANS4991I アプリケーション・タイプ アプリケーション・メッセージ ID アプリケーション・メッセージ

説明: これは現在 IBM Spectrum Protect で実行しているアプリケーションが送信したメッセージです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はアプリケーション・メッセージをログに記録します。

ユーザーの処置: 使用しているアプリケーションの資料を参照してください。

ANS4992W アプリケーション・タイプ アプリケーション・メッセージ ID アプリケーション・メッセージ

説明: これは現在 IBM Spectrum Protect で実行しているアプリケーションが送信したメッセージです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はアプリケーション・メッセージをログに記録します。

ユーザーの処置: 使用しているアプリケーションの資料を参照してください。

ANS4993E アプリケーション・タイプ アプリケーション・メッセージ ID アプリケーション・メッセージ

説明: これは現在 IBM Spectrum Protect で実行しているアプリケーションが送信したメッセージです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はアプリケーション・メッセージをログに記録します。

ユーザーの処置: 使用しているアプリケーションの資料を参照してください。

ANS4994S アプリケーション・タイプ アプリケーション・メッセージ ID アプリケーション・メッセージ

説明: これは現在 IBM Spectrum Protect で実行しているアプリケーションが送信したメッセージです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はアプリケーション・メッセージをログに記録します。

ユーザーの処置: 使用しているアプリケーションの資料を参照してください。

ANS4997E 'filespace namepath-namefile-name' の処理エラー: ファイル・システム割り当て量到達状態 - スペース残量がありません。

説明: 宛先ファイル・システムの割り当て量に達したため、これ以上ファイルをリストアまたはリトリブすることができません。

システムの処置: クライアントは、次のアクションの選択を求めるプロンプトを表示します。

- このオブジェクトの再試行
- このオブジェクトのスキップ
- アクションの打ち切り

ユーザーの処置: このオブジェクトの適切なアクションを選択してください。フリー・スペースを作成するか、宛先ファイル・システム上の割り当て量を増やしてから、操作を再試行してください。あるいは、別のファイル・システムにファイルをリストアまたはリトリブするオプションを選択してください。

ANS4998E ファイル「filename」のリンク情報は取得できませんでした。オブジェクトへのアクセスが拒否されました。

説明: 指定したファイル・リンクへのアクセスが拒否されました。ファイル・リンク情報を読み取ろうとしましたが、このオブジェクトへのアクセス権限がありません。

システムの処置: 「システム状態」の処理が停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM 技術サポートに連絡して追加の支援を受けてください。

ANS4999I 次のメッセージは長すぎるためサーバーに記録できませんでした。'shortened message with message number'

説明: メッセージ・テキストと挿入部分が大きすぎるため、使用可能な内部バッファでサーバーに送信できません。

システムの処置: message number メッセージはローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれ、短縮されてからこのメッセージの一部としてサーバーに送信されます。メッセージの長さは、元のメッセージの中央にある '...' を置換することにより短縮されます。

ユーザーの処置: 参照されたメッセージは短縮されていますが、発生したエラーを説明しています。詳しくは、そのメッセージの資料を参照してください。

ANS5003S ディレクトリーに割り当てられる管理クラスが存在しません。

説明: DIRMC オプションで指定された管理クラス名が、サーバーで割り当てられたポリシー・セットに存在しません。エラー・ログには、無効な管理クラス名を示すエントリーがあります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 現在の DIRMC オプションをクライアント・オプション・ファイルから除去して、DSMC QUERY MGMTCLASS -DETAIL を実行して使用可能な管理クラスの情報を表示します。選択した管理クラスにバックアップ・コピー・グループがあることを確認してください。複数の IBM Spectrum Protect サーバーがある場合は、正しいサーバーに接続していることを確認してください。適切な管理クラスを検出できない場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS5004S ディレクトリーに使用される管理クラスにバックアップ・コピー・グループがありません。エラー・ログを参照してください。

説明: DIRMC オプションで指定している管理クラスには、バックアップ・コピー・グループがありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 現在の DIRMC オプションをクライアント・オプション・ファイルから除去して、DSMC QUERY MGMTCLASS -DETAIL を実行して使用可能な管理クラスの情報を表示します。選択した管理クラスにバックアップ・コピー・グループがあることを確認してください。複数の IBM Spectrum Protect サーバーがある場合は、正しいサーバーに接続していることを確認してください。適切な管理クラスを検出できない場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS5006W ポリシー・セットにバックアップ・コピー・グループが含まれていません。プロセスはバックアップを続行できません。

説明: バックアップ管理情報が含まれていないポリシー・セットを使用してファイルのバックアップを試みしました。

システムの処置: プロセスはファイルをバックアップしていません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に、バックアップ・コピー・グループを持っている管理クラスが含まれるポリシー・セットとノードの関連付けに関し

て援助を求めてください。その後で、操作を再試行してください。

ANS5007W ポリシー・セットにアーカイブ・コピー・グループが含まれていません。IBM Spectrum Protect はアーカイブを続行できません。

説明: アーカイブ管理情報が入っていないポリシー・セットを使って、ファイルをアーカイブしようとした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ファイルをアーカイブしていません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に、アーカイブ・コピー・グループを持っている管理クラスが含まれるポリシー・セットとノードの関連付けに関して援助を求めてください。その後で、操作を再試行してください。

ANS5008W 入力されたパスワードが正しくありません。

説明: 誤りのあるパスワードが入力されました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は正しいパスワードなしではサーバーと接続することはできません。

ユーザーの処置: パスワードを再入力するか、システム管理者に現行パスワードを問い合わせてください。

ANS5009W 新規パスワードの項目が異なっています。

説明: パスワード変更、パスワード更新、あるいは登録ダイアログのオープン時に、新規パスワードに関する 2 つの入力は同一ではありませんでした。

システムの処置: サーバー上ではパスワードは変更されませんでした。

ユーザーの処置: 両方の新規パスワード上でバックスペースして再入力し、それらを一致させます。

ANS5011I バックアップがユーザーによって停止されました。

説明: バックアップ操作の停止が要求されました。

システムの処置: バックアップは停止します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5012E サーバーのバックアップ・データ・ストレージ・スペースが足りません。

説明: サーバーはバックアップ・データ・ストレージ内のスペースを使い果たしました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求されたバックアップ操作を完了することはできません。バックアップ活動パネルの下半分に表示されたどのファイルも、正常にバックアップされました。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS5013E バックアップ操作のメモリーが足りません。

説明: IBM Spectrum Protect は指定されたバックアップ操作のためにメモリーを割り振ることができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することはできません。

ユーザーの処置: 不要のアプリケーションをすべてクローズし、操作を再試行します。照会の有効範囲および戻されるデータの量を削減することも役に立ちます。あるいはシステム管理者に連絡します。

ANS5014I バックアップは完了されました。

説明: バックアップは完了されました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルをバックアップしました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5015I リストアがユーザーによって停止されました。

説明: リストア操作の停止が要求されました。

重要: "overwrite" オプションを指定してファイルをリストアする場合は、最後にリストアされたファイルは損傷する可能性があります (部分的上書き)。

システムの処置: リストアが停止しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5016E 要求されたリストア操作のために十分なメモリーがありません。

説明: 要求されたリストア操作に使用可能なメモリーの量が十分ではありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 不要のアプリケーションをすべてクローズし、操作を再試行します。照会の有効範囲および戻されるデータの量を削減することも役に立ちます。あるいはシステム管理者に連絡します。

ANS5017I リストアが完了しました。

説明: リストアは完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルをリストアしました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5018E アーカイブ操作のメモリーが足りません。

説明: クライアントは要求されたアーカイブ操作のためにメモリーを割り振ることができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 不要のアプリケーションをすべてクローズし、操作を再試行します。照会の有効範囲および戻されるデータの量を削減することも役に立ちます。あるいはシステム管理者に連絡します。

ANS5019I アーカイブがユーザーによって停止されました。

説明: アーカイブ操作の停止が要求されました。

システムの処置: アーカイブは停止しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5020E **IBM Spectrum Protect** サーバーのアーカイブ・データ・ストレージ・スペースが不足しています。

説明: サーバーが、そのアーカイブ・データ・ストレージ内のスペースを使い切りました。

システムの処置: クライアントは要求されたアーカイブ操作を完了できません。

ユーザーの処置: この問題を、アーカイブ・ストレージにさらにリソースを割り振ることができる **IBM Spectrum Protect** システム管理者に報告してください。

ANS5021I アーカイブが完了しました。

説明: アーカイブは完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルをアーカイブしました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5022I リトリブがユーザーによって停止されました。

説明: リトリブ操作の停止が要求されました。

重要: "overwrite" オプションを指定してファイルをリトリブする場合は、最後にリトリブされたファイルは損傷する可能性があります (部分的上書き)。

システムの処置: リトリブが停止しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5023E リトリブ操作のメモリーが足りません。

説明: プログラムが実行されるプロセスが、割り振られた最大メモリーを超えました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 不要のアプリケーションをすべてクローズし、操作を再試行します。照会の有効範囲および戻されるデータの量を削減することも役に立ちます。あるいはシステム管理者に連絡します。

ANS5024I リトリブは完了しました。

説明: リトリブは完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルをリトリブしました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5025E ノード名に無効な文字が入っています。

説明: 指定されたノード名に無効な文字があります。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 有効な文字を持つ他のノード名で再試行してください。

ANS5026W **MatchAllChar** オプションおよび **MatchOneChar** オプションは、包含/除外オプションの前になければなりません。

説明: **MatchAllChar** オプションおよび **MatchOneChar** オプションは、すべての包含/除外オプションの前になければなりません。

システムの処置: 現行のアプリケーションは終了します。

ユーザーの処置: **MatchAllChar** オプションおよび **MatchOneChar** オプションを、すべての包含/除外オプションの前に移動します。

ANS5027W 異なるタイプのオブジェクトを同時にバックアップすることはできません。

説明: 異なるタイプのオブジェクトを同時にバックアップすることは、特定のシナリオでは許可されていません。例えば、Hyper-V と VMware 仮想マシンを同時にバックアップすることはできません。

システムの処置: 処理は行われません。

ユーザーの処置: 同じタイプのオブジェクトを選択して、バックアップ操作を実行してください。

ANS5028I 正常に終了しました。

説明: 操作が正常に完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5029E IBM Spectrum Protect サーバーにおけるエラーのために、この操作を続行できません。**IBM Spectrum Protect** サーバー管理者に支援を依頼してください。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーで、IBM Spectrum Protect クライアントの操作を続行できなくなるようなエラー条件が検出されました。IBM Spectrum Protect サーバー管理者は、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティ・ログによって、このエラーに関する詳細を検討します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者に支援を依頼してください。管理者は、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティ・ログによって、このエラーの原因となった状態についてさらに詳しく検討します。

ANS5030E No objects on server match query

説明: サーバー上のどのオブジェクトも実行される照会操作と一致しません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 名前が適切に入力されていることを確認します。

ANS5031E クライアントがトランザクションを打ち切りました。

説明: クライアント・システムはサーバーの操作を終了し、現行トランザクションを終了しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: セッションを再始動します。

ANS5032W アクティブ・オブジェクトが見つかりません

説明: オブジェクトを期限切れにしようとしたのですが、サーバーはそのオブジェクトの活動バックアップ・バージョンを検出できませんでした。このメッセージの前のメッセージ ANS1228E に、オブジェクト名が示されます。

例えば、2 つの別個のクライアント・プロセスが同じファイル・システムを同時にバックアップしている場合に、このメッセージが発行されます。一方のプロセスがファイルを期限切れにすると、サーバーはそのファイルを非活動化します。その後に 2 番目のプロセスが同じファイルを期限切れにしようとした場合、サーバーはそのファイルの活動バージョンを検出できないため、2 番目のプロセスはそのファイルについてこのメッセージを発行します。

システムの処置: オブジェクトは期限切れではありません。次のオブジェクトについて処理を続行します。

ユーザーの処置: コンソールの出力、スケジュール・ログ、またはエラー・ログを確認して、このメッセージの直前の ANS1228E メッセージを見つけてください。

ANS1228E に、期限切れにできなかったオブジェクトが示されます。この問題が発生した状態を確認し、それらの状態のためにメッセージが発行されたかどうかを検討してください。例えば、クライアントの複数インスタンスがファイル・システムを同時にバックアップしようとした場合に、このメッセージが表示されることがあります。メッセージが発行された理由を判別できず、操作を再試行してもメッセージが発行される場合は、サポートに連絡して支援を依頼してください。また、<http://www.ibm.com> で、このメッセージ番号によって考えられる解決方法を検索してください。

ANS5033E サーバーにオブジェクトに対するデータがありません。

説明: サーバーは、関連したデータのないオブジェクトでリストアまたはリトリブを実行しようとした。修正アクションが可能な場合、サーバーにあります。

システムの処置: サーバーは現行操作を終了します。

ユーザーの処置: 管理者に依頼して、アクティビティ・ログに、問題の識別に役立つ可能性がある、このエラーに関連したメッセージがないか確認してください。

ANS5034E 間違ったパスワードが入力されました。

説明: 入力された現行パスワードが誤っているか、入力された新規パスワードがサーバーで設定されているパスワード長さ要件を満たしていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しいパスワードでセッションを再試行してください。それでも失敗する場合や、パスワードを忘れた場合は、管理者に新規パスワードの割り当てを依頼してください。

ANS5035E ノードは使用中です。

説明: 現在稼働しているノードは、サーバー上の他の操作によって使用中です。これは他のクライアントまたはサーバー上の活動からの可能性があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行するか、あるいはシステム管理者にユーザーのノードに関して他のどの操作が実行中であるかの調査を依頼します。

ANS5036E 有効期限は現在日より大きくなければなりません。

説明: アーカイブ有効期限が短すぎます。有効期限は本日より後でなければなりません。

システムの処置: 現行操作はキャンセルされます。

ユーザーの処置: 本日より後の有効期限を指定して、ファイルのアーカイブを再試行してください。

ANS5037W 要求されたデータはオフラインです

説明: リストアまたはリトリブ操作に関しては、1 つ以上の要求されたファイルがオフライン・ストレージ・メディア (一般的にはテープ) から再呼び出しされなければなりません。待機時間は、サイトのオフライン・ストレージ管理ポリシーによって左右されます。

システムの処置: クライアントは、オフライン・ストレージ・メディアが使用可能になるのを待ってから、続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5038E オブジェクトが大き過ぎて、サーバーの限度を超えています。

説明: オブジェクトが大き過ぎます。サーバーの構成が、オブジェクトを受け入れるいかなるデータ・ストレージ・スペースも持ちません。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ご使用のサイトのサーバーが構成されている最大ファイル (オブジェクト) サイズの判別をシステム管理者に依頼してください。

ANS5039E サーバーがデータ・ストレージ・スペースを使い切りました。

説明: サーバーはオブジェクトを保管するために利用可能なスペースを持ちません。

システムの処置: 現行操作を終了しました。

ユーザーの処置: 以下のいずれかのアクションを実行することができます。

- クライアントについては、オプション・ファイル (DSM.OPT) に COMPRESSALWAYS=NO および COMPRESSION=YES を設定してください。ファイルが圧縮時に大きくなるようであれば、圧縮されずに再送されます。
- システム管理者に、ストレージ・プールへのスペースの追加を要求する。
- システム管理者は、ディスク・ストレージ・プールのディスク・キャッシングをオフにし、各ディスク・プール・ボリュームに MOVE DATA コマンドを発行して、キャッシュされたビット・ファイルをクリアすることもできます。

ANS5040E サーバー・メディアのマウントが可能ではありません。

説明: サーバー・メディアのマウントが可能ではありません。オフライン・ボリュームのマウントを待っているときに、サーバーはタイムアウトになりました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: サーバー・ボリュームがマウント可能になったら再試行します。このノードのサーバー上に定義した MAXNUMMP (マウント・ポイントの最大数) が、0 より大きいことを確認してください。

ANS5041E 見積サイズを超えました。

説明: バックアップまたはアーカイブ操作のためのデータの合計量が、データ・ストレージ・スペース割り当てのためにサーバーに最初に送信された見積サイズを超過します。バックアップまたはアーカイブ操作がセッション中の間、多数のファイルが大幅に成長しているときにこれが発生します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、大量のデータを生成している、クライアント・マシン上で実行中の他のプロセスは何かを検査します。バックアップまたはアーカイブ操作の発生中に

は、これらの操作を使用不能にします。

ANS5042E IBM Spectrum Protect サーバーで現在
ファイル・データが使用不能です。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、IBM Spectrum Protect サーバーで現在使用不能なデータをリストアまたはリトリブしようとしていました。考えられる原因は以下のとおりです。

- IBM Spectrum Protect サーバーでデータが壊れています。
- IBM Spectrum Protect サーバーで読み取りエラーが検出されました。
- ファイルはサーバーにおいて一時的にレクラメーション処理操作に含まれています。
- IBM Spectrum Protect が、使用不能なテープ・ボリュームを要求しました。ボリュームが使用不能になる一般的な理由としては、ディスク・ボリュームがオフラインである、入出力エラーのためボリュームが使用不能とマークされている、テープ・ボリュームがテープ・ライブラリーからチェックアウトされている、などが考えられます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 後で操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に支援を依頼してください。管理者は、問題に関連したメッセージがないか IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティー・ログを調べることができます。

ANS5043W 予期しない再試行要求です。サーバーはデータの書き込み中にエラーを検出しました。

説明: ありません。

システムの処置: クライアントは操作を再試行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5044E セッションはリジェクトされました。現在サーバー・セッションはすべて使用中です。

説明: サーバーの使用可能なセッションはすべて使用中であるため、この時点で新規セッションを受け入れることはできません。

システムの処置: サーバーは現行操作をキャンセルしました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が継続する場合は、システム管理者に連絡して、サーバーへの並行

アクティブ・セッションの数を増やすことを検討してください。

ANS5045E セッションはリジェクトされます。パスワードの有効期限が切れています。

説明: パスワードの有効期限が切れています。

システムの処置: サーバーは現行操作をキャンセルしました。パスワードが更新されるまでは、サーバーへの接続は許可されません。

ユーザーの処置: パスワードを更新してください。

SET PASSWORD コマンドを使用するか、管理者にノードを更新してもらってください。

ANS5046E セッションはリジェクトされました。不明なノード ID または誤ったノード ID が入力されました。

説明: 入力したノード名がサーバーに認識されていないか、あるいは別のノードにマイグレーションされたファイルにアクセスしようとしています。

システムの処置: 現行操作はキャンセルされます。ノード名がサーバーに登録されるまでは、サーバーとの接続は許可されません。マイグレーションしたファイルにアクセスする場合は、ノード名はファイルをマイグレーションしたノードと同一でなければなりません。

ユーザーの処置: ノード名を正しく入力したか確認してください。正しく入力されている場合は、システム管理者に連絡してください。サーバーがクローズされた登録を使用していること、およびノード名がサーバーに登録されていることを確認してください。

ANS5047E セッションはリジェクトされました。重複する ID が入力されました。ノードは既にサーバーにログオンしています。

説明: このノード名を使用する他のプロセスがサーバーでアクティブになっています。

システムの処置: サーバーに接続できません。現行操作はキャンセルされました。

ユーザーの処置: また、別の人が使用できないように、ユーザーのノード名がサーバーにとって固有になるようにしてください。システム管理者に連絡して、そのノード名の所有者を確認してください。

ANS5048E ファイル・スペースを選択してください。アクセスを削除または設定するファイル・スペースが見つかりません。

説明: 削除するファイル・スペースが見つかりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名を確認します。

ANS5049E セッションはリジェクトされました。サーバーが使用不可になっています。

説明: サーバーは使用不能状態にあり、通常活動のためにアクセスすることはできません。

システムの処置: 現行操作はキャンセルされました。

ユーザーの処置: サーバーが使用可能状態に戻った後、操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者にご相談ください。

ANS5050E サーバーはオープン登録を行えるようには構成されていません。

説明: 許可されません。システム管理者による登録が必要です。サーバーはオープン登録を行えるようには構成されていません。

システムの処置: セッションは開始されません。

ユーザーの処置: システム管理者からノードおよびパスワードを入手する必要があります。

ANS5051S セッションはリジェクトされました。クライアント・コードが下位レベルです。

説明: サーバー・バージョンとクライアント・バージョンが一致しません。クライアント・コードのレベルが下です。

システムの処置: 現行操作はキャンセルされます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡して、ご使用のロケーションで実行可能なバージョンを確認してください。

ANS5052E セッションはリジェクトされました。下位レベルのサーバー・コード・バージョンです。

説明: サーバー・バージョンとクライアント・バージョンが一致しません。サーバー・コードのレベルが下です。

システムの処置: 現行操作はキャンセルされます。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡して、ご使用のロケーションで実行可能なバージョンを確認してください。

ANS5053W ユーザーが操作を停止しました。

説明: ユーザーの要求により操作が停止されました。通常これは 'Q' キーが 2 回押されたときに起こります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5054E オペレーティング・システムが、メモリー割り振りの要求を拒否しました。

説明: クライアントは、処理を進める際に情報を保管するために、メモリーへのアクセスを要求しています。この場合は、オペレーティング・システムが割り振れる以上のメモリーが要求されています。考えられる理由は次のとおりです。

- システムのメモリーが少なくなっています。
- プログラムが実行されるプロセスが、割り振られた最大メモリーを超えました。
- その他の何らかのエラー状態が発生しました。使用可能なメモリーがありません。

システムの処置: クライアントは要求された操作を完了できません。

ユーザーの処置: 不要なアプリケーションをすべてクローズし、操作を再試行してください。それでも操作が失敗する場合は、タスクをいくつかの小さい単位に分割してみてください。例えば、ファイル指定に高位のディレクトリーがいくつか含まれている場合は、各ディレクトリーごとに順番にタスクを実行してください。タスクが増分バックアップの場合は、オプション「-memoryefficientbackup=yes」を使用してください。

ANS5055E バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーション処理でファイルが見つかりません。ファイル指定が入力されていません。

説明: バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションの処理を行おうとしているファイルは、もうクライアント上に存在しません。バックアップ、アーカイブまたはマイグレーションが行われる前に、他のプロセスがファイルを削除しました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5056E 指定されたディレクトリー・パスを見つけることができませんでした。

説明: 指定されたディレクトリー・パスが無効であるか、または到達できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 有効なディレクトリー・パスを使用して操作を再試行してください。

ANS5057E 指定されたファイルまたはディレクトリーへのアクセスが拒否されました。

説明: 指定されたファイルまたはディレクトリーへのアクセスが拒否されました。 ファイルの読み取りまたはファイルへの書き込みを試行しましたが、ファイルまたはディレクトリーへのアクセス許可がありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル名またはディレクトリー名を指定するようにして、許可を訂正するか、新しい場所を指定してください。

ANS5058E 使用可能なファイル・ハンドルがありません

説明: システムのファイル・ハンドルはすべて現在使用中です。使用可能なものはありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 他のプロセスを終了して一部のファイル・ハンドルを解放するか、システム・セットアップを変更して同時にオープンできるファイルの数を増やします。

ANS5059E ファイルが存在し、上書きできません。

説明: リストアまたはリトリーブしようとしているファイルが存在し、権限がアクセス許可がないために上書きできません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: そのファイルに上書きするために必要なアクセス許可を持っていることを確認して、操作を再試行してください。問題が継続する場合は、システム管理者または管理者に支援を依頼してください。

ANS5060E 無効なパラメーターが渡されました。

説明: システムは無効なパラメーターによる内部プログラム・エラーを検出しました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サービス担当員にエラー・ログの検査を依頼してください。

ANS5061E 無効なファイル・ハンドルが渡されました。

このシステム・エラーの経緯を報告してください。

説明: 内部システム・エラーが発生しました。 無効なファイル・ハンドルのため、ファイル操作が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。失敗が続く場合は、問題をキャプチャーしたサービス・トレースを取得し、技術サポートに連絡して支援を依頼してください。トレースの構成については、管理者に相談してください。

ANS5062E Disk full

説明: 宛先ディスクがいっぱいであるため、操作は停止されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディスク・スペースを解放して、操作を再試行してください

ANS5083E ドライブ指定にワイルドカード文字が含まれています。

説明: ドライブ名にワイルドカード文字を含めることはできません。

システムの処置: ワイルドカードを含むオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: 有効なドライブ指定を使用してください。

ANS5091S IBM Spectrum Protect サーバーのストレージ・プールには、現在はこのファイルのためのスペースがありません。これは一時的状態である可能性があります。

説明: このメッセージは、通常、データが保管されるストレージ・プールに十分なスペースがないが、まもなく使用可能になる場合に発行されます。例えば、ストレージ・プール・マイグレーションによって、データを保管するための十分なスペースが解放されます。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: これはおそらく一時的状態です。後で操作をやり直してください。エラーが続く場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してサーバー・コンソールとエラー・ログを確認し、問題の原因を突き止めてもらってください。

ANS5092S サーバーがデータ・ストレージ・スペースを使い切りました。

説明: サーバーにオブジェクトを保管するためのスペースがこれ以上ありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現行操作を終了しました。

ユーザーの処置: サーバー上のストレージ・プールがいっぱいであることをシステム管理者に報告してください。

ANS5093S SLM_LICENSE_EXCEEDED: IBM Spectrum Protect のクライアント・ライセンス数を超えました。 IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

説明: 新しい登録を追加すると、このIBM Spectrum Protect サーバーの製品ライセンス数を超えます。

システムの処置: クライアント登録または接続要求は終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、未使用の登録を削除するか、サーバーに許可されたライセンス数を増やすようお願いしてください。

ANS5094E セッションはリジェクトされました。十分なサーバー・メモリーが使用可能ではありません。

説明: サーバーには、クライアントがサーバーとの接続を確立することを可能とする十分なメモリーがありません。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: 後ほど再試行するか、システム管理者に連絡してください。

ANS5122E 指定されたファイル・スペースはサーバー上に存在しません。 ファイル・スペースは別のクライアントによって、あるいは管理者によって削除されている可能性があります。

説明: 指定されたファイル・スペースはサーバー上に存在しません。 システム管理者が既にファイル・スペースを削除したか、あるいは、ユーザーのクライアント・ノード名を使用して、別のクライアントがそれを削除した可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現在の操作を終了します。

ユーザーの処置: 選択したファイル・スペースは、もはや存在しません。 IBM Spectrum Protect 管理者に連絡

して、そのファイル・スペースが削除された状況を確認してもらってください。

ANS5123S 指定されたノード名はサーバーに既に定義されているため、オープン登録が正常に実行されませんでした。

説明: ノードが同じ名前を持つサーバー上で定義されているため、オープン登録は失敗しました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 他のノード名で再試行します。

ANS5124S デフォルトのドメインがないので、オープン登録が正常に実行されませんでした。

説明: ノードを入れるデフォルト・ポリシー・ドメインが存在しないので、オープン登録が失敗しました。 オープン・ノード登録の完全サポートには、デフォルト・ポリシー・ドメインが必要です。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、ノードの登録を支援してもらってください。

ANS5125S 無効なノード名が指定されたので、オープン登録が正常に実行されませんでした。

説明: 指定ノード名が無効文字を持つため、オープン登録は失敗しました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 無効文字を持たない他のノード名で再試行します。

ANS5126S 重複した名前を持つファイル・スペースはサポートされていません。 重複しているファイル・スペースを取り外してください。

説明: 選択されたファイル・スペースに重複ボリューム・ラベルがあります。 IBM Spectrum Protect はバックアップ/アーカイブ情報の追跡を維持するためにボリューム・ラベルを使用するので、重複ボリューム・ラベルがあるファイル・スペースからファイルのバックアップまたはアーカイブを行うことはできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はボリュームを選択することができません。

ユーザーの処置: ファイル・スペースをシステムで使用するようにする必要がある場合には、IBM Spectrum Protect を終了して、ファイル・スペースにボリューム・ラベルを割り当ててください。プロセスを再始動し、操作を再試行してください。それ以外の場合は、重

複しているファイル・スペースを取り外します。

ANS5127I IBM Spectrum Protect が不完全なセットアップを検出しました。
 クライアント・オプション・ファイル
 'file-path' は存在しますが、システム・オプション・ファイル 'dsm.sys' は見つかりませんでした。
 ウィザードは、初期基本 IBM Spectrum Protect クライアント・オプション・ファイルが現行のオプション・ファイルを置き換える構成プロセス全体をガイドします。
 続行しますか？

説明: IBM Spectrum Protect が不完全なセットアップを検出しました。システム・オプション・ファイル dsm.sys が見つかりませんでした。追加として、ユーザー・オプション・ファイル dsm.opt が見つかりました。構成を完了するために、構成ウィザードが dsm.sys を作成し、dsm.opt を最小限の設定に置き換えます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect が停止する場合があります。

ユーザーの処置: dsm.opt の現行バージョンが必要な場合は、ファイルの名前を変更して IBM Spectrum Protect を再始動します。現行バージョンが不要な場合は、「はい」を選択して IBM Spectrum Protect にファイルの置き換えを許可します。

ANS5128E このファイルの管理クラスには、バックアップ・コピー・グループがありません。

説明: バックアップ操作では、バックアップ・コピー・グループを持っている管理クラスにバインドできるファイルは 1 つだけです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルをバックアップしていません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect システム管理者に連絡して、必要なコピー・グループを持っている管理クラスの検出を支援してもらってください。管理者は、そのような管理クラスを定義することもできます。

ANS5129E このファイルの管理クラスには、指定されたアーカイブ・コピー・グループがありませんでした。

説明: アーカイブ操作では、アーカイブ・コピー・グループを持っている管理クラスにバインドできるファイルは 1 つだけです。

システムの処置: ファイルはアーカイブされませんでした。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect システム管理者に連絡して、必要なコピー・グループを持っている管理クラスの検出を支援してもらってください。管理者は、そのような管理クラスを定義することもできます。

ANS5130W 削除するファイル・スペースを選択していません。

説明: クライアント・ドメインを選択せずに、削除操作が要求されました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はドメインを選択せずに削除を実行することはできません。

ユーザーの処置: 削除しようとするボリュームを選択し、操作を再試行します。

ANS5132I ファイル・スペース削除がユーザーによって取り消されました。

説明: ファイル・スペース削除操作の取り消しが要求されました。

システムの処置: ファイル・スペース削除操作は停止しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5133I ファイル・スペース 'filespace' が削除されました。

説明: 指定された *filespace* が正常に削除されました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect がファイル・スペースを削除しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5134E このノードにはアーカイブ・データやバックアップ・データを削除する許可がないので、このファイル・スペースを削除することができません。

説明: アクセス許可を持たないファイル・スペースの削除が試みられました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル・スペースが指定されたことを確認するか、アクセス権を持つファイル・スペースを指定します。

ANS5135I アーカイブ削除がユーザーによって停止されました。

説明: アーカイブ削除操作の停止が要求されました。

システムの処置: アーカイブ削除が停止しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5138I アーカイブ削除が完了しました。

説明: アーカイブ削除は完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はアーカイブ・ファイルを削除しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5139E ユーザーのノードには、アーカイブ・ファイルを削除する許可がありません。

説明: ご使用のノードは、ARCHDELETE オプションが「NO」という設定でサーバーに登録されています。したがって、ユーザーのノードは、サーバーからアーカイブされたファイルの削除を許可されていません。

システムの処置: アーカイブされたファイルは削除されませんでした。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect システム管理者に連絡してください。管理者はアーカイブ・ファイルを削除する権限を持っていて、ユーザーのノードに権限を付与することもできます。

ANS5145W サーバーが最後のリストア要求を再始動することができません。再始動しないでリストアしますか?

説明: 再スタート・リストア・トークンが有効期限切れになりました。サーバーは最後に終了したところからリストアを再始動することができません。

システムの処置: 処理は停止しました。ユーザーの介入を待ちます。

ユーザーの処置: 再始動しないで要求を再試行するか、あるいは要求を打ち切ります。

ANS5146W 別のノードのデータにアクセス中にこの操作を実行することはできません。自分自身のノードのアクセスにスイッチバックしますか?

説明: 他のユーザーのデータにアクセスしている間は、選択した操作を実行することができません。

システムの処置: 処理は停止しました。ユーザーの介入を待ちます。

ユーザーの処置: 元のノードとしてサーバーにアクセスするようにスイッチバックするには、「はい」と応答してください。

ANS5148W 続行するには、サーバーがアーカイブ・データの変換を一度行う必要があります。この操作には長時間を要し、いったん開始されると取り消すことができません。変換が完了するのを待機しますか?

説明: サーバーは、継続する前にアーカイブ・データの変換を行う必要があります。この変換には長時間を要し、開始した後に取り消すことはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。ユーザーの介入を待ちます。

ユーザーの処置: アーカイブ・データ変換を開始するには、「はい」と応答します。「いいえ」と応答すると、現行操作はキャンセルされます。

ANS5150E 同じソース・ファイル仕様の活動リストアが存在します。この要求を続行することはできません。

説明: 現在、同じソース・ファイル仕様の活動リストアが存在しています。同じソース・ファイル仕様の別のリストアを開始することができません。

システムの処置: 要求されたリストアは失敗します。

ユーザーの処置: 異なるソース・ファイル仕様を指定して別のリストアを開始します。

ANS5151S このノードには現在、保留中の再始動可能リストア・セッションがあります。このセッションが完了またはキャンセルするまで、要求された操作は完了しません。

説明: この操作は、再始動可能リストア・セッションが保留中のため完了できません。再始動可能セッションと現在の操作は同じファイル・スペースに影響するため、この操作は許可されません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現行操作を終了しました。

ユーザーの処置: Query Restore コマンドを発行して、サーバー・データベースの再始動可能リストア・セッションのリストを表示してください。Cancel Restore コマンドを発行して、再始動可能リストア・セッションをキャンセルしてください。

ANS5152S セッションはリジェクトされました: サーバーはこのプラットフォーム・タイプのライセンスを持っていません。IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

説明: サーバー・ライセンスは、それに接続するクライ

ANS5153E • ANS5176W

アントのタイプを制御できます。このサーバーに対するライセンスには、クライアント・タイプの要求は含まれません。

システムの処置: クライアント登録または接続要求は終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、ユーザーのクライアント・タイプを受け入れるようにサーバー・ライセンスをアップグレードしてもらってください。

ANS5153E セッションはリジェクトされました。サーバーは、**Unicode** 使用可能クライアントとしてサインオンできません。

説明: ユニコードはサーバーとクライアント間で不一致をきたすので、クライアントはサーバーとの接続を確立することができません。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: すぐにシステム管理者に連絡してください。

ANS5154I ファイルは暗黙的に除外されます。

説明: 暗黙的に除外されるファイルのバックアップまたはマイグレーションが試みられました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は暗黙的に除外されるファイルをバックアップまたはマイグレーションしません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5155E 有効なパスワードが利用不能です。システムの **IBM Spectrum Protect** 管理者は **IBM Spectrum Protect** を実行し、それをローカルに保管するためのパスワードを入力しなければなりません。

説明: 指定されたサーバーに関するパスワードが保管されているファイルが使用できません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ご使用のシステムのシステム管理者が、新規パスワードを設定し、保管する必要があります。

ANS5158S ファイル・スペース削除が進行中です。後でやり直してください。

説明: ファイル・スペースは削除処理中です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することはできません。

ユーザーの処置: 後で操作を再試行してください。ファイル・スペースの削除には完了するまでに少し時間がかかることがあります。問題が解決されない場合は、システム管理者に問題を報告してください。

ANS5164E ボリューム・ラベルが重複したドライブのバックアップ/アーカイブは許可されません。

説明: 重複ボリューム・ラベルを持つドライブのバックアップまたはアーカイブが試行されました。IBM Spectrum Protect はボリューム・ラベルを使用してバックアップまたはアーカイブ情報を追跡するので、ボリューム・ラベルが重複しているドライブからファイルをバックアップあるいはアーカイブすることはできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、バックアップまたはアーカイブ操作のドライブを選択できません。

ユーザーの処置: このボリュームをシステムで使用できるようにする必要がある場合には、IBM Spectrum Protect を終了して、ドライブに固有のボリューム・ラベルを割り当ててください。IBM Spectrum Protect を再始動して操作をやり直してください。

ANS5165E ドライブにボリューム・ラベルがありません。バックアップ/アーカイブは許可されていません。

説明: ボリューム・ラベルのないドライブをバックアップまたはアーカイブしようとしてしました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は選択されたドライブを受け入れませんでした。

ユーザーの処置: ドライブがフロッピー・ドライブである場合、ボリューム・ラベルの付いたディスクをそこにに入れて、操作を再試行してください。ディスクがハード・ディスクである場合、ドライブにボリューム・ラベルがあることを確認して、操作を再試行してください。

ANS5176W 要求された仮想マシン操作は、その仮想マシンのバックアップ操作またはリストア操作が既に進行中であるため、実行することができません。最初の操作が完了した後でこの操作を再試行してください。

説明: 仮想マシン操作が既に進行中であるため、要求された仮想マシン操作は進行中の操作が完了するまで実行することができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 進行中の仮想マシン操作が完了するの

を待ってから、現行の要求を再度開始してください。

ANS5177E クライアント・サイドの重複排除とサーバー開始セッションは同時には使用できません。

説明: 競合するオプション SESSIONINIT=serveronly と DEDUPLICATION=yes が指定されました。この組み合わせは許可されていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クライアント開始セッションを使用するか、クライアント・サイドの重複排除を使用不可に設定してください。

ANS5178E RSM サービスの再始動は失敗しました。
RSM サービスを手操作で再始動してください。

説明: RSM データベース・ファイルは IBM Spectrum Protect サーバーからリストアされ、インポートされています。クライアントはユーザーに代わって RSM サービスの再始動を試行しましたが、問題が発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: RSM サービスを手操作で再始動してください。

ANS5179E クライアントは続行できません。 プログラムは終了します。

説明: クライアントに問題が発生したため、続行できません。通常このエラー・メッセージは、他のメッセージの後に表示されます。それらのエラーを解決し、再試行してください。

システムの処置: プログラムは終了します。

ユーザーの処置: このメッセージの前に発生した問題を訂正してから、クライアントを再始動してください。

ANS5181E 選択は無効。特定のバックアップ・セットを選択する必要があります。

説明: 複数のバックアップ・セットを同時にリストアしようとする選択が行われましたが、複数のバックアップ・セットを同時にリストアすることは、サポートされていません。

システムの処置: バックアップ・セットのリストアは行われませんでした。

ユーザーの処置: リストアする特定のバックアップ・セットを選択してください。

ANS5182E 複数のバックアップ・セットを同時にリストアすることはできません。

説明: 複数のバックアップ・セットをリストアする選択が行われましたが、複数のバックアップ・セットを同時にリストアすることは、サポートされていません。

システムの処置: バックアップ・セットのリストアは行われませんでした。

ユーザーの処置: リストアする特定のバックアップ・セットを選択してください。

ANS5183W 別々のタイプのオブジェクトを同時にリストアすることはできません。

説明: 別々のタイプのオブジェクトをリストアすることは許可されていません。例えば、バックアップ・セットと正規のファイルのオブジェクトを同時にリストアすることはできません。

システムの処置: 処理は行われません。

ユーザーの処置: リストア操作を行うには、同じタイプのオブジェクトを選択してください。

ANS5184E オブジェクト *object* に対する正しくない操作です。

説明: 要求された操作がこのオブジェクトに対して実行できません。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: このオブジェクトに対して別の操作を試みるか、別のオブジェクトに対してこれと同じ操作を試みてください。

ANS5186E サーバーは下位レベルです。このセッションではシステム・サービスおよびシステム状態バックアップを使用できません。

説明: サーバー・バージョンが下位レベルなので、操作は行えません。

システムの処置: このセッションではシステム・サービスおよびシステム状態バックアップを使用できません。

ユーザーの処置: レベル 5.2.0 以降のサーバーを使用してください。

ANS5187E ファイル '*pathname*' の **SHAREAS** 拡張属性を設定できません。
戻りコード: '*returncode*' '*strerror*'
理由コード: '*reasoncode*'

ANS5188E • ANS5201E

説明: ファイル所有者であるかまたはスーパーユーザー権限を持っていないければなりません。

システムの処置: 属性を設定しないでファイルを処理しました。

ユーザーの処置: 属性を手動で設定する必要があります。

ANS5188E 「定期的フルバックアップ」および「増分 **VM** バックアップ」は非推奨になりました。「増分バックアップ (常時) - フル」、または「増分バックアップ (常時) - 増分」を使用して仮想マシンのバックアップを実行してください。

説明: 「定期的フルバックアップ」および「増分仮想マシン・バックアップ」は非推奨になりました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 仮想マシン・バックアップを再開して、代わりとしてバックアップ・モードに「増分バックアップ (常時) - フル」、または「増分バックアップ (常時) - 増分」を使用してください。

ANS5189E オンラインの **SystemState** リストアは推奨されていません。**Systemstate** リストアを実行するには、オフライン **WinPE** メソッドを使用してください。

説明: オンラインの **SystemState** リストアは推奨されていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: オフラインの **WinPE** メソッドを使用して、**Systemstate** リストアを実行します。

ANS5191E **NT Active Directory** がオンラインではありません。オフライン・バックアップは、サポートされていません。

説明: **NT Active Directory** は、バックアップ操作を実行するときにオンラインになっていません。オフライン・バックアップは、サポートされていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コンピューターをリブートし、**Active Directory** をオンにして、操作を再度試行してください。

ANS5192E **NT Active Directory** がオンラインです。オンライン・リストアは、サポートされていません。

説明: リストア操作を行うとき、**NT Active Directory**

がオンラインになっています。オンライン・リストアは、サポートされていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コンピューターをリブートし、**Active Directory** を修理モードにして、操作を再度試行してください。

ANS5193E 「証明書サービス」がオンラインではありません。オフライン・バックアップは、サポートされていません。

説明: バックアップ操作を行うときに、「証明書サービス」がオンラインになっていません。オフライン・バックアップは、サポートされていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 「証明書サービス」を開始して、操作を再度試みてください。

ANS5194E 「証明書サービス」がオンラインです。オンライン・リストアは、サポートされていません。

説明: リストア操作を行うときに、「証明書サービス」がオンラインになっています。オンライン・リストアは、サポートされていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 「証明書サービス」を停止して、操作を再度試みてください。

ANS5196W 無効な暗号鍵のパスワードの入力

説明: 提供された暗号鍵パスワードは **IBM Spectrum Protect** の要件に適合しません。この鍵は最大長さが 63 バイトで次の文字を使用できます。A-Z A から Z までの文字 (大文字または小文字) 0-9 0 から 9 までの数字 + プラス . ピリオド _ 下線 - ハイフン & アンパーサンド

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** は再試行を許します。

ユーザーの処置: 正しい暗号鍵パスワードを入力してください。

ANS5201E 指定された機能は、インプリメントされていません。

説明: 指定された機能は、インプリメントされていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: コマンドを訂正し、操作を再試行してください。

ANS5202I 1 つ以上のシステム・オブジェクトが包含/除外リストの項目によって処理から除外されました。

説明: 1 つ以上のシステム・オブジェクトが包含/除外リストの項目によって処理から除外され、クライアントによって処理されませんでした。

システムの処置: 除外されたオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5204W リストア用に選択できるバックアップ・セットは 1 つだけです。

説明: 複数のバックアップ・セットのリストアは許可されていません。1 つのバックアップ・セットのみを選択してリストアすることができます。

システムの処置: 処理は行われません。

ユーザーの処置: リストア用に選択できるバックアップ・セットは 1 つだけです。

ANS5208E 無効な日付または時刻が入力されました。

説明: 無効な日付値または時刻値が入力されました。値の構文が正しくないか、あるいは実際の値 (例えば、月について「45」) が無効であったかのいずれかです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 無効な日付値または時刻値の識別および訂正を行います。日付に関する正しい構文については、該当するプラットフォームの「使用者の手引き」を参照してください。

ANS5209E **System Volume** のバックアップが失敗しました。

説明: Windows 2000 System Volume のファイルのバックアップ中に、IBM Spectrum Protect でエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: Windows 2000 File Replication Service Event ログを検査して、システム・ボリュームが正しく初期化されていることを確認します。サービスを再始動し、バックアップ操作を再度試みてください。

ANS5210E **System Volume** のリストアが失敗しました。

説明: Windows 2000 System Volume の制御下にあるファイルのリストア中に、IBM Spectrum Protect でエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: Windows 2000 File Replication Service Event ログを検査して、システム・ボリュームが正しく初期化されていることを確認します。サービスを再始動し、リストア操作を再度試みてください。

ANS5211E クラスタ・サービスがオフラインです。信頼性の高いクラスタ・データベースのリストア操作を行うには、クラスタ・サービスをオンラインにする必要があります。

説明: クラスタ・データベースをリストアするためには、クラスタ・サービスをオンラインにする必要があります。IBM Spectrum Protect は、サービスを開始しようとして失敗しました。信頼性の高いリストアを実行できない可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: クラスタ・サービスを開始して、操作を再試行してください。

ANS5212E ファイル・スペースの名前を変更しようとしてエラーが発生しました。

説明: ファイル・スペースの名前は変更されないため、この操作は完了しません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現行操作を終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

ANS5215E *function-type* は、オブジェクト '*object*' では使用できません。オブジェクトはサーバーに送信されません。

説明: 操作はこのオブジェクトには実行できませんでした。例えば、イメージ操作の場合、選択されたパスがファイルまたはディレクトリーであって、したがってイメージ操作の有効なオブジェクトではないという場合があります。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: 指定されたオブジェクトがコマンドに

よってサポートされるタイプのものであることを確認してください。例えば、ファイル・スペース名が必要であるのにディレクトリー名を指定した場合は、名前を変更して、ファイル・スペース名のみが含まれるようにします。

ANS5216E アドレス「*tcp-addr:tcp-port*」との **TCP/IP** 接続を確立できませんでした。**TCP/IP** エラーは '*tcp-err-string*' (**errno** = *errno*) です。

説明: サーバーまたはエージェント・プログラムとの間で **TCP/IP** 接続を確立しようと試みましたが、失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ターゲット **TCP/IP** アドレスおよびポート番号が正しいことを確認してください。 **IBM Spectrum Protect** サーバーまたはエージェントがターゲット **TCP/IP** アドレスで開始されていて、メッセージにリストされているポートで **listen** するよう構成されていることを確認してください。

ANS5217E ユーザーのノードにはバックアップ・ファイルを削除する許可がありません。

説明: **IBM Spectrum Protect** 管理者が、ご使用のノードに対して許可を与えない限り、バックアップ・ファイルを削除できません。

システムの処置: **IBM Spectrum Protect** はバックアップ・ファイルを削除しません。

ユーザーの処置: 自分の許可を確認するには、**DSMC QUERY SESSION** コマンドを使用してください。 **IBM Spectrum Protect** 管理者に、必要な許可を与えてもらってください。

ANS5219W 別々のグループのオブジェクトを同時にリストアすることはできません。

説明: 別々のグループのオブジェクトをリストアすることは許可されていません。

システムの処置: 処理は行われません。

ユーザーの処置: リストア操作を行うには、同じグループのオブジェクトを選択してください。

ANS5222E アーカイブ記述が **254** 文字を超えています。

説明: **IBM Spectrum Protect** は、アーカイブ記述に **254** 文字という最大長を設定しています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: より短い有効なアーカイブ記述を指定して、コマンドを再発行してください。

ANS5224W リストア済みスナップショットに戻るときにエラー *error code* が検出されました。

説明: 仮想マシンのディスクがリストアされた後、仮想マシンはリストアされた状態に復帰します。この復帰操作の実行中に、指定されたエラーが検出されました。

システムの処置: 処理を続行します

ユーザーの処置: リストア済み仮想マシンの電源をオンにしてください。仮想マシンが始動しない場合は、リストア処理を再試行します。

ANS5225W リストア済みスナップショットの除去中にエラー *error code* が検出されました。

説明: 仮想マシンのディスクがリストアされた後、仮想マシンはリストアされた状態に復帰し、スナップショットは除去されます。スナップショットの除去中に、指定されたエラーが検出されました。

システムの処置: 処理を続行します

ユーザーの処置: リストア済み仮想マシンの電源をオンにしてください。仮想マシンが始動しない場合は、リストア処理を再試行します。

ANS5226E 仮想マシンのバックアップ操作が失敗しました。

説明: 仮想マシンのバックアップ操作が失敗しました。操作が失敗した原因の詳細についてエラー・ログを確認してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 問題について詳しくは、コンソール出力およびエラー・ログを検討してください。問題があれば修正し、操作を再開してください。

ANS5227E **IBM Spectrum Protect** はスナップショット名とスナップショットを作成する要求が同時に指定されているエラーを検出しました。

説明: スナップショット名を指定するか、**IBM Spectrum Protect** にスナップショットを作成する要求を指定するかのどちらか一方 (両方ではない) を行う必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: これは内部エラーであり、お客様のサービス担当員に報告する必要があります。

ANS5228E VMMAxPARALLEL が 1 に下げられ、クライアントがまだサーバー・マウント・ポイントを取得できないため、VM のバックアップ操作は失敗しました。

説明: 並列バックアップ操作中に、バックアップを並列で実行するために、並列バックアップ・セッションで追加のサーバー・マウント・ポイントが必要になりました。クライアントは追加のマウント・ポイントを取得しようとしたが、クライアント要求は、ノードに定義されているマウント・ポイント数 (MAXNUMMP) を超えていました。バックアップを実行するために、クライアントは VMMAxPARALLEL オプションを 1 に減らしましたが、それでもマウント・ポイントを取得できませんでした。バックアップ操作は停止されました。

システムの処置: バックアップ操作は停止されました。

ユーザーの処置: 追加情報についてはコンソールまたはスケジュール・ログを調べてください。後に操作を再試行します。VMMAxPARALLEL が MAXNUMMP より小か等しい値に設定されていることを確認してください。

ANS5229E スナップショットは、バックアップ「*backup-name*」のためにすでにマウントされています。

説明: 現在、スナップショットは、ローカル・マシンまたはリモート・マシンにマウントされています。スナップショットにおけるマウント操作は、このスナップショットがアンマウントされるまで許可されません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳しくは、dsmerror.log ファイルを参照してください。

ANS5230E スナップショットは、バックアップ「*backup-name*」のため、ローカル・システムにすでにインポートされています。

説明: 現在、スナップショットはローカル・マシンにインポートされています。これは、スナップショットが使用中であるか、「必要な時点でのみ VSS スナップショットをインポート」機能が有効な状態で作成されなかったため、と考えられます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: リモート・マウント操作は、現在インポートされているスナップショットでは許可されていません。

ANS5231E VMware vSphere API によって報告された VMDK サイズが、vmdk ファイルの実際のサイズと異なります。testflag -VMRESTORE_INCVMDKSIZE を指定して restore コマンドを再発行してください。

説明: 仮想マシン構成の VMware vSphere API によって報告された VMDK サイズが、vmdk ファイルの実際のサイズと異なります。これは、バックアップの前に vmdk ファイルでストレージ位置合わせツールを実行した結果の可能性があります。

システムの処置: リストア処理は停止します。

ユーザーの処置: testflag -VMRESTORE_INCVMDKSIZE を指定して restore コマンドを再発行してください。

ANS5232I 仮想マシンのバックアップ操作がスキップされました。

説明: 仮想マシンのバックアップ操作がスキップされました。操作がスキップされた理由について詳しくは、エラー・ログを確認してください。

システムの処置: 仮想マシンの処理はスキップされます。

ユーザーの処置: 詳細については、コンソールの出力とエラー・ログを確認してください。

ANS5233E 指定されたバックアップにディレクトリーが見つかりません。最上位のディレクトリーが表示されます。

説明: 指定されたディレクトリー・パスが無効であるか、または到達できません。

システムの処置: 代わりに、最上位ディレクトリーが表示されます。

ユーザーの処置: 有効なディレクトリーを選択し、バックアップを再度変更してください。

ANS5234E システムが仮想マシンに接続できないか、マシンの電源がオフになっています。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

説明: 仮想マシンの電源がオフになっているか、Windows ドメイン管理者資格情報が正しくありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 仮想マシンの電源がオンになっていることを確認してください。dsmc SET PASSWORD

-type=DOMAIN 'domain¥userid' 'password' を使用して、Windows ドメイン資格情報を更新します。その後、操作を再試行してください。

ANS5235E 仮想マシンに到達できないか、ファイアウォールがマシンとの接続をブロックしています。

説明: ファイル・リストア・インターフェースが仮想マシンに到達できないか、ファイアウォールが接続をブロックしています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 仮想マシンの電源がオンになっていることを確認してください。仮想マシンの電源がオンである場合は、ファイアウォールのルールを調べて、正しいポートが開かれていることを確認してください。また、仮想マシンのホスト名および TCP/IP アドレスが DNS サーバーで解決し、ネットワークの問題がないことも確認してください。

ANS5236E 宛先フォルダーにファイルをリストアする権限がありません。

説明: ユーザーには、選択された宛先にファイルをリストアする権限がありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 選択されたロケーションにファイルをリストアする適切な権限がユーザーにあることを確認してください。

ANS5237E ファイル・リストアが正しくセットアップされていないか、仮想マシンに到達できません。管理者に連絡して支援を受けてください。

説明: 以下のいずれかの理由から、ユーザーはファイル・リストア・インターフェースにログインできません。

- Windows ドメイン資格情報に正しい権限が設定されていないため、ファイル・リストアの構成が誤っています。
- 仮想マシンは、電源がオフにされているか、ファイアウォールによって接続がブロック化されています。
- ネットワークに問題があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 管理者は、以下のアクションを実行して問題を修正できます。

- 構成ノートブックで提供されている Windows ドメイン資格情報に、仮想マシンに接続するための正しい権限が設定されていることを確認します。
- 仮想マシンの電源がオンになっていること、およびマウント・プロキシー・マシンからの接続を許可するためにファイアウォールが更新されていることを確認します。
- マウント・プロキシーを手動で仮想マシンに接続できることを確認して、ネットワーキングの問題がないことを確認します。

ANS5245W TCPWINDOWSIZE *optionCur* が指定されていますが、IBM Spectrum Protect で許容される最大値を超えています。代わりに、TCPWINDOWSIZE *optionNew* が使用されます。

説明: TCPWINDOWSIZE オプションについて詳しくは、製品資料を参照してください。

システムの処置: 操作は、IBM Spectrum Protect で許容される最大値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: TCP ウィンドウ・サイズを許容範囲内の値に設定してください。

ANS5246W TCPWINDOWSIZE *optionCur* が指定されていますが、オペレーティング・システムで許容される最大値を超えています。代わりに、TCPWINDOWSIZE *optionNew* が使用されます。

説明: 指定された値は IBM Spectrum Protect の許容範囲内ですが、オペレーティング・システムではさらに小さい値に制限されています。

システムの処置: 操作は、オペレーティング・システムで許容される最大値を使用して続行されます。

ユーザーの処置: TCP ウィンドウ・サイズをオペレーティング・システムで許容される値に設定してください。

ANS5247E ファイル・リストアの構成は完了していません。管理者に連絡して支援を受けてください。

説明: Windows ドメイン資格情報が欠落しているため、ユーザーは、ファイル・リストア・インターフェースにログインできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 管理者は、Data Protection for VMware vSphere GUI の構成ノートブックの「ファイ

ル・リストア」ページで Windows ドメイン資格情報を提供する必要があります。

ANS5249E 仮想マシンのリストア操作が失敗しました。

説明: 仮想マシンのリストア操作が失敗しました。操作が失敗した原因の詳細についてエラー・ログを確認してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 問題について詳しくは、コンソール出力およびエラー・ログを検討してください。問題があれば修正し、操作を再開してください。

ANS5250E 予期しないエラーが見つかりました。

IBM Spectrum Protect 機能名 :
function-name

IBM Spectrum Protect 機能 :
function-desc

IBM Spectrum Protect 戻りコード :
TSM-rc

IBM Spectrum Protect ファイル :
file-name (line-number)

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS5251E この操作にはスナップショット・プロバイダーを選択できません。

説明: スナップショット・プロバイダーを選択できないため、IBM Spectrum Protect はスナップショットを取得できませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: Microsoft Volume Shadow Copy Service を使用する操作を行おうとしている場合は、Volume Shadow Copy Service がシステムにインストールされていること、および IBM Spectrum Protect スナップショット・プラグイン "pivss.dll" が存在することを確認してください。

ANS5252E **IBM Spectrum Protect** は、システム・コマンドを実行しようとして失敗しました。

コマンド : *command*

rc : *rc*

説明: IBM Spectrum Protect はスナップショット操作

と組み合わせてシステム・コマンドを実行する必要がありました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS5253W システムは **Volume Shadow Copy Services** ステージング・ディレクトリー '*dir*' を作成できませんでした。

説明: システムは Volume Shadow Copy Services ステージング領域のユーザー指定位置を作成できませんでした。代わりに、システム・ドライブ上のデフォルト・ステージング領域が使用されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: Volume Shadow Copy Services 操作のステージング領域を指定するオプションを確認して、有効な位置を指定してください。

ANS5254E **Volume Shadow Copy Services** スナップショット・プラグイン '*pivss.dll*' が見つかりませんでした。

説明: システムはどのプラグイン位置にも VSS スナップショット・プラグイン '*pivss.dll*' を見つけることができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect インストール済み環境を調べて、プラグインが正しくインストールされていることを確認してください。

ANS5255E ローカル・ファイル '*local-file*' をリモート位置 '*remote-file*' にコピーできません。

説明: リモート・システムにファイルを転送しようとして失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: リモート・システム上のディレクトリー・パスが存在すること、および IBM Spectrum Protect アプリケーションが該当位置に書き込む適正な権限を持っていることを確認してください。

ANS5257E ボリューム '*volume*' は要求された **VSS** 操作をサポートしません。

説明: ボリュームは要求された VSS 操作をサポートしません。このエラーの原因については次の状態が考えられます。

- オフロード・バックアップ要求の場合、ハードウェア・プロバイダーが見つからない。

- オフロード・バックアップ要求の場合、プロバイダーが移送可能なメディアをサポートしていない。
- ローカル・バックアップ要求の場合、プロバイダーが持続スナップショットをサポートしていない。
- クラスタ共有ボリューム・ファイル・システムを持つボリューム上にある Hyper-V 仮想マシンのバックアップ要求で、VSSUSESYSTEMPROVIDER オプションが YES に設定されている場合

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップを再試行して、サポートされているバックアップの宛先を使用してください。

Hyper-V VM をバックアップしており、VSSUSESYSTEMPROVIDER オプションが YES に設定されている場合は、VSSUSESYSTEMPROVIDER オプションを NO に設定して、操作を再試行してください。

ANS5258E Microsoft Volume Shadow Copy スナップショットの初期化は失敗しました。

説明: バックアップ用またはリストア用に Microsoft Volume Shadow Copy Service を初期化中に IBM Spectrum Protect でエラーが発生しました。IBM Spectrum Protect エラー・ログと Windows イベント・ログに、このエラーに関する追加情報が含まれている場合があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect の操作は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。エラーが解決しない場合には、IBM Spectrum Protect エラー・ログと Windows イベント・ログにこのエラーに関連した情報がないかを確認してください。Windows コマンドの VSSADMIN LIST WRITERS を使用して、Volume Shadow Copy Service の状況を判断します。マシンをリブートして、Volume Shadow Copy のエラー状態をクリアします。このシステムがドメイン・コントローラーで、活動ディレクトリー・サービスが停止されている場合、活動ディレクトリー・サービスを再始動します。

ANS5259W 'volume' に使用される読み取り/書き込みアクセス用のボリューム 'volume' の更新が失敗しました。

説明: 読み取り/書き込みアクセス用のボリュームを変更するには、そのボリュームに対する排他的アクセスが必要です。何らかのアプリケーションがボリュームをオープンしている場合、この操作は失敗します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ボリュームを使用しているアプリケーションをすべてクローズし、オペレーティング・システム

ムのインターフェースを使用して、失敗したボリュームを読み取り/書き込みアクセス用にマウントしてください。

ANS5260W リストア・オブジェクト 'volume' のボリュームは、既に異なるスナップショット・ボリュームからのリストア用に選択されているソース 'volume' ボリュームまたはターゲット 'volume' ボリュームです。このオブジェクトはファイル・レベルのコピーを使用してリストアされることとなります。

説明: スナップショット・リストア用に複数のオブジェクトが選択されていて、ボリューム上にデータのオーバーラップがあり、しかも複数の異なるバックアップ・バージョンからのリストアが選択されている場合に、このエラーが起こることがあります。スナップショット・リストアは 1 つのローカル・バックアップからのみ実行することができます。

システムの処置: メッセージに示されているリストア・オブジェクトは、スナップショット・リストアが完了した後でファイル・レベルのコピーを使用してリストアされます。

ユーザーの処置: スナップショットを使用して上記のオブジェクトをより高速にリストアするためには、別個に再試行してください。

ANS5261W スナップショット作成の試みが失敗しました。

number 秒以内に、同じスナップショットの作成が再試行されます。

説明: スナップショットを作成しようとしたましたが、再試行可能なエラーが発生して失敗しました。プログラムはしばらく待ってから、操作を再試行します。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect エラー・ログで追加情報を確認してください。

ANS5262I スナップショット・リストアは、スナップショット・ボリュームからのファイル・レベルのコピーにフェイルオーバーします。

説明: この時点では、エラーのためスナップショット・リストアが不可能です。IBM Spectrum Protect は他のリストア方式に自動的にフェイルオーバーして、リストア操作を完了します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: エラー・ログで、このメッセージの前

に出されたメッセージにある詳しい情報を調べて、エラー条件を確認してください。

ANS5263E 'snapshot provider' のスナップショット・モジュールが、エラー 'error msg' で失敗しました。

説明: 上記のスナップショット・プロバイダーのスナップショット・モジュールは、操作の実行に失敗し、上記のエラーと共に戻されました。

システムの処置: 可能な場合には、リストアは代替リストア方式「スナップショット・ボリュームからのファイル・レベルのコピー」に自動的にフェイルオーバーします。可能でない場合は、処理は停止します。

ユーザーの処置: エラー・ログで、このメッセージの前に出されたメッセージにある詳しい情報を調べてください。スナップショット・プロバイダーのインターフェースを使用して、問題を識別し、訂正してください。

ANS5264W 'snapshot provider' スナップショット・プロバイダー用のスナップショット・プラグインが見つかりません。

説明: スナップショット・リストアには、上記のスナップショット・プロバイダー・タイプ用のプラグインが必要です。このプラグインは IBM Spectrum Protect ディレクトリーの下にインストールされている必要があります。

システムの処置: リストアは代替リストア方式「スナップショット・ボリュームからのファイル・レベルのコピー」にフェイルオーバーします。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して必要なプラグイン・モジュールを入手し、インストールしてください。

ANS5265W スナップショット・リストアは既に 'snapshot provider' プロバイダー・モジュールを使用して初期設定されています。 'object name' のリストアと同時に snapshot provider' プロバイダー用の別のモジュールをロードすることはできません。

説明: このエラーは、複数の異なるスナップショット・プロバイダーを使用して作成された複数のローカル・バックアップ・オブジェクトをリストアする場合に発生します。スナップショット・リストアは 1 つのスナップショット・インターフェースのみを使用して実行できません。

システムの処置: リストアは、スナップショット・ボリュームからのファイル・レベルのコピー・リストアにフェイルオーバーします。

ユーザーの処置: メッセージに示されたオブジェクトにスナップショット・リストアを行うことが望ましい場合は、別のコマンドを使用してリストアしてください。

ANS5266E 'object name' のファイル・レベル・コピーによるリストアが失敗しました。

説明: ローカル・バックアップから宛先ヘデータ・ファイルをコピーできなかったため、リストアが失敗しました。

システムの処置: リストア用に複数のオブジェクトが選択されている場合は、別のオブジェクトで処理が続行されます。

ユーザーの処置: エラー・ログで、このメッセージの前に出されたメッセージにある詳しい情報を調べてください。

ANS5267E ディスク・マッパー・モジュールが操作に失敗しました。

説明: システム・エラーのため、IBM Spectrum Protect の基本操作の実行に失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: エラー・ログで、このメッセージの前に出されたメッセージにある詳しい情報を調べて、失敗の原因を確認してください。詳細については IBM Spectrum Protect 管理者に問い合わせてください。

ANS5268W Microsoft Volume Shadow Copy Services ライター 'name' の現在の状態 (state) が、現行操作では無効です。

説明: ありません。

システムの処置: システムは 30 秒後に自動的に操作を再試行し (最大 3 回)、ライターが適正な状態に戻るようになります。3 回試行してもライターが正しい状態に戻らない場合は、操作は失敗します。

ユーザーの処置: 現在の操作と同時に実行されている他の Volume Shadow Copy Services 操作があるかどうか調べてください。

ANS5269E Microsoft Volume Shadow Copy Services ライター 'name' の現在の状態 (state) が、現行操作では無効であるか、またはその状態を判別できません。最後に報告されたエラーは 'error' です。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Microsoft イベント・ログで、ライタ

ーに問題があるかどうか調べてください。

ANS5270E タイム・スタンプ 'time1' の VSS リストア要求は、タイム・スタンプ 'time2' のリストア要求と矛盾します。

説明: 複数のコンポーネントのリストアが必要な VSS リストア要求が出されましたが、それらのコンポーネントは、バックアップ・タイム・スタンプの異なる複数の VSS バックアップ文書内に存在します。例えば、あるユーザーが月曜日に Exchange ストレージ・グループ STG1 をバックアップし、火曜日に Exchange ストレージ・グループ STG2 をバックアップしたとします。水曜日に、そのユーザーが STG1 と STG2 を同時にリストアしようとする、上記のエラーになります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: コンポーネントごとに別々の要求として、リストアを再サブミットしてください。例えば、Exchange ストレージ・グループ STG1 と STG2 をリストアしようとしてこのエラーを受け取った場合、ストレージ・グループ STG1 のリストア要求とストレージ・グループ STG2 のリストア要求を別々に再サブミットしてください。

ANS5271E スナップショットの初期化前に、**Microsoft Volume Shadow Copy Services** 書き込みプログラムが無効な状態でした。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect エラー・ログで追加情報を調べてください。

VSS 書き込みプログラムのいずれかが無効な状態または予期せぬ状態になっています。「vssadmin list writers」コマンドを実行して、VSS 書き込みプログラムの状態を検査してください。書き込みプログラムが STABLE (安定) 状態になってからでないと、IBM Spectrum Protect では VSS 操作を続行できません。一部の書き込みプログラムは、マイナー・エラーから自動的に復旧できます。多くの場合は書き込みプログラムを再始動することで問題が解決します。書き込みプログラムを再始動する最も簡単な方法は、オペレーティング・システムの再始動です。VSS 書き込みプログラムを実装している特定のサービスを再始動することも可能ですが、どのサービスを再始動すればよいか判別することは困難です。

ANS5272E スナップショットを初期化した後の **Microsoft Volume Shadow Copy Services** ライターの状態が無効です。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを参照してください。

ANS5273E スナップショットを取った後の **Microsoft Volume Shadow Copy Services** ライターの状態が無効です。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを参照してください。

ANS5274E バックアップが完了した後の **Microsoft Volume Shadow Copy Services** ライターの状態が無効です。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを参照してください。

ANS5275E リストアを初期化する前の **Microsoft Volume Shadow Copy Services** ライターの状態が無効です。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを参照してください。

ANS5276E リストア操作を準備した後の **Microsoft Volume Shadow Copy Services** ライターの状態が無効です。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを参照してください。

ANS5277E リストアが終了した後の **Microsoft Volume Shadow Copy Services** ライターの状態が無効です。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを参照してください。

ANS5279E '*filename*' を処理中にエラー: ファイルが見つかりません。

説明: バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションのために処理されているファイルは、クライアント上にもう存在していません。IBM Spectrum Protect によるバックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションが行われる前に、他の処理がファイルを削除しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5280E ファイル・セットまたはファイル・リストからのオブジェクトの列挙が失敗しました。

説明: 詳細については、IBM Spectrum Protect クライアントのエラー・ログを参照してください。このメッセージは、オブジェクトが見つからなかった場合はエラー・ログ・メッセージ ANS5279E を常に伴い、アクセスが拒否されたなどの他の原因の場合は ANS5250E を伴います。これらのメッセージには、問題のオブジェクトが示されます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログ内の他のメッセージに基づくユーザー応答を参照してください。

ANS5281E リモート・バックアップが失敗しました。
 リモート・ノード名: *node*
 リモート・アドレス: *address*
 マルチノード名: *multi-node*
 エラー・メッセージ: *msg* 戻りコード: *rc*

説明: 詳細については、リモート・システムの IBM Spectrum Protect クライアント・エラー・ログを参照してください。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログ内の他のメッセージに基づくユーザー応答を参照してください。

ANS5282E リモート・バックアップが失敗しました。

説明: 詳細については、IBM Spectrum Protect クライアント・エラー・ログを参照してください。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログ内の他のメッセージに基づくユーザー応答を参照してください。

ANS5283E 操作が正常に実行されませんでした。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログ内の他のメッセージに基づくユーザー応答を参照してください。

ANS5284I **IBM Spectrum Protect** が不完全なセットアップを検出しました。
 システム・オプション・ファイル '*file-path*' は存在しますが、クライアント・オプション・ファイル '**dsm.opt**' は見つかりませんでした。
 ウィザードは、初期基本 **IBM Spectrum Protect** クライアント・オプション・ファイルが現行のオプション・ファイルを置き換える構成プロセス全体をガイドします。
 続行しますか?

説明: IBM Spectrum Protect が不完全なセットアップを検出しました。ユーザー・オプション・ファイル **dsm.opt** が見つかりませんでした。追加として、システム・オプション・ファイル **dsm.sys** が見つかりました。構成を完了するために、構成ウィザードが **dsm.opt** を作成し、**dsm.sys** を最小限の設定に置き換えます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect が停止する場合があります。

ユーザーの処置: **dsm.sys** の現行バージョンが必要な場合は、ファイルの名前を変更して IBM Spectrum Protect を再始動します。現行バージョンが不要な場合は、「はい」を選択して IBM Spectrum Protect にファイルの置き換えを許可します。

ANS5285E **Microsoft の Volume Shadow Copy Services (VSS)** のバックアップ XML 文書は、リストアには無効です。詳細については、クライアントのエラー・ログを参照してください。

説明: Microsoft は、以下のオペレーティング・システムのバージョンで Volume Shadow Copy Services (VSS) の更新をリリースしました。

- Windows 2003 更新のロールアップ・パッケージ KB940349
- Windows Vista Service Pack 1

この新しい VSS 修正パッケージが原因で、VSS は、以前のバージョンの VSS とは互換性のないフォーマットで .xml 制御ファイルを生成するようになりました。このエラーが発生する可能性があるのは、システム状態のリストアが、VSS フィックスの適用されていない基本オペレーティング・システム・レベルから実行されていて、さらにそのシステム状態のバックアップ・ファイルが、VSS フィックスの適用されたオペレーティング・システム・レベルによって作成されたものである場合です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Windows のシステム状態用のリストア・プロシージャを実行するには、リストアの開始に使用されるオペレーティング・システム・バージョンおよび Service Pack のレベルが、システム状態のバックアップ作成に使用されたオペレーティング・システムおよび Service Pack のレベルと同じである必要があります。さらに、以下のことにも注意してください。

- Windows 2003 システムでは、システム状態のリストアを行う前に、VSS ロールアップ・パッケージ KB940349 も適用する必要があります。
- Windows Vista では、システム状態のリストアを行う前に、バックアップ時にインストールされていたのと同じ Service Pack を適用する必要があります。

ANS5286I VSS 瞬時リストア操作は成功しましたが、既存の VSS スナップショットのいくつかは VSS プロバイダーによって削除されました。

説明: VSS インスタント・リストア操作は従属関係にあったスナップショット・ボリュームに対して正常に実行されました。リストア・プロセスが成功するためには、依存関係の原因となっているスナップショット・ボリュームを除去する必要があります。そのようなスナップショット・ボリュームは、通常はより新しいスナップショット・バックアップになっています。このことが、IBM Spectrum Protect を介して、削除済みのスナップショットを組み込んだバックアップを強制的に除去するようにしていました。この状態は、通常、複数のスナップショットがある SAN ボリューム・コントローラー (SVC) のスペース効率の高いボリュームを使用する場合に発生します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5287W VSS リストア操作は VSS 高速リストアを使用して実行されます。これは、XIV VSS Hardware Provider がレベル 2.2.2 にあるためです。

説明: XIV VSS Hardware Provider 2.2.2 には、VSS インスタント・リストアに関して問題があります。XIV VSS Hardware Provider をバージョン 2.2.3 またはそれ以降に更新してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: XIV VSS Hardware Provider をバージョン 2.2.3 またはそれ以降に更新してください。

ANS5288W テスト・フラグ DISCARDZEROFILEDATA が有効にされています。長さがゼロのオブジェクト *file-name* のデータを破棄しています。

説明: 長さがゼロのファイルまたはディレクトリーのリストア中に、データが圧縮解除されました。このデータは、拡張属性、代替ストリーム、または ACL の可能性があります。デフォルトでは、このデータはリストアされます。DISCARDZEROFILEDATA テスト・フラグが設定されているため、データは破棄されます。

システムの処置: データは破棄され、処理は続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージで示されたファイル名あるいはディレクトリー名をメモし、破棄されたデータを他の方法でリセットする必要があるかどうかを判断してください。

ANS5296I 仮想マシン '*vm-name*' には、タイプが Thick Eager Z の仮想ディスクが 1 つ以上含まれています。このタイプのディスクを作成するには、長時間かかります。このリストア操作は、ディスクの準備ができる前にタイムアウトになる可能性があります。

説明: Thick Eager Zero 仮想ディスクは、以前の内容を覆い隠すためにゼロで埋め込まれているため、この仮想ディスクを含む VM のリストアは、完了するまでに長時間かかる可能性があります。Thick Eager Zero ディスクをプロビジョニングするのに必要な時間は、VMware リソース (vCenter およびデータ・ストア) 上の処理の負荷によって異なります。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: データ・センターおよび vCenter リソース上の処理の負荷が軽いときにリストア操作を再試行してください。

ANS5298E ソース・ボリューム とターゲット・ボリューム の間で、**Flashcopy** バックグラウンド・コピーが進行中です。

説明: 指定されたソース・ボリュームおよびターゲット・ボリュームで、以前の操作からの **Flashcopy** バックグラウンド・コピーが完了していません。

システムの処置: コマンドは失敗します。

ユーザーの処置: バックグラウンド・コピーが完了するまで待つて、コマンドをやり直してください。

ANS5300E 行 *line number* の処理中に指定されたファイル・リスト '*file list name*' にエラーが検出されました。
無効な *external object ID* / *inode number* / *inode generation number* / *restore order number* / *alias* エントリー '*invalid entry*' が見つかりました。
無効な行: '*invalid entry*'

説明: ファイル・リストの構文解析は、無効なエントリーのために失敗しました。

システムの処置: ファイル・リストのエラーのため操作は打ち切られました。

ユーザーの処置: 無効なファイル・リストのエントリーを訂正して、操作を再始動してください。

ANS5301E 行 *line number* の処理中に指定されたファイル・リスト '*file list name*' にエラーが検出されました。
外部オブジェクト **ID** の無効な順序が見つかりました。
以前のファイルの外部オブジェクト **ID**: *previous external object ID*
現在のファイルの外部オブジェクト **ID**: *current external object ID*

説明: ファイル・リストの構文解析は、外部オブジェクト **ID** の無効な順序のために失敗しました。

システムの処置: ファイル・リストのエラーのため操作は打ち切られました。

ユーザーの処置: 無効なファイル・リストの順序を訂正して、操作を再始動してください。

ANS5302E ファイル '*file list name*' へのファイル・リスト・ストリーム・エラーが、行 *line number* の処理中に見つかりました。

説明: ファイル・リストの処理は、ストリーム・エラーのために失敗しました。

システムの処置: ファイル・リスト・ストリーム・エラーのため操作は打ち切られました。

ユーザーの処置: 指定したファイル・リストを確認して、操作を再始動してください。

ANS5303I ***** *date count* の **IBM Spectrum**

Protect サーバーおよび *count* のファイル・リスト・オブジェクトが処理されました *****

説明: **IBM Spectrum Protect** は、示されている数の **IBM Spectrum Protect** サーバーおよびファイル・リスト・オブジェクトを処理しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5304E *program-name*: 外部オブジェクト **ID**: *external object ID* の同期ファイル削除は失敗しました。

説明: **HSM** クライアントは **IBM Spectrum Protect** サーバー上のオブジェクトを削除できませんでした。

システムの処置: 同期ファイルの削除では現在のファイルをスキップし、処理を続行します。

ユーザーの処置: **IBM Spectrum Protect** サーバーのログ・ファイルを確認してください。

ANS5307E セッションはリジェクトされました。サーバーではスペース管理保存保護が使用可能になっていないクライアントのサインオンは許可されていません。

説明: サーバーのスペース管理保存保護が使用可能でも、クライアントでは使用不可なので、クライアントはサーバーへの接続を確立できません。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

ANS5821E 活動ディレクトリーに接続できません。

説明: **IBM Spectrum Protect** は、活動ディレクトリーに接続できませんでした。活動ディレクトリーが稼働していないか、またはその使用に必要な許可がないかのいずれかです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システムが活動ディレクトリー・コントローラーとして設定され、サービスが活動状態にあることを確認してください。活動ディレクトリーを管理するために十分な権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認してください。

ANS5822E 照会に一致する活動ディレクトリー・オブジェクトはありません。

説明: 活動ディレクトリーで検索は実行されました。ただし、照会に一致するオブジェクトは見つかりませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 活動ディレクトリー・オブジェクトまたはコンテナの識別名、または有効なワイルドカードを使用した名前を指定し、活動ディレクトリーを管理するために十分な権限を持っていることを確認してください。

ANS5823W オブジェクトが存在します。スキップします。

説明: クライアントは指定されたオブジェクトをリストアしようとしたましたが、そのオブジェクトはリストアのターゲットとなる位置に既に存在し、ユーザーはその既存のディレクトリーを置き換えない選択をしました。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされ、メッセージが `dsmeror.log` に記録されます。リストア処理は、次のオブジェクトについて引き続き実行されます。

ユーザーの処置: REPLACE NO が有効であったため、既存のオブジェクトがスキップされるという理由、あるいは REPLACE PROMPT が有効であったという理由で、オブジェクトはスキップされ、またユーザーは、プロンプトが出されると、このオブジェクトをスキップすることを選択しました。意図的にオブジェクトをスキップすることにした場合、これ以上の措置は不要です。それ以外の場合は、REPLACE ALL (既存のオブジェクトが自動的に置き換わる) か REPLACE PROMPT (ファイルを置き換えるかどうかについてユーザーの判断をおおぐ) かいずれかを使って操作を再試行することができます。

ANS5824E 無効な活動ディレクトリー検索の指定。

説明: 活動ディレクトリー・オブジェクトの検索の指定は有効ではありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: サポートされる活動ディレクトリー構文に関する資料を参照してください。

ANS5825E '*tombstone-name*' の '*distinguished-name*' への復活は失敗しました。詳細については、エラー・ログを参照してください。

説明: 活動ディレクトリーの廃棄オブジェクトの復活が

試行されましたが、エラーが発生しました。

システムの処置: ユーザーの要求によって他のすべての廃棄オブジェクトを処理するプロセスは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5826E 読み取り専用ドメイン・コントローラーへのリストアは許可されていません。

説明: 読み取り専用ドメイン・コントローラーにリストアしようとした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5827E 活動ディレクトリー・データベースのバックアップ・コピーは見つかりませんでした。

説明: 活動ディレクトリー・オブジェクトをバックアップされていないデータベースからリストアしようとした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 活動ディレクトリーがシステム状態でバックアップされたことを検証してください。

ANS5828E システム状態ファイル・スペースがサーバー上で見つかりませんでした。活動ディレクトリー機能は、実行できません。

説明: 活動ディレクトリー・データベースを、存在していないシステム状態バックアップからリストアしようとした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システム状態がバックアップされていることを検査するか、システム状態をバックアップしてからコマンドを再試行してください。

ANS5829E 指定された日付のシステム状態バックアップは見つかりませんでした。活動ディレクトリー機能は、実行できません。

説明: 活動ディレクトリー・データベースを、存在していないシステム状態バックアップからリストアしようとした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定された日付にシステム状態がバックアップされていることを検査するか、新しい日付を指定してください。

ANS5830E オブジェクト '*tombstone-name*' のリストアは、活動ディレクトリーによって許可されていません。

説明: 特定のタイプのオブジェクトはリストアできません。これはシステムの制限です。

システムの処置: ユーザーの要求によって他のすべてのオブジェクトを処理するプロセスは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5831E このオブジェクトのリストアは、活動ディレクトリーによって許可されていません。

説明: 特定のタイプのオブジェクトはリストアできません。これはシステムの制限です。

システムの処置: ユーザーの要求によって他のすべてのオブジェクトを処理するプロセスは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5832E 廃棄オブジェクトの復活は失敗しました。詳細については、エラー・ログを参照してください。

説明: 活動ディレクトリーの廃棄オブジェクトの復活が試行されましたが、エラーが発生しました。

システムの処置: ユーザーの要求によって他のすべての廃棄オブジェクトを処理するプロセスは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5833E このシステムは、ドメイン・コントローラーですが、活動ディレクトリー・サービスは停止されています。活動ディレクトリー・サービスが実行されていない限り、操作は実行できません。

説明: 活動ディレクトリー・サービスは、システム状態をバックアップまたはリストアする場合、または活動ディレクトリー・オブジェクトを操作する場合、実行されていることが必要です。活動ディレクトリー・サービスが実行されている場合は、オンライン状態かオフライン状態になっています。活動ディレクトリー・オブジェクトを照会またはリストアするか、システム状態をバックアップする場合、活動ディレクトリー・サービスはオンラインでなければなりません。システム状態をリストアする場合は、活動ディレクトリー・サービスはオフラインでなければなりません (ただし、停止しないこと)。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 活動ディレクトリー・オブジェクトを照会またはリストアするか、システム状態をバックアップする場合、活動ディレクトリー・サービスを開始し

て、活動ディレクトリー・サービスをオンライン状態にします。システム状態をリストアする場合は、活動ディレクトリー・リストア・モードをリブートして、活動ディレクトリー・サービスをオフライン状態にします。活動ディレクトリー・サービスが適切な状態にある場合は、操作を再試行してください。

ANS5834E 予期しない LDAP エラーが発生しました。詳細については、エラー・ログを参照してください。

説明: 活動ディレクトリー廃棄の復活中に、予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: ユーザーの要求によって他のすべての廃棄オブジェクトを処理するプロセスは続行します。

ユーザーの処置: LDAP エラーの詳細についてはエラー・ログを検査します。

ANS5835E LDAP 操作が *return code: 「error string」* を戻しました。

説明: 活動ディレクトリー廃棄の復活中に、予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: ユーザーの要求によって他のすべての廃棄オブジェクトを処理するプロセスは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5836W 1 つ以上の属性をリストアできませんでした。エラー・ログを参照してください。

説明: 活動ディレクトリー・オブジェクトの処理時に、1 つ以上のオブジェクト属性をリストアできませんでした。

システムの処置: ユーザーの要求によって他のすべての活動ディレクトリー・オブジェクトを処理するプロセスは続行します。

ユーザーの処置: 属性をリストアできなかったことに関する詳細については、エラー・ログを検査します。

ANS5837W 「*object name*」: 属性「*attribute name*」はリストアできませんでした。

説明: リストされた属性は、活動ディレクトリー・オブジェクトの処理時にリストアできませんでした。

システムの処置: ユーザーの要求によって他のすべての活動ディレクトリー・オブジェクトを処理するプロセスは続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS5838E ユーティリティ **dsamain.exe** がシステムに存在しません。 **IBM Spectrum Protect** がこのユーティリティを起動できない限り、操作は実行できません。

説明: **dsamain.exe** を起動しようとしたましたが、そのユーティリティがありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: **dsamain.exe** ユーティリティが **Windows system32** ディレクトリーにあることを検査します。 **IBM Spectrum Protect** とは無関係にこのユーティリティを実行できる場合は、操作を再試行してください。

ANS5839E 活動ディレクトリー・オブジェクトの指定は許可されていません。

説明: ドメイン・オブジェクト (「DC=」から始まる) のリストアか、すべてのオブジェクト (「name=」) のリストアを試みたか、何も指定しませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定を変更してから、操作を再試行してください。

ANS5840E 現行のユーザーは、管理者グループのメンバーではなく、この機能を実行できません。

説明: 活動ディレクトリー・オブジェクトの機能を実行するには、管理者グループのメンバーである必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 管理者グループのメンバーであるユーザーを使用してログオンするか、管理者グループにこのユーザーを追加してから、操作を再試行してください。

ANS5841E 活動ディレクトリー・データベースをオープンできませんでした。

説明: リストアした活動ディレクトリー・データベースをオープンしている間にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: **ntdsutil.exe** ユーティリティが **IBM Spectrum Protect** クライアント実行可能ファイルと同じディレクトリーにあることを確認します。存在しない場合は、クライアントを再インストールします。

dsamain.exe ユーティリティが **Windows system32** ディレクトリーにあることを検査します。 **IBM Spectrum Protect** とは無関係にこのユーティリティを実行できる場合は、操作を再試行してください。問題

が続く場合は、サポートに連絡してください。

ANS5842E 'tombstone-name': オブジェクト・クラスの違反。

説明: 廃棄復活中に、オブジェクト・クラスの違反が発生しました。これは、活動ディレクトリーのスキーマが変更され、廃棄と互換性がなくなっている場合に、発生することがあります。

システムの処置: ユーザーの要求によって他のすべてのオブジェクトを処理するプロセスは続行します。

ユーザーの処置: 障害オブジェクトを手動で再作成するか、バックアップからリストアします。

ANS5843E オブジェクト・クラスの違反。

説明: 廃棄復活中に、オブジェクト・クラスの違反が発生しました。これは、活動ディレクトリーのスキーマが変更され、廃棄と互換性がなくなっている場合に、発生することがあります。

システムの処置: ユーザーの要求によって他のすべてのオブジェクトを処理するプロセスは続行します。

ユーザーの処置: 障害オブジェクトを手動で再作成するか、バックアップからリストアします。

ANS5844E パスワードを更新できません。

説明: パスワード更新の試行中にエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーのパスワードは更新されません。

ユーザーの処置: パスワードの更新を再試行してください。

ANS5845E 更新の試行回数が最大数を越えたため、パスワードを更新できません。

説明: このメッセージは、パスワード更新の試行が 3 回失敗すると発行されます。ノードの元のパスワードが間違っていて入力されたか、新規パスワードがパスワードの長さまたは有効な文字の要件を満たしていません。または、新規パスワードの 1 回目と 2 回目の入力不一致でした。

システムの処置: パスワードは更新されません。

ユーザーの処置:

- 元のパスワードを正しく入力してください。元のパスワードが不明な場合は、**IBM Spectrum Protect** 管理者に連絡して支援を求めてください。

- パスワードの長さや文字の要件に合った新規パスワードを入力してください。
- 新規パスワードを 2 回入力するよう要求するプロンプトが出されるため、2 回とも正しく入力してください。

ANS5876I SET EVENT 保存活動化の完了

説明: データ保存の ACTIVATE トランザクションが完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、選択されたオブジェクトを活動化しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5877I SET EVENT 保留完了

説明: データ保存の HOLD トランザクションが完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、選択されたオブジェクトを保留しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS5878I SET EVENT 解放の完了

説明: データ保存の RELEASE トランザクションが完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、選択されたオブジェクトを解放しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS6586E Recovery Agent 操作が失敗しました。

説明: VMVSS スナップショットでの Recovery Agent 操作が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Recovery Agent のログおよびエラー・メッセージを確認し、問題を解決して、操作を再試行してください。

ANS6587W VMVSS バックアップは、Exchange メールボックス履歴を仮想マシン 'VM-Name' からバックアップできませんでした。

説明: データ・ムーバーが仮想マシンからの Exchange メールボックス履歴のバックアップを試行中にエラーが発生しました。現行バージョンの Data Protection for Exchange は、仮想マシンのバックアップと同時に行うメールボックス履歴のアップロードをサポートしていない

可能性があります。エラー・コードは、失敗の理由を示します。

システムの処置: 処理は、メールボックス履歴情報のバックアップなしで続行されます。

ユーザーの処置: Data Protection for Exchange コマンド 'tdpexcc.exe backup * full /UpdateMailboxInfoOnly' を使用して、ゲスト VM 上でメールボックス履歴のバックアップを試行します。現行の製品レベルでメールボックス履歴のバックアップ・コマンドがサポートされていない場合は、Data Protection for Exchange をアップグレードしてください。データ・ムーバーの dsm.opt ファイルの traceflags VMTSMVSS を使用して、さらに問題を診断します。

ANS6718E このパスに含まれているネスト・サブディレクトリは多すぎます。ネスト・ディレクトリの最大数は 1400 です。

説明: システム・リソースを使い尽くさないようにするため、ネストの最大の深さを超えるディレクトリ構造の処理をクライアントが停止します。ネストの最大の深さを超えるディレクトリは一般的なものではありません。

システムの処置: 現行操作の処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディレクトリが有効かどうかを確認してください。この深さのディレクトリ構造は一般的なものではなく、ファイル・システム構造の問題を示している可能性があります。このようなディレクトリの例として、ディレクトリが循環である場合があります。ディレクトリが無効な場合、そのディレクトリを削除または修正してから、操作を再試行してください。ディレクトリが有効な場合、ディレクトリ構造の深さを減らしてください。その後、操作を再試行してください。あるいは、EXCLUDE.DIR ステートメントを使用して、バックアップまたはアーカイブの処理からディレクトリを除外できます。その後で、操作を再試行してください。

ANS7421W ファイル「filename」のアーカイブ属性はリセットできません。Windows API 関数 SetFileAttributes() の戻りコードは「rc」です。

説明: クライアントは、メッセージに示されたファイルのアーカイブ属性をリセットできませんでした。このエラーの原因は、Windows API 関数 SetFileAttributes() から受け取ったエラーです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続

く場合には、ファイルに問題があることを示している場合があります。システム管理者または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、さらに援助を求めてください。

ANS7422E スケジュール '*schedule name*' のアクション '*action*' はサポートされていません。

説明: 現行バージョンの IBM Spectrum Protect クライアントでは、スケジュールされているアクションが不明であるため、スケジュールを使用してこのアクションを実行することはできません。最も可能性の高い原因は、スケジュール・アクションにより新しいバージョンのバックアップ・アーカイブ・クライアントが必要であることです。

サポートされないアクションは、テキストの説明が使用できないため番号で表示されます。スケジュールされているアクションとその対応するアクション番号を見つけるには、IBM Spectrum Protect サポート・サイトでこのメッセージを検索します。

システムの処置: スケジュール・アクションは実行または照会されません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サポート・サイトでこのメッセージを検索して、スケジュールされているアクション、その対応するアクション番号、およびこのアクションがサポートされるクライアント・バージョンに関する情報を見つけてください。その後、このアクションをスケジュール・イベントとして実行できるバージョンにご使用の IBM Spectrum Protect クライアントをアップグレードしてください。クライアントをアップグレードするまでは、アクションを手動で実行することができます (ご使用のバージョンのクライアントでサポートされる場合)。

ANS7423E **VMware** バックアップ・ファイル・スペースには **Set Access backup** **<vmname> -TYPE=VM** を使用します。長い形式 *fs-name* の使用は許可されていません。

説明: 長い形式の VM ファイル・スペース名を使用してアクセスを設定するよう選択されています。この名前形式は、プラットフォームに依存しないもので、特別な処理が必要です。-TYPE=VM オプションを使用して、VM 名だけ指定します。

システムの処置: `set access` コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: -TYPE=VM オプションと、単に VM 名である VM ファイル・スペース名を使用して `set access` コマンドを入力してください。

ANS7500W オブジェクト '*object-name*' を、'*option*' 文に指定された管理クラス '*mgmt-specified*' にバインドできませんでした。

説明: `include` 文に指定されている管理クラスが無効でした。 `include` 文が「INCLUDE.SIZE」文の場合、その管理クラスに該当するコピー・グループが定義されていると警告メッセージが出されます。例えば、管理クラスにバックアップ・コピー・グループが定義されていない場合は、バックアップ操作時にこの警告が出されます。あるいは、管理クラスにアーカイブ・コピー・グループが定義されていない場合は、アーカイブ操作時にこのメッセージが出されます。

システムの処置: `include` 文に指定されている管理クラスは無視され、処理は続行されます。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、IBM Spectrum Protect サーバー上の該当するコピー・グループ定義を訂正してください。

ANS7501E 無効なホスト・アドレスを受け取りました。ホスト・アドレスは長すぎます。

説明: HTTP 要求内で無効なホスト・パラメーターが見つかりました。このパラメーターは長すぎます。ホスト・アドレスの最大長は 64 文字です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は HTTP エラー・コード 400 (不正要求) を戻します。

ユーザーの処置: 有効なホスト・アドレスまたはもっと短いホスト・アドレスを持つホスト・マシンを使用してください。

ANS7502E 無効なファイル名を受け取りました。ファイル名は長すぎます。

説明: `dsmcad` サービスに渡されたファイル名は長すぎるため、無効です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は HTTP エラー・コード 400 (不正要求) を戻します。

ユーザーの処置: 有効なファイル名またはもっと短いファイル名を使用して `dsmcad` との接続を再試行してください。

ANS7507W ノード名エントリが無効です。やり直してください。

説明: 正しくない項目がノード名フィールドに入力されました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は有効なノード名の入力のプロンプトを出します。

ユーザーの処置: 有効なノード名を入力するか、システ

ム管理者に正しい構文を問い合わせてください。

ANS7510E NAS ノードはこの操作には使用できません。

説明: NAS ノードは、他ノードへのアクセスなどの操作には使用できません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は有効なノード名の入力のプロンプトを出します。

ユーザーの処置: 有効で、かつ NAS 以外の IBM Spectrum Protect ノード名を入力します。

ANS7524E SSL は必須です。

説明: 認証時にクライアントのパスワードを保護するためには SSL が必須です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: SSL 通信を使用可能にするか、SSLREQUIRED を NO に設定してください。

ANS7525E サーバーには **SSL** が必須です。

説明: 認証時にクライアントのパスワードを保護するためには SSL が必須です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: SSL 通信を使用可能にするか、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に連絡してください。

ANS7526E SNAPSHOTROOT オプションは **-GROUPNAME** オプションまたは **-VIRTUALFSNAME** オプションと一緒に使用することはできません。

説明: SNAPSHOTROOT オプションは **-GROUPNAME** オプションおよび **-VIRTUALFSNAME** オプションとの互換性がないため、これらのオプションのいずれかと一緒に使用することはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ・アーカイブ・クライアントの処理オプションについては、「IBM Spectrum Protect バックアップ・アーカイブ・クライアント インストールとユーザーのガイド」を参照してください。

ANS7527E (-SNAPSHOTROOT) オプションで、*num-specs* ファイル指定との結合は無効です。

説明: (-SNAPSHOTROOT) オプションは、1 つのファイル指定のみとともに使用しなければなりません。フ

ァイル指定なし (ファイル指定のない INCREMENTAL コマンドなど) および複数のファイル指定とともに使用することはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ご使用のオペレーティング・システムに対応する「バックアップ/アーカイブ・クライアントの使用」の資料で、指定されたオプションの正しい使用方法を参照してください。

ANS7528E GPFS ファイル・セットの **(-SNAPSHOTROOT)** オプションは、ファイル・リストなしでは無効になります

説明: GPFS ファイル・セットの (-SNAPSHOTROOT) オプションは、ファイル・リストを使用する場合のみサポートされます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ご使用のオペレーティング・システムに対応する「バックアップ/アーカイブ・クライアントの使用」の資料で、指定されたオプションの正しい使用方法を参照してください。

ANS7529E 指定された **SNAPSHOTROOT 'obj-name'** は、**BACKUP IMAGE** コマンドでは無効です。

説明: (-SNAPSHOTROOT) オプションを **BACKUP IMAGE** コマンドで使用する場合、**SNAPSHOTROOT** はバックアップ用のスナップショットを含む論理ボリュームのデバイス名を指定する必要があります。例えば `/dev/fslv01` (Unix の場合) または `¥¥¥GLOBALROOT¥Device ¥HarddiskVolumeShadowCopy1` (Windows の場合) になります。

BACKUP IMAGE で **SNAPSHOTROOT** は、以下のいずれかの値が **SNAPSHOTPROVIDERIMAGE** で有効でなければ使用できません。

- VSS
- JFS2

システムの処置: 処理は停止されます。

ユーザーの処置: (-SNAPSHOTROOT) オプションの正しい使用法については、ご使用のオペレーティング・システムに該当する「バックアップ/アーカイブ・クライアント インストールとユーザーのガイド」の資料を参照してください。

ANS7531E NetWare NDS またはサーバー特定情報の処理時は (-SNAPSHOTROOT) オプションは無効です。

説明: (-SNAPSHOTROOT) は NetWare ファイル・サーバー・ボリュームで使用するためのものであり、NetWare の NDS やサーバー特定情報の処理とは互換性がありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ご使用のオペレーティング・システムに対応する「バックアップ/アーカイブ・クライアントの使用」の資料で、指定されたオプションの正しい使用方法を参照してください。

ANS7533E 指定されたファイル・システム '*obj-name*' は、存在しないか、またはローカルではありません。

説明: (-SNAPSHOTROOT) オプションを使用する場合は、ターゲットとソースのファイル・システムを有効なローカル・ファイル・システムにする必要があります。ファイル・システムは、リモート NetWare ドライブ、リモート Windows ドライブ、または NFS マウントなどの非ローカルにすることはできません。(-SNAPSHOTROOT) オプションは、ローカル操作でのみ有効です。

システムの処置: 処理は停止されます。

ユーザーの処置: (-SNAPSHOTROOT) オプションの正しい使用方法については、ご使用のオペレーティング・システムに該当する「バックアップ/アーカイブ・クライアント インストールとユーザーのガイド」の資料を参照してください。

ANS7534W 初期化機能で /dev/tty 特殊ファイルをオープンできません。errno = *errno-value*, *error message*

説明: 初期化時に、コマンド・ライン内部エディターに必要な特殊ファイル /dev/tty をオープンできませんでした。システムはエラー・コード *errno-value* を設定しました。

システムの処置: EDITOR オプションが NO に設定されたものとして処理が続行されます。

ユーザーの処置: 端末設定を確認してください。

ANS7535W コマンド・ライン内部エディターを初期化できません。

説明: オプション・ファイルで EDITOR オプションは

YES に設定されていますが、コマンド・ライン内部エディターを開始できません。

システムの処置: EDITOR オプションが NO に設定されたものとして処理が続行されます。

ユーザーの処置: それ以前のメッセージを調べて、内部エディターを開始できなかった理由を確認してください。

ANS7543E エラー: オブジェクト照会には scout は使用できません。scout が実行中ではないか、初期ファイル・システム・スキャンが完了していません。

説明: 調整プロセスがすべてのマイグレーション済みファイルに対する照会を行うためには、scout デーモンが実行されている必要があります。scout デーモンが実行されていないか、初期ファイル・システム・スキャンが完了していない場合、孤立検査モードで調整ツールを実行することはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: scout デーモンが実行されていることを確認してください。scout デーモンが実行されていない場合は、そのデーモンを再始動してからコマンドを再試行してください。scout デーモンが実行されている場合は、デーモンが初期ファイル・システム・スキャンを完了するまで待ってください。dsmscoutd scanplan コマンドを使用すると、scout デーモンの現在の状況を確認することができます。

ANS7544E ICC ルーチン *icc-routine* は次のエラーにより失敗しました。*error-string*。

説明: データの処理中に、ICC 暗号化ライブラリー内部でエラーが発生しました。この問題が発生するのは、例えば、暗号化されたクライアント・データが破損していて、リストア操作でそれを正しく暗号化解除できない場合です。このメッセージで報告されるエラー・コードと問題の説明は、IBM Spectrum Protect 技術サポート担当者が失敗の原因を判別する際に役立つ場合があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認してください。必要な場合には、ソフトウェアを再インストールしてください。データ用の正しい暗号鍵パスワードを使用してください。IBM Spectrum Protect サーバーまたはネットワークに、データの転送に影響を及ぼすような問題がないことを確認してください。問題がまだ存在する場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS7545E データの暗号化処理中に、予期しないエラーが発生しました。

説明: データの暗号化を実行中にエラーが発生しました。詳しくは、エラー・ログを参照してください。

システムの処置: オブジェクトはバックアップされません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認してください。必要な場合には、ソフトウェアを再インストールしてください。操作を再試行します。問題がまだ存在する場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS7546E データを暗号化解除中に、予期しないエラーが発生しました。

説明: データの暗号化解除を実行中にエラーが発生しました。詳しくは、エラー・ログを参照してください。これが発生するのは、暗号化されたデータがストレージ内にある間またはネットワーク転送中 (あるいはその両方) に破損した場合です。

システムの処置: オブジェクトはリストアされません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認してください。必要な場合には、ソフトウェアを再インストールしてください。IBM Spectrum Protect サーバーまたはネットワークに、データの転送に影響を及ぼすような問題がないことを確認してください。操作を再試行します。問題がまだ存在する場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS7547E データのダイジェスト処理中に、予期しないエラーが発生しました。

説明: データのダイジェスト処理を実行中にエラーが発生しました。詳しくは、エラー・ログを参照してください。

システムの処置: オブジェクトはバックアップされません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect ソフトウェアが正しくインストールされていることを確認してください。必要な場合には、ソフトウェアを再インストールしてください。操作を再試行します。問題がまだ存在する場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS7550E **absolute** オプションでは、スナップショット差分バックアップの実行時に **CreateNewBase=yes** オプションを使用する必要があります。

説明: 指定された **absolute** オプションは、スナップショット差分バックアップの実行時には無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: スナップショット差分バックアップの実行時には **CreateNewBase=yes** オプションを使用してみてください。

ANS7552I *timestamp ***** count* 個のファイルを処理済み *****

説明: IBM Spectrum Protect は示された数のファイルを処理しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS7553W 上限しきい値、下限しきい値、および **pmpercentage** の設定によって、ファイル・システム *file-system-name* での要求マイグレーションが使用不可となりました (**ENOSPC**)。

説明: 上限しきい値が 100、下限しきい値が 100、および **pmpercentage** が 0 の設定は、要求マイグレーションと自動マイグレーションを使用不可に設定するために予約されています。GPFS ドリブンのマイグレーションに使用されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS7554E **HSMBACKENDMODE** を **TSMFREE** に設定する場合は **provider** オプションが必要です。

説明: **dsmmigrate** のすべての操作では、**provider** オプションを指定する必要があります。

システムの処置: 操作は停止しました。

ユーザーの処置: 操作に **provider** オプションの値を指定してください。

ANS7557E **provider** オプションが無効です。

説明: **dsmmigrate** のすべての操作では、有効な **provider** オプションを指定する必要があります。

システムの処置: 操作は停止しました。

ユーザーの処置: 操作に有効な provider オプションの値を指定してください。

ANS7558E HSMBACKENDMODE を TSMFREE
に設定する場合は **target** オプションが必要です。

説明: dsmmigrate のすべての操作では、target オプションを指定する必要があります。

システムの処置: 操作は停止しました。

ユーザーの処置: 操作に target オプション値を指定してください。

ANS7559E absolute オプションでは、**fs** をバックアップするためにジャーナル・ベースのバックアップを実行する場合、**NoJournal** オプションを指定する必要があります。

説明: ジャーナル・ベースのバックアップを実行している場合、指定された absolute オプションに効果はありません。

システムの処置: 増分バックアップが実行されます。

ユーザーの処置: 指定されたファイル・スペースがジャーナル・ベースのバックアップに関連付けられていないかを確認してください。-nojournal オプションも指定した場合は、このメッセージは表示されません。

ANS7566E 外部ライブラリーをロードできません:
reason

説明: hsm/bin ディレクトリーに有効なライブラリーがありません。

システムの処置: 操作は停止しました。

ユーザーの処置: 有効な外部ライブラリーを hsm/bin ディレクトリーにコピーしてください。

ANS7567E program-name: 外部再呼び出しが失敗しました。理由:

説明: hsm/bin ディレクトリーに有効なライブラリーがありません。

システムの処置: 操作は停止しました。

ユーザーの処置: 有効な外部ライブラリーを hsm/bin ディレクトリーにコピーしてください。

ANS7641I ユーザーにはシステム状態フルバックアップを実行するための管理資格情報がありません。

説明: ASR ライターのデータを含むシステム状態のバ

ックアップの実行に使用するユーザー・アカウントは、管理者グループのメンバーでなければなりません。

システムの処置: システム状態のバックアップは ASR ライターのデータをスキップします。

ユーザーの処置: 管理者グループのメンバーであるユーザーを使用してログオンするか、管理者グループにこのユーザーを追加してください。その後、システム状態のバックアップを再試行してください。

ANS7642E レジストリー・ディレクトリー構造の作成中にエラーが発生しました。

説明: レジストリー・キーの保管/置き換えを行うディレクトリー構造の作成中に、エラーが発生しました。

システムの処置: レジストリー機能は失敗します。

ユーザーの処置: レジストリーのバックアップを実行しているユーザー・アカウントに適切な権限があることを確認してください。ユーザー・アカウントに適切な権限がある場合、マシンを再始動する必要があると思われます。保留中の操作で、レジストリー・ディレクトリー構造内のファイルがロックされている可能性があります。

ANS7643E デプロイメント・マネージャーは、クライアントが 32 ビットから 64 ビットへ、または 64 ビットから 32 ビットへという、正しくないアーキテクチャーにアップグレードされていることを検出しました。

説明: クライアントを 6.3 より前のリリースにアップグレードする場合、デプロイメント・マネージャーは同種のアーキテクチャーへのアップグレードのみを許可します。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このクライアントをアンインストールし、正しいビット・レベルのバックアップ/アーカイブ・クライアントをインストールしてください。

ANS7650E ユーザーには **IBM Spectrum Protect** を実行する十分な特権がありません。

説明: IBM Spectrum Protect の実行に使用されるユーザー・アカウントには、「ファイルおよびディレクトリーのバックアップ」および「ファイルおよびディレクトリーのリストア」のセキュリティ設定が割り当てられている必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: Windows Local Security Settings ツールを使用してアカウントに「ファイルおよびディレクトリーのバックアップ」および「ファイルおよびディレ

クトリーのリストア」のセキュリティー設定を割り当てるか、異なるユーザー ID を使用して、IBM Spectrum Protect を実行してください。

ANS7660E 1 つ以上のレジストリー・キーを置換中にエラーが発生しました。

説明: レジストリー・キー、または置換されたキーは、別々のプロセスによって排他的に保持されます。レジストリー・キーは先にリストアされましたが、システムは再始動しませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: システムを再始動して、リストア操作をやり直してください。

ANS7709E リストア操作は失敗しました。一部のファイルはリストアされませんでした。

説明: エラーでリストア操作は失敗しました。

システムの処置: 操作が完了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを検査してください。

ANS7899E クライアントが参照した重複排除されたエクステントは、IBM Spectrum Protect サーバーに存在していません。

説明: その重複排除されたエクステントは、バックアップまたはアーカイブ操作中にサーバーから削除されています。重複排除キャッシュを使用している場合、そのキャッシュが IBM Spectrum Protect サーバーと同期していない可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が続く場合は、重複排除をオフにして、操作を再試行してください。

ANS7900I 重複排除キャッシュは、IBM Spectrum Protect サーバーと同期していないために、リセットされました。

説明: 重複排除キャッシュに、IBM Spectrum Protect サーバー上に存在しない重複排除されたエクステント項目が含まれています。これが起こるのは、エクステントが重複排除キャッシュに記録された後で IBM Spectrum Protect サーバーから削除されている場合です。

システムの処置: 重複排除キャッシュがリセットされ、すべてのキャッシュ項目は除去されます。処理は続行されます。

ユーザーの処置: なし

ANS7901W クライアントの重複排除と *option-name* は同時には使用できません。

説明: LAN フリー、サブファイル、NAS、useTsmBuffers の各機能を重複排除と一緒に使用することはできません。

システムの処置: クライアントの重複排除は使用不可にされます。

ユーザーの処置: 構成を確認します。重複排除を LAN フリー、サブファイル、NAS、useTsmBuffers の各機能と一緒に構成しないでください。

ANS7902I クライアントの重複排除キャッシュが満杯です。キャッシュはリセットされます。

説明: クライアントの重複排除キャッシュに入れられた項目の数が、そのキャッシュについて構成されたサイズを超えました。

システムの処置: 重複排除機能では、設計上この状況が定期的に発生します。

キャッシュがリセットされ、項目が何も含まれていない状態になります。

ユーザーの処置: クライアントの重複排除キャッシュ・サイズを大きい値に再構成すると、リセットの頻度を減らすことができます。

ANS7903W クライアントの重複排除キャッシュは別のプロセスによってロックされています。

説明: 別のプロセスが、クライアントの重複排除キャッシュを使用中です。

このキャッシュを使用できるのは、一度に 1 つのプロセスのみです。

システムの処置: このプロセスではクライアントの重複排除キャッシュは使用されません。

サーバーの重複排除は変更されません。

ユーザーの処置: ユーザーは、クライアントの重複排除キャッシュを使用するプロセスを直列化することができます。あるいは、競合を避けるために、別のキャッシュ・パスを使用するように現行プロセスを再構成することができます。

ANS7904E クライアントの重複排除と LAN フリーまたはサブファイル・バックアップは同時には使用できません。

説明: クライアントの重複排除と LAN フリーまたはサブファイルは同時には使用できません。

システムの処置: クライアントの重複排除は使用不可にされます。

ユーザーの処置: 構成を確認します。重複排除を LAN フリーまたはサブファイル機能と一緒に構成しないでください。

ANS7906W 現行ストレージ・プールのスペースが使い尽くされたか、現行オブジェクトがストレージ・プールの **maxsize** 構成パラメーターを超えたため、データは次のプールに保管されます。重複排除は使用不可になっています。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーの現行ストレージ・プールのスペースが使い尽くされたか、現行オブジェクトがストレージ・プールの **maxsize** 構成パラメーターを超えました。データは次のストレージ・プールに保管されます。重複排除が使用不可になっているため、トランザクションを再送中です。

システムの処置: バックアップを完了できるように、重複排除は使用不可に設定されています。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡し、現行ストレージ・プールにボリュームを追加してください。

ANS7907W リポジトリ *repos-name* への接続が失敗しました。*repos2-name* を指定して再試行してください。

説明: FastBack DR ハブ・リポジトリに接続することができません。FastBack サーバー・リポジトリを使用して再試行してください。

システムの処置: 操作を再試行します。

ユーザーの処置: 有効なリポジトリを指定してください。

ANS7908E ポリシーが「*Policy*」、クライアントが「*Client*」、ボリュームが「*Volume*」である **FastBack** スナップショットをマウントできません。理由: *reason*

説明: IBM Spectrum Protect のマウントは失敗しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は処理を続行できません。

ユーザーの処置: Recovery Agent のログに、マウント操作の完了に失敗した原因を示す情報がないか確認してください。

ANS7912E **FastBackMount** または **FastBackShell** がインストールされていません。

説明: FastBack 環境の初期化に失敗しました。FastBackShell または FastBackMount がインストールされていないか、FastBack インストール・ディレクトリ内に見つかりません。

システムの処置: FastBack 操作は続行できません。

ユーザーの処置: ソフトウェアを再インストールしてください。FastBackShell および FastBackMount は、専用プロキシ・コンピューターにインストールする必要があります。

ANS7913E 指定された分岐は **DR** ハブ・リポジトリで検出されませんでした。

説明: 必須 **fbbranch** オプションのパラメーターが正しくありません。

システムの処置: 操作は続行できません。

ユーザーの処置: **fbbranch** オプションに指定されたパラメーターを訂正してください。

ANS7914E **FastBack** クライアント「*vmname*」の増分バックアップが失敗しました。**RC rc**

説明: FastBack クライアント・ボリュームのアーカイブまたは増分バックアップが失敗しました。

システムの処置: FastBack クライアントのアーカイブまたはバックアップが失敗して終了しました。次の FastBack クライアントが処理されます。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS7915E **FastBack** コマンドによる **FastBack** クライアント「*vmname*」のマウントに失敗しました。**RC=rc**

説明: FastBackMount コマンドが失敗し、FastBack ボリュームをマウントできませんでした。

システムの処置: この FastBack ボリュームのアーカイブまたはバックアップは続行できません。同じコードで指定されている次のボリュームが処理されます。FastBackMount コマンドの出力に、失敗の理由が示されます。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。FastBack ボリュームに対する FastBack コマンドを発行して、失敗の理

由を判別してください。詳しくは、そのメッセージの資料を参照してください。

ANS7916E FastBack 環境の初期化に失敗しました。
RC=rc

説明: FastBack 環境の初期化に失敗しました。
FastBackShell.exe コマンドが見つかりません。
FastBackShell または FastBackMount がインストールされていないか、FastBackShell.exe コマンドが FastBack インストール・ディレクトリー内に見つかりません。

システムの処置: バックアップを続行できません。
FastBack コマンドの出力に、失敗の理由が示されます。

ユーザーの処置: FastBack コマンドを発行して、失敗の理由を判別してください。詳しくは、そのメッセージの資料を参照してください。FastBackShell および FastBackMount は、バックアップ・プロキシ・コンピュータにインストールする必要があります。

ANS7917E 入力されたポリシー、クライアント、およびボリュームの組み合わせに該当する **FastBack** スナップショットが見つかりませんでした。

説明: fbClientName オプションの処理に失敗しました。

システムの処置: バックアップを続行できません。

ユーザーの処置: FBClientName オプション値にエラーがないか確認してください。詳しくは、FBClientName オプションの資料を参照してください。

ANS7918E FastBack クライアントの「vmname」ボリュームについて、マウント済みボリュームを検出できません。**RC=rc** により失敗しました。

説明: FastBack クライアント・ボリュームを検出できません。バックアップ・プロキシ・コンピュータに使用可能なボリューム・マウント・ポイントがありません。

システムの処置: この FastBack クライアントのバックアップは続行できません。リスト内の次の FastBack クライアントが処理されます。FastBackMount コマンドの出力に、失敗の理由が示されます。

ユーザーの処置: FastBack クライアント・ボリュームに対して fastbackshell mount add コマンドを発行して、失敗の理由を判別してください。詳しくは、そのメッセージの資料を参照してください。

ANS7919E 暗号化パスワードファイルから、ホスト *host* のパスワードを読み取ることができませんでした。

説明: 暗号化パスワードを保存するには、dsmc SET PASSWORD -type=FastBack 'FastBack hostname' 'userid' 'password' を使用します。

システムの処置: バックアップを続行できません。

ユーザーの処置: 暗号化パスワードを保存するには、dsmc SET PASSWORD -type=FastBack 'FastBack hostname' 'userid' 'password' を使用します。

ANS7936E *objType objName* は、ダンプの中に見つかりませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーが FastBack Dump コマンドで指定されたオブジェクトを検出することができませんでした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現在のオブジェクトをスキップします。

ユーザーの処置: この FastBack ボリューム、クライアント、およびポリシーに少なくとも 1 つのスナップショットが含まれるようにしてください。入力として、必ず正しいオブジェクトを指定してください。

ANS7937E 入力 *objType1 objType2* に対するダンプで、*objType* が見つかりませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーは、指定されたポリシーに対するクライアントを検出ませんでした。IBM Spectrum Protect サーバーは、指定された FastBack クライアントに対するボリュームを検出ませんでした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現在のオブジェクトをスキップします。

ユーザーの処置: この FastBack ボリューム、クライアント、およびポリシーに少なくとも 1 つのスナップショットが含まれるようにしてください。入力として、必ず正しいオブジェクトを指定してください。

ANS7938E FastBack ボリューム「*volName*」を取り外せません。**RC = rc**

説明: IBM Spectrum Protect の取り外しに失敗しました。

システムの処置:

ユーザーの処置:

ANS7939E 無効な **FastBack** ボリュームが指定されました。

説明: **FastBack** ボリューム名を入力する前に、「-fbclientname=」オプションを使用して **FastBack** クライアントを少なくとも 1 つ入力する必要があります。

システムの処置:

ユーザーの処置: **FastBack** ボリューム名を入力する場合は、「-fbclientname=」オプションを使用して **FastBack** クライアント名を少なくとも 1 つ入力してください。

ANS7940W **SUBDIR NO** は、このコンテキストでは無効です。**FastBack** コマンドの場合、**SUBDIR** は強制的に **YES** に設定されます。

説明: **FastBack** を使用する場合、ボリューム全体を確実に処理するために、**SUBDIR** は強制的に **YES** に設定されます。

システムの処置: **SUBDIR** は、強制的に **YES** に設定されます。

ユーザーの処置: このメッセージが出ないようにするには、このコマンドで **SUBDIR NO** を使用しないでください。

ANS7941E **FastBack** のリポジトリ名が無効であるか、*hostname* のパスワード・ファイル項目にドメインが設定されていません。

説明: IBM Spectrum Protect **FastBack** リポジトリ名が無効であるか、リポジトリの **REP** フォームを指定する時点でパスワード・ファイルにドメインが設定されていませんでした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: コマンド `dsmc set password server userid:domain password -type=fastback` を発行してください。

ANS7942E **FastBack** *objName* オブジェクトの最大数を超えました。

説明: IBM Spectrum Protect メッセージに示されている **FastBack** オブジェクトの最大数を超えました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: 示されているオブジェクト最大数を超えない値を指定して、コマンドを再実行してください。

ANS7943E *objName* と *objName* の組み合わせは無効です。

説明: IBM Spectrum Protect 指定されたオプションの組み合わせは無効です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: 両立するオプションのセットを指定して、コマンドを再実行してください。

ANS7944W 指定された **FastBack** クライアントの数 *client* が、検出された **FastBack** クライアントの数 *client* より大きい値です。

説明: IBM Spectrum Protect 指定された **FastBack** クライアントのうち、1 つ以上のクライアントが検出されませんでした。該当のクライアント名が示されているメッセージ **ANS7936E** を探してください。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: 指定されたクライアントの名前を訂正してください。

ANS7945W 指定された **FastBack** ポリシーの数 *policy* が、検出された **FastBack** ポリシーの数 *policy* より大きい値です。

説明: IBM Spectrum Protect 指定された **FastBack** ポリシーのうち、1 つ以上のポリシーが検出されませんでした。該当のポリシー名が示されているメッセージ **ANS7936E** を探してください。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: 指定されたポリシーの名前を訂正してください。

ANS7946E **FastBack** シェル・コマンド **timeout.SSH Keys** が、パスワード不要に構成されていない可能性があります。

説明: IBM Spectrum Protect **FastBack** シェル・コマンドはタイムアウトになります。SSH が正しく構成されていない可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: SSH 構成を訂正してください。

ANS7947E **root** ユーザーの **.ssh** ディレクトリが見つかりませんでした。**SSH** が正しく構成されていません。

説明: IBM Spectrum Protect SSH が **root** ユーザー用に正しく構成されていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: SSH 構成を訂正してください。

ANS7948E FastBack サーバーの公開鍵が見つかりませんでした。**SSH** の公開鍵は正しく構成されています。

説明: IBM Spectrum Protect SSH の公開鍵が root ユーザー用に正しく構成されていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: SSH 構成を訂正してください。

ANS7949E FastBack サーバーへの接続に失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect FastBack サーバーへの接続に失敗しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: ターゲット・マシン上の FastBack サーバーが正常に稼働していることを確認してください。

ANS7950E FastBack サーバーがターゲット・マシンにインストールされていません。

説明: IBM Spectrum Protect FastBack サーバーがターゲット・マシンにインストールされていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: ターゲット・マシンに FastBack サーバーをインストールするか、別のターゲット・マシンを指定してください。

ANS7951E ターゲット・マシン上の **FastBackShell** で、メッセージ *errmsg* が戻されました。

説明: IBM Spectrum Protect ターゲット・マシン上の FastBackShell に対して発行したコマンドで、エラーが発生しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: *commandr* に指定したオプションを訂正してください。

ANS7952E FastBack サポートに必要なパッケージ *package* がインストールされていません。

説明: IBM Spectrum Protect 必要なパッケージがインストールされていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: 必要なパッケージをインストールして構成してください。

ANS7953E FastBack シェル・スクリプトが予期しないエラー *error* を返しました。

説明: IBM Spectrum Protect FastBack シェル・スクリプトが予期しないエラーを返しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

ANS7954E SSH 接続が失敗しました。ターゲット・マシン上で、**SSH** デーモンが開始されていないか、または構成されていない可能性があります。

説明: IBM Spectrum Protect SSH デーモンが正しく構成されていることを確認してください。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

ANS7955E cygdrive-prefix が正しく設定されていません。

説明: IBM Spectrum Protect *cygdrive-prefix* が *ssh cygwin* 環境で / に設定されていることを確認します。コマンド *mount -s --change-cygdrive-prefix /* を使用すると、ドライブの接頭部を正しく設定できます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

ANS7956E cygwin シェル・コマンドを実行できません。**cygwin** 環境が正しくない可能性があります。

説明: IBM Spectrum Protect *ssh* を使用して *cygwin* シェルに接続し、*cygwin* 環境と *cygdrive* が正しく構成されていることを確認します。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

ANS7957E レジストリー内で **FastBackShell** ロケーションを発見できません。

説明: IBM Spectrum Protect Windows FastBack サーバー・マシンに FastBackShell がインストールされていることを検査します。

システムの処置: IBM Spectrum Protect

ユーザーの処置: エラーを訂正してください。

ANS8000I サーバー・コマンド: '*command*'。

説明: 指定されたコマンドをサーバーに送信中です。
このメッセージが表示されるのは、コマンドがマクロから作成されるときか、あるいはクライアントがバッチ・モードで稼働しているときです。

システムの処置: コマンドは、処理のためにサーバーに送られます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS8001I 戻りコード *return code value*。

説明: 示されているエラーは、先行のサーバー・コマンドから戻されました。このメッセージの前には、エラー・コードの理由を説明しているサーバー・メッセージがあります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS8002I 最高の戻りコードは *return code value* でした。

説明: クライアントからの出口ルーチンで、セッションが表示されている間に、最も高い戻りコードが検出されました。

システムの処置: この値はプログラム出口ルーチン・コードとして使用されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS8003I プロセス番号 *process ID* が開始されました。

説明: 先行のサーバー・コマンドの結果として、ID が示されている処理がコマンドの実行を開始します。処理は、QUERY PROCESS コマンドを使用してモニターされます。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS8004W ご使用のパスワードは、*daysRemaining* 日以内に期限切れになります。

説明: この ID のパスワードは、間もなく期限切れになります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect サーバーにログオンすることはできますが、パスワードが期限切れになると ID がロックアウトされます。

ユーザーの処置: パスワードを変更するか、IBM

Spectrum Protect 管理者に連絡してパスワードの更新を依頼してください。

ANS8005E Java アプレットのロードに失敗しました。このブラウザーに **Java** *Java version* プラグインがインストールされていることを確認してください。

説明: Java プラグインがブラウザーから欠落しています。プラグインがないため、アプレットはロードできません。

システムの処置: アプレットはロードすることができず、メッセージが表示されます。

ユーザーの処置: Web クライアントを使用するためには、ブラウザー用の適切なプラグインをインストールしてください。

ANS8006E 受け入れ可能なパスワードを生成できません。

説明: 生成されたパスワードを使用したパスワード更新の試行中にエラーが発生しました。

システムの処置: サーバーのパスワードは更新されません。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS8007E ユーザーは **LDAP** 認証の実行を許可されていません。

説明: ノードは LDAP 認証を使用します。
PASSWORDACCESS オプションは GENERATE に設定されていますが、現行ユーザーは認証を行うために、保管済みのパスワードにアクセスできません。

システムの処置: 操作が停止しました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect クライアントを root ユーザーとして実行するか、PASSWORDACCESS を PROMPT に設定してください。

ANS8008W 出力を宛先変更するリダイレクト・インサイド・マクロは無視されます。

説明: 出力リダイレクト記号がマクロ内で検出されました。しかし、マクロ自体 (または、より高いレベルのマクロ) の出力が既にリダイレクトされています。

システムの処置: リダイレクト要求は無視されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS8010E ファイルのバックアップまたはアーカイブの試みが、再試行の最大回数を超えました。

説明: ファイルのバックアップまたはアーカイブの試みが 5 回失敗した後、クライアントはサーバーにファイルを送信しなくなります。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: 追加情報についてはコンソールまたはスケジュール・ログを調べてください。後に操作を再試行します。

ANS8011W *peer name* からの、LDAP 認証を使用するサーバー開始セッションが拒否されました。

説明: クライアントは、セキュリティ確保のため、LDAP 認証を使用するサーバーからのサーバー開始セッションを受け入れません。

システムの処置: クライアント/サーバー・セッションはオープンされず、スケジュールは実行されません。スケジューラーは、引き続き LOCAL 認証を使用するサーバーからの接続を待機します。

ユーザーの処置: クライアント・システムが、開始側 IBM Spectrum Protect サーバーからのスケジュールされたイベントを受け入れることになっている場合は、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に LOCAL 認証を使用するノードを構成するように依頼するか、サーバー開始セッションを使用しないでください。クライアント・システムが開始側サーバーからのスケジュール・イベントを受け入れることになっていない場合は、IBM Spectrum Protect サーバー管理者に開始側サーバー上のスケジュールからクライアント・ノード名を除去するように依頼してください。

ANS8012E オプション処理ストレージが使い尽くされました。

説明: クライアント・オプション・ファイルの処理中に、クライアントのメモリーが不足しています。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: 使用できるメモリーを増やして、管理可能クライアントを再始動してください。

ANS8013I 無効な暗号鍵のパスワード

説明: 入力されたキーはファイルのバックアップ中に暗号化するために使用されたキーと一致しません。一致

するキーが入力されないと、ファイルをリストアできません。

システムの処置: ユーザーは暗号鍵のパスワードの入力を求められます。

ユーザーの処置: 正しい暗号鍵パスワードを入力してください。

ANS8014E ホストに接続するには情報が不足しています。

説明: クライアント・オプション・ファイルまたはコマンド・ライン、あるいは両方にサーバー・システムに正常に接続するために十分な通信情報が含まれていません。例えば、TCP/IP で TCPPort 番号および TCPServer アドレスの両方が接続を行うのに必要です。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: ご使用になっている通信方式用の接続を確立するにはどの情報が必要かを判別し、クライアント・オプション・ファイル内または管理可能クライアントのコマンド・ライン上で、すべての情報を指定してください。

ANS8015E オプション処理時のファイル '*file spec*', エラー・コード *error code*。

説明: クライアント・オプション・ファイルを処理するルーチンから不明のエラー・コードが戻されています。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: エラーの判別を試み、それを訂正してください。それでも問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

ANS8016E コマンド・ライン・パラメーター *parameter number: 'parameter'* が長すぎます。

説明: 指定されたコマンド・ライン・パラメーターは、コマンド・ライン・パラメーターの最大長を超えています。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: パラメーターを短くしてコマンドを再発行してください。

ANS8017E コマンド・ライン・パラメーター

parameter number: 'parameter' が有効ではありません。

説明: 示されているコマンド・ライン・パラメーターが有効な管理可能クライアント・パラメーターではありません。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: 有効なパラメーターでコマンドを再発行してください。

ANS8018E 管理コマンドはコンソール・モードでは無効です。

説明: コンソール・モード・オプションが指定されましたが、クライアントは、コマンド・ラインにサーバー・コマンドとみられるものを検出しています。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: サーバー・コマンドなしでコマンドを再発行してください。

ANS8019E ID とパスワードはバッチ・モードで提供しなければなりません。

説明: サーバー・コマンドがコマンド・ラインで検出されましたが、管理担当者 ID またはパスワード、あるいは両方が指定されていません。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: コマンドを再発行し、コマンド・ラインには -ID および -PASSWORD の各パラメーターを組み入れてください。

ANS8020E ファイル '*file spec*' を出力用にオープンすることができません。

説明: -OUTFILE オプション内に指定されたファイル名をオープンすることができません。

システムの処置: -OUTFILE パラメーターは無視されます。

ユーザーの処置: 処理が継続するのを認めるか、あるいはセッションを終了してファイル名を訂正してください。

ANS8021E 出力ファイル・エラーのためバッチ・モード・セッションを終了します。

説明: -OUTFILE パラメーター内に指定されたファイルをバッチ・モードで稼働しているセッション用にはオープンすることができません。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: 有効な出力ファイル名でコマンドを再発行するか、あるいは出力ファイルのためにスペースが利用できるようにしてください。

ANS8022E 出力は **STDOUT** にのみ書き込まれます。

説明: -OUTFILE パラメーター内に指定されたファイルはオープンできないため、出力は標準出力ストリームにのみ書き込まれます。

システムの処置: 出力ファイルに書き込まれた出力は、標準出力ファイルに書き込まれます。

ユーザーの処置: 処理が継続するのを認めるか、あるいはセッションを終了してファイル名を訂正してください。

ANS8023E サーバーとのセッションを確立することができません。

説明: 管理可能クライアントが、要求されたサーバーとのセッションを開始することができません。このメッセージの前には、エラー・コードの理由を説明している別のメッセージがあります。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: エラーの訂正を試みてください。それでも問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

ANS8024E 継続コマンド・ラインの後にマクロの終わりが来ています。

説明: 継続行を含むマクロが実行されましたが、マクロ・ファイルにはこれ以上の行がありません。

システムの処置: 継続したコマンドは無視され、エラー戻りコードがマクロ用に設定されます。

ユーザーの処置: エラーのマクロを修正してください。

ANS8025E コマンド入力を読み取り時の I/O エラー。

説明: クライアントは、端末から入力コマンドを読み取ることができません。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: 端末に関する問題を訂正して管理用セッションを再試行してください。

ANS8026E 入力行が最大長 *max length* 文字より長くなっています。継続を使用してください。

説明: 入力コマンド・ラインが、許可されている最大入力行より長くなっています。

システムの処置: 入力コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 継続文字を使用して、複数の行でコマンドを再発行してください。

ANS8027E コマンド内の注釈が終了していません。

説明: 入力コマンド内に、注釈開始記号があるのに、注釈終了文字がありません。

システムの処置: 入力コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 一致する注釈記号でコマンドを再発行してください。

ANS8028E コマンドが最大長 *max length* 文字より長くなっています。

説明: 許可されている最大コマンド長より長い入力コマンドが入力されました。

システムの処置: 入力コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 文字数を減らしてコマンドを再発行してください。これは、一連の空白が繰り返されている場合に単一の空白で置き換えることを意味する場合があります。

ANS8029E マクロ処理は停止しました。

説明: -ITEMCOMMIT オプションがコマンド・ラインに指定されていないために、マクロの処理中にエラーが発生します。このマクロおよびより高いレベルのマクロの処理が終了します。

システムの処置: すべての現行のマクロの処理は終了します。

ユーザーの処置: サーバーがマクロの中でそれぞれのコマンドを個別にコミットしていることを確認するため

に、コマンド・ラインに -ITEMCOMMIT オプションを指定してください。

ANS8030E 置換コマンドが最大長 *max length* 文字を超えています。

説明: 変数の代入後、入力コマンドが許容最大コマンド長を超えています。

システムの処置: 入力コマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 文字数を減らしてコマンドを再発行してください。これは、一連の反復空白を単一空白に置換する必要がある場合があります。

ANS8031E 実行するマクロの名前が欠落しています。

説明: マクロ名のないマクロ・コマンドが検出されています。

システムの処置: コマンドは、無視されます。

ユーザーの処置: マクロ・ファイル名とともにマクロ・コマンドを再発行してください。

ANS8032E マクロ '*file spec*' を処理するためにストレージを割り当てできませんでした。

説明: クライアントが、示されているマクロを処理するための十分なメモリーを割り振ることができません。

システムの処置: マクロは無視され、エラーが戻されます。

ユーザーの処置: クライアントに使用できるメモリーを増やし、マクロ・コマンドを再試行してください。

ANS8033E LDAP 認証は Web クライアントではサポートされていません。

説明: 入力された ID は LDAP 認証を使用します。LDAP 認証は Web クライアントではサポートされていません。

システムの処置: ログインが失敗しました。

ユーザーの処置: LOCAL 認証を使う ID を使用してください。

ANS8034E ユーザーの管理者 ID は、このサーバーでは認識されません。

説明: 入力された管理者 ID が要求されたサーバーには知られていません。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: 接続しているサーバー用に登録された

管理者 ID を使用していることを確かめます。

ANS8036E 管理コマンドはマウント・モードでは無効です。

説明: マウント・モード・オプションが指定されましたが、クライアントはコマンド・ラインでサーバー・コマンドと思われるものを検出しています。

システムの処置: 管理可能クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: サーバー・コマンドなしでコマンドを再発行してください。

ANS8037E リダイレクト・ファイルの名前が欠落しています。

説明: 出力リダイレクト記号を含むコマンドが入力されますが、出力ファイル名がありません。

システムの処置: コマンドは無視され、エラーが戻されます。

ユーザーの処置: 出力ファイル名を付けてコマンドを再発行してください。

ANS8038E ファイル '*file spec*' をリダイレクト用にオープンすることができません。

説明: 出力リダイレクト・ファイルを指定するコマンドが入力されましたが、ファイルをオープンすることができません。

システムの処置: コマンドは無視され、エラーが戻されます。

ユーザーの処置: 有効な出力ファイル名でコマンドを再発行するか、あるいは出力ファイルのためにスペースが利用できるようにしてください。

ANS8041E サーバー接続は失われており、再確立することができません。

説明: 管理クライアント・セッション中に、クライアントは、サーバーとの接続が切断されたことを発見しました。接続を再確立しようとする試みが失敗します。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: 失敗の原因を判別してから、少し時間をおいてセッションを再始動してください。それでも問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

ANS8045E 通信エラー。

説明: 管理クライアント・セッション中に、予期しない通信エラーが発生しています。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: クライアントとサーバー間の通信が活動化していることを検証してください。サーバーの停止、プロセッサの停止、および通信コントローラーの停止が、このエラーの原因となります。

ANS8046E サーバーとのクライアント接続が、予期しないエラーのために終了しました。

説明: エラー・ログに、このエラーに関連する他のメッセージが含まれている可能性があります。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: クライアントとサーバーの通信リンクをチェックして、操作可能になっていることを確認してください。クライアント・エラー・ログに、このエラーに関連している追加のメッセージがないか確認してください。

ANS8047E サーバーとのクライアント接続が、通信バッファー・オーバーフローのために終了しました。

説明: エラー・ログに、このエラーに関連する他のメッセージが含まれている可能性があります。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。クライアントとサーバーの通信リンクをチェックして、操作可能になっていることを確認してください。クライアント・エラー・ログに、このエラーに関連している追加のメッセージがないか確認してください。

ANS8048W 警告！Linux ファイル・システム '*src*' を代替の宛先 '*dest*' にイメージ・リストアすることは推奨されません。これを行うことで、**UUID** が重複し、リストアが正常に完了した後にマウントに失敗する可能性があるためです。

説明: Linux ファイル・システムを代替の宛先にイメージ・リストアすると、**UUID** が重複し、リストアが正常に完了した後にマウントに失敗する可能性があります。Linux では、一部のファイル・システムは、**UUID** を使用して自身を識別します。そのようなボリュウムの

イメージ・バックアップを取得し、それを別の場所にリストアすると、同じ UUID を持つ 2 つのボリュームが存在することになります。/etc/fstab で UUID を使用してファイル・システムを定義している場合、リストアされたファイル・システムを IBM Spectrum Protect が正しくマウントできない可能性があるので注意してください。このような状態を回避するには、イメージを元の場所にリストアしてください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 代替の宛先にイメージ・リストアを実行することが回避できない、あるいは回避することが望ましくない場合は、元のボリュームまたはリストアするボリュームのいずれかの UUID を変更してください。この手順については、Linux の資料を参照してください。元のボリューム、リストアしたボリューム、またはその両方をマウントできるようにするには、/etc/fstab を手動で編集する必要がある場合もあります。

ANS8049E サーバーとの接続が通信タイムアウトのために確立できません。

説明: エラー・ログに、このエラーに関連する他のメッセージが含まれている可能性があります。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: クライアントとサーバーの通信リンクをチェックして、操作可能になっていることを確認してください。クライアント・エラー・ログに、このエラーに関連している追加のメッセージがないか確認してください。

ANS8050E **IBM Spectrum Protect** サーバーはクライアント・ポートの管理用セッションを受け入れていません。

管理用セッションに指定されているポート番号を使用する必要があります。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーは、クライアント TCP/IP ポートでの管理用セッションを禁止するように構成されています。管理用セッションで使用するために別のポート番号が指定されています。

システムの処置: 管理担当者用セッションは確立されていません。

ユーザーの処置: TCPADMINPORT クライアント・オプションを使用して、管理用セッションで IBM Spectrum Protect サーバーが使用する TCP/IP ポート番号を指定してください。正しいポート番号が不明の場合は、IBM Spectrum Protect サーバー管理者にお尋ねください。

ANS8052E ファイル 'filespace namepath-namefile-name' を暗号化解除できません。

.... このファイルの個別のリストアを試行してください。

説明: ファイルが暗号化解除およびリストアできませんでした。

システムの処置: ファイルはリストアされません。

ユーザーの処置: ファイルを別途リストアしてください。

ANS8053E ネットワークにアクセスできません。

説明: エラー・ログに、このエラーに関連する他のメッセージが含まれている可能性があります。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: クライアントとサーバーの通信リンクをチェックして、操作可能になっていることを確認してください。クライアント・エラー・ログに、このエラーに関連している追加のメッセージがないか確認してください。操作を再試行してください。

ANS8054E サービス要求にはメモリーが使用できません。

説明: 十分なサーバー・メモリーが使用可能ではありません。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: 管理クライアント・セッションを再試行してください。それでも問題が解決されない場合には、サービス担当員に連絡してください。

ANS8055E サーバーには、この操作を実行するための十分なリソースがありません。

説明: サーバーはリソースを使い果たしました。ストレージが不足しているか他の問題があるために、新規活動は実行できません。サーバー・アクティビティ・ログに、この問題に関する追加情報が含まれることがあります。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者は IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティ・ログを調べて、リソース制約の原因を判断する必要があります。サーバーの負荷が低下してから操作を再試行してください。

ANS8056E ユーザーの管理者 ID がロックされています。

説明: 管理者 ID がシステム管理者によってロックされたため、使用することができません。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡して、ID をアンロックします。

ANS8057E 要求された言語ファイルが使用できません。

説明: 指定された言語用の NLS リポジトリが使用できません。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: 別の言語を使用するか、あるいは希望する言語用の NLS リポジトリのコピーを入手します。

ANS8058E 指定されたパスは **Linux Btrfs** サブボリュームを示し、イメージ・バックアップには無効です。

説明: **Linux Btrfs** サブボリュームは、イメージ・バックアップではサポートされていません。

システムの処置: イメージ・バックアップ操作は実行されません。

ユーザーの処置: 有効な **Linux Btrfs** ファイル・システムを使用して、操作を再試行してください。

ANS8060E ファイル '*VHDX file name*' の検証でエラーが発生しました。

説明: **IBM Spectrum Protect** がファイルを見つけることができなかったか、ファイル・フォーマットが無効です。

システムの処置: バックアップ操作は開始されません。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が解決できない場合、エラー・ログ・ファイルでこの問題の解決方法に関する情報を確認します。

ANS8061E セッションは拒否されました。サーバーは **Unicode** 対応の管理可能クライアントとしてサインオンできません。

説明: ユニコードはサーバーとクライアント間で不一致をきたすので、管理可能クライアントはサーバーとの接

続を確立することができません。

システムの処置: クライアント・セッションは終了します。

ユーザーの処置: 別の管理可能クライアントまたはサーバー・コンソールから新しい管理者を登録し、新しい管理者 ID でサインオンします。

ANS8062E **IBM Spectrum Protect** サーバー認証がオフになっている場合は、クライアント間通信を実行できません。

説明: クライアント間通信では、**IBM Spectrum Protect** 認証が使用可能になっている必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **Set AUthentication ON** コマンドを使用して、**IBM Spectrum Protect** サーバー認証をオンにしてください。

ANS8063E ノード '*name*' に関連付けられているリモートの **IBM Spectrum Protect** クライアント・アクセプターが **IBM Spectrum Protect** サーバーとの認証に失敗しました。

説明: 一部の **IBM Spectrum Protect** クライアント操作では、バックアップ・アーカイブ・クライアントがリモート・マシン上のクライアントと通信する必要があります。問題のリモート・マシンが **IBM Spectrum Protect** サーバーとの認証を行うことができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: リモート・マシンで、クライアント・アクセプターの新しい **IBM Spectrum Protect** パスワードを作成するか、現行のパスワードがまだ有効であるか確認してから、操作を再試行してください。

ANS8064E 通信タイムアウト。 コマンドを再発行してください。

説明: サーバーからの通信タイムアウトのため、サーバーとの接続は終了します。

システムの処置: サーバーはコマンドを処理しません。

ユーザーの処置: コマンドを再発行してください。 必要なら、サーバー・オプション・ファイルの中の **IDLETIMEOUT** と **COMMTIMEOUT** オプションの値を増やしてください。

ANS8103W コマンドは正常終了しませんでした。
コマンド : *command*

IBM Spectrum Protect 機能名 :
function-name

エラー出力 : *error-output*

戻りコード : *return code*

IBM Spectrum Protect ファイル :
file-name (line-number)

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは外部プログラムを呼び出しましたが、失敗しました。

システムの処置: 状況によっては、この失敗が、この後の処理の妨げになることがあります。

ユーザーの処置: エラー・ログ内の追加情報を確認してください。トラブルシューティングまたは IBM Spectrum Protect サポートへの連絡時に、このメッセージに示されている情報を使用してください。

ANS8104W ファイル・システム '*file-system name*' の EFS 状況を判別できません。
errno='*error number*'. 正常にデータを処理します。

説明: IBM Spectrum Protect は、指定されたファイル・システムの EFS 状況を判別できません。このファイル・システム上のファイルに対して、EFS 特定の処理は行われません。このファイル・システムで EFS が確かに使用可能になっている場合は、アクセス可能なファイルはすべて平文でバックアップされます。

システムの処置: このファイル・システムは、通常のファイル・システムとして処理されます。

ユーザーの処置: メッセージで報告されているエラーの原因を判別するには、システム管理者にお問い合わせください。

ANS8105W ボリューム '*filespace-name*' のスナップショットを除去できません。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、イメージ・バックアップに使用されるスナップショットを除去できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: エラー・ログで追加情報を参照してください。 *lvdisplay* コマンドを使用してアクティブ・スナップショットを表示し、*lvremove* コマンドを使用して手動でスナップショットを除去してください。

ANS8106E このノードでは複数の **IBM Spectrum Protect** サーバーのサポートが可能です。
このコマンドにはサーバー名を指定する必要があります。

説明: ノードで複数の IBM Spectrum Protect サーバーのサポートが使用可能な場合は、コマンドに有効な IBM Spectrum Protect サーバー名を指定する必要があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: このコマンドに有効なサーバー名を指定してください。

ANS8201E **Windows Hyper-V** 増分バックアップでは、**Windows 2012** 以降が必要です。

説明: IBM Spectrum Protect は、Windows Server 2012 以降の Windows オペレーティング・システム上でのみ Windows Hyper-V の増分バックアップを実行することができます。増分バックアップは、以前のバージョンの Windows では実行できません。

システムの処置: 増分バックアップは行われません。

ユーザーの処置: Windows Hyper-V の増分バックアップにアクセスするには、オペレーティング・システムを Windows Server 2012 以降にアップグレードしてください。あるいは、以前のバージョンの Windows では「定期的なフル - フル」バックアップが使用可能です。

ANS8503I パターンに一致するオプションは見つかりません: '*pattern*'。

説明: サポートされるオプションの名前のいずれにも一致しないパターンを指定しました。

システムの処置: このメッセージは、単なる照会に対する応答です。

ユーザーの処置: 異なるパターンを指定するか、パターンを省略してすべてのオプションを表示させてください。

ANS8563E 再呼び出しモードに無効な値が指定されています: *invalidValue*。

説明: システム上で使用可能にしようとしている再呼び出しモードは存在していません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 再呼び出しオプションの値を確認してください。

ANS8565W *ProgramName*: 再呼び出し ID のリストがキューで検出されませんでした。これらの再呼び出しはすでに終了しています。

説明: プログラムは、再呼び出し ID を検出できないため、それらのプロセスを削除できません。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 再呼び出し ID が損座視しており、それらが正しいことを確認してください。

ANS8778E ブラウザー・プログラムが見つからないか、始動できません。
コマンド
command
の実行中にエラーが発生しました。ご使用のローカル・マシンにブラウザーがインストールされており、正常に動作することを確認してください。

説明: ブラウザー・プログラムが見つからないために、IBM Spectrum Protect Web サイトおよびオンライン文書にアクセスできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はユーザー要求の処理を続行します。

ユーザーの処置: Windows プラットフォームの場合は、デフォルトのシステム・ブラウザーが使用されます。ご使用のマシンにブラウザーがインストールされていることを確認してください。

ANS8779E ブラウザー・プログラムが見つからないか、始動できません。
次のブラウザーのいずれかが必要です。
browser-list
ご使用のローカル・マシンにこれらのブラウザーの 1 つがインストールされており、正常に動作することを確認してください。

説明: ブラウザー・プログラムが見つからないために、IBM Spectrum Protect Web サイトおよびオンライン文書にアクセスできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はユーザー要求の処理を続行します。

ユーザーの処置: UNIX プラットフォームの場合は、サポートされるブラウザーのリストが README に記載されています。IBM Spectrum Protect Web サイトおよびオンライン文書にアクセスするために必要なブラウザーをインストールしてください。

ANS8780E ブラウザー・プログラムが見つからないか、始動できません。
詳細については、ローカル・マシンの '*file-name*' ファイルを確認してください。

説明: ブラウザー・プログラムを検出できないために、Web サイトまたはオンライン文書にアクセスできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はユーザー要求の処理を続行します。

ユーザーの処置: Web サイトまたはオンライン文書にアクセスするためのブラウザーをインストールしてください。

ANS8809E LD_LIBRARY_PATH が設定されていないか、誤って設定されています。
LD_LIBRARY_PATH 環境変数にインストール・ディレクトリー *path name* が含まれていることを確認してください。

説明: LD_LIBRARY_PATH を設定し、それにインストール・ディレクトリー・パスを含める必要があります。

システムの処置: VMware バックアップまたはリストア操作は失敗します。

ユーザーの処置: LD_LIBRARY_PATH を設定し、それにバックアップ・アーカイブ・クライアントのインストール・ディレクトリーを含めてください。

ANS8810E LD_LIBRARY_PATH が設定されていないか、誤って設定されています。
LD_LIBRARY_PATH 環境変数にインストール・ディレクトリーが含まれていることを確認してください。

説明: LD_LIBRARY_PATH を設定し、それにインストール・ディレクトリー・パスを含める必要があります。

システムの処置: VMware バックアップまたはリストア操作は失敗します。

ユーザーの処置: LD_LIBRARY_PATH を設定し、それにバックアップ・アーカイブ・クライアントのインストール・ディレクトリーを含めてください。

ANS8811E ハードウェア・プラグイン製品 TIVsm-BAhdw がインストールおよびロードされると、VMware 操作を実行できません。ハードウェア・プラグイン製品 TIVsm-BAhdw をアンインストールするか、ハードウェア・プラグインがロードされないようにオプション・ファイルでオプ

ション **DONTLOAD PIHDW** を設定してください。

説明: VMware 操作は、ハードウェア・プラグイン製品ライブラリーと両立しません。

システムの処置: VMware バックアップまたはリストア操作は失敗します。

ユーザーの処置: ハードウェア・プラグイン製品 TIVsm-BAhdw をアンインストールするか、ハードウェア・プラグインがロードされないようにオプション **DONTLOAD PIHDW** を設定します。

ANS8818E 変更内容を適用しようとしてエラーが発生しました。
変更内容はシステムに適用されませんでした。
システム管理者に連絡してください。

説明: 変更内容を適用しようとしてエラーが発生しました。

システムの処置: ユーザーの変更内容は適用されません。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してください。

ANS8819E 次のトレース・フラグ *trace-flag-list* は無効です。
続行する前に、オプションを訂正してください。

説明: 1 つ以上のトレース・フラグが無効です。

システムの処置: トレース・フラグを訂正するようプロンプトが出されます。

ユーザーの処置: 誤りのあるトレース・フラグを訂正してください。

ANS8830W *file-system-name* ファイル・システムのサーバー名スタンザ (**HSM-stanza** および **BA-stanza**) が、スペース管理用とバックアップ/アーカイブ用で異なっています。

説明: スペース管理 (HSM) クライアントとバックアップ/アーカイブ (BA) クライアントに指定されたサーバー名スタンザが異なっています。インライン・バックアップ機能とスタブ・リストア機能は、このファイル・システムには利用できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: このファイル・システム用にインライン・バックアップとスタブ・リストアを許可するには、**MIGRATESERVER** および **DEFAULTSERVER** オプションは **dsm.sys** に同じ **SERVERNAME** スタンザを指

定する必要があります。また、**dsm.opt** またはコマンド・ラインで **SERVERNAME** オプションを使用してサーバー・スタンザ名を提供することを選択することもできます。いずれの場合も、スタンザ名は、**MIGRATESERVER** オプションで指定されたスタンザに一致する必要があります。

ANS8939E ディレクトリー・ツリーをフィルタリングしようとして予期しないエラーが発生しました。

rc=return-code

説明: このフィルターはディレクトリー・ツリーに適用されませんでした。

システムの処置: ディレクトリー・ツリーはフィルタリングされません。

ユーザーの処置: さらに援助が必要な場合には、システム管理者に連絡してください。

ANS8946E **RPC** 呼び出しに失敗しました。

説明: 受信側再呼び出しデーモンに接続できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していないか、再呼び出しデーモンが開始されていません。

ANS9005W *program name:* 無効な '*parameter name*'
値: *value* ([*minimum value* から *maximum value*] までの値にしてください)。

説明: プログラムが、ファイル・システムのスペース管理構成に無効なパラメーターを見つけました。

システムの処置: パラメーター値は拒否されました。

ユーザーの処置: 示された値を手動で設定しようとしていた場合、代わりに指定された範囲から値を選択してください。値がファイル・システムのスペース管理構成ファイル (場所: [fs]/.SpaceMan/hsmfsconfig.xml) から読み取られている場合、それに応じてファイルを編集します。ファイル・システムの名前は、後続のエラー・メッセージから判別できます。

ANS9007W *program name:* 無効な '*parameter name*'
値: *value* ([*minimum value* から *maximum value*] までの値にしてください)。

説明: プログラムが、ファイル・システムのスペース管理構成に無効なパラメーターを見つけました。

システムの処置: パラメーター値は拒否されました。

ユーザーの処置: 示された値を手動で設定しようとしていた場合、代わりに指定された範囲から値を選択してく

ださい。値がファイル・システムのスペース管理構成ファイル (場所: [fs]/.SpaceMan/hsmfsconfig.xml) から読み取られている場合、それに応じてファイルを編集します。ファイル・システムの名前は、後続のエラー・メッセージから判別できます。

ANS9008W 圧縮が使用可能になっています。ファイル *file-name* の再呼び出しモードを部分に設定できません。

説明: IBM Spectrum Protect は、ファイル属性を圧縮解除されたマイグレーション済みファイルにのみ設定することができます。このファイルは、圧縮が有効な状態でマイグレーション済みです。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイル属性を設定しません。

ユーザーの処置: ファイルを常駐の状態で作成し、圧縮を使用不可にし、ファイルを再びマイグレーションします。操作を再試行してください。

ANS9009E *program name: 'filesystem'* について無効なスペース管理構成を見つけました。

説明: プログラムは、指定されたファイル・システムについて無効なスペース管理構成を見つけました。

システムの処置: 指定されたファイル・システムに関するスペース管理構成は拒否されました。既存の構成の更新では、設定する無効な構成は無視されます。永続構成ファイルが無効な場合、ファイル・システムは、スペース管理を使用可能にしていなかったようです。

ユーザーの処置: このファイル・システムのスペース管理を手動で更新する場合、代わりに有効な構成を入力してください。永続構成ファイルが無効な場合は、ファイルを相応に編集するか、スペース管理を明示的に追加できます (これによって既存の構成は除去/上書きされます)。構成の原因は、先行するエラー・メッセージから判別できます。ファイル・システムのスペース管理構成ファイルは、'*filesystem*'/.SpaceMan/hsmfsconfig.xml にあります。

ANS9010E *program name: filesystem* のスペース管理構成ファイル '*configuration file*' を構文解析できませんでした。

説明: 指定されたファイル・システムのスペース管理構成ファイルは存在しますが、内容の形式が無効のようです。

システムの処置: 構成は拒否されました。ファイル・システムはスペース管理が使用可能になっていないようです。

ユーザーの処置: 指定されたスペース管理構成ファイルを確認してください。このファイルは、ルート・エレメントが '*HsmFsConfig*' という名前の整形 XML ドキュメントを含んでいます。新しい構成ファイルを作成する場合は、このファイル・システムにスペース管理を追加するだけですみます。

ANS9011E *program name: filesystem* のスペース管理構成ファイル '*configuration file*' を書き込むことができませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect は、指定されたファイル・システムのスペース管理構成ファイルを書き込み、および保存できませんでした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はスペース管理構成情報を保存しませんでした。このファイル・システムのスペース管理を追加しようとしていた場合、追加されていません。スペース管理構成を更新しようとした場合、更新されていない可能性があります。旧形式の既存の構成ファイルが正常に読み取られても、XML 形式に変換できなかった場合、旧ファイルからの構成によってスペース管理は、このファイル・システムに対してアクティブになります。

ユーザーの処置: 該当するファイルを書き込めない理由があるかどうか判別してください。

ANS9012E *error-program:* コマンドは **root** ユーザーが実行しなければなりません。

説明: IBM Spectrum Protect は、root ユーザーによるこの操作の実行を必要とします。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は操作を終了します。

ユーザーの処置: root ユーザーに変更して、その後で操作を再試行してください。

ANS9016E *path* のスペース管理マイグレーション状況を入手することができません。

説明: スペース管理マイグレーション状況の入手を試みているときに、エラーが発生しました。状況ファイルの許可が正しく設定されていないか、状況ファイルが損傷しています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は操作を終了します。

ユーザーの処置: root ユーザーが状況ファイルの許可を調べるか、あるいはサービス担当員に連絡してください。

ANS9017W *error-program:* 再呼び出しデーモンの最小数 *min-dsmrecalld* は再呼び出しデーモンの最大数 *max-dsmrecalld* より大きくできません。最小数 *min-dsmrecalld* および最大数 *max-dsmrecalld* がデフォルトになります。

説明: 再呼び出しデーモンの最大数より大きい、再呼び出しデーモンの最小数が入力されました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、クライアント・システム・オプション・ファイル (dsm.sys) 内に指定された値の代わりに、デフォルトを使用します。

ユーザーの処置: クライアント・システム・オプション・ファイル内の MINRECALLDAEMONS および MAXRECALLDAEMONS オプションを訂正して、操作を再試行してください。

ANS9020E **IBM Spectrum Protect** サーバーまたはクライアント・エージェントとのセッションを確立できませんでした。戻りコードは *tsm-error*; です。

説明: 問題により、クライアントが IBM Spectrum Protect サーバーとの接続を確立できませんでした。このメッセージに追加の詳細を含めることはできません。ただし、IBM Spectrum Protect エラー・ログに追加メッセージが報告される可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 追加メッセージがないか、エラー・ログを調べてください。それらのメッセージを参照して、報告された問題を解決する方法を判別します。IBM Spectrum Protect-error が -50 である場合、通信障害があります。このエラーの代表的な原因には、サーバーの TCP/IP アドレスまたはポートの構成が誤っていることなどがあります。構成を確認し、クライアント・システム・ネットワークが接続されていることを確認します。ファイアウォールによって IBM Spectrum Protect サーバーへのアクセスが妨げられていないことを確認します。最後に、IBM Spectrum Protect サーバーが稼働しており、予定のポートで接続を受け入れていることを確認します。

ANS9021E *error-program* 不明のデーモン再呼び出し (*pid process-ID*) が失敗しました。状況: *status*。

説明: 再呼び出しデーモンは異常終了します。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は操作を終了します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題

が続いて起こる場合は、コア・ファイルを分析のために IBM テクニカル・サポートに送信してください。

ANS9022E *error-program* 再呼び出しデーモン (*pid process-ID*) が異常終了しました。状況: *status*

説明: 再呼び出しデーモンは異常終了しました。

システムの処置: 操作は完了しません。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、コア・ファイルを分析のために IBM テクニカル・サポートに送信してください。

ANS9024E このリリース以降は、すべての候補の内部処理が

IBM Spectrum Protect モニター・デーモンによって行われます。そのため、**-c** は **dsmreconcile** の有効なオプションではなくなりました。

説明: コマンド・ライン・オプション **-c** および **-Candidates** は、もはや **dsmreconcile** では有効ではありません。すべての候補の処理はここでは **dsmmonitord** が行います。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は無効なオプションを検出しました。 **dsmreconcile** は終了しています。

ユーザーの処置: オプション **-c** および **-Candidates** は、**dsmreconcile** で使用してはいけません。

ANS9025E **Data Protection for WebSphere** プラグインのバージョンと、バックアップ/アーカイブ・クライアントのバージョンが一致しません。ご使用の **Data Protection for WebSphere** プラグインをアップグレードしてください。

説明: Data Protection for WebSphere プラグインのリリースとバージョンは、バックアップ/アーカイブ・クライアントのリリースとバージョンの下位レベルです。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: Data Protection for WebSphere を適切なリリースとバージョンにアップグレードしてください。

ANS9028E *program name: filesystem* のロックを獲得できませんでした。

説明: スペース管理構成ファイルを変更する前に、そのファイルをロックして同時アクセスを回避する必要があります。

ります。ロックの獲得に失敗したのは、同時アクセスがあったからです。

システムの処置: 処置は取り消されました。

ユーザーの処置: 同じ要求を再試行するか、ロックを保持しているプロセスを判別します。

ANS9029E **WebSphere** サーバーが実行していますが、リストア操作のためにこのサーバーをシャットダウンする必要があります。
WebSphere サーバーをシャットダウンして、リストア操作を再試行してください。

説明: WebSphere サーバーは、リストアを実行するために停止する必要があります。

システムの処置: リストア操作は失敗します。

ユーザーの処置: WebSphere サーバーをシャットダウンして、リストア操作を再試行してください。

ANS9030W ファイル *file-name* に対立する属性を設定することはできません。

説明: 要求された属性は互いに対立するため、IBM Spectrum Protect はファイル属性を設定することはできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイル属性を設定しません。

ユーザーの処置: 互いに競合しない属性を用いて、この操作を再試行してください。

ANS9031W ファイル *file-name* はマイグレーション済みファイルではありません。

説明: IBM Spectrum Protect はファイル属性をマイグレーション済みファイルにのみ設定することができません。このファイルはマイグレーションされていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイル属性を設定しません。

ユーザーの処置: このファイルをマイグレーションし、その後で操作を再試行してください。

ANS9032W ファイル *file name* は **HSM** 管理のファイル・システムにありません。

説明: IBM Spectrum Protect はこのファイルが HSM 管理のファイル・システム内にはないことを検出したため、要求された操作を実行できません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイル属性を設定しません。

ユーザーの処置: スペース管理をファイル・システムに追加し、ファイルをマイグレーションして、その後で操作を再試行してください。

ANS9034E リストア操作は、元の **WebSphere** 環境に変更があったため完了しませんでした。

説明: バックアップ元と同じ環境にデータが保管される必要があります。これには、セル名、ノード名、および WebSphere がインストールされた位置などの項目が含まれます。

システムの処置: リストア操作は完了しません。

ユーザーの処置: 「DP for WebSphere」という資料にあるリストア手順を実行してください。

ANS9036W *program-name:* サーバーで、*number* 個のスタブ・ファイルについてのマイグレーション済みファイルが抜けています。
ファイル名については、'*file-spec*' を調べてください。

説明: IBM Spectrum Protect はマイグレーション済みファイルをサーバー上で検出できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイル名に関するメッセージ内で記述されたパスを調べてください。また、このファイルに関する正しいサーバーで作業を行っていることも確認してください。

ANS9054E プラグインが見つかりませんでした。

説明: ありません。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: コマンド・プロンプトで「**dsmc show plugins**」を実行し、システムで使用可能なプラグインを確認してください。

ANS9057W *error-program: file-system system* のスペース情報を入手することができません。
error。

説明: IBM Spectrum Protect は、このファイル・システムに関するスペース情報を入手することができません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: スペース管理がファイル・システムに追加されているかどうか調べてください。

ANS9059E *error-program:* デーモンとするのにプロセスをタスク消去できません。

説明: IBM Spectrum Protect 処理はそれ自身を切り離してデーモンとなることはできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求されたようにデーモンを開始できません。IBM Spectrum Protect は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。

ANS9060W *error-program:* オープン・ファイルの限界を入手および増加できません。

説明: IBM Spectrum Protect はオープン・ファイルの数の限界を入手することができないか、あるいは、オープン・ファイルの数の限界を増やすことができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はオープン・ファイルの数を増やすことができず、操作を完了することができませんでした。

ユーザーの処置: 一部の処理を終了してファイル・スペースの一部を解放するか、あるいは一部のファイルを除去して、操作を再試行してください。

ANS9062E バックアップの間にファイル「*filename*」が変更されました。

説明: バックアップの間にファイルが変更されました。dsmerror.log ファイルを検査して、変更されたファイルのリストを調べてください。

システムの処置: バックアップは失敗します。

ユーザーの処置: バックアップを再試行してください。

ANS9063E *error-program:* ファイル・システム *file-system* は、*i* ノードの外です。

説明: ファイル・システムは *i* ノードの外であるため、IBM Spectrum Protect はファイル・システムのスペースを入手できません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はマイグレーションを介してスペースを入手できません。

ユーザーの処置: 一部のファイルを除去して、より多くの *i* ノードを使用可能にして、やり直してください。

ANS9064E *error-program:* 新規プロセスを **fork** することができません。error。

説明: IBM Spectrum Protect は必要な新規プロセスを **fork** することができません。オペレーティング・システム・エラー番号が EAGAIN である場合は、システム上でまたは単一ユーザーによる実行中プロセス総数の限

度を超えたか、あるいはシステムには別のプロセスを作成するために必要なリソースがありません。errno が ENOMEM である場合は、プロセスを作成するために十分なメモリがありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することはできません。

ユーザーの処置: エラー・コード (エラー番号) に応じて、追加仮想メモリ (スワップ・スペース) を割り振るか、あるいはオペレーティング・システムの処理限界を増やすかのいずれかを行ってください。次に、HSM デーモンを再始動するか、あるいはシステムをリブートしてください。

ANS9065E バックアップの間に、ファイル '*filename*' またはファイル '*filename2*' が追加または除去されました。

説明: バックアップの間にファイルが追加または除去されました。

システムの処置: バックアップは失敗します。

ユーザーの処置: バックアップを再試行してください。

ANS9067W *error-program: file-system* の **dsmmigfstab** ファイルの更新でエラー。

説明: IBM Spectrum Protect は、このファイル・システムに関する dsmmigfstab ファイルの更新において、エラーを検出しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は dsmmigfstab ファイルを更新しません。

ユーザーの処置: 先行するエラー・メッセージを参照して、可能な場合は、エラーを訂正してください。その後、操作を再試行してください。問題が続く場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS9068I *program-name:* ファイル・システム *file-system* で **dsmmigfstab** ファイルが更新されました。

説明: IBM Spectrum Protect は、ファイル・システムについて dsmmigfstab ファイルを正常に更新しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9069I *program-name:* すべてのファイル・システムが直前の状態に再活動化されました。

説明: グローバル非活動化の前に、IBM Spectrum Protect は HSM によって管理される全ファイル・シス

テムをその直前の状態に非活動化しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9070I *program-name:* スペース管理は、すべての **HSM** ファイル・システムに関して非活動化されています。

説明: IBM Spectrum Protect は、`dsmmigfstab` ファイル内にリストされた全ファイル・システムに関するスペース管理を非活動化しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9071W *program-name:* すべての **HSM** ファイル・システムに関してスペース管理を再活動化しようとしたときに、エラーが発生しました。

説明: IBM Spectrum Protect は、スペース管理を再活動化しようとしたときに、エラーを検出しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、**HSM** ファイル・システムに関してスペース管理を再活動化しません。

ユーザーの処置: スペース管理が正しくインストールされていることを確認して、操作を再試行してください。

ANS9072W *error-program:* すべての **FSM** ファイル・システムでのスペース管理を非活動化するときにエラーが起きました。

説明: IBM Spectrum Protect は、スペース管理を非活動化しようとしたときにエラーを検出しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、**FSM** ファイル・システムに関してスペース管理を非活動化しません。

ユーザーの処置: スペース管理が正しくインストールされていることを確認して、操作を再試行してください。

ANS9073W *program-name:* ファイル・システム *file-system* でのスペース管理を非活動化するときにエラーが起きました。

説明: IBM Spectrum Protect は、ファイル・システムを非活動化しようとしたときにエラーを検出しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、ファイル・システムに関してスペース管理を非活動化しません。

ユーザーの処置: スペース管理が正しくインストールさ

れていることを確認して、操作を再試行してください。

ANS9074I *program-name:* ファイル・システム *file-system* に対するスペース管理機能がローカルに非活動化されました。

説明: IBM Spectrum Protect は、ファイル・システムに対するスペース管理機能 (マイグレーション、再呼び出し、調整など) をローカルに非活動化しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9075W *program-name:* ファイル・システム *file-system* でのスペース管理の再活動化のときにエラーが起きました。

説明: IBM Spectrum Protect がファイル・システムのスペース管理を再活動化しようとしたときに、エラーを検出しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイル・システムのスペース管理を再活動化しません。

ユーザーの処置: 指定したファイル・システムがマウントされていること、および **HSM** がこのファイル・システムに使用可能であることを確認してください。その後で、操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM 技術サポートに連絡して追加の支援を受けてください。 `/etc/filesystems` (または同等のファイル) と、`mount` および `dsmdf` コマンドからの出力を準備してください。

ANS9076I *program-name:* ファイル・システム *file-system* に対するスペース管理機能がローカルに再活動化されました。

説明: IBM Spectrum Protect は、ファイル・システムに対するスペース管理機能 (マイグレーション、再呼び出し、調整など) をローカルに再活動化しました。ただし、スペース管理はグローバルにはやはり非活動化されている可能性があることに注意してください。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9077I *program-name:* ファイル・システム *file-system* からスペース管理が除去されました。

説明: IBM Spectrum Protect はスペース管理を取り外しました。ファイル・システムは現在ネイティブ・ファイル・システムです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9078W ファイル・システム *file-system* からスペース管理が除去されませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect は、このファイル・システムからスペース管理を取り外すことができませんでした。考えられる原因は次のとおりです。

カーネル拡張が下位レベルです。

プログラムが下位レベルです。

ディスク・スペース不足。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することができません。

ユーザーの処置: 前のエラー・メッセージを参照して、操作を再試行してください。

ANS9079W *program-name:* 検索基準に一致するマイグレーション済みファイルが見つかりません。

説明: IBM Spectrum Protect は、検索基準と一致するマイグレーション済みファイルを検出できませんでした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することはできません。

ユーザーの処置: 別の検索基準で操作を再試行してください。

ANS9080E *program-name:* すべてのマイグレーション済みファイルを再呼び出しするためのファイル・システムまたはストレージ・プール内のスペースが不足しています。

説明: IBM Spectrum Protect は、すべてが再呼び出された場合に全マイグレーション済みファイルを保留するために、ファイル・システム内に十分なスペースがないことを検出しました。GPFS ストレージ・プールを使用している場合、そのファイルを再呼び出しするには各プール十分なスペースが必要です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は全マイグレーション済みファイルの再呼び出しを試みません。

ユーザーの処置: ファイル・システム・サイズを増やすか、あるいは一部のファイルを除去して、ファイル・システム内にスペースを作ってください。操作を再試行してください。

ANS9081W *program-name:* システム・ファイル *file-system* 内で孤立スタブ・ファイルが検出されました。

説明: IBM Spectrum Protect は 1 つ以上の孤立スタ

ブ・ファイルを検出しました。ファイルがマイグレーションされた後に、マイグレーション・サーバーがクライアント・システム・オプション・ファイル内で変更されたか、あるいは、マイグレーション・サーバー・データベースが損傷しています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイル・システムからのスペース管理の除去を試みません。

ユーザーの処置: 孤立スタブ・ファイルの原因を判別してください。正しいサーバーに切り替えて、マイグレーション済みファイルを再呼び出ししてください。操作を再試行してください。

ANS9082W *program-name:* ファイル・システム *file-system* の調整中にエラーが見つかりました。

説明: IBM Spectrum Protect は、ファイル・システム上での調整の実行中にエラーを検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 表示される他のメッセージまたはログ内のメッセージを参照して、問題を訂正してください。その後で操作を再試行してください。

ANS9083W *program-name:* ファイル・システム *file-system* でスペース管理を非活動化できません。

説明: IBM Spectrum Protect は、ファイル・システムに関してスペース管理を非活動化できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 可能な場合にはエラーを訂正して、操作を再試行してください。

ANS9084E *program-name:* *file-system* は、スペース管理によって管理されていないか、ローカルに管理されていません。

説明: そのファイル・システムの項目が *dsmmigfstab* ファイルに存在しないか、そのファイル・システムが別のノードによって管理されています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、このファイル・システム上ではスペース・マネージャーを実行しません。

ユーザーの処置: スペース管理をファイル・システムに追加して、適当な場合は、その後で操作を再試行してください。そのファイル・システムがローカルに管理されていない場合は、そのファイル・システムを管理しているノードで操作を再試行してください。

ANS9085E *program-name:* ファイル・システム
file-system は、スペース管理によって管理
されていません。

説明: `dsmmigfstab` ファイル内には、ファイル・シス
テムに関する項目はありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、このファ
イル・システム上ではスペース・マネージャーを実行し
ません。

ユーザーの処置: スペース管理をファイル・システムに
追加して、適当な場合は、その後で操作を再試行して
ください。

ANS9086E *program-name:* ファイル・システム
file-system へのスペース管理の追加で
DMAPI エラーが発生しました。このフ
ァイル・システムで **DMAPI** が使用不可
になっている可能性があります。システム
は、エラー・コード **errno = errno-value**
を設定しました。

説明: IBM Spectrum Protect は、エラーを検出したの
で、そのファイル・システムにスペース管理を追加でき
ません。

システムの処置: スペース管理をファイル・システムに
追加できません。

ユーザーの処置: このファイル・システムで **DMAPI**
が使用可能になっていることを検証して、操作を再試行
してください。

ANS9087I スペース管理が正常にファイル・システム
file-system に追加されました。

説明: IBM Spectrum Protect はスペース管理をファ
イル・システムに追加し、そのスペース使用法をモニター
します。このファイル・システム上で他のスペース管
理操作を実行することもできます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9088W *program-name:* ファイル・システム
filesystem でスペース管理はアクティブで
す。

説明: このメッセージは、スペース管理が既に活動化さ
れているファイル・システムにスペース管理を追加しよ
うとすると出されます。スペース管理が既に活動化され
ているファイル・システムにスペース管理を追加するこ
とはできません。

システムの処置: 処置は取り消されました。

ユーザーの処置: 代わりにファイル・システムのスペ
ース管理構成を更新する場合は、該当する更新コマンドを
使用します。

ANS9089E グループ・バックアップ検証が失敗しまし
た。バックアップの間に 1 つ以上のファ
イルが追加、除去、または変更されまし
た。

説明: WebSphere への照会が行われた時から、IBM
Spectrum Protect サーバーにすべてのデータが送信さ
れるまでの間に、1 つ以上のファイルが追加、除去、ま
たは変更されました。 `dsmerror.log` ファイルを検査し
て、追加、除去、または変更されたファイルのリストを
調べてください。

システムの処置: バックアップは失敗します。

ユーザーの処置: バックアップを再試行してください。

ANS9090E *program-name: file-system* が有効なファ
イル・システム名ではありません。

説明: IBM Spectrum Protect は正しくないファイル・
システム名を受信しました。ファイル・システムがマ
ウントされていないか、正しくマウントされていま
せん。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイル・システムを訂正して、操
作を再試行してください。

ANS9091E **WebSphere** バックアップ検証が失敗しま
した。バックアップの間に 1 つ以上のフ
ァイルが追加、除去、または変更されまし
た。

説明: WebSphere への照会が行われた時から、IBM
Spectrum Protect サーバーにすべてのデータが送信さ
れるまでの間に、1 つ以上のファイルが追加、除去、ま
たは変更されました。 `dsmerror.log` ファイルを検査し
て、追加、除去、または変更されたファイルのリストを
調べてください。

システムの処置: バックアップは失敗します。

ユーザーの処置: バックアップを再試行してください。
バックアップ・ウィンドウで新規 WebSphere アプリケ
ーションをインストール、または WebSphere 構成を変
更しないでください。

ANS9093W *program-name:* マイグレーション候補リスト *file-name name* を更新できません。

説明: 一時ファイルを作成するための十分なメモリーが利用できないため、IBM Spectrum Protect はマイグレーション候補リストを更新することができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 一部の処理を終了して一部のメモリーを使用可能にして、その後で操作を再試行してください。

ANS9094W *program-name:* システム・ファイル *file-system* 内に候補が見つかりません。

説明: dsmreconcile 実行の後、IBM Spectrum Protect はマイグレーションに適格なファイルがファイル・システム中不在を検出しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9098E *program-name:* スペース管理はファイル・システム *file-system* をサポートしていません。

説明: スペース管理は、このタイプのファイル・システムをサポートしません。スペース管理は真のローカル・ファイル・システム (AIX 上の JFS など) のみをサポートします。スペース管理は他のタイプのファイル・システム (AFS、NFS など) はサポートしません。

システムの処置: ファイル・システムの処理は停止しました。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9099E *program-name:* ファイル・システム *file-system* でスペース管理が活動していません。

説明: IBM Spectrum Protect は、ファイル・システムが活動化されたスペース管理を持たないことを検出しました。

システムの処置: ファイル・システムの処理は停止しました。

ユーザーの処置: ファイル・システムのスペース管理を再活動化してください。

ANS9100E ファイル '*filename*' を出力用にオープンすることができません。

説明: 指定のファイル名をオープンできません。

システムの処置: ユーザーに指定のファイルに対する書

き込みアクセス権があることを確認するか、別のファイル名を使用してください。

ユーザーの処置: 出力は保管されません。別のファイルを指定するか、選択したファイルに対する許可を確認してください。

ANS9101E '*file-name*' と一致するマイグレーション済みファイルが見つかりませんでした。

説明: 検索パターンのファイル名が、IBM Spectrum Protect サーバー・データベース内でマイグレーション済みファイルとして見つかりません。

システムの処置: 照会結果はありません。

ユーザーの処置: 検索パターンが正しいか確認してください。

ANS9117E 仮想マシン '*VM name*' は、次のうち少なくとも 1 つのサポートされない特殊文字を含んでいるため、バックアップされません: *special characters*

説明: 指定された仮想マシンには、仮想マシンのバックアップおよびリストア操作でサポートされない文字が含まれています。

システムの処置: 指定された仮想マシンのバックアップは失敗します。

ユーザーの処置: 指定された特殊文字が含まれないように、仮想マシンを名前変更してください。

ANS9121I 活動化は完了しました。

説明: Lotus Domino 活動化データベース操作は完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はデータベースを活動化しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9126E *program-name:* エラー *error* のため、*file-system* でスペース管理が活動化されているか非活動化されているか判別できません。

説明: メッセージ・テキストに示されたプログラム '*program-name*' が、ファイル・システム '*file-system*' の統計を取得できませんでした。したがって、プログラムは、スペース管理が活動化されているか、非活動化されているか、あるいはファイル・システム上でグローバルに非活動化されているか判別できません。メッセージ・テキストには、スペース管理の状態を取得しよう

としたときに発生した UNIX エラー番号のエラーの説明もあります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect の操作は停止します。

ユーザーの処置: ファイル・システムがマウントされ、アクセス可能であることを確認してください。そのファイル・システムに適したツールを使用して、そのフィールド上に入出力エラーまたはその他の保全性エラーがあるかどうか調べてください。その後で、操作を再試行してください。操作が失敗する場合は、システムをリブートすると、エラー状態が解消されることがあります。これらのアクションを実行しても問題が続いて起こる場合は、IBM テクニカル・サポートに連絡して、支援を求めてください。

ANS9128I ログの非活動化が完了しました。

説明: Lotus Domino のログの非活動化操作が完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はログを非活動化しました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9133E *program name: filesystem* のスペース管理は既にアクティブです。

説明: このメッセージは、スペース管理が既に活動化されているファイル・システムにスペース管理を追加しようとするときに出されます。

システムの処置: 処置は取り消されました。

ユーザーの処置: ファイル・システムのスペース管理構成を確認して、必要性が一致しない場合は更新することを確認してください。スペース管理が既に活動化されているファイル・システムにスペース管理を追加することはできません。

ANS9134E *program name: filesystem* のスペース管理はアクティブではありません。

説明: プログラムは、スペース管理がアクティブでないファイル・システムのスペース管理構成を要求しました。

システムの処置: 処置は取り消されました。

ユーザーの処置: ファイル・システムの仕様を入力した場合、スペルが正しいことを確認してください。スペース管理が活動化されていないファイル・システムでスペース管理アクションを実行することはできません。

ANS9135E *program name: filesystem* のスペース管理は、ローカル・ノードで制御されていません。

説明: プログラムは、スペース管理がアクティブであるが、ローカル・ノードにより制御されていないファイル・システムのスペース管理構成を要求しました。クラスター環境では、スペース管理アクションの一部はオーナー・ノードからのみ実行できます。

システムの処置: 処置は取り消されました。

ユーザーの処置: このファイル・システムのコントローラー・ノードを判別して、再試行してください。

ANS9136E *program name: filesystem* の *configuration file* を除去できませんでした。

説明: 指定したファイル・システムのスペース管理の除去では、この構成ファイルを除去できませんでした。

システムの処置: このファイル・システムのスペース管理を非活動化できませんでした。

ユーザーの処置: ファイルを除去できなかった原因を判別し、再試行してください。

ANS9137I ファイル: *file-name* は事前マイグレーションされていません。

説明: ファイルをマイグレーションするには、事前マイグレーションする必要があります。

システムの処置: 該当のファイルはスキップされました。

ユーザーの処置: 事前マイグレーション済みファイルのマイグレーションには、該当のファイルが事前マイグレーション状態になっている必要があります。

ANS9140E マイグレーション・オプションの **premigration** および **stub** を結合できません。

説明: マイグレーション・オプションの **premigration** と **stub** は同時に使用できません。これら 2 つのオプションは、同じファイルに対して異なる結果になります。

システムの処置: コマンドは、ファイルへの変更なしで終了します。

ユーザーの処置: マイグレーション・オプションの **premigration** と **stub** を、コマンドの異なるインスタンスで使用してください。

ANS9145E 仮想マシンは、名前が空であるため、バックアップされません。

説明: 指定された仮想マシン名は空です。これは、仮想マシンのバックアップとリストアの操作ではサポートされていません。

システムの処置: 指定された仮想マシンのバックアップは失敗します。

ユーザーの処置: 仮想マシンの名前にサポートされている文字が含まれるように、仮想マシンを名前変更してください。

ANS9146E *prog-name* 実行可能プログラムで **RPC** エラーが発生しました。 **RPC** エラー・コード: *rpcStat-value*、理由: *rpcStat-explanation*

説明: IBM Spectrum Protect 実行可能プログラムで **RPC** エラーが発生したので、現行操作を続行できませんでした。

システムの処置: 現行操作の処理は停止しました。

ユーザーの処置: 適切な **RPC** サービスがシステム上で稼働中であることを確認してください。例えば: - Linux の場合、使用中の Linux ディストリビューションに応じて 'service portmap status' または 'service rpcbind status' または 'systemctl status rpcbind' コマンドを実行します; - AIX の場合、'lssrc -s portmap' コマンドを実行します。 **RPC** エラーの理由が「プログラムが登録されていません」の場合、'dsmmigfs restart' コマンドを使用して **HSM** デーモンを再開する必要があります。

ANS9147E *program-name: file-spec* を読み取ることができません。 *error*。

説明: IBM Spectrum Protect はこのファイルを読み取ることができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完全に完了することができません。

ユーザーの処置: **HSM** 管理対象ファイル・システム状況ファイルを読み取り中にエラーが発生しました。ファイル・システムがマウントされていて、**HSM** に使用可能であり、実際に **HSM** によって管理されていることを確認してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために **IBM** のテクニカル・サポートに連絡してください。 `mount`、`dsmdf`、および `ls -l [file system name]` コマンドからの出力を準備してください。

ANS9148E *program-name:* ファイル・システム *file-system* のマウント・ポイントを見つけることができません。

説明: IBM Spectrum Protect が、ファイル・システムのマウント・ポイントを検出することができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することはできません。

ユーザーの処置: 指定されたファイル・システムは現在マウントされていません。ファイル・システムをマウントしてから、操作を再試行してください。

ANS9150I アーカイブ・ログは完了しました。

説明: Lotus Domino アーカイブ・ログ操作は完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はログをアーカイブしました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9151E 予期しないプログラム・エラーが見つかりました。

IBM Spectrum Protect 機能名:

function-name

IBM Spectrum Protect 機能:

function-desc

IBM Spectrum Protect 戻りコード:

TSM-rc

IBM Spectrum Protect ファイル:

file-name (line-number)

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳しい情報が必要な場合には、エラー・ログを調べてください。このメッセージで示された情報を **IBM Spectrum Protect** 管理者に通知してください。

ANS9152E *program-name:* システム全体でスペース管理を非活動化できません。 *error*。

説明: マシン全体のスペース管理を非活動化することはできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はスペース管理のサポートを非活動化することができません。

ユーザーの処置: **HSM** グローバル状況は、おそらく同時アクセスが原因でアクセス不能です。操作を再試行してください。問題が続く場合は、シェル・コマンド `ps -aef` の出力と、`/etc/adsm/SpaceMan/config/dmiFSGlobalState.pid` の内容を調べてください。 `pid`

ANS9153E • ANS9159E

がこのファイルに保管されていて、実行中のプロセスと対応している場合は、`dmiFSGlobalState.pid` ファイルを除去して、操作をやり直してください。この問題が続いて起こる場合は、システムをリブートし、ご使用のファイル・システム・タイプに適切な分析を繰り返してください。

ANS9153E *program-name:* システム全体でスペース管理を再活動化できません。error。

説明: マシン全体のスペース管理を再活動化することができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はスペース管理のサポートを再活動化することができません。

ユーザーの処置: HSM グローバル状況は、おそらく同時アクセスが原因でアクセス不能です。操作を再試行してください。問題が続く場合は、シェル・コマンド `ps -aef` の出力と、`/etc/adsm/SpaceMan/config/dmiFSGlobalState.pid` の内容を調べてください。pid がこのファイルに保管されていて、実行中のプロセスと対応している場合は、`dmiFSGlobalState.pid` ファイルを除去して、操作をやり直してください。この問題が続いて起こる場合は、システムをリブートし、ご使用のファイル・システム・タイプに適切な分析を繰り返してください。

ANS9154E *program-name:* ファイル・システム *file-system* でスペース管理を非活動化できません。error。

説明: ファイル・システムのスペース管理を非活動化することはできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイル・システムのスペース管理サポートを非活動化することができません。

ユーザーの処置: HSM ファイル・システム状況は、おそらく同時アクセスが原因でアクセス不能です。操作を再試行してください。問題が続く場合は、そのファイル・システムがマウントされていて、HSM がファイル・システム上で Unix シェル・コマンド `mount` および `dsmdf` によって使用可能になっていることを確認してください。この問題が続いて起こる場合は、システムをリブートし、操作を再試行してください。

ANS9155E *program-name:* ファイル・システム *file-system* でスペース管理を再活動化できません。error。

説明: ファイル・システムのスペース管理を再活動化することはできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイル・

システムに対してスペース管理サポートを再活動化することができません。

ユーザーの処置: HSM ファイル・システム状況は、おそらく同時アクセスが原因でアクセス不能です。操作を再試行してください。問題が続く場合は、そのファイル・システムがマウントされていて、HSM がファイル・システム上で Unix シェル・コマンド `mount` および `dsmdf` によって使用可能になっていることを確認してください。この問題が続いて起こる場合は、システムをリブートし、操作を再試行してください。

ANS9156I ロールフォワードが完了しました。

説明: Domino DB2 ロールフォワード操作が完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は Domino DB2 データベース・ログをロールフォワードしました。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9158E デーモン・プロセス *prog-name* は、ノード *remote-node* 上の対応するプログラムに到達できません。

説明: IBM Spectrum Protect 実行可能プログラムは、RPC を介してリモート実行可能プログラムに接続できませんでした。

システムの処置: 現行操作の処理は停止しました。

ユーザーの処置: 示されたリモート・ノードにログインし、デーモン・プロセスが稼働中であることを確認します。デーモンが稼働中であるにも関わらず警告が引き続き表示される場合は、示されたノードでコマンド「`dsmmigfs restart`」を発行してデーモンを再始動してください。

ANS9159E *program-name:* 一時ファイルを作成できません。

説明: IBM Spectrum Protect は一時ファイルを作成することができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はその操作を完了することができません。

ユーザーの処置: Unix `mount` シェル・コマンドによって、`/tmp` および `/etc` がシステム上に独立したファイル・システムとして存在することを確認してください。df コマンドを使用してそれらのファイル・システムが満杯かどうかを確認してください。ファイルを削除するか、あるいはファイル・システム・サイズを増やすことで追加スペースを作成してください。

ANS9160E *program-name:* 一時ファイル *file-spec* に書き込みできません: *error*。

説明: IBM Spectrum Protect は一時ファイルへの書き込みを完了することができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することはできません。

ユーザーの処置: Unix エラー・コードは書き込みが失敗した理由に関する手引きを提供することがあります。Unix `mount` および `df` シェル・コマンドを使用して、関連ファイル・システムがマウントされていて、使用可能スペースがあることを確認します。このメッセージがシェル・コマンドから出された場合は、ファイル・システムをマウントし、必要な場合は、追加スペースを作成してから、操作をやり直してください。このメッセージがシェル・コマンドから出されていない場合は、デーモンを再始動してください。この問題が続いて起こる場合は、システムをリブートしてください。

ANS9161E 無効なバックアップ・セット・ファイルまたは装置名が入力されました。

説明: 指定されたバックアップ・セット・ファイルまたはデバイス名に有効なバックアップ・セットが含まれていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 有効なバックアップ・セットを含むファイル名またはデバイスを指定して、操作を再試行してください。

ANS9162W オブジェクト '*dir-name*' は再呼び出しでスキップされます。これはディレクトリーです。

説明: オブジェクトはディレクトリーです。スペース管理はディレクトリーの再呼び出しを行いません。

システムの処置: このオブジェクトはディレクトリーであるため、IBM Spectrum Protect はこのオブジェクトの再呼び出しを行いません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9163W *program-name:* 再呼び出しデーモン・セッション **ID** を獲得できませんでした。

説明: 再呼び出しデーモン・セッションを獲得できなかったため、ファイル・システムのイベント処理をセットアップできませんでした。再呼び出しデーモンが実行中でない可能性があります。再呼び出し要求は処理されません。つまり、スペース管理のための IBM Spectrum Protect クライアントは、このファイル・シ

ステムに関する再呼び出し要求に応答できません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、再呼び出しイベント処理をセットアップできませんでした。再呼び出しイベント処理は、そのファイル・システムに関して使用可能になっていません。

ユーザーの処置: 再呼び出しデーモンを開始するか、再開してください。

ANS9164W *program-name:* モニター・デーモン・セッション **ID** を獲得できませんでした。

説明: モニター・デーモン・セッションを獲得できなかったため、ファイル・システムのイベント処理をセットアップできませんでした。モニター・デーモンが実行中でない可能性があります。そのため、ファイル・システムの使用状況に関するしきい値はモニターされず、NOSPACE イベントは処理されません。つまり、ファイル・システムは、スペースを使い尽くす可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、NOSPACE イベント処理をセットアップできませんでした。NOSPACE イベント処理は、そのファイル・システムに関して使用可能になっていません。

ユーザーの処置: モニター・デーモンを開始するか、再開してください。

ANS9165E *program-name* がディレクトリー *directory-spec* をオープンできませんでした。原因となったエラー: *error*

説明: メッセージ・テキストに示されているディレクトリーをオープンできません。メッセージ・テキストに、発生したエラーの説明があります。

システムの処置: 要求された操作は完了しません。

ユーザーの処置: メッセージ・テキストに示されているエラー状態を訂正してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS9166I '*backup type*' バックアップ・バージョン **backup date** '*datetime*' はローカル・リポジトリとの互換性がなく、サーバーから削除されました (**object name**='*filepath-namefile-name*', **ID** = '*object-id:object-id*').

説明: 指定されたオブジェクトの指定されたバックアップ・インスタンスは、ローカル・リポジトリの内容と一致していません。このことは、クライアント・システムで、ローカル・リポジトリが変更または破壊され

た場合に発生することがあります。このバックアップはリストアすることができないため、サーバー上で削除されます。

システムの処置: サーバーで、指定されたバックアップ・オブジェクトが削除されます。処理は続行されます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9167W 最適サブファイルのバックアップ用のクライアント・キャッシュが壊れているため、使用できません。

説明: 最適サブファイルのキャッシュが壊れています。バックアップ・クライアントは破損を検出できますが、破損の理由を判別できません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアントは標準の選択バックアップまたは増分バックアップを続行します。キャッシュは再作成されて、以降のバックアップでは最適サブファイル技法が使用されます。

ユーザーの処置: この問題が続いて起こる場合は、IBM テクニカル・サポートに連絡して、支援を求めてください。クライアント・エラー・ログを提供できるように準備してください。このログに含まれている追加メッセージが、サポート担当者による問題識別に役立つことがあります。

ANS9169E *program-name*: ディレクトリー *directory-spec* を作成できません。reason。

説明: IBM Spectrum Protect はこのディレクトリーを作成することができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はこのディレクトリーを作成しません。

ユーザーの処置: このディレクトリーがまだ存在していないこと、およびその親ディレクトリーが適切な許可を持つことを確認してください。

ANS9170E *program-name*: *file-system* はマウントされたローカル・ファイル・システムではありません。

説明: IBM Spectrum Protect は、このファイル・システムが適切にマウントされていることを検出しませんでした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイル・システムを無視します。

ユーザーの処置: このファイル・システムがローカルであること、および適切にマウントおよび活動化されていることを確認してください。

ANS9171E IBM Spectrum Protect 内部エラーが発生しました。次のストリングが長すぎます: *error*。

説明: ありません。

システムの処置: 要求された操作は完了しません。

ユーザーの処置: システムをリブートすると問題が解決する可能性があります。システムのリブート後に、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS9174I バックアップ削除の完了。

説明: バックアップ削除が完了しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はバックアップ・ファイルを削除しました。

ANS9177W ノード '*cluster node ID*'、ホスト名 '*cluster node hostname*' 上で実行されているリモート再呼び出しに対するすべてのデータ・イベントは中止されます。

説明: リモート・ノードが応答していません。そのため、このリモート・ノード上で現在処理されているすべての DMAPI データ・イベントを中止する必要があります。この警告は、ローカル・ノードと指定されたりモート・ノードの間の RPC 通信の問題が原因の可能性があります。

システムの処置: dsmrecalld ディストリビューター・プロセスは、指定されたりモート・ノード上で現在処理中のすべてのデータ・イベント (ある場合) を中止します。

ユーザーの処置: ネットワークおよびホスト接続が正しく構成されていることを確認してください。その後、再呼び出し操作を再試行してください。

ANS9178E *program-name* がファイル *file-spec* をオープンできませんでした。原因となったエラー: *error*

説明: メッセージ・テキストに示されているプログラムが、指定されたファイルをオープンできませんでした。メッセージ・テキストには、ファイルをオープンしようとしたときに発生したエラーの説明もあります。

システムの処置: 要求された操作は完了しません。

ユーザーの処置: ファイルが存在するファイル・システムがマウントされていることを確認してから、操作を再試行してください。システムをリブートすると問題が解決する可能性があります。問題が続く場合には、援助

を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS9179W 操作は正常に完了しました。ただし、要求された **vApp** リストの作成時に、いくつかのエラーが発生しました。

説明: **vApp** 指定に含まれていた 1 つ以上の項目が見つかりませんでした。これは、**vCD** 組織での変更、あるいはユーザーが提供した **vApp** 指定に誤りがあったことが原因である可能性があります。

システムの処置: 操作は正常に完了しました。

ユーザーの処置: ローカル・クライアントのエラー・ログで失敗の理由を確認し、コマンド指定を確認してください。すべての問題を修正し、コマンドを再実行してください。

ANS9180W パスワード・ファイル内の項目を暗号化解除できませんでした。

説明: パスワードの暗号化解除の妥当性検査が失敗しました。

システムの処置: パスワード・ファイルにあるパスワードは、無視されます。プロセスがバックグラウンドで (スケジューリング・モードなど) 実行されるのでない限り、ユーザーはパスワードの入力を求められます。

ユーザーの処置: プロンプトが出されたら、パスワードを入力してください。

ANS9184E *program-name* がメモリーを割り振ることができません。原因となったエラー: *error*

説明: メモリー割り振りエラーが発生しました。メッセージ・テキストに、発生したエラーの説明がありません。

システムの処置: 要求された操作は完了しません。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。HSM デーモンで問題が発生した場合は、デーモンを再始動してから操作を再試行してください。引き続き問題が発生する場合は、オペレーティング・システムの管理ツールを使用して、システムの仮想メモリー (スワップ・スペース) を調べ、必要であればメモリーを増やしてください。アプリケーションが使用可能な仮想メモリーを消費しているかどうかを調べてください。システムをリブートすると問題が解決することもあります。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS9186E *program-name*: マウント済みファイル・システム *file-system* をオープンできません。*error*。

説明: IBM Spectrum Protect はマウント・ファイル・システムをオープンすることができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイル・システムを無視します。

ユーザーの処置: このファイル・システムがマウントされ、適切に活動化されていることを確認してください。

ANS9201W LAN フリー・パスに失敗しました。

説明: LAN フリー接続が設定できませんでした。

システムの処置: システムは、LAN フリー・パスを使用しないでサーバーに接続します。

ユーザーの処置: LAN フリー・セットアップを検証してください。

ANS9203E HSM がインストールされているときは、**ENABLELANFREE** は使用できません。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントがシステムに HSM がインストールされていることを検出しました。LAN フリーは、HSM がインストールされているときには有効なオプションではありません。

- このエラーは、AIX 上では `/usr/tivoli/tsm/client/hsm/bin/dsmrecalld` で、このファイルが見つかった場合に起こります。
- このエラーは、Solaris 上では `/opt/tivoli/tsm/client/hsm/bin/dsmrecalld` で、このファイルが見つかった場合に起こります。

システムの処置: 無効オプションが検出され、処理は停止します。

ユーザーの処置: **ENABLELANFREE** オプションをシステム・オプション・ファイルから除去してください。**ENABLELANFREE** が使用できるのは、HSM がインストールされていないときだけです。

ANS9240W LUN *LUN-id* にあるディスク「*disk-name*」のシリアル番号を獲得できませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect は、指定したディスクのシリアル番号を判別できませんでした。ディスクがページ 0x80 の重要製品データの SCSI 問い合わせをサポートしていない可能性があります。

システムの処置: 指定されたディスクにあるデータに関しては、サーバー・フリー・データ移動は不可能です。

ANS9249E • ANS9265E

ユーザーの処置: ありません。

ANS9249E マイグレーション中にファイル '*file-name namefile-name namefile-name name*' がアクセスされました。 ファイルはスキップされます。

説明: マイグレーション処理の試行中に他のプロセスによってアクセスされていたため、指定された *file-name* はマイグレーションされませんでした。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルを常駐のまま残しました。

ユーザーの処置: ファイルをマイグレーションしたい場合は、ファイルにアクセスしている処理を停止して、マイグレーションをやり直してください。

ANS9250I ファイル・システム '*file-system system*' の調整が完了しました。

説明: IBM Spectrum Protect はファイル・システムの調整を完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9251E *ProgramName*: コマンド・ライン・オプションを正しく解析することができません。

説明: コマンド・ライン引数を解析しようとしたときに、内部プログラム・エラーが発生しました。

システムの処置: プログラムは要求を処理することができません。

ユーザーの処置: -h または -help オプションを使用して、コマンド・ラインで許可されるオプションを調べてから、要求をやり直してください。

ANS9252I 環境変数の値: *envVar*

説明: ありません。

システムの処置: これは通知メッセージです。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9255I 空の状況ファイルが生成されます。

説明: HSM 状況ファイルは欠落しているか、オープンできません。空の状況ファイルが作成されます。

システムの処置: ファイル・データのマイグレーションは通常どおりに処理を続行します。

ユーザーの処置: dsmreconcile を実行して、完全な状況ファイルを作成してください。

ANS9256E ファイル '*file-namefile-namefile-name*' は現在別のプロセスでオープンされています。

説明: ファイルは、マイグレーション操作または再呼び出し操作によってロックされています。ファイルは、一度に 1 つだけの再呼び出しプロセスまたは再呼び出し操作のオブジェクトになることができます。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: このエラーがファイルのマイグレーション操作または再呼び出し操作の並列実行によって発生したものではない場合、このエラーは、前にキャンセルされたマイグレーション操作または再呼び出し操作より発生した可能性があります。その場合は、dsmrecalld デモンを再始動して、操作を再試行してください。

ANS9263W アクティブ・バージョンと非アクティブ・バージョンのシステム状態を両方一緒にリストアできません。

説明: システム状態のアクティブ・コピーと非アクティブ・コピーを両方一緒にリストアすることは許可されていません。

システムの処置: 処理は行われません。

ユーザーの処置: リストア操作を行うには、アクティブ・コピーか非アクティブ・コピーのどちらかを選択してください。

ANS9264E 仮想マシン '*vmname*' の増分バックアップが失敗しました。RC *rc*

説明: 仮想マシンボリュームの増分バックアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS9265E **vcbMounter** コマンドを使用して仮想マシン '*vmname*' をマウントしようとしたましたが、失敗しました。RC=*rc*

説明: VMware vcbmount コマンドは仮想マシンディスクのマウントに失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップを続行できません。vmlist の次の仮想計算機を処理します。**vcbMounter** コマンドの出力に、失敗の理由が示されます。

ユーザーの処置: 失敗の原因を判別するには、仮想計算

機に対して `vcbMounter` コマンドを発行してください。詳しくは、そのメッセージの資料を参照してください。

ANS9266E 仮想計算機の環境の初期化に失敗しました。**vcbMounter.exe** コマンドが見つかりません。 **RC=rc**

説明: 仮想計算機の環境の初期化に失敗しました。
`vcbMounter.exe` コマンドが見つかりません。 VMware Consolidated Backup Framework がインストールされていないか、`vcbMounter.exe` コマンドが現行の PATH 環境変数に指定されていません。

システムの処置: バックアップを続行できません。
`vcbMounter` コマンドの出力に、失敗の理由が示されません。

ユーザーの処置: 失敗の原因を判別するには、仮想計算機に対して `vcbMounter` コマンドを発行してください。詳しくは、そのメッセージの資料を参照してください。バックアップ・プロキシー・マシンに VMware Consolidated Backup Framework がインストールされている必要があります。インストール済みロケーションおよび `vcbMounter.exe` が PATH 環境変数に指定されている必要があります。デフォルトのロケーションは、`C:\Program Files\VMware\VMware Consolidated Backup Framework` です。

ANS9267E *program-name*: ファイル・システム *file-system system* が割り当てを超えました。

説明: IBM Spectrum Protect が、ファイル・システムがその割り当て量を超えていることを検出しました。このファイル・システムからこれ以上のデータをマイグレーションできません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、このファイル・システムからファイルをマイグレーションしません。

ユーザーの処置: いくつかのファイルを再呼び出しするか、システム管理者にこのファイル・システムの割り当て量を増やすよう依頼してください。

ANS9278E **vmList** オプションの処理に失敗しました。 **RC=rc**

説明: `vmList` オプションの処理に失敗しました。

システムの処置: バックアップを続行できません。

ユーザーの処置: `vmList` オプション値にエラーがないか確認してください。詳細については、`vmList` オプションの資料を参照してください。

ANS9279E 仮想マシン '*vmname*' ボリュームの検出に失敗しました。 **RC=rc** により失敗しました。

説明: 仮想マシンのボリュームを検出できません。バックアップ・プロキシー・マシンに使用可能なボリュームのマウント・ポイントがありません。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップを続行できません。`vmList` の次の仮想計算機を処理します。
`vcbMounter` コマンドの出力に、失敗の理由が示されます。

ユーザーの処置: 失敗の原因を判別するには、仮想計算機に対して `vcbMounter` コマンドを発行してください。詳しくは、そのメッセージの資料を参照してください。

ANS9280E この操作の実行時には '*vmname*' オプションを設定する必要があります。

説明: コマンドの必須指定のオプションが欠落しています。

システムの処置: 操作を続行できません。

ユーザーの処置: プリファレンス・エディターまたはコマンド・ラインを使用して、欠落しているオプションを設定してください。

ANS9287E 無効またはサポートされないデバイス。

説明: 論理ボリューム・デバイスが無効であるか、サポートされていません。

イメージ・バックアップについては、デバイス・タイプ・サポートに関する資料を参照してください。

システムの処置: ロジカル・ボリューム操作は実行されません。

ユーザーの処置: イメージ・バックアップ・ソースまたはイメージ・リストアの宛先として、サポートされるタイプのいずれかのデバイスを指定してください。

ANS9288W ファイル *file-name* の論理サイズ *file-logical-size* および割り振り済みサイズ *file-allocated-size* は、マイグレーション用には小さすぎます。

説明: マイグレーションの候補になるには、ファイルは次のサイズ基準のすべてを満たしていなければなりません。

- ファイル論理サイズは、`stubsizes` オプションの値より大きい。

- ファイルが占めるスペース (割り振り済みサイズ) は、`minmigfilesize` オプションの値以上である。

システムの処置: マイグレーションで追加のスペースが解放されないため、IBM Spectrum Protect はこのファイルをマイグレーションしません。

ユーザーの処置: stubsize オプションと minmigfilesize オプションの設定が、マイグレーション要件に適合していることを確認してください。

ANS9289W オブジェクト '*dir-name*' はマイグレーションでスキップされます。これはディレクトリです。

説明: オブジェクトはディレクトリです。スペース管理はディレクトリをマイグレーションしません。

システムの処置: これはディレクトリのため、IBM Spectrum Protect はオブジェクトをマイグレーションしません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9290W ファイル *file-name* はマイグレーションでスキップされます。ファイル・タイプは不明であるかサポートされません。

説明: ファイルが読み取れないか、正規ファイルでないか、あるいはそのタイプが HSM クライアントにとって不明です。HSM クライアントは正規ファイルのみをマイグレーションし、ディレクトリ、シンボリック・リンク、特殊ファイルはマイグレーションしません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はこのファイルをマイグレーションしません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9291E *program-name*: 競合しているスペース管理プログラムが既に *file-system* ファイル・システムで実行中です。
このプログラムは後でこのファイル・システムで実行し直してください。

説明: IBM Spectrum Protect は、ユーザーが開始を試みているプログラムと同時に実行できないファイル・システム内の他の稼働中のプログラムを検出しました。以下のプログラムは、ファイル・システムに対して同時には実行できません。

dsmreconcile
dsmautomig
dsmmigfs remove

また、dsmmigfs remove は、マイグレーション処理がファイル・システム内で稼働中は、実行することができません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はこの時点ではプログラムを実行しません。

ユーザーの処置: 後からプログラムを実行してください。

ANS9292E *program-name*: ロック・ファイル *lock-file**lock-file**lock-file* にアクセスできません。error。

説明: IBM Spectrum Protect はエラーのためにロック・ファイルにアクセスできません。ロック・ファイルは、対立している処理の同時実行を妨げるため、特定プログラムの逐次化を提供します。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はこの時点ではプログラムを実行しません。

ユーザーの処置: ロック・ファイルまで続くディレクトリの許可ならびに実行可能プログラムの許可も調べてください。

ANS9293E スペース管理は、**ERRORPROG** *error-program* にアクセスできません: error

説明: クライアント・システム・オプション・ファイル (dsm.sys) 内で ERRORPROG オプションで指定されたプログラムにアクセス中に、IBM Spectrum Protect はエラーを検出しました。このメッセージは、このエラーが最初に発生したときにだけ現れます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、重大エラー・メッセージを指定されたエラー・メッセージ・プログラムに送ることができません。

ユーザーの処置: プログラムが存在すること、また実行時に標準入力を受け入れることを確認してください。ERRORPROG がプログラムの完全修飾ファイル名を指定することが通常は最適処理です。

ANS9294I '*file-name name*' に一致するファイルが見つかりませんでした。

説明: ローカル・ファイル・システム内に検出できない探索パターンまたはファイル名が入力されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 探索パターンが正しいことを確認するか、あるいは新規探索ストリングを指定してください。

ANS9296W *volume name* のボリューム全体のイメージ・バックアップを実行中です。**AIX** の **JFS2** 以外のファイル・システムでは、**IMAGEGAPSIZE** オプションと使用済みブロックのイメージ・バックアップはサポートされていません。

説明: ありません。

システムの処置: ボリューム全体がバックアップされています。

ユーザーの処置: IMAGEGAPSIZE オプションと使用済みブロックのイメージ・バックアップに関する追加情報は、クライアント・マニュアルを参照してください。

ANS9297W マイグレーションの前にファイル *file-name name* がスキップされました。バックアップ・コピーが見つかりません。

説明: 属性 MIGREQUIRESBKUP が YES に設定され、管理クラスがファイルに割り当てられます。このオプションでは、マイグレーション前にファイルの現行バックアップ・コピーが必要となります。しかし、マイグレーション・サーバー上にはバックアップ・コピーは検出されませんでした。このファイルはマイグレーションされません。注: IBM Spectrum Protect は、バックアップ・コピーに関してはマイグレーション・サーバーのみを検査します。マイグレーション・サーバーとバックアップ・サーバーが異なるサーバーである場合は、IBM Spectrum Protect はファイルのバックアップ・コピーを検出しません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: マイグレーション・サーバー上でこのファイルをバックアップするか、現行バックアップ・コピーを必要としない管理クラスをこのファイルに割り当てます。操作を再試行してください。

ANS9298W マイグレーションでファイル *file-name name* がスキップされました。見つかったバックアップ・コピーが現行のものではありません。

説明: 属性 MIGREQUIRESBKUP が YES に設定され、管理クラスがファイルに割り当てられます。このオプションでは、マイグレーション前にファイルの現行バックアップ・コピーが必要となります。しかし、マイグレーション・サーバー上で検出されたバックアップ・コピーは旧バージョンです。このファイルはマイグレーションされません。注: IBM Spectrum Protect は、バックアップ・コピーに関してはマイグレーション・サーバーのみを検査します。マイグレーション・サーバーとバックアップ・サーバーが異なるサーバーである場合は、マイグレーション・サーバー上にファイルの有効なバックアップ・コピーがなければなりません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: 現行ファイルをマイグレーション・サーバー上でバックアップするか、あるいは現行バックアップ・コピーを必要としない管理クラスをこのファイル

に割り当てます。操作を再試行してください。

ANS9299I ファイル・システム *file-system* でマイグレーション済みファイルの数を入手できません。

説明: ファイル・システム上のマイグレーション済みファイルの番号の入手に失敗しました。番号はファイル・システムの状況ファイル内に保管されます。

システムの処置: スペース管理をファイル・システムから除去する場合は、処理は停止します。スペース管理が除去されません。

ユーザーの処置: 調整を実行してファイル・システムを調整してください。操作を再試行します。

ANS9300I ファイル・システム *file-system* でマイグレーション済みファイルが見つかりました。
再呼び出し中に見つかったエラーがないかチェックしてください。

説明: ファイル・システム内にマイグレーション済みファイルが存在するため、スペース管理の除去に失敗しました。IBM Spectrum Protect がファイルの再呼び出しをできなかったか、あるいは一部のマイグレーション済みファイルが再呼び出し操作中に失敗した可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は処理除去を停止します。

ユーザーの処置: 再呼び出し処理中に起こったエラー・メッセージを調べ、問題があればこれを訂正して、処理除去をやり直してください。

ANS9301E 仮想マシン「*vmname*」の完全 VM バックアップが失敗しました。RC *rc*

説明: 仮想マシンのフル VM バックアップが失敗しました。

システムの処置: 仮想マシンのフル・バックアップが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS9302E Restore VM コマンドは、VMBACKUPTYPE=FILE データをサポートしません。
VM ファイル・レベル・リストアは、仮想マシンの内部から、または

'asnodename' オプションを指定して実行する必要があります。

説明: Restore VM 機能は、ファイル・レベル・データではサポートされていません。

システムの処置: システムはユーザーの要求処置を処理しません。

ユーザーの処置: 仮想計算機のファイル・レベル・リストアは、仮想計算機の内部から、または asnodename オプションを指定して実行する必要があります。仮想計算機の完全リストアを処理するには、VMBACKUPTYPE=FULLVM を指定してコマンドを出します。

ANS9303E 仮想マシン「*vmname*」の完全 VM リストアが失敗しました。RC *rc*

説明: 仮想マシンのフル VM リストアが失敗しました。

システムの処置: 仮想計算機の完全リストアが失敗して終了しました。vmlist の次の仮想マシンを処理します。失敗の理由は、ローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれています。

ユーザーの処置: ローカル・クライアント・エラー・ログで失敗の理由を確認してください。

ANS9304E VMware Converter ツールがシステムにインストールされていません。

説明: VMware Converter ツールのインストールをシステム上で検出できませんでした。

システムの処置: フル仮想マシンのイメージ・ファイルは、指定した場所に正常にリストアされました。

ユーザーの処置: これ以上の処置は不要です。完全仮想計算機のイメージ・ファイルは、各種のツールで使用できます。VMware Converter ツールはシステムにインストールできます。

ANS9305E 無効な Hyper-V VM 名 '*string*' が入力されました。

説明: 誤った文字またはワイルドカード文字を含む Hyper-V VM 名が入力されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しい Hyper-V VM 名を入力してください。

ANS9306E 無効な Hyper-V VM リスト '*string*' が入力されました。

説明: 誤った文字またはワイルドカード文字を含む Hyper-V VM リストが入力されました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しい Hyper-V VM リストを入力してください。

ANS9307E Hyper-V VM 名または VMList が入力されていません。

説明: Hyper-V VM 名または VMList パラメーターが指定されていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しい Hyper-V VM 名または VMList パラメーターを指定してください。

ANS9308E 入力された Hyper-V VM 名または VMList '*string*' に一致するものが見つかりませんでした。

説明: 入力された Hyper-V VM 名または VMList パラメーターに一致するものが見つかりませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しい Hyper-V VM 名または VMList パラメーターを指定してください。

ANS9309E pick オプションが指定されていますが、Hyper-V VM 名または VMList '*string*' の値も入力されています。

説明: -pick オプションを指定した場合、同時に Hyper-V VM 名または VMList パラメーターを含めることはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: -pick オプションを指定する場合は、Hyper-V VM 名または VMList パラメーターは指定しないでください。

ANS9311E IBM Spectrum Protect サーバーに Hyper-V VM が存在しません。

説明: 現在、IBM Spectrum Protect サーバーに Hyper-V 仮想マシンを表すファイル・スペースが存在していません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: このコマンドを使用する前に、

Hyper-V 仮想計算機を正常にバックアップする必要があります。

ANS9312S *program-name:* ファイル *file name* の所有者/グループを変更できません。 *error*。

説明: IBM Spectrum Protect は指定されたファイルについて、所有権またはグループ、あるいはその両方を変更することができません。スペース管理が適切に稼働するためには、この変更が必要です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ディレクトリ許可によってファイル所有者またはグループが変更できることを確認してください。コマンドを再発行してください。

ANS9313E *program-name:* **TMP** ディレクトリがフルです。

説明: オペレーティング・システムからの **TMP** ディレクトリがフルです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **TMP** ディレクトリの一部のファイルを削除して、操作を再試行してください。

ANS9316T ファイル・システム '*file-system*' の削除の取り消しが完了しました。

説明: IBM Spectrum Protect はファイル・システムの削除の取り消し操作を完了しました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9330E *string* コマンドで指定されている仮想マシンが見つからなかったか、操作から除外されました。

説明: 仮想マシンが見つからなかったか、操作から除外されたため、コマンドを完了できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。正しい VM 名または domain オプションを指定してください。このエラーは、VMHOST、VMHOSTCLUSTER、VMFOLDER、VMDATASTORE、-VM の各オプション、または 'Excluded' タグの設定が誤っているために発生する可能性もあります。VMHOST オプション値は、IP アドレスとして指定するか、あるいは完全修飾ドメイン名 (FQDN) フォーマットのサーバー名として指定する必要があります。指定するホスト名は、「ホストおよびクラスター」ビューの vCenter Server に表示されているホ

スト名と一致していなければなりません。このホスト名は、完全修飾ホスト名 (FQDN)、短縮されたドメイン名、またはホスト IP アドレスのいずれかになります。

ANS9331W **VMC** ホスト *<host>* **VMC** Userid *<userid>* について **VMware vCenter** または **ESX** サーバーのユーザー ID およびパスワードを暗号化パスワード・ファイルから読み取ることができませんでした。

説明: 暗号化パスワード・ファイルから、VMware vCenter または ESX サーバーのユーザー ID およびパスワードを読み取ることができませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: `dsmc SET PASSWORD -type=VM 'vCenter hostname' 'userid' 'password'` を使用して、暗号化パスワードを保存してください。

ANS9332E **VMware vCenter** または **ESX** サーバーのユーザー ID およびパスワードが設定されていません。 `dsmc SET PASSWORD -type=VM 'vCenter hostname' 'userid' 'password'` を使用して、暗号化パスワードを保存してください。

説明: 暗号化パスワード・ファイルから、VMware vCenter または ESX サーバーのユーザー ID およびパスワードを読み取ることができませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: `dsmc SET PASSWORD -type=VM 'vCenter hostname' 'userid' 'password'` を使用して、暗号化パスワードを保存してください。

ANS9333E *Unix-system-call()* が失敗したために、'*file-name*' をスタブ・ファイルとして再作成できません。エラー番号: *error*、理由: *error-reason*。

説明: エラーが発生したために、IBM Spectrum Protect は、指定のファイルをスタブ・ファイルとして再作成することができませんでした。

システムの処置: 処理は、次のファイルから続行されます。

ユーザーの処置: エラーの詳細について、`dsmerror.log` を調べてください。影響を受けるファイル・パスが存在していない場合は、バックアップがあればバックアップからファイルをリストアするか、または手動で再作成してから、操作を再試行してください。指定したファイル・システムが IBM Spectrum Protect スペースの管理

ANS9334E • ANS9354E

対象であることと、書き込み可能で一貫性のある状態であることを確認してください。

ANS9334E サーバーから誤りのある別名 '*alias-name*' を受信しました。

説明: サーバーから無効な別名を受信したため、IBM Spectrum Protect はマイグレーション済みファイルの有効なパス名を作成できませんでした。

システムの処置: 処理は、次のファイルから続行されず。

ユーザーの処置: 可能な場合には、孤立検査調整または初期ファイルのインライン増分バックアップを実行して、サーバー上で別名が更新されるようにします。その後、操作を再試行してください。それ以外の場合は、IBM Spectrum Protect サポートに連絡して、さらに詳細な調査と問題解決を依頼してください。

ANS9347W 警告: ドメインに対して指定された「*domain-keyword*」は、**VMware ESX/ESXi** ホストへの接続時には無視されます。このドメインを処理するには、**VMware vCenter** に接続してください。

説明: ありません。

システムの処置: ドメイン・キーワードは無視されます。

ユーザーの処置: このドメインを処理するには、**VMware vCenter** に接続してください。

ANS9350E ボリュームの混合が原因でバックアップ操作が失敗しました。
追加情報については、説明のセクションを参照してください。

説明: ボリュームの混合が検出されたため、IBM Spectrum Protect はバックアップを作成できませんでした。選択されたボリュームのなかには、必要な時点でのみスナップショットをインポートするための要件に適合するものもあれば、適合しないものもあります。この状態は、バックアップ操作が要求され、「必要な時点でのみ VSS スナップショットをインポート」機能が使用可能になっており、しかもバックアップ操作に関与するボリュームのなかにトランスポート可能なスナップショットをサポートする VSS ハードウェア・プロバイダーによって管理されないものがある場合に発生します。さらに、この状態は、バックアップ操作に関与するボリュームのなかにトランスポート可能なスナップショットをサポートする VSS ハードウェア・プロバイダーによって管理されないものがある場合に、バックアップ操作中のクラスター化環境でも発生する可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: バックアップ操作を分割することにより、操作を再試行してください。バックアップ操作に関与するボリュームのすべてがトランスポート可能なスナップショットをサポートするハードウェア・プロバイダーによって管理されているか、あるいはバックアップ操作に関与するボリュームのすべてがトランスポート可能なスナップショットをサポートしないことを確認してください。さらに、「必要な時点でのみ VSS スナップショットをインポート」機能をオフにして、バックアップが混合を許容できるようにすることもできます。

ANS9351E データがサーバー上で使用不可であり、スキップされました。

説明: リストア対象のデータはサーバーで使用不可のため、リストアされません。

システムの処置: データはスキップされ、次にリストアされるオブジェクトについてリストア処理が続行されます。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

ANS9352E 操作で少なくとも 1 つのディスクにトランスポートとして **SAN** または **HOTADD** が選択されましたが、**SAN** ポリシーはこのデータ・ムーバーについて **OnlineAll** に設定されていません。**SAN** ポリシーが **OnlineAll** でない限り、**SAN** も **HOTADD** も使用できません。

説明: デフォルトのトランスポート設定が使用されたか、またはそれが **VMVSTORTTRANSPORT** オプションで指定されていたため、**SAN** または **HOTADD** がトランスポートとして選択されました。トランスポート・モードとして **SAN** または **HOTADD** を使用するには、**SAN** ポリシーが **OnlineAll** に設定されている必要があります。

システムの処置: リストア処理は停止します。

ユーザーの処置: **SAN** ポリシーを **OnlineAll** に設定するか、または **VMVSTORTTRANSPORT** を **SAN** または **HOTADD** 以外のもの (例えば **NBD**) に設定してください。その後で、リストア操作を再試行してください。

ANS9354E **SET ACCESS** コマンドに指定されたノード名または所有者名「*node*」は、許可される最大長 (64) を超えています。

説明: **SET ACCESS** コマンドに無効なノード名または所有者名が入力されました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しいノード名または所有者名を指定して、SET ACCESS コマンドを入力してください。

ANS9355E VMware vStorage VI Web サービス API はエラー・メッセージを報告しました: *vstor-api-msg*

説明: VMware vStorage VI Web Service API が、指定されたメッセージ・テキストでエラーを報告しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: dsmerror ログ・ファイルで追加情報を確認し、このメッセージの情報について IBM Spectrum Protect 管理者に問い合わせてください。

ANS9356E VMware vStorage API エラーが報告されました。

説明: VMware vStorage API エラーが報告されました。この問題に関する追加情報について、表示および記録されている他のメッセージを確認してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: dsmerror ログ・ファイルで追加情報を確認し、このメッセージの情報について IBM Spectrum Protect 管理者に問い合わせてください。

ANS9359W program-name: file-system: 上限しきい値 *high-threshold* が、推奨される最大パーセント *max-threshold* を超えています。

説明: システム・パフォーマンスが影響を受ける可能性があります。要求マイグレーションを待つことによる遅延が発生する場合があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: マイグレーションの上限しきい値をファイル・システムの容量より低く設定してください。

ANS9360W program-name: file-system: 構成済みの下限しきい値 *low-threshold* が、推奨される最小下限しきい値 *floor-percent* を下回っています。

説明: IBM Spectrum Protect の下限しきい値を、このファイル・システムで必要とされる最小スペースより少なく設定することは推奨されません。少なく設定すると、マイグレーション候補の検索がエンドレスで試行される場合があります。GPFS および Veritas では、ファイル・システムの使用量はこれらに推奨される最小下限しきい値より大きくなる場合があります。これらのタ

イプのファイル・システムではメタデータ用に幾分かのスペースを割り振るためです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: マイグレーションの下限しきい値を、ファイル・システムの推奨される最小サイズより高く設定してください。

ANS9361W program-name: file-system: 構成済みの事前マイグレーション *pre-mig* が、構成済みの下限しきい値 *low-threshold* とファイル・システムの推奨最小サイズ *Min_size* との差より大きくなっています。

説明: IBM Spectrum Protect 事前マイグレーション・パーセントが下限しきい値を下回っていると、ファイル・システムに十分なスペースが残らない場合があります。結果としてマイグレーション候補の検索がエンドレスで試行される可能性があります。GPFS および Veritas では、ファイル・システムの使用量はこれらに推奨される最小下限しきい値より大きくなる場合があります。これらのタイプのファイル・システムではメタデータ用に幾分かのスペースを割り振るためです。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 事前マイグレーションの設定値を低くしてください。

ANS9362W program-name: file-system: MAXFILES *max-files* が、ファイル・システム内で使用されている *i* ノード数 *used inodes* を下回っています。**MAXFILES** は、指定可能な最小値に設定されます。

説明: 指定された **MAXFILES** 値は、ファイル・システム内に既に存在しているファイルの数を下回っています。値は無視され、CFI は、現在使用されている *i* ノードの数に従って指定可能な最小サイズにデフォルト設定されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: **MAXFILES** の値を大きくしてください。

ANS9363W program-name: file-system: MAXFILES *max-files* が、ファイル・システム内で使用可能な合計 *i* ノード数 *files* を超えています。**MAXFILES** は指定可能な最大値に設定されます。

説明: 指定された **MAXFILES** 値は、ファイル・システム内の使用可能な *i* ノードの数を上回っています。値は無視され、CFI は、使用可能な *i* ノードの数に対応す

ANS9364E • ANS9372E

る最大サイズにデフォルト設定されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: MAXFILES の値を小さくしてください。

ANS9364E 仮想計算機の実環境の初期化に失敗しました。詳しいエラー・メッセージについては、**dsmerror.log** を参照してください。

説明: 仮想計算機の実環境の初期化に失敗しました。詳しいエラー・メッセージについては、**dsmerror.log** を参照してください。

システムの処置: バックアップを続行できません。

ユーザーの処置: 詳しいエラー・メッセージについては、**dsmerror.log** を参照してください。

ANS9365E 仮想マシン '**VM-name**' で **VMware vStorage API** エラーが発生しました。
IBM Spectrum Protect 機能名 :
function-name
IBM Spectrum Protect ファイル :
file-name (line-number)
API 戻りコード : **TSM-rc**
API エラー・メッセージ : *function-desc*

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS9368W 警告: パスワード・ファイルから読み取られた **VMware** ホスト・ユーザー ID *<hostuserid>* が、**VMCUSER** オプション値 *<vmcuserid>* とは異なります。
VMCUSER オプション値を使用します。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS9369W 警告: **VMC** ホスト *<host>* の **VMC** ユーザー ID *<userid>* について、**VMware VirtualCenter** または **ESX** サーバーのユーザー・パスワードがオプション・ファイルに設定されています。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS9370W 暗号化パスワードを保存するには、プリファレンス・エディターまたは **dsmc SET PASSWORD -type=VM 'VirtualCenter hostname' 'userid' 'password'** を使用してください。

説明: **VMCPW** オプションがオプション・ファイルまたはコマンド・ラインのいずれかで検出されました。この入力方式が許可されているときは、パスワードはプレーン・テキストで暗号化されないため、セキュリティ・リスクとなります。

システムの処置: このオプションは受け入れられ、現行セッションで **VMC** パスワードが使用されます。

ユーザーの処置: 暗号化パスワードを保存するには、プリファレンス・エディターの「**VM** バックアップ」パネルを使用するか、次のコマンドを使用してください。
dsmc SET PASSWORD -type=VM 'VirtualCenter hostname' 'userid' 'password'

ANS9371I *program-name: file-system:* 指定されている **MAXFILES** 値が **0** です。**CFI** サイズは自動的に計算されます。

説明: IBM Spectrum Protect で指定された **maxfiles** 値が **0** です。これは、**CFI** サイズが自動的に管理されるようになることを意味します。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9372E 無効なホスト名、データ・センター名、またはデータ・ストア名により、リストアする仮想マシンを作成できません。

説明: 無効なホスト名、データ・センター名、またはデータ・ストア名が指定されたため、IBM Spectrum Protect はリストアする仮想マシンを作成できませんでした。 **dsmerror** ログ・ファイルで、失敗の具体的な理由について調べてください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **dsmerror** ログ・ファイルで追加情報を確認し、このメッセージの情報について IBM Spectrum Protect 管理者に問い合わせてください。

ANS9373E 仮想マシン '*vm-name*' のバックアップは、バックアップ操作が進行しなかったために停止されました。

説明: IBM Spectrum Protect はデッドロックを検出しました。このデッドロックにより、仮想マシンのバックアップ操作が終了しません。バックアップ操作はキャンセルされました。

システムの処置: 仮想マシンのバックアップがキャンセルされました。

ユーザーの処置: 仮想マシンのバックアップを再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ANS9374E **VMware vStorage** 仮想ストレージ・ドライバ・サービスは、稼働中ではないか、見つけることができませんでした。
VMware 'vstor2-mntapi20-shared.sys' サービスがインストール済みで稼働中であることを確認してください。**VMware vStorage API** ランタイム・ファイルをインストールしてください。

説明: VMware vStorage API 環境の初期化に失敗しました。

システムの処置: バックアップを続行できません。

ユーザーの処置: VMware 'vstor2-mntapi20-shared.sys' サービスがインストール済みで稼働中であることを確認してください。VMware vStorage API ランタイム・ファイルをインストールしてください。

ANS9376E 「**VM** のバックアップ」コマンドのドメイン・キーワード '*domain-keyword*' が指定されていません。このドメインには、仮想マシンが含まれていません。このエラーは、**VMHOST** パラメーターの値が **IP** アドレスとして、または完全修飾ドメイン名として、指定されていない場合にも発生する可能性があります。

説明: 仮想マシンが見つからなかったため、コマンドを完了できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。
VMHOST パラメーターの値が **IP** アドレスとして、または完全修飾ドメイン名として、指定されていることを確認してください。指定するホスト名は、「ホストおよびクラスター」ビューの vCenter Server に表示されているホスト名と一致していなければなりません。これは、完全修飾ホスト名 (FQDN)、短縮されたドメイン

名、またはホスト IP アドレスのいずれかになります。

ANS9377E *string* コマンドで仮想マシンが指定されていなかったか、仮想マシンのドメイン・リストを処理できませんでした。

説明: 仮想計算機の名前が検出されなかったか、またはドメイン・オプションに仮想計算機が指定されていませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しい **VM** 名またはドメイン・オプションを指定してください。

ANS9378E データの指紋処理中に、予期しないエラーが発生しました。

説明: データの指紋処理中にエラーが発生しました。詳しくは、エラー・ログを参照してください。

システムの処置: オブジェクトはバックアップされません。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。クライアント・サイドの重複排除を使用せずに、操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS9379E データの重複排除処理中に、予期しないエラーが発生しました。

説明: データの重複排除処理中にエラーが発生しました。詳しくは、エラー・ログを参照してください。

システムの処置: オブジェクトはバックアップされません。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。クライアント・サイドの重複排除を使用せずに、操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

ANS9380E *string* コマンドで指定されている仮想マシンが見つかりませんでした。

説明: 仮想マシンが見つからなかったため、コマンドを完了できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。正しい **VM** 名または **domain** オプションを指定してください。このエラーは、**VMHOST**、**VMHOSTCLUSTER**、**VMFOLDER** または **VMDATASTORE** のオプションの不適切な設定が原因で発生することもあります。**VMHOST** オプション値は、**IP** アドレスとして指定するか、あるいは完全修飾

ドメイン名 (FQDN) フォーマットのサーバー名として指定する必要があります。指定するホスト名は、「ホストおよびクラスター」ビューの vCenter Server に表示されているホスト名と一致していなければなりません。これは、完全修飾ホスト名 (FQDN)、短縮されたドメイン名、またはホスト IP アドレスのいずれかになります。

ANS9381I *vmlist* オプションの値セットが、新規の *domain* オプションにマイグレーションされます。

説明: 新規オプションが設定されました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9383E 仮想マシン操作に必要なファイルが見つかりませんでした。
ファイルがインストールされるのは、クライアントが **IBM Spectrum Protect for Virtual Environments** のデータ・ムーバールとして定義されている場合のみです。

説明: 仮想マシン環境の初期化時に障害が発生しました。

システムの処置: 操作は続行できません。

ユーザーの処置: クライアントを使用して仮想マシンをバックアップするように IBM Spectrum Protect for Virtual Environments パッケージをインストールします。

ANS9384W 仮想マシン「*virtual machine name*」の **VMware CBT (Changed Block Tracking)** データを取得できません。フル **VM** バックアップは続行され、ディスクの使用済み領域と未使用領域の両方を含みます。

説明: IBM Spectrum Protect は指定された仮想マシンの CBT (Changed Block Tracking) データを取得できませんでした。バックアップは続行されますが、使用済みブロック (VM フルバックアップの場合) または変更済みブロック (VM 増分バックアップの場合) のみをバックアップするのではなく、仮想マシン全体をバックアップします。このバックアップには、ディスクの使用済みブロックと未使用ブロックの両方が含まれます。

システムの処置: バックアップを続行します。

ユーザーの処置: 変更済みブロック・データが取得されない原因について dsmerror.log エラー・ログを確認してください。

ANS9385W 仮想マシン '*VM-name*' の **VMware vStorage API** から、**vSphere API function** `__ns2__QueryChangedDiskAreas` で発生したエラーが返されました。 **RC=API** *return code*、詳細メッセージ: *API message*

説明: ありません。

システムの処置: CBT 処理は停止します。

ユーザーの処置: このメッセージで示された情報を IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

ANS9386W 仮想マシン「*virtual machine name*」では、変更済みブロックのトラッキングはサポートされていません。ディスクのフルバックアップは実行され、ディスクの使用済み領域と未使用領域の両方を含みます。

説明: IBM Spectrum Protect は、変更済みブロックのトラッキングがサポートされていないため、指定された仮想マシンの CBT (Changed Block Tracking) データを取得できませんでした。物理モードの RDM ディスク、共有仮想 SCSI バスに接続された仮想ディスク、ハードウェア・バージョン 6 以前の VM はサポートされていません。バックアップは続行されますが、使用済みブロック (VM フルバックアップの場合) または変更済みブロック (VM 増分バックアップの場合) のみをバックアップするのではなく、仮想マシン全体をバックアップします。このバックアップには、ディスクの使用済みブロックと未使用ブロックの両方が含まれます。

システムの処置: バックアップを続行します。

ユーザーの処置: 変更済みブロック・データが取得されない原因についてエラー・ログ dsmerror.log を確認してください。

ANS9387W 変更されたブロックの情報を入手できないため、仮想マシン「*virtual machine name*」の増分バックアップを実行できません。代わりにフル **VM** バックアップが試行されます。

説明: 増分バックアップの実行には変更されたブロックの情報がりますが、この情報を仮想マシンから入手できませんでした。この情報は、2 つのノードが同じ仮想マシンをバックアップした場合に欠落する可能性があります。あるノードが日次増分バックアップを実行し、別のノードが週次フルバックアップを実行します。週次フルバックアップが実行された後、次の日次バックアップは変更されたブロックの情報を入手できないため、増分バックアップの代わりにフルバックアップが実行されま

す。その後の日次バックアップは、次の週次フルバックアップまで増分バックアップになります。

システムの処置: 増分バックアップの代わりに、フルバックアップとしてバックアップを続行します。

ユーザーの処置: これ以外のこのエラーの考えられる原因については、IBM Spectrum Protect のサポート・サイト IBM Spectrum Protect サポート・ポータル (http://www.ibm.com/support/entry/portal/product/tivoli/tivoli_storage_manager) で、このメッセージ番号を検索してください。

ANS9388E 'option name' オプションで指定された管理クラス 'management class name' は無効であり、バックアップ・コピー・グループを持ちません。

説明: 指定されたオプションの管理クラス名が存在しないか、存在しても有効なバックアップ・コピー・グループを持ちません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定された管理クラス名が有効であること、およびそれに有効なバックアップ・コピー・グループが含まれていることを確認してください。

ANS9389W 仮想マシン「*virtual machine name*」の **DEDUP** バックアップ試行が失敗しました。 **DEDUP** を使用不可にして、**#retry attempt number** 回再試行します。

説明: DEDUP を使用可能にして仮想マシンをバックアップする試行が失敗しました。バックアップをすぐにあきらめるのではなく、DEDUP を使用不可にして仮想マシンをバックアップする試みが行われています。

システムの処置: DEDUP を使用不可にして処理を続行します。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを調べて、DEDUP が失敗した理由に関するメッセージがないか探します。今後 DEDUP を使用してバックアップする試行が失敗する場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS9390W 仮想マシン「*virtual machine name*」の **DEDUP** バックアップ試行が失敗しました。 **DEDUP** を使用不可にしたまま、**#retry attempt number** 回再試行します。

説明: DEDUP を使用可能にして仮想マシンをバックアップする試行が失敗しました。バックアップをすぐにあきらめるのではなく、DEDUP を使用可能にしたまま仮想マシンのバックアップを再試行する試みが行われています。

システムの処置: DEDUP を使用可能にしたまま処理を続行します。

ユーザーの処置: ログ・ファイルを調べて、DEDUP が失敗した理由に関するメッセージがないか探します。今後 DEDUP を使用してバックアップする試行が失敗する場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS9391W Linux ゲスト OS (EFI ブート・イネーブル機能付き) が、**IBM Spectrum Protect VMware** バックアップにより十分にサポートされていません。仮想マシンを正しくパワーオンできるようにする以下のリストアには、手動ステップが必要かもしれません。

説明: EFI ブートを有効にしてリストアされた Linux ゲスト OS は、正常に始動しない可能性があります。ゲスト OS を正常にブートするには、手動による手順が必要です。

システムの処置: リストア処理が続行されます。

ユーザーの処置: ゲスト OS をリストアした後、以下の作業を行ってください。ゲスト Linux ブート・ディスクを取り外してから再接続し、次のブート時に「Guest Boot Option」を選択して EFI セットアップ構成を入力し、ゲストの電源をオンにして、「EFI Boot Maintenance」画面に入り、ブート・デバイスを追加して、名前の付いていないボリュームを選択してそれにラベルを付けた後、変更内容を保存してコミットし、ブートを続行します。

ANS9392W バックアップ・セット名が入力されていません。

説明: この操作では、バックアップ・セットを指定する必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 有効なバックアップ・セット名を指定してください。

ANS9393W 間違ったバックアップ・セット名が入力されました。

説明: 指定されたバックアップ・セット名は無効でした。ワイルドカードは許可されません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 有効なバックアップ・セット名を指定してください。

ANS9394W バックアップ・セット・ファイル名または装置名が入力されていません。

説明: この操作では、バックアップ・セット・ファイル名または装置名を指定する必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 有効なバックアップ・セット・ファイル名または装置名を指定してください。

ANS9395E ファイル・スペースは永久増分モデルにマイグレーションされているため、**MODE=FULL** および **MODE=INCR** は無効です。

説明: ファイル・スペースが永久増分タイプにマイグレーションされている場合は、永久増分バックアップ・タイプ (IFINCR または IFFULL) のみを実行する必要があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **MODE=IFFULL** または **MODE=IFINCR** のどちらかを指定してください。

ANS9396W 仮想マシン「VM」は稼働していません。
IBM Spectrum Protect この VM のバックアップ中には、アプリケーション保護は使用されません。

説明: IBM Spectrum Protect アプリケーション保護は、稼働中の VM のみを保護できます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect アプリケーション保護は、VMWare ツールを使用してアプリケーションの整合性を提供します。

ユーザーの処置: 仮想マシンの電源をオンにするか、この仮想マシンに対する **INCLUDE.VMTSMVSS** オプションを削除して仮想マシンを IBM Spectrum Protect アプリケーション保護の対象から除外してください。ログを切り捨てたい場合は、**INCLUDE.VMTSMVSS** を使用してこのマシンを保護してください。

ANS9397W **IBM Spectrum Protect** アプリケーション保護ではこのマシンを保護できません。仮想マシン「VM」には、**IBM Spectrum Protect** アプリケーション保護によってサポートされているオペレーティング・システムまたはアプリケーションがありません。

説明: アプリケーション保護は、IBM Spectrum Protect アプリケーション保護によってサポートされるオペレーティング・システムまたはアプリケーションが

インストールされた仮想マシンに対してのみ使用できません。サポートされるオペレーティング・システムおよびアプリケーションのリストについては、製品資料を参照してください。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、VMware ツールを使用してアプリケーションの整合性を確保します。

ユーザーの処置: この仮想マシンに対する **INCLUDE.VMTSMVSS** オプションを削除することにより、この仮想マシンをアプリケーション保護の対象から除外してください。

ANS9398E **IBM Spectrum Protect** アプリケーション保護は、仮想マシン「VM」の初期化に失敗しました。詳細については、エラー・ログを参照してください。

説明: IBM Spectrum Protect アプリケーション保護で、初期化中にエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを参照してください。エラーを修正して、操作を再試行してください。

ANS9399W *program-name:* ロック・ファイル・アクセス・エラー: 操作: *value* パス: *value*: *value* **errno** テキスト: *value*

説明: ロック・ファイル操作が失敗しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は条件を記録し、処理を続行するか、ディレクトリーが見つからない場合は終了します。

ユーザーの処置: 構成を訂正してください。

ANS9401E *program-name:* 再呼び出しデーモンを強制終了できません。

説明: IBM Spectrum Protect 再呼び出しデーモンの強制終了に失敗しました。これはノードのフェイルオーバー時に発生する場合があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: さらにエラーが発生していないなら、通常操作を継続してください。

ANS9402E *program-name:* 障害のあるノードで **HSM** 操作を回復するように *process name* に通知することができません。

説明: 障害を起こしているパートナー・ノードの機能を引き継ぐために、**dsmwatchd** デーモンはローカル・デ

ーモンに通知する必要があります。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: このメッセージ中に指定された HSM デーモンとの通信を確立できません。ターゲット・デーモンが実行中であるかどうかを確認してください。ターゲット・デーモンを適切に開始または再始動してください。この問題が続いて起こる場合は、GPFS クラスタを再始動してください。

ANS9403E **IBM Spectrum Protect** は、バックアップするためのデータが、仮想マシンから送信されたバックアップするためのデータ・リストと一致していないことを検出しました。'VM-Name' のバックアップを続行できません。

説明: 仮想マシン用に IBM Spectrum Protect がバックアップするデータが、正しいバックアップに必要なデータと一致しません。バックアップは、データ損失を防ぐためにキャンセルされました。

システムの処置: バックアップは、データ損失を防ぐためにキャンセルされます。

ユーザーの処置: バックアップを再試行してください。再びこのエラーが起きたら、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。

ANS9404E 指定された仮想マシンの作成中にエラーが発生しました。詳しくは、ログ・ファイルを参照してください。

説明: 仮想マシンの作成中にエラーが検出されました。dsmerror.log で、仮想マシンを作成できなかった原因について追加情報を確認してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: dsmerror.log で、仮想マシンを作成できなかった原因についてさらに具体的なメッセージを確認してください。

ANS9405I *program-name: filesystem* ファイル・システムの引き継ぎが開始されました。

説明: 指定されたファイル・システムのローカル活動化が正常に開始されました。

システムの処置: ローカル・ノード上の IBM Spectrum Protect は、別のノード上でスペース管理されているファイル・システムの活動化を試行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9410W **VMware** ツールが仮想マシン「VM」上で実行していないか、または期限切れです。 **IBM Spectrum Protect** アプリケーション保護を使用できません。

説明: IBM Spectrum Protect アプリケーション保護を使用するには、VMware ツールが仮想マシン上でインストールされ、最新バージョンで実行されていることが必要です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、アプリケーションの整合性を提供しません。アプリケーション・ログは切り捨てられません。

ユーザーの処置: 仮想マシンで VMware Tools をインストールまたはアップグレード (あるいはその両方) して始動するか、この仮想マシンに対する INCLUDE.VMTSMVSS オプションを削除することによって仮想マシンをアプリケーション保護の対象から除外してください。

ANS9411E **VSS** プロバイダーの登録が失敗しました。コマンド '*command*' が **Windows RC=return code** で失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect は、仮想マシンに VSS プロバイダーを登録できませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 仮想マシンを再始動して、操作を再試行してください。

ANS9412E *program-name:* フェイルオーバーはローカル・マシンでは使用不可です。フェイルオーバーを中止しています...

説明: IBM Spectrum Protect フェイルオーバー操作は、システムまたはユーザーにより使用不可にされました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: 必要ならば、フェイルオーバー・ポリシーを検査してください。

ANS9413E 仮想ボリューム (**VVol**) データ・ストアはこの機能でサポートされないため、この操作が失敗しました。

説明: 指定されたデータ・ストアは VVol データ・ストアです。このタイプのデータ・ストアはこの機能ではサポートされていません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: VVol 以外のデータ・ストアを指定し、操作を再試行してください。

ANS9414E 仮想マシン 'VM-name' でアプリケーション保護が有効になっていますが、この仮想マシンは仮想ボリューム (VVol) データベース上にあります。この仮想マシンをバックアップするには、アプリケーション保護を無効にする必要があります。

説明: アプリケーション保護は VVol データ・ストア上の仮想マシンではサポートされません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: オプション・ファイルから include.vmtsmvss オプションを削除してアプリケーション保護を無効化し、仮想マシンを再度バックアップしてください。

ANS9415E 仮想マシン 'guest VM name' 上で 'destination' への 'source' のコピーが、VMware RC=rc で失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect は仮想マシンにファイルをコピーできませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ソース・ファイルが存在し、宛先がアクセス可能であることを確認してください。仮想マシンを再始動して、操作を再試行してください。

ANS9416E 仮想マシン上で、ディレクトリー 'source' を作成しようとして Windows RC=rc で失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントは、仮想マシン上に指定されたディレクトリーを作成できませんでした。ディレクトリーがすでに存在しており、プロセスによりロックされている可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 指定されたディレクトリーが仮想マシン上に存在しないことを確認してください。仮想マシンを再始動して、操作を再試行してください。

ANS9417E IBM Spectrum Protect アプリケーション保護は、「VM」という名前の仮想マシンの VSS 書き込み機能を凍結できませんでした。詳細については、エラー・ログを参照してください。

説明: IBM Spectrum Protect アプリケーション保護で、VSS 書き込み機能を凍結しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 'vssadmin list writers' コマンドを

使用して、仮想マシンでいずれかの VSS 書き込み機能によりエラーが検出されたかどうかを判別してください。VM を再始動します。操作を再試行します。再試行が失敗した場合、エラーに関する詳細はエラー・ログを参照してください。

ANS9422I program-name: filesystem ファイル・システムのローカルバックが開始されました。

説明: 指定されたファイル・システムのローカル活動化が正常に開始されました。

システムの処置: ローカル・ノード上の IBM Spectrum Protect は、別のノード上でスペース管理されているファイル・システムの活動化を試行します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9428E program-name: filesystem ファイル・システムの引き継ぎの開始が失敗しました。

説明: 指定されたファイル・システムのローカル活動化の開始が失敗しました。引き継ぎの対象になるのは、同じクラスター内の別のノード上でスペース管理されているファイル・システムだけです。さらに、ファイル・システムがローカルにマウントされている必要もあります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、そのファイル・システムを引き継ぎません。

ユーザーの処置: そのファイル・システムがローカルにマウントされており、同じクラスター内の別のノードにあるスペース管理のための IBM Spectrum Protect クライアントで管理されていることを確認してから、操作を再試行してください。

ANS9431E IBM Spectrum Protect アプリケーション保護は、仮想マシン「VM」上で VSS 書き込み機能の解凍に失敗しました。詳細については、IBM Spectrum Protect エラー・ログを参照してください。

説明: IBM Spectrum Protect アプリケーション保護で、VSS 書き込み機能を解凍しているときにエラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを参照してください。コマンド「vssadmin list writers」を実行して、どの VSS 書き込み機能もエラーを報告していないことを確認してください。仮想マシンを再始動して、操作を再試行してください。再試行が失敗した場合、エラーに関する詳細はエラー・ログを参照してください。

ANS9432W IBM Spectrum Protect アプリケーション保護は、仮想マシン 'VM' 上のアプリケーション・ログの切り捨てに失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect アプリケーション保護で、VSS バックアップ操作の完了時にエラーが発生しました。アプリケーションは正常に静止しましたが、ログは切り捨てられませんでした。

システムの処置: アプリケーション・ログは切り捨てられません。

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを参照してください。コマンド「**vssadmin list writers**」を実行して、どの VSS 書き込みプログラムもエラーを報告していないことを確認してください。仮想マシンを再始動して、操作を再試行してください。再試行が失敗した場合、エラーに関する詳細はエラー・ログを参照してください。ゲスト VM 上で、マウントされたボリュームがオンラインではないことを確認してください。Recovery Agent を使用して、既存のマウント・ディレクトリーのマウントを解除してから、除去してください。その後、バックアップ操作を再試行してください。

ANS9433E program-name: dm_send_msg が、エラー番号 *Errno* で失敗しました。

説明: DMAPI 呼び出しを実行できません。

システムの処置: 操作を中止します。

ユーザーの処置: GPFS デーモンの整合性を検査してください。

ANS9443E program-name: 非活動フェイルオーバー環境では、操作を実行できません。

説明: 操作は、活動フェイルオーバー環境に依存します。

システムの処置: 操作を中止します。

ユーザーの処置: ローカル・ノードで **dsmmigfs enableFailover** を実行し、操作を繰り返してください。

ANS9450W program-name: 引き継ぎ用の適格なファイル・システムがありません。

説明: ローカルにマウントされた GPFS ファイル・システムが、リモートで管理されている故障ノードのファイル・システムと一致しません。

システムの処置: 引き継ぎ操作を中止しています。

ユーザーの処置: リモートの故障ノードのファイル・システムが、そのノード・セット内で管理されていることを検査してください。

ANS9451E program-name: GPFS または **SP** スイッチがローカルにダウンしました。引き継ぎ活動を中止中...

説明: IBM Spectrum Protect GPFS はローカルに機能していません。

システムの処置: 引き継ぎ操作を中止しています。

ユーザーの処置: スイッチと VSD 状況を検査してください。ローカル・システムは隔離解除される必要があります。

ANS9452E program-name: DMAPI がローカルに機能していません。引き継ぎ活動を中止中...

説明: 操作は、DMAPI インターフェースがアクセス可能でないので、停止しました。

システムの処置: 引き継ぎ操作を中止しています。

ユーザーの処置: GPFS 状況を検査してください。

ANS9453E program-name: ファイル '*file-path*' の **GPFS** ストレージ・プール **ID** を判別できませんでした。理由: *reason*

説明: 処理されたファイルが存在しないか、ストレージ・プール・サポートのないファイル・システムにあります。

システムの処置: 要求された操作は停止します。

ユーザーの処置: 入力パラメーターを確認し、DMAPI がファイル・システムで使用可能になっていないか確認してください。

ANS9457E program-name: ファイル・システム '*file-system*' のストレージ・プールの判別できませんでした。理由: *reason*

説明: 指定されたファイル・システムは、GPFS ファイル・システムでないか、古い GPFS バージョンがあります。

システムの処置: 要求された操作は停止します。

ユーザーの処置: サポートされているバージョンの GPFS に更新してください。

ANS9459E 指定された **MAXCANDIDATES** パラメーターを使用すると、
/etc/adsm/SpaceMan/candidatesPool の親ファイル・システムでスペース不足の状態になります。現在の
フリー・スペース状態に基づくと、

ANS9462E • ANS9487W

MAXCANDIDATES パラメーターの最大値は、*value* です。

説明: 選択されたファイル・システム用の自動マイグレーション候補プールは、`/etc/adsm/SpaceMan/candidatesPool` 下に、**MAXCANDIDATES**/10 KB に加えて、安全のためのバッファとして 5 MB のメモリを必要としています。これは使用可能なスペースを超えています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作を打ち切ります。

ユーザーの処置: ファイル・システムのサイズを増やすか、**MAXCANDIDATES** パラメーターにより小さい値を指定してください。マイグレーション・プール用に十分なスペースを持った専用ファイル・システムを `/etc/adsm/SpaceMan/candidatesPool` で作成することもできます。このオプションを行った後、**dsmscout** プロセスを強制終了してください。

ANS9462E フェイルオーバー機能はこの **HSM** リリースではサポートされません。

説明: IBM Spectrum Protect ユーザーが、サポートされないプラットフォームでフェイルオーバー・フラグを指定して **dsmmigs** を実行しました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は操作を終了します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9469E 警告! *name* の親ファイル・システム内でスペース不足のため、完全なマイグレーション候補リストを書き込むことができません。

説明: IBM Spectrum Protect マイグレーション候補ファイルを保管するファイル・システム内のスペース不足。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 実行可能モジュールは、マイグレーション候補リストを部分的に書き込みます。

ユーザーの処置: ファイル・システム・サイズを増やすか、与えられたパス上で十分なサイズを持つ専用ファイル・システムを作成してください。

ANS9474E *program-name:* エラー: *errno* によりセッションを失いました。リカバリーを試みています。

説明: DMAPI セッションが無効です。

システムの処置: セッションのリカバリーを試みています。

328 IBM Spectrum Protect: クライアント・メッセージとアプリケーション・プログラミング・インターフェースのリターン・コード

ユーザーの処置: 失敗ノードを確認してください。ローカル GPFS デーモンを回復する必要があると考えられます。

ANS9475W **IBM Spectrum Protect** アプリケーション保護は、仮想マシン VM で **VSS** バックアップ後のクリーンアップに失敗しました。

説明: IBM Spectrum Protect アプリケーション保護で、VSS バックアップ操作後のクリーンアップ中にエラーが発生しました。

システムの処置: なし

ユーザーの処置: 詳細についてはエラー・ログを参照してください。仮想マシンを再始動して、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS9476I *program-name:* **DM** セッション *sid* をリカバリーしました。

説明: DMAPI セッションはリカバリーされます。

システムの処置: これは単なる通知メッセージです。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

ANS9480E *program-name:* *filesystem* ファイル・システムのロールバックの開始が失敗しました。

説明: 指定されたファイル・システムのローカル活動化の開始が失敗しました。ロールバックを実行できるのは、フェイルオーバー時にファイル・システムのスペース管理をローカル・ノードから別のノードに移動した後に限られます。さらに、ファイル・システムがローカルにマウントされている必要もあります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、そのファイル・システムをロールバックしません。

ユーザーの処置: そのファイル・システムがローカルにマウントされており、同じクラスター内の別のノードにあるスペース管理のための IBM Spectrum Protect クライアントで管理されていることを確認してから、操作を再試行してください。

ANS9487W *program-name:* ファイル・ハンドル = *filehandle* の当該セッション *session* を照会できません。
トークン = *token*。理由: *error*。

説明: スペース管理は当該ファイルを照会できません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9488E Java ランタイム環境 (JRE) が検出されませんでした。 ファイル VM は存在しません。

説明: JRE は、IBM Spectrum Protect インストール・ディレクトリーで検出されませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 製品を再インストールするか、必須バージョンの JRE をインストールして、再試行してください。 ご使用のマシンに JRE が既にインストールされている場合は、PATH 環境変数に javaw.exe へのパスが含まれていることを確認してください。

ANS9489E Java ランタイム環境 (JRE) が検出されませんでした。

説明: JRE が検出されませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 既に JRE をインストールしている場合は、システム PATH で「java」実行可能ファイルが設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、必須の JRE バージョンをインストールしてください。

ANS9490E IBM Spectrum Protect クライアントのインストール・ディレクトリーで **httpagent.jar** を検出できません。

説明: 必須ファイルが検出されませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 製品を再インストールするか、必須バージョンの JRE をインストールして、再試行してください。

ANS9491E 仮想マシン「*guest VM name*」のパスワード資格情報を検出できませんでした。 暗号化パスワードを保存するには、**dsmc SET PASSWORD -type=VMGUEST 'VM guest name' 'userid' 'password'** を使用します。

説明: 必須のパスワードが見つかりませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 暗号化パスワードを保存するには、**dsmc SET PASSWORD -type=VMGUEST 'VM guest name' 'userid' 'password'** を使用します。 次に、「**backup vm**」操作を再試行してください。

ANS9492E 宛先のサイズがソースと等しくありません。

説明: 選択された宛先のスペース割り振りは、ソースと同じではありません。

システムの処置: リストア操作は実行されません。

ユーザーの処置: サイズがソースと等しい別の宛先を選択してください。

ANS9493E 仮想マシン「*guest VM name*」に関して検出された資格情報は誤っています。 資格情報を確認して、**dsmc SET PASSWORD -type=VMGUEST 'VM guest name' 'userid' 'password'** を使用し、ユーザー名とパスワードを更新してください。

説明: 提供された資格情報は誤っています。 これらの資格情報を使用したゲスト VM の認証に失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **dsmc SET PASSWORD -type=VMGUEST 'VM guest name' 'userid' 'password'** を使用して、ユーザー名とパスワードを更新してください。 次に、「**backup vm**」操作を再試行してください。

ANS9494E コマンド「*command*」が仮想マシン「*guest VM name*」上で **RC=return code** で完了しました。

説明: リモート・コマンドがタイムアウトになったか失敗したかのどちらかです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **VMTIMEOUT** オプションの値を増やして、操作を再試行してください。

ANS9495E VMware ツールがゲスト・マシンで実行されていないため、仮想マシン「*guest VM name*」へのログインに失敗しました。 VMware ツールが実行されており、他のどのプログラムもこの VM にアクセスしたり、何らかの変更を加えていないことを確認してください。

説明: VMware ツールがゲスト・マシンで実行されていないため、仮想マシンへのログインに失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: VMware ツールが実行されており、他のどのプログラムもこの VM にアクセスしたり、変

更を加えていないことを確認してください。次に、「backup vm」操作を再試行してください。

ANS9496E アプリケーション保護について仮想マシン VM をロックできません。

説明: 仮想マシンは、別のプロセスによってバックアップされています。仮想マシンのバックアップ中に IBM Spectrum Protect アプリケーション保護の使用が許されるプロセスは、一度に 1 つのみです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 別のデータ・ムーバーを介してバックアップ処理中の別の仮想マシンがすでに存在します。別の仮想マシン・バックアップが完了するのを待ってから、操作を再試行してください。あるいは、仮想マシンの前回のバックアップ中に異常終了が発生したか、CTRL+C が押されています。10 秒待機してから操作を再試行してください。

ANS9497W 仮想マシン「VM」は、IBM Spectrum Protect アプリケーション保護がサポートしていない ESX サーバーまたは vCenter にあります。IBM Spectrum Protect アプリケーション保護は使用されません。

説明: サポートされる ESX および vCenter のバージョンのリストについては、製品資料を参照してください。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、VMware ツールを使用してアプリケーションの整合性を確保します。

ユーザーの処置: この仮想マシンに対する INCLUDE.VMTSMVSS オプションを削除することにより、この仮想マシンをアプリケーション保護の対象から除外してください。

ANS9498W 仮想環境向けの有効な IBM Spectrum Protect ライセンス・ファイル (license-file) が見つかりません。IBM Spectrum Protect アプリケーション保護は使用されません。

説明: ライセンス・ファイルが見つからなかったか、アクセス権のためにオープンできなかったか、またはファイルが破損しています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、VMware ツールを使用してアプリケーションの整合性を確保します。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を確認してくだ

さい。ライセンス・ファイルが正しい場所にあるかどうか確認してください。

ANS9499W 仮想マシン「VM」上の VMware ツールは更新が必要です。IBM Spectrum Protect アプリケーション保護は引き続き使用されます。

説明: IBM Spectrum Protect アプリケーション保護を使用するには、VMware ツールが最新のものであることが必要です。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、VMware ツールを使用してアプリケーションの整合性を確保します。

ユーザーの処置: 仮想マシン上の VMware ツールを更新してください。

ANS9500W *program-name*: マウント・イベントの後処理ができません。理由: *error*。

説明: システム全体のマウント・イベントを後処理することができませんでした。マウント・イベントはこのデーモンによって受け取られません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 問題の分析解決を試みて、再呼び出しデーモンを再始動してください。問題をすぐには解決できない場合は、スペース管理がサポートするファイル・システムを、dsmmigfs を用いて追加された後か、またはマウント・コマンドを用いてファイル・システムがマウントされた後で、再呼び出し (再呼び出し) デーモンを強制終了させ、再始動します。

ANS9501W *program-name*: ファイル・システム *mountdir* のセッション *session* でイベントの後処理を設定できません。
トークン = *token*。理由: *error*。

説明: ファイル・システムでイベントを後処理することができませんでした。このファイル・システムのイベントは受け取られません。HSM は、このファイル・システムには使用可能ではありません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: スペース管理がそれをサポートするためには、ファイル・システムはサポートされているネイティブ・ファイル・システムの 1 つでなければなりません。このファイル・システムのマウント・オプションが正しいか調べてください。問題を訂正して、ファイル・システムを再度マウントしてください。

ANS9502W *program-name:* ファイル・システム
mountdir のセッション *session* でイベ
 ントの後処理を削除できません。
 トークン = *token*。理由: *error*。

説明: ファイル・システムからイベント後処理を除去
 することができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイル・システムがマウントされ
 ていること、および *dmapi* がそのファイル・システムで
 使用可能になっていることを確認してください。この問
 題が続いて起こる場合は、ファイル・システムをアンマ
 ウントして再マウントしてから、操作を再試行してくだ
 さい。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを
 リブートしてください。

ANS9503I *program-name:* ファイル・システム
filesystem-name のセッション *session* でイ
 ベントが設定され、後処理されています。

説明: DM セッションでイベントを設定して、そのイ
 ベントを後処理すると、そのファイル・システムがスベ
 ース管理サポートに使用できるようになります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9504W *program-name:* ファイル・システム
filesystem-name がマウントされていない
 か、あるいは正しくないオプションを用い
 てマウントされています。

説明: ファイル・システムがマウントされていないか、
 あるいは正しくないオプションを用いてマウントされて
 います。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は続行しま
 す。

ユーザーの処置: ファイル・システムをマウントする
 か、あるいは正しいマウント・オプションを指定して再
 度マウントします。

ANS9505E *program-name:* **DMAPI** インターフェース
 を初期化できません。理由: *error*。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントが、
 DMAPI インターフェースのインプリメンテーション定
 義の初期化の実行に失敗しました。

システムの処置: *dm_init_service()* 関数が失敗しまし
 た。

ユーザーの処置: 非 root ユーザーとして IBM
 Spectrum Protect を実行しており、IBM Spectrum

Protect スペース管理クライアントをインストール済み
 である場合は、**dsmrootd** デーモンが稼働中であること
 を確認してから、操作を再試行してください。スベ
 ース管理クライアントがインストールされていない場合は、
 root ユーザー権限で操作を再試行してください。

ANS9506E *program-name:* 指定されたファイル・スベ
 ース引数 '*argument*' の形式が無効です。

説明: GPFS ファイル・システムを使用し、そのファ
 イル・システムのパラメーターの形式が正しくない場合
 に発生します。

システムの処置: 要求された操作は停止します。

ユーザーの処置: 正しい構文については *dsmautomig*
 の資料を参照してください。

ANS9507E *program-name:* ファイル・ハンドル
filehandle の当該セッション *session* を要
 求できません。
 トークン = *token*。理由: *error*。

説明: スペース管理は、ファイルに対して必要な権限を
 要求することができません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9508W *program-name:* ファイル・ハンドル =
filehandle の当該セッション *session* を解
 放できません。
 トークン = *token*。理由: *error*。

説明: スペース管理は、ファイルに対する権限を解放す
 ることができません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9509W *program-name:* セッション *session* でタイ
 プ *event-type* の予期しないイベントを受
 け取りました。

説明: スペース管理デーモンは予期しないイベントを受
 け取りました。このイベントは後処理されていませ
 ん。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はイベントを
 無視して続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9510E *program-name:* セッション *session* からイベント・メッセージを入手できません。予測される最大メッセージ長 = *msglen*、戻されるメッセージ長 = *return-length*。理由: *error*。

説明: DM セッションでメッセージを受け取ろうとしたときに、スペース管理でエラーが見つかりました。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9511E *program-name:* セッション *session* で、ファイル: 名前 = *name* ハンドル = *handle* トークン = *token* に関する DM 属性を読み取ることができません。理由: *error*。

説明: スペース管理は、DM オブジェクト (通常、ファイル) の DM 属性を読み取ることができません。ファイル名が使用できない場合は、空のストリングとして表示されるか、<NA> が表示されます。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9512E *program-name:* セッション *session* で、ファイル・ハンドル = *filehandle* トークン = *token* に関する DM 属性を設定できません。理由: *error*。

説明: スペース管理は、DM オブジェクト (通常、ファイル) の DM 属性を設定することができません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9513E *program-name:* セッション *session* で、ファイル・ハンドル = *filehandle* トークン = *token* に関する DM 属性を削除できません。理由: *error*。

説明: スペース管理は、DM オブジェクト (通常、ファイル) の DM 属性を除去することができません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9514E *program-name:* *path* からファイル・ハンドルを作成することができません。理由: *error*。

説明: スペース管理は、指定のファイルからファイル・ハンドルを作成することができません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9515E *program-name:* マイグレーション情報を設定することができません。理由: *error*。

説明: スペース管理がファイルまたはファイル・システムからファイル・ハンドルを作成することができないので、スペース管理は、そのファイルのマイグレーション情報を設定することができません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9516E *program-name:* セッション *session* でユーザー・イベント・メッセージを作成することができません。理由: *error*。

説明: スペース管理は、処理されるファイルに対する権限を参照するのに必要な、ユーザー・イベント・メッセージを作成することができません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9518E *program-name:* セッション *session* で、トークン *token* を使用してイベント・メッセージに応答することができません。理由: *error*。

説明: イベント・メッセージに応答することができませんでした (システムに戻されました)。

システムの処置: スペース管理は続行されます。

ユーザーの処置: ユーザー・プロセスが予期しないブロックに遭遇して、強制終了することができない場合は、システム管理者に連絡してください。

ANS9519W *program-name:* セッション *session* トークン = *token* **fs** ハンドル = *fs-handle* で、ファイル・システムの **eventlist** を設定できません。理由: *error*。

説明: ファイル・システムに対してイベント・リストを設定することができませんでした。このファイル・システムに対するイベントは何もシステムによって生成されません。

システムの処置: スペース管理は続行されます。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが **dmapi** を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムをリブートしてください。

ANS9520E *program-name:* セッション *session*
 で、ファイル・ハンドル = *filehandle* トークン = *token* に関する管理領域を設定できません。理由: *error*。

説明: ファイル・システムに対して管理下の領域を設定することができませんでした。このファイルのイベントは何も生成されません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが *dmapi* を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムをリブートしてください。

ANS9521E *program-name:* セッション *session*
 で、ファイル・ハンドル = *handle* トークン = *token* に関するファイル属性を入手できません。理由: *error*。

説明: スペース管理はファイルの属性を読み取ることができません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが *dmapi* を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムをリブートしてください。

ANS9522E *program-name:* *path* からファイル・システム・ハンドルを作成できません。理由: *error*。

説明: プログラムは、そのファイル・システム名からファイル・システム・ハンドルを作成できません。操作が許可されていないという理由の場合は、そのファイル・システムに関して *dmapi* 機能が使用不可になっている可能性があります。

システムの処置: そのファイル・システムの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 操作が許可されていないという理由の場合は、そのファイル・システムに関して *dmapi* 機能を使用可能にしてから、再試行してください。

ANS9523E *program-name:* セッション *session*
 上でファイル・ハンドル = *filehandle* トークン = *token* のファイル用スタブ・サイズの検査を行うことができません。理由: *error*。

説明: システムで、正しいスタブ・サイズを判別することができませんでした。

システムの処置: システムはファイルのマイグレーションを停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが *dmapi* を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9524W *program-name:* スタブ・サイズを、セッション *session*
 上で、ファイル・ハンドル = *filehandle* トークン = *token*
 元のスタブ・サイズ = *old-size* 新規スタブ・サイズ = *new-size* の許可されたスタブ・サイズの値に調整しました。

説明: ファイルの事前定義スタブ・サイズを、DMAPI 実装によって定められている境界と丸めの制約に合わせて修正する必要があります。事前定義スタブ・サイズ値が論理ファイル・サイズよりも大きい場合には、スペース管理により、マイグレーション中にスタブ・サイズが変更される可能性もあります。

システムの処置: スペース管理は続行されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9525E *program-name:* セッション *session*
 上で、ファイル・ハンドル = *handle* トークン = *token* に対してスタブ・ファイルを作成することができません。理由: *error*。

説明: スタブ・ファイルの作成中にエラーが発生しました。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9526E *program-name:* 状態ファイル *filename* を書き込み用にオープンすることができません。理由: *error*。

説明: グローバルまたはファイル・システム状況ファイルをオープンできませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが *dmapi* を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9527E *program-name:* 状態ファイル *filename* に書き込むことができません。理由: *error*。

説明: スペース管理は状態ファイルに書き込むことはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが **dmapi** を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9528W *program-name:* 状態ファイル *filename* から読み取ることができません。ファイルは破損しており、再作成されます。

説明: スペース管理は状態ファイルから読み取ることができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが **dmapi** を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9529W *program-name:* ファイル・システム状態ファイルのハンドルを取得できません。

説明: IBM Spectrum Protect スペース管理はグローバル状態ファイルに保管されたファイル・システムの状態ファイルのハンドルを検出できませんでした。HSM サポートが追加されていないファイル・システムをスペース管理が照会しているか、ファイル・システムの状態ファイルが破壊されているか、あるいはグローバル状態ファイルが破壊されている場合には、これが発生する可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、その状況によって処理を続行または停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが **dmapi** を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9530W *program-name:* *file-system* の項目をグローバル状態ファイルから除去することができません。

説明: **dmiFSGlobalState** ファイル内のファイル・シス

テムの項目を除去することができません。考えられる理由は次のとおりです。

- 一時ファイル・システム表の一時ファイル名を作成するためのメモリーが十分にありません。
- 一時ファイル・システム表を作成するためのフリー・スペースまたは **i** ノードが十分にありません。
- 実ファイル・システム表または一時ファイル・システム表をオープンではありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はグローバル状態ファイルから項目を除去しません。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが **dmapi** を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9531E *program-name:* **DM** セッションを作成できません。旧セッション = *oldsession* セッション情報 = *session-info*。理由: *error*。

説明: スペース管理は **DM** セッションを作成することができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9532W *program-name:* セッション *session* を破棄することができません。理由: *error*。

説明: スペース管理は **DM** セッションを破棄することができません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが **dmapi** を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9533W *program-name:* すべてのセッションの入手が正常に実行されませんでした。理由: *error*。

説明: スペース管理はシステム上のすべての **DM** セッションを入手することができません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが **dmapi**

を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9534W *program-name:* プログラムの既存の DMAPI セッションを検出できません。
理由: *error*。

説明: Space Management プログラムは、システム上で以前に使用された DMAPI セッションを検出できません。

システムの処置: Space Management プログラムは、新規の DMAPI セッションを開きます。

ユーザーの処置: 新規の DMAPI セッションを作成できる場合は、通常操作を続行してください。新規の DMAPI セッションを作成できない場合は、エラーが発行されます。

ANS9535E *program-name:* ファイル記述子 *file-descriptor* からファイル・ハンドルを作成することができませんでした。
理由: *error*。

説明: スペース管理はファイル・ハンドルを作成することができません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが *dmapi* を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9536E *program-name:* セッション *session* でイベント・メッセージを照会できません。理由: *error*。

説明: スペース管理再呼び出しサービスは、再呼び出し要求が NFS デーモンから開始されたかどうかを識別できませんでした。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: NFS デーモンが適切に稼働していることを確認し、再呼び出し操作を再試行してください。

ANS9537E *program-name:* ファイル・システム '*filesystem*' に対して無効なストレージ・プール '*storagepool*'。

説明: その名前のストレージ・プールは指定されたファイル・システムに存在していません。

システムの処置: 要求された操作は停止します。

ユーザーの処置: そのストレージ・プールが指定されたファイル・システムに存在していることを確認してください。

ANS9538W *program-name:* **DM** ファイル属性についての要求 *request* が認識されていません。

説明: 取り扱うことができない不明の要求タイプが見つかっています。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9539E *program-name:* ファイル・ハンドル = *filehandle* から
ファイル・システム・ハンドルを作成することができません。理由: *error*。

説明: ファイル・ハンドルからファイル・システム・ハンドルを作成することができませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 通常操作を続行してください。

ANS9542E *program-name:* セッション *session* でファイル・ハンドル = *filehandle* トークン = *token* フラグ = *flag* に関してファイル属性を設定できませんでした。
理由: *error*。

説明: スペース管理がファイル属性を更新することができません。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。この問題が続いて起こる場合は、ファイル・システムが *dmapi* を使用可能にしてマウントされていることを確認してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9543W *program-name:* **IBM Spectrum Protect** クライアントでは、ファイル・システム *filesystem-name* 上での **nospace** 状態に対処するためには *blocks-num1* 個の空きファイル・システム・ブロックが必要です。
エラー番号: *error-num*、理由: *error-str*。
現在、ブロック・サイズ *block-size* バイトの *blocks-num2* ブロックが使用可能です。

説明: クライアントがファイル・システムに関する状況情報を取得できないか、またはファイル・システムに十分なスペースがありません。ファイル・システム状況情

ANS9545E • ANS9556E

報が使用できない場合は、メッセージはゼロ・ブロックを報告します。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイル・システムでスペースが不足している場合は、必要なスペースを解放するか、ファイル・システムの容量を増やしてください。この原因が入出力エラーである場合は、適切なファイル・システム検査 (例えば **fsck**) を実行してください。その後で、操作を再試行してください。

ANS9545E *program-name:* 処理を続行するために *lockdirlockfile* に対するロックを取得できません。

説明: スペース管理はファイルのロックを入手することができません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続いて起こる場合は、HSM を再始動してください。この問題がまだ続いて起こる場合は、システムを再始動してください。

ANS9546E 仮想マシン上で **Microsoft Active Directory** ドメイン・コントローラーが検出されたため、**IBM Spectrum Protect** は瞬時リストアを実行できません。

説明: 仮想マシンに **Microsoft Active Directory** ドメイン・コントローラーが含まれています。瞬時リストアを使用してこの仮想マシンをリカバリーすることはできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 通常のリストアを使用して、仮想マシンをリカバリーしてください。

ANS9548W *i* ノード:'*inode number*」、別名:'*file name*' のリモート・ファイル・アクセスを完了できません。

説明: スペース管理はリモート・ファイル・アクセスを完了することができません。一時的に使用できなくなっている **IBM Spectrum Protect** マイグレーション・サーバーに、ファイルがマイグレーションされている可能性があります。ファイルが孤立スタブである可能性があります。

システムの処置: プロセスは現在の操作を終了します。

ユーザーの処置: サーバーがシステム管理者によって使用不能になっていないか調べ、その後操作を再試行します。ファイルが孤立スタブであるかどうかを確認するには、対象のファイル・システムに対して **dsmreconcile**

を実行します。注: サーバーへの接続が使用不可の場合は、ファイル別名に「**unavailable**」と表示されます。あるいは、適切なファイル・コピーを特定のマイグレーション・サーバーに配置できない場合は、「**orphan**」と表示されます。

ANS9550W ファイルの再呼び出しが中断されています。

説明: 再呼び出し中のファイルによりファイル・システムのスペースが使い尽くされるので、再呼び出しは停止します。

システムの処置: プロセスは現在の操作を終了します。

ユーザーの処置: ファイル・システムのスペースを増やすか、不要ファイルを除去するか、スペース管理が要求またはしきい値マイグレーションによってファイル・システムの外にファイルをマイグレーションし終えるまで待つか、あるいは手操作でファイルをマイグレーションしてください。その後で操作を再試行してください。

ANS9552E *program-name: file-system* にスペース管理を追加できません。パスに非ローカル・ファイル・システムが含まれています。

説明: スペース管理をファイル・システムに追加しようとしたが、そのパスには非ローカルのエレメントが含まれています。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ファイル・システムは完全にローカルでなければなりません。

ANS9554E *program-name:* ファイル・システム *mountdir* に対する *command* 理由: *error*。

説明: ファイル・システムの XDSM API 機能を使用可能または使用不可にすることに失敗しました。HSM を使用可能にしようとした場合であれば、このファイル・システムの HSM は使用できません。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイル・システムは、スペース管理が管理対象属性を正常に設定するためにタイプ **JFS2** になっている必要があります。ファイル・システムのタイプが正しいことを確認してください。

ANS9556E ディスク上の **CTL** ファイルの数 (*number of CTLs on disk*) が、予想値 (*number of CTLs in cache*) と一致しません。

説明: **VCM** ライブラリー・キャッシュでカウントされる **CTL** ファイルの数は、ローカル・ディスク内の

CTL ファイル数と等しくなければなりません。

システムの処置: 処理は打ち切られます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9576E ファイル・システムにメタデータ・ファイルを作成する十分なスペースがありません。少なくとも *space* のスペースが必要です。

説明: メタデータ・ファイルを作成しようとして、ディスク・フル・エラーが起きました。ファイル・システム内のファイルの一部をマイグレーションして、少なくとも *space kb* を解放してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9577E 例外 "msg"。メタファイルを使用できません。

説明: 内部エラーが発生しました。dsmscout はメタデータ・ファイルを使用できません!

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9578E 不明のエラーが発生しました。

説明: 内部エラーが発生しました。dsmscout はメタデータ・ファイルを使用できません。ファイルは削除されました。新規メタデータ・ファイルが作成されません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9590E SOAP エラー情報: *message* は失敗しました。理由: *message*

説明: 詳細な SOAP エラー・メッセージは、gSOAP コミュニケーション・モジュールから作成され、選択された言語では存在しません!

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: システムを検証して操作をやり直してください。

ANS9591E SOAP UDP 接続エラーが発生しました。

説明: SOAP 通信システムに UDP エラーがありました。詳細情報は、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9592E SOAP TCP 接続エラーが発生しました。

説明: SOAP 通信システムに TCP エラーがありました。詳細情報は、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9593E SOAP HTTP 通信エラーが発生しました。

説明: SOAP 通信システムに HTTP エラーがありました。詳細情報は、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9594E 内部 SOAP エラーが発生しました!

説明: SOAP 通信システムに内部エラーがありました。詳細情報は、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9595E SOAP 通信システムはメモリーが不足しています!

説明: SOAP 通信システムにメモリー・エラーがありました。詳細情報は、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9596E SOAP 通信は予期しないで終了しました!

説明: SOAP 通信システムに EOF エラーがありました。詳細情報は、エラー・ログ・ファイルを参照してください。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9613E *program-name: stubsize* バイトのスタブ・サイズは、*filesystem* ではサポートされていません。

説明: 指定されたスタブ・サイズ値は、ファイル・システムのブロック・サイズの複数倍ではなく、サポートできません。

システムの処置: プログラムは操作を中止します。

ユーザーの処置: 正しいスタブ・サイズを使用してください。

ANS9616E *program-name: file-system-name* の *migrated-file-alias* に関するマイグレーション情報を取得できません。

説明: スペース管理は、システムの DMAPI 機能を使用して、指定されたファイル・システム・オブジェクトにアクセスできません。この状態は、DMAPI サポートがファイル・システムに対して使用可能になっていない場合、またはファイル・システムに不整合がある場合に起こることがあります。通常、このメッセージの前に、エラーの詳細を示す別のメッセージが出されています。

システムの処置: ファイルの処理は中断されます。次のファイルで処理を続行します。

ユーザーの処置: *dsmerror.log* で、エラーの詳細を示している可能性がある前のメッセージが出されているかどうかを確認してください。ファイル・システムが整合状態であり、DMAPI サポートが使用可能になっている状態でマウントされていることを確認してください。その後で操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

ANS9618W **HSM** 管理対象ファイル・システムのマウント・ポイントが '*old mount point*' から '*new mount point*' に変更されました。

説明: HSM 管理対象ファイル・システムのマウント・イベントが別のマウント・ポイントで受信されました。

システムの処置: *dsmrecalld* マスター・プロセスは、HSM 管理対象ファイル・システムのマウントを続行します。

ユーザーの処置: HSM ファイル・スペースの名前を、新規の HSM 管理対象ファイル・システムのマウント・ポイントに従って IBM Spectrum Protect サーバー上で変更してください。そうしないと、後続の調整ジョブでは、過去にマイグレーションされたすべてのファイル (存在する場合) がオーファンとして報告されます。

ANS9645W **vApp** バックアップ操作が完了しました。ただし、1 つ以上の **vApp** バックアップが失敗しました。

説明: 正常に完了した **vApp** バックアップもありますが、失敗したバックアップもあります。操作は正常に完了したとみなされます。

システムの処置: バックアップ操作は正常に完了しました。

ユーザーの処置: バックアップが失敗した理由について、コンソール出力およびエラー・ログを確認してください。すべての問題を修正し、失敗した **vApp** のバックアップを再試行してください。

ANS9669W *program-name: file-system* **CFI** が範囲外です。

説明: IBM Spectrum Protect CFI が、指定されたファイル・システムの範囲外にあります。ファイル・システムのスキャン時に、*scout* デーモンが新規ファイル項目を CFI に挿入できませんでした。その結果、次の自動マイグレーションに十分な数の項目が提供されない可能性があります。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイル・システムの **MAXFILES** オプションの設定を再検討してください。CFI のサイズは、「*dsmmigfs update /fs -MAXFiles=n*」コマンドの使用によって増える可能性があります。

ANS9674W 要求された **vApp** の 1 つ以上を取得できませんでした。

説明: 指定で要求された **vApp** の一部が取得できませんでした。これは、**vCD vApp** 定義での変更、あるいはユーザーが提供した **vApp** 指定に誤りがあったことが原因である可能性があります。

システムの処置: まだ操作を行う必要がある項目が残っているため、操作は続行されます。

ユーザーの処置: 提供された **vApp** 指定を検査し、指定が既存の構成に一致していることを確認してください。すべての問題を修正し、操作を再試行してください。

ANS9733E ファイル: *File-name* が包含/除外リストによって除外されました。

説明: バックアップからの除外を指定された *file-name* のバックアップが試みられました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はファイルをバックアップしていません。

ユーザーの処置: 組み込みオプションを使用してファイルを指定し、操作を再試行します。

ANS9778E オプション・ファイル ' ' でエラーが検出されました。エラーのある行を **IBM Spectrum Protect** でコメント化して続行しますか?

説明: オプション・ファイルの読み取り時に無効なオプションまたはオプション値が検出されました。

システムの処置: このメッセージは表示されます。この後の処置はユーザーの応答によって異なります。

ユーザーの処置: プロセスで無効な行をコメント化できるようにするには、「Yes」をクリックします。「No」をクリックすると、直ちに終了します。

ANS9779E オプション・ファイル ' ' を書き込み用にオープンすることができません。

説明: 更新のためにオプション・ファイルを書き込みオープンするときにエラーが発生しました。

システムの処置: プログラムを終了します。

ユーザーの処置: ファイルおよびディレクトリーのアクセス許可を検査するか、オプション・ファイルの無効な項目を手動で訂正してください。

ANS9782S 選択されたバックアップは、新しいバージョンのバックアップ・サーバーによって生成されましたが、このクライアントはこの新しいバージョンをサポートしていません。このバージョンのクライアントではバックアップ・セット・データをリストアできません。

説明: リストアしようとしているバックアップ・セットは、異なる機能レベルを持つ新しいサーバーによって生成されています。ご使用のクライアントは、この新しいフォーマットを認識しないので、バックアップ・セットからデータをリストアできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: バックアップ・セットのリストアには、バックアップの生成に使用されたサーバーと同じかより高いレベルのクライアントを使用してください。

ANS9806W ファイル・システム・タイプはサポートされていません。

説明: ファイル・システムは、スペース管理によってサポートされるタイプではありません。

システムの処置: スペース管理をファイル・システムに追加できません。

ユーザーの処置: HSM クライアントと指定したファイル・システム・タイプの間にミスマッチがあります。ファイル・システム・タイプが意図と矛盾がない場合は、サポートする HSM クライアントをインストールしてから、操作を再試行してください。インストールできるのは一度に 1 つの HSM クライアントだけです。

ANS9807W 指定されたバックアップ・セット・ファイルには、指定されたノード名用のタイプ「ファイル」のバックアップ・セットが含まれていません。

説明: ローカル・バックアップ・セット・サポートは、ファイル・データが入っているバックアップ・セットに限定されます。イメージ・バックアップ・セットはローカル側ではサポートされません。指定されたバックアップ・セットに、指定されたノード名のファイル・データを含むバックアップ・セットが入っていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 別のバックアップ・セット・ファイルを指定して、バックアップ・セットからのファイル・データをリストアしてください。バックアップ・セットからイメージをリストアするには、IBM Spectrum Protect サーバーからのバックアップ・セットにアクセスしてください。

ANS9827W 再呼び出しデーモン・ロック・ファイル *file name* のアクセス中にエラー。

説明: 再呼び出しデーモン・ロック・ファイルへのアクセスに関する問題があります。

システムの処置: 再呼び出しデーモンが実行中であるかどうかを判別できません。ファイル再呼び出しを実行するために再呼び出しデーモンが必要なため、再呼び出しは失敗します。

ユーザーの処置: システム管理者に問い合わせてください。再呼び出し処理には、`/etc/adsm/SpaceMan/dsmrecall1d.pid` ファイルに対する読み取りアクセス権が必要です。

ANS9828W ファイル: *file-name* はマイグレーションでスキップされます。このファイルは、**AFM** キャッシュに入っていないか、ダーティーです。

説明: GPFS アクティブ・ファイル管理を使用している場合は、ファイルがキャッシュに入っていないか、ダーティーです。
キャッシュに入っていない (キャッシュ内に使用可能な

ファイル・データがない。アクセスすると、ホームから複製が行われる)

ダーティー (キャッシュ内のファイル・データが変更されている。ホーム内に有効な複製がない)

システムの処置: ファイルは処理からスキップされます。

ユーザーの処置: キャッシュに入っていない (ホームからキャッシュにファイルをフェッチし、処理を再実行する)

ダーティー (キャッシュからホームにファイルを複製し、処理を再実行する)

ANS9829W 再呼び出しデーモンが実行中ではありません。

説明: 再呼び出しデーモンは実行されていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 再呼び出しは失敗します。

ユーザーの処置: dsmrecalld コマンドを発行して、再呼び出しデーモンを開始するようにシステム管理者に頼んでください。

ANS9842E 監視デーモンは正しく実行中ではありません。

説明: 監視デーモンが実行されていないか、dmapi セッションがないか、グループ・サービスに接続されていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect アクションは失敗します。

ユーザーの処置: システム管理者に、GPFS およびグループ・サービスを検査すること、dsmwatchd コマンドを発行して監視デーモンを再始動することを依頼してください。

ANS9845E スペース管理アクションは終了します。

説明: 要求されたスペース管理操作は、監視デーモンが正常に動作していないので終了します。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 直前のメッセージを探してください。

ANS9849W ローカル・バックアップ・セットは拡張できません。ローカル側では、フルバックアップ・セット・リストアのみがサポートされます。

説明: ローカル・バックアップ・セットを解凍して、ボリューム、ディレクトリー、およびファイルを見ることはできません。ローカル・バックアップ・セットから

フルバックアップ・セット・リストアのみがサポートされます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: バックアップ・セットから特定のボリューム、ディレクトリー、およびファイルをリストアするには、IBM Spectrum Protect サーバーからのバックアップ・セットをリストアしてください。

ANS9850E テープ読み取りエラー。最大ブロック・サイズは *blocksize* です。ブロック・サイズ *blocksize* を読み取ろうとしました。
dsmmaxsg を実行して、許可される SCSI ドライバーの最大ブロック・サイズを更新してから、操作を再試行してください。

説明: 指定されたブロック・サイズでテープから読み取ろうとしましたが、失敗しました。SCSI ドライバーに許可される最大ブロック・サイズが示されています。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 最大ブロック・サイズが操作で 사용되는ブロック・サイズより小さい場合は、**dsmmaxsg** ユーティリティを実行して、SCSI ドライバーに許可される最大ブロック・サイズに更新してから、操作を再試行してください。最大ブロック・サイズが使用するブロック・サイズより大きい場合、テープがインストールされていて正しく作動していることを確認してから、操作を再試行してください。

ANS9857W リストアされた **HSM for Windows** のスタブ・ファイルが孤立ファイルの可能性があり: *stub file name*

説明: リストアされたスタブ・ファイルは **HSM** クライアント・アーカイブ内でアクセスできないため再呼び出しできない可能性があります。

システムの処置: スタブ・ファイルがリストアされます。

ユーザーの処置: スタブ・ファイルにアクセスできるか確認してください。

ANS9858E バックアップ/アーカイブ操作は実行されませんでした。バックアップ/アーカイブ操作に、**HSM for Windows** クライアントを使用してマイグレーションされたスタブ・ファイルが含まれています。インストールされている **HSM for Windows** クライアントのバージョン *version. release. level* は、インストールされているバックアップ/アーカイブ・クライアントのバー

ジョン *version, release, level* と互換性がありません。

説明: バックアップ/アーカイブ・クライアントは、マイグレーション済みファイルを含むバックアップ/アーカイブ操作に HSM for Windows クライアントを使用します。HSM for Windows クライアントとバックアップ/アーカイブ・クライアントは、PTF レベルが同じでなければなりません。

システムの処置: バックアップ/アーカイブ操作は、どのファイルに対しても実行されません。マイグレーション済みファイルおよび常駐ファイルは処理されません。

ユーザーの処置: 現行の HSM for Windows クライアントをアンインストールし、バックアップ/アーカイブ・クライアントと同じ PTF レベルの HSM for Windows クライアントをインストールしてください。

ANS9890W *program-name:* ファイル・システム *filesystem* は既にノードに所有されています。

説明: ファイル・システムは、既にノードに所有されています。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9892E スナップショットがローカル・リポジトリで見つかりませんでした。

説明: 要求されたボリューム・スナップショットがローカル・リポジトリで見つかりませんでした。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しいノード名とサーバー・アドレスの両方またはいずれか一方を使用して操作を実行してください。非クラスター環境では、必要なホスト名を使用して異なるホストから操作を実行してください。操作を再試行してください。

ANS9895W ファイル・システム *file-system* のスペース管理がアクティブになっていません。

説明: スペース管理が非アクティブになっているファイル・システム内のファイルを選択しようとしてしました。

システムの処置: 処理は通常の操作を続行します。

ユーザーの処置: ファイル・システムに関するスペース管理を再活性化し、その後ファイル選択に進みます。

ANS9912E VMware vSphere Virtual Volume (VVol) オブジェクトを作成しようとした際にエラーが発生しました。これは、仮想マシンとデータ・ストアの間の非互換性、使用可能なストレージ・スペースの不足が原因の可能性があります。

説明: VVol データ・ストアのオブジェクトを作成しようとした際にエラーが発生しました。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 別の宛先データ・ストアを指定して、操作を再試行します。

ANS9913W SAN トランスポート・モードを使用する VM バックアップ操作が失敗しました。

説明: この問題は、通常、SAN トランスポート・モードを指定するデータ・ムーバーに、VMware データ・ストアに対する SAN アクセス権限がない場合に発生します。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 別のトランスポート・モードを指定して、操作を再試行してください。

ANS9914W SAN トランスポート・モードは vVol データ・ストアでサポートされていないため、VM バックアップ操作が失敗する可能性があります。

説明: データ・ムーバーは SAN トランスポート・モードを指定しています。このトランスポート・モードは、VMware 仮想ボリューム (Vvol) データ・ストアが含まれている環境ではサポートされません。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: 別のトランスポート・モードを指定して、操作を再試行してください。

ANS9915E ゲスト *vm name* に、前のバックアップから予期されるデータ・ファイルがありません。バックアップ操作は、**VMVERIFYAction** オプションの設定に基づいて続行されます。

説明: 検証操作時に、サーバーで検出されたデータ・ファイルの数が、制御ファイルの要求に一致するには不十分です。

システムの処置: この VM のバックアップ操作は、**VMVERIFYIFAction** オプションの設定に基づいて続行します。

ユーザーの処置: この仮想マシンのフル VM バックア

ップを実行します。あるいは、VMVERIFYAction オプションを指定してフル VM バックアップを強制実行してください。

ANS9916I **VMCUSER** には、この操作に関連する **vSphere** 内のタスクの作成/更新/取り消しを行うために必要な、1 つ以上の **vSphere** 特権がありません。操作は続行します。

説明: VMCUSER には、この操作に関連するタスクの作成/更新/取り消しを行うために必要な、1 つ以上の vSphere 特権がありません。これは通知のみが目的であるため、バックアップ/リストア操作には影響しません。

システムの処置: 特権がないことが原因で、この操作に関連するタスクは vSphere クライアントで表示されない可能性があります。操作は続行します。

ユーザーの処置: vSphere タスクは、IBM Spectrum Protect が開始した VM バックアップ/リストア操作についての追加情報 (進行状況を含む) と、vSphere Client からこれらのタスクを取り消すための機能を提供します。「IBM Spectrum Protect for Virtual Environments: Data Protection for VMware ユーザーズ・ガイド」の『VMware vCenter Server のユーザー特権の要件』セクションを参照してください。

ANS9917E *vm name* の予期される制御ファイルに相当するサイズ推定値が一致しません。

説明: 検証操作の間に、サーバーで検出された制御ファイルが、1 つ以上のディスクのデータ・ファイルに予期されるサイズ推定値と一致しません。

システムの処置: この VM のバックアップ操作は、VMVERIFYIFAction オプションの設定に基づいて続行します。

ユーザーの処置: この仮想マシンのフル VM バックアップを実行します。あるいは、VMVERIFYAction オプションを指定してフル VM バックアップを強制実行してください。

ANS9918E *file-system system* のマイグレーション候補リストをオープンできません。

説明: 指定されたファイル・システムに関するマイグレーション候補リストにアクセスできません。

システムの処置: システムは通常の操作を続行します。

ユーザーの処置: 「OK」を選択して戻ります。

ANS9919E *vm name* に予期される制御ファイルが見つかりませんでした。

説明: 検証操作の間に、サーバーで検出された制御ファイルの数が、1 つ以上のディスクに予期される数量と一致しません。

システムの処置: この VM のバックアップ操作は、VMVERIFYIFAction オプションに基づいて続行します。

ユーザーの処置: この仮想マシンのフル VM バックアップを実行するか、VMVERIFYAction オプションを指定してフル VM バックアップを強制実行してください。

ANS9920W *vm name* のフル VM バックアップを強制実行します。

説明: 検証操作の間に、サーバーで検出された制御ファイルの数が、1 つ以上のディスクに予期される数量と一致しません。その結果、フル VM バックアップが実行されます。

システムの処置: この VM のバックアップ操作は、増分バックアップではなくフルバックアップです。

ユーザーの処置: VERIFYIFAction オプションが目的の値に設定されていることを確認してください。

ANS9921E 仮想マシンのディスク *vm name (disk label)* の検証検査が失敗しました (*size on disk/ ctl size*)。ディスクが NFS データ・ストア上にあり、ディスク・サイズが最近変更された場合、検証の失敗が予想されるためにフルバックアップが必要です。

説明: 検証操作の間に、サーバーで検出された制御ファイルの数が、このディスクに予期される数と一致しません。NFS データ・ストア上のディスクの場合:

VMware がディスク・サイズの変更を処理する方法のため、また Change Block Tracking (CBT) QueryChangedDiskAreas API が変更 ID "*" をサポートしていないために、バックアップ操作はディスク・サイズが変更されたかどうか、他の何らかのエラーが発生したかどうかを判別できません。

システムの処置: この VM のバックアップ操作は、VMVERIFYIFAction オプションに基づいて続行します。

ユーザーの処置: この仮想マシンのフル VM バックアップを実行するか、VMVERIFYIFAction オプションを指定してフル VM バックアップを強制実行してください。

ANS9922I VMVERIFYIFLatest は、*vm name* に対して有効に設定されています (アクション : *type*)。

説明: この VM 操作では、前回のバックアップの制御ファイルを検査して、予期されるすべてのファイルがサーバー上にあることを確認します。

システムの処置: 操作は、VMVERIFYIFAction オプションの値に基づいて続行します。

ユーザーの処置: VERIFYIFAction オプションが目的の値に設定されていることを確認してください。

ANS9923W *vm name* のフルバックアップを強制実行します。

説明: MBLK の最大容量は、増分バックアップ時のディスク用に十分ではありません。フルバックアップが実行されます。

システムの処置: この VM のバックアップ操作は、増分バックアップではなくフルバックアップです。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9950W 外部バックエンドを使用してマイグレーションされたファイルでは、ストリーミングおよび部分的再呼び出しモードを設定することができません。

説明: このモードのファイルでは、ストリーミングおよび部分的再呼び出しモードはサポートされません。

システムの処置: 操作が打ち切られました。

ユーザーの処置: 特殊な再呼び出しモードは、バックエンドとして IBM Spectrum Protect サーバーを使用してマイグレーションされたファイルでのみ使用可能です。

ANS9951I ファイル *file-name* は既にマイグレーションされています。

説明: 既にマイグレーション済みのファイルをマイグレーションしようとしてしました。ファイルが別のマイグレーション済みファイルにハード・リンクされていると、このメッセージを受け取る場合があることに注意してください。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9958E ファイル *file-namefile-namefile-name* が、マイグレーションの経過日数に達していません。ファイルはスキップされます。

説明: このファイルは、まだマイグレーションの経過日

数に達していないので、マイグレーションできません。

システムの処置: ファイルは常駐状態です。

ユーザーの処置: ファイルがマイグレーションに適切になる最小経過時間は 2 分です。2 分経過した後にマイグレーション操作を再試行するか、処理オプション HSMENABLEIMMediatemigrate YES を使用して強制的にマイグレーションを行ってください。

ANS9959W IBM Spectrum Protect アクセプターは重大でないネットワーク・エラー *errno* を受け取りました。IBM Spectrum Protect 戻りコード: TSM-rc

説明: インバウンド接続の listen 中に通信の問題が発生しましたが、IBM Spectrum Protect アクセプターは実行を続けます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: これ以上のアクションは不要です。これは無視してもかまいません。

ANS9984W PFR プラグイン・ライブラリーが見つかりませんでした。

説明: PFR プラグイン・ライブラリーは、クライアントのインストール時にインストールされているはずですが、見つかりません。

システムの処置: 選択した操作は実行されません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9987W 部分再呼び出しモードが *full-file-name* に設定されていません。

説明: 示されたファイルに部分再呼び出しモードが設定されていません。

システムの処置: 指定されたファイルに対して再呼び出しが実行されません。処理は停止しました。

ユーザーの処置: ファイルで部分再呼び出しモード (「dsmattr -recallmode=partialrecall」コマンド) を設定し、操作を再試行してください。

ANS9989W *file-name* の行 *line-number* の INCLUDE ステートメントに指定されている管理クラス *mcName* は存在しません。

説明: *file-name* ファイルの INCLUDE ステートメントで指定されている管理クラスは、サーバー上に割り当てられたポリシー・セットに存在しません。

システムの処置: オブジェクトは、デフォルトの管理クラスにバインドされます。

ユーザーの処置:

- INCLUDE ステートメントを更新して、有効な管理クラスを指定するようにしてください。
- INCLUDE ステートメントで指定された管理クラスを定義します (その名前の管理クラスにする場合)。
- ノードが正しいポリシー・ドメインにあることを検証してください (ノードが誤って正しくないポリシー・ドメインにあり、正しいドメインに管理クラスが含まれている可能性があります)。
- ファイルを管理クラスにバインドする必要がなくなった場合は、INCLUDE ステートメントを除去します。

ANS9990W クライアント・オプション・セットの INCLUDE ステートメントに指定されている管理クラス *mcName* は存在しません。

説明: クライアント・オプション・ファイルの INCLUDE ステートメントで指定されている管理クラスは、サーバー上に割り当てられたポリシー・セットに存在しません。

システムの処置: オブジェクトは、デフォルトの管理クラスにバインドされます。

ユーザーの処置:

- INCLUDE ステートメントを更新して、有効な管理クラスを指定するようにしてください。
- INCLUDE ステートメントで指定された管理クラスを定義します (その名前の管理クラスにする場合)。
- ノードが正しいポリシー・ドメインにあることを検証してください (ノードが誤って正しくないポリシー・ドメインにあり、正しいドメインに管理クラスが含まれている可能性があります)。
- ファイルを管理クラスにバインドする必要がなくなった場合は、INCLUDE ステートメントを除去します。

ANS9992E この操作を実行する前に、オプション **VMCHOST** または **VMCUSER** を設定する必要があります。

説明: オプション・ファイルに VMCHOST または VMCUSER がありません。

システムの処置: オプションが設定されていないと、操作を続行できません。

ユーザーの処置: オプション・ファイルを手動で編集するか、プリファレンス・エディターを使用してこれらのオプションを設定してください。

ANS9993E オプションをオーバーライドできません。

説明: このプロセスは、オプションをオーバーライドできません。

システムの処置: コマンドは処理されません。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9994W 応答メッセージを取得できません。タイムアウトになりました。

説明: 応答メッセージを取得する前にタイムアウトになりました。オプション・オーバーライドは、正常に完了できませんでした。

システムの処置: コマンドは処理されました。

ユーザーの処置: ありません。

ANS9995W VMMAKBACKUPSESSIONS オプションの値は '*ivmMaxBackupSessions*' です。この値は、**VMMAKPARALLEL** オプションの値 ('*ivmMaxParallel*') 以上でなければなりません。この値は、**VMMAKPARALLEL** オプションの値に設定されます。

説明: VMMAKBACKUPSESSIONS オプションに指定されたサーバー・セッションの数は、VMMAKPARALLEL オプションに指定された仮想マシンの数以上でなければなりません。

システムの処置: 操作は続行されます。

ユーザーの処置: VMMAKBACKUPSESSIONS オプションの値を、VMMAKPARALLEL オプションの値以上に設定してください。

ANS9996W ノードが、許可されている最大テープ・マウント数を超えました。 '*vm-name*' の新たなセッションは追加されません。

説明: ノードが、許可されている最大テープ・マウント数を超えました。このバックアップ VM の新たなセッションは追加されません。

システムの処置: バックアップ操作は継続します。

ユーザーの処置: サーバー上で UPDATE NODE コマンドの MAXNUMMP パラメーターを使用して、このノードに対して許可されるテープ・マウント数を増やします。

ANS9999E 0):

説明: このメッセージには、クライアント処理またはアルゴリズムに関連している診断テキストが示されます。この情報は、IBM Spectrum Protect クライアントで起こる可能性がある処理例外およびその他の非標準状態を報告するためのものです。(component)、(code)、および (text) は、メッセージの原因と、そのメッセージを出すクライアント処理またはアルゴリズムによって異なります。

システムの処置: クライアント処理は、このメッセージの原因に応じて続行される場合も、続行されない場合もあります。

ユーザーの処置: このメッセージの前後に表示されている場合があるエラー・メッセージを調べ、可能な場合は、問題があればそれを訂正してください。このメッセージの原因を判別または解決できない場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。ネットワーク管理者に連絡する場合は、このメッセージ全体のテキストを報告する必要があります。

第 3 章 API 戻りコード

IBM Spectrum Protect V8.1.0 の API 戻りコードがリストされています。戻りコードのフォーマットについて説明されています。

API 戻りコードのフォーマット

このセクションでは、API (アプリケーション・プログラミング・インターフェース) 戻りコードのフォーマットについて説明します。それぞれの戻りコードごとに、以下の情報を記述しています。

- 戻りコード番号。この番号は、**dsmrc.h** ヘッダー・ファイルの番号に対応しています。
- 重大度コード。この文字は、戻りコードの重大度の指示です。重大度コードとその意味は、以下のとおりです。

S	重大エラー	処理は続行できません。
E	エラー	処理は続行できません。
W	警告	処理は続行できますが、後で問題が発生する可能性があります。注意が必要です。
I	通知	処理を続行します。ユーザーの応答は不要です。

- 記号名。この名前は、ヘッダー・ファイル **dsmrc.h** 内の定義に対応します。ユーザー・アプリケーションでは、戻りコード番号ではなく、常に、戻りコードの記号名を使用してください。
- 説明。このフィールドは、この戻りコードが生成された状況を説明します。
- システム処置。このフィールドは、戻りコードに応じて IBM Spectrum Protect が取ろうとしているアクションを記述します。
- ユーザーの応答。このフィールドは、ユーザーが、システム処置に応答する方法を説明します。

戻りコードの多くは、処理が停止する原因となるエラーを記述します。読者は、問題を記述したメッセージをエンド・ユーザーに送って、とるべきアクションを伝えることができます。さまざまなメッセージを識別するために、これらの戻りコードの値を使うか、独自の番号付けシステムを開発して使用することもできます。

API 戻りコード

IBM Spectrum Protect V8.1.0 の API 戻りコードが、メッセージ番号の昇順にリストされています。完全な戻りコードが文書化されています。

-452 E DSM_RC_SHM_NOTAUTH 共有メモリー領域に接続するには権限が不十分です。

説明: このコマンドを発行しているユーザーは共有メモリー・セグメントに接続する権限を持っていません。
共有メモリー・セグメントがサーバーによって作成され

たときには、それはサーバー・プロセス (dsmserve) の有効な uid によって所有されます。この uid または root によって実行されるプロセスのみが、セグメントに (さらにはサーバーに) 接続することができます。

システムの処置: セッションはリジェクトされ、処理は停止します。

ユーザーの処置: 可能な場合は、dsmserv を実行するプロセスの uid のもとでコマンドを実行してください。これが不可能な場合、詳しくは、システム管理者に問い合わせてください。

-451 E DSM_RC_SHM_FAILURE 共有メモリー・プロトコルの使用時にエラーが発生しました。

説明: 共有メモリー通信プロトコルでデータを読み取りまたは書き込みしている間にエラーが起きました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することはできません。

ユーザーの処置: 追加情報がないかトレース・ログをチェックし、操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

-450 E DSM_RC_SHM_TCPIP_FAILURE セッションはリジェクトされました。共有メモリーの TCP/IP 接続障害。

説明: 共有メモリー・プロトコルによるローカル・サーバーへの接続の試みは、初期 TCP/IP 通信の間に失敗しました。このエラーは、サーバーが正しいポートで listen していない場合、あるいはサーバーがダウンしている場合に発生する可能性があります。

システムの処置: セッションはリジェクトされました。処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行するか、あるいはサーバーがバックアップされるのを待ち、その後操作を再試行してください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

-190 E DSM_RC_NP_ERROR セッションはリジェクトされました。名前付きパイプの接続障害です。

説明: 名前付きパイプ通信を使ってサーバーに接続しようとしたが失敗に終わりました。この問題は、オプション・ファイルで誤った NAMEDPIPE_NAME が指定されたか、システム管理者がバックアップ操作を取り消したために発生した可能性があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行するか、あるいはサーバーがバックアップされるのを待ち、その後操作を再試行してください。NAMEDPIPE_NAME オプションに指定した値が、サーバーによって使用されている値と同じであることを確認してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡して支援を受けてください。

-057 E DSM_RC_TCPIP_LOADFAILURE
TCP/IP のロード・ファンクションが失敗しました。

説明: 機能の探索中にエラーが発生しました。TCP/IP のロード機能が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: TCP/IP インストール・システムを検査します。

-056 E DSM_RC_TCPIP_DLL_LOADFAILURE
ライブラリーのロード中にエラーが発生しました。

説明: ライブラリーのロード中にエラーが発生しました。TCP/IP DLL のロードに失敗しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: TCP/IP インストール・システムを検査します。

-055 E DSM_RC_WINSOCK_MISSING
TCP/IP WINSOCK.DLL ファイルが見つかりません。

説明: TCP/IP WINSOCK.DLL ファイルが見つかりません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: TCP/IP インストール・システムを検査します。

-054 E DSM_RC_NETWORK_UNREACHABLE
指定された TCP/IP ホスト名は到達不能です。

説明: TCPSERVERADDRESS ステートメント内で指定された TCP/IP ホスト名に到達することができません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: オプション・ファイルを検査し、TCPSERVERADDRESS ステートメントが正しいかどうか調べます。管理者にサーバーの名前を問い合わせてください。

-053 E DSM_RC_BAD_HOST_NAME 無効な TCP/IP アドレスが指定されました。

説明: IBM Spectrum Protect クライアントの TCPSERVERADDRESS 設定で指定されている TCP/IP アドレスをネットワークで検出できません。このエラーの一般的な理由は次の通りです。

- TCPSERVERADDRESS クライアント・オプションが IBM Spectrum Protect サーバーに対する TCP/IP アドレスを誤って指定しています。
- IBM Spectrum Protect サーバーをホストするマシンがネットワーク上にありません。
- ネットワークの問題があるために、IBM Spectrum Protect クライアントが IBM Spectrum Protect サーバーをホストするマシンを検出できません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: TCPSERVERADDRESS および TCPPORT の設定が、ご使用の IBM Spectrum Protect サーバーに適切な値になっていることを確認してください。オペレーティング・システムの PING (または同様の) ユーティリティーを使用して、ご使用のマシンからネットワーク内の IBM Spectrum Protect サーバーをホストするマシンの場所を探索できることを確認してください。操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して支援を受けてください。

-052 E DSM_RC_CONN_REFUSED TCP/IP 接続の確率の試みは、ホストによってリジェクトされました

説明: TCP/IP 接続確立の試みは、サーバーによってリジェクトされました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: サーバーが十分に初期化されていないか、現在稼働されていないか、TCP/IP 通信のために使用可能となっていないか、あるいは誤りのある TCP/IP ポート番号が指定されています。問題が解決されない場合は、システム管理者にご相談ください。

-051 E DSM_RC_CONN_TIMEDOUT TCP/IP 接続を確立しようとしたが、接続が行なわれる前にタイムアウトとなりました。

説明: 接続試行のオブジェクトが割り当てられた待ち時間以内に応答できませんでした。B/A クライアントの場合、dsmerror.log ではこのメッセージの前に ANS5216E メッセージが表示され、失敗した接続の詳細が示されます。この状態は一時的なものです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置:

- IBM Spectrum Protect クライアントを再始動して、操作をやり直してください。
- クライアント・オプション・ファイルを確認して、TCPSERVERADDRESS および TCPPORT が IBM

Spectrum Protect サーバーの正しい TCP/IP アドレスとポート番号を指定していることを確認してください。

- IBM Spectrum Protect クライアント・マシンと IBM Spectrum Protect サーバー・マシンの間にネットワーク接続があることを確認してください。
- 問題が続く場合には、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

-050 E DSM_RC_TCPIP_FAILURE セッションはリジェクトされました。TCP/IP 接続障害。

説明: TCP/IP 通信を使用したサーバーとの接続の試みが失敗しました。これは、クライアント・オプション・ファイルの TCP/IP オプションの不正な設定による場合があります。このエラーは、LAN 接続がダウンした場合、あるいはシステム管理者がバックアップ操作を取り消した場合にも発生する可能性があります。

システムの処置: セッションはリジェクトされました。処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行するか、あるいはサーバーがバックアップされるのを待ち、その後操作を再試行してください。問題が解決されない場合は、システム管理者にさらなる支援を要請してください。

0000 I DSM_RC_OK 正常に実行されました。

説明: 操作が正常に完了しました。

システムの処置: ありません。

ユーザーの処置: ありません。

0001 E DSM_RC_ABORT_SYSTEM_ERROR IBM Spectrum Protect サーバーにおけるエラーのために、この操作を続行できません。IBM Spectrum Protect サーバー管理者に支援を依頼してください。

説明: IBM Spectrum Protect サーバーで、IBM Spectrum Protect クライアントの操作を続行できなくなるようなエラー条件が検出されました。IBM Spectrum Protect サーバー管理者は、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティ・ログによって、このエラーに関する詳細を検討します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者に支援を依頼してください。管理者は、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティ・ログによって、このエラーの原因となった状態についてさらに詳しく検討します。

0002 E DSM_RC_ABORT_NO_MATCH サーバー上に照会に一致するオブジェクトがありません。

説明: サーバー上のどのオブジェクトも実行される照会操作と一致しません。このオブジェクトがあるノードで生成されたバックアップ・セットの一部であり、しかもそのノード名がサーバーで変更されている場合は、その名前変更よりも前に生成されたバックアップ・セット・オブジェクトが新しいノード名に一致することはありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 名前が適切に入力されていることを確認します。オブジェクトがノード名変更よりも前に生成されたバックアップ・セットの一部である場合は、バックアップ・セットが生成されたノードと同じノード名であるか確認してください。

0003 E DSM_RC_ABORT_BY_CLIENT クライアントがトランザクションを終了しました。

説明: クライアント・システムはサーバーの操作を終了し、現行トランザクションを終了しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: セッションを再始動します。

0004 W DSM_RC_ABORT_ACTIVE_NOT_FOUND 活動バックアップ・バージョンが見つかりません。

説明: オブジェクトを期限切れにしようとしたが、IBM Spectrum Protect サーバーはそのオブジェクトの活動バックアップ・バージョンを検出できませんでした。このメッセージの前のメッセージ ANS1228E に、オブジェクト名が示されます。

例えば、2 つの別個のクライアント・プロセスが同じファイル・システムを同時にバックアップしている場合に、このメッセージが発行されます。一方のプロセスがファイルを期限切れにすると、IBM Spectrum Protect サーバーによってファイルが非活動になります。2 番目のプロセスが同じファイルを期限切れにしようとする、IBM Spectrum Protect サーバーはそのファイルの活動バージョンを検出できないため、2 番目のプロセスによってそのファイルに対するこのメッセージが発行されます。

システムの処置: オブジェクトは期限切れではありません。次のオブジェクトで処理を続行します。

ユーザーの処置:

- コンソールの出力、スケジュール・ログ、またはエラー・ログを確認して、このメッセージの直前の ANS1228E メッセージを見つけてください。ANS1228E に、期限切れにできなかったオブジェクトが示されます。

- この問題が発生した状態を確認し、それらの状態のためにメッセージが発行されたかどうかを検討してください。例えば、クライアントの複数インスタンスがファイル・システムを同時にバックアップしようとした場合に、このメッセージが表示されることがあります。

- メッセージが発行された理由を判別できず、操作を再試行してもメッセージが発行される場合は、IBM サポートに連絡して支援を受けてください。また、<http://www.ibm.com> で、このメッセージ番号によって考えられる解決方法を検索してください。

0005 E DSM_RC_ABORT_NO_DATA IBM Spectrum Protect サーバーにオブジェクトに対するデータがありません。

説明: IBM Spectrum Protect は、関連したデータの無いオブジェクトでリストアまたはリトリブを実行しようとした。修正アクションが可能な場合、IBM Spectrum Protect サーバーにあります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現在の操作を終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect 管理者に連絡し、IBM Spectrum Protect アクティビティ・ログに、問題の識別に役立つ可能性のある、このエラーに関連したメッセージがないか確認してもらってください。

0006 E DSM_RC_ABORT_BAD_VERIFIER 間違ったパスワードが入力されました。

説明: 入力された現行パスワードが誤っているか、入力された新規パスワードがサーバーで設定されているパスワード長さ要件を満たしていません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 正しいパスワードでセッションを再試行してください。それでも失敗する場合や、パスワードを忘れた場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に新規パスワードの割り当てを依頼してください。

0007 E DSM_RC_ABORT_NODE_IN_USE ノードが使用中です。

説明: 現在稼働しているノードは、サーバー上の他の操作によって使用中です。これは他のクライアントまたはサーバー上の活動からの可能性があります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行するか、あるいはシステム管理者にユーザーのノードに関して他のどの操作が実行中であるかの調査を依頼します。

0008 E DSM_RC_ABORT_EXPDATE_TOO_LOW 有効期限は現在日より大きくなければなりません。

説明: アーカイブ有効期限が短すぎます。有効期限は本日より後でなければなりません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は現在の操作を取り消します。

ユーザーの処置: 本日より後の有効期限を指定して、ファイルのアーカイブを再試行してください。

0009 W DSM_RC_ABORT_DATA_OFFLINE 要求されたデータはオフラインです。

説明: リストアまたはリトリブ操作に関しては、1 つ以上の要求されたファイルがオフライン・ストレージ・メディア (一般的にはテープ) から再呼び出しされなければなりません。待機時間は、サイトのオフライン・ストレージ管理ポリシーによって左右されます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は、オフライン・ストレージ・メディアが使用可能になるのを待ってから、続行します。

ユーザーの処置: ありません。

0010 E DSM_RC_ABORT_EXCLUDED_BY_SIZE オブジェクトがサーバーの限界値に対して大きすぎます。

説明: オブジェクトが大きすぎます。サーバーの構成が、オブジェクトを受け入れるいかなるデータ・ストレージ・スペースも持ちません。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ご使用のサイトのサーバーが構成されている最大ファイル (オブジェクト) サイズの判別をシステム管理者に依頼してください。

0011 E DSM_RC_ABORT_NO_REPOSIT_SPACE サーバーのデータ・ストレージ・スペースが不足しています。

説明: サーバーはオブジェクトを保管するために利用可能なスペースを持ちません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 以下のいずれかのアクションを実行することができます。

- システム管理者に、ストレージ・プールへのスペースの追加を要求する。
- IBM Spectrum Protect クライアントの場合、COMPRESSALWAYS=NO および COMPRESSION=YES をオプション・ファイル (DSM.OPT) にセットしてから、ファイルが圧縮時に大きくなるようなら、圧縮しないで再送する。
- API アプリケーションの場合は、アプリケーションの資料を参照して、圧縮に関する推奨事項を調べる。
- ディスク・ストレージ・プールでのディスクのキャッシングをオフにし、各ディスク・プール・ボリュームに対して MOVE DATA コマンドを発行して、キャッシュされたビット・ファイルをクリアする。

0012 E DSM_RC_ABORT_MOUNT_NOT_POSSIBLE サーバー・メディアのマウントが可能ではありません。

説明: サーバー・メディアのマウントが可能ではありません。オフライン・ボリュームのマウントを待っているときに、サーバーはタイムアウトになりました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: サーバー・ボリュームがマウント可能になったら再試行します。このノードのサーバー上に定義した MAXNUMMP (マウント・ポイントの最大数) が、0 より大きいことを確認してください。

0013 E DSM_RC_ABORT_SIZEESTIMATE_EXCEED 見積サイズを超えました

説明: バックアップまたはアーカイブ操作のためのデータの合計量が、データ・ストレージ・スペース割り当てのためにサーバーに最初に送信された見積サイズを超えます。バックアップまたはアーカイブ操作がセッション中の間、多数のファイルが大幅に成長しているときにこれが発生します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、大量のデータを生成している、クライアント・マシン上で実行中の他のプロセスは何かを検査します。バックアップまたはアーカイブ操作の発生中には、これらの操作を使用不能にします。

0014 E DSM_RC_ABORT_DATA_UNAVAILABLE サーバー上で現在ファイル・データが使用不能です。

説明: ファイル・データは現在サーバー上で利用不能です。リトリブまたはリストア操作が試みられました。考えられる原因は以下のとおりです。

- サーバーでデータが破壊されました。
- サーバーは読み取りエラーを検出しました。
- ファイルはサーバーにおいて一時的にレクラメーション処理操作に含まれています。
- サーバーは利用不能とマークされたテープ・ボリュームを要求しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、サーバー・コンソールまたはアクティビティ・ログから問題判別を行うためにシステム管理者にご相談ください。利用不能なテープ・ボリュームに対する要求が行われたかどうかを検査します。読み取りエラーが既に検出されているか、あるいはボリュームがテープ・ライブラリーからチェックアウトされている場合は、テープ・ボリュームは利用不能とマークされる場合があります。

0015 E DSM_RC_ABORT_RETRY 予期しない再試行要求。IBM Spectrum Protect サーバーはデータの書き込み中にエラーを検出しました。

説明: ありません。

システムの処置: 現行操作が再試行をサポートしている場合、クライアントは操作を再試行します。可能でない場合は、処理は停止します。

ユーザーの処置: ありません。

0016 E DSM_RC_ABORT_NO_LOG_SPACE サーバーには、現行操作を続行するための十分なリカバリー・ログ・スペースがありません

説明: サーバーはリカバリー・ログ・スペースを使い果たしました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: このエラーは一時的な問題です。後ほど再試行するか、システム管理者に連絡してください。

0017 E DSM_RC_ABORT_NO_DB_SPACE サーバーに現行操作の続行するための十分なデータベース・スペースがありません

説明: サーバーはデータベース・スペースを使い果たしました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

0018 E DSM_RC_ABORT_NO_MEMORY サーバーに現行操作を続行するための十分なメモリーがありません。

説明: サーバーはメモリーを使い果たしました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: これは一時的な問題です。後ほど再試行するか、システム管理者に連絡してください。

0020 E DSM_RC_ABORT_FS_NOT_DEFINED 指定されたファイル・スペースはサーバー上に存在しません。ファイル・スペースは、別のクライアントまたは管理者によって削除された可能性があります。

説明: 指定されたファイル・スペースはサーバー上に存在しません。システム管理者がファイル・スペースを削除したか、あるいはユーザーのクライアント・ノード名を使用する他のクライアントがそれを削除しました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名が正しいかどうか検査し、操作を再試行します。

0021 S DSM_RC_ABORT_NODE_ALREADY_DEFED 指定されたノード名はサーバーの中に定義されているので、オープン登録が失敗しました。

説明: ノードが同じ名前のサーバーに定義されているので、オープン登録は失敗しました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 他のノード名で再試行します。

0022 S DSM_RC_ABORT_NO_DEFAULT_DOMAIN デフォルトのドメインが存在しないので、オープン登録が失敗しました。

説明: デフォルトのポリシー・ドメインがユーザーによるノードの配置のために存在しないため、オープン登録は失敗しました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

0023 S DSM_RC_ABORT_INVALID_NODENAME 無効なノード名が指定されているので、オープン登録が失敗しました。

説明: 指定されたノード名が無効文字を含むため、オープン登録は失敗しました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 無効文字を持たない他のノード名で再試行します。

0024 E DSM_RC_ABORT_NO_INVALID_POL_BIND トランザクション・オブジェクトが、無効な管理クラスにバインドされています。

説明: トランザクションのオブジェクトの 1 つがこのノードのポリシーの一部ではない管理クラスにバインドされているか、管理クラス・タイプがこのクライアント・レベルではサポートされていません。

システムの処置: 現行操作は終了します。

ユーザーの処置: すべてのオブジェクトが有効な管理クラスにバインドされていることを確認するか、クライアントを適切なレベルにアップグレードしてください。

0024 S DSM_RC_ABORT_INVALID_POL_BIND IBM Spectrum Protect サーバーにポリシー管理の問題が発生しました。

説明: クライアント・エラー・ログと IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティー・ログに、このエラーに関する追加情報が含まれている場合があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合には、クライアント・エラー・ログと IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティー・ログで、この問題に関する追加情報を調べてください。問題が解決しない場合には、問題を捕そくした SERVICE トレースを取得して、IBM テクニカル・サポートに連絡して援助を求めてください。トレースの構成では、IBM Spectrum Protect 管理者の支援を受けることができます。

0025 E DSM_RC_ABORT_DEST_NOT_DEFINED サーバー上の問題: 宛先が定義されていません。

説明: サーバー上の問題: 宛先が定義されていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: サービス担当員にエラー・ログの検査を依頼してください。

0026 S DSM_RC_ABORT_WAIT_FOR_SPACE IBM Spectrum Protect サーバーのストレージ・プールには、現在はこのファイルのためのスペースがありません。これは一時的な状態である可能性があります。

説明: このメッセージは、通常、データが保管されるストレージ・プールに十分なスペースがないが、まもなく使用可能になる場合に発行されます。例えば、ストレージ・プール・マイグレーションによって、データを保管するための十分なスペースが解放されます。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 後で操作をやり直してください。それでも失敗する場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してストレージ・プールのスペースを増やすように要求してください。

0027 E DSM_RC_ABORT_NOT_AUTHORIZED このノードにはアーカイブ・データやバックアップ・データを削除する許可がないので、ファイル・スペースが削除されませんでした。

説明: IBM Spectrum Protect 管理者がご使用のノードに対して許可を与えない限り、ファイル・スペース・データを削除できません。許可によって、バックアップ・データ、アーカイブ・データ、またはその両方を削除できるようになります。

システムの処置: 削除処理は失敗します。

ユーザーの処置: 自分の許可を確認するには、DSMC QUERY SESSION コマンドを使用してください。IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、必要な許可を付与するか、代わりにファイル・スペースを削除するように依頼してください。

0028 E DSM_RS_ABORT_RULE_ALREADY_DEFED 'Access rule' アクセス規則はノード 'node' に既に定義されています。古い規則を削除しない限り、新しい規則を定義できません。

説明: 指定されたノードに関する許可の定義が試みられましたが、既に許可が定義されていました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は指定されたノードに関する許可を再定義しませんでした。

ユーザーの処置: 許可の更新、旧規則の削除および新規規則の定義、あるいは現行許可の使用を行います。

0029 S DSM_RC_ABORT_NO_STORAGE_SPACE_STOP サーバーがデータ・ストレージ・スペースを使い切りました。

説明: サーバーはオブジェクトを保管するために利用可能なスペースを持ちません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: サーバー上のストレージ・プールがいっぱいであることをシステム管理者に報告してください。

0030 E DSM_RC_ABORT_LICENSE_VIOLATION 操作は、サーバー・ライセンス値のために許可されていません。

説明: ノードまたはユーザーは、ライセンス値を超えるか、またはライセンス交付を受けていないかのいずれかの操作を実行しようとしています。

システムの処置: セッションが拒否されるか、トランザクションが取り消され、現行の操作は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

0032 E DSM_RC_ABORT_DUPLICATE_OBJECT 重複したオブジェクトが見つかったため、操作は完了しません。

説明: 重複したオブジェクトが見つかったため、操作は完了しません。

システムの処置: 要求された操作が失敗しました。

ユーザーの処置: 別のファイル指定で操作を再試行してください。

0033 E DSM_RC_ABORT_INVALID_OFFSET 部分オブジェクト・リトリブに対する **partialObjOffset** 値が無効です。

説明: 部分オブジェクト・リトリブの **partialObjOffset** 値が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

0034 E DSM_RC_ABORT_INVALID_LENGTH 部分オブジェクト・リトリブの **partialObjLength** 値が無効です。

説明: 部分オブジェクト・リトリブに対する **partialObjLength** 値が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

0036 E DSM_RC_END_NODE_NOT_AUTHORIZED ノードまたはユーザーは、この操作を行う正しい権限を持っていません。

説明: ノードまたはユーザーは、この操作を行う正しい権限を持っていません。

システムの処置: トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: 指定されたオブジェクトの権限を調べてください。

0041 E DSM_RC_ABORT_EXCEED_MAX_MP このノードは、マウント・ポイントの最大数を超えました。

説明: テープまたは順次ディスク・マウント・ポイントのいずれかがこの操作を許可されていないか、あるいはマウント・ポイントの許容最大数が既に使用されています。操作は完了できません。IBM Spectrum Protect 管理者は、ユーザーのノード定義の **MAXNUMMP** プロパティでマウント・ポイントの最大数を定義します。

システムの処置: このオブジェクトはスキップされます。

ユーザーの処置: マウント・ポイントを使用中の他の操作を実行している場合、それらの操作が完了するまで待ってから失敗した操作を再試行してください。それ以外の場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して支援を受けてください。

0045 E DSM_RC_ABORT_MERGE_ERROR 指定したオブジェクトが、マージ・テストで失敗しました。

説明: 指定したオブジェクトが、マージ・テストで失敗したため、操作を完了できません。

システムの処置: 要求された操作が失敗しました。

ユーザーの処置: マージ・テスト・パラメーターの資料を参照してください。

0047 E DSM_RC_ABORT_INVALID_OPERATION ノードに対して無効な操作が実行されました。

説明: この操作は無効です。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

0048 E DSM_RC_ABORT_STGPOOL_UNDEFINED 指定されたターゲット・ストレージ・プールは、定義されていません。

説明: ストレージ・プールが定義されていない。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

0049 E DSM_RC_ABORT_INVALID_DATA_FORMAT ターゲット・ストレージ・プールに、示されているノード・タイプに対応する正しいデータ・フォーマットがありません。

説明: なし

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

0050 E DSM_RC_ABORT_DATAMOVER_UNDEFINED 示されているノードに対して、関連するデータ・ムーバーが定義されていません。

説明: なし

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

0051 E DSM_RC_REJECT_NO_RESOURCES セッションはリジェクトされました。現在サーバー・セッションはすべて使用中です。

説明: IBM Spectrum Protect の全利用可能セッションは使用中であり、この時点では新規セッションを受け入れることはできません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合は、サーバーに対する並行アクティブ・セッションの数を増やすようにシステム管理者に依頼してください。

0052 E DSM_RC_REJECT_VERIFIER_EXPIRED セッションはリジェクトされました。パスワードの有効期限が切れています。

説明: IBM Spectrum Protect ユーザー ID のパスワードの有効期限が切れています。IBM Spectrum Protect ノード名パスワードまたは管理ユーザー ID パスワードのいずれか、あるいはその両方です。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。パスワードが更新されるまでは、サーバーへの接続は許可されません。

ユーザーの処置: パスワードを更新してください。ノード名パスワードまたは対応する管理 ID パスワードまたはその両方を更新する必要がある場合があります。

SET PASSWORD コマンドを使用するか、IBM Spectrum Protect 管理者がノードまたは管理 ID を更新します。

0053 E DSM_RC_REJECT_ID_UNKNOWN セッションはリジェクトされました: 不明または正しくないユーザー ID が入力されました

説明: ユーザー ID (IBM Spectrum Protect ノード名または管理ユーザー ID) がサーバーに認識されません。考えられる理由は次のとおりです。

ノード名が IBM Spectrum Protect サーバーに登録されていません

ノード名は適切ですが、同じ名前とクライアント所有者権限を使用する、対応する管理 ID がありません

異なるノードにマイグレーションされたファイルへのアクセスを試みています。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: サーバーがクローズされた登録を使用し、ノード名がサーバーに登録されていることを確認してください。IBM Spectrum Protect ユーザー ID を正確に入力したことを確認してください。IBM Spectrum Protect ノード名に、そのノードに対するクライアント所有者権限を持つ、対応する管理 ID があることを確認してください。ない場合には、IBM Spectrum Protect 管理者は ID を作成する必要があります。マイグレーションしたファイルにアクセスする場合は、ノード名はファイルをマイグレーションしたノードと同一でなければなりません。

0054 E DSM_RC_REJECT_DUPLICATE_ID セッションはリジェクトされました。重複する ID が入力されました。

説明: このノード名を使用する他のプロセスがサーバーでアクティブになっています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect はサーバーと接続することができません。現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: UNIX ベースのシステムが稼働して

いる場合は、IBM Spectrum Protect で別のプロセスが同じ名前でアクティブになっていないことを確認してください。また、ノード名がサーバーにとって固有であり、したがって他のユーザーによって使用できないことを確認します。そのノード名の所有者の識別をシステム管理者に依頼してください。

0055 E DSM_RC_REJECT_SERVER_DISABLED
セッションはリジェクトされました。サーバーが使用不可になっています。

説明: サーバーは使用不能状態にあり、通常活動のためにアクセスすることはできません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー上で **ENABLE SESSIONS** 管理コマンドを実行します。サーバーが使用可能状態に戻った後、操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者にご相談ください。

0056 E DSM_RC_REJECT_CLOSED_REGISTER
サーバーはオープン登録を行えるようには構成されていません。

説明: 許可されません。システム管理者による登録が必要です。サーバーはオープン登録を行えるようには構成されていません。

システムの処置: セッションは開始されません。

ユーザーの処置: システム管理者から IBM Spectrum Protect ノードおよびパスワードを入手する必要があります。

0057 S DSM_RC_REJECT_CLIENT_DOWNLEVEL セッションはリジェクトされました。下位レベルのクライアント・コード・バージョン。

説明: サーバー・バージョンとクライアント・バージョンが一致しません。クライアント・コードのレベルが下です。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡し、ユーザーのロケーションではどのバージョンの IBM Spectrum Protect を実行すべきかを調べてください。

0058 S DSM_RC_REJECT_SERVER_DOWNLEVEL セッションはリジェクトされました。下位レベルのサーバー・コード・バージョン。

説明: サーバー・バージョンとクライアント・バージョン

ンが一致しません。サーバー・コードのレベルが下です。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡し、ユーザーのロケーションではどのバージョンの IBM Spectrum Protect を実行すべきかを調べてください。

0059 E DSM_RC_REJECT_ID_IN_USE セッションはリジェクトされました。指定されたノード名が現在使用中です。

説明: 指定されたノード名はサーバー上で使用中です。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: サーバーは、ノードがセッションの設定を行うのを妨げるタスクを実行している可能性があります。後で再試行するか、あるいはシステム管理者に問い合わせてください。

0061 E DSM_RC_REJECT_ID_LOCKED セッションはリジェクトされました。指定されたノード名は現在ロックされています。

説明: 指定されたノード名は現在サーバー上でロックされています。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: ノード名がロックされている理由をシステム管理者に確認してください。

0062 S DSM_RC_SIGNONREJECT_LICENSE_MAX SLM ライセンスが超過: IBM Spectrum Protect のクライアント・ライセンス数を超えています。システム管理者にご相談ください。

説明: 新規登録の追加により、IBM Spectrum Protect の製品ライセンス・カウントが超過します。

システムの処置: クライアント登録または接続要求の実行が終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

0063 E DSM_RC_REJECT_NO_MEMORY セッションはリジェクトされました。サーバーに
が接続を確立できるだけの十分なメモリー
がありませんでした。

説明: サーバーには、クライアントがサーバーとの接続を確立することを可能とする十分なメモリーがありません。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: 後ほど再試行するか、システム管理者に連絡してください。

0064 E DSM_RC_REJECT_NO_DB_SPACE セッションがリジェクトされました。サーバーに接続を確立できるだけの十分なデータベース・スペースがありません。

説明: サーバーはデータベース・スペースを使い果たしました。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

0065 E DSM_RC_REJECT_NO_LOG_SPACE セッションはリジェクトされました。サーバーに接続を確立できるだけの十分なリカバリー・ログ・スペースがありません。

説明: サーバーはリカバリー・ログ・スペースを使い果たしました。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: このエラーは一時的な問題です。後ほど再試行するか、システム管理者に連絡してください。

0066 E DSM_RC_REJECT_INTERNAL_ERROR セッションはリジェクトされました。IBM Spectrum Protect サーバーに内部エラーがあります。

説明: 内部サーバー・エラーのために、クライアントが IBM Spectrum Protect サーバーとの接続を確立できません。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: このエラーを IBM Spectrum Protect 管理者に通知してください。

0067 S DSM_RC_SIGNONREJECT_INVALID_CLI セッションはリジェクトされました。サーバーは、このプラットフォーム・タイプのライセンスを持っていません。システム管理者にご相談ください。

説明: 要求しているクライアント・タイプにはサーバーはライセンスされていません。

システムの処置: クライアント登録または接続要求の実行が終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

0068 E DSM_RC_CLIENT_NOT_ARCHRETPROT セッションはリジェクトされました。サーバーは、アーカイブ保存保護が使用可能になっていないクライアントのサインオンを許可していません。

説明: サーバーのアーカイブ保存保護が使用可能でも、クライアントでは使用不可なので、クライアントはサーバーへの接続を確立できません。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

0069 E DSM_RC_SESSION_CANCELED セッションはリジェクトされました。このセッションはサーバー管理者によってキャンセルされました。

説明: サーバー管理者が現行のクライアント・セッションを取り消しています。

システムの処置: クライアント接続要求の実行は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

0073 E DSM_RC_REJECT_INVALID_NODE_TYPE クライアント・ノードと IBM Spectrum Protect サーバーに登録されたノードの間に不整合が検出されました。

説明: ユーザーが行ったノード・オプションのコーディングに誤りがあると考えられます。例えば、IBM Spectrum Protect サーバーに登録されているノードが、実際には非 NAS タイプであるのに、NAS のタイプの 1 つになっている可能性があります。

システムの処置: 操作は終了します。

ユーザーの処置: クライアント・オプション・ファイル内でのノード名が正しいか確認してください。タイプ NAS のノードを使用するのは、nasnodename オプションの場合だけにしてください。

0074 E DSM_RC_REJECT_INVALID_SESSIONINIT サーバーはこのノードのクライアント開始接続を許可しません。

説明: サーバーにおけるこのノードの構成パラメーターのため、このノードは接続を開始できません。サーバーは、プロンプト・モードで稼働するクライアント・スケジューラーへの接続を開始できます。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡してノードでのクライアント開始セッションを使用可能にするか、SESSIONINITIATION オプションを更新してクライアント・スケジューラーを実行してください。

0075 E DSM_RC_REJECT_WRONG_PORT サーバー・ポートが誤っています。

説明: 管理セッション専用でセットアップされたサーバー・ポートで、バックアップ/アーカイブ・クライアント・セッションを開こうとしました。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に連絡するか、TCP ポートおよび TCP 管理ポートに正しい値を使用してください。

0079 E DSM_RC_CLIENT_NOT_SPMRETPROT セッションはリジェクトされました。サーバーではスペース管理保存保護が使用可能になっていないクライアントのサインオンは許可されていません。

説明: サーバーのスペース管理保存保護が使用可能でも、クライアントでは使用不可なので、クライアントはサーバーへの接続を確立できません。

システムの処置: セッションは開始されませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

0101 W DSM_RC_USER_ABORT ユーザーが操作を停止しました。

説明: ユーザーの要求により操作が停止されました。通常これは 'Q' キーが 2 回押されたときに起こります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ありません。

0102 E DSM_RC_NO_MEMORY *file name(line number)* オペレーティング・システムによって IBM Spectrum Protect のメモリー割り振り要求が拒否されました。

説明: 処理を進めるための情報を保管するために、IBM Spectrum Protect がメモリーにアクセスする必要があります。この場合は、オペレーティング・システムが割り振れる以上のメモリーが要求されています。考えられる理由は次のとおりです。

システムのメモリーが少なくなっています。

プログラムが実行されるプロセスが、割り振られた最大メモリーを超えました。

その他の何らかのエラー状態が発生しました。使用可能なメモリーがありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect は要求された操作を完了することはできません。

ユーザーの処置: 不要なアプリケーションをすべてクローズし、操作を再試行してください。それでも操作が失敗する場合は、タスクをいくつかの小さい単位に分割してみてください。例えば、ファイル指定に高位のディレクトリーが含まれる場合、各ディレクトリーごとに順番に IBM Spectrum Protect のタスクを実行してください。IBM Spectrum Protect タスクが増分バックアップの場合、オプション "-memoryefficientbackup=yes" を使用してください。

リソース限度をサポートする UNIX システムでは、次のコマンドを入力してメモリーのリソース限度が小さすぎるかどうかをチェックすることができます。 `ulimit -a`

得られたデータに基づいて、UNIX システムの root ユーザーに現在のデフォルト限度よりもリソース限度を大きくするように依頼することができます。UNIX システムの root ユーザーにはリソース限度を大きくする権限があります。

0104 E DSM_RC_FILE_NOT_FOUND バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーション処理でファイルが見つかりません。

説明: バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションの処理を行おうとしているファイルは、もうクライアント上に存在しません。IBM Spectrum Protect によるバックアップ、アーカイブまたはマイグレーションが行われる前に、他の処理がファイルを削除しました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

0105 E DSM_RC_PATH_NOT_FOUND 指定されたディレクトリー・パス「*pathname*」を検出できませんでした。

説明: 指定されたディレクトリー・パスが無効であるか、または到達できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 有効なディレクトリー・パスを使用して操作を再試行してください。

0106 E DSM_RC_ACCESS_DENIED 指定されたファイルは他のプロセスが使用しています。

説明: 指定されたファイルは他のプロセスが使用しています。現在他のプロセスが使用しているファイルの読み取りまたは書き込みを試みました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル名またはディレクトリ名を指定するようにして、許可を訂正するか、新しい場所を指定してください。

0106 E DSM_RC_ACCESS_DENIED 指定されたファイルまたはディレクトリーへのアクセスが拒否されました。

説明: 指定されたファイルまたはディレクトリーへのアクセスが拒否されました。ファイルの読み取りまたはファイルへの書き込みを試行しましたが、ファイルまたはディレクトリーへのアクセス許可がありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいファイル名またはディレクトリ名を指定するようにして、許可を訂正するか、新しい場所を指定してください。

0107 E DSM_RC_NO_HANDLES 使用可能なファイル・ハンドルがありません。

説明: システムのファイル・ハンドルはすべて現在使用中です。使用可能なものはありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 他のプロセスを終了して一部のファイル・ハンドルを解放するか、システム・セットアップを変更して同時にオープンできるファイルの数を増やします。

0108 E DSM_RC_FILE_EXISTS ファイルが存在し、上書きできません。

説明: リストアまたはリトリブしようとしているファイルが存在し、権限かアクセス許可がないために上書きできません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: そのファイルに上書きするために必要なアクセス許可を持っていることを確認して、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるためにシステム管理者か IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

0109 E DSM_RC_INVALID_PARM 無効なパラメーターが見つかりました。

説明: システムは無効なパラメーターによる内部プログラム・エラーを検出しました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: サービス担当員にエラー・ログの検査を依頼してください。

0110 E DSM_RC_INVALID_HANDLE 無効なファイル・ハンドルが渡されました。システム・エラー。

説明: 内部システム・エラーが発生しました。無効なファイル・ハンドルのためにファイル操作が失敗しました。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。失敗が続く場合は、問題をキャプチャーしたサービス・トレースを取得し、IBM 技術サポートに連絡して支援を依頼してください。トレースの構成では、IBM Spectrum Protect 管理者の支援を受けることができます。

0111 E DSM_RC_DISK_FULL 処理は停止しました。ディスクがいっぱいになっています。

説明: 宛先ディスクがフルであるため、これ以上のファイルをリストアまたはリトリブできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディスク・スペースを解放するか、ファイルを別のディスクにリストアまたはリトリブします。

0113 E DSM_RC_PROTOCOL_VIOLATION プロトコル違反。

説明: 通信プロトコル・エラーが発生しました。通信サブシステムが適切に定義されていないか、あるいはそれ自身にエラーがあります。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 通信処理が適切に稼働しているかどうか検査し、その後操作を再試行します。

0114 E DSM_RC_UNKNOWN_ERROR 不明なシステム・エラーが発生し、IBM Spectrum Protect はリカバリーできません。

説明: 不明なエラーが発生しました。これは、IBM Spectrum Protect が回復できない低レベルのシステム・エラーまたは通信エラーである可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合には、IBM Spectrum Protect エラー・ログで関連メッセージを確認してください。問題をキャプチャーしたサービス・トレースを取得し、IBM 技術サポートに連絡して支援を受けてください。トレースの構成では、IBM Spectrum Protect 管理者の支援を受けることができます。

0115 E DSM_RC_UNEXPECTED_ERROR 予期しないエラーが発生しました。

説明: これは、通常、IBM Spectrum Protect が回復できない低レベルのシステム・エラーまたは通信エラーによって起こります。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント・エラー・ログに、このエラーに関連している可能性のある追加のメッセージが何かないか調べてください。操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM Spectrum Protect のテクニカル・サポートに連絡してください。

0116 E DSM_RC_FILE_BEING_EXECUTED ファイルは使用中。書き込み許可は拒否されました。

説明: 現行ファイルは、現在、別の操作によって実行されているため、オープンして書き込むことができません。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルを実行している操作を停止して、操作を再試行するか、ファイルを異なる名前またはディレクトリーにリストアまたはリトリートします。

0117 E DSM_RC_DIR_NO_SPACE 宛先ディレクトリーがフルになるために、これ以上のファイルをリストアまたはリトリートすることはできません。

説明: 宛先ディレクトリーがフルになるために、これ以上のファイルをリストアまたはリトリートすることはできません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディスク・スペースを解放するか、ファイルを別のディスクにリストアまたはリトリートします。

0118 E DSM_RC_LOOPED_SYM_LINK 名前の解決を試みているときに検出されたシンボリック・リンクの数が多すぎます。

説明: ファイル名の解決を試行しているときに検出されたシンボリック・リンクの数が多すぎます。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルにループ・シンボリック・リンクがないことを確認してください。

0119 E DSM_RC_FILE_NAME_TOO_LONG ファイル名が長すぎるので、IBM Spectrum Protect が処理できません。

説明: ファイル名のサイズ制限は、オペレーティング・システムによって異なる場合があります。最も一般的な限度は 256 文字です。処理しているファイル名は、このシステム上の IBM Spectrum Protect によってサポートされる制限を超えています。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: HELP FILE SPEC を入力するか、このエラーを受信したオペレーティング・システムのクライアントのマニュアルを参照してください。マニュアルの『ファイル指定構文』セクションに、IBM Spectrum Protect でサポートされるファイル名の長さが説明されています。

0120 E DSM_RC_FILE_SPACE_LOCKED ファイル・システムはシステムによってロックされています。

説明: システムによってロックされているため、ファイル・システムにアクセスできません。

システムの処置: 操作を完了できません。

ユーザーの処置: システム管理者にご相談ください。

0121 I DSM_RC_FINISHED 操作が終了しました。

説明: 操作が終了しました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 次の機能呼び出しに進みます。

0122 E DSM_RC_UNKNOWN_FORMAT ファイルのフォーマットが不明です。

説明: プロセスがファイルをリストアまたはリトリートしようとしたが、そのファイルのフォーマットが不明でした。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: そのファイルは別のアプリケーションでバックアップされたか、データが無効です。ファイルがこのシステムに属している場合は、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

0123 E DSM_RC_NO_AUTHORIZATION 他のノードのデータをリストアする権限がありません。

説明: クライアントには他のノードのデータをリストアする権限がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 他のノードから許可を獲得してください。

0124 E DSM_RC_FILE_SPACE_NOT_FOUND ファイル・スペース '*filespace-name*' は存在していません。

説明: 指定されたファイル・スペース (ドメイン) に誤りがあるか、あるいはマシン上に存在していません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 既存のドメイン (ドライブ名またはファイル・システム名) を指定して操作を再試行してください。

0125 E DSM_RC_TXN_ABORTED トランザクション中止。

説明: サーバーとクライアントとの間の現行トランザクションが停止しました。サーバー、クライアント、または通信障害は回復することができません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が継続する場合は、システム管理者に連絡して問題を解決してください。

0126 E DSM_RC_SUBDIR_AS_FILE IBM Spectrum Protect は、ディレクトリーと同じ名前のファイルが存在しているため、ディレクトリー・パスを作成できません。

説明: なし

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディレクトリーと同名のファイルを除去するか、または名前を変更してください。あるいは、

ディレクトリーを別の位置にリストアすることもできます。

0127 E DSM_RC_PROCESS_NO_SPACE このプロセスのディスク・スペース限界に達しました。

説明: クライアント所有者に割り振られたディスク・スペースがフルです。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ディスク・スペースを解放して、リストアまたはリトリート操作を再試行してください。

0128 E DSM_RC_PATH_TOO_LONG 宛先ディレクトリー・パスの長さがシステムの最大値を超えています。

説明: 指定されたパス名とリストアされたファイル名のパス名を結合すると、システムの最大長を超える長さの名前が作成されます。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 結合されたときにシステムの最大長より短くなる宛先パスを指定してください。

0129 E DSM_RC_NOT_COMPRESSED ファイルは圧縮されていません。システム障害。

説明: 圧縮のフラグを立てられたファイルが圧縮されていなかったため、システムで障害が発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: システム管理者にこの問題を報告してください。このエラーはシステム障害です。

0130 E DSM_RC_TOO_MANY_BITS ファイルはより多くのメモリーを持つ、別のクライアント・マシン上で圧縮されました。

説明: リストアを試行しているファイルは、ご使用のクライアント・ワークステーションより多くのメモリーを持つ別のクライアント・ワークステーションでバックアップおよび圧縮されています。このファイルはリストアできません。ファイルをリストアして解凍するには、ご使用のワークステーションのメモリーは不十分です。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: より多くのメモリーを持つマシンを手して、操作を再試行してください。

0131 E DSM_RC_COMPRESSED_DATA_CORRUPTED 圧縮ファイルが破損しているため、正しく解凍できません。

説明: 以下のいずれかの理由により、圧縮ファイルを正しく解凍できません。

テープに問題がある。

通信に問題がある。

圧縮ファイルが IBM Spectrum Protect サーバー上で破損している。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: 1) テープに問題があるため圧縮ファイルが破損した。これが問題であるかどうか調べるには、IBM Spectrum Protect サーバーで以下のコマンドを実行してください。 `audit volume <volume_name> fix=no` 問題が報告された場合は、そのボリュームから新しいボリュームにデータを移動して (MOVE DATA コマンドを参照)、リストアを再試行してください。 2) IBM Spectrum Protect サーバーと IBM Spectrum Protect クライアントの間の通信に問題があり、その結果、送信中にファイルが破損した。サーバーでギガビット・イーサネット・アダプターを使用している場合は、カード・ドライバをアップグレードするか (AIX プラットフォームの場合)、または、SUN が提供する、いくつかのシステム・ネットワーク・オプションへの推奨される変更 (この問題を解決済み) を追加してください (SUN プラットフォームの場合)。 3) リストア中に、ファイル破損の発生元の IBM Spectrum Protect クライアント/サーバー間に問題がなかったか、ネットワーク・サポート担当者に確認してください。

0131 S DSM_RC_SYSTEM_ERROR 内部プログラム・エラーが発生しました。

説明: 予期しない状態が検出されたため、操作を続行できません。これはプログラミング・エラーである可能性があります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者か IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

0132 E DSM_RC_NO_SERVER_RESOURCES IBM Spectrum Protect サーバーがリソース不足です。

説明: ストレージ・リソースが不足しているか最大値条件が抜けているために、新規活動は実行できません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 後で操作を再試行してください。問題が続く場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して、選択不可能なリソースを分離してください。IBM Spectrum Protect 管理者は、IBM Spectrum Protect サーバー・アクティビティ・ログに問題を説明するようなメッセージがないか、チェックします。

0133 E DSM_RC_FS_NOT_KNOWN ドメイン '`domain-name`' のファイル・スペースが IBM Spectrum Protect サーバーで見つかりませんでした。

説明: 指定されたファイル・スペースはサーバー上にあると期待されましたが、現在は存在しません。現在の操作の進行中にコマンドが実行されて、ファイル・スペースがサーバーから削除された可能性があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 処理は停止します。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が再発する場合は、エラー・ログにこの障害の原因を示す他のメッセージがないかを調べます。示されている問題の解決を試行してから、操作を再試行してください。問題が続く場合には、援助を求めるために IBM のテクニカル・サポートに連絡してください。

0134 E DSM_RC_NO_LEADING_DIRSEP `objName` フィールドに先行ディレクトリー分離文字がありません。

説明: `objName` フィールドは先頭にディレクトリー区切り記号を持っていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: `objName` の値を訂正します。

0135 E DSM_RC_WILDCARD_DIR `objName` ディレクトリー・パスにワイルドカードを使用することはできません。

説明: `objName` ディレクトリー・パスにワイルドカードを使用することはできません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: `objName` の値を訂正します。

0136 E DSM_RC_COMM_PROTOCOL_ERROR セッションはリジェクトされます。通信プロトコル・エラーがありました。

説明: クライアントが予期しないネットワーク・メッセージを受信しました。この原因は、おそらく、ネット

ワークに問題があったかプログラミング・エラーがあったからです。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 通信パスが正しく機能しているかを確認して、操作を再試行してください。問題が続く場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

0137 E DSM_RC_AUTH_FAILURE セッションはリジェクトされました。認証障害。

説明: Authentication failure.間違ったパスワードが入力されました。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 正しいパスワードを入力します。正しいパスワードを思い出せない場合は、ノード名に対する新規パスワードの割り当てをシステム管理者に依頼してください。

0138 E DSM_RC_TA_NOT_VALID dsmtca 実行/所有者許可が無効です。

説明: dsmtca の実行/所有者許可が無効です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: dsmtca 許可が正しく設定されるように、クライアントのインストール指示を確認するようシステム管理者に依頼してください。

0139 S DSM_RC_KILLED プロセスが強制終了されました。

説明: 処理は停止しました。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

0145 S DSM_RC_WOULD_BLOCK dsmtca が操作を防止します。

説明: dsmtca は操作をブロックします。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

0146 S DSM_RC_TOO_SMALL 包含/除外パターンのエリアが小さすぎます。

説明: 包含/除外パターンのエリアが小さすぎます。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

0147 S DSM_RC_UNCLOSED パターン内に右大括弧がありません。

説明: パターン内に右大括弧がありません。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

0148 S DSM_RC_NO_STARTING_DELIMITER 包含/除外のパターンはディレクトリー区切り文字で始まらなければなりません。

説明: 包含または除外パターンは、ディレクトリー区切り文字で始まらなければなりません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: パターンの構文を訂正してください。

0149 S DSM_RC_NEEDED_DIR_DELIMITER Include/Exclude パターンからディレクトリーの開始または終了区切り文字が欠落しています。

説明:

1. この Include/Exclude パターンには、ディレクトリーの開始または終了区切り文字がない「...」が含まれています。
2. Windows の場合、ドライブ区切り文字の直後にディレクトリー区切り文字がありません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: パターンの構文を訂正してください。

0151 S DSM_RC_BUFFER_OVERFLOW データ・バッファがオーバーフローしました。

説明: データ・バッファがオーバーフローしました。これはプログラミング障害で、クライアント・プログラムは終了します。

0154 E • 0162 E

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が解決されない場合は、システム管理者に連絡してください。

0154 E DSM_RC_NO_COMPRESS_MEMORY ファイルの圧縮/解凍にはメモリー不足です。

説明: データの圧縮または解凍 (展開) を行うための十分なメモリーが利用できません。リストアまたはリトリブに関しては、追加ストレージが利用可能となるまでは、サーバーからファイルを再呼び出しすることはできません。バックアップまたはアーカイブの場合は、ストレージが利用可能ではないときには、圧縮なしで実行を試行します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 操作のためにストレージを解放して継続するか、あるいは圧縮使用不能でバックアップまたはアーカイブ処理を実行します。

0155 T DSM_RC_COMPRESS_GREW 圧縮データが大きくなっています

説明: 圧縮後のファイルのサイズが圧縮前のファイルのサイズより大きくなっています。

システムの処置: たとえファイルのサイズが大きくなっても、ファイルは圧縮されています。

ユーザーの処置: ありません。

0156 E DSM_RC_INV_COMM_METHOD サポートされない通信方式が指定されました。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: ご使用のオペレーティング・システムの IBM Spectrum Protect クライアントによってサポートされる通信インターフェースを指定してください。

IBM Spectrum Protect クライアント通信の構成については、ご使用のオペレーティング・システムの IBM Spectrum Protect クライアントのマニュアルを参照してください。

0157 S DSM_RC_WILL_ABORT トランザクションが中止されます。

説明: サーバーはエラーを検出し、トランザクションを打ち切ります。

システムの処置: トランザクションが中止されます。理由コードは `dsmEndTxn` 呼び出しで渡されます。

ユーザーの処置: `dsmEndTxn` を

364 IBM Spectrum Protect: クライアント・メッセージとアプリケーション・プログラミング・インターフェースのリターン・コード

`DSM_VOTE_COMMIT` を指定して発行し、理由コードを調べます。

0158 E DSM_RC_FS_WRITE_LOCKED 宛先ファイルまたはディレクトリーは書き込みロックされています。

説明: 宛先が書き込みロックされているため、サーバーからリストアまたはリトリブされているファイルまたはディレクトリーに書き込むことができません。別の操作がファイルをオープンしていて、更新を許可していない可能性があります。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ファイルを書き込みロックした操作を判別するか、ファイルを別の名前または場所にリストアします。

0159 I DSM_RC_SKIPPED_BY_USER ファイルがオフラインになっていて、アプリケーションがテープのマウントを待機しないように選択されているために、ファイルがリストア操作時にスキップされました。

説明: ファイルがオフラインになっていて、アプリケーションがテープのマウントを待機しないように選択されているために、ファイルがリストア操作時にスキップされました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: アプリケーションが `mountWait` 値を正しく `dsmBeginGetData` で設定していることを検証します。

0160 E DSM_RC_TA_NOT_FOUND `dsmtca` モジュールが見つかりません。

説明: IBM Spectrum Protect は、`dsmtca` モジュールを指定されたディレクトリー内に検出することができませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: `dsmtca` モジュールが `DSMI_DIR` によって指定されたディレクトリー内にあることを確認します。

0162 E DSM_RC_FS_NOT_READY ファイル・システム/ドライブが作動不能です。

説明: ファイル・システム/ドライブでアクセスの準備ができていません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ドライブが利用可能であることを確認し、操作を再試行します。

0164 E DSM_RC_FIO_ERROR ファイル入出力エラー。

説明: ファイルの読み取り中またはファイルへの書き込み中にエラーが検出されました。

システムの処置: ファイルまたはファイル・システムはスキップされます。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していることを確認してください。OS/2 の場合、障害を起こしたドライブに対して CHKDSK /F を実行してください。該当ドライブは、dsmerror.log で見つけることができます。

0165 E DSM_RC_WRITE_FAILURE ファイル書き込みエラー。

説明: ファイルへの書き込み中にエラーが検出されました。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: システムが正しく作動していることを確認してください。

0166 E DSM_RC_OVER_FILE_SIZE_LIMIT ファイルがシステム/ユーザー・ファイル限界を超えています。

説明: リストアまたはリトリブしようとしているファイルが、このユーザーに対するシステムの設定限界を超えています。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: システムしきい値が適切に設定されていることを確認してください。

0167 E DSM_RC_CANNOT_MAKE ファイル/ディレクトリーを作成できません。

説明: リストアまたはリトリブされているファイルのディレクトリー・パスを作成できません。

システムの処置: ファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: リストアまたはリトリブされているファイルのディレクトリーを作成するための適切な許可を取得していることを確認してください。書き込みアクセスが許可されていることを確認してください。

0168 E DSM_RC_NO_PASS_FILE パスワード・ファイルが使用できません。

説明: 指定された *server-name* に関する保管パスワードが含まれるファイルが使用不能です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: root ユーザーは新規パスワードの設定および保管をする必要があります。

**0169 E DSM_RC_VERFILE_OLD
PASSWORDACCESS は GENERATE**
ですが、サーバー '*server-name*' にはパスワードが必要です。
パスワードがローカルに保管されていないか、またはサーバーで変更されています。

説明: パスワードがローカルに保管されていないか、またはサーバーで変更されています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect がフォアグラウンドで稼働している場合、IBM Spectrum Protect は、パスワードの入力を求めるプロンプトを出します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect がバックグラウンド・プロセスとして稼働していた場合は、フォアグラウンドから IBM Spectrum Protect コマンドを発行します。プロンプトに応答してパスワードを入力します。その後、バックグラウンド IBM Spectrum Protect コマンドを再び試みます。

0173 E DSM_RC_INPUT_ERROR プロセスが非対話モードで実行されていますが、ユーザー入力を必要としています。

説明: このプロセスではキーボード入力が必要ですが、非対話式プロセスによりキーボードからの入力読み取りができなくなっています。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: このエラーを解決するには、以下のアクションを実行してください。

- 製品を対話モードにします。
- パスワードが正しく設定されていることを確認します。

0174 E DSM_RC_REJECT_PLATFORM_MISMATCH セッションはリジェクトされました。ノード・タイプの不一致。

説明: ノード名は、異なるタイプのオペレーティング・システムに関連しており、このシステムでは使用できません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 新規ノード名が必要な場合は、その割り当てをシステム管理者に依頼してください。一般的には、サーバーへのアクセスが必要な各マシンとオペレーティング・システムのペアには、固有のノード名があります。

0175 E DSM_RC_TL_NOT_FILE_OWNER ファイル所有者ではありません。

説明: クライアントがファイル所有者ではないため、ファイルをバックアップすることができません。

システムの処置: このファイルはスキップされます。

ユーザーの処置: ありません。

0177 S DSM_RC_UNMATCHED_QUOTE 引用符が一致しません。

説明: パターン内に指定された引用符が同一でなく、対になりません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 構文中に対をなす引用符を使用してパターンを訂正します。

0184 E DSM_RC_TL_NOBCG このファイルの管理クラスに有効なバックアップ・コピー・グループがありません。
このファイルはバックアップされません。

説明: このファイルの管理クラスは指定されたバックアップ・コピー・グループを持ちません。このファイルはバックアップされません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 有効なバックアップ・コピー・グループを管理クラスに加え、その後操作を再試行します。

0185 W DSM_RC_TL_EXCLUDED ファイル 'file-namefile-namefile-name' が包含/除外リストによって除外されました。

説明: 除外されたファイルは、バックアップ、アーカイブ、またはマイグレーションできません。

システムの処置: ファイルを処理できません。

ユーザーの処置: そのファイルを意図的に除外した場合は、このメッセージを無視してください。そうでない場合は、包含/除外リストを修正してクライアントを再始動し、操作を再試行してください。さらに援助が必要な場合には、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

0186 E DSM_RC_TL_NOACG このファイルの管理クラスに有効なアーカイブ・コピー・グループがありません。
このファイルはアーカイブされません。

説明: このファイルの管理クラスは、指定されたアーカイブ・コピー・グループを持ちません。このファイルはアーカイブされません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 有効なアーカイブ・コピー・グループを管理クラスに加え、その後操作を再試行します。

0187 E DSM_RC_PS_INVALID_ARCHMC 無効な管理クラスが入力されました。

説明: 無効な管理クラスが入力されました。

システムの処置: 要求された操作は実行できません。

ユーザーの処置: 有効な管理クラスを使用して操作を再試行します。

0188 S DSM_RC_NO_PS_DATA ノードがサーバーに存在しないか、ノードに対するアクティブ・ポリシー・セットがないかのどちらかです。

説明: このエラーは、他のノードのデータにアクセスしようとしても発生します。ノードが IBM Spectrum Protect サーバーに登録されていないか、ノードに対するアクティブ・ポリシー・セットがないかのどちらかです。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: データにアクセスしようとしているノードが、IBM Spectrum Protect サーバーに登録されていることを確認してください。複数の IBM Spectrum Protect サーバーがある場合は、正しいサーバーに接続していることを確認して、操作を再試行してください。問題が続く場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

0189 S DSM_RC_PS_INVALID_DIRMC ディレクトリーに対して割り当てられた管理クラスが存在しません。

説明: DIRMC オプションで指定された管理クラス名が、サーバーで割り当てられたポリシー・セットに存在しません。エラー・ログには、無効な管理クラス名を示すエントリーがあります。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 現在の DIRMC オプションをクライアント・オプション・ファイルから除去して、DSMC

QUERY MGMTCLASS -DETAIL を実行して使用可能な管理クラスの情報を表示します。選択した管理クラスにバックアップ・コピー・グループがあることを確認してください。複数の IBM Spectrum Protect サーバーがある場合は、正しいサーバーに接続していることを確認してください。適切な管理クラスを検出できない場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

0190 S DSM_RC_PS_NO_CG_IN_DIR_MC ディレクトリーに使用される管理クラスにバックアップ・コピー・グループがありません。

説明: DIRMCM オプションで指定している管理クラスには、バックアップ・コピー・グループがありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 現在の DIRMCM オプションをクライアント・オプション・ファイルから除去して、DSMCM QUERY MGMTCLASS -DETAIL を実行して使用可能な管理クラスの情報を表示します。選択した管理クラスにバックアップ・コピー・グループがあることを確認してください。複数の IBM Spectrum Protect サーバーがある場合は、正しいサーバーに接続していることを確認してください。適切な管理クラスを検出できない場合は、援助を求めるために IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

0231 E DSM_RC_ABORT_MOVER_TYPE リモート・ムーバー・タイプが不明です。

説明: 指定されたリモート・ムーバー・タイプが不明です。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

0232 E DSM_RC_ABORT_ITEM_IN_USE 要求されたノードおよびファイル・スペースに関する操作は既に進行中です。

説明: データ・ムーバーを使用して、メッセージに示されているノードおよびファイル・スペースに関する操作を実行する要求がなされました。しかし、このノードおよびファイル・スペースに関する操作は既に進行中であり、新規操作は実行できません。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 後に操作を再試行します。

0233 E DSM_RC_ABORT_LOCK_CONFLICT システム・リソースが使用中です。

説明: 必要とされたリソースは、別のコマンドまたは処理により使用中です。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 後に操作を再試行します。

0234 E DSM_RC_ABORT_SRV_PLUGIN_COMM_ERROR サーバー・プラグインの通信エラーです。

説明: サーバー・プラグイン・モジュールと NAS filer の間の通信が失敗しました。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

0235 E DSM_RC_ABORT_SRV_PLUGIN_OS_ERROR サーバー・プラグインがサポートされない NAS ファイラー・オペレーティング・システムを検出しました。

説明: プラグイン・モジュールが、NAS ファイラーでサポートされていないオペレーティング・システムあるいはオペレーティング・システム・レベルが稼働していることを検出しました。

システムの処置: 現行の操作は終了しました。

ユーザーの処置: 詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

0236E DSM_RC_ABORT_CRC_FAILED サーバーから受信した CRC がクライアントの計算した CRC に一致しません。

説明: サーバーは、バッファの CRC を送信しました。クライアントは、同じバッファの CRC を計算しました。その両者が一致しませんでした。この不一致は、通信障害を示します。

システムの処置: 一部の事例では、クライアントがサーバーに障害を示し、操作を再試行できる場合もあります。

ユーザーの処置: 追加情報がないかトレース・ログをチェックし、操作を再試行します。問題が続く場合は、システム管理者に連絡してください。

0237E DSM_RC_ABORT_INVALID_GROUP_ACTION グループ・リーダーまたはグループ・メンバーに対して無効な操作が試行されました。

説明: 無効な操作が論理グループに対して試みられました。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: 有効な操作を再試行します。

0238E DSM_RC_ABORT_DISK_UNDEFINED リモート・ディスクが定義されていません。

説明: 定義されていないリモート・ディスクに対して何らかの操作の実行を試みました。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: 適切なリモート・ディスクを定義してください。

0239E DSM_RC_ABORT_BAD_DESTINATION 予測される宛先と入力宛先とが一致していません。

説明: 入力宛先が予測される宛先と一致していません。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: 適切な宛先を使用して、操作を再試行してください。

0240E DSM_RC_ABORT_DATAMOVER_NOT_AVAILABLE データ・ムーバーが利用できません。

説明: データ・ムーバーが利用できません。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: 適切なデータ・ムーバーで操作を再試行してください。

0241E DSM_RC_ABORT_STGPOOL_COPY_CONT_NO コピー続行オプションが NO に設定されているため、操作が失敗しました。

説明: コピー続行オプションが NO に設定されているため、操作が失敗しました。

システムの処置: 現行操作は停止します。

ユーザーの処置: この異常終了コードは、コピー続行オプションが NO に設定されていることが原因でバック

アップやアーカイブといった保管操作に失敗したことを示しています。システム管理者はサーバー側でこの問題を解決する必要があります。

0242E DSM_RC_ABORT_RETRY_SINGLE_TXN 保管操作中に問題が発生したため、トランザクションが失敗しました。

説明: 保管操作中に問題が発生したため、トランザクションが失敗しました。このエラーが発生しやすいのは、次のストレージ・プールに別のコピー・ストレージ・プール・リストが入っている場合なので、弊社ではトランザクションの途中でこのプールに切り替えています。

システムの処置: トランザクションが異常終了しました。

ユーザーの処置: 別個のトランザクションでオブジェクトを再送してください。

0245 E DSM_RC_ABORT_PATH_RESTRICTED 現在のクライアント構成は、このノードの **DATAWRITEPATH** または **DATAREADPATH** サーバー・オプションの値に適合していません。

説明: **DATAWRITEPATH** および **DATAREADPATH** サーバー・オプションの値は、クライアントのデータ送信先およびデータ読み取り元を指定します。指定されたノード名の値は、クライアント構成に対応させてください。このエラー・メッセージを受け取るのは、例えば **DATAWRITEPATH** に LAN 値が含まれているときにクライアントが LAN フリー・プロトコルを使用する構成になっている場合、またはその逆の場合です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアント、サーバー、およびストレージ・エージェントのログを検査して、クライアントが LAN フリーでデータを送信できなかった理由を調べてください。クライアント構成とサーバー・オプションに互換性があることを確認してください。

0247 E DSM_RC_ABORT_INSERT_NOT_ALLOWED このサーバーはバックアップ操作をサポートしていません。

説明: このサーバーは、アーカイブ操作のみをサポートしており、バックアップはできません。

システムの処置: 現行操作は終了します。

ユーザーの処置: このサーバーではアーカイブ操作のみを使用してください。

0248 E DSM_RC_ABORT_DELETE_NOT_ALLOWED オブジェクト: "fshlll" の削除は許可されません。

説明: オブジェクトは、保留されていて削除できないか、保存保護が使用可能なサーバーにあって有効期限が切れていないかのいずれかです。

システムの処置: オブジェクトはスキップされ、処理を続行します。

ユーザーの処置: 照会によってオブジェクトの状況を調べ、保留されているのかどうか、または有効期限を確認してください。

0249 E DSM_RC_ABORT_TXN_LIMIT_EXCEEDED このトランザクションのオブジェクト数は、TXNGROUPMAX 値を超えています。

説明: このトランザクション内のオブジェクトが多すぎます。

システムの処置: 現行操作は終了します。

ユーザーの処置: トランザクションのオブジェクト数を減らして操作を再試行するか、サーバーの TXNGROUPMAX 値を増やしてください。

0250 E DSM_RC_ABORT_OBJECT_ALREADY_HELD fshlll は既に保留されています。

説明: トランザクションのオブジェクトの 1 つ指定されたオブジェクトが既に保留されており、新規に保留状態にすることはできません。

システムの処置: 現行操作は終了します。このオブジェクトはスキップされ、処理を続行します。

ユーザーの処置: 照会を発行してオブジェクトの状況を確認し、既に保留されているオブジェクトなしで操作を再試行してください。

0292 E DSM_RC_TCA_FORK_FAILED dsmtca プロセスまたは dsmenc プロセスの開始中にエラーが発生しました。

説明: dsmtca または dsmenc 処理の始動中にエラーが発生しました。具体的には、fork() 関数が失敗しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: おそらくシステム・エラーです。問題が存続する場合は、ワークステーションを再始動します。

0295 E DSM_RC_TCA_INVALID_REQUEST IBM Spectrum Protect dsmtca は無効な要求を受け取りました。

説明: dsmtca プロセスまたは dsmenc プロセスが、バックアップ/アーカイブ・クライアントによって呼び出されましたが、呼び出し時に不明な要求引数を受け取りました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: dsmtca プロセスまたは dsmenc プロセスが、バックアップ/アーカイブ・クライアント以外のプロセスによって誤って呼び出された可能性があります。そうでない場合は、これは内部エラーです。問題が再発する場合は、IBM サービス担当者に連絡してください。

0296 E DSM_RC_TCA_NOT_ROOT このアクションには、このシステムでの IBM Spectrum Protect 管理権限が必要です。

説明: IBM Spectrum Protect 管理者が実行しなければならない活動 (例えば、オープン登録、ファイル・スペースの削除、またはパスワード更新) が試みられました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: このアクティビティが必要な場合は、このシステムの管理者が実行する必要があります。

0297 E DSM_RC_TCA_SEMGET_ERROR セマフォ割り当て中のエラー。

説明: 割り振ろうとしているセマフォが不足したために、エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: システム管理者に援助を依頼し、必要に応じて、システム内のセマフォの数を増やしてください。

0298 E DSM_RC_TCA_SEM_OP_ERROR セマフォ値の設定中、またはセマフォで待機中にエラー。

説明: セマフォの設定または待機中に、エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: おそらくシステム・エラーです。問題が存続する場合は、ワークステーションを再始動します。

0400 E DSM_RC_INVALID_OPT 無効なオプションが、オプション解析中に検出されました。

説明: 無効なオプションが検出されました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: dsm.opt、dsm.sys のオプションならびにオプション・ストリングを検証します。エラーについてさらに詳しくエラー・ログを検査します。AS/400 プラットフォームでは、*LIB/QOPTIBM Spectrum Protect(APIOPT) の中のオプションを検査します。

0405 E DSM_RC_NO_HOST_ADDR システム・オプション・ファイルの中には、このサーバーの **TCPSERVERADDRESS** が定義されていません。

説明: システム・オプション・ファイルのサーバー名スタンプに、このサーバーの **TCPSERVERADDRESS** が定義されていません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 初期化は失敗し、プログラムは終了します。

ユーザーの処置: システムの IBM Spectrum Protect 管理者に連絡し、接続先のサーバーのシステム・オプション・ファイル内に有効な **TCPSERVERADDRESS** が定義されていることを確認してください。

0406 S DSM_RC_NO_OPT_FILE オプション・ファイル 'file-name' が見つからなかったか、読み取れません。

説明: このエラーの一般的な理由は次の通りです。

- デフォルト・オプション・ファイルが存在していません。
- IBM Spectrum Protect クライアントを開始するときに -OPTFILE オプションを指定しましたが、準備したオプション・ファイルが存在しません。
- DSM_CONFIG (IBM Spectrum Protect API を使用している場合は DSMI_CONFIG) 環境変数が、存在しないオプション・ファイルを指定しています。
- IBM Spectrum Protect クライアントを開始するときに -OPTFILE オプションを指定しましたが、指定したオプション・ファイルがシステムの標準ファイル・エンコードではありません。例えば、Windows に必要なファイル・エンコードは ANSI です。
- IBM Spectrum Protect クライアントを開始するときに -OPTFILE オプションを指定しましたが、操作を実行しているユーザーにはその指定済みオプション・ファイルに対する適切な読み取り権限がありません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect クライアント処理は停止します。

ユーザーの処置: 使用するオプション・ファイルが存在し、そのファイルに操作を実行しているユーザーのための読み取り権限が設定され、そのファイルがシステムの標準ファイル・エンコードであることを確認してください。例えば、Windows に必要なファイル・エンコードは ANSI です。ご使用のオペレーティング・システムに固有の IBM Spectrum Protect クライアント・マニュアルで構成情報を確認してください。問題が続く場合は、IBM Spectrum Protect 管理者に連絡して支援を受けてください。

0408 E DSM_RC_MACHINE_SAME 仮想ノード名は、ノード名やシステム・ホスト名と異なる必要があります。

説明: VIRTUALNODENAME オプションに、NODENAME オプションまたはシステム・ホスト名と同じ名前が入力されました。

システムの処置: 初期化は失敗し、プログラムは終了します。

ユーザーの処置: 入力された仮想ノード名がホスト名と同じ場合は、仮想ノード名を除去してください。

NODENAME オプションと同じ場合は、意図された使用法に従っていずれかを除去してください。

NODENAME は、ご使用のシステムに代替名を割り当てるために使用されます。仮想ノード名は、別のシステムのサーバー・データにアクセスするために使用されます。

0409 E DSM_RC_INVALID_SERVER システム・オプション・ファイルにサーバー名が見つかりません。

説明: システム・オプション・ファイルは SERVERNAME オプションを含みません。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 初期化は失敗し、プログラムは終了します。

ユーザーの処置: システムの IBM Spectrum Protect 管理者に連絡し、システム・オプション・ファイルの中にサーバー名が入っていることを確認してください。

0410 E DSM_RC_INVALID_KEYWORD オプションの構文解析中に無効なオプション・キーワードが検出されました。

説明: 無効なオプション・キーワードが、dsmInit 構成ファイル、オプション・ストリング、dsm.sys、あるいは dsm.opt 内に検出されました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: オプション・キーワードのスペルを訂正します。dsmInit 構成ファイルが、dsm.sys オプションのサブセットのみを持つことを確認します。エラーについてさらに詳しくエラー・ログを検査します。

0411 S DSM_RC_PATTERN_TOO_COMPLEX
包含パターンまたは除外パターンを解析できません。

説明: パターンのフォーマットが誤っているか、または複雑すぎるため、解釈できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 包含パターンまたは除外パターンが正しく指定されていることを確認してください。パターンが正しい場合には、IBM のテクニカル・サポートに連絡して援助を求めてください。

0412 S DSM_RC_NO_CLOSING_BRACKET 包含/除外のパターンの右大括弧が脱落しています。

説明: 包含または除外のパターンの構成が正しくありません。右大括弧が欠落しています。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: パターンの構文を訂正してください。

0426 E DSM_RC_CANNOT_OPEN_TRACEFILE 初期化機能で、指定したトレース・ファイルをオープンできません。

説明: 初期化時にファイルを開けませんでした。指定されたパスが誤っている可能性があります。現在のユーザーは指定されたディレクトリーのトレース・ファイルに書き込みを行う許可を持っていない可能性もあります。トレース・ファイルの保管位置に使用可能なスペースがないことも考えられます。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: トレース・ファイルのオプションが有効なパスを指していること、また指定されたファイルに書き込むためのユーザーの許可が適切であることを確認してください。

0427 E DSM_RC_CANNOT_OPEN_LOGFILE
初期化機能で、指定したエラー・ログ・ファイルをオープンできません。

説明: 初期化時にエラー・ログ・ファイルを開くことができませんでした。指定されたパスが誤っている可能性

があります。現在のユーザーは指定されたディレクトリーのログ・ファイルに書き込みを行う許可を持っていない可能性もあります。指定されたログ・ファイルの保管位置に使用可能なスペースがないことも考えられます。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ログ・ファイルのオプションが有効なパスを指していること、また指定したファイルに書き込むためのユーザーの許可が適切であることを確認してください。

0600 E DSM_RC_DUP_LABEL 重複するボリューム・ラベルが存在します。操作は続行できません。

説明: 取り外し可能メディアの場合、IBM Spectrum Protect はファイル・スペース名としてボリューム・ラベルを使用します。異なるボリュームのデータが IBM Spectrum Protect サーバー上の同じファイル・スペースに保管されるのを防ぐため、重複するボリューム・ラベルを持つ取り外し可能メディア・ボリュームのバックアップまたはアーカイブは許可されません。

システムの処置: 要求された操作は実行されません。

ユーザーの処置: 取り外し可能メディア・ボリュームのボリューム・ラベルを変更して、ラベルが重複しないようにします。次に、IBM Spectrum Protect を再始動して、操作を再試行してください。

0601 E DSM_RC_NO_LABEL ドライブにラベルがありません。操作は続行できません。

説明: 取り外し可能メディアのバックアップまたはアーカイブでは、そのメディアにボリューム・ラベルが必要です。ラベルのない取り外し可能ボリュームでデータのバックアップまたはアーカイブが試みられました。

システムの処置: 要求された操作は実行されません。

ユーザーの処置: 取り外し可能メディアのボリューム・ラベルを作成してから、操作を再試行してください。

0610 E DSM_RC_NLS_CANT_OPEN_TXT メッセージ・テキスト・ファイルをオープンできません。

説明: システムがメッセージ・テキスト・ファイル(dscenu.txt、または AIX の場合は dsmclientV3.cat) をオープンすることができません。AS/400 プラットフォームでは、このファイルは QANSAPI/QAANSENU (TXT) です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

0611 E • 0622 E

ユーザーの処置: DSMI_DIR によって指されているディレクトリー内に dscenu.txt ファイルがあることを検証します。AIX の場合、dsmclientV3.cat ファイルが /usr/lib/nls/msg/<locale>/dsmclientV3.cat へのシンボリック・リンクを持っていることを確認してください。

0611 E DSM_RC-NLS_CANT_READ_HDR メッセージ・テキスト・ファイルを使用できません。

説明: システムが、無効なヘッダーのためにメッセージ・テキスト・ファイル (dscenu.txt、または AIX の場合は dsmclientV3.cat) を使用することができません。AS/400 プラットフォームでは、このファイルは QANSAPI/QAANSENU(TXT) です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: メッセージ・テキスト・ファイルを再びインストールします。

0612 E DSM_RC-NLS_INVALID_CNTL_REC メッセージ・テキスト・ファイルを使用することができません。

説明: システムが、無効な制御レコードのためにメッセージ・テキスト・ファイル (dscenu.txt、または AIX の場合は dsmclientV3.cat) を使用することができません。AS/400 プラットフォームでは、このファイルは QANSAPI/QAANSENU(TXT) です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: メッセージ・テキスト・ファイルを再びインストールします。

0613 E DSM_RC-NLS_INVALID_DATE_FMT DATEFORMAT に無効な値が指定されました。

説明: 無効な値が DATEFORMAT について指定されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

0614 E DSM_RC-NLS_INVALID_TIME_FMT TIMEFORMAT に無効な値が指定されました。

説明: 無効な値が TIMEFORMAT について指定されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

0615 E DSM_RC-NLS_INVALID_NUM_FMT NUMBERFORMAT に無効な値が指定されました。

説明: 無効な値が NUMBERFORMAT について指定されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

0620 E DSM_RC_LOG_CANT_BE_OPENED エラー・ログ・ファイルをオープンできません。

説明: システムはエラー・ログ・ファイルをオープンすることができません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: DSMI_LOG 値およびアクセス許可を検証します。AS/400 プラットフォームで、API オプション・ファイル中の ERRORLOGNAME に指定されている値を検査してください。

0621 E DSM_RC_LOG_ERROR_WRITING TO_LOG ログ・ファイルに書き込めません。

説明: ログ・ファイルへの書き込み時にエラーがありました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: DSMI_LOG 値およびアクセス許可を検証します。AS/400 プラットフォームで、API オプション・ファイル中の ERRORLOGNAME に指定されている値を検査してください。

0622 E DSM_RC_LOG_NOT_SPECIFIED ログ・ファイル名が指定されませんでした。

説明: システムはエラー・ログ・ファイルをオープンすることができません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: DSMI_LOG 値およびアクセス許可を検証します。AS/400 プラットフォームで、API オプション・ファイル中の ERRORLOGNAME に指定され

ている値を検査してください。

0927 E DSM_RC_NOT_ADSM_AUTHORIZED
IBM Spectrum Protect の許可ユーザー
 だけがこのアクションを実行できます。

説明: ユーザーは、このアクションを実行できる IBM Spectrum Protect の許可ユーザーでなければなりません。ユーザーはパスワード許可されておらず、このアクションには許可が必要です。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ユーザーは root ユーザーであるか、実行可能プログラムの所有者であり、かつ、設定有効ユーザー ID のビットが 'on' ('s' ビット) である必要があります。

961 E DSM_RC_DIRECT_STORAGE_
AGENT_UNSUPPORTED ストレージ・
 エージェントへの直接接続は許可されてい
 ません。

説明: ストレージ・エージェントに直接には接続できません。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ストレージ・エージェントを使用して LAN フリー操作を実行するには、オプション・ファイルに ENABLELANFREE を指定して、処理を再始動します。

963 E DSM_RC_FS_NAMESPACE_
DOWNLEVEL ロング・ネーム・スペー
 スはローカル・ファイル・スペースから除
 去されています。バックアップ/アーカイ
 ブ操作を続けたい場合は、サーバー上でフ
 ァイル・スペースを名前変更してくださ
 い。

説明: プロセスは、サーバー・ネーム・スペースが NTW:LONG であることを検出しましたが、ローカル・ボリュームにはロング・ネーム・サポートはありません。ショート・ネームを使用してボリュームをバックアップしたい場合は、サーバー上のファイル・スペースを名前変更します。ロング・ネームを使用してバックアップしたい場合は、該当のボリュームに元どおりロング・ネーム・スペース・サポートを追加します。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: ロング・ネーム・スペース・サポートをボリュームに追加するか、対応するサーバー・ファイル・スペースを名前変更 (除去) してください。

0996 E DSM_RC_SERVER_DOWNLEVEL_
FUNC IBM Spectrum Protect サーバー
 は下位レベルであるため、要求された機能
 をサポートしていません。バージョン情報
 については、エラー・ログを調べてくださ
 い。

説明: 使用されている機能には、さらに新しい IBM Spectrum Protect サーバーが必要です。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバーを、この機能をサポートしているレベルにアップグレードしてください。バージョン情報については、エラー・ログを調べてください。

0997 E DSM_RC_STORAGEAGENT_
DOWNLEVEL IBM Spectrum Protect
 ストレージ・エージェントは下位レベルで
 あるため、要求された機能をサポートして
 いません。バージョン情報については、エ
 ラー・ログを調べてください。

説明: 使用されている機能には、さらに新しい IBM Spectrum Protect ストレージ・エージェントが必要です。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect ストレージ・エージェントを、この機能をサポートしているレベルにアップグレードしてください。バージョン情報については、エラー・ログを調べてください。

0998 E DSM_RC_SERVER_AND_SA_
DOWNLEVEL IBM Spectrum Protect
 サーバーおよび IBM Spectrum Protect
 ストレージ・エージェントは下位レベルで
 あるため、要求された機能をサポートして
 いません。バージョン情報については、エ
 ラー・ログを調べてください。

説明: 使用されている機能には、さらに新しい IBM Spectrum Protect サーバーおよび IBM Spectrum Protect ストレージ・エージェントが必要です。

システムの処置: 操作は失敗します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバーおよび IBM Spectrum Protect ストレージ・エージェントを、この機能をサポートしているレベルにアップグレードしてください。バージョン情報については、エラー・ログを調べてください。

1376 E DSM_RC_DIGEST_VALIDATION_ERROR 「*filespace namepath-namefile-name*」の処理中にエラーが発生しました。エンドツーエンド・ダイジェスト検証は失敗しました。

説明: リストア済みまたはリトリーブ済みのデータの暗号ダイジェストが、バックアップまたはアーカイブ操作中に生成されたダイジェストと一致しませんでした。考えられる原因は、伝送エラー、データ破損、またはハッシュ衝突です。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: リストア操作を再試行してください。問題が続く場合は、IBM 技術サポートに連絡して追加の支援を受けてください。

2000 E DSM_RC_NULL_OBJNAME オブジェクト名ポインターが **NULL** です。

説明: オブジェクト名ポインターについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: `dsmObjName` 構造のアドレスを提供します。

2001 E DSM_RC_NULL_DATA_BLKPTR データ・ブロック・ポインターが **NULL** です。

説明: データ・ブロック・ポインターについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: `DataBlk` 構造のアドレスを提供します。

2002 E DSM_RC_NULL_MSG dsmRCMsg の msg パラメーターが **NULL** ポインターです。

説明: `dsmRCMsg` のメッセージ・パラメーターは **NULL** ポインターです。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 十分なスペースをメッセージ・パラメーターに割り当てます。

2004 E DSM_RC_NULL_OBJATTRPTR オブジェクト属性ポインターが **NULL** です。

説明: オブジェクト属性ポインターについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: `ObjAttr` 構造のアドレスを提供します。

2006 E DSM_RC_NO_SESS_BLK サーバー・セッション情報がありません。

説明: サーバーはセッション情報で応答しませんでした。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サーバー状況を検証します。

2007 E DSM_RC_NO_POLICY_BLK サーバー・ポリシー情報がありません。

説明: サーバーはポリシー情報で応答しませんでした。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サーバー・ポリシー定義を検証します。

2008 E DSM_RC_ZERO_BUFLEN dataBlk bufferLen 値がゼロです。

説明: `dataBlk bufferLen` の値がゼロです。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: `bufferLen` に関して非ゼロ値を提供します。

2009 E DSM_RC_NULL_BUFPTR dataBlk bufferPtr が **NULL** です。

説明: `dataBlk bufferPtr` について提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: `bufferPtr` のアドレスを提供します。

2010 E DSM_RC_INVALID_OBJTYPE objType
が無効です。

説明: objType の値が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: dsmObjName.objType の値は、以下のとおりでなければなりません。

Backup については DSM_OBJ_FILE または
DSM_OBJ_DIRECTORY。または
Archive については DSM_OBJ_FILE。

2011 E DSM_RC_INVALID_VOTE dsmEndTxn
vote が無効です。

説明: dsmEndTxn vote が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: 指定は DSM_VOTE_COMMIT または DSM_VOTE_ABORT でなければなりません。

2012 E DSM_RC_INVALID_ACTION 更新アク
ションは無効です。

説明: dsmUpdateFS または dsmUpdateObj 処置は無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: 処置の値を訂正してください。有効な値は dsmapi.h に定義されており、また資料「API の使用」に記述されています。

2014 E DSM_RC_INVALID_DS_HANDLE IBM
Spectrum Protect API 内部にエラーがありました。

説明: システムは API 内部においてエラーを検出しました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: 処理をシャットダウンし、操作を再試行します。直前のすべての dsmInit 呼び出しが終結処理され、dsmTerminate 呼び出しによって終了されていることを確認します。問題が継続する場合は、システム管理者またはサービス担当員に連絡してください。

2015 E DSM_RC_INVALID_REPOS リポジトリ
・タイプが無効です。

説明: リポジトリ・タイプが無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: dsmDeleteFS については、リポジトリは以下のいずれかでなければなりません。

- DSM_ARCHIVE_REP
- DSM_BACKUP_REP
- DSM_REPOS_ALL

2016 E DSM_RC_INVALID_FSNAME ファイル
・スペース名の先頭はディレクトリー区
切り文字でなければなりません。

説明: ファイル・スペース名が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名はディレクトリー区切り文字で始まらなければなりません。

2017 E DSM_RC_INVALID_OBJNAME オブジ
ェクト名が空ストリングか、または先行区
切り文字がありません。

説明: ストリングが空のため、あるいは区切り文字が先頭にないため、オブジェクト名が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: dsmObjName の絶対パスのフォーマットを検証します。

2018 E DSM_RC_INVALID_LLNAME オブジェ
クト名の低位修飾子はディレクトリー区切
り文字で開始しなければなりません。

説明: オブジェクト名の低位修飾子が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: オブジェクト名の低位修飾子をディレクトリー区切り文字で始めます。

2019 E DSM_RC_INVALID_OBJOWNER オブ
ジェクト所有者が無効です。

説明: オブジェクト所有者が root ユーザーでなければならないか、あるいはオブジェクト所有者はセッション所有者と同じでなければなりません。

2020 E • 2027 E

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: セッション所有者およびオブジェクト所有者を検証します。

2020 E DSM_RC_INVALID_ACTYPE
dsmBindMC sendType が無効です。

説明: dsmBindMC sendType が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: sendType は、以下のいずれかでなければなりません。

stBackup
stArchive
stBackupMountWait
stArchiveMountWait

2021 E DSM_RC_INVALID_RETCODE この戻りコードで使用可能なテキストはありません。

説明: dsmRCMsg の dsmRC パラメーターが無効な戻りコードです。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 有効な値を指定します。

2022 E DSM_RC_INVALID_SENDDTYPE
dsmSendObj sendType が無効です。

説明: dsmSendObj sendType が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: sendType は、以下のいずれかでなければなりません。

stBackup
stArchive
stBackupMountWait
stArchiveMountWait

2023 E DSM_RC_INVALID_PARAMETER
dsmDeleteObj delType が無効です。

説明: dsmDeleteObj delType が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: delType は dtBackup または

dtArchive でなければなりません。

2024 E DSM_RC_INVALID_OBJSTATE 照会バックアップ objState が無効です。

説明: 照会バックアップ objState が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: qryBackupData.objState は、以下のいずれかでなければなりません。

DSM_ACTIVE
DSM_INACTIVE
DSM_ANY_MATCH

2025 E DSM_RC_INVALID_MCNAME 管理クラス名が見つかりませんでした。

説明: 管理クラス名を検出するための照会あるいは送信操作が、できません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 管理クラス名を確認します。

2026 E DSM_RC_INVALID_DRIVE_CHAR ドライブ名が英字になっていません。

説明: ドライブ名が英字になっていません。この戻りコードは Microsoft Windows のみで有効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ドライブ指定が英字であることを確認します。参照先フィールドは dsmDosFSAttrib.driveLetter です。

2027 E DSM_RC_NULL_FSNAME レジスター・ファイル・スペース名が NULL です。

説明: レジスター・ファイル・スペース名ポインターについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: dsmRegisterFS にファイル・スペース名を提供します。

2028 E DSM_RC_INVALID_HLNAME オブジェクト名の高位修飾子は、ディレクトリー区切り文字で開始しなければなりません。

説明: オブジェクト名の高位修飾子が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: オブジェクト名の高位修飾子はディレクトリー区切り文字で始まっていなければなりません。

2029 E DSM_RC_NUMOBJ_EXCEED
dsmBeginGetData のオブジェクトの数が **DSM_MAX_GET_OBJ** | **DSM_MAX_PARTIAL_GET_OBJ** を超えています。

説明: **dsmBeginGetData** 呼び出しに指定されたオブジェクト数 (**numObjId**) が **DSM_MAX_GET_OBJ** | **DSM_MAX_PARTIAL_GET_OBJ** を超えています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **dsmBeginGetData** を呼び出す前に、オブジェクト数を確認してください。

DSM_MAX_GET_OBJ |

DSM_MAX_PARTIAL_GET_OBJ より多い場合は、複数の **Get call** 手順を発行してください。

2030 E DSM_RC_NEWPW_REQD 新規パスワード値が **NULL** またはブランクです。

説明: 新規パスワードについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **dsmChangePW** に新規パスワードを提供します。

2031 E DSM_RC_OLDPW_REQD 旧パスワード値が **NULL** またはブランクです。

説明: 旧パスワードについて提供されている値がありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **dsmChangePW** に旧パスワードを提供します。

2032 E DSM_RC_NO_OWNER_REQD
PASSWORDACCESS=generate の時には、**dsmInit** で所有者がセッションを確立することはできません。

説明: **PASSWORDACCESS=GENERATE** は、所有者として現行ログイン・ユーザーを使用してセッションを確立します。 **PASSWORDACCESS=GENERATE** が有効であるときは、アプリケーションは **clientOwnerNameP** を **NULL** に設定する必要があります。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。アプリケーションのエラー処理の方法によって、そのアプリケーションが処理を続行できるかどうかが決まります。

ユーザーの処置: このメッセージは、IBM Spectrum Protect API を利用するアプリケーションに適用され、主にそのメッセージを発行するアプリケーションのベンダーを対象としています。アプリケーションによっては、これが構成上の問題点になることがあります。

アプリケーションの資料を調べて、そのアプリケーションが正しく構成されているかどうかを確認してください。問題が続く場合には、アプリケーションのベンダーに連絡して援助を求めてください。

2033 E DSM_RC_NO_NODE_REQD **dsmInit** で、**PASSWORDACCESS=generate** のときにはノードは使用できません。

説明: **PASSWORDACCESS=generate** は、ノードとして現行ホスト名とセッションを確立しています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **PASSWORDACCESS=generate** を使用するときは、**clientNodeNameP** を **NULL** に設定します。

2034 E DSM_RC_KEY_MISSING キー・ファイルが欠落しています。

説明: Data Protection for Oracle のキー・ファイルが見つかりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: Data Protection for Oracle を注文したことを確認して、キー・ファイルをインストールしてください。

2035 E DSM_RC_KEY_BAD キー・ファイルの内容が無効です。

説明: Data Protection for Oracle のキー・ファイルの内容が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: Data Protection for Oracle を注文したことを確認して、キー・ファイルをインストールしてください。

2041 E DSM_RC_BAD_CALL_SEQUENCE 呼び出しの順序が無効です。

説明: API は、機能呼び出しが特定の順序で行われることを要求します。機能呼び出しが正しい順序で行われませんでした。エラーは、以下の問題によって発生する可能性があります。

- ネットワークのエラー。
- IBM Spectrum Protect API のバグ。
- IBM Spectrum Protect サーバーのバグ。
- IBM Spectrum Protect API を使用するアプリケーション (IBM またはサード・パーティー) のバグ。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: エンド・ユーザーは、以下の方法で応答することができます。

- ネットワークにエラーがないかをチェックします。
- IBM Spectrum Protect サーバーのアクティビティ・ログ・ファイル、クライアント・サイドの dserror.log ログ・ファイル、および問題があるアプリケーションに固有のログ・ファイルで手掛かりを探します。
- IBM サポート・ページで、問題に一致する APAR がないかを検索します。サポート・サイトは、IBM Spectrum Protect サポート・ポータル (http://www.ibm.com/support/entry/portal/product/tivoli/tivoli_storage_manager) です。
- API アプリケーションが (IBM ではなく) サード・パーティーによって開発されたものである場合は、そのサード・パーティーのサポート・ページで問題に一致する既知の問題がないかを検索します。

上記のどのアクションでも問題が解決しない場合は、IBM Spectrum Protect API を使用するアプリケーションのベンダーに問題を報告してください。

IBM Spectrum Protect API を使用するアプリケーションの開発者が、問題の理由を調査 (IBM Spectrum

Protect API 状態遷移図の確認を含む) する必要があります。IBM Spectrum Protect API 状態遷移図は、製品資料 (IBM Spectrum Protect 製品資料 (http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSEQVQ_8.1.0/tsm/welcome.html)) に記載されています。

2042 E DSM_RC_INVALID_TSMBUFFER tsmBuffHandle が無効か、dataPtr の値が無効です。

説明: ハンドルまたは dataPtr には無効な値が API に渡されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: アプリケーションの呼び出しに問題があります。API に渡された tsmBuffHandle および dataptr の値を確認してください。

2043 E DSM_RC_TOO_MANY_BYTES tsmBuffer にコピーされたバイト数が許可値よりも大きくなっています。

説明: 無効なバイト数が tsmBuffer にコピーされました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: アプリケーションの呼び出しに問題があります。tsmBuffer にコピーされたバイト数を確認してください。

2044 E DSM_RC_MUST_RELEASE_BUFFER アプリケーションが 1 つ以上の tsmBuffer を保留しているので、dsmTerminate を終了できません。

説明: アプリケーションはセッションを終了させようとしていますが、いくつかの tsmBuffer を保留し続けています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャーに戻ります。

ユーザーの処置: アプリケーションは、tsmReleaseBuffer を呼び出してこのセッションのすべてのバッファを戻し、dsmTerminate を発行する必要があります。

2045 E DSM_RC_BUFF_ARRAY_ERROR
tsmBuffer 配列で内部エラーが発生しました。

説明: 内部 API バッファ配列エラーが発生しました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が継続する場合は、システム管理者またはサービス技術員に連絡してください。

2046 E DSM_RC_INVALID_DATABLK
useTsmBuffers を使用する場合、**dsmSendObj** および **dsmGetObj** への呼び出しのときには、**dataBlk** を **NULL** にする必要があります。

説明: **useTsmBuffers** を使用する場合は、**dataBlk** の値を **NULL** にする必要があります。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: アプリケーションの呼び出しに問題があります。アプリケーションの提供者にお問い合わせください。

2047 E DSM_RC_ENCR_NOT_ALLOWED
useTsmBuffers を使用する場合は、暗号化が許可されていません。

説明: **useTsmBuffers** は暗号化をサポートしていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **useTsmBuffers** を使用せずに操作を再試行するか、この操作の暗号化を使用不可に設定してください。

2048 E DSM_RC_OBJ_COMPRESSED このオブジェクトは圧縮されているので、**useTsmBuffers** を使用してリストアまたはリトリブできません。

説明: **useTsmBuffers** は圧縮をサポートしていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **useTsmBuffers** を使用せずに操作を再試行してください。

2049 E DSM_RC_OBJ_ENCRYPTED このオブジェクトは暗号化されているので、**useTsmBuffers** を使用してリストアまたはリトリブできません。

説明: **useTsmBuffers** は暗号化をサポートしていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **useTsmBuffers** を使用せずに操作を再試行してください。

2050 E DSM_RC_WILDCHAR_NOTALLOWED
dsmSendObj では、**objName** にワイルドカードを使用することはできません。

説明: **dsmSendObj** では、**objName** にワイルドカードを使用することはできません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **fs**、**hl**、および **ll** を **dsmObjName** に提供します。

2051 E DSM_RC_POR_NOT_ALLOWED
useTsmBuffers を使用する場合は、部分オブジェクト・リストアによるリストアまたはリトリブが許可されていません。

説明: **useTsmBuffers** は、部分オブジェクト・リストアをサポートしていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 呼び出しアプリケーションが部分オブジェクト・リストアまたは **useTsmBuffers** のいずれかを使用していることを確認してください。

2052 E DSM_RC_NO_ENCRYPTION_KEY 暗号鍵が見つかりませんでした。
-encryptkey=prompt を使用している場合は、**encryptionPasswordP** フィールドに値があり、**bEncryptKeyEnabled** に **True** が設定されていることを確認してください。

説明: パスワード・ファイルに暗号鍵が見つからなかったか、アプリケーションによってキーが提供されませんでした。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: **-encryptkey=prompt** を使用している

場合は、encryptionPasswordP に値があり、bEncryptKeyEnabled に True が設定されていることを確認してください。

2053 E DSM_RC_ENCR_CONFLICT 競合する暗号鍵のオプションが指定されています。

説明: ENABLEENCRYPTKEY オプションを使用している場合は、IBM Spectrum Protect API dsmInitExIn_t および tsmInitExIn_t 構造のパラメーター bEncryptKeyEnabled を bTrue に設定することはできません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: オプション・ファイルから ENABLEENCRYPTKEY オプションを除去するか、IBM Spectrum Protect API を使用して、プログラム内のパラメーター bEncryptKeyEnabled に bFalse を設定してください。

2060 E DSM_RC_FSNAME_NOTFOUND 削除/アクセス・セットするファイル・スペースが見つかりません。

説明: 削除するファイル・スペースが見つかりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名を確認します。

2061 E DSM_RC_FS_NOT_REGISTERED dsmSendObj、dsmDeleteObj、または dsmUpdateFS で、ファイル・スペースが登録されていません。

説明: dsmSendObj、dsmDeleteObj または dsmUpdateFS について、ファイル・スペースが登録されていません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名を確認します。

2062 W DSM_RC_FS_ALREADY_REGED ファイル・スペースは既に dsmRegisterFS で登録されています。

説明: ファイル・スペースは既に dsmRegisterFS で登録されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル・スペース名を確認します。

2063 E DSM_RC_OBJID_NOTFOUND dsmBeginGetData で、objID が NULL です。

説明: dsmBeginGetData については、objID は NULL です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 以下を確認してください。

dsmGetList が NULL ではない。

各 objID が NULL ではない。

dsmGetList numObjId がゼロではない。

2064 E DSM_RC_WRONG_VERSION dsmInit で、呼び出し元の API バージョンが IBM Spectrum Protect ライブラリーのバージョンと異なります。

説明: dsmInit で、呼び出し元の API バージョンが、IBM Spectrum Protect ライブラリー・バージョンより高い値になっています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 最新の IBM Spectrum Protect API ライブラリーおよび dsmtca モジュールをインストールします。

2065 E DSM_RC_WRONG_VERSION_PARM 呼び出し元の構造体のバージョンが、IBM Spectrum Protect ライブラリーのバージョンと異なります。

説明: 呼び出し側の構造体バージョンは、IBM Spectrum Protect ライブラリー・バージョンとは異なります。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: stVersion フィールドが、ヘッダー・ファイル内の値で設定されていることを確認します。アプリケーションを最新のヘッダー・ファイルで再コンパイルします。

2070 E DSM_RC_NEEDTO_ENDTXN dsmEndTxn を発行してから、新規トランザクション・セッションを開始してください。

説明: 以下のいずれかの理由により、このトランザクションを終了し、新規トランザクションを開始する必要があります。

宛先が変更された。

バイト限度を超過した。

オブジェクトの最大数を超過した。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: dsmEndTxn を発行し、新規トランザクション・セッションを開始します。

2080 E DSM_RC_OBJ_EXCLUDED バックアップまたはアーカイブ・オブジェクトが処理から除外されています。

説明: バックアップまたはアーカイブ・オブジェクトが処理から除外されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: objName および 除外リストを検証します。

2081 E DSM_RC_OBJ_NOBCG バックアップ・オブジェクトにコピー・グループがありません。

説明: バックアップ・オブジェクトにコピー・グループがありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サーバー・ポリシー定義を検証します。

2082 E DSM_RC_OBJ_NOACG アーカイブ・オブジェクトにコピー・グループがありません。

説明: アーカイブ・オブジェクトにコピー・グループがありません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サーバー・ポリシー定義を検証します。

2090 E DSM_RC_APISYSTEM_ERROR IBM Spectrum Protect API によって使用されたメモリーが破壊されました。

説明: IBM Spectrum Protect API によって使用されたメモリーが破壊されました。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 操作を再試行します。問題が継続する場合は、システム管理者またはサービス技術員に連絡してください。

2100 E DSM_RC_DESC_TOOLONG sendObj アーカイブ記述が長すぎます。

説明: sendObj アーカイブ記述が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: sndArchiveData.descr スtringは DSM_MAX_DESCR_LENGTH 以下でなければなりません。

2101 E DSM_RC_OBJINFO_TOOLONG sendObj ObjAttr.objInfo が長すぎます。

説明: sendObj ObjAttr.objInfo が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: objInfo フィールドは DSM_MAX_OBJINFO_LENGTH 以下でなければなりません。

2102 E DSM_RC_HL_TOOLONG sendObj dsmObjName.hl が長すぎます。

説明: sendObj dsmObjName.hl が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: hl フィールドは DSM_MAX_HL_LENGTH 以下でなければなりません。

2103 E DSM_RC_PASSWD_TOOLONG 指定されたパスワードまたは encryptionPassword Stringが長すぎます。

説明: パスワードまたは encryptionPassword に指定された値が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: パスワードまたは encryptionPassword フィールドは、DSM_MAX_VERIFIER_LENGTH よりも短くありません。

2104 E DSM_RC_FILESPACE_TOOLONG
sendObj dsmObjName.fs が長すぎます。

説明: sendObj dsmObjName.fs が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: fs フィールドは
 DSM_MAX_FS_LENGTH 以下でなければなりません。

2105 E DSM_RC_LL_TOOLONG sendObj
dsmObjName.ll が長すぎます。

説明: sendObj dsmObjName.ll が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ll フィールドは
 DSM_MAX_LL_LENGTH 以下でなければなりません。

2106 E DSM_RC_FSINFO_TOOLONG
RegisterFS または **UpdateFS** で、**fsAttr**
 の **fsInfo** が長すぎます。

説明: RegisterFS または UpdateFS で、fsAttr の
 fsInfo が長すぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: fsInfo フィールドは
 DSM_MAX_FSINFO_LENGTH 以下でなければなりません。

2107 E DSM_RC_SENDDATA_WITH_ZERO_
SIZE sizeEstimate がゼロ・バイトのデー
 タを送信することはできません。

説明: オブジェクトに関するデータをサイズ見積もり
 = 0 で送信することはできません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: サイズ見積もりを dsmSendObj で 0
 より大に設定してください。

2110 E DSM_RC_INVALID_ACCESS_TYPE
dsmSetAccess access Type が無効で
 す。

説明: dsmSetAccess accessType が無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: accessType は、以下のいずれかでなければなりません。

atBackup
 atArchive

2111 E DSM_RC_QUERY_COMM_FAILURE オ
 ブジェクト照会時にサーバーとの通信エラ
 ー。

説明: サーバーに対するオブジェクト照会中に予期しない通信エラーが発生しました。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: クライアントとサーバー間の通信が活
 動化していることを検証してください。サーバーの停
 止、プロセッサの停止、および通信コントローラーの
 停止が、このエラーの原因となります。

2112 E DSM_RC_NO_FILES_BACKUP このフ
 ァイル名/ファイル・スペースに対して以
 前にバックアップしているファイルがあり
 ません。

説明: ユーザーはファイルへのアクセスを設定しようと
 しましたが、指定のファイル名、ドライブ、またはファ
 イル・システムのファイルが前もってバックアップされ
 ていませんでした。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいドライブまたはファイル・シス
 テムが指定されていること、そしてファイルがユーザー
 によるアクセスの設定のためにバックアップされている
 ことを確認してください。

2113 E DSM_RC_NO_FILES_ARCHIVE このフ
 ァイル名/ファイル・スペースに関して以
 前にアーカイブしてあるファイルはありません。

説明: 前にアーカイブされた、指定されたファイル名、
 ドライブまたはファイル・システムのファイルがないと
 きに、ファイルへのアクセスをセットしようとした
 ため。

システムの処置: 処理は停止しました。

ユーザーの処置: 正しいドライブまたはファイル・シス
 テムが指定されていること、そしてファイルがユーザー
 によるアクセスの設定のためにアーカイブされているこ
 とを確認してください。

2114 E DSM_RC_INVALID_SETACCESS アクセス設定コマンドの形式が無効です。

説明: SET ACCESS コマンドには少なくとも 3 つのオペランドが必要です。最初のオペランドは BACKUP または ARCHIVE でなければなりません。その後に、有効な形式のファイル指定が必要です。

システムの処置: 処理が停止し、コマンドは実行されません。

ユーザーの処置: 詳しい用法について HELP SET ACCESS コマンドを使用し、その後、正しい構文を使用して SET ACCESS コマンドを入力してください。

2120 E DSM_RC_STRING_TOO_LONG 次のメッセージは長すぎるためサーバーに記録できませんでした。'*shortened message with message number*'

説明: メッセージ・テキストと挿入部分が大きすぎるため、使用可能な内部バッファでサーバーに送信できません。

システムの処置: *message number* メッセージはローカル・クライアント・エラー・ログに書き込まれ、短縮されてからこのメッセージの一部としてサーバーに送信されます。メッセージの長さは、元のメッセージの中央にある '...' を置換することにより短縮されます。

ユーザーの処置: 参照されたメッセージは短縮されていますが、発生したエラーを説明しています。詳しくは、そのメッセージの資料を参照してください。

2200 I DSM_RC_MORE_DATA
dsmGetNextQObj または **dsmGetData** において、さらに利用できるデータがあります。

説明: dsmGetNextQObj または dsmGetData において、さらに利用できるデータがあります。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 機能を再び呼び出します。

2210 E DSM_RC_BUFF_TOO_SMALL dataBlk バッファが照会応答用には小さすぎます。

説明: dataBlk バッファが照会応答用には小さすぎます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: dsmGetNextQObj について、dataBlk

バッファが少なくとも照会応答構造体より大きいことを確認します。

2228 E DSM_RC_NO_API_CONFIGFILE
dsmInit で指定された構成ファイルをオープンすることができません。

説明: dsmInit で指定された構成ファイルをオープンすることができません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイル名を検証します。

2229 E DSM_RC_NO_INCLEXCL_FILE 包含/除外定義ファイルが見つかりません。

説明: 包含/除外定義ファイルが見つかりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: Inclexcl オプションのファイル名を検証します。

2230 E DSM_RC_NO_SYS_OR_INCLEXCL
dsm.sys ファイルが見つからないか、あるいは **dsm.sys** に指定された **Inclexcl** ファイルが見つかりません。

説明: dsm.sys ファイルが見つからないか、あるいは dsm.sys に指定された Inclexcl ファイルが見つかりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: dsm.sys ファイルは、環境変数 DSMI_DIR によって参照されるディレクトリ内になければなりません。dsm.sys ファイル内の Inclexcl オプションのファイル名を検証します。

2231 E DSM_RC_REJECT_NO_POR_SUPPORT
部分オブジェクト・リトリブは、このサーバーではサポートされていません。

説明: ユーザーによって指定された IBM Spectrum Protect サーバーは、部分オブジェクト・リトリブをサポートしません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 部分オブジェクト・リトリブ機能をサポートする IBM Spectrum Protect サーバーを指定します。

2300 E DSM_RC_NEED_ROOT dsmChangePW
または **dsmDeleteFS** を実行できるのは
UNIX の **root** ユーザーだけです。

説明: dsmChangePW または dsmDeleteFS を実行できるのは UNIX の root ユーザーだけです。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: このプログラムを root ユーザーとして実行します。

2301 E DSM_RC_NEEDTO_CALL_BINDMC
dsmSendObj の前に **dsmBindMC** を出
さなければなりません。

説明: dsmSendObj の前に dsmBindMC を出さなければなりません。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ユーザーのプログラムを修正します。

2302 I DSM_RC_CHECK_REASON_CODE
dsmEndTxn 発行が異常終了したので、
理由コードを検査してください。

説明: dsmEndTxn 呼び出しの後、トランザクションは DSM_VOTE_ABORT でサーバーまたはクライアントによって異常終了され、その理由が返されます。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: 理由フィールドを検査し、トランザクションが異常終了された理由を説明するコードを調べます。

2400 E DSM_RC_ALMGR_OPEN_FAIL ライ
センス・ファイルをオープンできません。

説明: ライセンス・ファイルが見つからないか、あるいは許可の関係でオープンできなかったか、またはファイルが壊されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を確認してください。ライセンス・ファイルが正しい場所にあるかどうか確認してください。

2401 E DSM_RC_ALMGR_READ_FAIL ライ
センス・ファイルで読み取り障害。

説明: ライセンス・ファイルが見つからないか、あるいは許可されていないためオープンできなかったか、またはそのファイルが壊されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を確認してください。ライセンス・ファイルが正しい場所にあるかどうか確認してください。

2402 E DSM_RC_ALMGR_WRITE_FAIL ライ
センス・ファイルで書き込み障害。

説明: ライセンス・ファイルが見つからないか、あるいは許可の関係でオープンできなかったか、またはファイルが壊されています。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス権を確認してください。ライセンス・ファイルが正しい場所にあるかどうか調べてください。

2403 E DSM_RC_ALMGR_DATA_FMT ライ
センス・ファイル中のデータが正しいフォー
マットになっていません。

説明: このライセンス・ファイルは無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ユーザーは新規ライセンスを入手する必要があります。

2404 E DSM_RC_ALMGR_CKSUM_BAD ライ
センス・ファイル中のチェックサムがライ
センス登録ストリングと一致しません。

説明: 登録のストリングが無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ユーザーは新規ライセンスを入手する必要があります。

2405 E DSM_RC_ALMGR_TRIAL_EXPRD この
試行は有効期限切れです。ライセンスを購
入してください。

説明: 登録のストリングが無効です。

システムの処置: システムは呼び出しプロシージャに戻ります。

ユーザーの処置: ユーザーは新規ライセンスを入手する必要があります。

4580 E DSM_RC_ENC_WRONG_KEY '*filespace namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。暗号鍵が無効です。

説明: 入力されたキーはファイルのバックアップ中に暗号化するために使用されたキーと一致しません。一致するキーが入力されないと、ファイルをリストアできません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: リストア操作をやり直して、正しいキーを使用してください。

4582 E DSM_RC_ENC_NOT_AUTHORIZED ユーザーは *file-space namedirectory_pathfile_name* の暗号化を認可されていません。

説明: ユーザーはこのファイルの暗号化を許可されていません。一般に IBM Spectrum Protect 暗号化を使用できるユーザーは、IBM Spectrum Protect 許可ユーザーまたはルート・ユーザーのみです。ただし、PASSWORDACCESS オプションと ENCRYPTKEY オプションの特定の組み合わせにより、許可されていないユーザーでも暗号化操作を実行できます。

システムの処置: ファイルはバックアップまたはリストアされません。

ユーザーの処置: root ユーザーまたは IBM Spectrum Protect 許可ユーザーとしてログインし、操作を再試行してください。ENCRYPTKEY オプションの正しい使用法については、「IBM Spectrum Protect バックアップ・アーカイブ・クライアント インストールとユーザーのガイド」を参照してください。

4584 E DSM_RC_ENC_TYPE_UNKOWN '*filespace namepath-namefile-name*' の処理中にエラーが発生しました。暗号化タイプがサポートされていません。

説明: リストアまたはリトリブしようとしているファイルは、IBM Spectrum Protect クライアントの以降のバージョンによってバックアップまたはアーカイブされています。このファイル暗号化方式は、現在のクライアントではサポートされていません。

システムの処置: オブジェクトはスキップされました。

ユーザーの処置: 最新バージョンの IBM Spectrum

Protect クライアントを使用してファイルをリストアまたはリトリブしてください。

4600 E DSM_RC_CLUSTER_INFO_LIBRARY_NOT_LOADED CLUSTERNODE は YES に設定されていますが、クラスター情報デーモンが開始されていません。

説明: CLUSTERNODE オプションを指定するためには、HACMP クラスター情報デーモンを開始する必要があります。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: HACMP クラスター情報デーモンを開始してください。

4601 E DSM_RC_CLUSTER_LIBRARY_INVALID CLUSTERNODE は YES に設定されていますが、クラスター・ロード・ライブラリーが無効です。

説明: オペレーティング・システムがクラスター名を取得するために提供するロード・ライブラリーが無効です。原因として、ロード・ライブラリーが古く、この製品で必要とされる正しいルーチンが含まれていない可能性があります。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: 最新のクラスター・ソフトウェアがシステムにインストールされているか確認してください。

4602 E DSM_RC_CLUSTER_LIBRARY_NOT_LOADED CLUSTERNODE は YES に設定されていますが、クラスター・ソフトウェアがこのシステムで使用不能です。

説明: オペレーティング・システムがクラスター名を取得するために提供するロード・ライブラリーがこのシステムでは使用不能です。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: クラスター・ソフトウェアがシステムにインストールされているか確認してください。

4603 E DSM_RC_CLUSTER_NOT_MEMBER_OF_CLUSTER CLUSTERNODE は YES に設定されていますが、このマシンがクラスターのメンバーではありません。

説明: このマシンはクラスター・ノードのメンバーでは

ありません。 クラスター・サービスが正しく構成されなかったか、クラスターが初期化の最中であることが、原因として考えられます。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: クラスター・ソフトウェアが適正に構成されているか確認してください。 クラスターが初期化の最中である場合は、後で操作を再試行してください。

4604 E DSM_RC_CLUSTER_NOT_ENABLED
CLUSTERNODE は **YES** に設定されていますが、クラスター・サービスがこのシステムで使用可能になっていません。

説明: クラスター・サービスがこのシステムで使用可能になっていません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: クラスター・サービスをシステムで使用可能にしてください。

4605 E DSM_RC_CLUSTER_NOT_SUPPORTED
CLUSTERNODE オプションはこのシステムではサポートされていません。

説明: このオプションはこのシステムではサポートされていません。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ローカル・オプション・ファイルの **CLUSTERNODE** オプションを使用不可にしてください。

4606 E DSM_RC_CLUSTER_UNKNOWN_ERROR このプログラムがシステムからクラスター名を取得しようとしたら予期しないエラー (*retcode*) が起こりました。

説明: このプログラムがクラスター・サービスからクラスター名を取得しようとしたら不明のエラーが起こりました。 エラー・コードは、このオペレーティング・システム環境で使用されているクラスター・サービスから直接提供された理由コードです。

システムの処置: 処理は終了します。

ユーザーの処置: ご使用のクラスタリング・ソフトウェアの資料で、この理由コードの説明を参照してください。 クラスタリング・サービスが操作可能であることを確認して、IBM Spectrum Protect 操作を再試行してください。

5702 E DSM_RC_PROXY_REJECT_NO_RESOURCES プロキシはリジェクトされました。 **IBM Spectrum Protect** サーバーがメモリー不足です。

説明: この操作を続行するために使用可能なメモリーが十分にありません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が続く場合は、システム管理者に連絡して、サーバーのメモリー量を増やしてください。

5705 E DSM_RC_PROXY_REJECT_DUPLICATE_ID プロキシが拒否されました: **ASNODENAME** オプションと **NODENAME** オプションに同じ値が指定されています。

説明: **ASNODENAME** オプションと **NODENAME** オプションに同じ値を指定することはできません。

システムの処置: 現行の操作はキャンセルされます。

ユーザーの処置: 他のノードにアクセスする場合にだけ **ASNODENAME** オプションを使用してください。自分のノードにアクセスするには **ASNODENAME** オプションを使用する必要はありません。管理コマンド "Grant Proxynode" によって実際にアクセスする権限を認可されたノードにアクセスする場合以外は、オプション・ファイルから **ASNODENAME** オプションを除去してください。

5710 E DSM_RC_PROXY_REJECT_ID_IN_USE プロキシは拒否されました。 **ASNODENAME** オプションで指定したノード名はロックされています。

説明: IBM Spectrum Protect 管理者が **ASNODENAME** オプションとして指定したノードをロックしています。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: このノードにアクセスするには、事前に IBM Spectrum Protect サーバー管理者がノードをアンロックする必要があります。後で操作を再試行するか、または IBM Spectrum Protect 管理者に連絡してください。

5717 E DSM_RC_PROXY_REJECT_INTERNAL_ERROR プロキシはリジェクトされました。サーバーに内部エラーがあります。

説明: 内部サーバー・エラーのために、クライアントはこのプロキシで、**ASNODENAME** オプションで指定したノードにアクセスできません。

システムの処置: 現行の操作は取り消されました。

ユーザーの処置: すぐにシステム管理者に連絡してください。

5722 E DSM_RC_PROXY_REJECT_NOT_AUTHORIZED プロキシはリジェクトされました。プロキシ権限はこのノードには認可されていません。

説明: このノードには、**ASNODENAME** オプションで指定したノードにアクセスするプロキシ権限が認可されていません。IBM Spectrum Protect 管理者は、最初にプロキシ権限の認可を行う必要があります。

システムの処置: IBM Spectrum Protect 操作は終了します。

ユーザーの処置: IBM Spectrum Protect サーバー管理者は、このノードのプロキシ権限を付与する必要があります。管理者コマンド「Grant Proxynode」を参照してください。

5746 E DSM_RC_PROXY_INVALID_FROMNODE ASNODENAME オプションは、**FROMNODE** オプションとともに使用すると無効になります。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **ASNODENAME** オプションをオプション・ファイルから除去するか、または **FROMNODE** オプションを使用しないでください。

5748 E DSM_RC_PROXY_INVALID_CLUSTER ASNODENAME オプションは、**CLUSTERNODE** オプションとともに使用することができません。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **ASNODENAME** オプションを除去し、操作を再試行してください。

5749 E DSM_RC_PROXY_INVALID_FUNCTION 試みている操作は、**ASNODENAME** オプションを使用して呼び出すことができません。

説明: ありません。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: **ASNODENAME** オプションを除去し、操作を再試行してください。

5801 E DSM_RC_CRYPTO_ICC_ERROR 暗号化ライブラリーで予期しないエラーが発生しました。

説明: 暗号化ライブラリーに予期しないエラーがあります。詳しくは、エラー・ログを参照してください。

システムの処置: 処理は停止します。

ユーザーの処置: 失敗の原因を判別するには、エラー・ログで **ANS1467E** を調べてください。IBM Spectrum Protect クライアントが正しくインストールされているかを確認してください。必要であれば、クライアントまたは API を再インストールしてください。問題がまだ存在する場合は、IBM Spectrum Protect 技術サポートに連絡してください。

付録. IBM Spectrum Protect 製品ファミリーのアクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害などの障害を持つユーザーが情報技術コンテンツを快適に使用できるように支援します。

概説

IBM Spectrum Protect ファミリーの製品は、以下の主なアクセシビリティ機能を提供します。

- キーボードのみによる操作
- スクリーン・リーダー (読み上げソフトウェア) に使用する操作

IBM Spectrum Protect ファミリー製品は、最新の W3C 標準 WAI-ARIA 1.0 (www.w3.org/TR/wai-aria/) が、US Section 508 (www.access-board.gov/guidelines-and-standards/communications-and-it/about-the-section-508-standards/section-508-standards) および Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.0 (www.w3.org/TR/WCAG20/) に準拠するように使用されています。アクセシビリティ機能を利用するには、最新リリースのスクリーン・リーダーと、この製品によってサポートされる最新の Web ブラウザーを使用してください

IBM Knowledge Center の製品資料は、アクセシビリティに対応しています。IBM Knowledge Center のアクセシビリティ機能については、IBM Knowledge Center ヘルプの「Accessibility」セクション (www.ibm.com/support/knowledgecenter/about/releasenotes.html#accessibility) に記載されています。

キーボード・ナビゲーション

この製品は、標準のナビゲーション・キーを使用します。

インターフェース情報

ユーザー・インターフェースには、1 秒当たり 2 回から 55 回の点滅を行うコンテンツはありません。

Web ユーザー・インターフェースでは、コンテンツを正しくレンダリングするために、また使いやすさを実現するために、カスケーディング・スタイル・シートが使用されています。このアプリケーションには、視覚に障害のあるユーザーがシステム表示設定を使用するための、同等の方式 (ハイコントラスト・モードなど) が用意されています。フォント・サイズの制御は、デバイスまたは Web ブラウザーの設定を使用して行うことができます。

Web ユーザー・インターフェースには、アプリケーションの機能領域に素早くナビゲートできる WAI-ARIA ナビゲーション・ランドマークが含まれています。

ベンダー・ソフトウェア

IBM Spectrum Protect 製品ファミリーには、IBM の使用許諾契約書の対象とならないベンダー・ソフトウェアが含まれます。IBM は、それらの製品のアクセシビリティ機能を保証するものではありません。ベンダーの製品のアクセシビリティ機能については、ベンダーにお問い合わせください。

関連アクセシビリティ情報

IBM では、標準の IBM ヘルプ・デスクとサポート Web サイトに加えて、聴覚に障害のあるお客様が営業担当者やサポート・サービスに連絡が取れるように TTY 電話サービスを開設しています。

TTY サービス

800-IBM-3383 (800-426-3383)

(北アメリカ内)

IBM のアクセシビリティに対する取り組みについて詳しくは、IBM Accessibility (www.ibm.com/able) を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は、IBM から他の言語でも提供されている可能性があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing
IBM Corporation
North Castle Drive, MD-NC119
Armonk, NY 10504-1785
US

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

本書に含まれるパフォーマンス・データは、特定の動作および環境条件下で得られたものです。実際の結果は、異なる可能性があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物には、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。「© (お

お客様の会社名) (西暦年).このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. _年を入れる_.

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、 www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標です。

Linear Tape-Open、LTO、および Ultrium は、HP、IBM Corp. および Quantum の米国およびその他の国における商標です。

Intel および Itanium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java[™] およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用条件

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布（頒布、送信を含む）または表示（上映を含む）することはできません。

商業的利用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利 ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、

データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

この「ソフトウェア・オファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie などの各種テクノロジーの使用について詳しくは、「IBM オンラインでのプライバシー・ステートメントのハイライト」(<http://www.ibm.com/privacy/jp/ja/>)、「IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント」(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』というタイトルのセクション、および「IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement」(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

用語集

この用語集には、IBM Spectrum Protect 製品ファミリーの用語および定義が記載されています。

IBM Spectrum Protect 用語集 を参照してください。

他の IBM 製品の用語集を確認するには、IBM 用語集 を参照してください。



プログラム番号: 5725-W98
5725-W99
5725-X15
5725-X18
5725-X04

Printed in Japan